

堺市
高齢者等実態調査報告書
(令和4年度)

令和5年3月

堺市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	回収状況	2
4	調査結果の表示方法	3
	【参考】本市の高齢化率、要支援、要介護認定率等について	4
	(1) 高齢化率	4
	(2) 75歳以上人口の状況	4
	(3) 65歳以上ひとり暮らし高齢者の状況	5
	(4) 要支援、要介護認定率の状況	5
II	調査結果	6
1	一般高齢者・要支援認定者調査	6
	(1) 回答者属性	6
	(2) 家族や生活状況について	9
	(3) 住まいについて	17
	(4) からだを動かすことについて	21
	(5) 食べることについて	35
	(6) 毎日の生活について	47
	(7) 地域での活動について	60
	(8) たすけあいについて	75
	(9) 健康について	90
	(10) 耳の状態について	104
	(11) 認知症について	107
	(12) 仕事について	114
	(13) 介護について	117
	(14) 住み慣れた地域で暮らし続けることについて	131
	(15) スマートフォン、タブレット、パソコンの使用状況について	138
2	在宅介護実態調査	146
	(1) 回答者属性	146
	(2) 調査対象者について	148
	(3) 主な介護者の方について	191
3	介護事業者調査	236
	(1) 回答者属性	236
	(2) 職員状況について	238
	(3) 介護事業収支の状況	249
	(4) 多職種での連携について	251

(5) 災害時の対策について	252
(6) サービス提供について（居宅介護支援事業所を運営している法人のみ）	254
(7) 施設の入所待機者について（施設サービス（特養・老健・介護医療院）を運営している法人のみ）	258
Ⅲ 生活機能評価等に関する分析	259
1 運動器機能の低下	259
2 転倒リスク	263
3 閉じこもり傾向	267
4 低栄養の傾向	271
5 咀嚼機能の低下	275
6 認知機能の低下	279
7 手段的自立度（IADL）	283
8 うつ傾向	287
Ⅳ 調査票	291
1 一般高齢者・要支援認定者調査	291
2 在宅介護実態調査	310
3 介護事業者調査	328
Ⅴ 母集団に関する推定	341
1 母集団に関する推定について	341
2 母集団の推定方法	341
3 一般高齢者・要支援認定者調査 母集団に関する推定値	342

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、高齢者の生活状況や保健・福祉に関するニーズを把握し、今後の高齢者保健福祉行政のより一層の計画的かつ効果的な推進と、令和 6～8 年度を計画期間とする次期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定の基礎資料とするため、実施するものです。

2 調査対象

(1) 一般高齢者・要支援認定者調査

①調査地域：堺市全域

②調査対象：令和 4 年 10 月末日現在で、下記のいずれかに該当する市内在住の 65 歳以上の方（195,264 人）から 13,200 人を抽出

- ・介護保険の認定を受けていない方
- ・要支援認定（要支援 1、2）を受けている方

③抽出方法：層化無作為抽出（日常生活圏域 21 圏域毎に無作為抽出）

④調査方法：郵送及びインターネット回答（郵送により調査票を送付）

⑤調査期間：令和 4 年 12 月 22 日～令和 5 年 1 月 12 日

(2) 在宅介護実態調査

①調査地域：堺市全域

②調査対象：令和 4 年 10 月末日現在で、下記のいずれかに該当する市内在住の 65 歳以上の方（52,089 人）から 1,300 人を抽出

- ・要支援認定（要支援 1、2）を受けている在宅の方
- ・要介護認定（要介護 1～5）を受けている在宅の方

③抽出方法：無作為抽出

④調査方法：郵送及びインターネット回答（郵送により調査票を送付）

⑤調査期間：令和 4 年 12 月 22 日～令和 5 年 1 月 12 日

(3) 介護事業者調査

①調査地域：堺市全域

②調査対象：令和 5 年 2 月 1 日現在で、堺市の指定を受けた介護保険事業所を市内に保有している法人 917 件

③調査方法：インターネット回答（メール等により調査依頼）

④調査期間：令和 5 年 2 月 24 日～令和 5 年 3 月 10 日

3 回収状況

(1) 一般高齢者・要支援認定者調査 回収状況

日常生活圏域	調査対象者数	配布数	有効回収数	有効回収率
堺1区	9,804人	633通	392通	61.9%
堺2区	7,731人	615通	368通	59.8%
堺3区	7,560人	614通	370通	60.3%
堺4区	7,604人	613通	362通	59.1%
中1区	8,597人	622通	396通	63.7%
中2区	7,892人	616通	359通	58.3%
中3区	10,626人	640通	393通	61.4%
東1区	11,057人	644通	395通	61.3%
東2区	10,732人	641通	398通	62.1%
西1区	9,067人	627通	401通	64.0%
西2区	11,637人	648通	414通	63.9%
西3区	9,082人	627通	418通	66.7%
南1区	10,316人	638通	430通	67.4%
南2区	12,116人	653通	428通	65.5%
南3区	8,862人	626通	412通	65.8%
南4区	9,640人	632通	404通	63.9%
北1区	7,587人	613通	402通	65.6%
北2区	7,820人	616通	382通	62.0%
北3区	8,643人	622通	400通	64.3%
北4区	9,043人	627通	392通	62.5%
美原1区	9,848人	633通	422通	66.7%
地区不明	—	—	4通	—
合計	195,264人	13,200通	8,342通	63.2%
うち、インターネット回答率			4.6% (382通)	—

(2) 在宅介護実態調査 回収状況

配布数	有効回収数	有効回収率
1,300通	654通	50.3%
うち、インターネット回答率		4.0% (26通)

(3) 介護事業者調査 回収状況

配布数	有効回収数	有効回収率
917通	244通	26.6%

4 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・一般高齢者・要支援認定者調査の有効回収数（全体）には属性（性別、年齢、居住地、認定状況）の不明分を含んでいます。

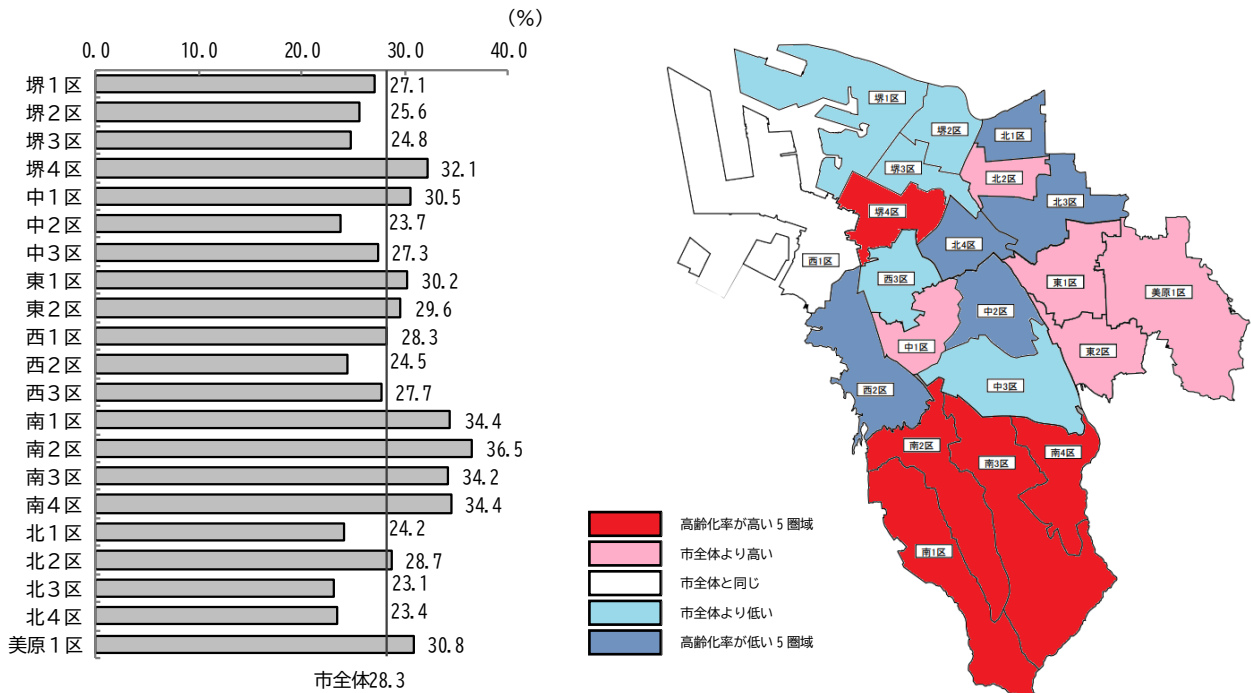
【参考】本市の高齢化率、要支援、要介護認定率等について

(1) 高齢化率

高齢化率は、市全体で 28.3%（令和 4 年 12 月末現在）となっています。

圏域別にみると、南 2 区が 36.5% で最も高く、次いで南 4 区、南 1 区が 34.4%、と続いています。

【圏域別 高齢化率】

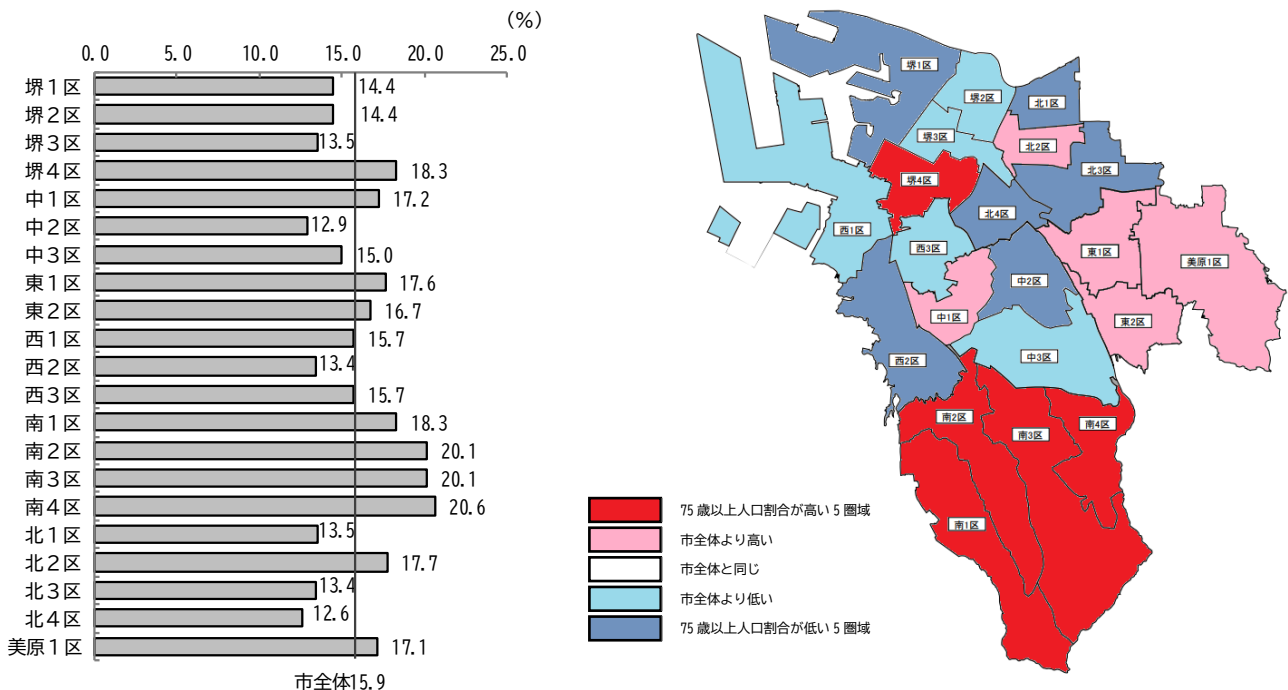


(2) 75 歳以上人口の状況

75 歳以上人口割合は、市全体で 15.9%（令和 4 年 12 月末現在）となっています。

圏域別にみると、南 4 区が 20.6% で最も高く、次いで南 2 区、南 3 区が 20.1%、と続いています。

【圏域別 75 歳以上割合】

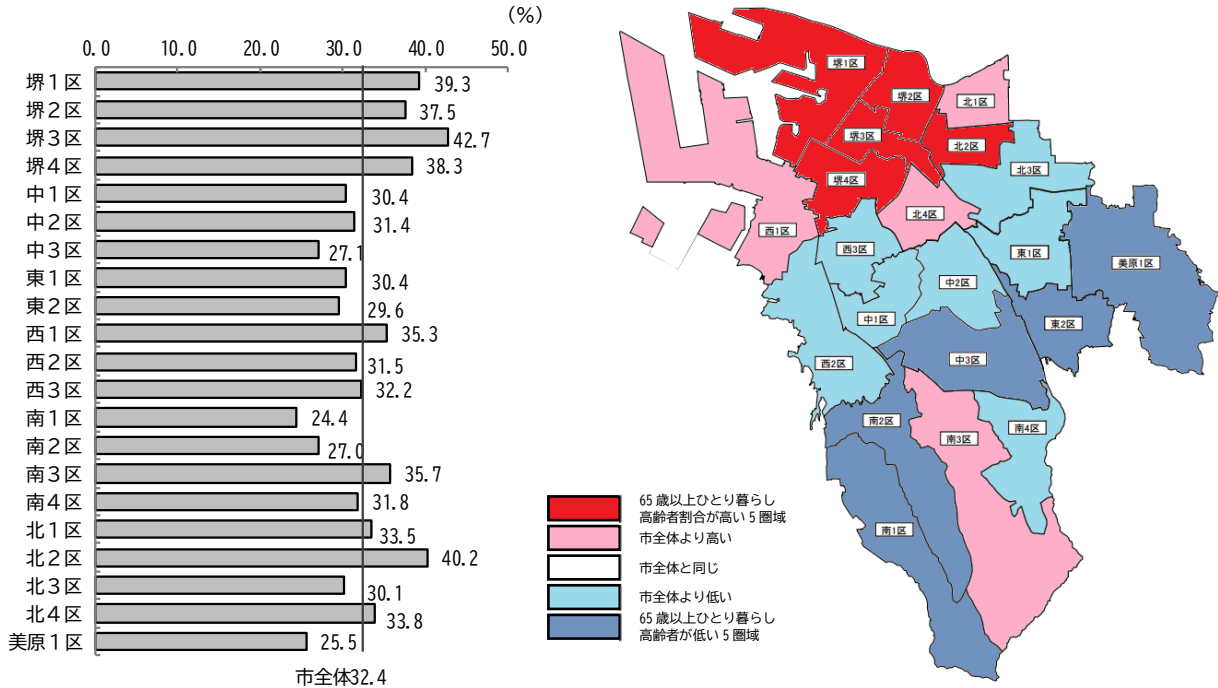


(3) 65歳以上ひとり暮らし高齢者の状況

65歳以上人口に占めるひとり暮らし高齢者の割合は、市全体で32.4%(令和4年12月末現在)となっています。

圏域別にみると、堺3区が42.7%で最も高く、次いで北2区が40.2%、堺1区が39.3%と続いています。

【圏域別 65歳以上ひとり暮らし高齢者】

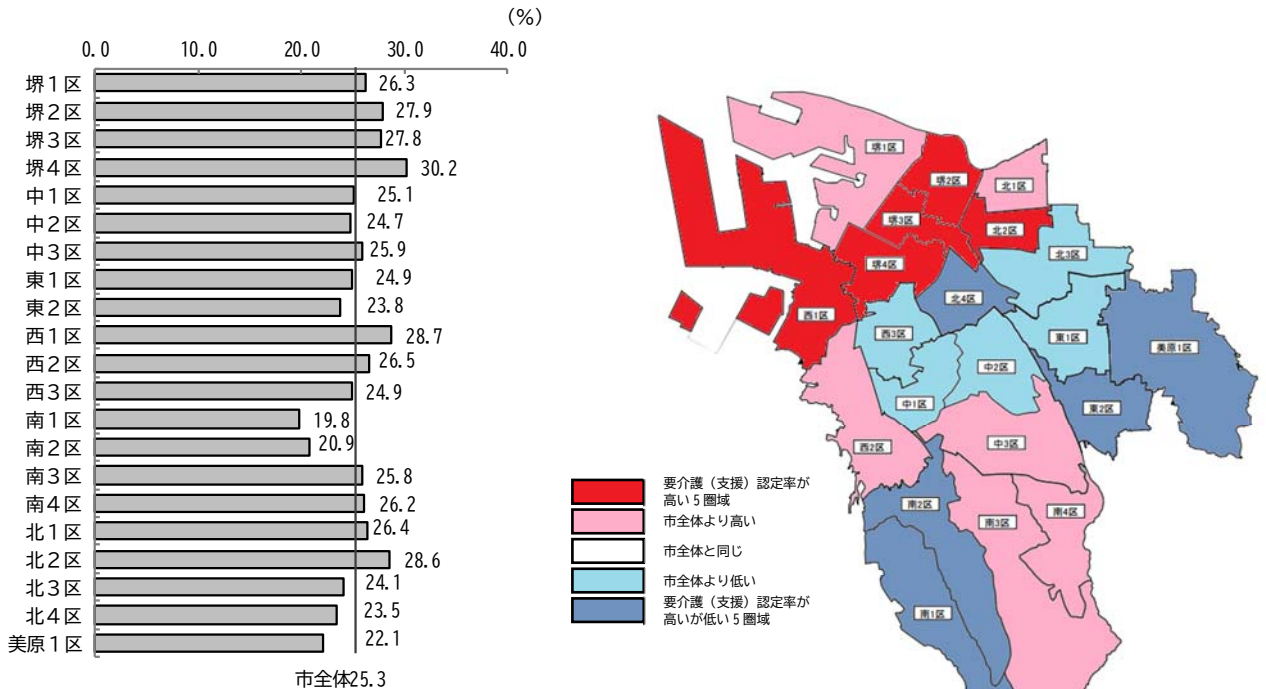


(4) 要支援、要介護認定率の状況

要支援、要介護認定率は、市全体で25.3%(令和4年12月末現在)となっています。

圏域別にみると、「堺4区」が30.2%で最も高く、次いで「西1区」が28.7%、「北2区」が28.6%と続いています。

【圏域別 要支援、要介護認定率】



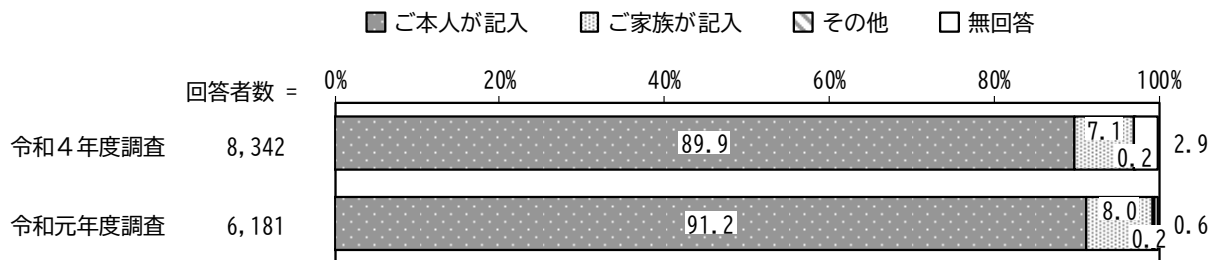
II 調査結果

1 一般高齢者・要支援認定者調査

(1) 回答者属性

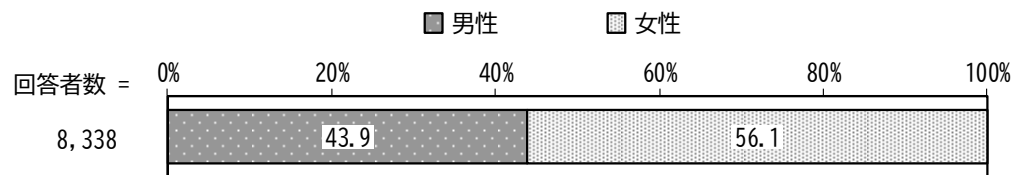
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

「ご本人が記入」の割合が89.9%、「ご家族が記入」の割合が7.1%となっています。
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



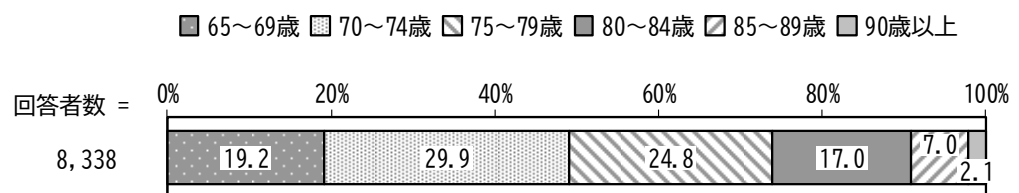
性別

「男性」の割合が43.9%、「女性」の割合が56.1%となっています。



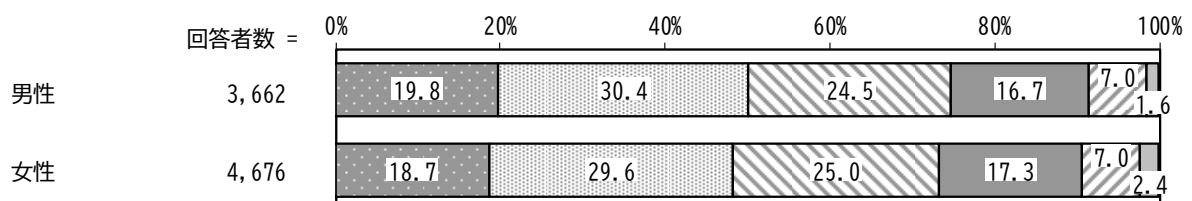
年齢

「70～74歳」の割合が29.9%と最も高く、次いで「75～79歳」の割合が24.8%、「65～69歳」の割合が19.2%となっています。



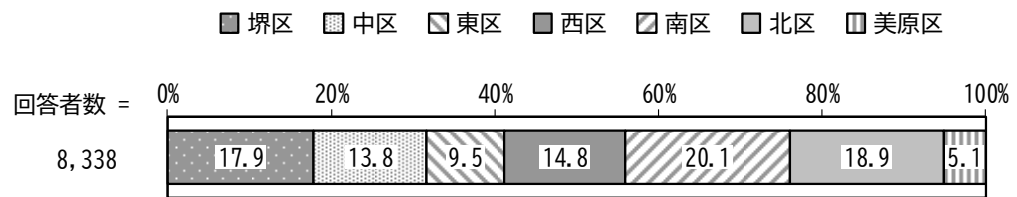
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



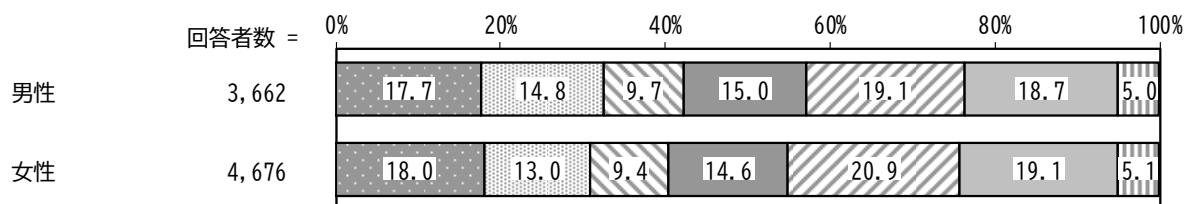
居住地

「南区」の割合が20.1%と最も高く、次いで「北区」の割合が18.9%、「堺区」の割合が17.9%となっています。



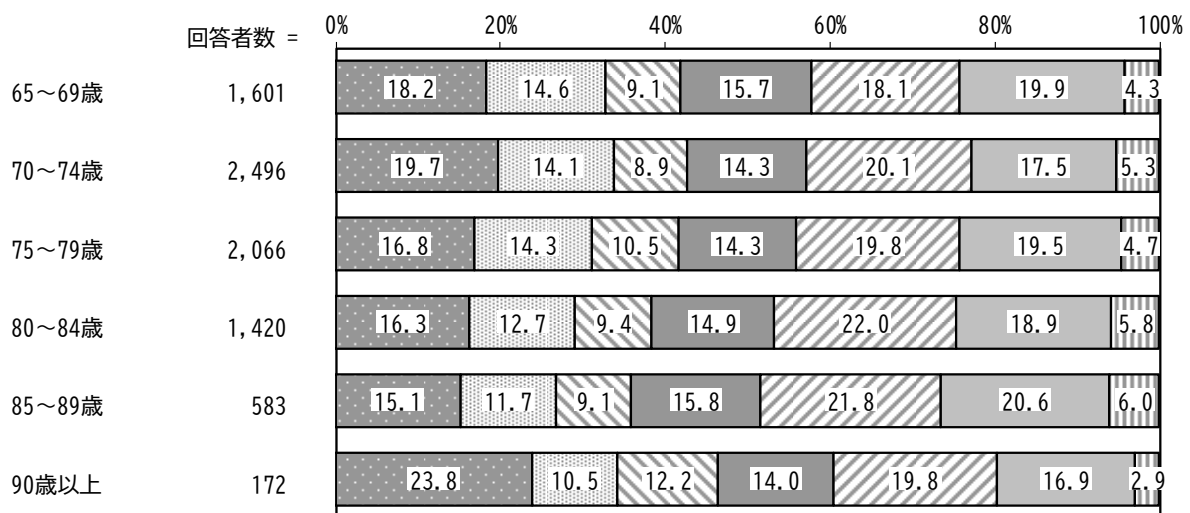
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



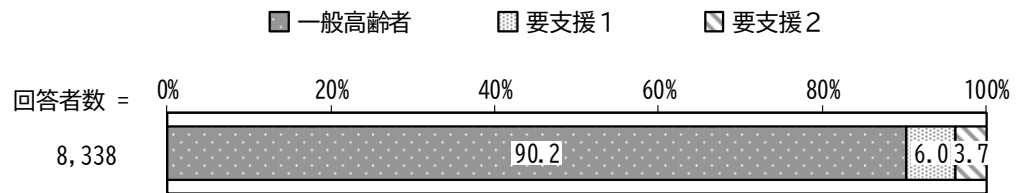
【年齢別】

年齢別にみると、90歳以上で「堺区」の割合が高くなっていますが、その他では大きな差はみられません。



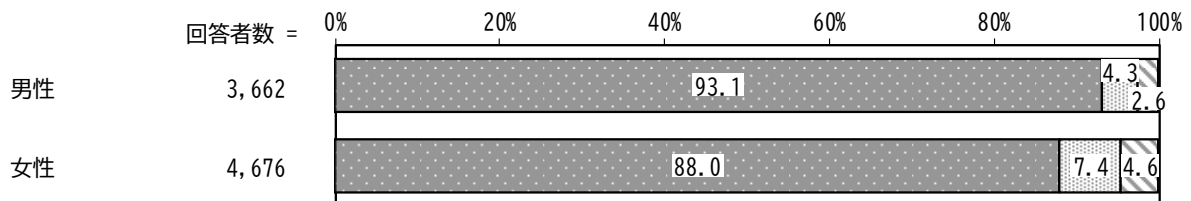
認定状況

「一般高齢者」の割合が 90.2%と最も高く、次いで「要支援 1」の割合が 6.0%、「要支援 2」の割合が 3.7%となっています。



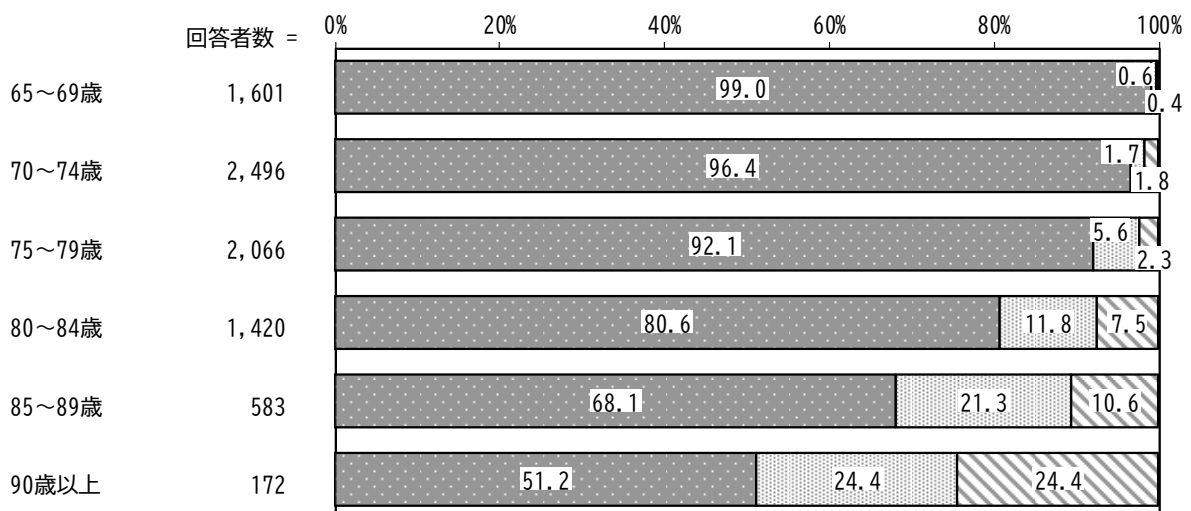
【性別】

性別にみると、『要支援認定者（「要支援 1」と「要支援 2」の合計）』では、男性が 6.9%、女性が 12.0%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、『要支援認定者』では、年齢が上がるにつれて割合が高くなっており、90歳以上が 48.8%で最も高くなっています。

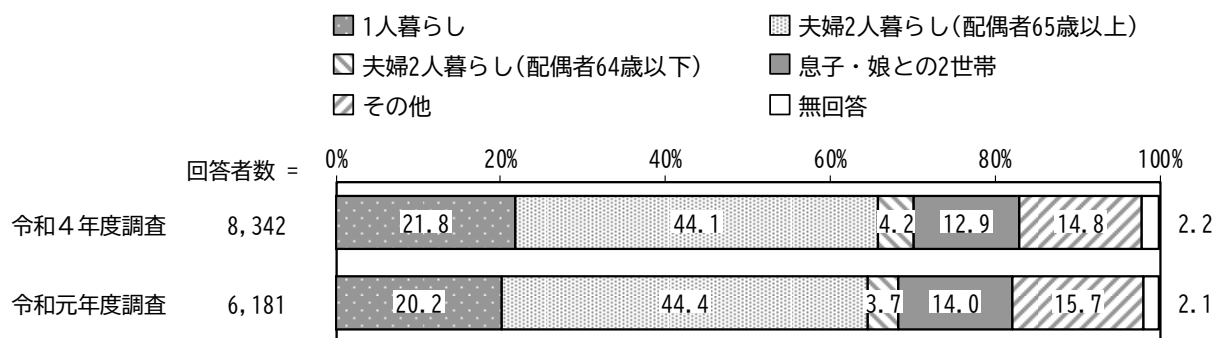


(2) 家族や生活状況について

問1 (1) 家族構成をお教えてください (〇はひとつ)

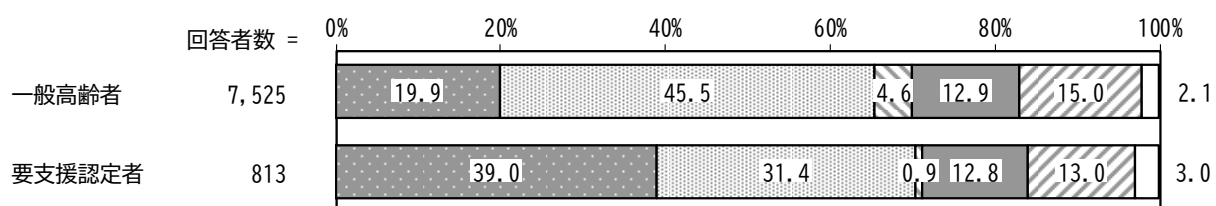
「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が44.1%と最も高く、次いで「1人暮らし」の割合が21.8%、「息子・娘との2世帯」の割合が12.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



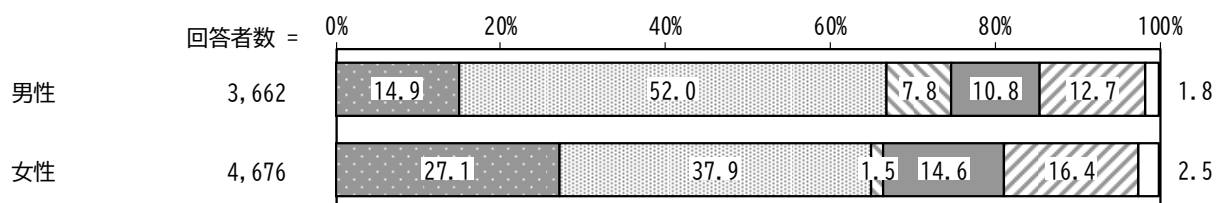
【認定状況別】

認定状況別にみると、要支援認定者で「1人暮らし」の割合が高くなっています。



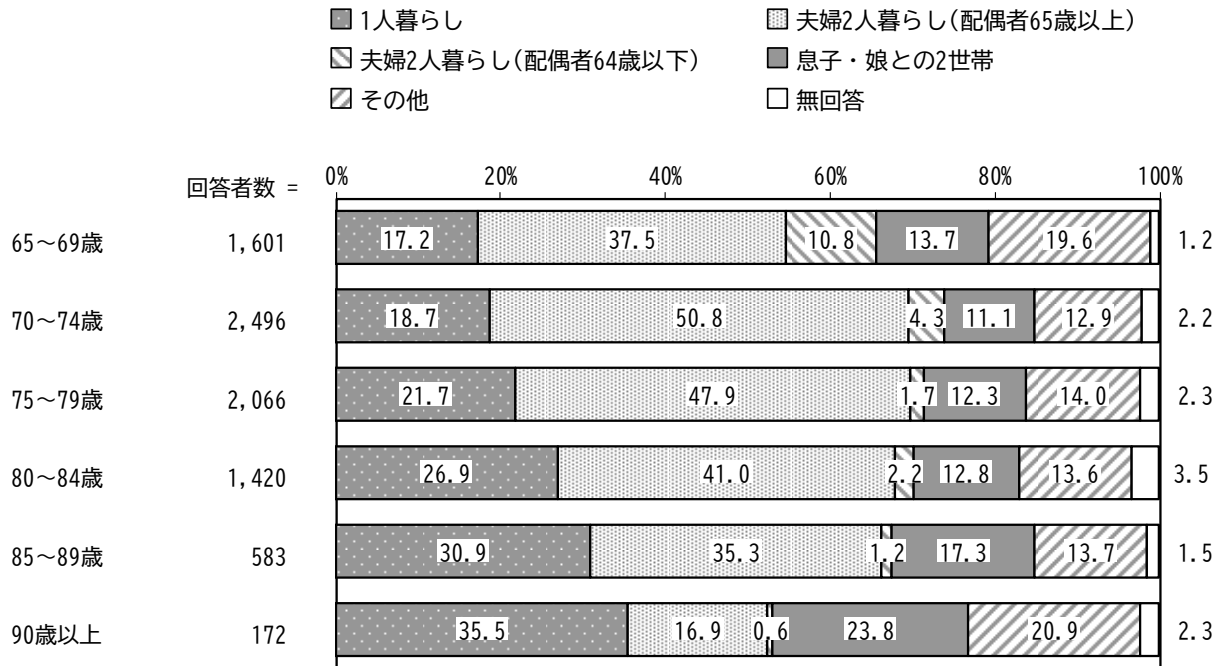
【性別】

性別にみると、男性で「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が、女性で「1人暮らし」の割合が高くなっています。



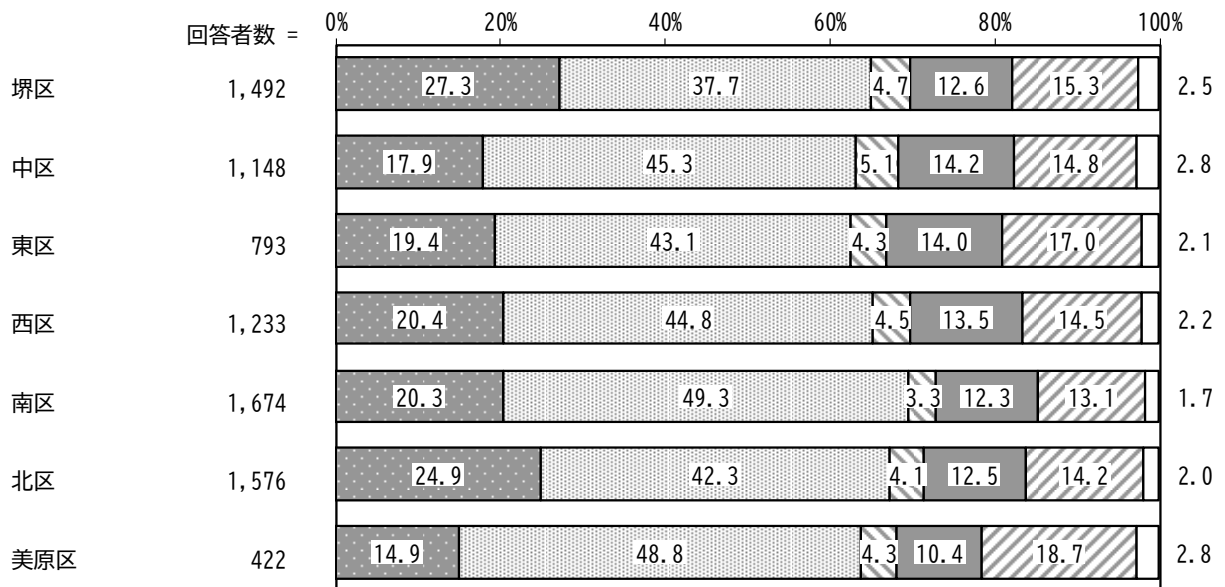
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「1人暮らし」「息子・娘との2世帯」の割合が概ね高くなっています。



【区域別】

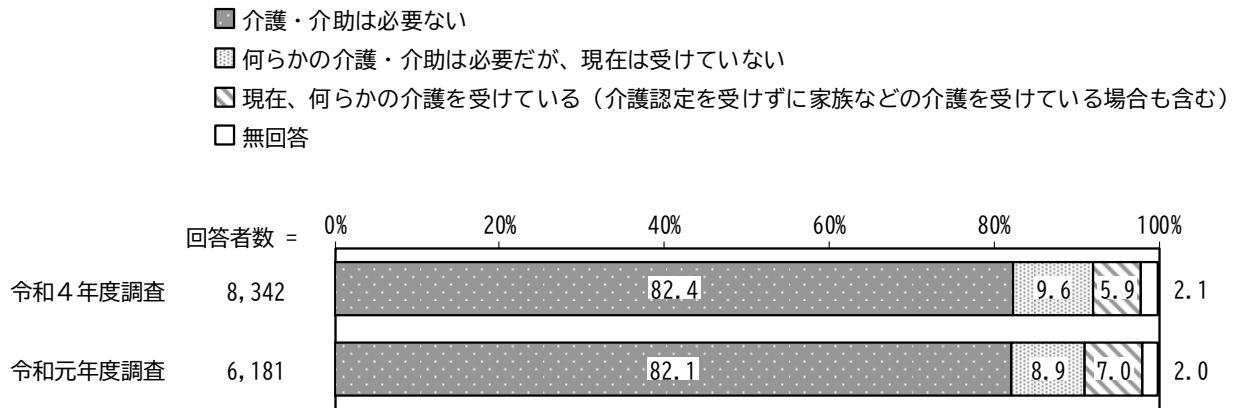
区域別にみると、堺区と北区で「1人暮らし」の割合がやや高くなっています。



問1 (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (〇はひとつ)

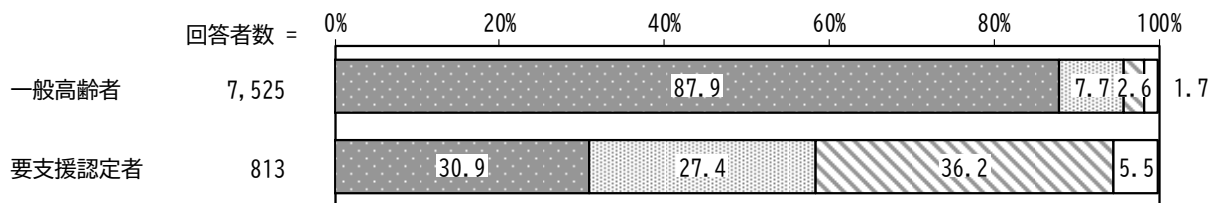
「介護・介助は必要ない」の割合が82.4%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が9.6%、「現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」の割合が5.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



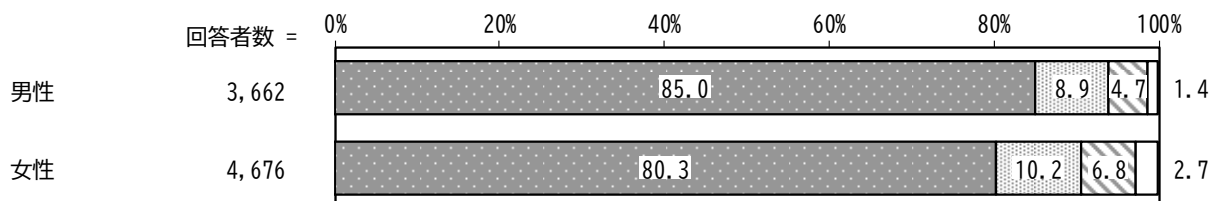
【認定状況別】

認定状況別にみると、一般高齢者で「介護・介助は必要ない」の割合が高く、要介護認定者では「現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」の割合が36.2%、次いで「介護・介助は必要ない」の割合が30.9%となっています。



【性別】

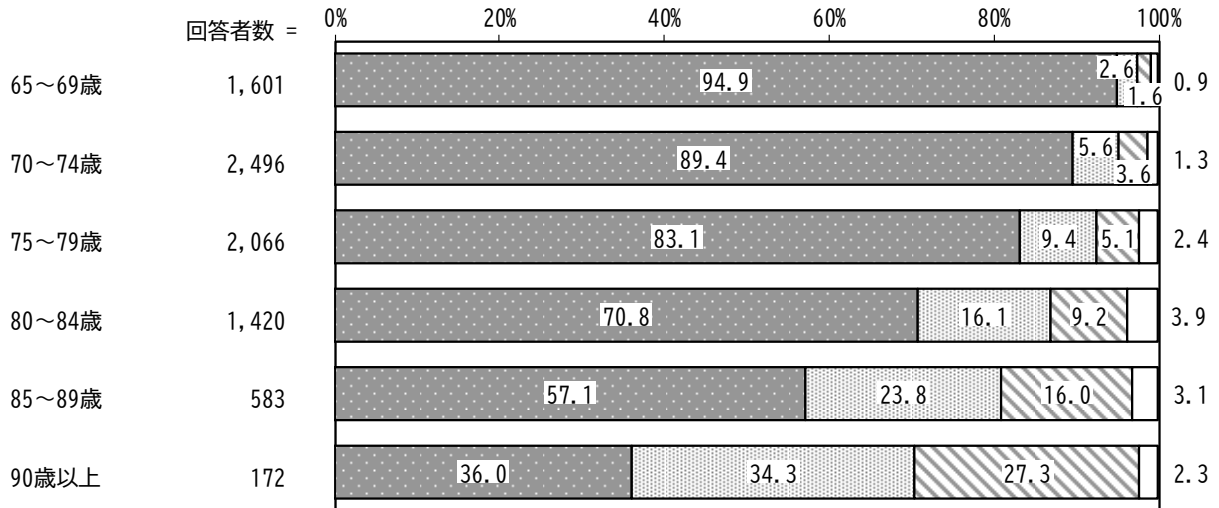
性別にみると、「介護・介助は必要ない」では、男性85.0%で、女性(80.3%)よりも4.7ポイント高くなっています。



【年齢別】

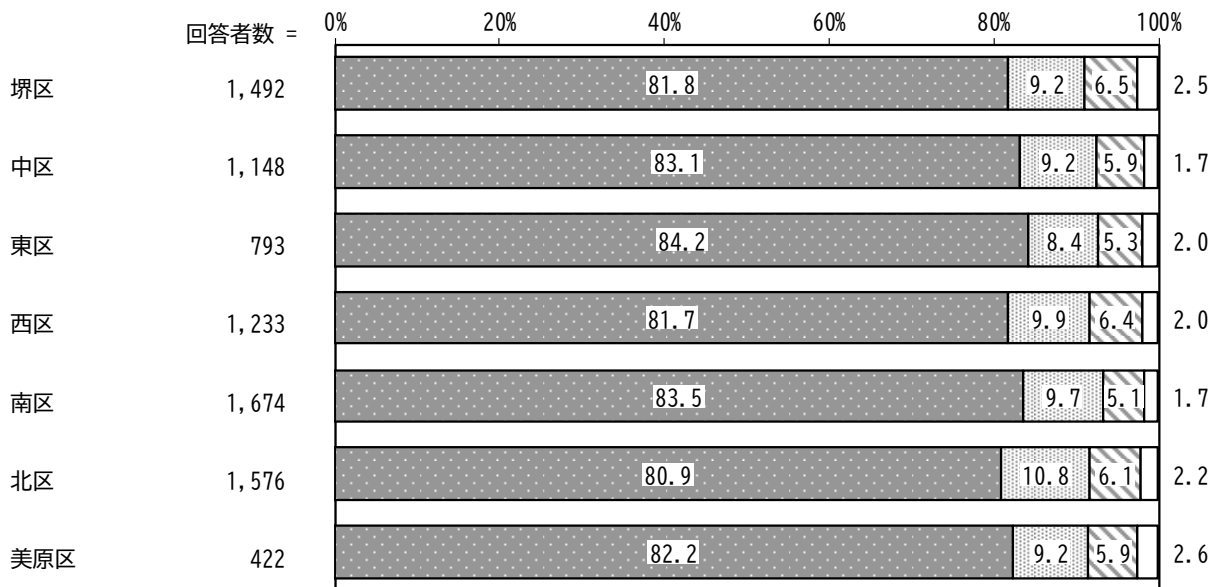
年齢別にみると、年齢が上がるにつれ、「介護・介助は必要ない」の割合が低くなっています。

- 介護・介助は必要ない
- ▨ 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- ▩ 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）
- 無回答



【区域別】

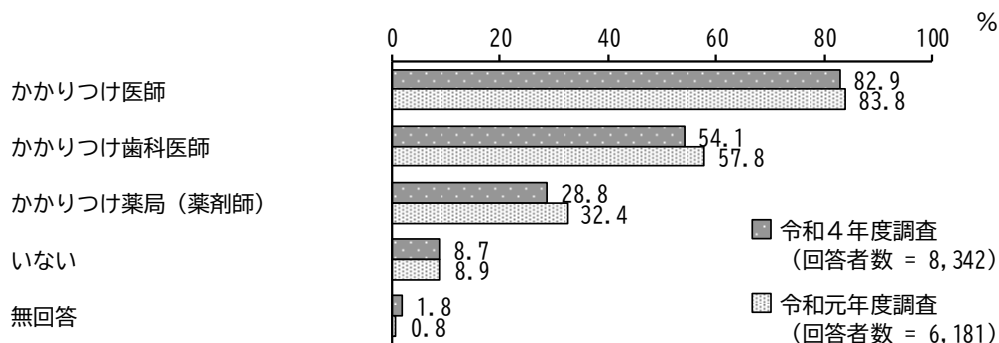
区域別にみると、大きな差はみられません。



問1 (3) 医療や介護、健康について相談でき、必要なときには専門機関などを紹介してくれる「かかりつけ」があると安心です。定期的に通っていたり、必要な時に診療や相談しようと思う、かかりつけの医師・歯科医師・薬剤師はいますか
(〇はいくつでも)

「かかりつけ医師」の割合が82.9%と最も高く、次いで「かかりつけ歯科医師」の割合が54.1%、「かかりつけ薬局（薬剤師）」の割合が28.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「かかりつけ医師」が0.9ポイント、「かかりつけ歯科医師」が3.7ポイント、「かかりつけ薬局（薬剤師）」が3.4ポイント低くなっています。



【認定状況別】

認定状況別にみると、「いない」では、一般高齢者が9.3%で、要支援認定者（3.1%）よりも6.2ポイント高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	かかりつけ医師	かかりつけ歯科医師	かかりつけ薬局 (薬剤師)	いない	無回答
全体	8,342	82.9	54.1	28.8	8.7	1.8
一般高齢者	7,525	82.1	54.5	27.6	9.3	1.7
要支援認定者	813	90.7	50.8	39.7	3.1	3.2

【性別】

性別にみると、「いない」では、男性が10.6%で、女性（7.2%）よりも3.4ポイント高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	かかりつけ医師	かかりつけ歯科医師	かかりつけ薬局 (薬剤師)	いない	無回答
全体	8,342	82.9	54.1	28.8	8.7	1.8
男性	3,662	82.6	47.8	24.3	10.6	1.6
女性	4,676	83.2	59.1	32.3	7.2	2.0

【年齢別】

年齢別にみると、「いない」では、65～69歳の割合が13.9%、70～74歳の割合が9.9%と高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	かかりつけ医師	かかりつけ 歯科医師	かかりつけ薬局 (薬剤師)	いない	無回答
全 体	8,342	82.9	54.1	28.8	8.7	1.8
65～69歳	1,601	74.1	51.5	20.0	13.9	0.9
70～74歳	2,496	81.3	53.6	27.8	9.9	1.4
75～79歳	2,066	87.0	59.5	32.9	6.5	1.5
80～84歳	1,420	87.0	54.3	33.0	5.4	3.6
85～89歳	583	87.5	47.9	32.2	6.3	2.9
90歳以上	172	89.5	41.9	29.1	5.2	1.7

【区域別】

区域別にみると、「いない」では、美原区、南区、堺区の順で高くなっています。

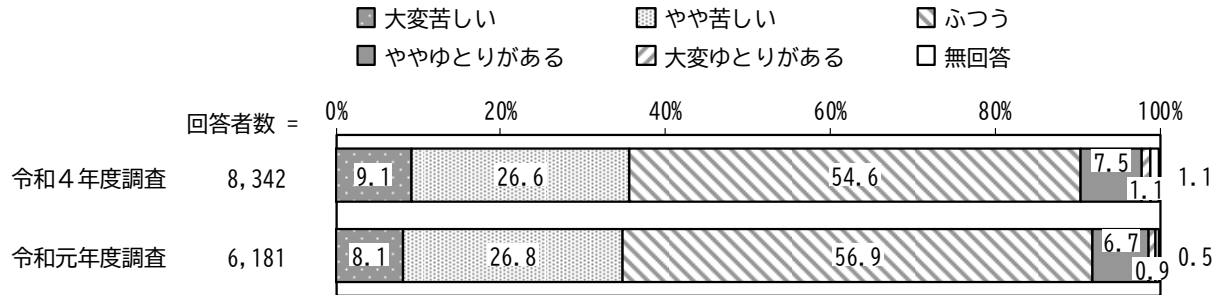
単位：%

区分	回答者数 (件)	かかりつけ医師	かかりつけ 歯科医師	かかりつけ薬局 (薬剤師)	いない	無回答
全 体	8,342	82.9	54.1	28.8	8.7	1.8
堺区	1,492	82.0	52.3	30.8	9.2	2.5
中区	1,148	84.7	53.7	29.3	7.9	1.7
東区	793	82.7	56.1	21.8	8.8	1.0
西区	1,233	83.4	54.9	31.1	8.6	1.5
南区	1,674	81.2	54.4	26.0	9.7	1.4
北区	1,576	84.3	55.5	31.5	7.4	2.3
美原区	422	82.0	49.5	28.0	10.0	2.1

問1 (4) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (〇はひとつ)

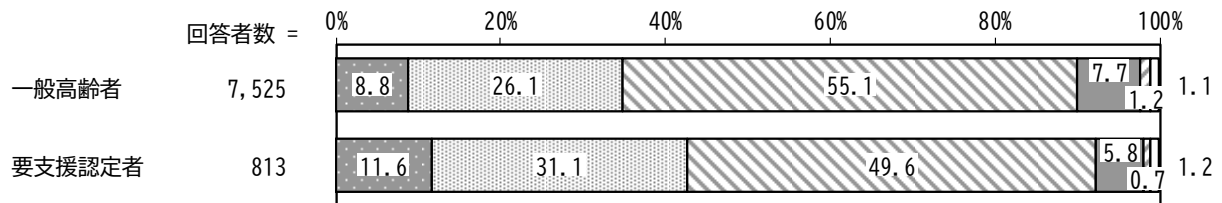
「ふつう」の割合が54.6%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が26.6%、「大変苦しい」の割合が9.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



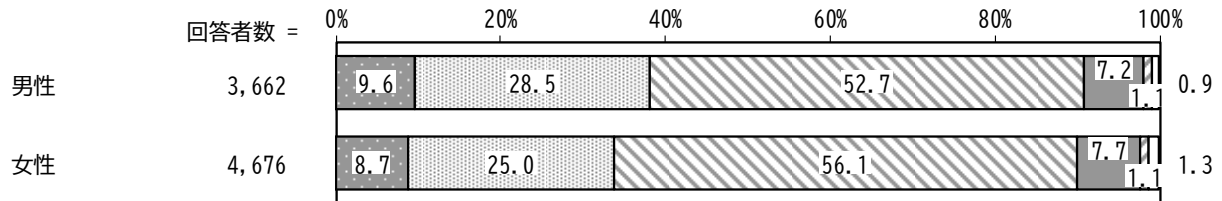
【認定状況別】

認定状況別にみると、『苦しい（「大変苦しい」と「やや苦しい」の合計）』では、要支援認定者が42.7%で、一般高齢者（34.9%）よりも7.8ポイント高くなっています。



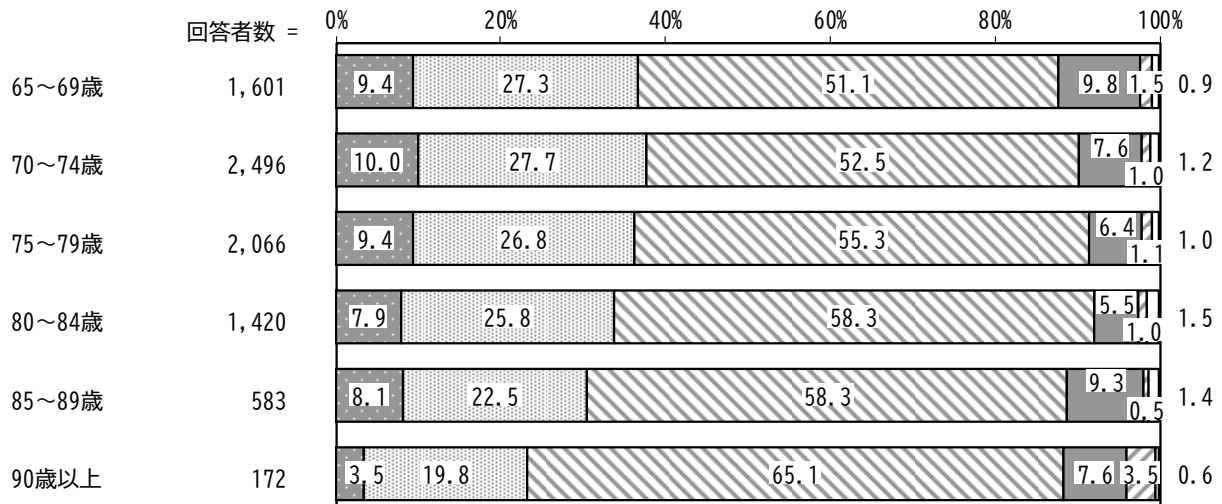
【性別】

性別にみると、『苦しい』では、男性が38.1%で、女性（33.7%）よりも4.4ポイント高くなっています。



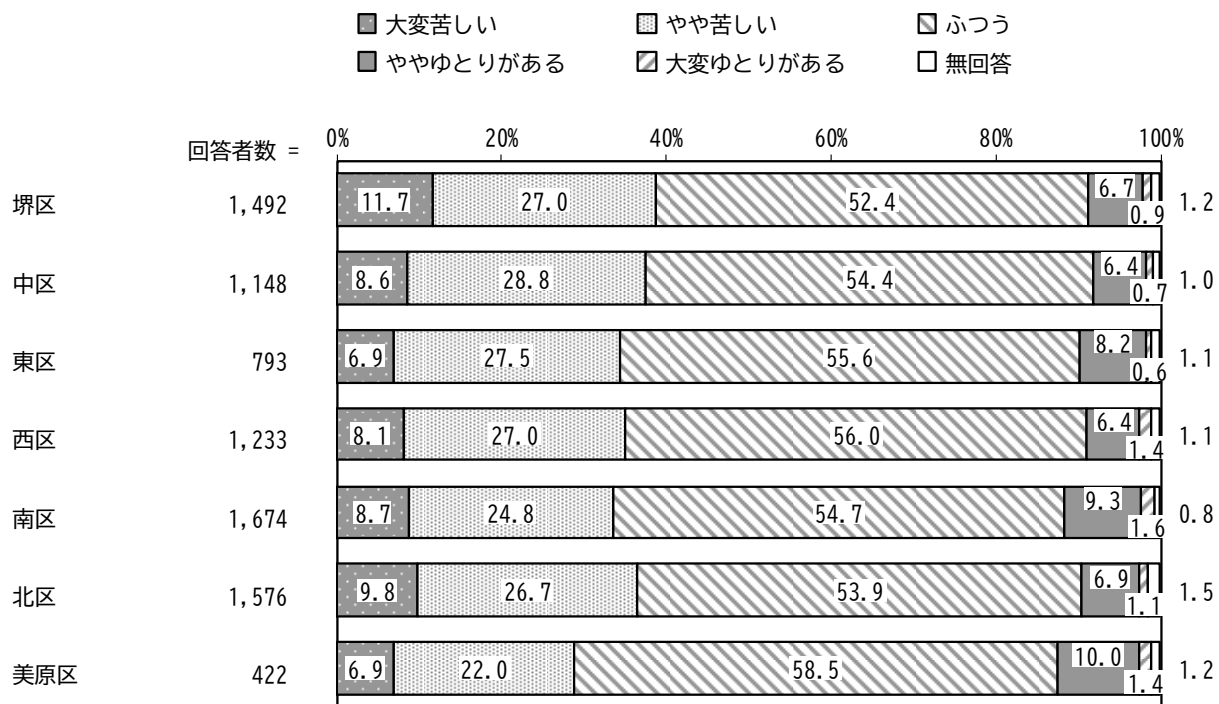
【年齢別】

年齢別にみると、「ふつう」では、年齢が上がるにつれて割合が高くなっており、90歳以上が65.1%で最も高くなっています。



【区域別】

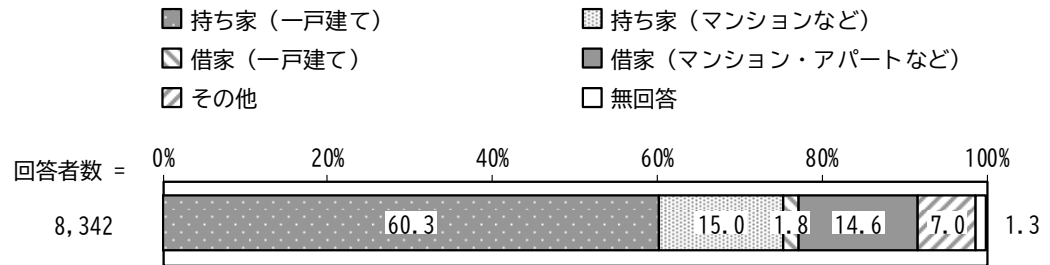
区域別にみると、『苦しい』では、堺区が38.7%で最も高く、美原区は28.9%で最も低くなっています。



(3) 住まいについて

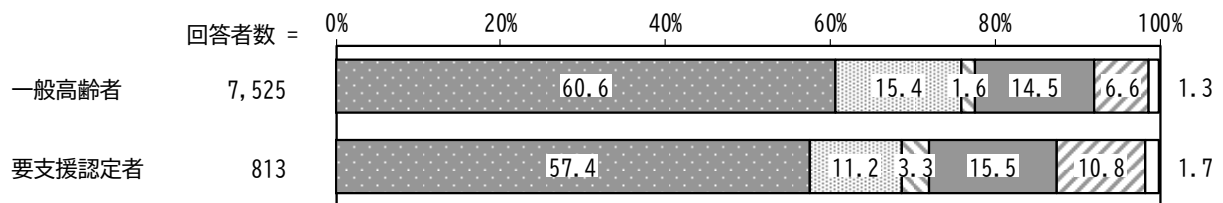
問2 (1) 現在のお住まいをお教えてください (○はひとつ)

「持ち家（一戸建て）」の割合が60.3%と最も高く、次いで「持ち家（マンションなど）」の割合が15.0%、「借家（マンション・アパートなど）」の割合が14.6%となっています。



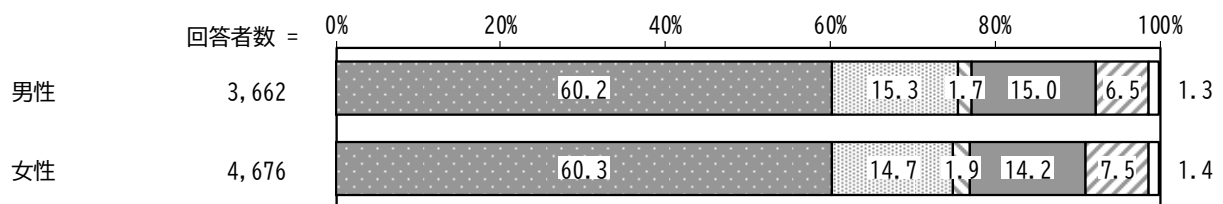
【認定状況別】

認定状況別にみると、大きな差はみられません。



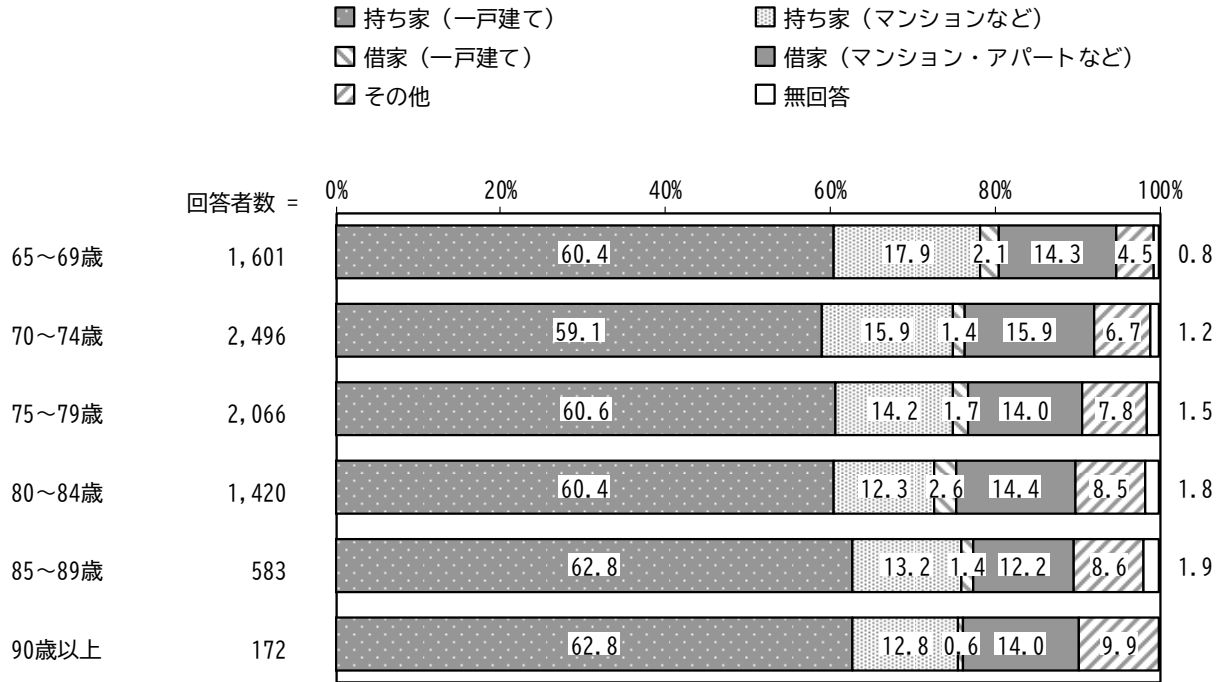
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



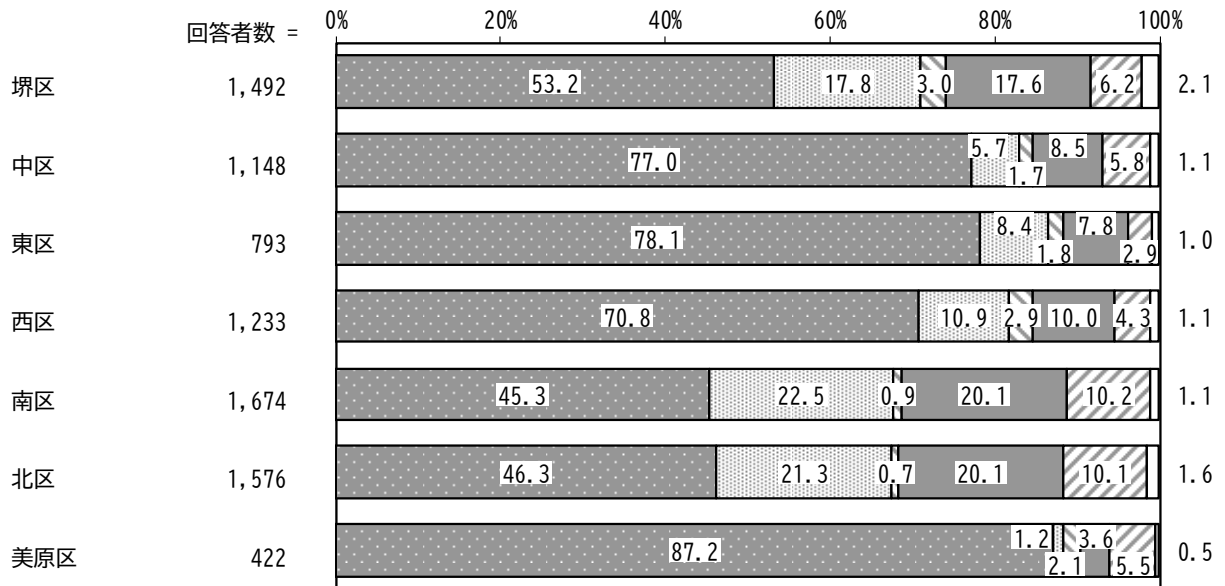
【年齢別】

年齢別にみると、大きな差はみられません。



【区域別】

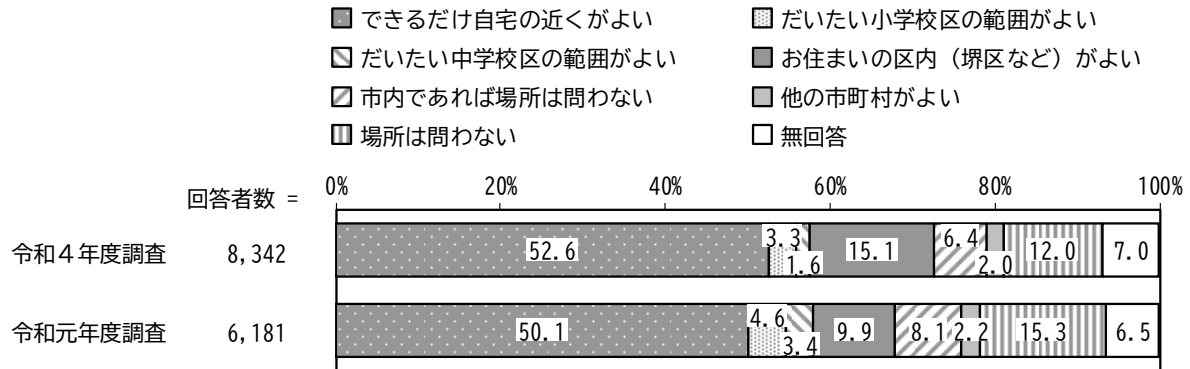
区域別にみると、『持ち家（「一戸建て」と「マンション」の合計）』では、堺区 71.0%、南区 67.8%、北区 67.6%で持ち家の割合がやや低くなっています。



問2 (2) 高齢者向けの住宅などに住み替えたり、介護保険施設に入所することになったら、希望する場所はどこですか (〇はひとつ)

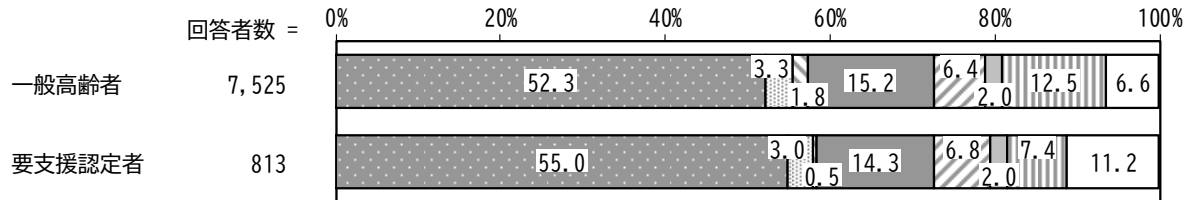
「できるだけ自宅の近くがよい」の割合が52.6%と最も高く、次いで「お住まいの区内(堺区など)がよい」の割合が15.1%、 「場所は問わない」の割合が12.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「お住まいの区内(堺区など)がよい」の割合が増加しています。



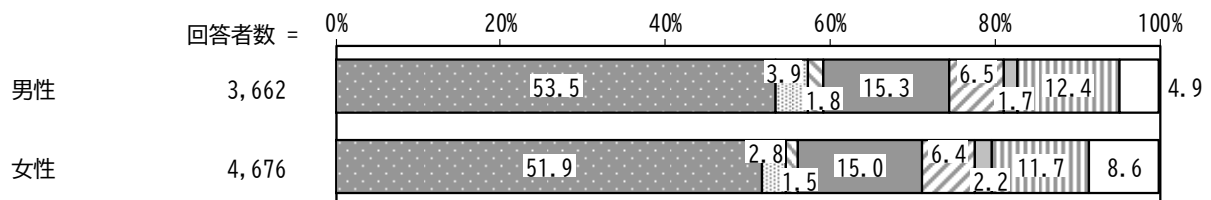
【認定状況別】

認定状況別にみると、「場所は問わない」では、一般高齢者が12.5%で、要支援認定者(7.4%)よりも5.1ポイント高くなっています。



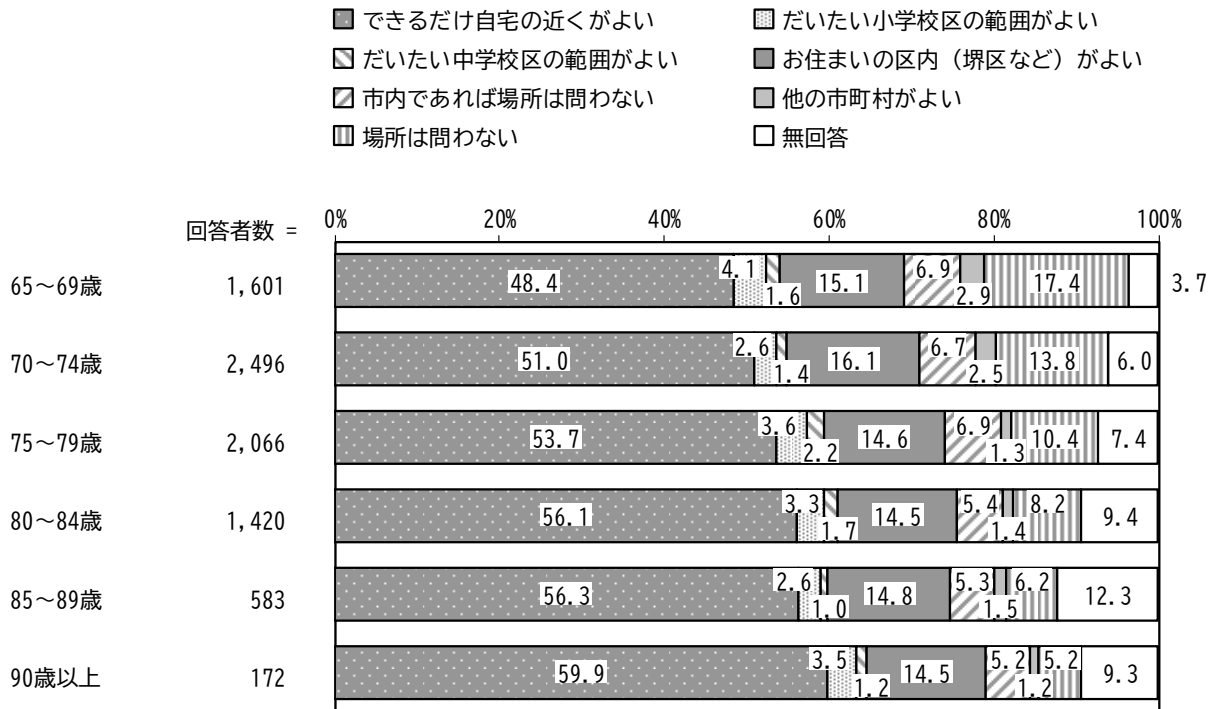
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



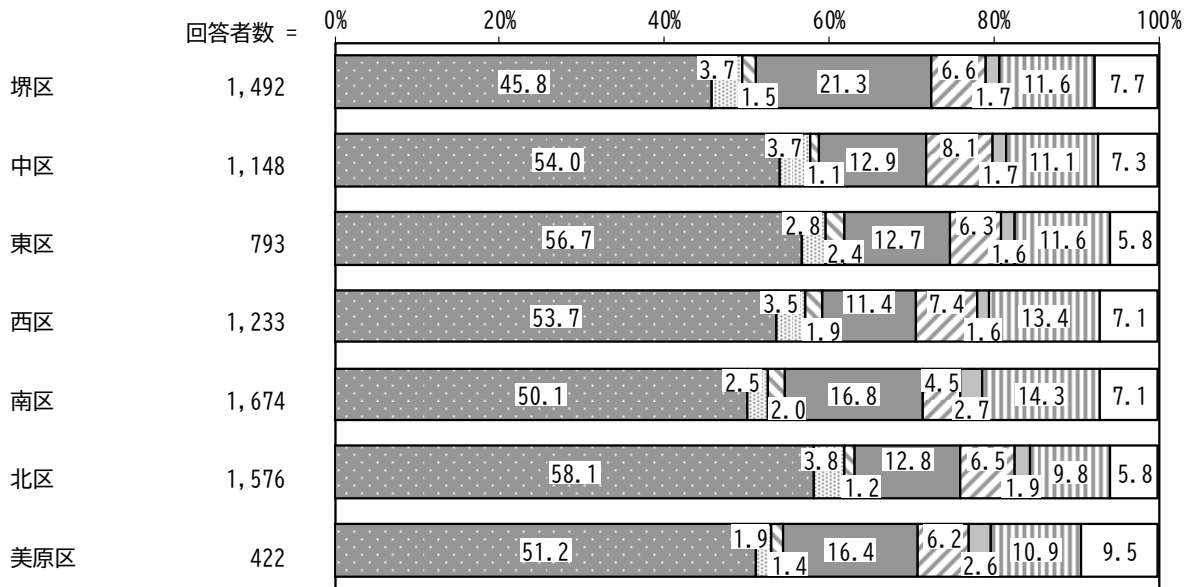
【年齢別】

年齢別にみると、65～69歳、70～74歳で「場所を問わない」の割合が全体より高く、年齢が上がるにつれ、「できるだけ自宅の近くがよい」の割合が高くなっています。



【区域別】

区域別にみると、堺区で「お住まいの区内（堺区など）がよい」の割合が、北区で「できるだけ自宅の近くがよい」の割合が高くなっています。

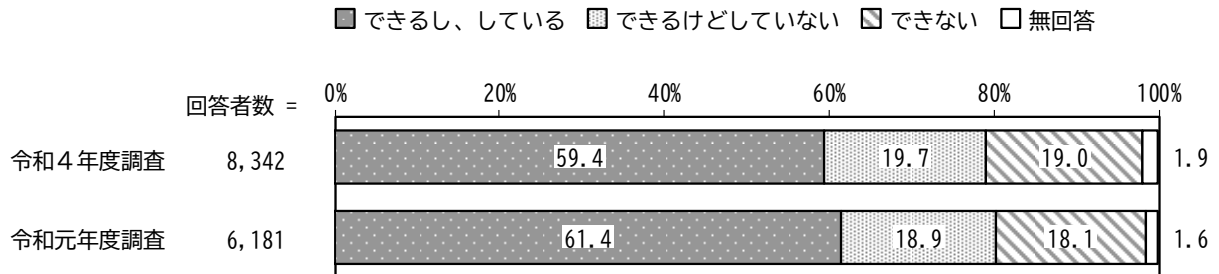


(4) からだを動かすことについて

問3 (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○はひとつ)

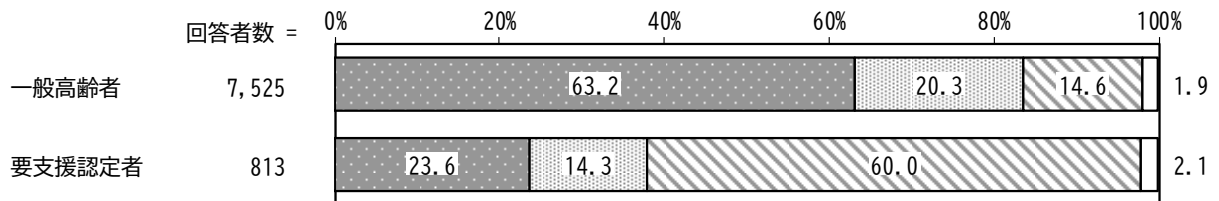
「できるし、している」の割合が59.4%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が19.7%、「できない」の割合が19.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



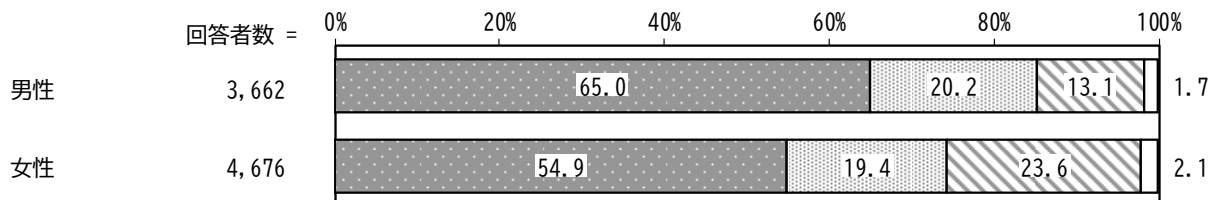
【認定状況別】

認定状況別にみると、要支援認定者で「できない」の割合が高くなっています。



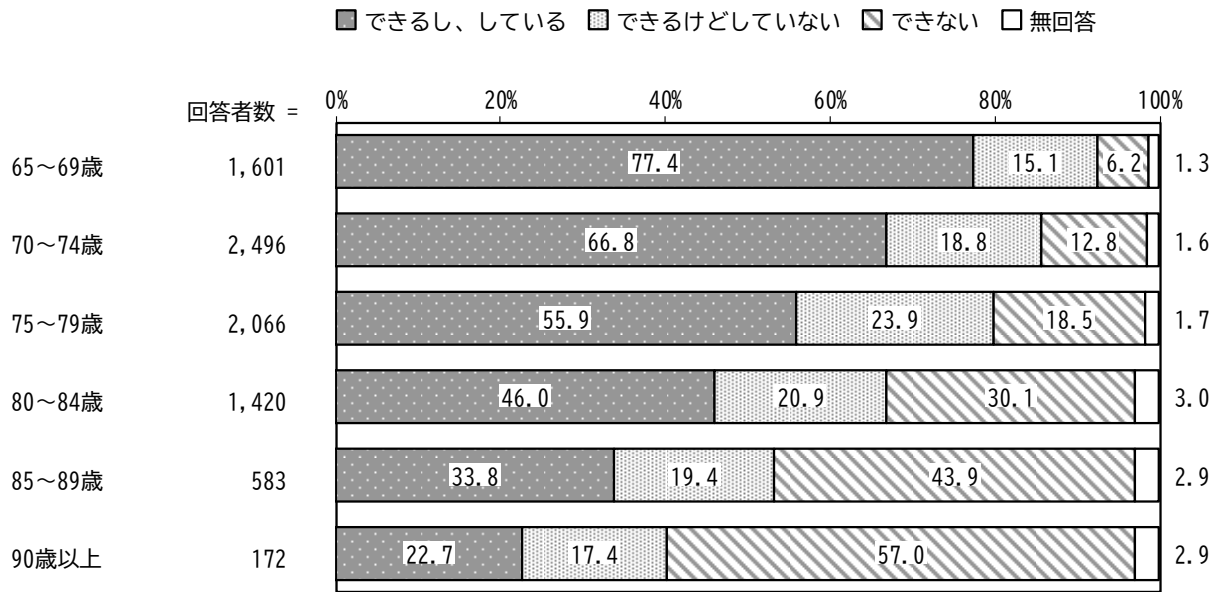
【性別】

性別にみると、男性で「できるし、している」の割合が高くなっています。



【年齢別】

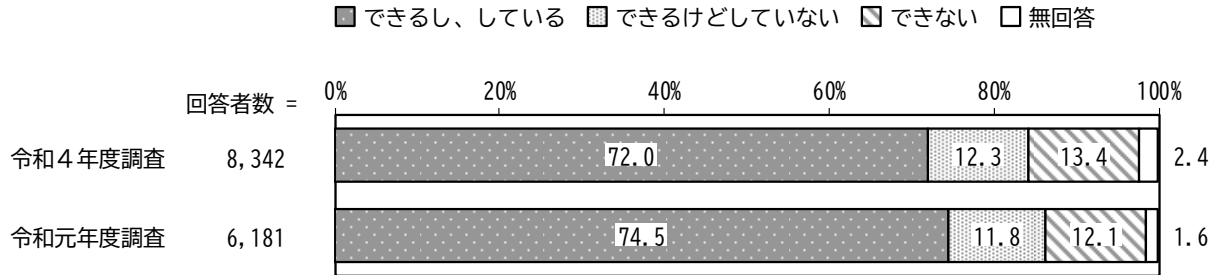
年齢別にみると、年齢が上がるにつれ、「できない」の割合が高くなっています。



問3 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○はひとつ)

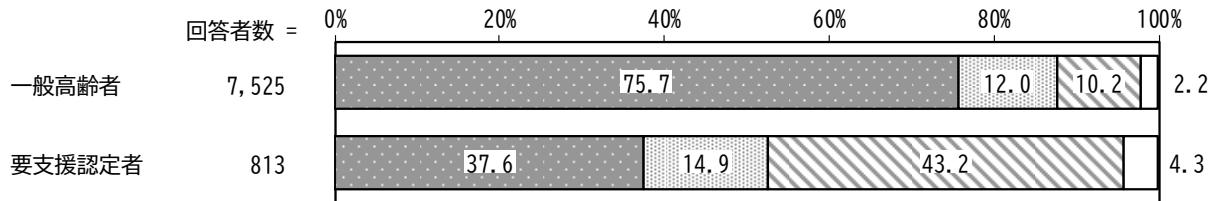
「できるし、している」の割合が72.0%と最も高く、次いで「できない」の割合が13.4%、「できるけどしていない」の割合が12.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



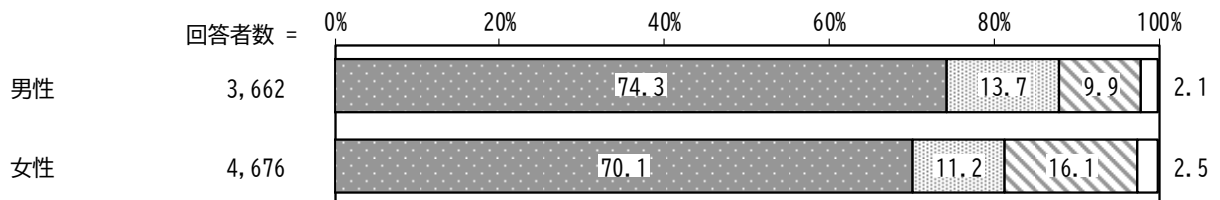
【認定状況別】

認定状況別にみると、要支援認定者で「できない」の割合が高くなっています。



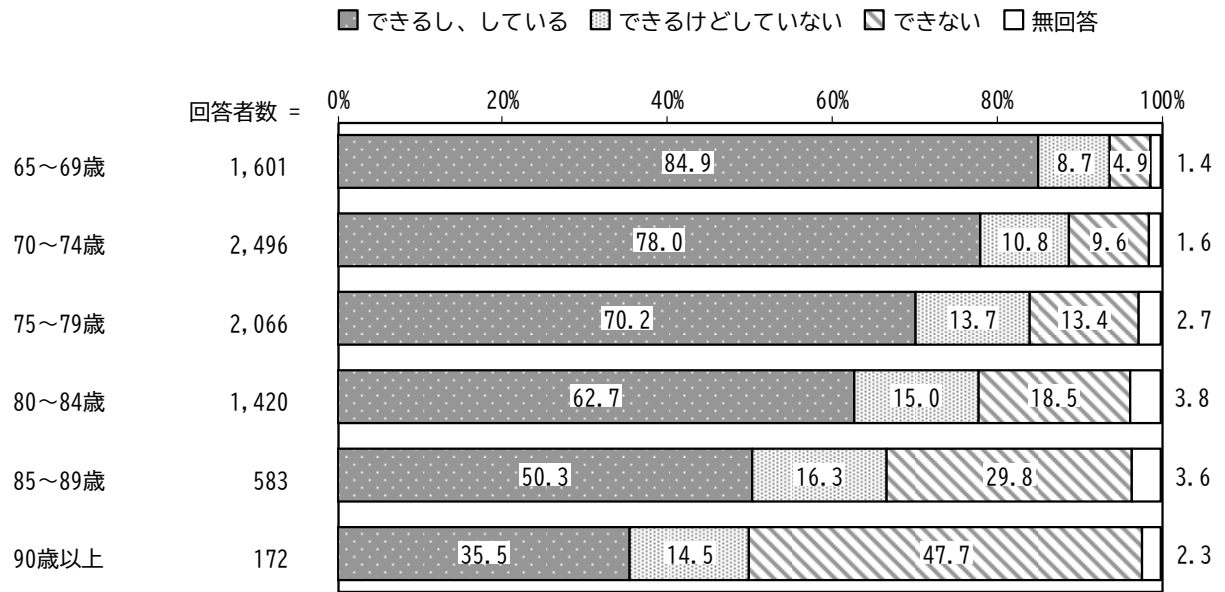
【性別】

性別にみると、「できない」では、女性が16.1%で、男性(9.9%)よりも6.2ポイント高くなっています。



【年齢別】

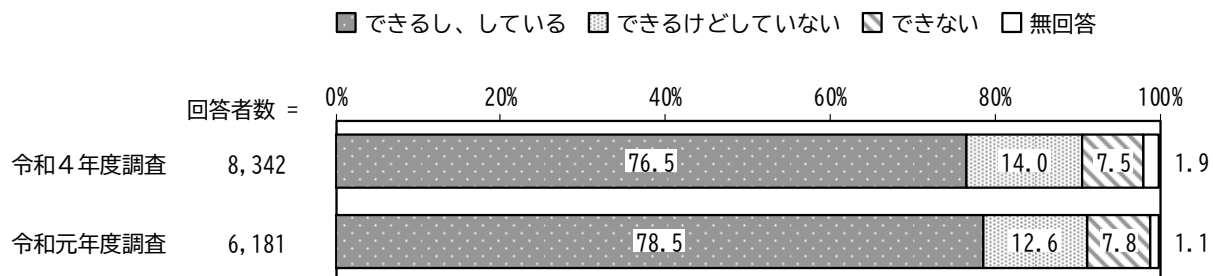
年齢別にみると、年齢が上がるにつれ、「できない」の割合が高くなっています。



問3 (3) 15分位続けて歩いていますか (○はひとつ)

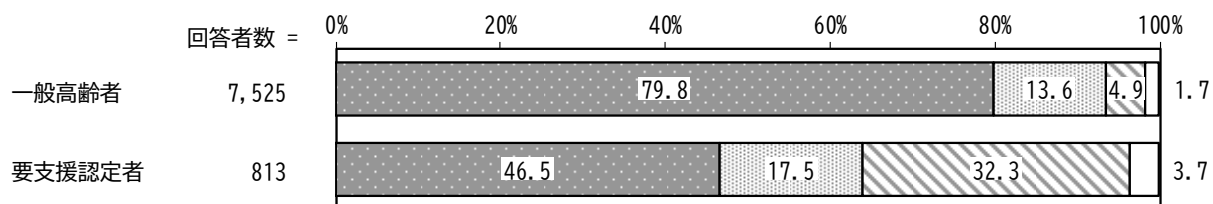
「できるし、している」の割合が76.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が14.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



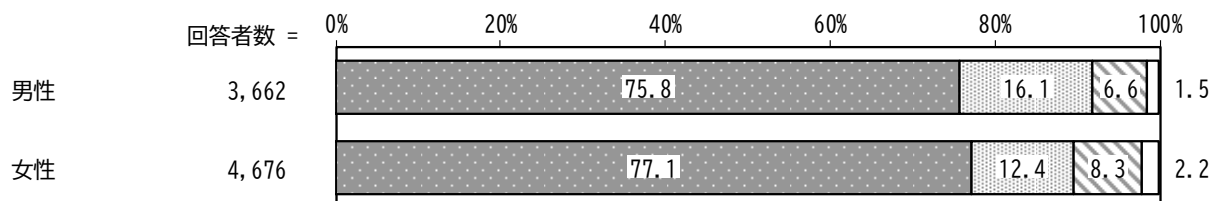
【認定状況別】

認定状況別にみると、「できない」では、要介護認定者で32.3%で、一般高齢者(4.9%)よりも27.4ポイント高くなっています。



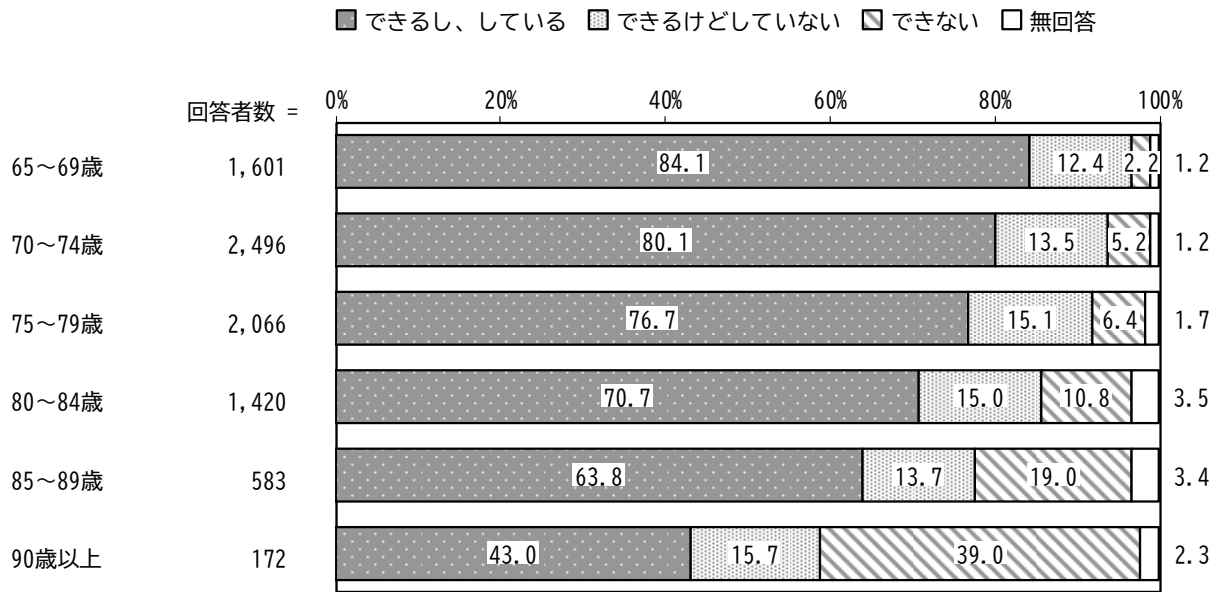
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



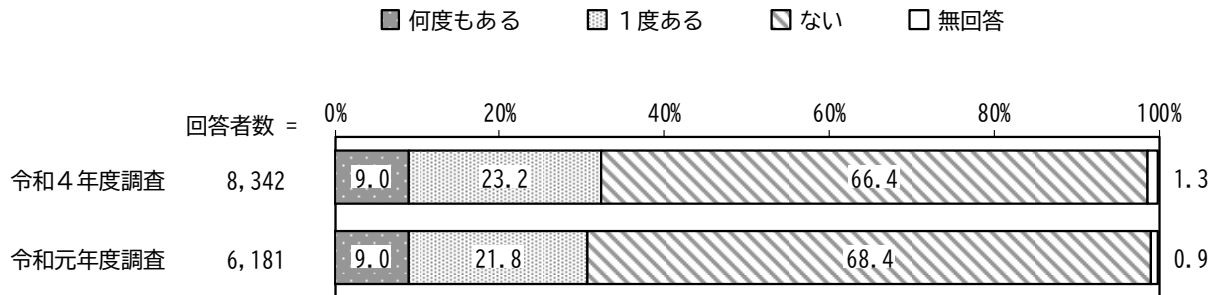
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるにつれ、「できない」の割合が高くなっています。



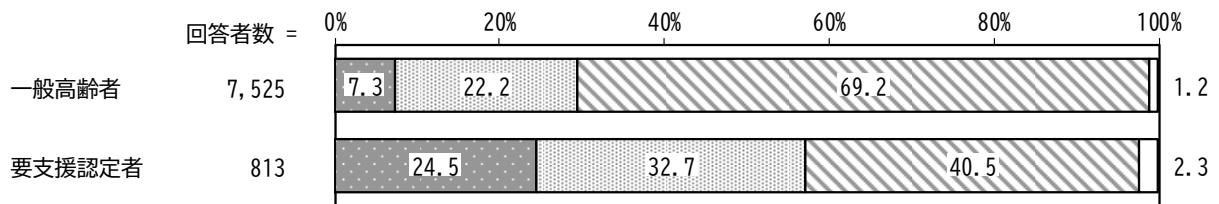
問3(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか(○はひとつ)

「ない」の割合が66.4%と最も高く、次いで「1度ある」の割合が23.2%となっています。令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



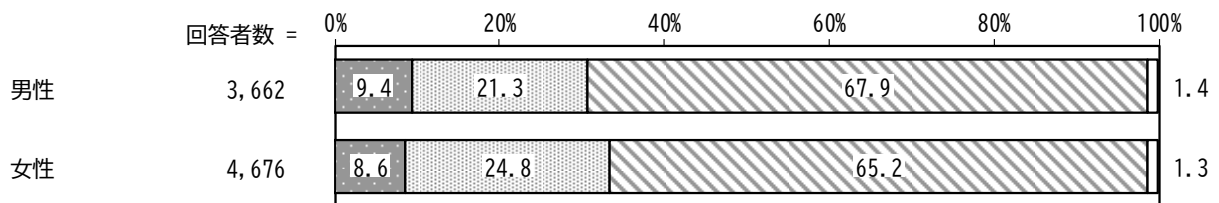
【認定状況別】

認定状況別にみると、要支援認定者で「何度もある」、「1度ある」の割合が高くなっています。



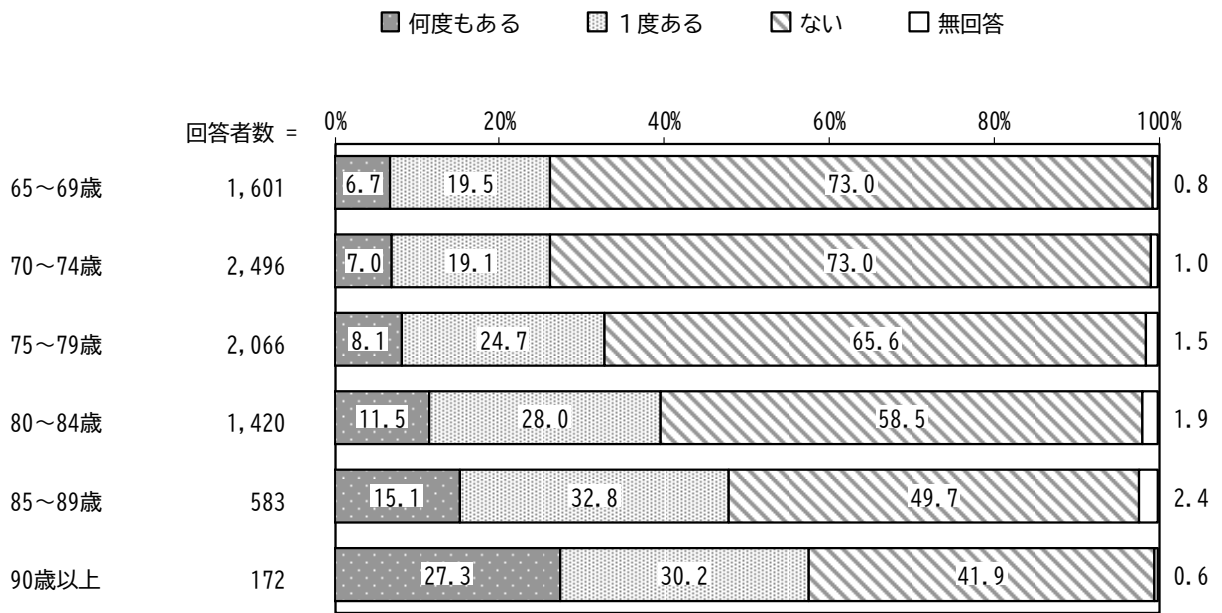
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年齢別】

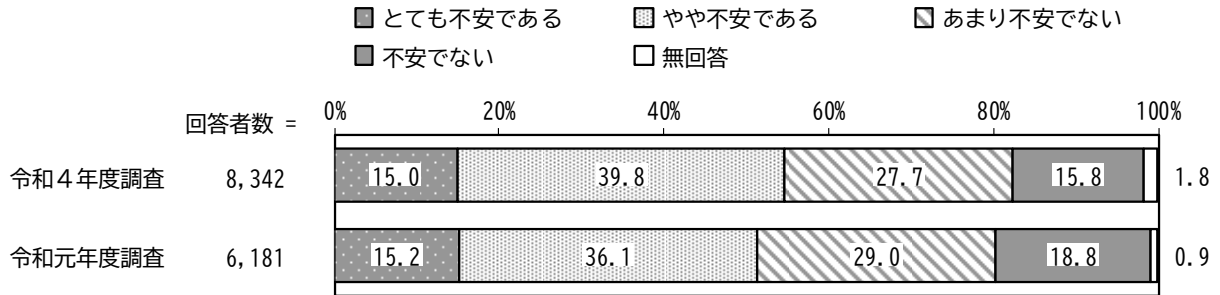
年齢別にみると、年齢が上がるにつれ、「ない」の割合が低くなっています。



問3 (5) 転倒に対する不安は大きいですか (○はひとつ)

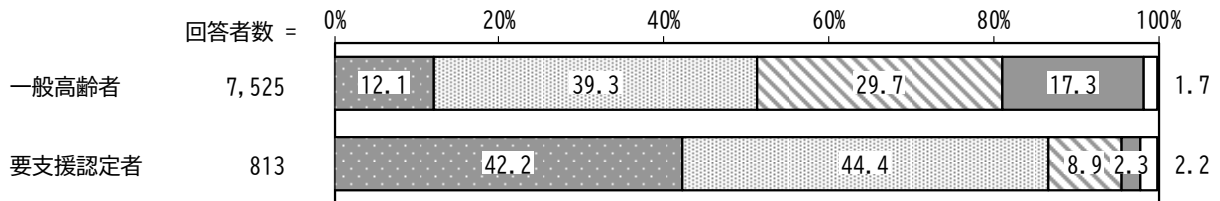
「やや不安である」の割合が39.8%と最も高く、次いで「あまり不安でない」の割合が27.7%、「不安でない」の割合が15.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



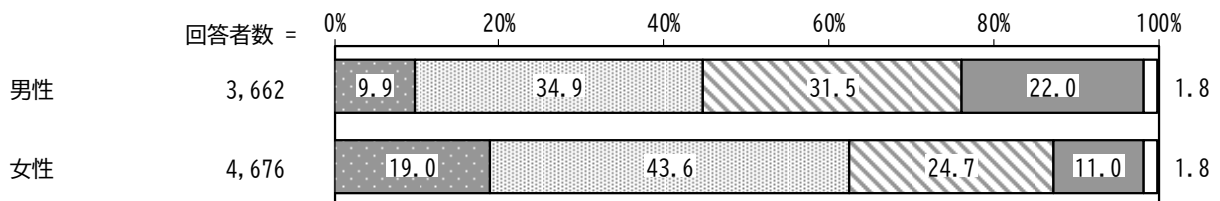
【認定状況別】

認定状況別にみると、『不安である(「とても不安である」と「やや不安である」の合計)』では、一般高齢者は51.4%、要支援認定者は86.6%となっています。



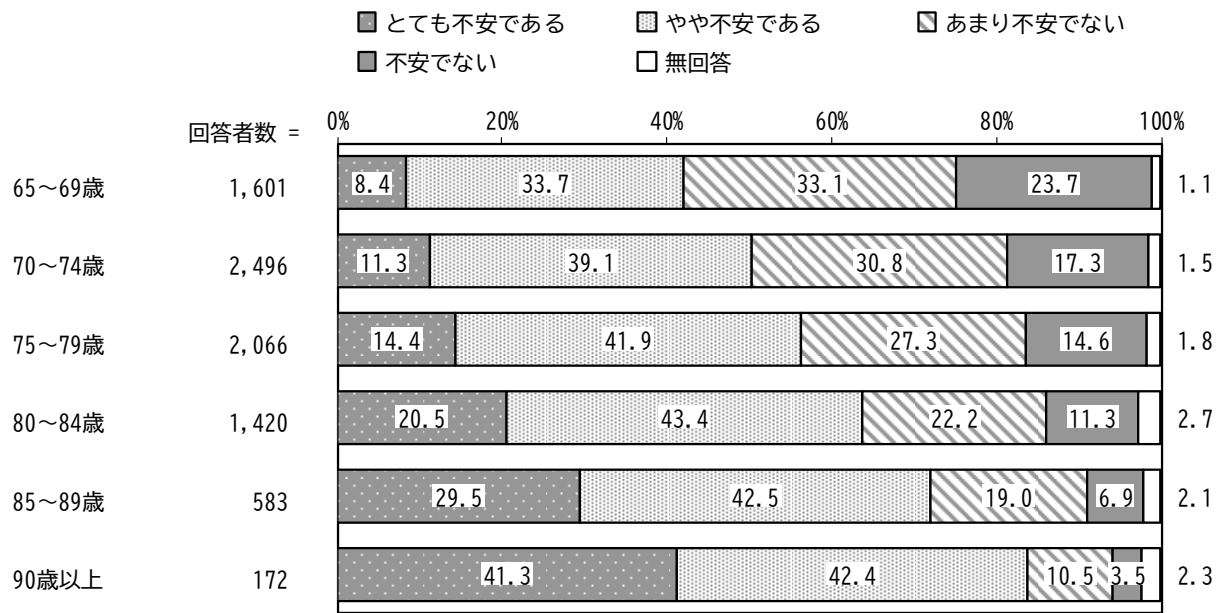
【性別】

性別にみると、女性の『不安である』の割合は、男性よりも高くなっています。



【年齢別】

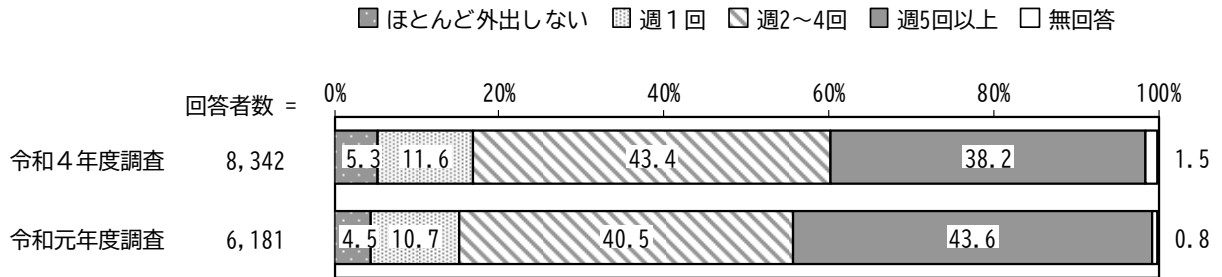
年齢別にみると、年齢が上がるにつれ、『不安である』の割合が高くなっています。



問3 (6) 週に1回以上は外出していますか (○はひとつ)

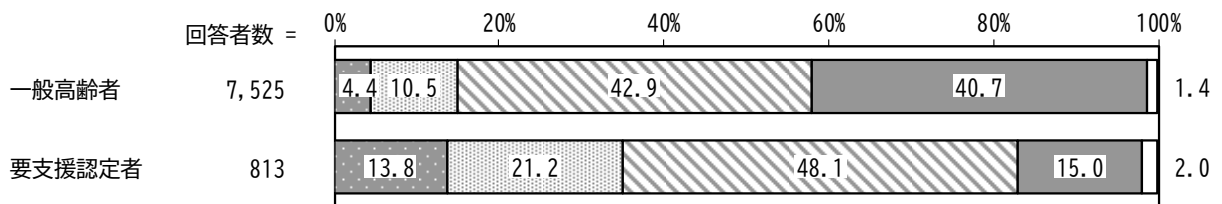
「週2~4回」の割合が43.4%と最も高く、次いで「週5回以上」の割合が38.2%、「週1回」の割合が11.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「週5回以上」の割合が減少しています。



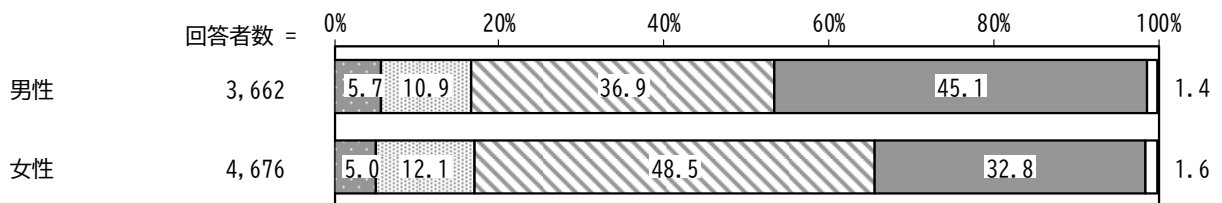
【認定状況別】

認定状況別にみると、「ほとんど外出しない」では、要支援認定者が13.8%で、一般高齢者(4.4%)よりも9.4ポイント高くなっています。



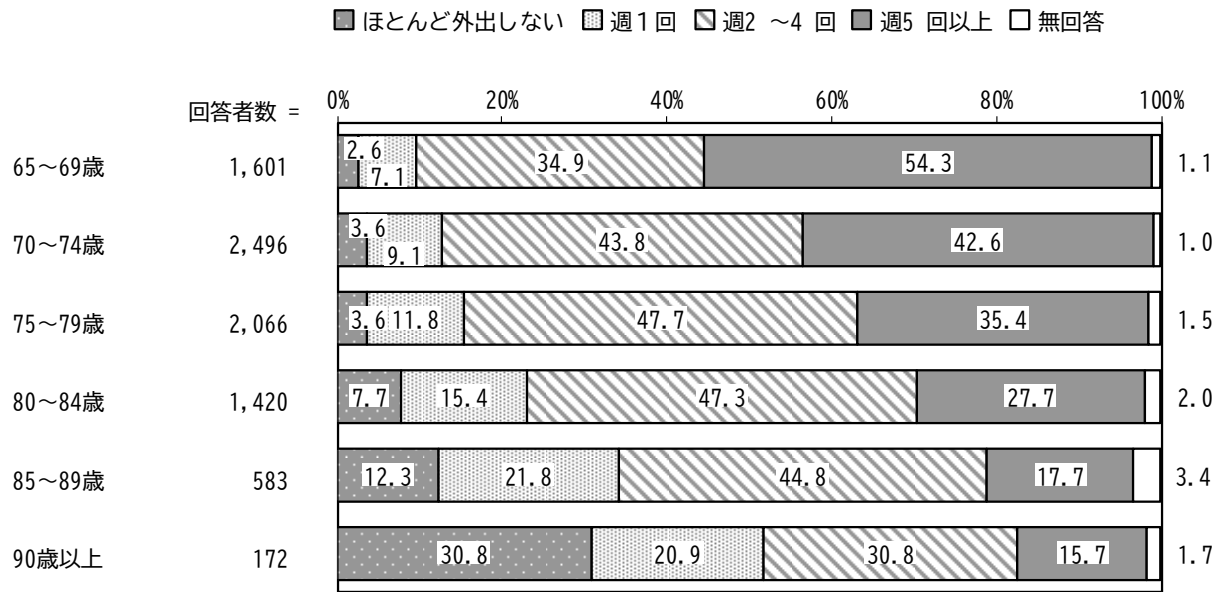
【性別】

性別にみると、「週5回以上」では、男性が45.1%で、女性(32.8%)よりも12.3ポイント高くなっています。



【年齢別】

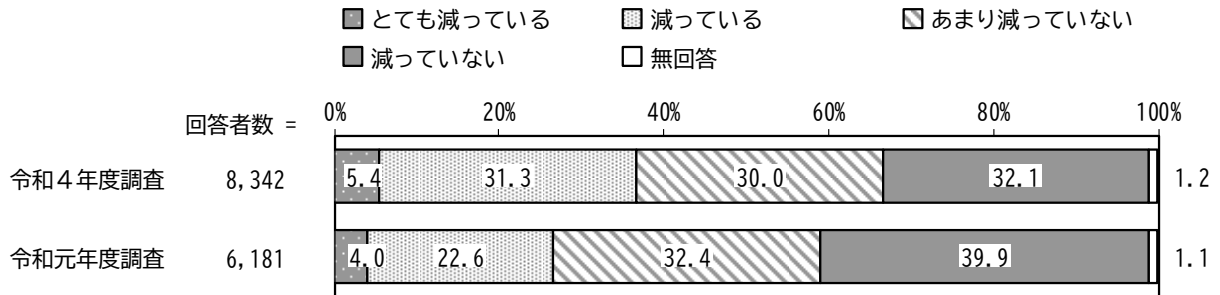
年齢別にみると、年齢が上がるにつれ、「ほとんど外出しない」の割合が高くなっています。



問3 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (〇はひとつ)

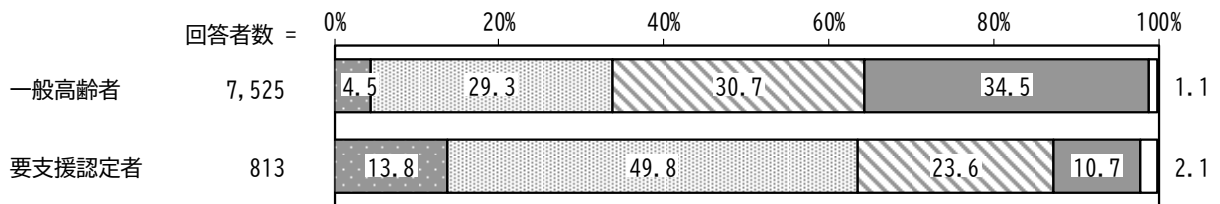
『減っている (「とても減っている」と「減っている」の合計)』の割合が 36.7%、『減っていない (「あまり減っていない」と「減っていない」の合計)』の割合が 62.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、『減っている』では、令和4年度が 36.7%で、令和元年度(26.6%)よりも 10.1 ポイント高くなっています。



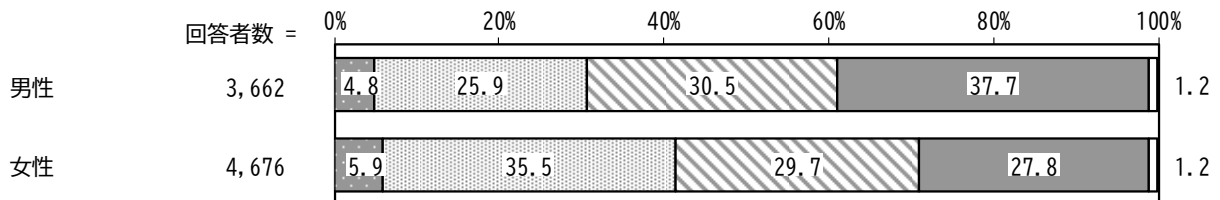
【認定状況別】

認定状況別にみると、要支援認定者の「とても減っている」、「減っている」の割合が高くなっています。



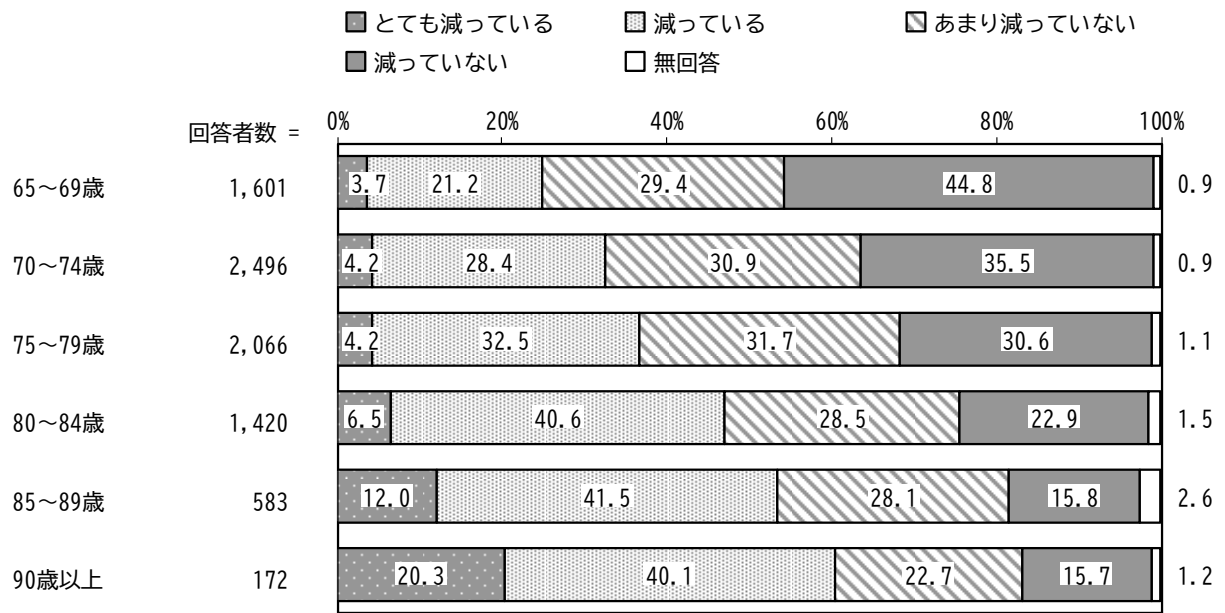
【性別】

性別にみると、女性の『減っている』の割合が男性よりも高くなっています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるにつれ、『減っている』の割合が高くなっています。



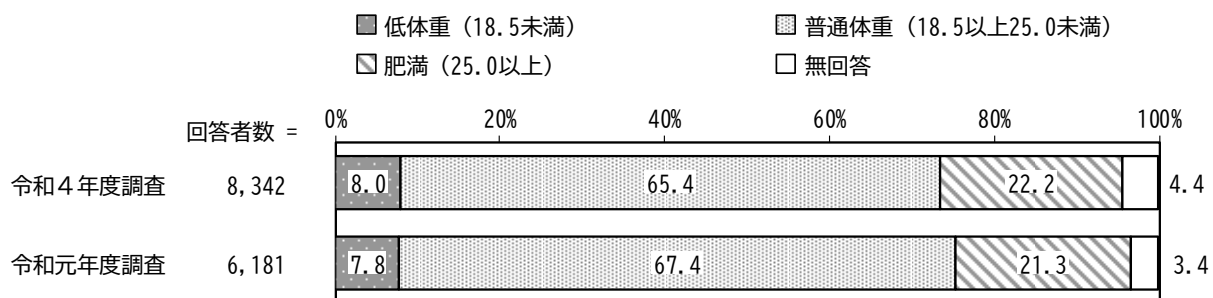
(5) 食べることについて

問4 (1) 身長・体重 (数字を記入) ※おおよその数値で結構です。

BMI (身長・体重より算出)

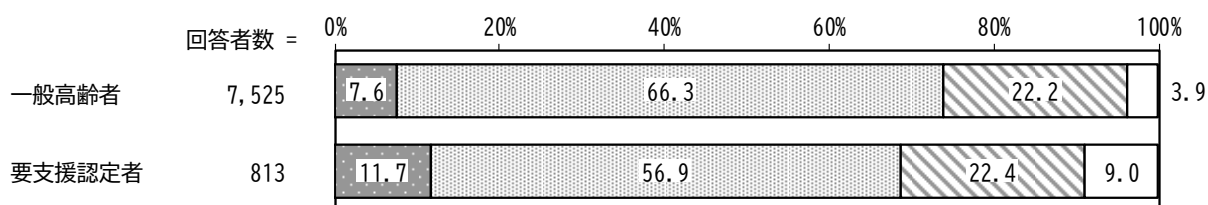
「普通体重 (18.5 以上 25.0 未満)」の割合が 65.4%と最も高く、次いで「肥満 (25.0 以上)」の割合が 22.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



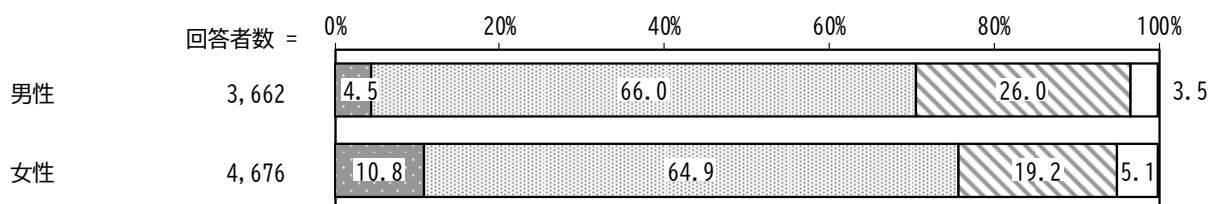
【認定状況別】

認定状況別にみると、要支援認定者で「低体重 (18.5 未満)」の割合が高くなっています。



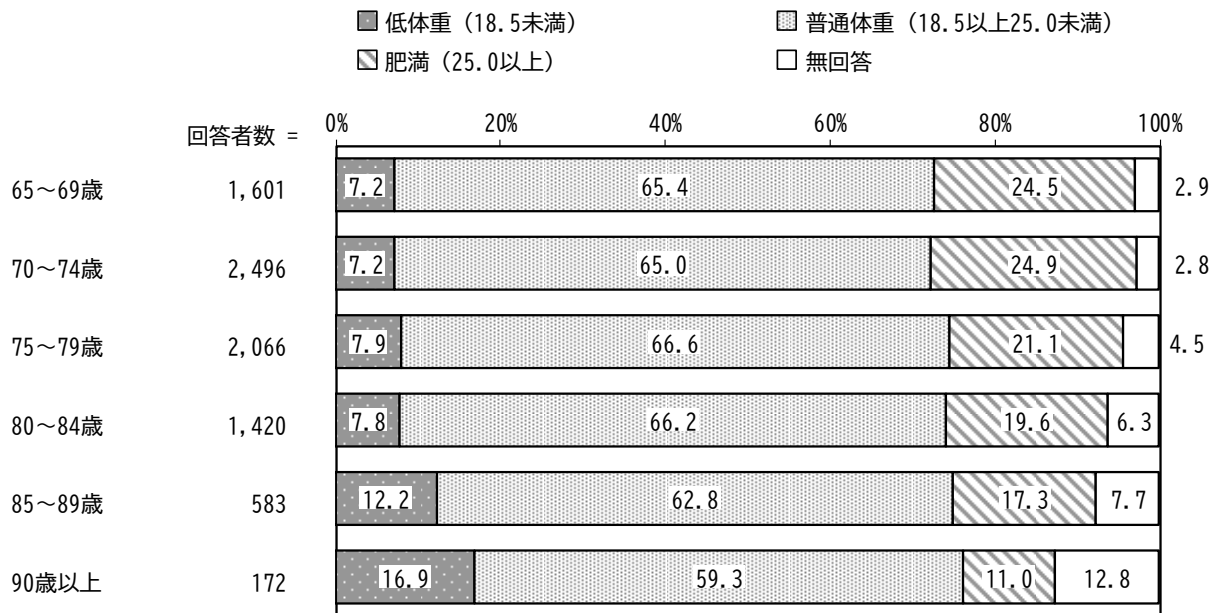
【性別】

性別にみると、男性は女性よりも「肥満 (25.0 以上)」の割合が、女性は男性よりも「低体重 (18.5 未満)」の割合が高くなっています。



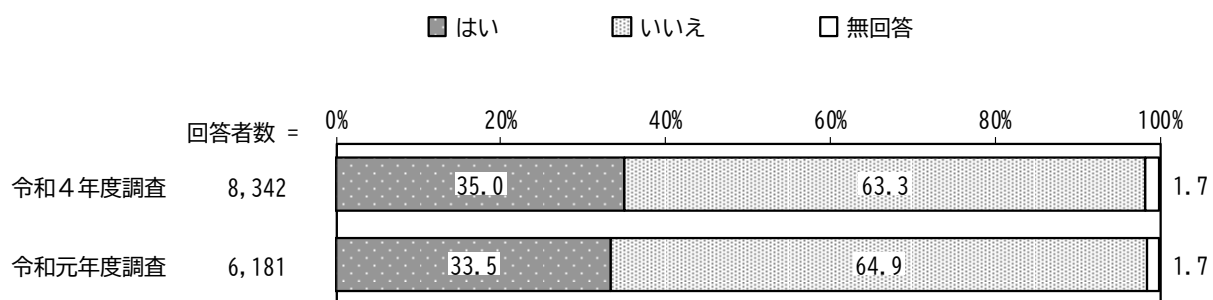
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるにつれ、「低体重（18.5未満）」の割合は高くなっており、「肥満（25.0以上）」の割合は低くなっています。



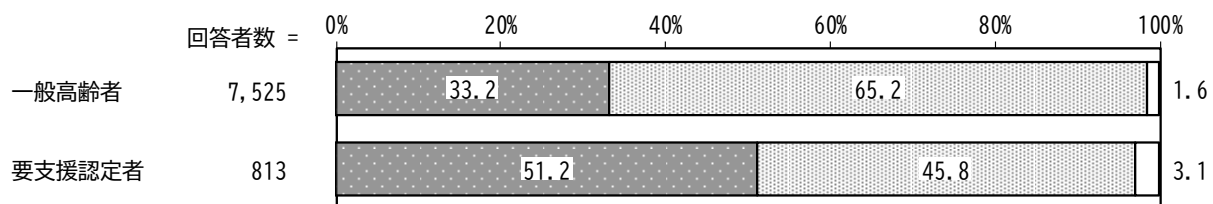
問 4 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (○はひとつ)

「はい」の割合が 35.0%、「いいえ」の割合が 63.3%となっています。
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



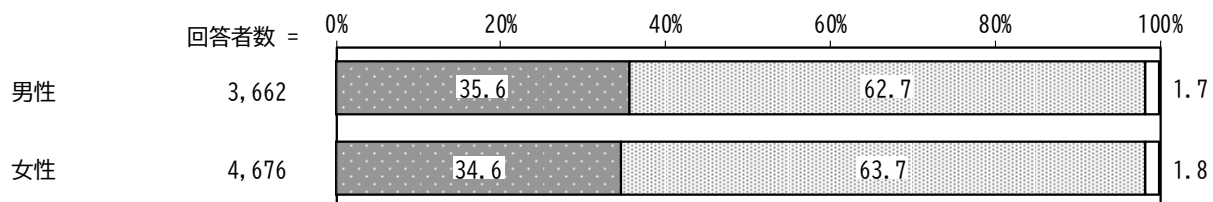
【認定状況別】

認定状況別にみると、要支援認定者で「はい」の割合が高くなっています。



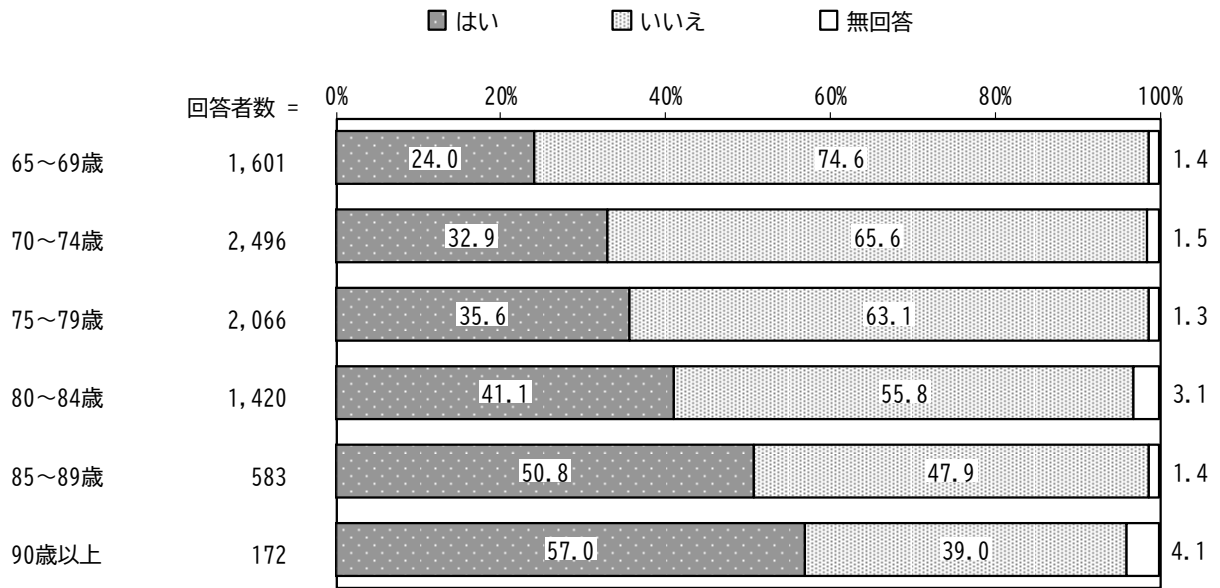
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年齢別】

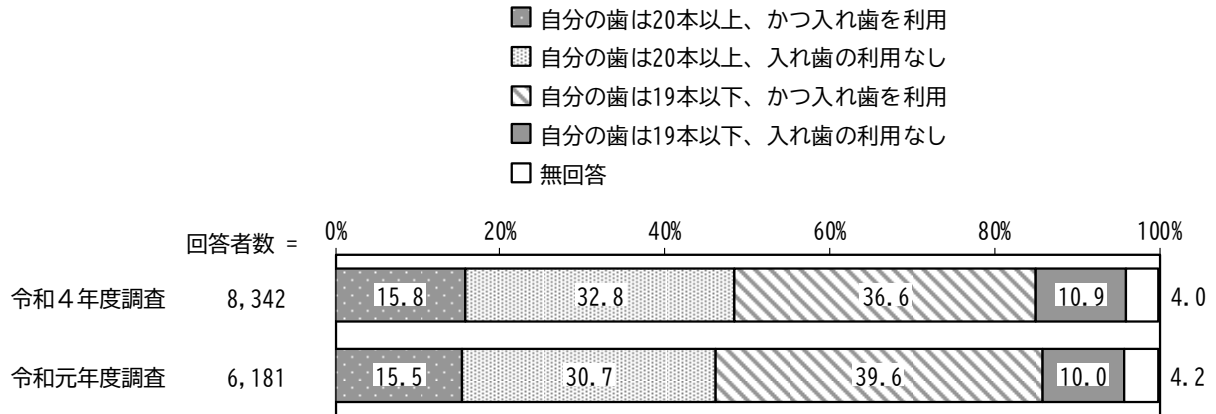
年齢別にみると、年齢が上がるにつれ、「はい」の割合が高くなっています。



問4 (3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (〇はひとつ) (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

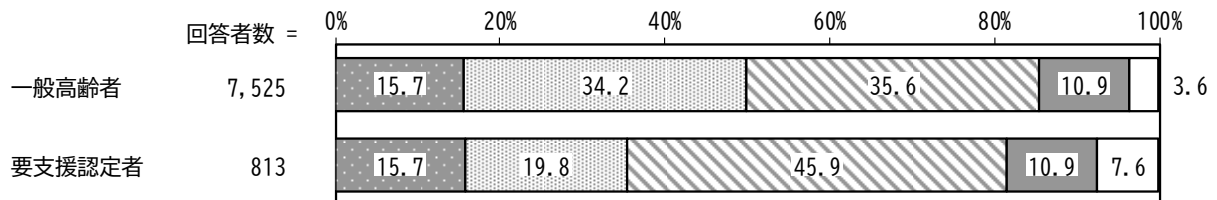
「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が36.6%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が32.8%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が15.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



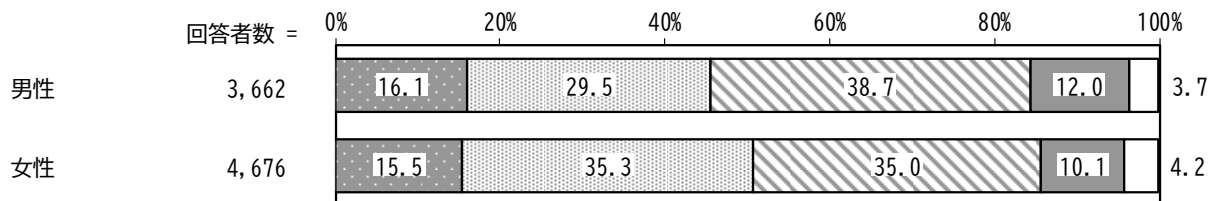
【認定状況別】

認定状況別にみると、要支援認定者で「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が高くなっています。



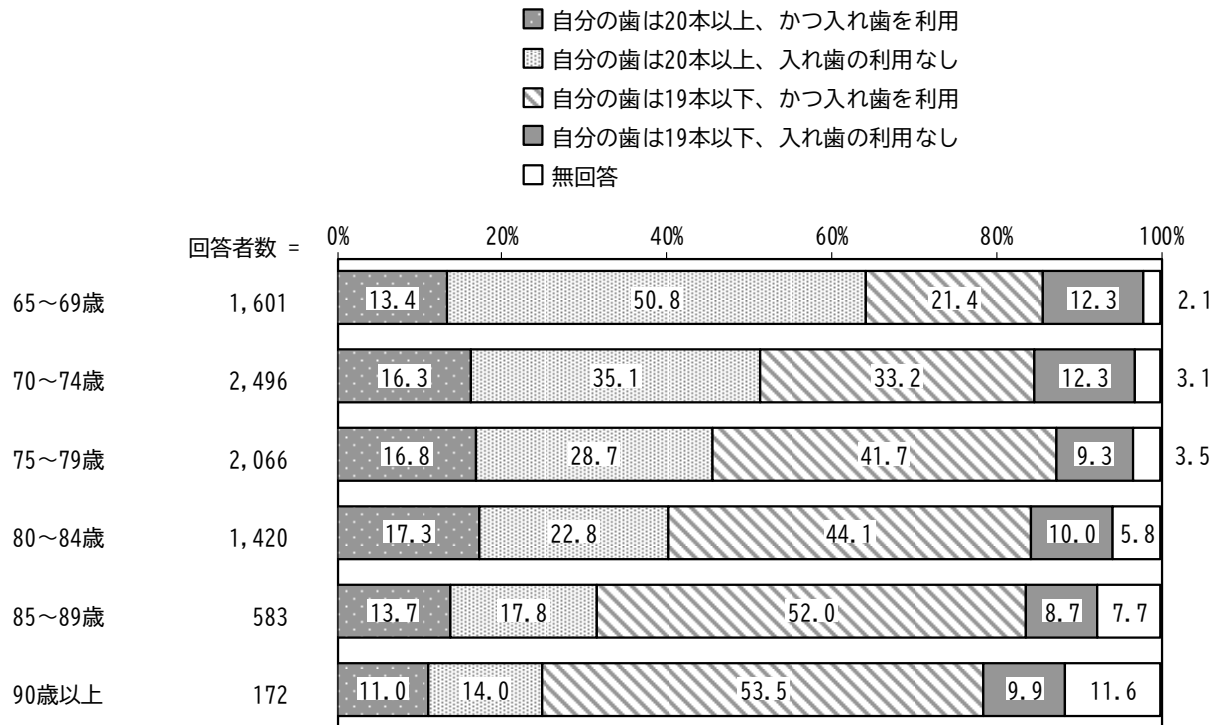
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年齢別】

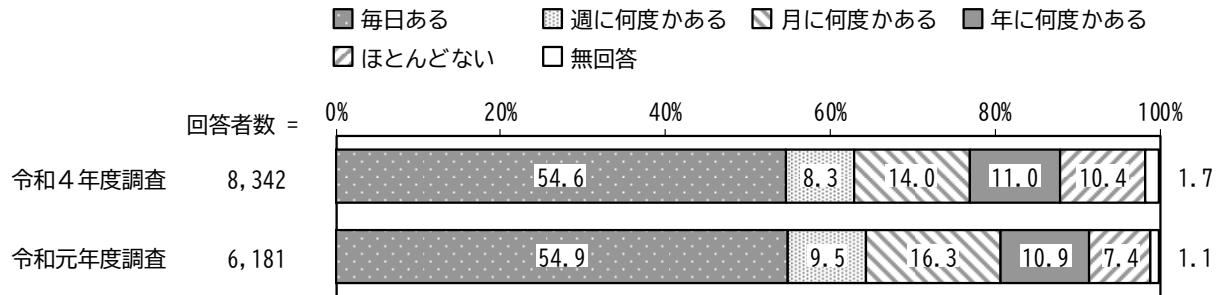
年齢別にみると、年齢が上がるにつれ、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が高くなっています。



問4 (4) どなたかと食事をとにもする機会がありますか (○はひとつ)

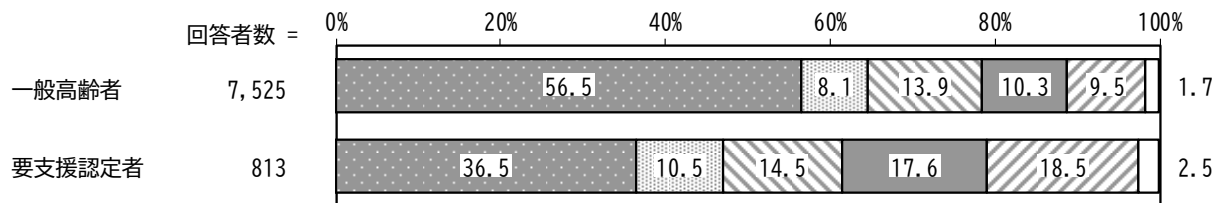
「毎日ある」の割合が54.6%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が14.0%、「年に何度かある」の割合が11.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「ほとんどない」では、令和4年度が10.4%で、令和元年度(7.4%)よりも3.0ポイント高くなっています。



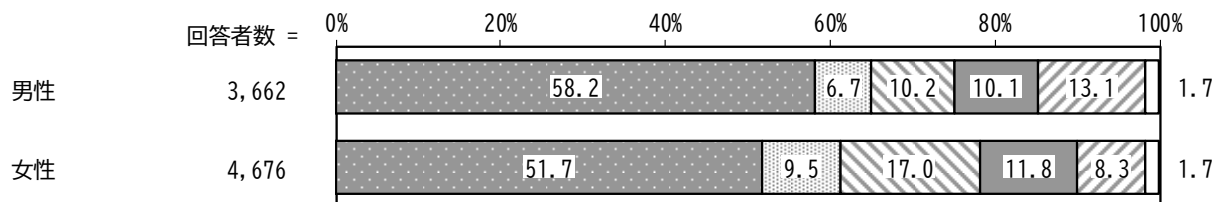
【認定状況別】

認定状況別にみると、「ほとんどない」では、要支援認定者が18.5%で、一般高齢者(9.5%)よりも9.0ポイント高くなっています。



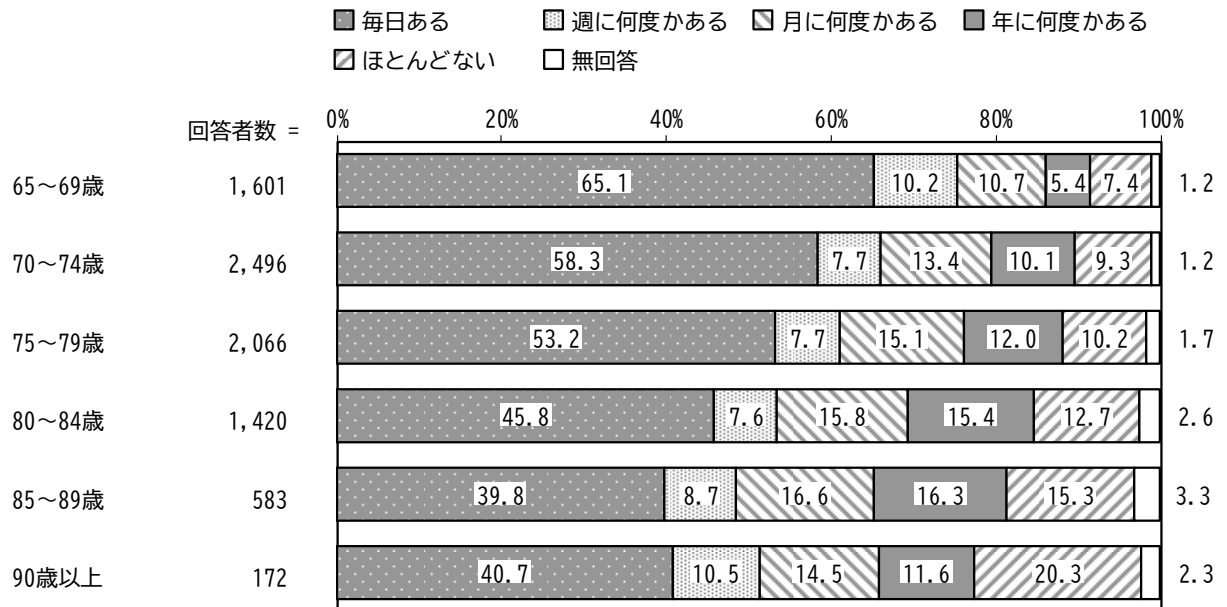
【性別】

性別にみると、「ほとんどない」では、男性が13.9%で、女性(8.3%)よりも4.8ポイント高くなっています。



【年齢別】

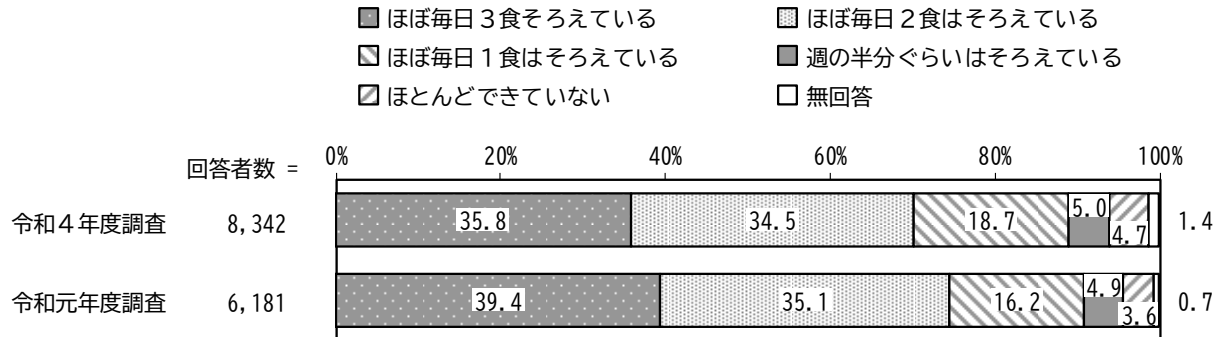
年齢別にみると、年齢が上がるにつれ、「毎日ある」の割合が低くなっており、「ほとんどない」の割合が高くなっています。



問4 (5) 主食・主菜・副菜をそろえた食事を毎日していますか (○はひとつ)

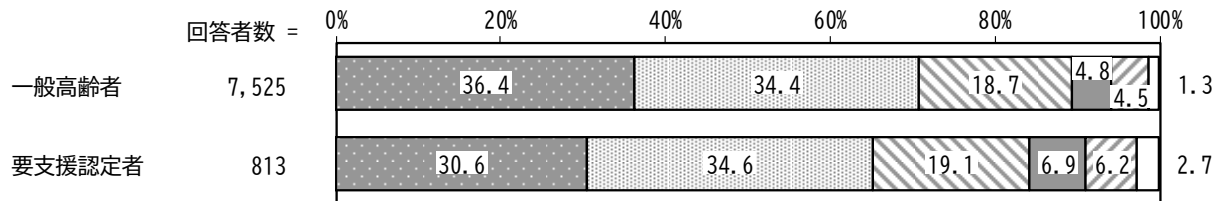
「ほぼ毎日3食そろえている」の割合が35.8%と最も高く、次いで「ほぼ毎日2食はそろえている」の割合が34.5%、「ほぼ毎日1食はそろえている」の割合が18.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



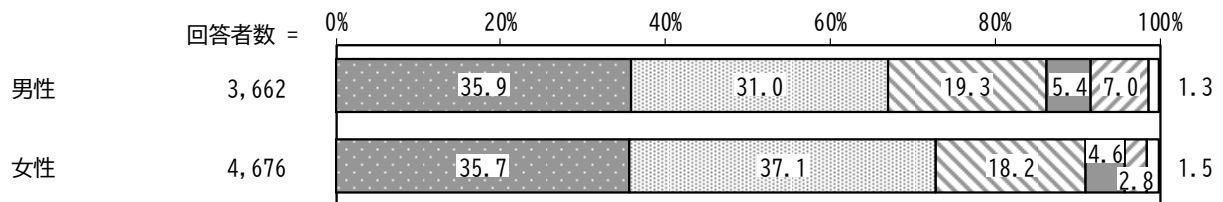
【認定状況別】

認定状況別にみると、「ほぼ毎日3食そろえている」では、一般高齢者が36.4%で、要支援認定者(30.6%)よりも5.8ポイント高くなっています。



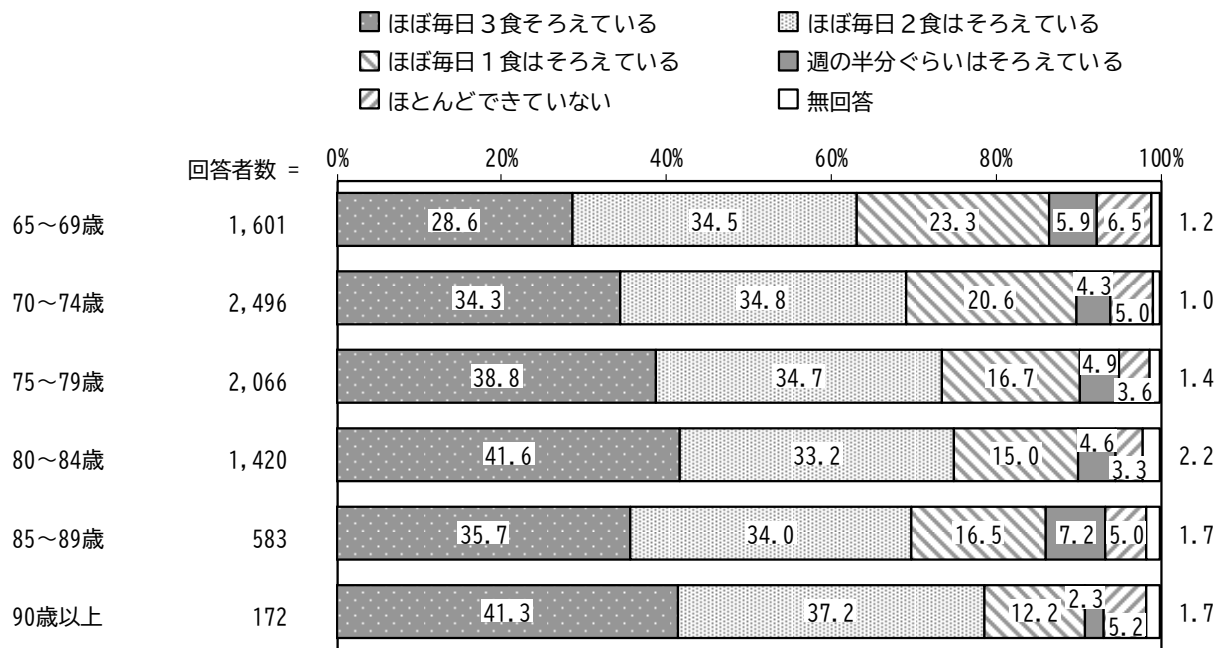
【性別】

性別にみると、「ほとんどない」では、男性が7.0%で、要支援認定者(2.8%)よりも4.2ポイント高くなっています。



【年齢別】

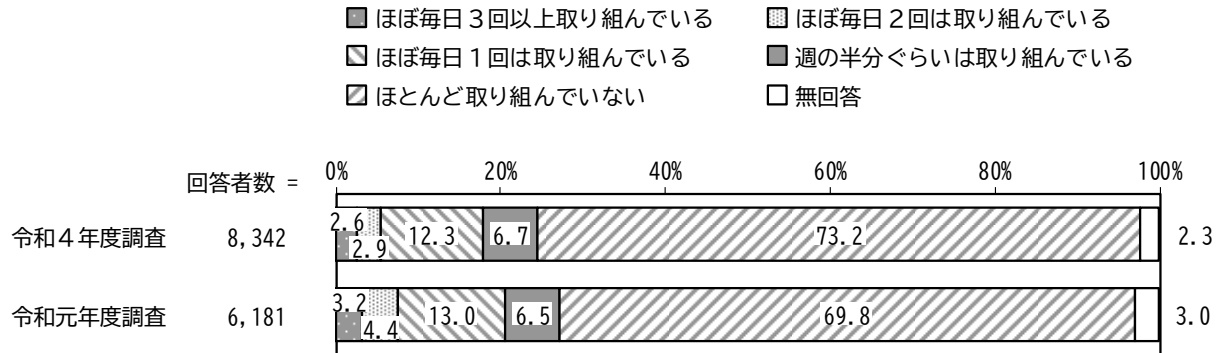
年齢別にみると、「ほぼ毎日3食そろえている」と「ほぼ毎日2食そろえている」の割合の合計は、90歳以上は79.0%と最も高くなっています。



問4 (6) 口や顔の体操に毎日取り組んでいますか (〇はひとつ)

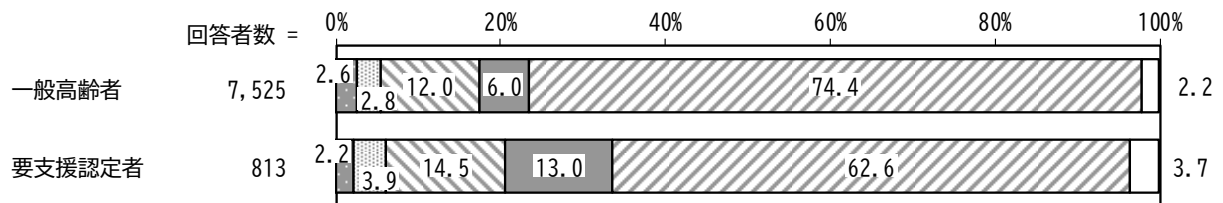
「ほとんど取り組んでいない」の割合が73.2%と最も高く、次いで「ほぼ毎日1回は取り組んでいる」の割合が12.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



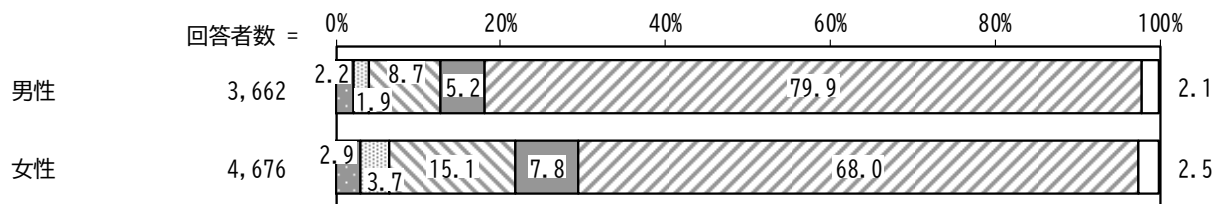
【認定状況別】

認定状況別にみると、「週の半分ぐらいは取り組んでいる」では、要介護認定者が13.0%で、一般高齢者(6.0%)よりも7.0ポイント高くなっています。



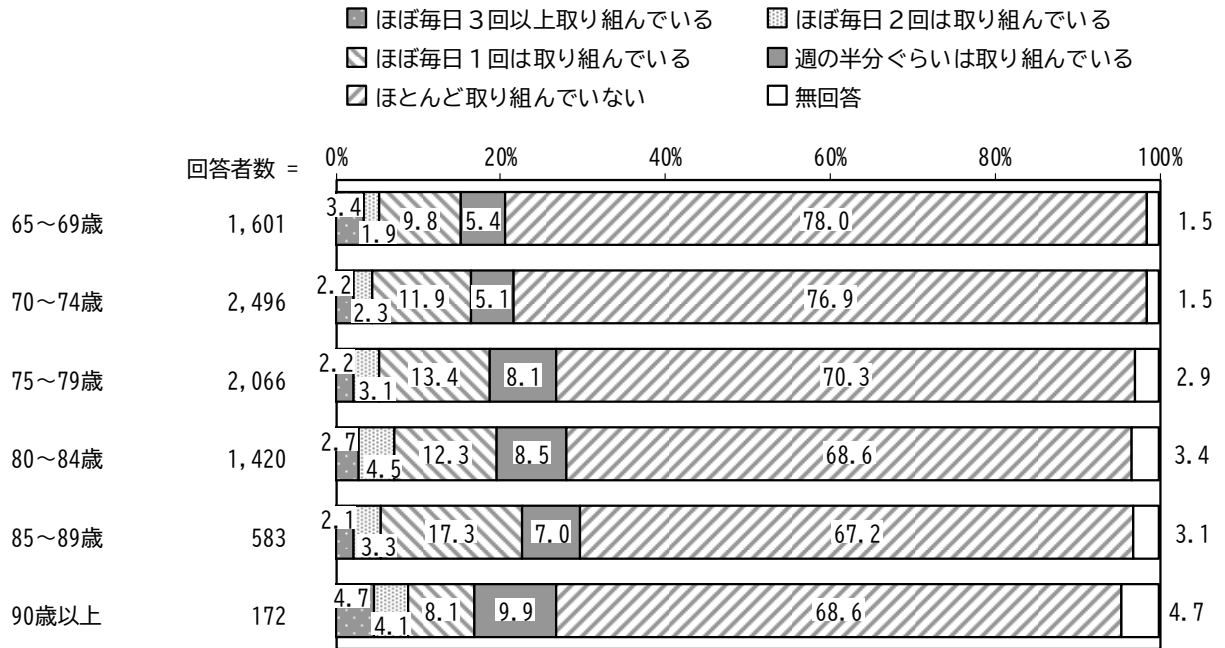
【性別】

性別にみると、「ほとんど取り組んでいない」では、男性が79.9%で、女性(68.0%)よりも11.9ポイント高くなっています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるにつれ、「ほとんど取り組んでいない」の割合が低くなっている傾向にあります。

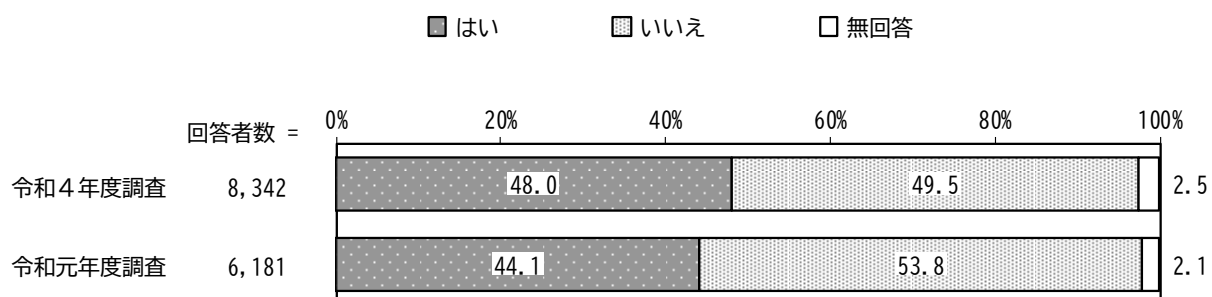


(6) 毎日の生活について

問5 (1) 物忘れが多いと感じますか (○はひとつ)

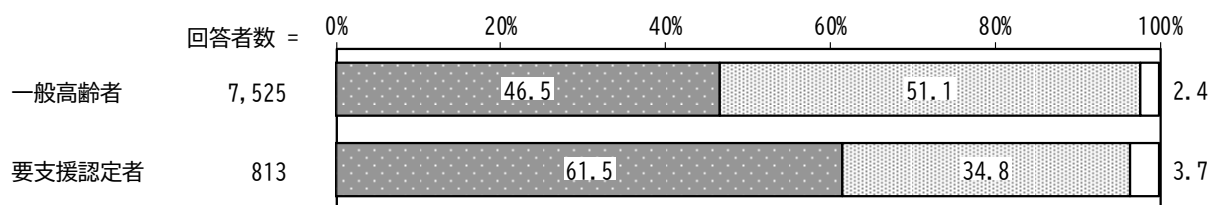
「はい」の割合が48.0%、「いいえ」の割合が49.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「はい」では、令和4年度が48.0%で、令和元年度(44.1%)よりも3.9ポイント高くなっています。



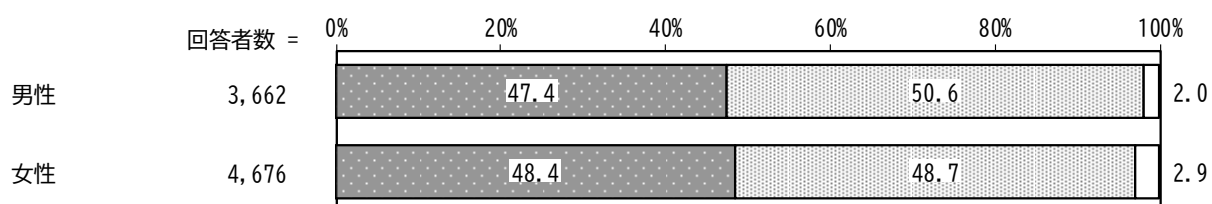
【認定状況別】

認定状況別にみると、「はい」では、要支援認定者が61.5%で、一般高齢者(46.5%)よりも15.0ポイント高くなっています。



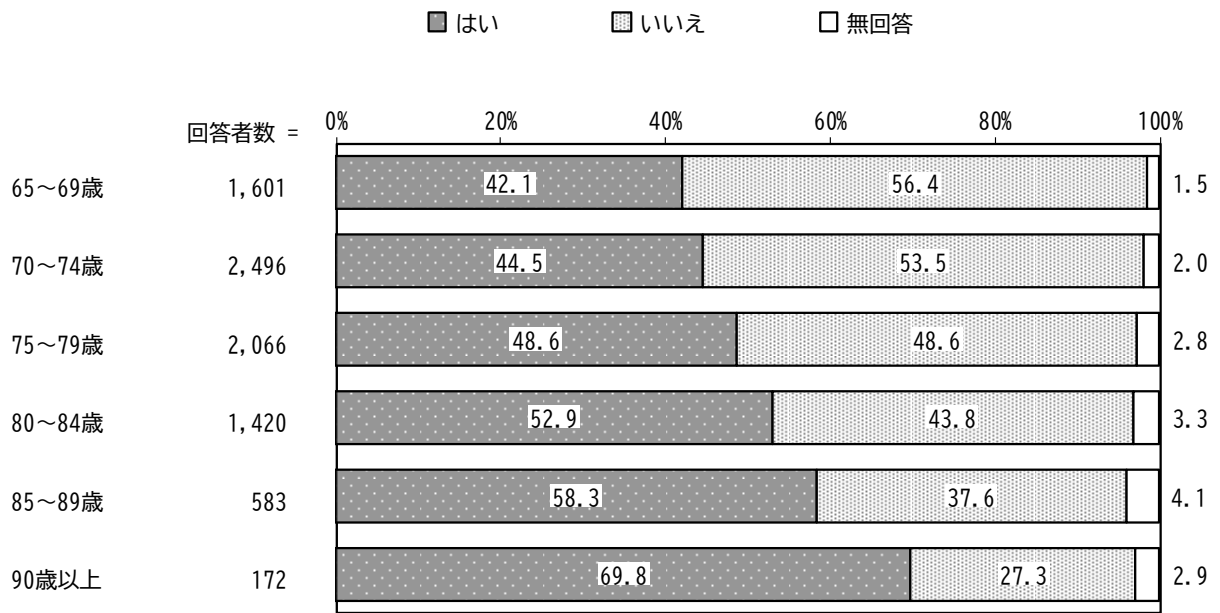
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年齢別】

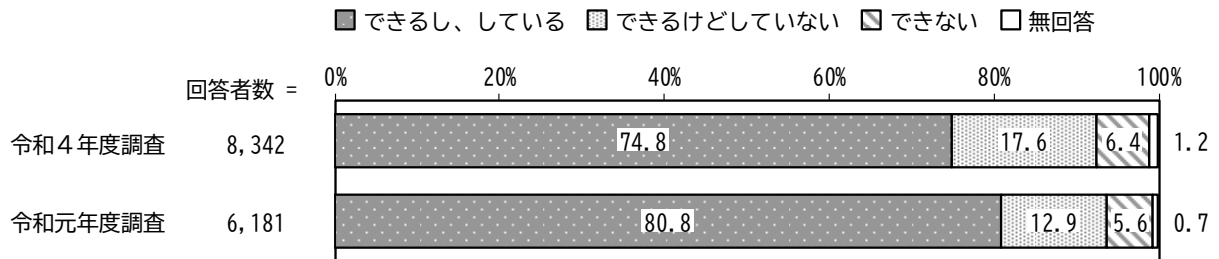
年齢別にみると、年齢が上がるにつれ、「はい」の割合が高くなっています。



問5 (2) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)(〇はひとつ)

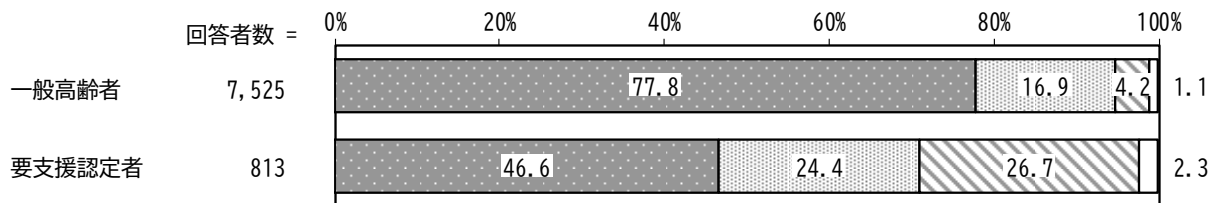
「できるし、している」の割合が74.8%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が17.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「できるし、している」では、令和4年度が74.8%で、令和元年度(80.8%)よりも6.0ポイント低くなっています。



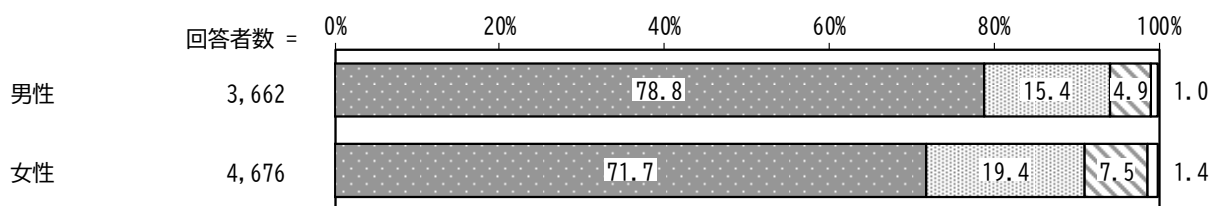
【認定状況別】

認定状況別にみると、「できるし、している」では、一般高齢者が77.8%、要支援認定者が46.6%となっています。



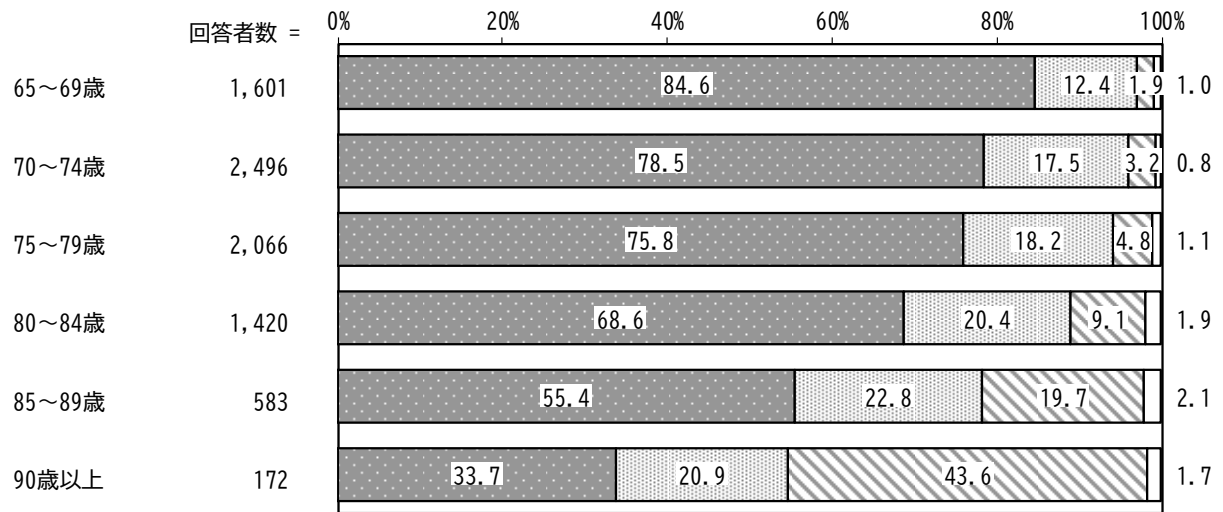
【性別】

性別にみると、「できるし、している」では、男性が78.8%で、女性(71.7%)よりも7.1ポイント高くなっています。



【年齢別】

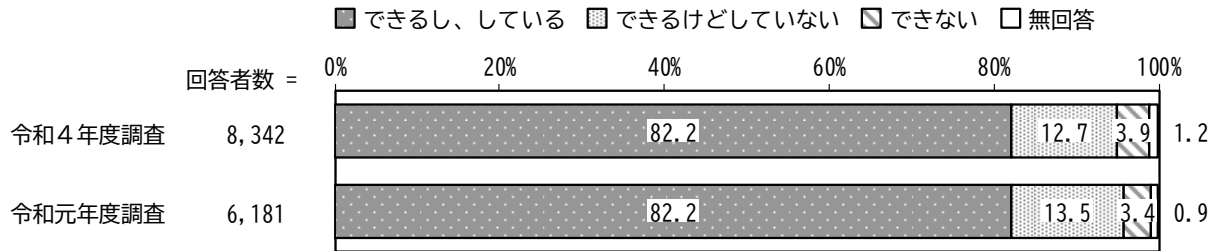
年齢別にみると、「できない」では、年齢が上がるにつれ、割合が高くなっており、90歳以上が43.6%で最も高くなっています。



問5 (3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (○はひとつ)

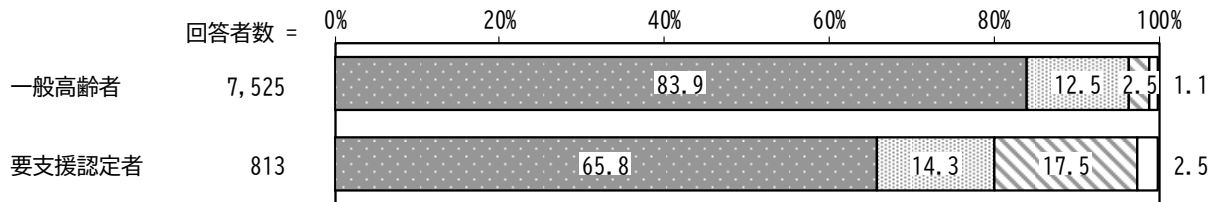
「できるし、している」の割合が82.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が12.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



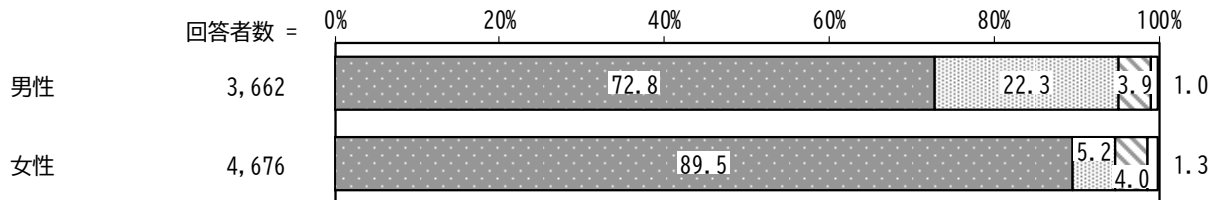
【認定状況別】

認定状況別にみると、「できない」では、要支援認定者が17.5%で、一般高齢者(2.5%)よりも15.0ポイント高くなっています。



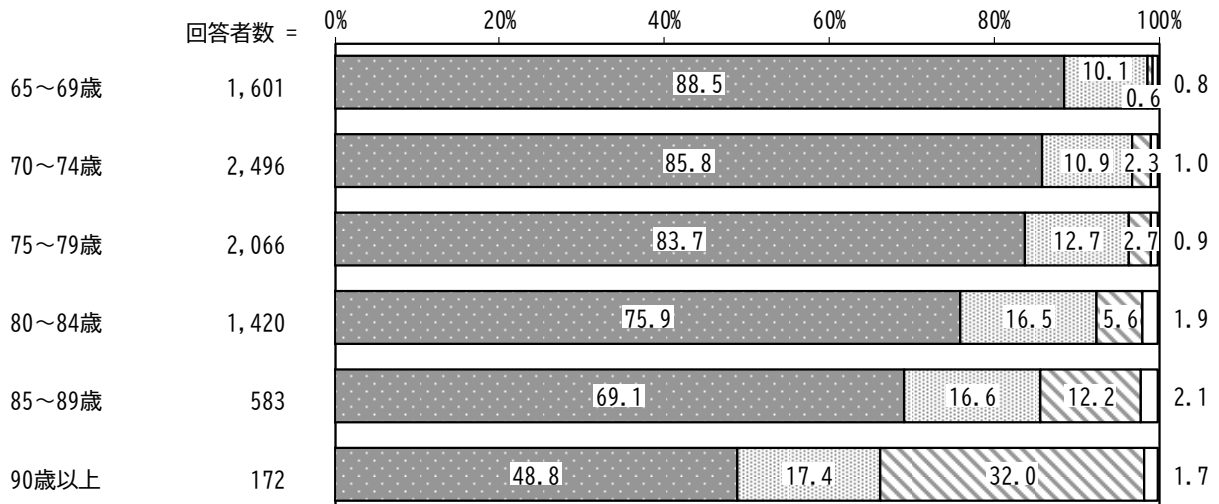
【性別】

性別にみると、「できるけどしていない」では、男性が22.3%で、女性(5.2%)よりも17.1ポイント高くなっています。



【年齢別】

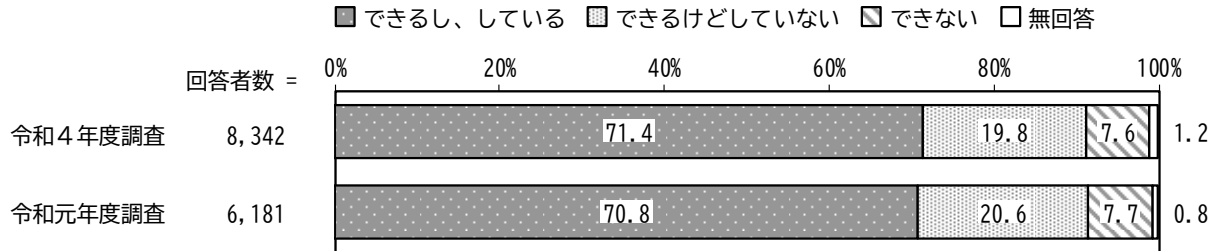
年齢別にみると、「できない」では、年齢が上がるにつれ、割合が高くなっており、90歳以上が32.0%で最も高くなっています。



問5 (4) 自分で食事の用意をしていますか (〇はひとつ)

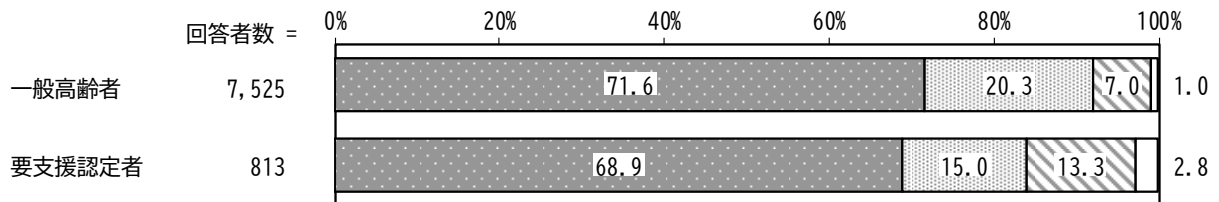
「できるし、している」の割合が71.4%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が19.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



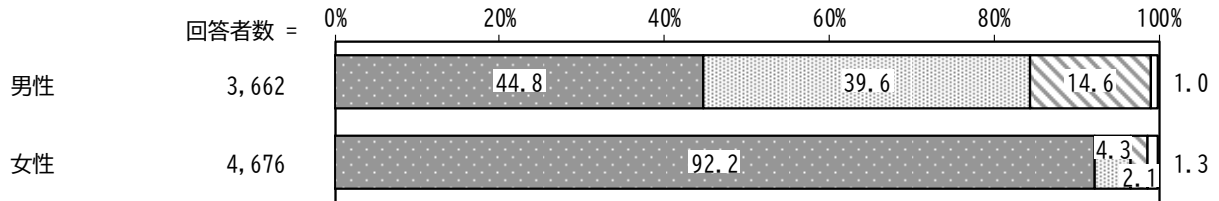
【認定状況別】

認定状況別にみると、「できない」では、要支援認定者が13.3%で、一般高齢者(7.0%)よりも6.3ポイント高くなっています。



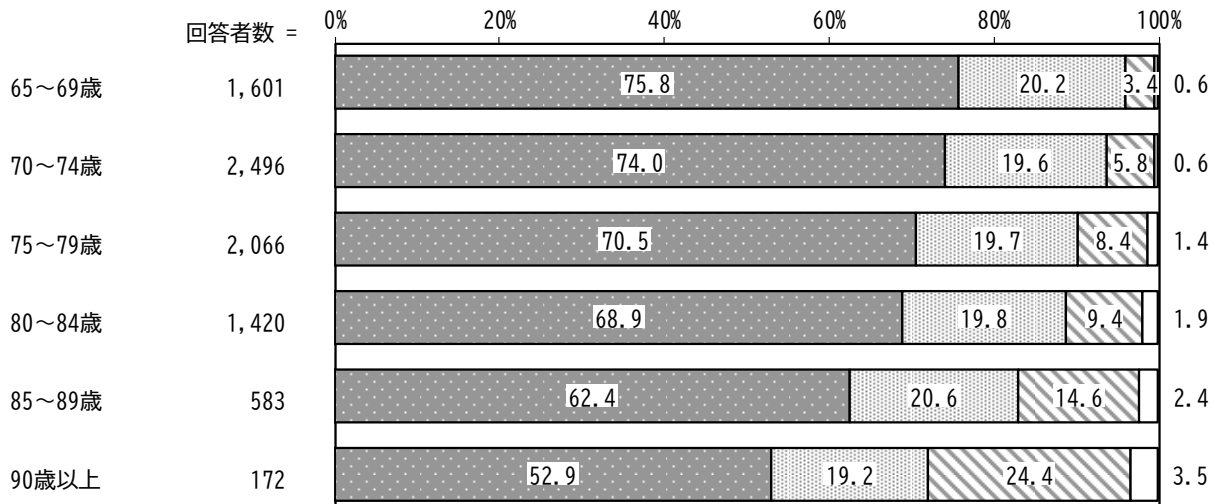
【性別】

性別にみると、「できない」では、男性が14.6%で、女性(2.1%)よりも12.5ポイント高くなっています。



【年齢別】

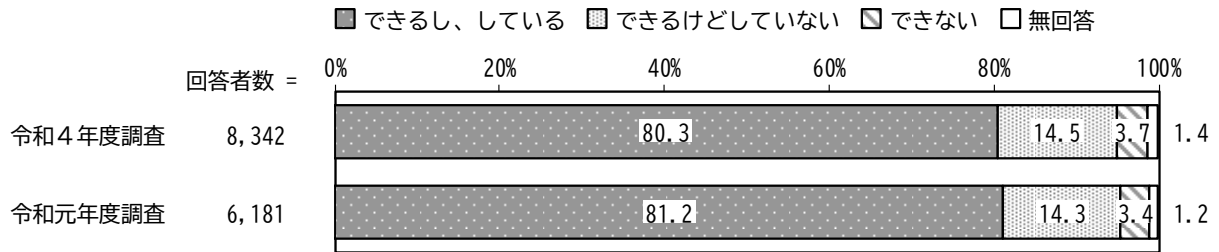
年齢別にみると、「できない」では、年齢が上がるにつれ、割合が高くなっており、90歳以上が24.4%で最も高くなっています。



問 5 (5) 自分で請求書の支払いをしていますか (〇はひとつ)

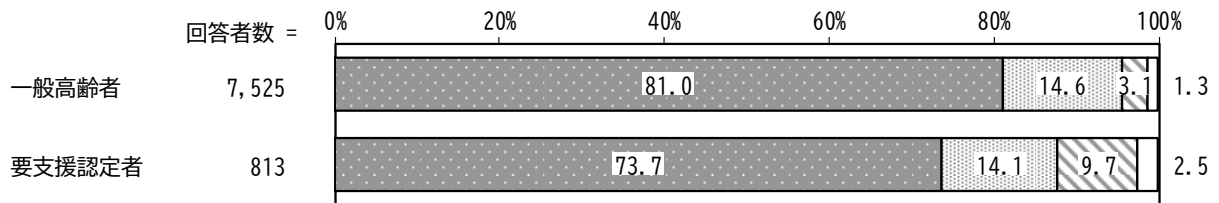
「できるし、している」の割合が 80.3%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 14.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



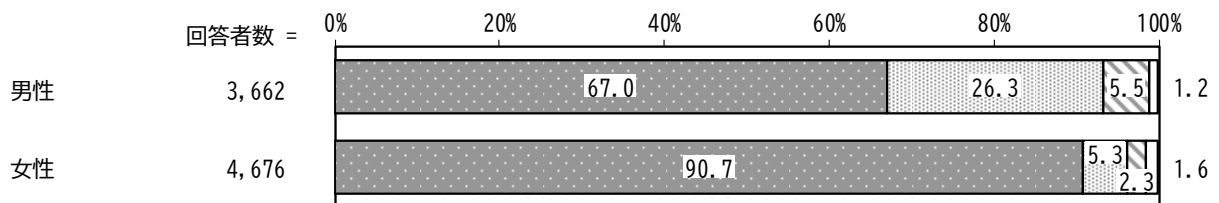
【認定状況別】

認定状況別にみると、「できない」では、要支援認定者が 9.7%で、一般高齢者 (3.1%) よりも 6.6 ポイント高くなっています。



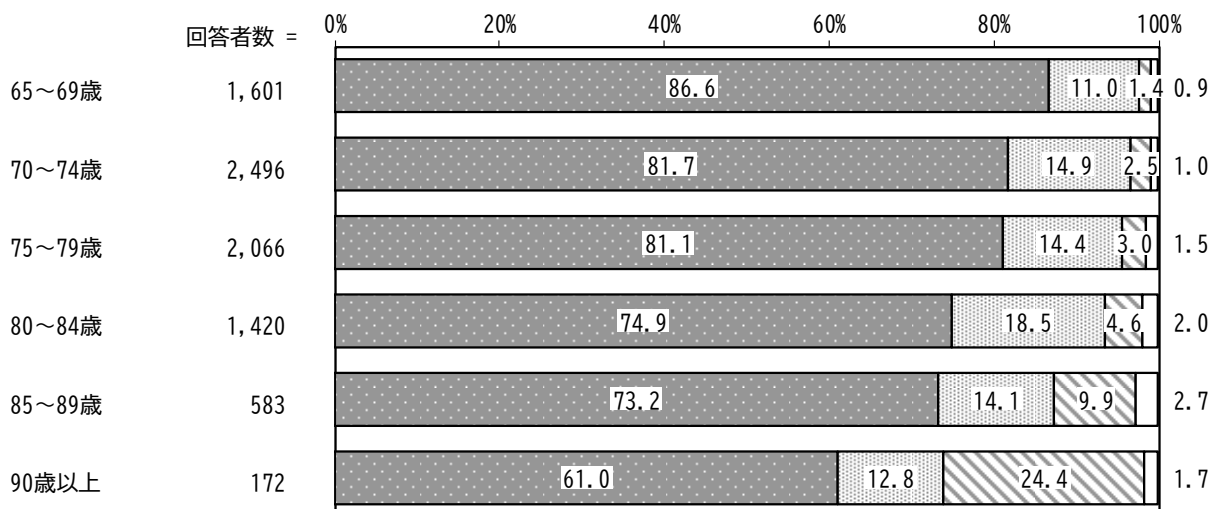
【性別】

性別にみると、「できるけどしていない」では、男性が 26.3%で、女性 (5.3%) よりも 21.0 ポイント高くなっています。



【年齢別】

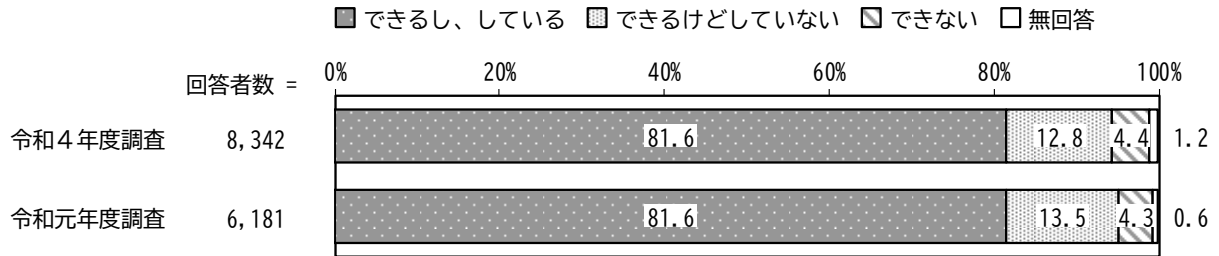
年齢別にみると、「できない」では、年齢が上がるにつれ、割合が高くなっており、90歳以上が 24.4%で最も高くなっています。



問5 (6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (○はひとつ)

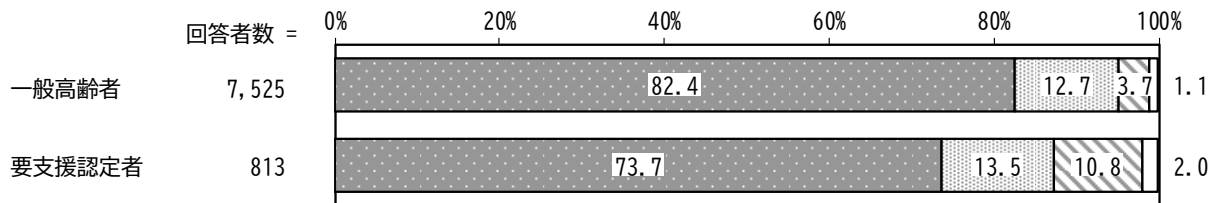
「できるし、している」の割合が81.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が12.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



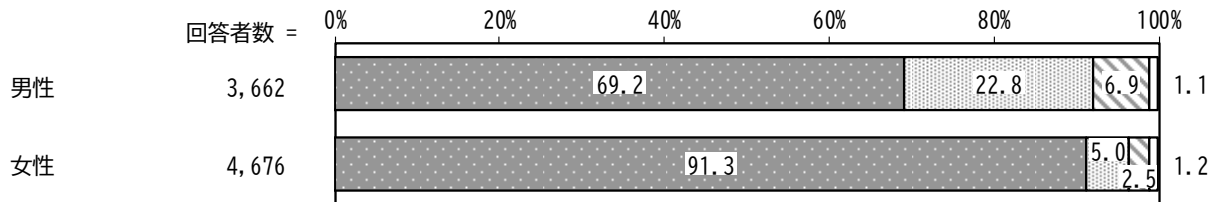
【認定状況別】

認定状況別にみると、「できない」では、要支援認定者が10.8%で、一般高齢者(3.7%)よりも7.1ポイント高くなっています。



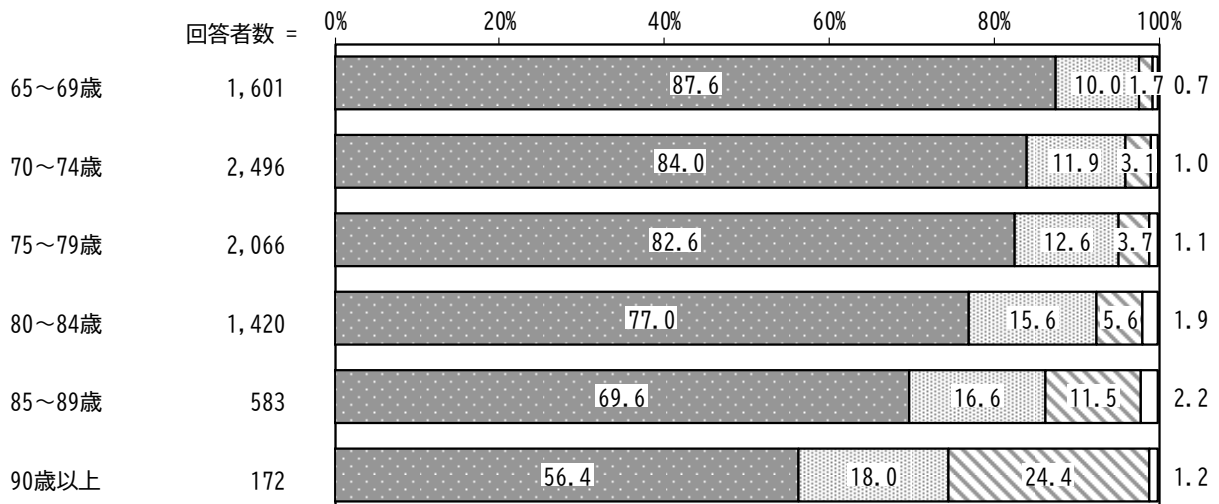
【性別】

性別にみると、「できるけどしていない」では、男性が22.8%で、女性(5.0%)よりも17.8ポイント高くなっています。



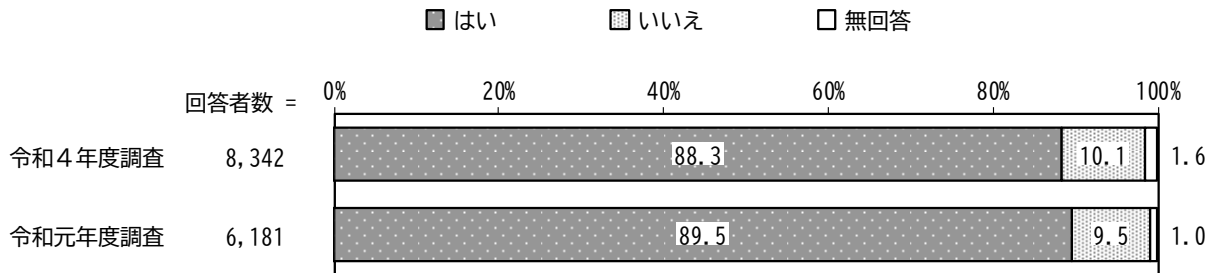
【年齢別】

年齢別にみると、「できない」では、年齢が上がるにつれ、割合が高くなっており、90歳以上が24.4%で最も高くなっています。



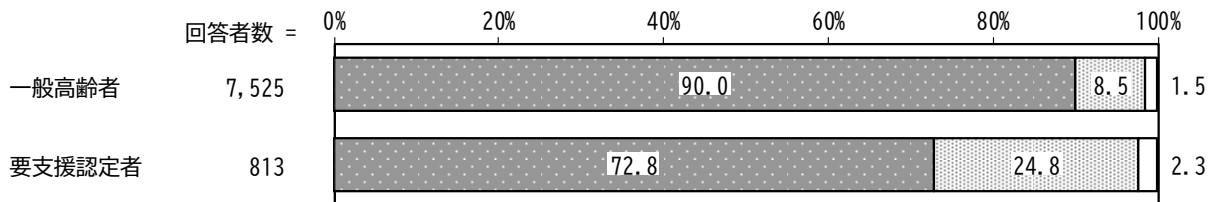
問5 (7) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（〇はひとつ）

「はい」の割合が88.3%、「いいえ」の割合が10.1%となっています。
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



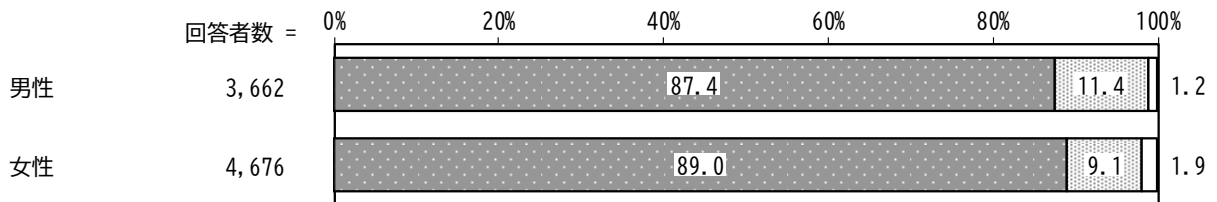
【認定状況別】

認定状況別にみると、「いいえ」では、要支援認定者が24.8%で、一般高齢者（8.5%）よりも16.3ポイント高くなっています。



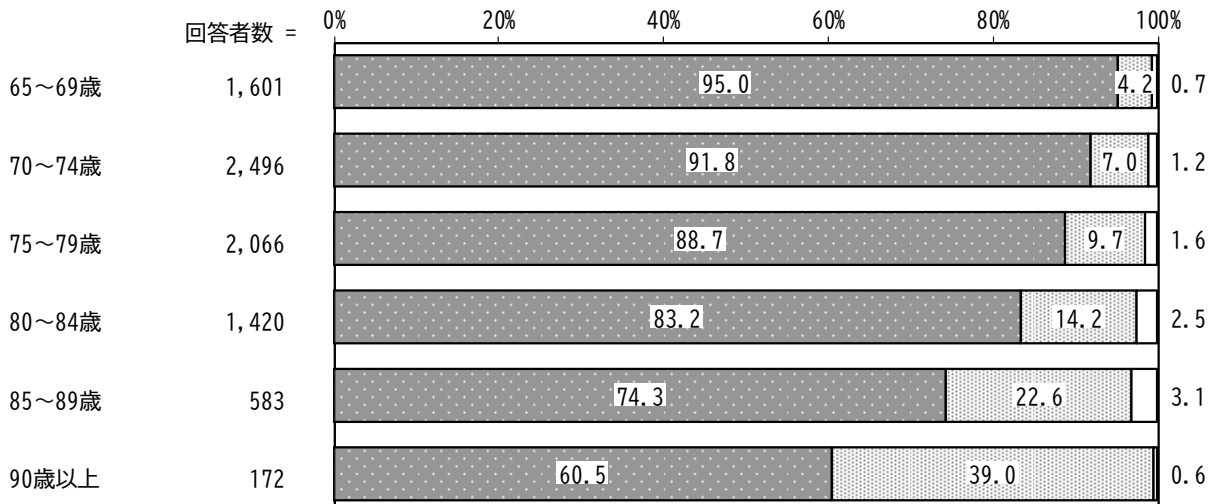
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年齢別】

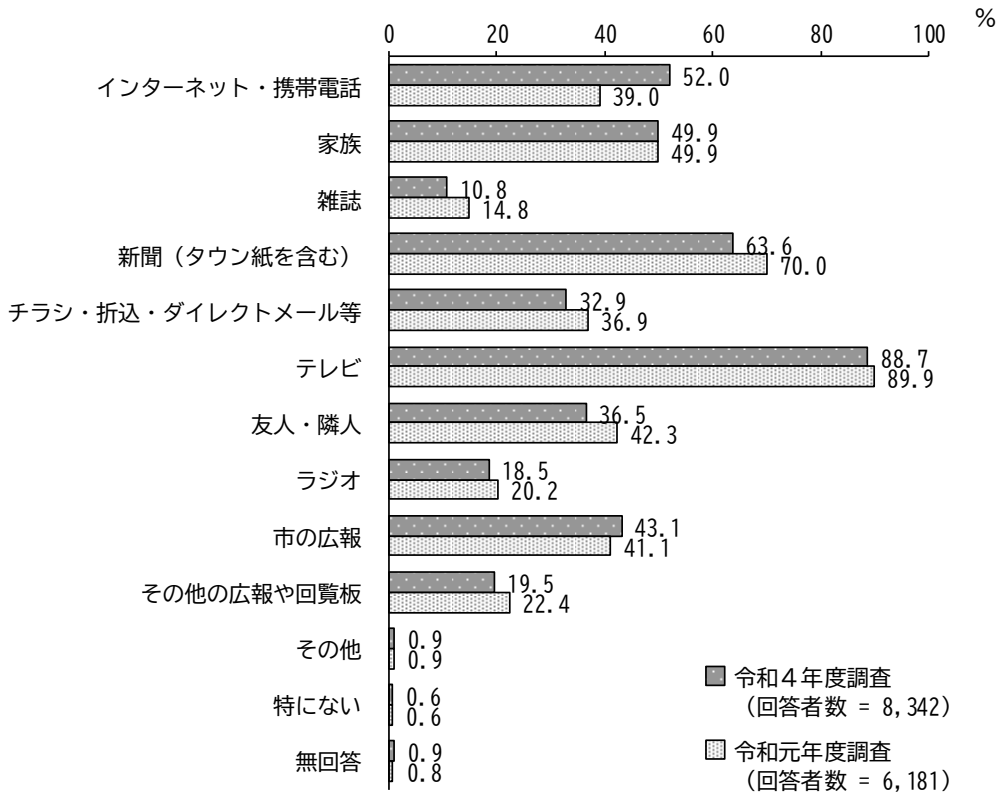
年齢別にみると、「できない」では、年齢が上がるにつれ、割合が高くなっており、90歳以上が39.0%で最も高くなっています。



問5 (8) 日常生活に関する情報をどこから得ていますか (〇はいくつでも)

「テレビ」の割合が 88.7%と最も高く、次いで「新聞 (タウン紙を含む)」の割合が 63.6%、「インターネット・携帯電話」の割合が 52.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「インターネット・携帯電話」(52.0%)では、令和元年度(39.0%)よりも 13.0 ポイント高く、最も増加した項目となっています。一方、「新聞 (タウン紙を含む)」 「友人・隣人」では5ポイント以上減少しています。



【認定状況別】

認定状況別にみると、ほとんどの項目で一般高齢者の割合が要支援認定者の割合よりも高くなっていますが、特に「インターネット・携帯電話」(54.9%)では、要介護認定者 (24.6%) よりも 30.3 ポイント高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	インターネット・携帯電話	家族	雑誌	新聞 (タウン紙を含む)	チラシ・折込・ダイレクトメール等	テレビ	友人・隣人	ラジオ	市の広報	その他の広報や回覧板	その他	特になし	無回答
全体	8,342	52.0	49.9	10.8	63.6	32.9	88.7	36.5	18.5	43.1	19.5	0.9	0.6	0.9
一般高齢者	7,525	54.9	50.9	11.2	64.4	33.4	89.3	37.0	18.6	43.2	19.5	0.9	0.5	0.8
要支援認定者	813	24.6	40.6	7.4	56.9	27.8	83.5	32.0	17.2	42.1	19.3	1.0	1.0	2.3

【性別】

性別にみると、女性、男性いずれも「テレビ」の割合が最も高く、次いで「新聞（タウン紙を含む）」の割合が高くなっています。男性では「インターネット・携帯電話」の割合が高く、女性では「家族」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	インターネット・携帯電話	家族	雑誌	新聞(タウン紙を含む)	チラシ・折込・ダイレクトメール等	テレビ	友人・隣人	ラジオ	市の広報	その他の広報や回覧板	その他	特にない	無回答
全体	8,342	52.0	49.9	10.8	63.6	32.9	88.7	36.5	18.5	43.1	19.5	0.9	0.6	0.9
男性	3,662	57.2	47.2	10.6	66.8	28.3	88.6	25.4	18.2	36.5	16.5	0.8	0.7	0.7
女性	4,676	47.9	52.0	11.0	61.2	36.4	88.8	45.2	18.7	48.2	21.9	1.0	0.5	1.1

【年齢別】

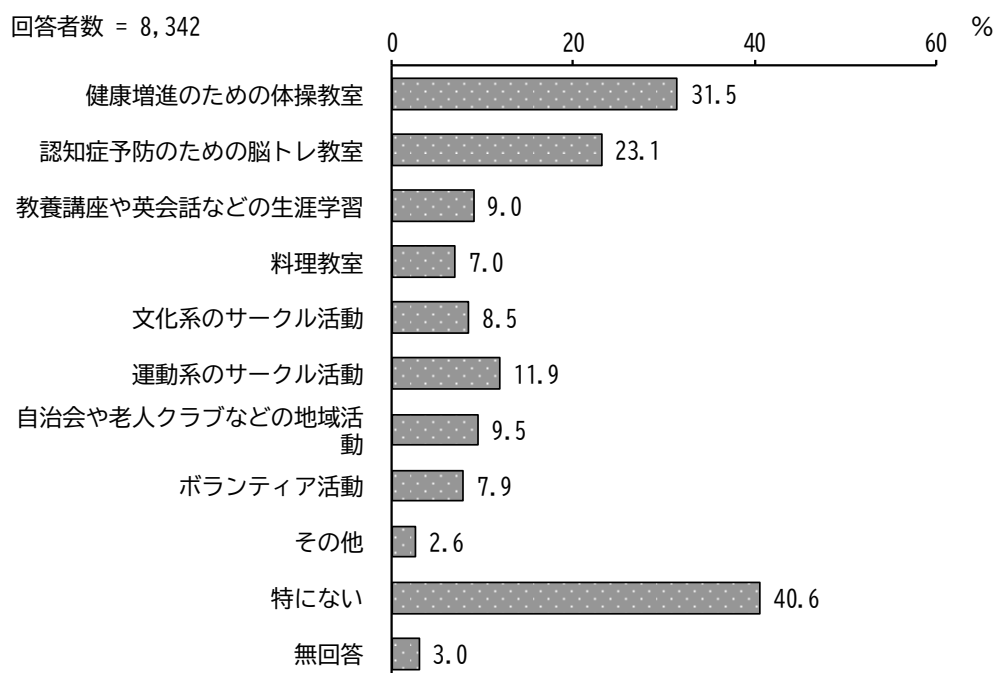
年齢別にみると、「インターネット・携帯電話」では、年齢が上がるにつれ、割合が低くなっており、65～69歳が79.1%で最も高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	インターネット・携帯電話	家族	雑誌	新聞(タウン紙を含む)	チラシ・折込・ダイレクトメール等	テレビ	友人・隣人	ラジオ	市の広報	その他の広報や回覧板	その他	特にない	無回答
全体	8,342	52.0	49.9	10.8	63.6	32.9	88.7	36.5	18.5	43.1	19.5	0.9	0.6	0.9
65～69歳	1,601	79.1	53.9	12.2	56.7	32.9	89.1	38.0	15.4	40.5	15.6	1.2	0.2	0.5
70～74歳	2,496	62.3	51.8	11.1	62.7	33.4	89.0	37.7	17.9	43.8	18.7	0.6	0.6	0.6
75～79歳	2,066	44.9	49.3	10.4	67.6	33.4	90.3	38.6	21.0	43.1	20.6	0.8	0.5	0.8
80～84歳	1,420	30.9	46.2	10.0	67.4	33.5	87.3	34.8	20.0	47.6	23.1	1.2	0.6	1.7
85～89歳	583	21.3	42.7	10.3	64.8	29.2	85.2	27.8	18.2	38.9	21.3	0.5	1.2	2.1
90歳以上	172	11.6	48.8	9.3	60.5	25.6	84.9	25.0	14.0	34.3	18.6	2.3	1.2	1.2

問5 (9) 今後、参加（活動）したいと思うものはどれですか。（〇は3つまで）

「特にない」の割合が40.6%と最も高く、次いで「健康増進のための体操教室」の割合が31.5%、「認知症予防のための脳トレ教室」の割合が23.1%となっています。



【認定状況別】

認定状況別にみると、一般高齢者では「特にない」、「健康増進のための体操教室」、「認知症予防のための脳トレ教室」の割合が順に高く、要支援認定者で「健康増進のための体操教室」、「特になし」、「認知症予防のための脳トレ教室」の割合が順に高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	健康増進のための体操教室	認知症予防のための脳トレ教室	教養講座や英会話などの生涯学習	料理教室	文化系のサークル活動	運動系のサークル活動	自治会や老人クラブなどの地域活動	ボランティア活動	その他	特にない	無回答
全体	8,342	31.5	23.1	9.0	7.0	8.5	11.9	9.5	7.9	2.6	40.6	3.0
一般高齢者	7,525	30.9	22.4	9.5	7.1	8.8	12.4	9.3	8.3	2.5	41.1	2.8
要支援認定者	813	36.5	30.0	4.4	6.3	5.9	6.9	12.1	4.2	3.9	36.4	4.4

【性別】

性別にみると、男性では「特にない」(47.0%)、女性では「健康増進のための体操教室」(37.6%)の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	健康増進のための体操教室	認知症予防のための脳トレ教室	教養講座や英会話などの生涯学習	料理教室	文化系のサークル活動	運動系のサークル活動	自治会や老人クラブなどの地域活動	ボランティア活動	その他	特にない	無回答
全体	8,342	31.5	23.1	9.0	7.0	8.5	11.9	9.5	7.9	2.6	40.6	3.0
男性	3,662	23.6	18.7	9.0	6.5	6.8	14.2	9.8	8.7	2.4	47.0	2.2
女性	4,676	37.6	26.6	8.9	7.4	9.8	10.1	9.3	7.2	2.8	35.6	3.6

【年齢別】

年齢別にみると、全世代で「特にない」の割合が高くなっています。後期高齢者(75歳以上)と比べ、前期高齢者(65~69歳、70~74歳)では「教養講座や英会話などの生涯学習」の割合が高く、「自治会や老人クラブなどの地域活動」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	健康増進のための体操教室	認知症予防のための脳トレ教室	教養講座や英会話などの生涯学習	料理教室	文化系のサークル活動	運動系のサークル活動	自治会や老人クラブなどの地域活動	ボランティア活動	その他	特にない	無回答
全体	8,342	31.5	23.1	9.0	7.0	8.5	11.9	9.5	7.9	2.6	40.6	3.0
65~69歳	1,601	31.4	19.8	15.0	9.0	10.4	14.3	5.1	11.2	2.1	40.2	1.6
70~74歳	2,496	32.3	21.4	10.4	6.9	9.7	13.3	7.0	8.3	2.0	42.1	2.4
75~79歳	2,066	32.1	25.3	6.3	6.8	7.8	12.1	12.1	7.9	2.3	39.6	3.2
80~84歳	1,420	32.0	26.6	6.7	6.5	7.1	10.1	12.7	5.7	4.5	36.0	4.6
85~89歳	583	28.6	25.6	3.3	5.1	5.3	5.8	16.8	3.8	2.4	44.4	3.6
90歳以上	172	17.4	16.3	3.5	0.6	4.1	1.7	6.4	2.3	4.7	59.3	5.2

(7) 地域での活動について

問6 (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
 ※① - ⑧それぞれに回答してください (○はそれぞれひとつずつ)

すべての活動について「参加していない」の割合が50%を超えており、最も高くなっています。参加率「週1回以上」で見ると『⑧収入のある仕事』(19.5%)が最も高く、次いで『②スポーツ関係のグループやクラブ』が続いています。

区分	回答者数 (件)	週4回以上	週2 ～ 3回	週1回	月1 ～ 3回	年に数回	参加していない	無回答	参加率	
									週1回以上	年に数回以上
①ボランティアのグループ	8,342	0.7	1.1	1.3	3.4	3.0	69.2	21.3	3.1	9.5
②スポーツ関係のグループやクラブ	8,342	4.2	7.1	4.1	3.1	1.6	60.4	19.5	15.4	20.1
③趣味関係のグループ	8,342	1.1	3.0	4.0	8.6	3.7	59.5	20.1	8.1	20.4
④学習・教養サークル	8,342	0.2	0.6	1.3	2.6	1.9	70.2	23.2	2.1	6.6
⑤(いきいきサロンや体操など)介護予防のための通いの場	8,342	0.5	1.3	1.7	1.9	1.3	71.3	22.0	3.5	6.7
⑥老人クラブ	8,342	0.4	0.5	0.7	1.8	3.1	71.1	22.5	1.6	6.5
⑦町内会・自治会	8,342	0.4	0.4	0.6	4.6	14.6	57.9	21.5	1.4	20.6
⑧収入のある仕事	8,342	12.0	6.3	1.2	1.5	0.9	57.4	20.8	19.5	21.9

① ボランティアのグループ

参加率「週1回以上」の割合が3.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、令和4年度調査では参加率がやや低くなっています。

認定状況別にみると、一般高齢者の参加率が要支援認定者よりも高くなっています。

性別にみると、参加率に大きな差はみられません。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれ、無回答の割合が高くなっており、参加率に大きな差はみられません。

区域別にみると、東区、南区、北区で参加率「週1回以上」の割合が他に比べ高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	参加率		
									週1回以上	年に数回以上	
令和4年度調査	8,342	0.7	1.1	1.3	3.4	3.0	69.2	21.3	3.1	9.5	
令和元年度調査	6,181	0.8	1.2	1.3	3.9	3.6	61.2	28.0	3.3	10.8	
認定状況別	一般高齢者	7,525	0.7	1.1	1.4	3.5	3.1	70.5	19.8	3.2	9.8
	要支援認定者	813	0.2	1.0	0.9	2.2	2.2	57.9	35.5	2.1	6.5
性別	男性	3,662	0.8	1.0	1.2	2.9	3.7	73.8	16.5	3.0	9.6
	女性	4,676	0.5	1.1	1.4	3.7	2.5	65.7	25.1	3.0	9.2
年齢別	65～69歳	1,601	0.3	0.9	1.2	3.8	2.9	82.3	8.6	2.4	9.1
	70～74歳	2,496	0.8	1.0	1.6	3.6	3.6	72.2	17.3	3.4	10.6
	75～79歳	2,066	0.8	1.2	1.3	3.6	2.9	66.8	23.4	3.3	9.8
	80～84歳	1,420	1.0	1.4	1.3	3.0	2.5	59.1	31.8	3.7	9.2
	85～89歳	583	0.2	0.9	1.2	1.9	3.1	58.7	34.1	2.3	7.3
	90歳以上	172	—	0.6	0.6	0.6	0.6	54.1	43.6	1.2	2.4
区域別	堺区	1,492	0.5	1.1	0.9	2.8	2.3	68.8	23.5	2.5	7.6
	中区	1,148	0.4	0.5	1.3	3.7	2.9	68.9	22.2	2.2	8.8
	東区	793	1.3	1.1	1.4	3.5	4.2	66.6	21.9	3.8	11.5
	西区	1,233	0.8	1.1	1.3	3.8	2.8	70.1	20.2	3.2	9.8
	南区	1,674	0.7	1.3	1.7	3.0	3.2	70.3	19.7	3.7	9.9
	北区	1,576	0.8	1.4	1.5	3.4	2.9	69.8	20.4	3.7	10.0
	美原区	422	—	0.5	0.9	3.8	3.8	68.0	23.0	1.4	9.0

② スポーツ関係のグループやクラブ

参加率「週1回以上」の割合が15.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、令和4年度調査では参加率がやや低くなっています。

認定状況別にみると、一般高齢者の参加率が要支援認定者よりも高くなっています。

性別にみると、女性の参加率が男性よりも高くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれ、参加率が低くなっています。

区域別にみると、美原区、南区で参加率「週1回以上」の割合が他に比べ高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	参加率		
									週1回以上	年に数回以上	
令和4年度調査	8,342	4.2	7.1	4.1	3.1	1.6	60.4	19.5	15.4	20.1	
令和元年度調査	6,181	4.4	7.8	4.3	3.6	2.2	52.7	25.0	16.5	22.3	
認定状況別	一般高齢者	7,525	4.5	7.3	4.2	3.4	1.7	61.2	17.7	16.0	21.1
	要支援認定者	813	2.0	4.4	2.5	0.7	0.5	53.6	36.3	8.9	10.1
性別	男性	3,662	3.5	5.5	3.1	3.6	2.7	65.8	15.8	12.1	18.4
	女性	4,676	4.8	8.3	4.8	2.7	0.7	56.3	22.4	17.9	21.3
年齢別	65～69歳	1,601	4.3	8.1	5.2	3.1	2.1	69.3	7.9	17.6	22.8
	70～74歳	2,496	4.3	7.7	4.1	3.0	1.6	63.9	15.5	16.1	20.7
	75～79歳	2,066	5.0	7.1	4.4	3.5	2.2	57.2	20.7	16.5	22.2
	80～84歳	1,420	3.9	6.0	3.4	3.7	0.8	52.3	30.0	13.3	17.8
	85～89歳	583	2.4	5.7	1.9	1.9	1.0	54.7	32.4	10.0	12.9
	90歳以上	172	1.2	1.7	1.7	0.6	—	54.7	40.1	4.6	5.2
区域別	堺区	1,492	3.3	6.0	3.4	3.2	1.6	61.2	21.4	12.7	17.5
	中区	1,148	4.4	6.8	3.7	3.3	1.7	60.1	19.9	14.9	19.9
	東区	793	4.0	7.9	4.4	3.5	2.6	57.9	19.5	16.3	22.4
	西区	1,233	4.3	6.4	4.1	2.7	1.3	62.0	19.1	14.8	18.8
	南区	1,674	5.5	8.2	4.4	3.4	1.5	58.6	18.4	18.1	23.0
	北区	1,576	3.6	6.7	3.5	3.1	1.5	62.1	19.6	13.8	18.4
	美原区	422	4.3	8.5	7.1	1.9	1.7	60.2	16.4	19.9	23.5

③ 趣味関係のグループ

参加率「週1回以上」の割合が8.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、令和4年度調査では参加率が低くなっています。

認定状況別にみると、一般高齢者の参加率が要支援認定者よりも高くなっています。

性別にみると、女性の参加率が男性よりもやや高くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれ、無回答の割合が高くなっており、参加率に大きな差はみられません。

区域別にみると、美原区、南区で参加率「週1回以上」の割合が他に比べ高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	参加率		
									週1回以上	年に数回以上	
令和4年度調査	8,342	1.1	3.0	4.0	8.6	3.7	59.5	20.1	8.1	20.4	
令和元年度調査	6,181	2.0	4.5	5.5	10.6	4.4	49.2	23.9	12.0	27.0	
認定状況別	一般高齢者	7,525	1.1	3.1	4.1	8.8	3.8	60.5	18.6	8.3	20.9
	要支援認定者	813	1.0	2.0	3.0	6.0	3.0	51.0	34.1	6.0	15.0
性別	男性	3,662	1.2	3.1	3.4	6.0	4.7	65.3	16.2	7.7	18.4
	女性	4,676	1.0	2.8	4.4	10.5	3.0	55.1	23.2	8.2	21.7
年齢別	65～69歳	1,601	0.5	2.2	2.7	8.7	4.5	73.1	8.2	5.4	18.6
	70～74歳	2,496	1.0	2.5	3.9	9.0	4.0	63.3	16.3	7.4	20.4
	75～79歳	2,066	1.7	3.6	4.8	9.3	3.3	55.4	21.8	10.1	22.7
	80～84歳	1,420	1.2	3.7	4.7	8.5	3.9	48.4	29.6	9.6	22.0
	85～89歳	583	0.9	3.1	3.8	5.1	2.2	50.4	34.5	7.8	15.1
	90歳以上	172	1.2	2.9	1.7	2.9	—	52.3	39.0	5.8	8.7
区域別	堺区	1,492	0.9	2.6	3.3	6.9	3.2	60.1	22.9	6.8	16.9
	中区	1,148	1.3	2.8	3.5	8.0	3.6	59.8	21.0	7.6	19.2
	東区	793	1.4	2.9	4.2	8.2	4.2	58.0	21.2	8.5	20.9
	西区	1,233	1.1	2.5	4.3	9.3	3.5	61.0	18.3	7.9	20.7
	南区	1,674	1.3	3.9	4.1	11.4	4.3	56.6	18.3	9.3	25.0
	北区	1,576	0.8	2.6	4.1	7.3	3.7	61.9	19.5	7.5	18.5
	美原区	422	0.9	3.6	5.9	7.3	3.6	58.8	19.9	10.4	21.3

④ 学習・教養サークル

参加率「週1回以上」の割合が2.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、令和4年度調査では参加率が低くなっています。

認定状況別にみると、一般高齢者の参加率が要支援認定者よりもやや高くなっています。

性別にみると、女性の参加率が男性よりも高くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれ、無回答の割合が高くなっており、参加率に大きな差はみられません。

区域別にみると、南区、北区で参加率「週1回以上」の割合が他に比べ高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	参加率		
									週1回以上	年に数回以上	
令和4年度調査	8,342	0.2	0.6	1.3	2.6	1.9	70.2	23.2	2.1	6.6	
令和元年度調査	6,181	0.4	1.0	1.7	3.7	2.8	60.5	30.0	3.1	9.6	
認定状況別	一般高齢者	7,525	0.2	0.6	1.3	2.7	2.0	71.7	21.5	2.1	6.8
	要支援認定者	813	0.1	0.4	0.9	2.0	1.0	57.2	38.5	1.4	4.4
性別	男性	3,662	0.2	0.3	0.8	1.6	1.9	76.9	18.3	1.3	4.8
	女性	4,676	0.2	0.8	1.7	3.5	1.8	65.1	27.0	2.7	8.0
年齢別	65～69歳	1,601	0.3	0.4	1.5	2.9	2.1	83.9	8.9	2.2	7.2
	70～74歳	2,496	0.1	0.6	1.4	2.6	1.8	74.4	19.1	2.1	6.5
	75～79歳	2,066	0.2	0.6	1.4	2.7	2.2	67.5	25.4	2.2	7.1
	80～84歳	1,420	0.4	0.5	1.0	3.2	1.8	58.5	34.6	1.9	6.9
	85～89歳	583	0.3	0.9	0.7	1.2	1.4	57.8	37.7	1.9	4.5
	90歳以上	172	—	—	0.6	—	—	55.2	44.2	0.6	0.6
区域別	堺区	1,492	0.2	0.4	1.1	2.7	1.4	69.3	24.9	1.7	5.8
	中区	1,148	0.2	0.6	0.8	2.5	1.6	70.2	24.1	1.6	5.7
	東区	793	0.1	0.6	1.3	3.4	2.5	68.6	23.5	2.0	7.9
	西区	1,233	0.2	0.3	1.1	2.1	1.9	71.8	22.5	1.6	5.6
	南区	1,674	0.2	1.0	1.7	3.6	1.6	69.5	22.3	2.9	8.1
	北区	1,576	0.3	0.5	1.6	1.9	2.3	71.3	22.2	2.4	6.6
	美原区	422	0.2	0.2	0.9	1.4	2.6	71.6	23.0	1.3	5.3

⑤ (いきいきサロンや体操など) 介護予防のための通いの場

参加率「週1回以上」の割合が3.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、令和4年度調査では参加率が低くなっています。

認定状況別にみると、要支援認定者の参加率が一般高齢者よりも高くなっています。

性別にみると、女性の参加率が男性よりも高くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれ、参加率が高くなっています。

区域別にみると、美原区で参加率「週1回以上」の割合が他に比べ高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	参加率		
									週1回以上	年に数回以上	
令和4年度調査	8,342	0.5	1.3	1.7	1.9	1.3	71.3	22.0	3.5	6.7	
令和元年度調査	6,181	0.8	1.7	2.1	2.3	1.9	62.9	28.2	4.6	8.8	
認定状況別	一般高齢者	7,525	0.4	0.7	0.7	1.6	1.2	74.2	21.1	1.8	4.6
	要支援認定者	813	1.2	6.4	10.3	3.9	2.0	45.5	30.6	17.9	23.8
性別	男性	3,662	0.3	0.7	0.8	1.2	0.9	78.6	17.4	1.8	3.9
	女性	4,676	0.7	1.7	2.3	2.4	1.6	65.7	25.6	4.7	8.7
年齢別	65～69歳	1,601	0.1	0.5	0.4	0.8	0.7	88.1	9.4	1.0	2.5
	70～74歳	2,496	0.4	0.8	1.0	1.0	1.3	76.8	18.8	2.2	4.5
	75～79歳	2,066	0.4	1.1	1.5	2.4	1.4	69.1	24.2	3.0	6.8
	80～84歳	1,420	1.3	2.5	3.2	3.2	1.8	56.0	31.8	7.0	12.0
	85～89歳	583	0.5	2.2	3.8	3.1	1.7	55.2	33.4	6.5	11.3
	90歳以上	172	0.6	4.1	5.2	3.5	0.6	46.5	39.5	9.9	14.0
区域別	堺区	1,492	0.4	1.2	1.1	1.5	1.3	70.5	23.9	2.7	5.5
	中区	1,148	0.4	1.4	1.7	1.2	0.8	70.8	23.6	3.5	5.5
	東区	793	0.6	0.4	1.6	2.1	1.6	71.0	22.6	2.6	6.3
	西区	1,233	0.3	1.5	1.6	2.5	1.8	71.6	20.6	3.4	7.7
	南区	1,674	0.7	1.5	1.2	2.1	1.0	72.3	21.2	3.4	6.5
	北区	1,576	0.6	1.0	2.1	1.5	0.8	73.0	21.0	3.7	6.0
	美原区	422	0.5	2.1	3.6	3.1	3.8	66.1	20.9	6.2	13.1

⑥ 老人クラブ

参加率「週1回以上」の割合が1.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、令和4年度調査では参加率がやや低くなっています。

認定状況別にみると、要支援認定者の参加率が一般高齢者よりもやや高くなっています。

性別にみると、参加率に大きな差はみられません。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれ、無回答の割合が高くなっており、参加率に大きな差はみられません。

区域別にみると、美原区で参加率「週1回以上」の割合が他に比べ高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	参加率		
									週1回以上	年に数回以上	
令和4年度調査	8,342	0.4	0.5	0.7	1.8	3.1	71.1	22.5	1.6	6.5	
令和元年度調査	6,181	0.6	0.7	0.6	2.2	4.1	62.8	29.0	1.9	8.2	
認定状況別	一般高齢者	7,525	0.4	0.5	0.6	1.6	3.0	72.8	21.0	1.5	6.1
	要支援認定者	813	0.2	0.6	1.2	3.1	4.2	54.9	35.8	2.0	9.3
性別	男性	3,662	0.4	0.5	0.7	1.5	3.4	76.2	17.3	1.6	6.5
	女性	4,676	0.4	0.5	0.6	1.9	2.8	67.1	26.5	1.5	6.2
年齢別	65～69歳	1,601	—	0.2	0.1	0.5	1.1	88.5	9.6	0.3	1.9
	70～74歳	2,496	0.3	0.2	0.4	1.4	2.2	76.6	18.9	0.9	4.5
	75～79歳	2,066	0.6	0.8	0.7	2.0	3.6	67.7	24.5	2.1	7.7
	80～84歳	1,420	0.7	0.6	1.3	2.8	4.8	56.3	33.4	2.6	10.2
	85～89歳	583	0.7	2.1	1.2	3.1	5.7	53.9	33.4	4.0	12.8
	90歳以上	172	—	—	0.6	2.9	5.2	48.3	43.0	0.6	8.7
区域別	堺区	1,492	0.4	0.3	0.4	0.9	2.2	70.8	25.1	1.1	4.2
	中区	1,148	0.5	0.4	0.7	1.7	3.7	69.4	23.6	1.6	7.0
	東区	793	0.4	0.3	0.5	2.1	2.3	71.1	23.3	1.2	5.6
	西区	1,233	0.5	0.6	0.9	1.9	3.4	71.9	20.8	2.0	7.3
	南区	1,674	0.2	0.7	0.7	1.9	2.8	72.4	21.4	1.6	6.3
	北区	1,576	0.4	0.7	0.6	2.3	3.1	70.9	21.9	1.7	7.1
	美原区	422	0.5	0.9	1.2	1.4	6.2	69.4	20.4	2.6	10.2

⑦ 町内会・自治会

参加率「週1回以上」の割合が1.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、令和4年度調査では参加率がやや低くなっています。

認定状況別にみると、一般高齢者の参加率が要支援認定者よりもやや高くなっています。

性別にみると、男性の参加率が女性よりも高くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれ、無回答の割合が高くなっており、参加率に大きな差はみられません。

区域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	参加率		
									週1回以上	年に数回以上	
令和4年度調査	8,342	0.4	0.4	0.6	4.6	14.6	57.9	21.5	1.4	20.6	
令和元年度調査	6,181	0.5	0.5	0.9	4.8	15.6	49.5	28.2	1.9	22.3	
認定状況別	一般高齢者	7,525	0.5	0.4	0.6	4.7	15.4	58.6	19.8	1.5	21.6
	要支援認定者	813	0.2	0.2	0.7	3.1	7.9	51.2	36.7	1.1	12.1
性別	男性	3,662	0.5	0.5	0.9	5.4	15.0	61.7	16.0	1.9	22.3
	女性	4,676	0.4	0.3	0.5	3.9	14.3	54.9	25.7	1.2	19.4
年齢別	65～69歳	1,601	0.2	0.4	0.4	4.9	18.0	67.6	8.5	1.0	23.9
	70～74歳	2,496	0.3	0.4	0.7	4.8	14.7	61.5	17.7	1.4	20.9
	75～79歳	2,066	0.4	0.4	0.6	5.1	15.6	54.5	23.3	1.4	22.1
	80～84歳	1,420	1.1	0.4	1.0	4.3	12.7	49.2	31.3	2.5	19.5
	85～89歳	583	0.5	—	0.9	2.9	9.1	50.9	35.7	1.4	13.4
	90歳以上	172	—	—	—	—	5.2	50.0	44.8	0.0	5.2
区域別	堺区	1,492	0.5	0.4	0.3	3.4	13.6	58.5	23.2	1.2	18.2
	中区	1,148	0.2	0.4	0.4	6.4	16.5	53.3	22.8	1.0	23.9
	東区	793	0.5	0.4	0.8	4.8	14.9	57.1	21.6	1.7	21.4
	西区	1,233	0.6	0.2	1.0	3.9	13.3	60.5	20.5	1.8	19.0
	南区	1,674	0.3	0.4	0.8	4.4	16.5	57.5	20.2	1.5	22.4
	北区	1,576	0.6	0.4	0.7	5.3	12.8	59.8	20.5	1.7	19.8
	美原区	422	0.5	—	0.2	3.8	16.4	56.4	22.7	0.7	20.9

⑧ 収入のある仕事

参加率「週1回以上」の割合が19.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、令和4年度調査では参加率がやや高くなっています。

認定状況別にみると、一般高齢者の参加率が要支援認定者よりも高くなっています。

性別にみると、男性の参加率が女性よりも高くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれ、参加率が低くなっています。

区域別にみると、大きな差はみられません。

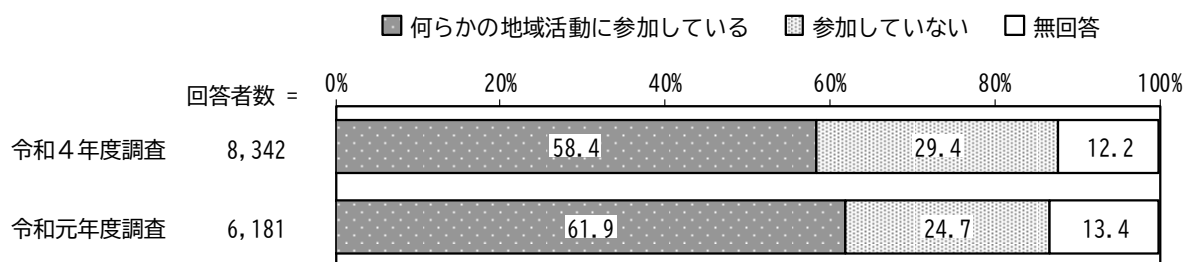
単位：%

区分	回答者数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	参加率		
									週1回以上	年に数回以上	
令和4年度調査	8,342	12.0	6.3	1.2	1.5	0.9	57.4	20.8	19.5	21.9	
令和元年度調査	6,181	10.5	5.1	1.3	1.4	1.1	52.9	27.7	16.9	19.4	
認定状況別	一般高齢者	7,525	13.1	6.9	1.2	1.6	1.0	57.3	18.9	21.2	23.8
	要支援認定者	813	1.0	1.5	0.7	0.5	0.5	57.8	38.0	3.2	4.2
性別	男性	3,662	16.9	7.6	1.2	2.0	1.0	55.6	15.6	25.7	28.7
	女性	4,676	8.1	5.3	1.1	1.1	0.9	58.7	24.8	14.5	16.5
年齢別	65～69歳	1,601	28.9	11.6	1.5	2.1	1.0	48.5	6.5	42.0	45.1
	70～74歳	2,496	14.3	9.1	1.5	1.7	1.0	57.3	15.2	24.9	27.6
	75～79歳	2,066	6.4	4.1	1.2	1.9	1.2	62.3	22.9	11.7	14.8
	80～84歳	1,420	2.6	1.8	0.5	0.4	0.6	60.1	34.1	4.9	5.9
	85～89歳	583	1.4	1.0	0.5	0.5	0.5	59.3	36.7	2.9	3.9
	90歳以上	172	0.6	1.2	—	1.2	—	54.1	43.0	1.8	3.0
区域別	堺区	1,492	14.0	6.2	0.7	1.7	0.7	55.1	21.4	20.9	23.3
	中区	1,148	11.4	6.6	1.3	1.0	0.7	56.9	22.0	19.3	21.0
	東区	793	11.5	6.1	1.3	1.6	0.8	57.9	20.9	18.9	21.3
	西区	1,233	12.7	6.2	0.6	1.5	1.0	57.9	20.1	19.5	22.0
	南区	1,674	9.9	6.5	1.4	1.5	1.2	59.5	20.1	17.8	20.5
	北区	1,576	12.1	6.7	1.5	1.4	1.0	56.9	20.5	20.3	22.7
	美原区	422	12.6	5.2	1.4	2.1	1.2	57.6	19.9	19.2	22.5

〈地域活動（問 6（1）の①～⑧の活動）への参加状況〉

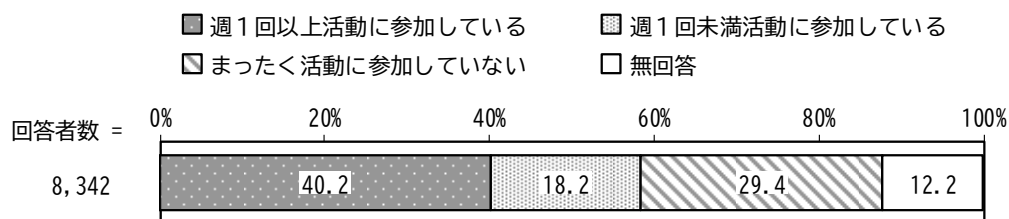
地域活動の参加状況については、「何らかの地域活動に参加している」が 58.4%、「参加していない」が 29.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「参加していない」が 4.7 ポイント増加しています。



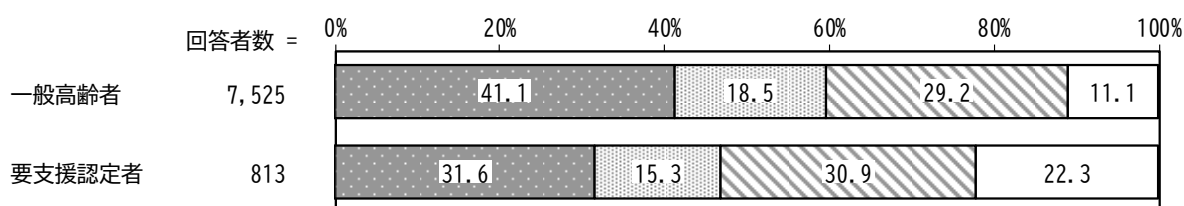
◆参加頻度

『地域活動の参加率（「週 1 回以上活動に参加している」と「週 1 回未満活動に参加している」の合計）』は 58.4%、「まったく活動に参加していない」の割合が 29.4%となっています。



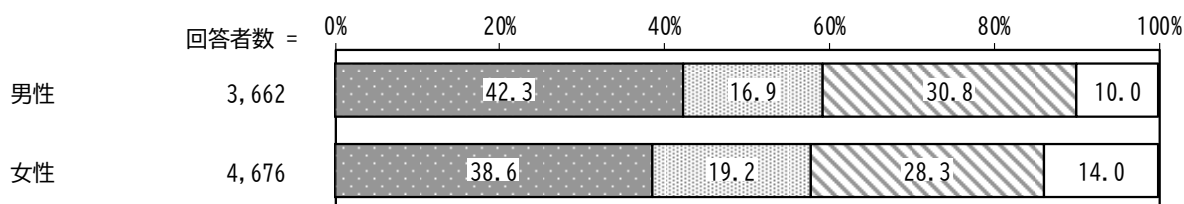
【認定状況別】

認定状況別にみると、『地域活動の参加率』は一般高齢者が 59.6%、要支援認定者が 46.9%となっています。



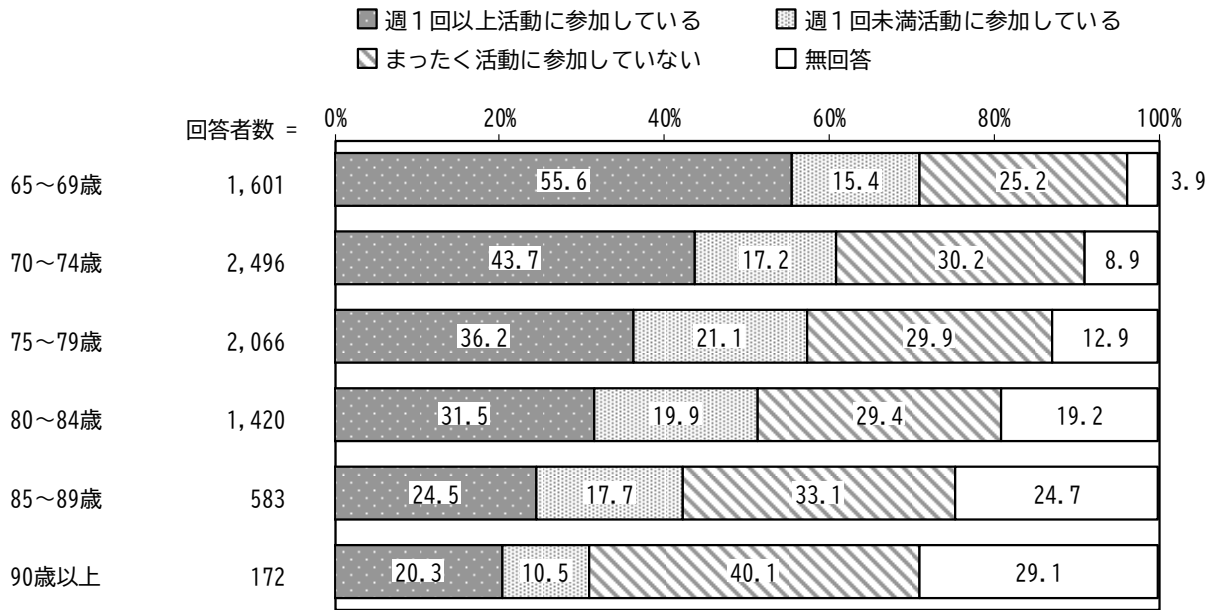
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



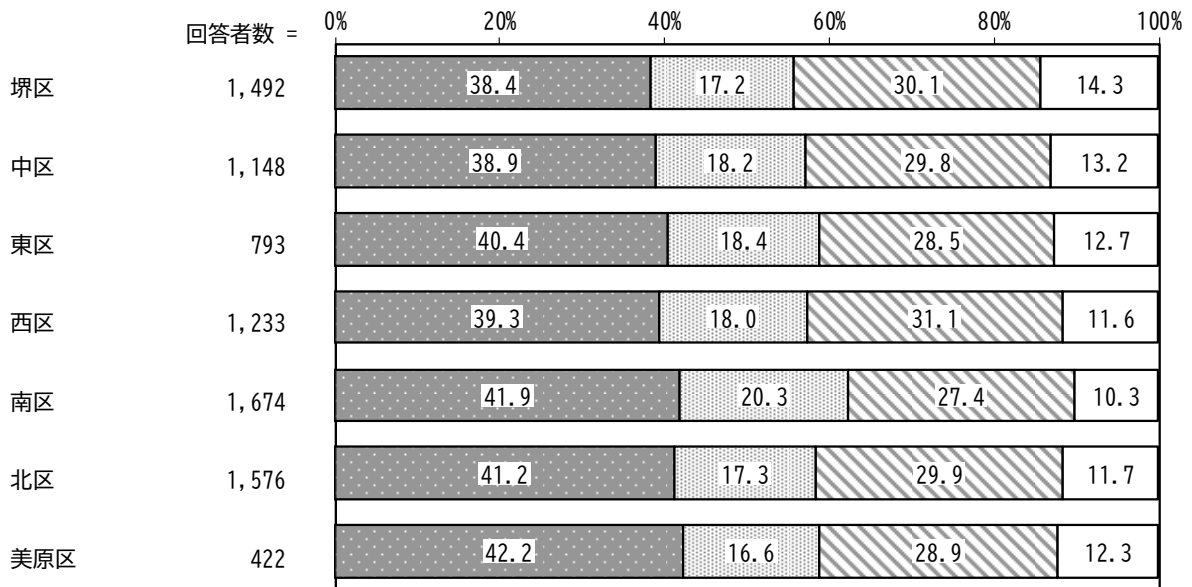
【年齢別】

年齢別にみると、『地域活動の参加率』は年齢が上がるにつれ、低くなっています。



【区域別】

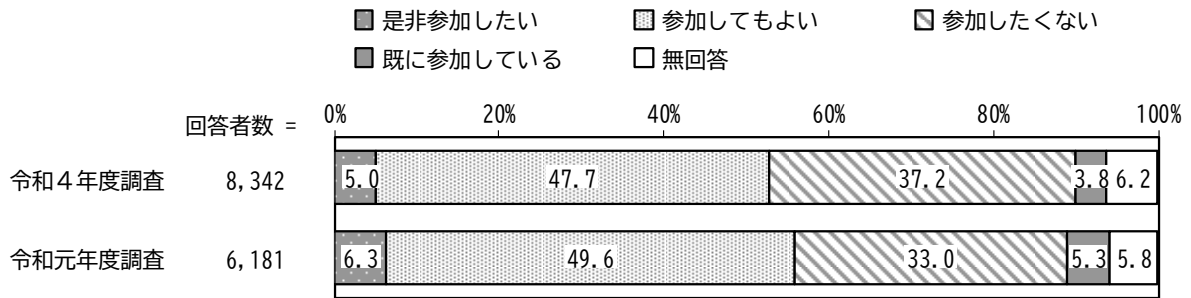
区域別にみると、大きな差はみられません。



問 6 (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (〇はひとつ)

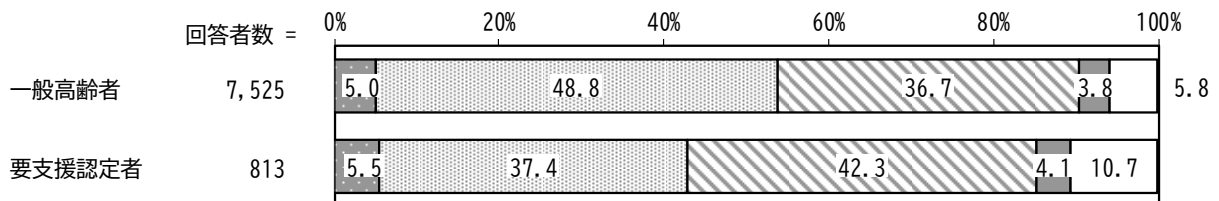
「参加してもよい」の割合が 47.7%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が 37.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



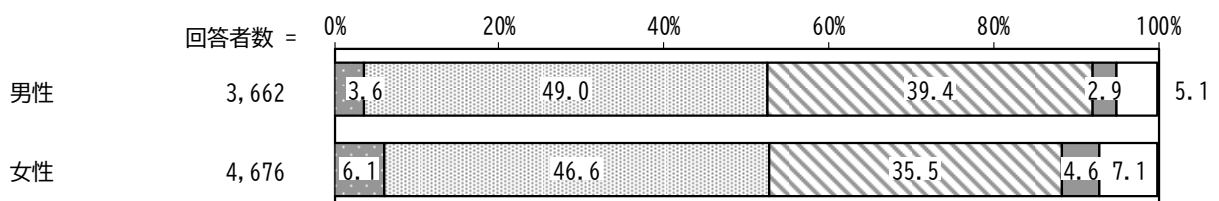
【認定状況別】

認定状況別にみると、要支援認定者で「参加したくない」の割合が高くなっています。



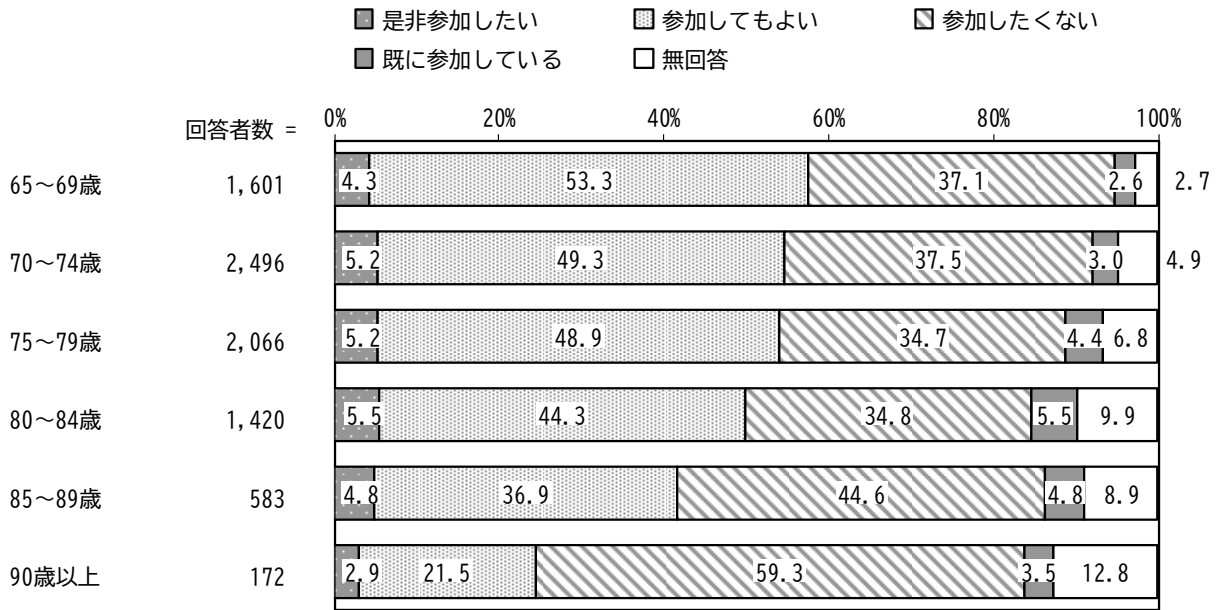
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



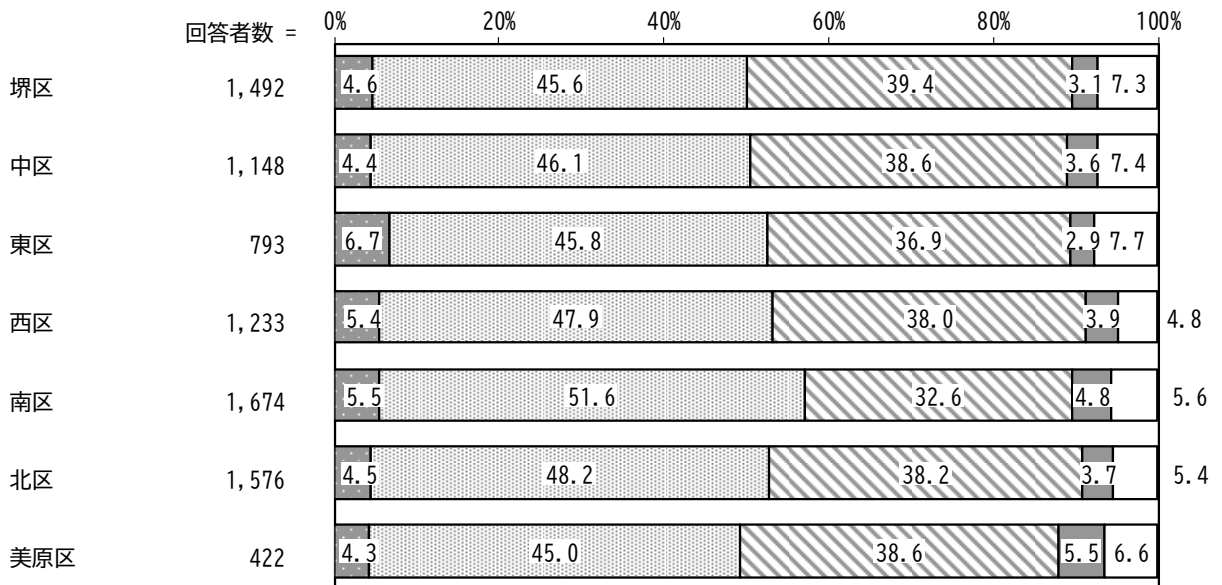
【年齢別】

年齢別にみると、「参加してもよい」では、年齢が上がるにつれ、割合が低くなっています。



【区域別】

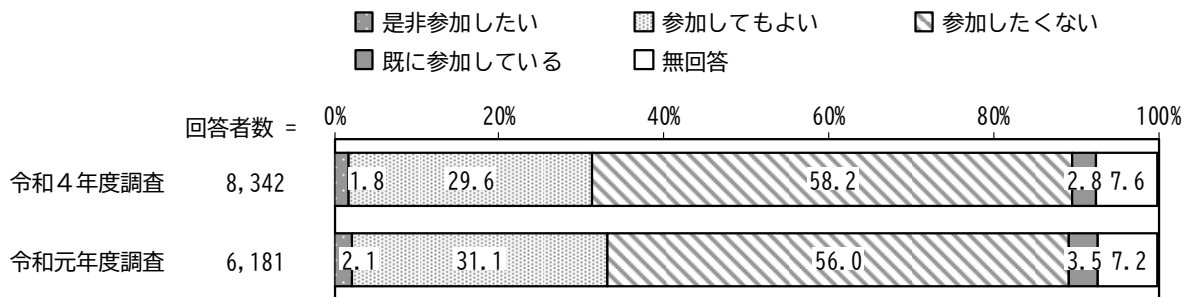
区域別にみると、大きな差はみられません。



問 6 (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（〇はひとつ）

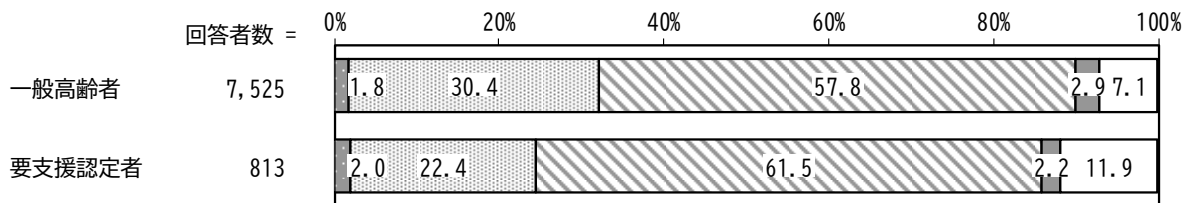
「参加したくない」の割合が 58.2%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が 29.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



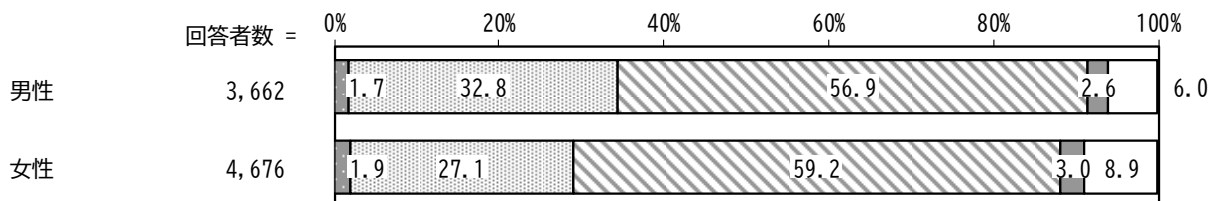
【認定状況別】

認定状況別にみると、「参加してもよい」では、一般高齢者が 30.4%で、要支援認定者（22.4%）よりも 8.0 ポイント高くなっています。



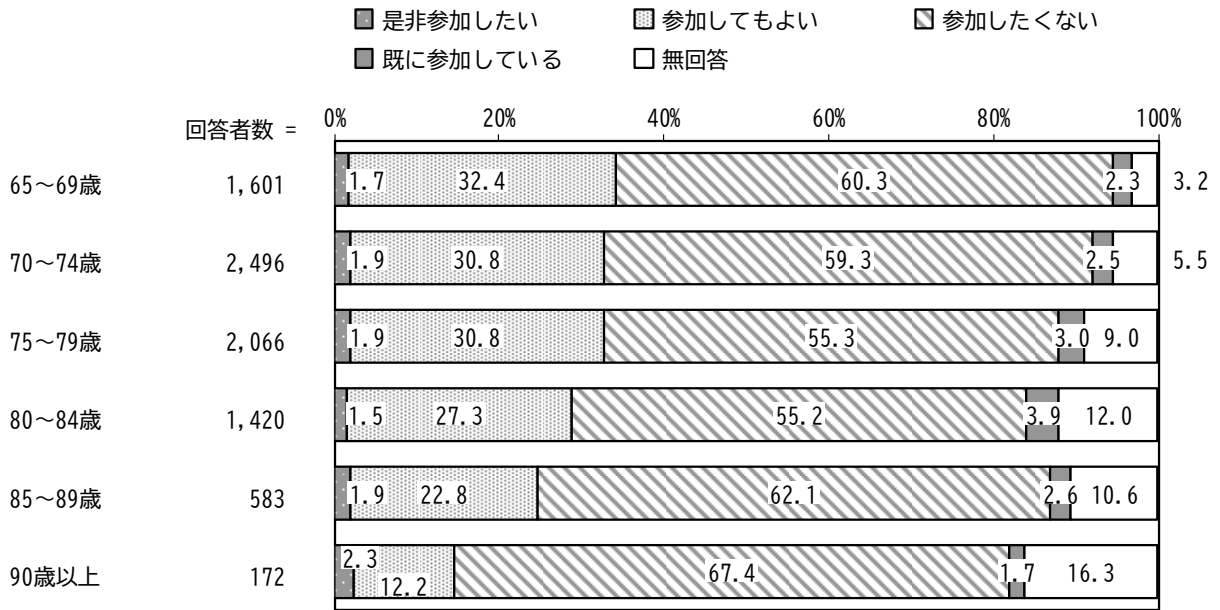
【性別】

性別にみると、「参加してもよい」では、男性が 32.8%で、女性（27.1%）よりも 5.7 ポイント高くなっています。



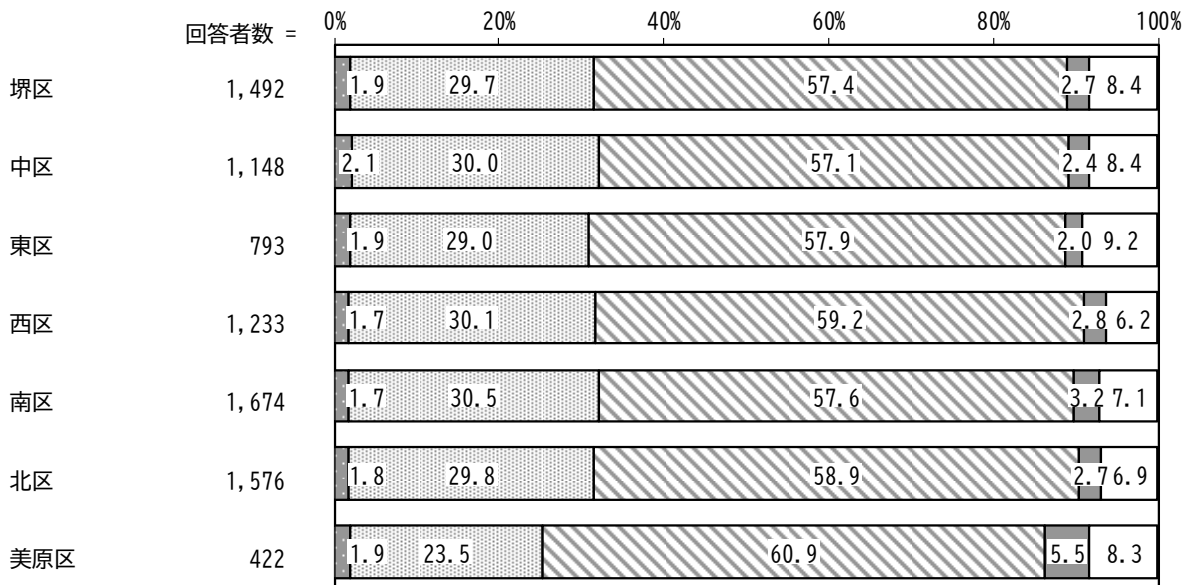
【年齢別】

年齢別にみると、「参加してもよい」では、年齢が上がるにつれ、割合が低くなっています。



【区域別】

区域別にみると、大きな差はみられません。

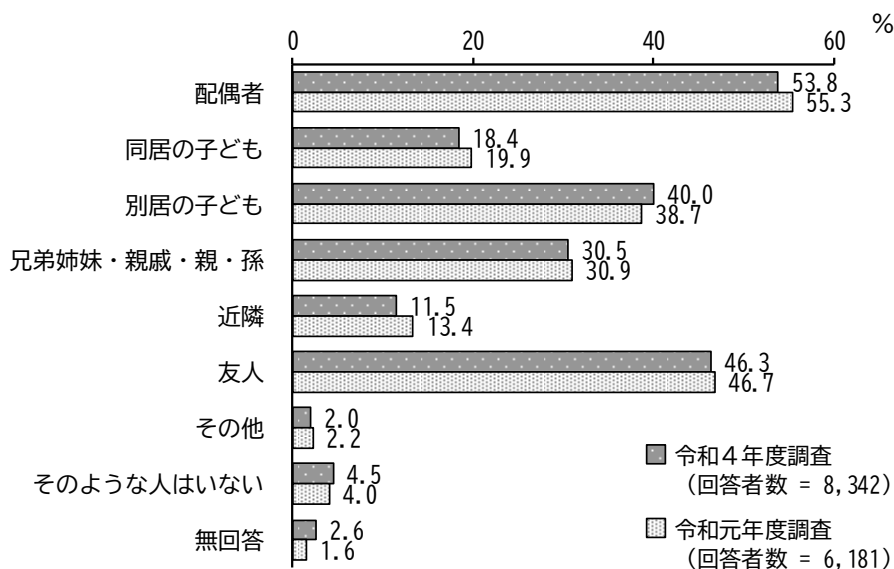


(8) たすけあいについて

問7 (1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（〇はいくつでも）

「配偶者」の割合が53.8%と最も高く、次いで「友人」の割合が46.3%、「別居の子ども」の割合が40.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【認定状況別】

認定状況別にみると、一般高齢者では「配偶者」が56.3%で最も高く、要支援認定者では「別居の子ども」が38.7%で最も高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・孫 兄弟姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	いない そのような人は	無回答
全 体	8,342	53.8	18.4	40.0	30.5	11.5	46.3	2.0	4.5	2.6
一般高齢者	7,525	56.3	18.4	40.1	30.8	11.5	47.3	1.7	4.3	2.4
要支援認定者	813	30.3	18.9	38.7	27.9	11.1	35.9	4.6	6.4	4.3

【性別】

性別にみると、男性では「配偶者」が70.3%で最も高く、女性では「友人」が57.5%で最も高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・孫 兄弟姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	いない そのような人は	無回答
全 体	8,342	53.8	18.4	40.0	30.5	11.5	46.3	2.0	4.5	2.6
男性	3,662	70.3	12.9	30.0	20.3	6.0	31.9	2.0	6.7	2.7
女性	4,676	40.8	22.8	47.7	38.5	15.8	57.5	2.0	2.8	2.5

【年齢別】

年齢別にみると、65～84歳で「配偶者」の割合が最も高く、85歳以上では「別居の子ども」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	ない そのような人は	無回答
全 体	8,342	53.8	18.4	40.0	30.5	11.5	46.3	2.0	4.5	2.6
65～69歳	1,601	62.2	19.7	37.2	32.0	8.6	55.0	3.0	4.8	1.1
70～74歳	2,496	59.4	15.8	39.7	31.2	12.1	50.2	1.6	4.6	2.0
75～79歳	2,066	52.9	18.2	41.7	30.8	12.2	45.9	1.2	4.1	2.9
80～84歳	1,420	46.1	18.5	39.6	29.9	13.2	39.9	2.3	4.1	4.4
85～89歳	583	37.6	23.0	43.6	26.2	11.3	29.8	1.9	5.3	3.6
90歳以上	172	22.1	33.1	39.0	22.7	7.0	20.3	7.0	5.8	4.1

【区域別】

区域別にみると、大きな差はみられません。

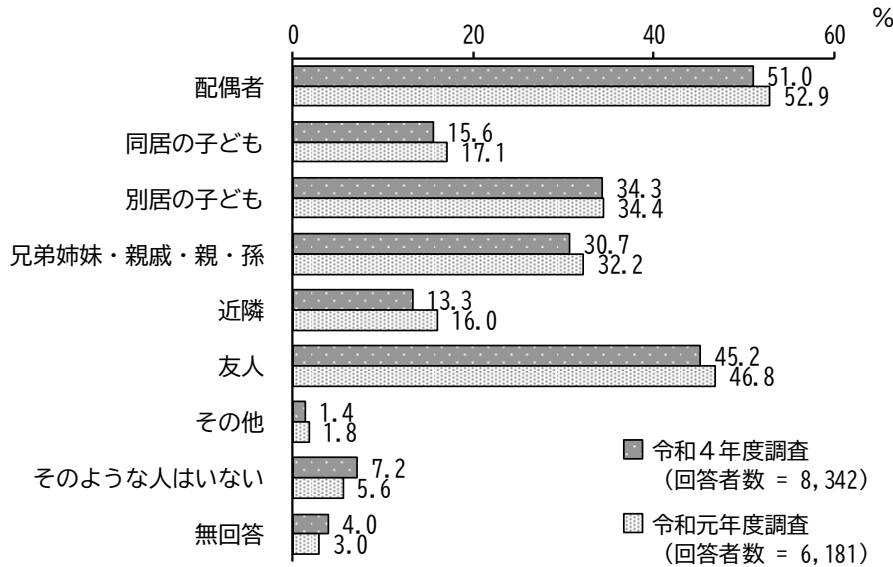
単位：％

区分	回答者数(件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	ない そのような人は	無回答
全 体	8,342	53.8	18.4	40.0	30.5	11.5	46.3	2.0	4.5	2.6
堺区	1,492	48.6	17.8	35.4	29.5	11.3	45.5	2.5	6.4	3.2
中区	1,148	56.8	17.9	39.0	31.2	13.2	43.9	2.3	4.5	3.0
東区	793	54.6	20.4	39.5	29.6	11.2	45.0	1.9	3.9	2.8
西区	1,233	54.4	20.1	40.3	32.1	10.5	44.5	1.9	3.8	2.1
南区	1,674	57.0	18.0	42.3	29.2	10.8	48.7	1.7	3.8	2.4
北区	1,576	50.6	17.1	40.8	30.8	11.4	47.5	2.2	4.8	2.1
美原区	422	59.0	20.9	46.0	33.2	14.2	47.9	0.7	2.4	3.1

問7(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(〇はいくつでも)

「配偶者」の割合が51.0%と最も高く、次いで「友人」の割合が45.2%、「別居の子ども」の割合が34.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【認定状況別】

認定状況別にみると、一般高齢者では「配偶者」が53.7%で最も高く、要支援認定者では「友人」が35.2%で最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	はいない	そのような人	無回答
全体	8,342	51.0	15.6	34.3	30.7	13.3	45.2	1.4	7.2	4.0	
一般高齢者	7,525	53.7	15.9	35.2	31.4	13.3	46.2	1.4	6.4	3.6	
要支援認定者	813	26.6	13.0	26.2	23.7	13.9	35.2	1.2	15.1	7.4	

【性別】

性別にみると、男性では「配偶者」が68.2%と最も高く、女性では「友人」が56.4%と最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	はいない	そのような人	無回答
全体	8,342	51.0	15.6	34.3	30.7	13.3	45.2	1.4	7.2	4.0	
男性	3,662	68.2	12.3	28.0	21.8	7.6	30.9	1.6	9.2	3.8	
女性	4,676	37.6	18.2	39.3	37.7	17.8	56.4	1.2	5.7	4.1	

【年齢別】

年齢別にみると、89歳以下では「配偶者」の割合が最も高く、90歳以上では「別居の子ども」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全 体	8,342	51.0	15.6	34.3	30.7	13.3	45.2	1.4	7.2	4.0
65～69歳	1,601	60.1	19.0	37.4	35.5	10.8	53.9	2.4	5.2	1.6
70～74歳	2,496	55.9	13.8	36.3	32.1	13.6	49.0	1.3	6.3	3.0
75～79歳	2,066	50.7	14.5	33.7	30.9	15.0	44.8	1.0	6.5	4.1
80～84歳	1,420	43.2	15.0	31.3	26.7	14.3	39.3	1.2	8.0	6.3
85～89歳	583	34.6	17.2	28.6	23.8	12.9	28.1	0.9	14.4	7.0
90歳以上	172	19.2	23.8	27.9	19.2	6.4	19.2	1.2	18.0	8.7

【区域別】

区域別にみると、「そのような人はいない」では、堺区が9.1%で最も高くなっています。

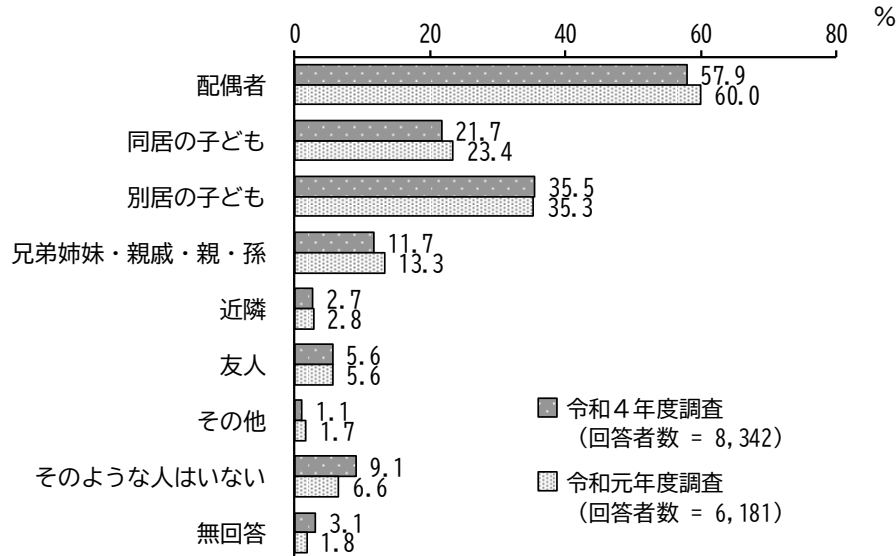
単位：％

区分	回答者数(件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全 体	8,342	51.0	15.6	34.3	30.7	13.3	45.2	1.4	7.2	4.0
堺区	1,492	45.8	15.3	29.5	30.3	12.6	44.6	1.8	9.1	4.7
中区	1,148	53.6	15.2	34.8	30.2	13.4	42.2	1.5	6.9	4.7
東区	793	54.0	18.4	35.1	32.0	13.5	44.9	1.5	6.7	3.8
西区	1,233	52.1	17.7	34.7	32.0	12.7	43.0	1.5	6.3	3.6
南区	1,674	54.1	14.2	36.7	28.9	13.3	47.5	1.3	7.3	3.6
北区	1,576	47.7	14.0	34.1	30.8	13.4	46.9	1.1	7.5	3.6
美原区	422	54.3	18.7	38.6	33.4	17.1	46.7	0.5	4.3	3.8

問7 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (〇はいくつでも)

「配偶者」の割合が57.9%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が35.5%、「同居の子ども」の割合が21.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【認定状況別】

認定状況別にみると、一般高齢者では「配偶者」が60.8%で最も高く、要支援認定者では「別居の子ども」が36.9%で最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全体	8,342	57.9	21.7	35.5	11.7	2.7	5.6	1.1	9.1	3.1
一般高齢者	7,525	60.8	21.7	35.3	11.6	2.5	5.6	0.9	8.4	2.8
要支援認定者	813	31.1	21.2	36.9	12.7	4.4	5.4	3.2	15.5	5.0

【性別】

性別にみると、男性・女性ともに「配偶者」の割合が最も高く、「配偶者」以外の項目では、男性よりも女性の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全体	8,342	57.9	21.7	35.5	11.7	2.7	5.6	1.1	9.1	3.1
男性	3,662	75.2	16.0	28.0	9.1	1.1	2.7	0.8	8.5	2.9
女性	4,676	44.4	26.1	41.3	13.8	3.9	7.9	1.3	9.6	3.2

【年齢別】

年齢別にみると、84歳以下では「配偶者」の割合が最も高く、85歳以上では「別居の子ども」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全 体	8,342	57.9	21.7	35.5	11.7	2.7	5.6	1.1	9.1	3.1
65～69歳	1,601	68.0	22.9	29.6	12.2	1.8	6.0	0.6	9.2	1.3
70～74歳	2,496	64.4	18.4	34.2	11.4	2.8	5.7	0.8	9.7	2.4
75～79歳	2,066	57.2	21.0	37.9	12.1	2.4	6.5	1.0	8.1	3.7
80～84歳	1,420	49.0	23.0	38.2	11.5	4.1	5.2	1.3	9.1	4.2
85～89歳	583	37.0	27.3	40.1	10.8	2.9	3.3	2.6	10.6	4.3
90歳以上	172	23.3	37.2	40.7	11.6	1.2	1.7	4.1	6.4	7.0

【区域別】

区域別にみると、「そのような人はいない」では、堺区が12.6%で最も高くなっています。

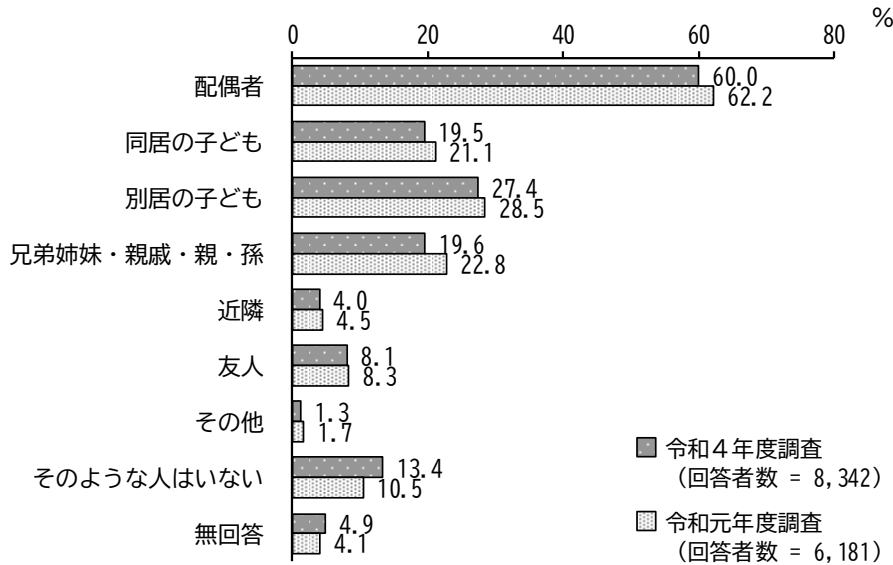
単位：％

区分	回答者数(件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全 体	8,342	57.9	21.7	35.5	11.7	2.7	5.6	1.1	9.1	3.1
堺区	1,492	51.4	21.3	32.4	13.5	2.3	5.9	1.7	12.6	3.9
中区	1,148	61.6	21.9	37.1	12.2	3.6	5.4	1.0	6.4	3.0
東区	793	59.4	22.7	36.2	10.0	2.9	4.8	1.0	8.7	2.6
西区	1,233	58.2	24.2	35.3	12.7	2.0	5.1	0.9	8.4	2.8
南区	1,674	61.5	20.5	34.8	9.3	2.7	5.5	1.3	8.9	3.2
北区	1,576	55.5	20.3	36.1	11.9	3.0	6.8	0.7	9.5	2.5
美原区	422	62.3	23.0	41.7	13.3	2.4	4.3	0.9	6.4	3.1

問7 (4) 反対に、看病や世話をしあける人 (〇はいくつでも)

「配偶者」の割合が60.0%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が27.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が19.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【認定状況別】

認定状況別にみると、「そのような人はいない」では、要介護認定者が28.3%で、一般高齢者(11.7%)よりも16.6ポイント高くなっています。

単位: %

区分	回答者数(件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・孫 兄弟姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	いない そのような人は	無回答
全体	8,342	60.0	19.5	27.4	19.6	4.0	8.1	1.3	13.4	4.9
一般高齢者	7,525	62.8	20.1	28.9	20.6	4.1	8.3	1.1	11.7	4.1
要支援認定者	813	34.1	13.5	13.8	10.7	3.2	6.2	3.1	28.3	11.4

【性別】

性別にみると、「配偶者」、「そのような人はいない」以外の項目で、男性よりも女性の割合が高くなっています。

単位: %

区分	回答者数(件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・孫 兄弟姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	いない そのような人は	無回答
全体	8,342	60.0	19.5	27.4	19.6	4.0	8.1	1.3	13.4	4.9
男性	3,662	72.7	15.6	20.8	14.0	1.9	3.9	0.7	13.6	4.2
女性	4,676	50.1	22.5	32.7	24.1	5.7	11.4	1.8	13.2	5.4

【年齢別】

年齢別にみると、89歳以下では「配偶者」の割合が最も高く、90歳以上で「そのような人はいない」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全 体	8,342	60.0	19.5	27.4	19.6	4.0	8.1	1.3	13.4	4.9
65～69歳	1,601	68.9	23.9	30.8	27.5	2.7	7.2	1.1	10.1	1.6
70～74歳	2,496	66.6	18.4	30.6	22.0	4.4	8.9	1.0	11.3	3.0
75～79歳	2,066	59.8	18.8	28.6	18.5	4.8	9.5	1.0	11.9	5.0
80～84歳	1,420	51.3	18.2	22.9	13.2	4.6	7.5	1.1	16.4	8.3
85～89歳	583	40.1	17.8	16.3	10.5	2.6	5.5	2.6	22.6	10.8
90歳以上	172	23.3	18.0	12.2	9.3	0.6	1.2	7.0	34.9	12.8

【区域別】

区域別にみると、「そのような人はいない」では、堺区が17.3%で最も高くなっています。

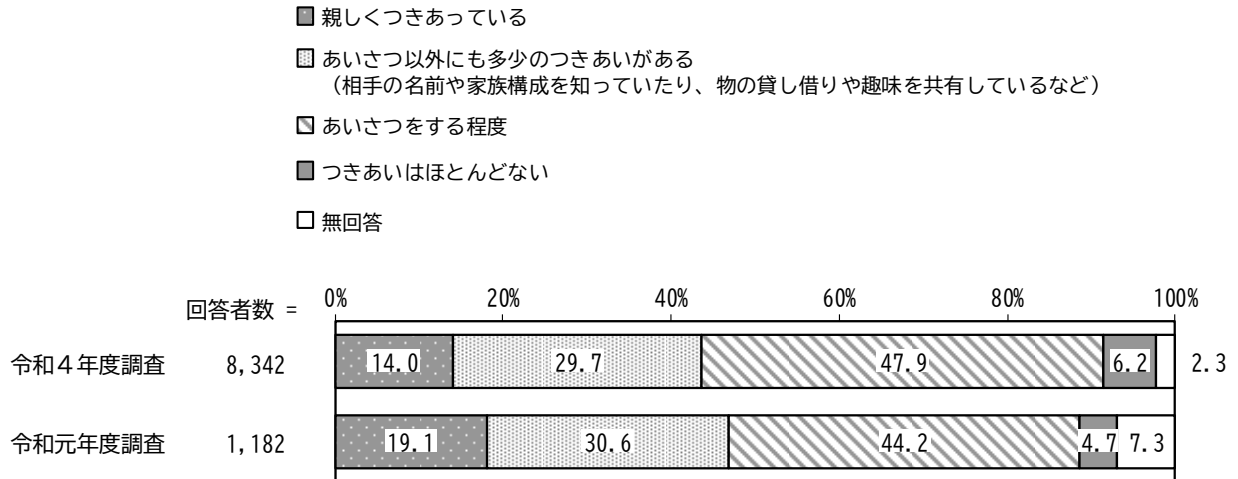
単位：％

区分	回答者数(件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全 体	8,342	60.0	19.5	27.4	19.6	4.0	8.1	1.3	13.4	4.9
堺区	1,492	53.1	18.8	23.9	20.8	3.9	8.4	1.5	17.3	5.8
中区	1,148	62.9	19.1	27.6	20.2	4.7	7.8	1.6	10.9	5.7
東区	793	61.3	20.8	27.2	20.3	4.5	8.4	1.1	12.2	5.4
西区	1,233	60.6	21.7	27.3	19.1	3.3	7.5	0.8	13.2	4.0
南区	1,674	63.9	19.5	29.5	17.4	3.5	8.1	1.3	12.6	4.1
北区	1,576	57.9	17.9	27.5	19.8	4.7	8.8	1.1	13.8	4.6
美原区	422	65.2	19.7	32.5	22.0	3.3	6.6	1.9	10.2	4.5

問 7 (5) ふだん、近所の人とどの程度のつきあいをしていますか (〇はひとつ)

「あいさつをする程度」の割合が 47.9%と最も高く、次いで「あいさつ以外にも多少のつきあいがある (相手の名前や家族構成を知っていたり、物の貸し借りや趣味を共有しているなど)」の割合が 29.7%、「親しくつきあっている」の割合が 14.0%となっています。

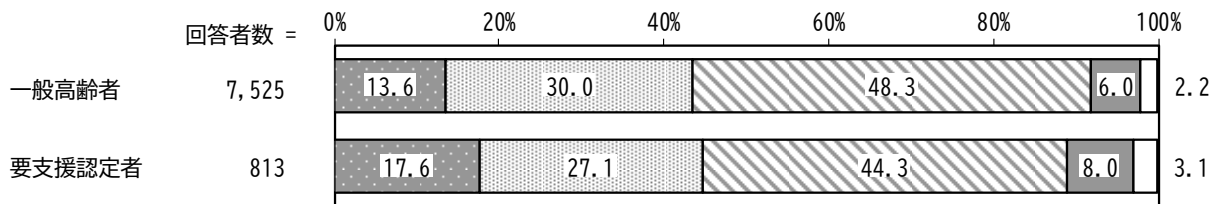
令和元年度調査と比較すると、「親しくつきあっている」の割合が 5.1 ポイント減少しています。



※令和元年度調査の「わからない」の選択肢は、令和4年度調査の「無回答」の選択肢に計上しています。

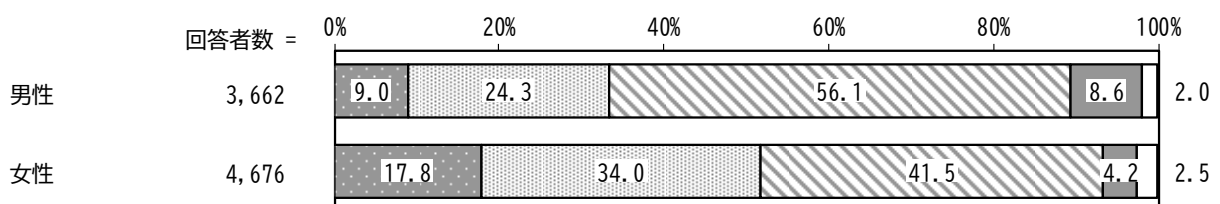
【認定状況別】

認定状況別にみると、大きな差はみられません。



【性別】

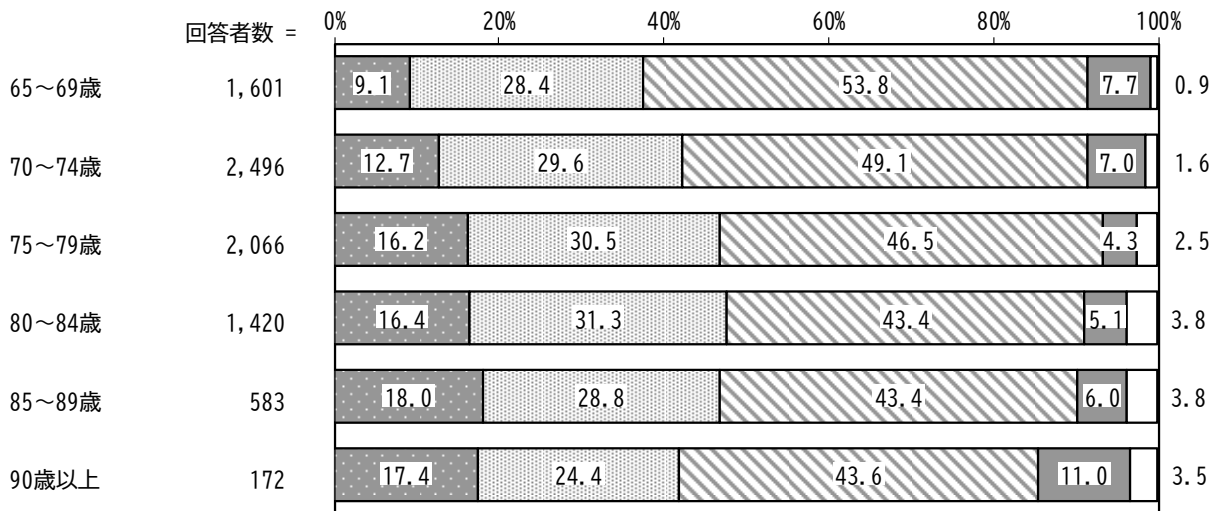
性別にみると、『つきあいがある (「親しくつきあっている」と「あいさつ以外にも多少のつきあいがある」の合計)』では、女性が 51.8%で、男性 (33.3%) よりも 18.5 ポイント高くなっています。



【年齢別】

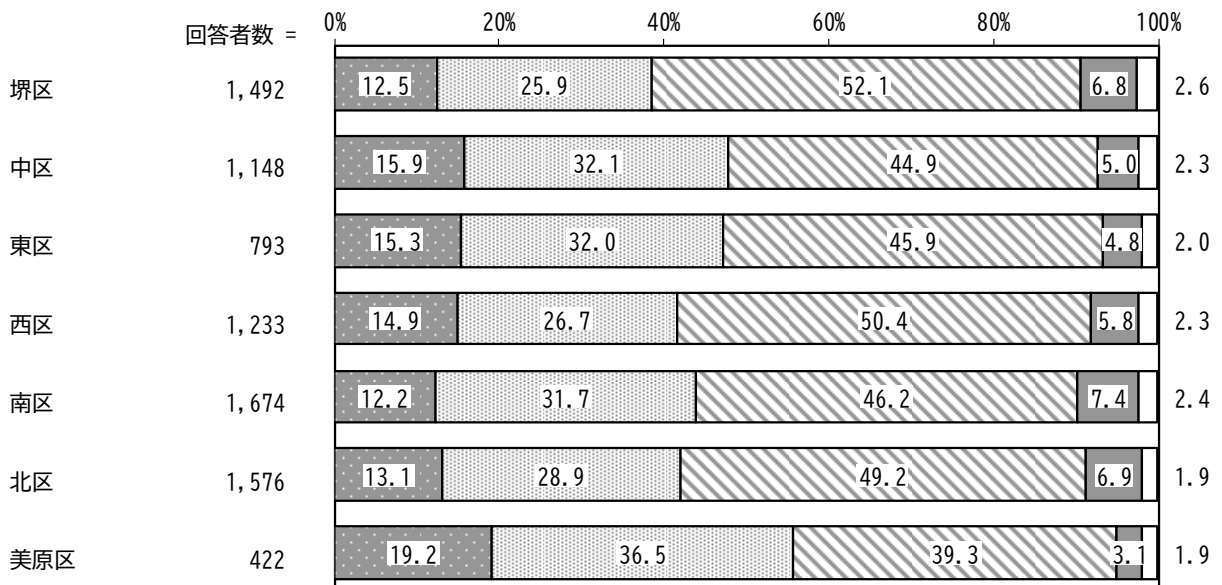
年齢別にみると、前期高齢者（65～74歳）では、「親しくつきあっている」の割合が低くなっています。

- 親しくつきあっている
- ▨ あいさつ以外にも多少のつきあいがある
(相手の名前や家族構成を知っていたり、物の貸し借りや趣味を共有しているなど)
- ▩ あいさつをする程度
- つきあいはほとんどない
- 無回答



【区域別】

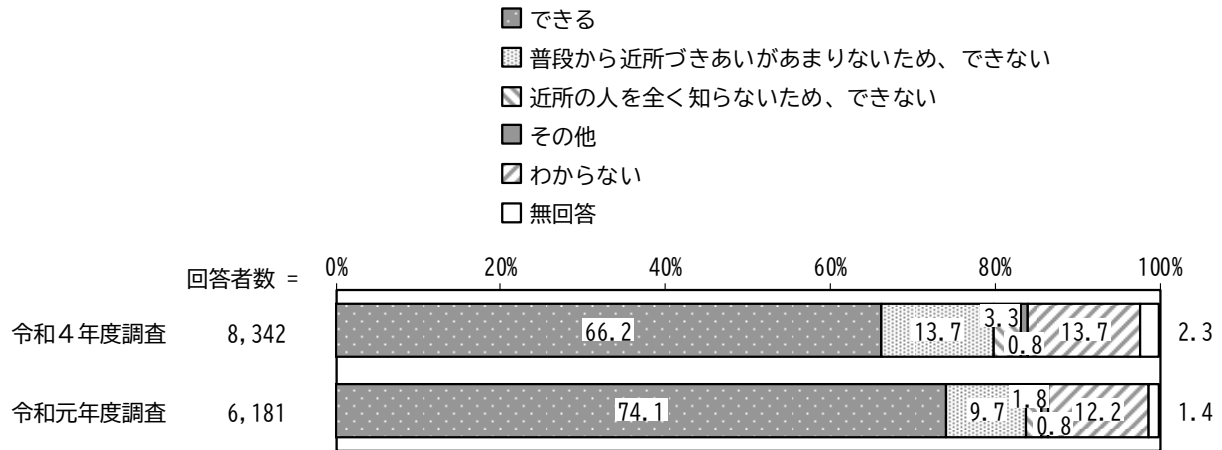
区域別にみると、美原区で「親しくつきあっている」、「あいさつ以外にも多少のつきあいがある（相手の名前や家族構成を知っていたり、物の貸し借りや趣味を共有しているなど）」の割合が高くなっています。



問7(6) 災害発生時に、近所の人と声をかけ合って避難することができますか(〇はひとつ)

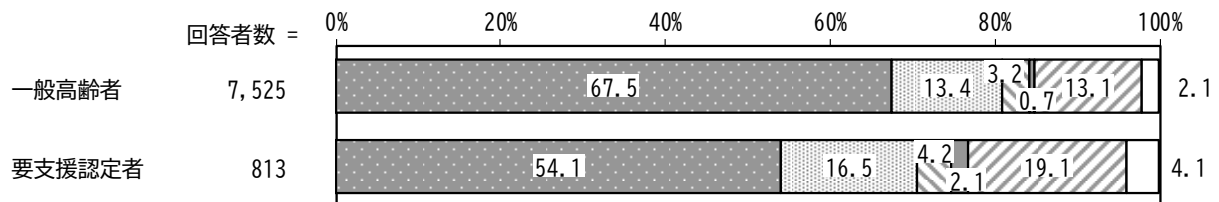
「できる」の割合が66.2%と最も高く、次いで「わからない」の割合が13.7%、「普段から近所づきあいがあまりないため、できない」の割合が13.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「できる」の割合が7.9ポイント減少しています。



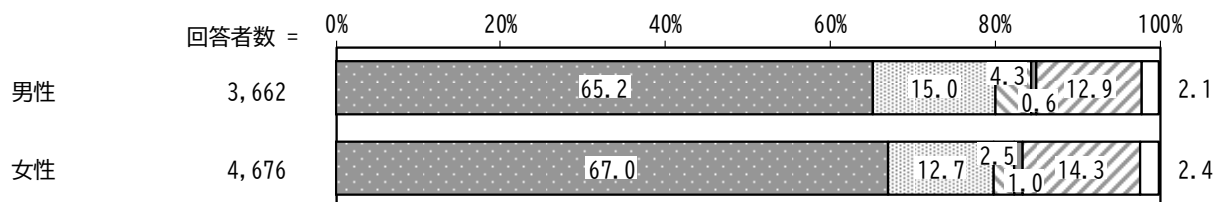
【認定状況別】

認定状況別にみると、要支援認定者で「できる」の割合が低く、「わからない」の割合が高くなっています。



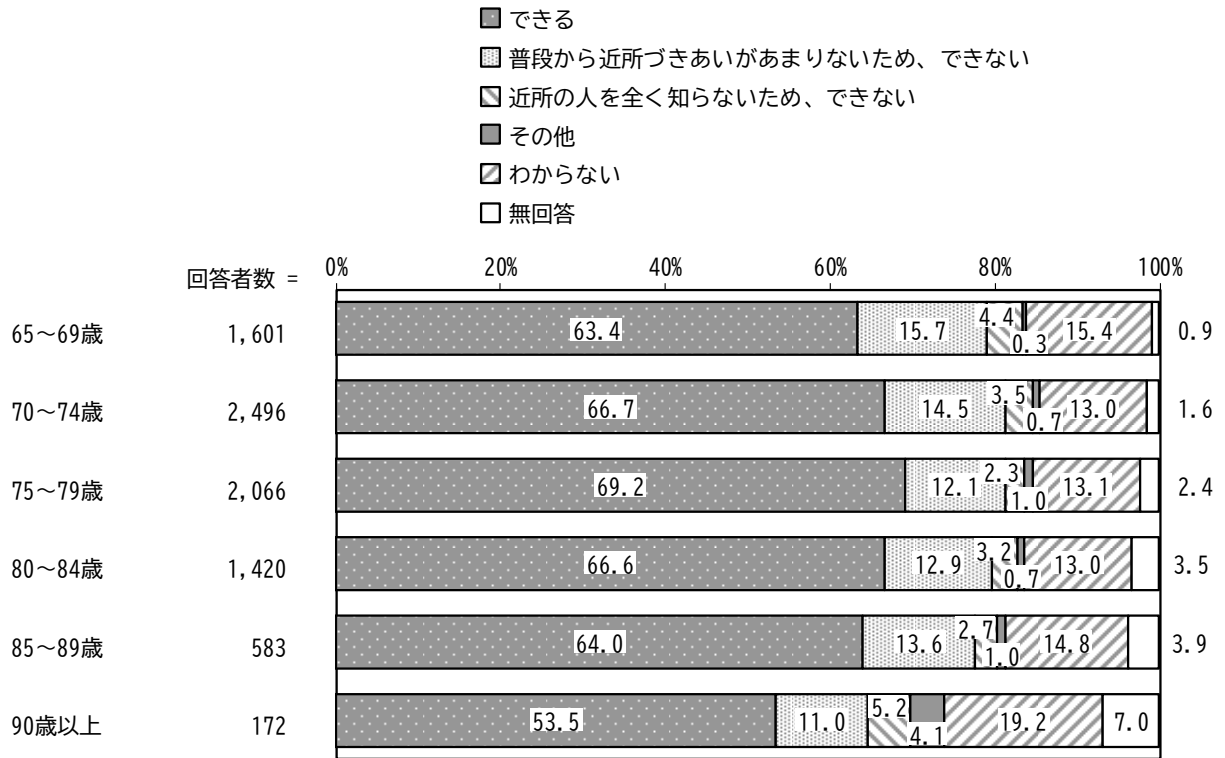
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



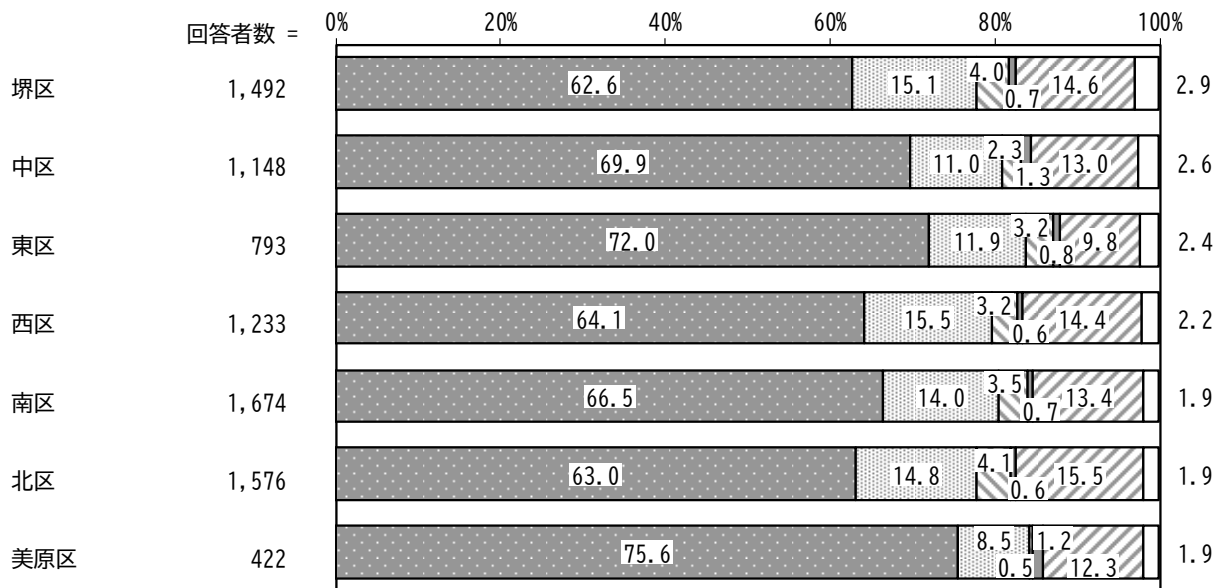
【年齢別】

年齢別にみると、90歳以上で「わからない」の割合が高くなっています。また、『できない』では、前期高齢者（65～74歳）の割合がやや高くなっています。



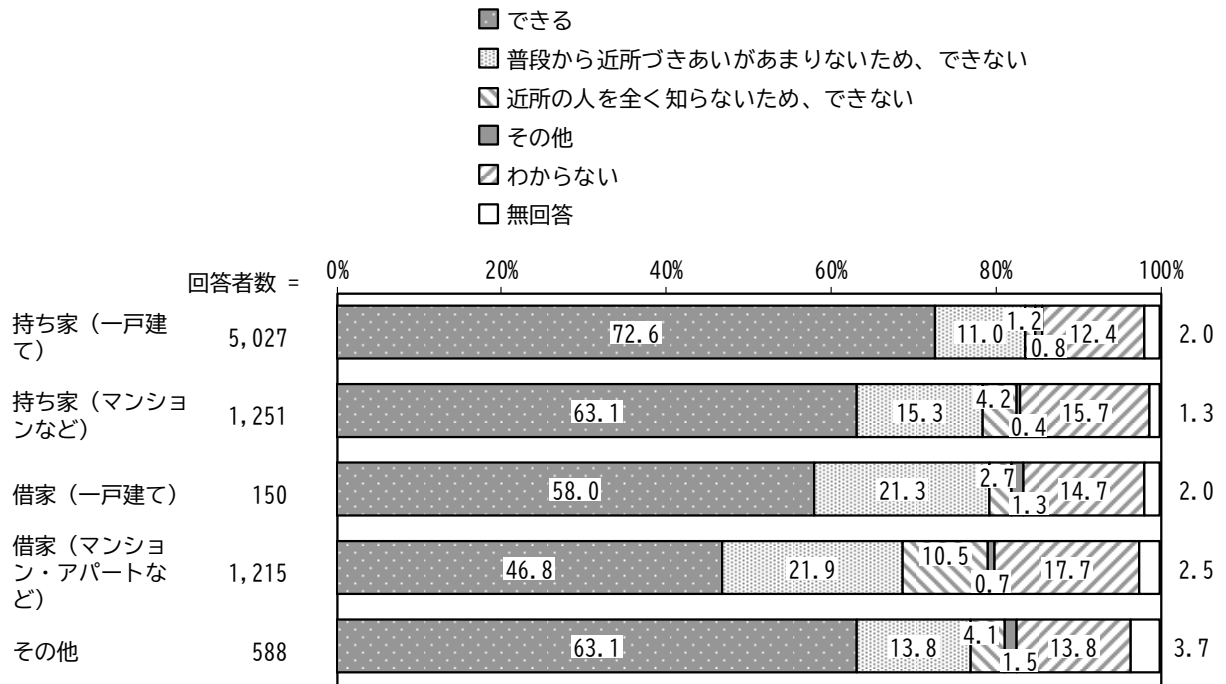
【区域別】

区域別にみると、美原区、東区で「できる」の割合が高くなっています。



【現在の住まい別】

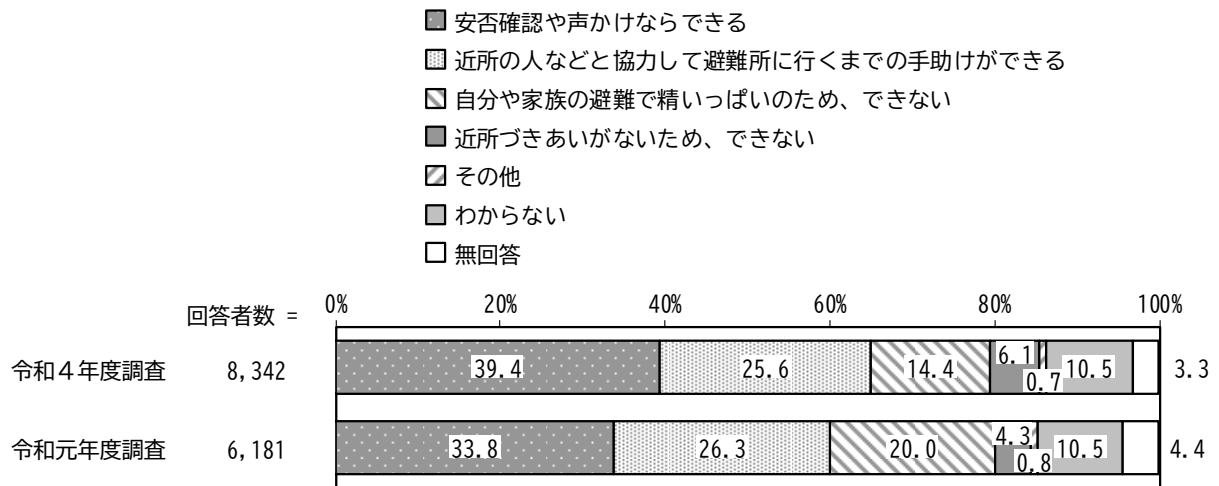
現在の住まい別にみると、『借家』と比べ、『持ち家』の方が「できる」の割合が高くなっています。



問7 (7) 災害発生時に、自ら避難することが困難だと思われる近所の方を支援することができますか (〇はひとつ)

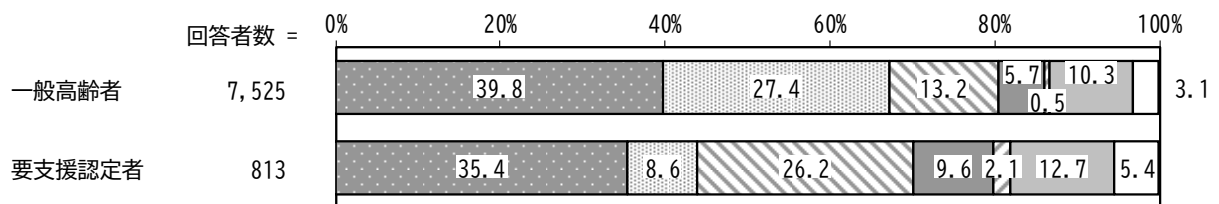
「安否確認や声かけならできる」の割合が39.4%と最も高く、次いで「近所の人などと協力して避難所に行くまでの手助けができる」の割合が25.6%、「自分や家族の避難で精いっぱいのため、できない」の割合が14.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「安否確認や声かけならできる」の割合が増加しています。一方、「自分や家族の避難で精いっぱいのため、できない」の割合が減少しています。



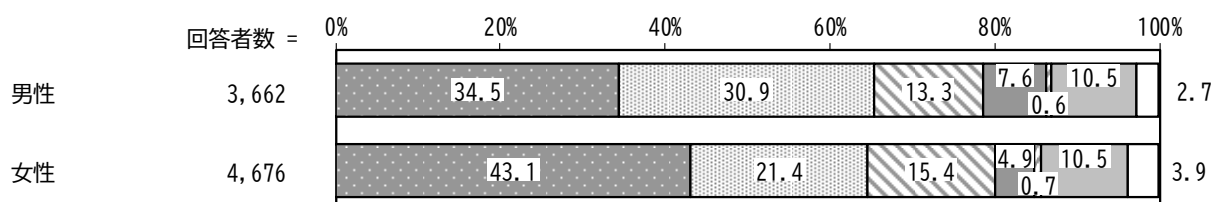
【認定状況別】

認定状況別にみると、要支援認定者で「自分や家族の避難で精いっぱいのため、できない」の割合が高くなっています。



【性別】

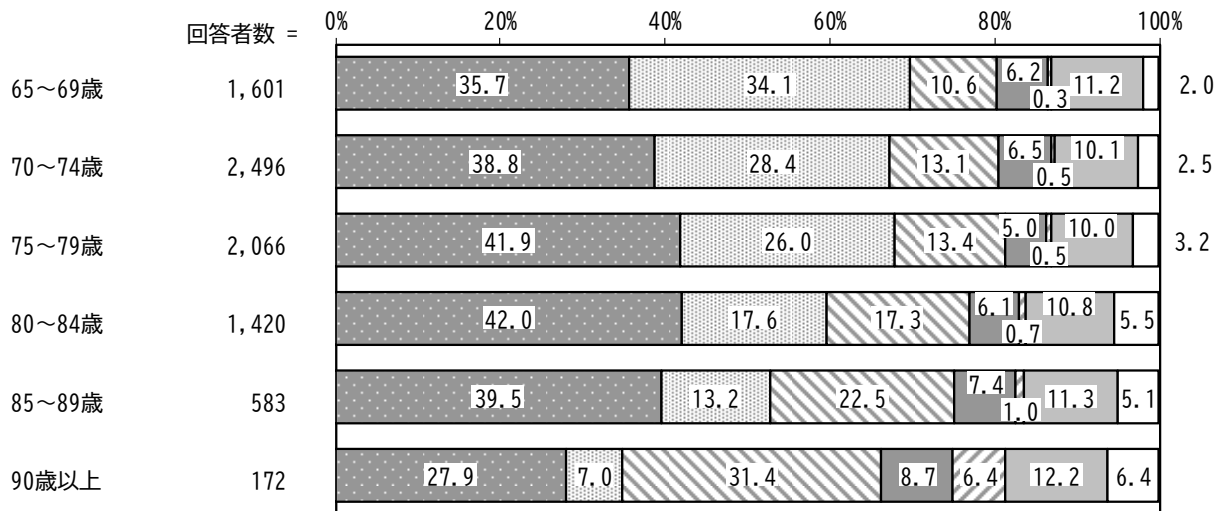
性別にみると、男性で「近所の人などと協力して避難所に行くまでの手助けができる」の割合が高くなっています。



【年齢別】

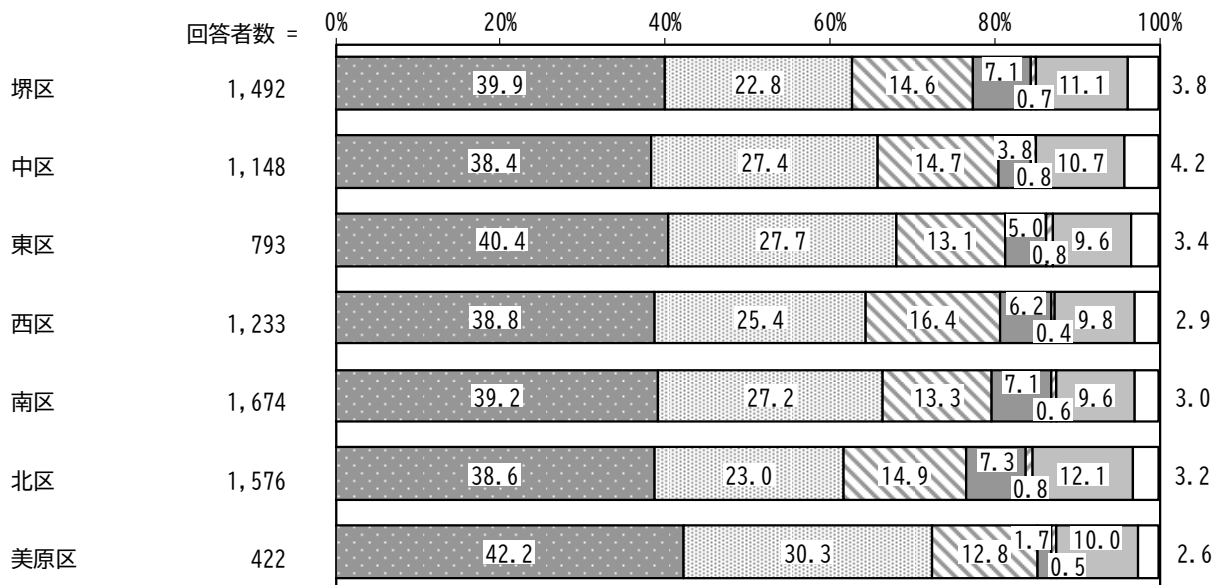
年齢別にみると、年齢が上がるにつれ、「自分や家族の避難で精いっぱいのため、できない」の割合が高くなっています。

- 安否確認や声かけならできる
- ▨ 近所の人などと協力して避難所に行くまでの手助けができる
- ▩ 自分や家族の避難で精いっぱいのため、できない
- 近所づきあいがないため、できない
- ▨ その他
- わからない
- 無回答



【区域別】

区域別にみると、大きな差はみられません。

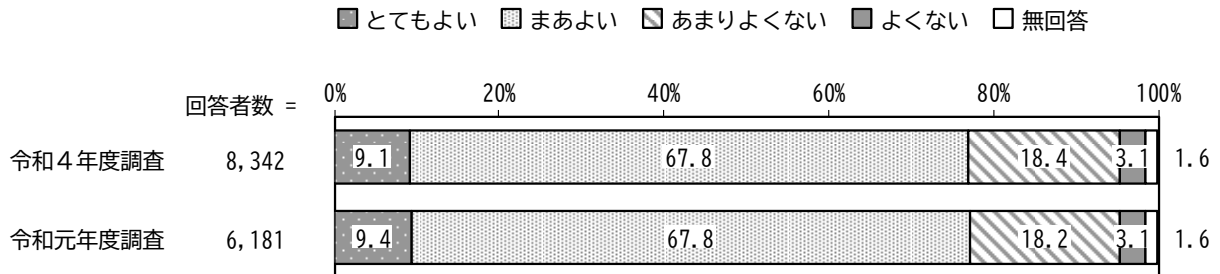


(9) 健康について

問 8 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○はひとつ)

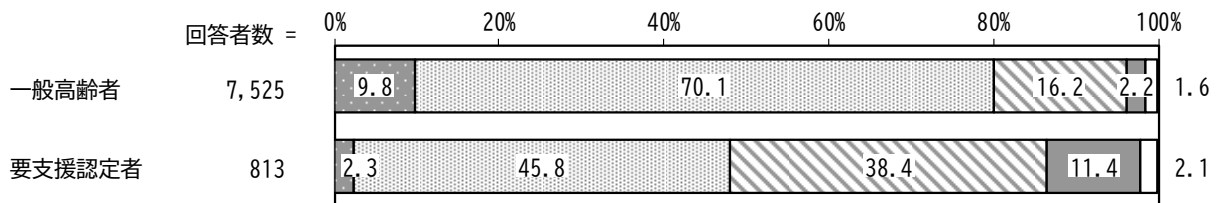
「まあよい」の割合が 67.8%と最も高く、次いで「あまりよくない」の割合が 18.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



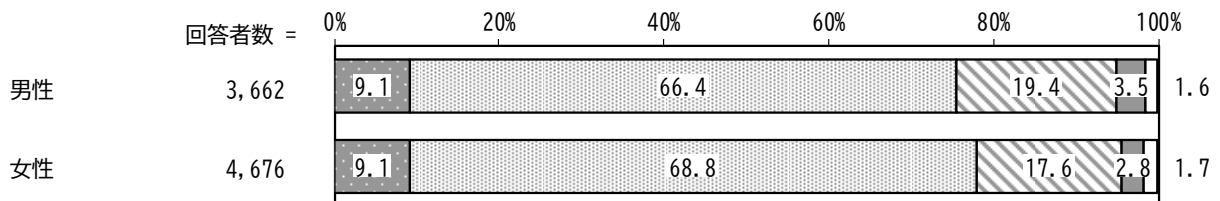
【認定状況別】

認定状況別にみると、要支援認定者で「あまりよくない」の割合が高くなっています。



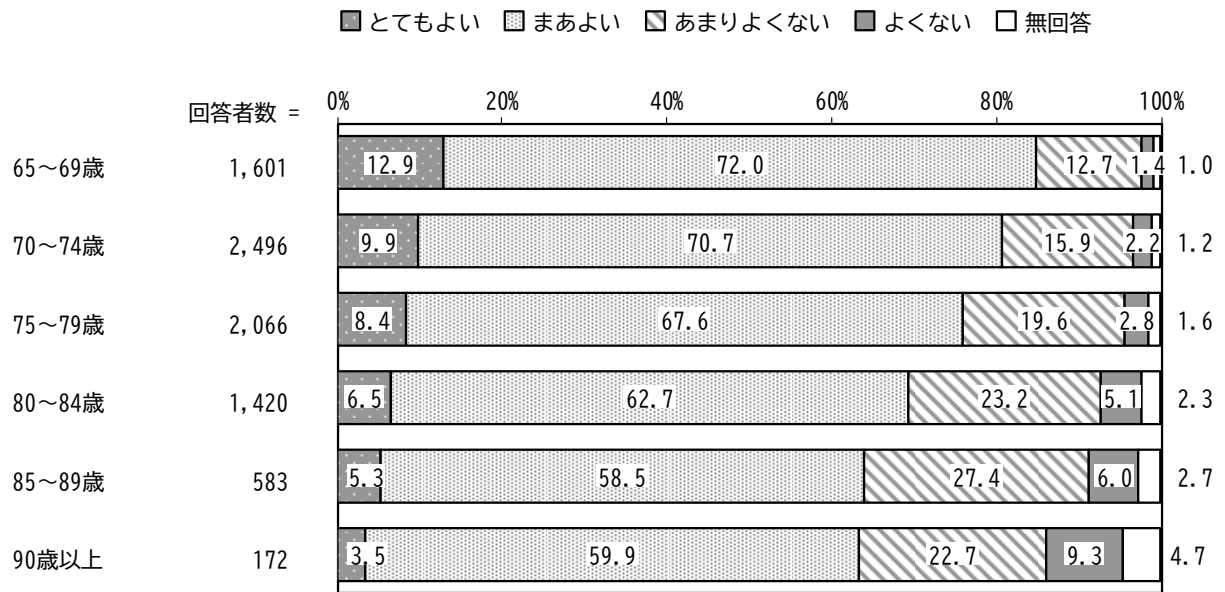
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年齢別】

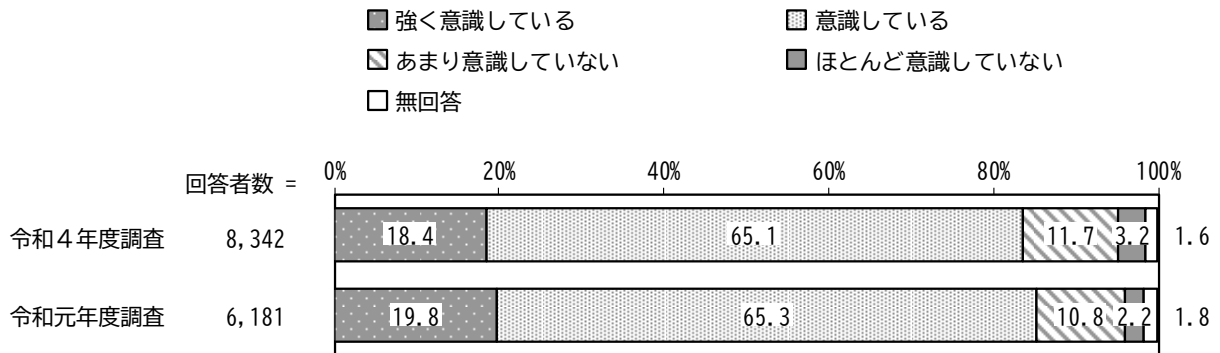
年齢別にみると、年齢が上がるにつれ、「あまりよくない」、「よくない」の割合が高くなっていきます。



問 8 (2) ふだんから介護予防のために、自分の健康の維持・増進を意識していますか
(〇はひとつ)

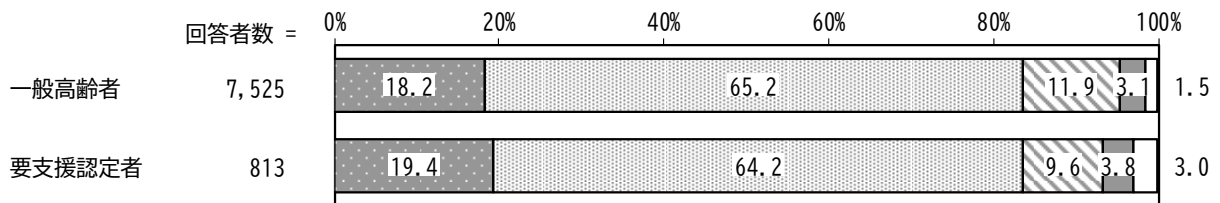
「意識している」の割合が 65.1%と最も高く、次いで「強く意識している」の割合が 18.4%、「あまり意識していない」の割合が 11.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



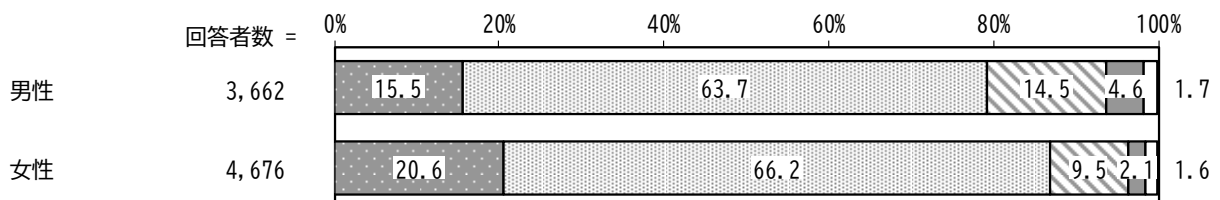
【認定状況別】

認定状況別にみると、大きな差はみられません。



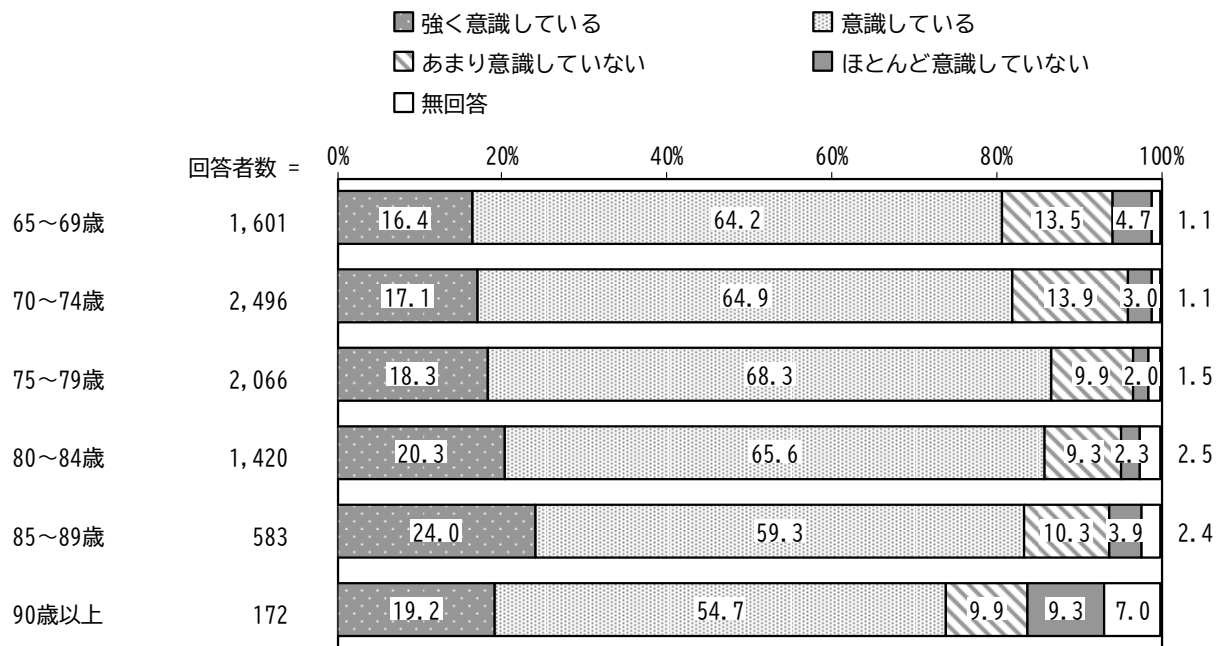
【性別】

性別にみると、『意識している（「強く意識している」と「意識している」の合計）』では、女性が 86.8%で、男性（79.2%）よりも 7.6 ポイント高くなっています。



【年齢別】

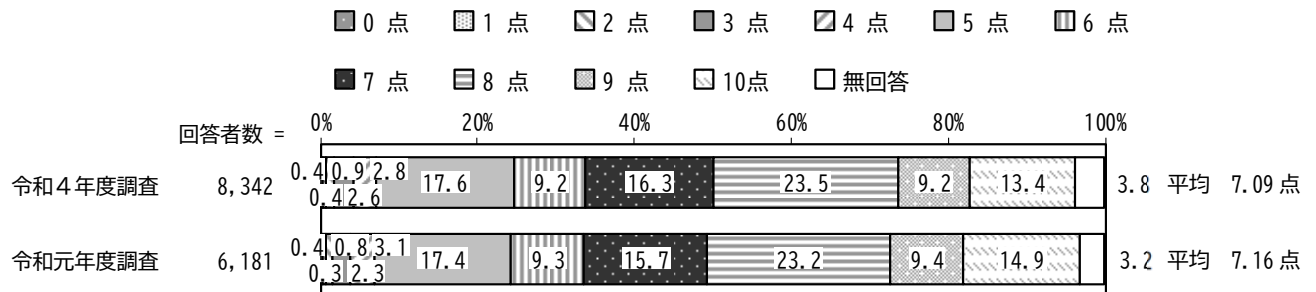
年齢別にみると、89歳以下では、年齢が上がるにつれ、「強く意識している」の割合が高くなっています。



問 8 (3) あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を 0 点、「とても幸せ」を 10 点として、ご記入ください）

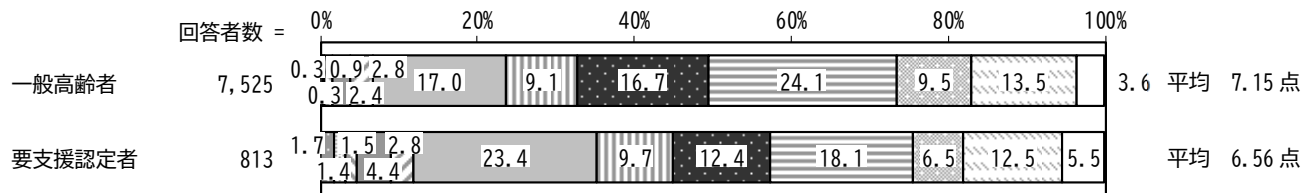
「8 点」の割合が 23.5%と最も高く、次いで「5 点」の割合が 17.6%、「7 点」の割合が 16.3%と続いており、平均点は 7.09 点となっています。

令和元年度調査と比較すると、令和 4 年度調査では、平均点がやや低くなっています。



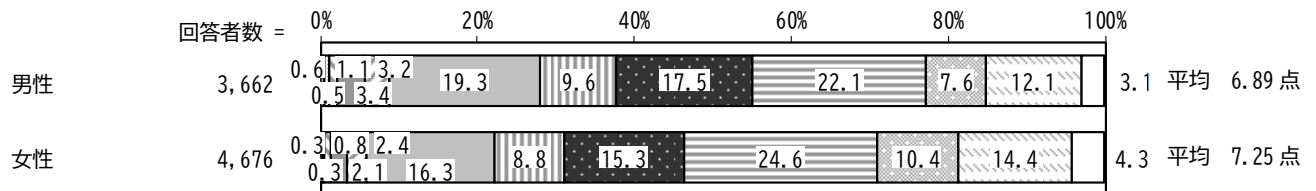
【認定状況別】

認定状況別にみると、平均点は、一般高齢者が要支援認定者よりも高くなっています。



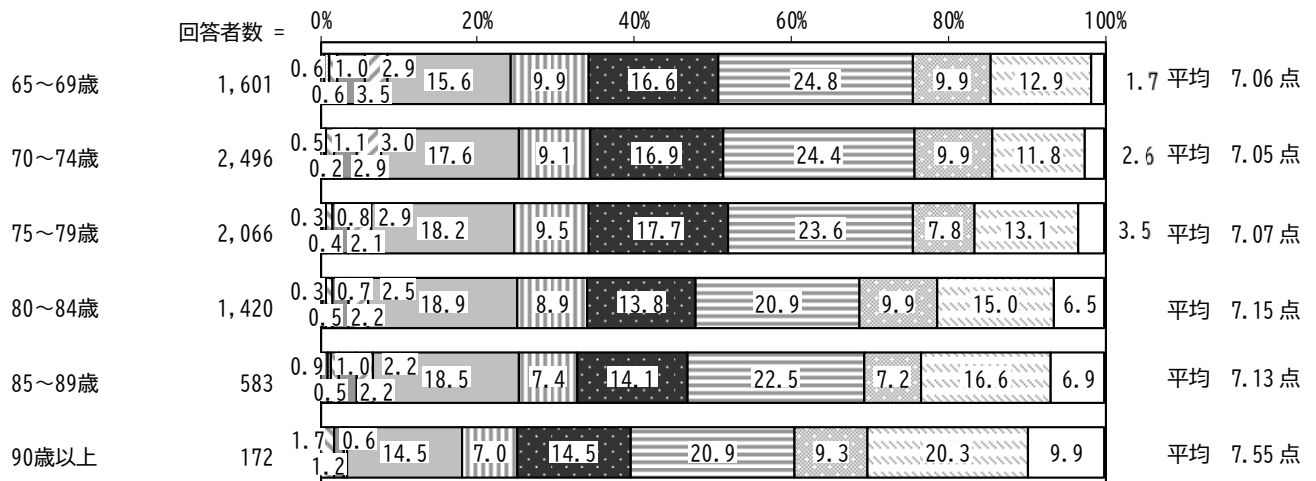
【性別】

性別にみると、平均点は、女性が男性よりも高くなっています。



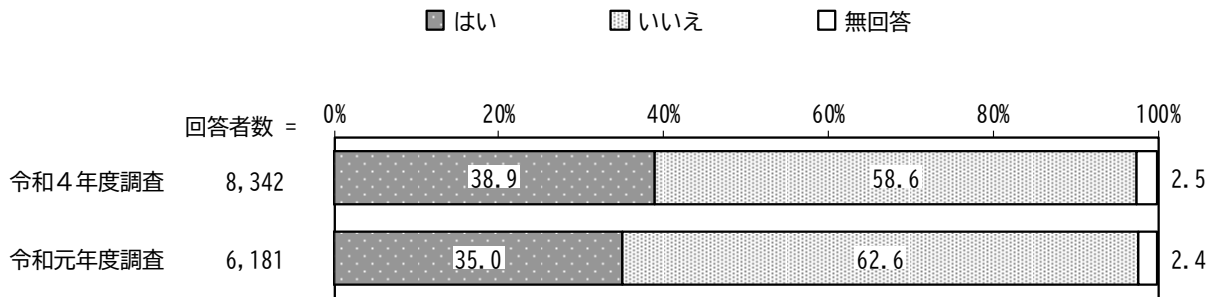
【年齢別】

年齢別にみると、平均点は、90歳以上が最も高くなっています。



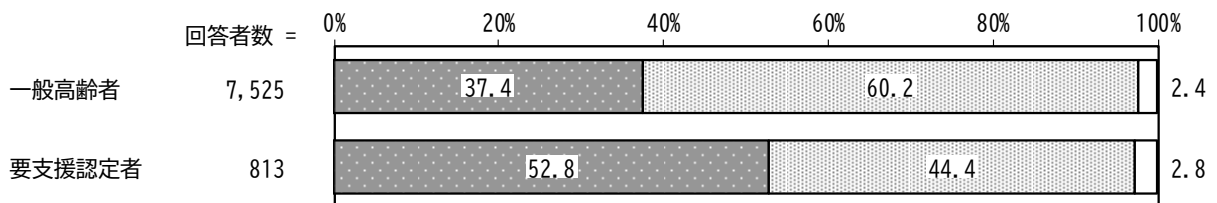
問 8 (4) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (○はひとつ)

「はい」の割合が38.9%、「いいえ」の割合が58.6%となっています。
 令和元年度調査と比較すると、「はい」の割合が3.9ポイント高くなっています。



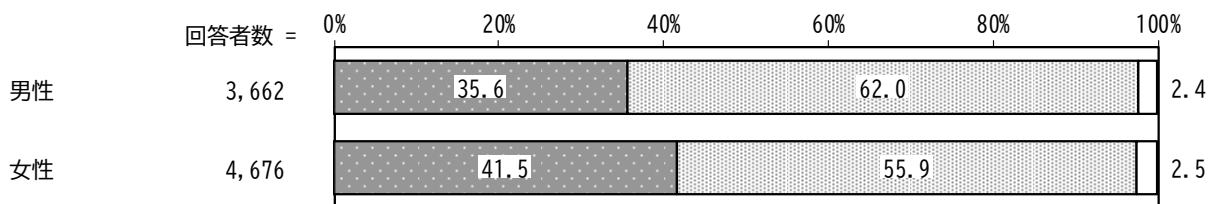
【認定状況別】

認定状況別にみると、「はい」では、要支援認定者が52.8%で、一般高齢者(37.4%)よりも15.4ポイント高くなっています。



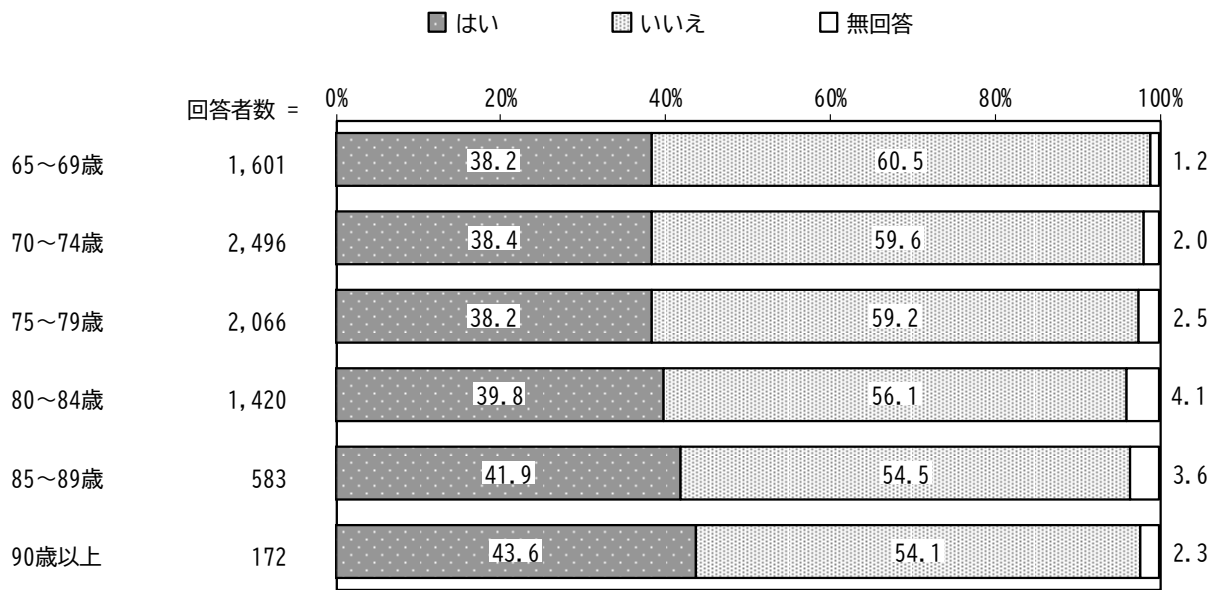
【性別】

性別にみると、「はい」では、女性が41.5%で、男性(35.6%)よりも5.9ポイント高くなっています。



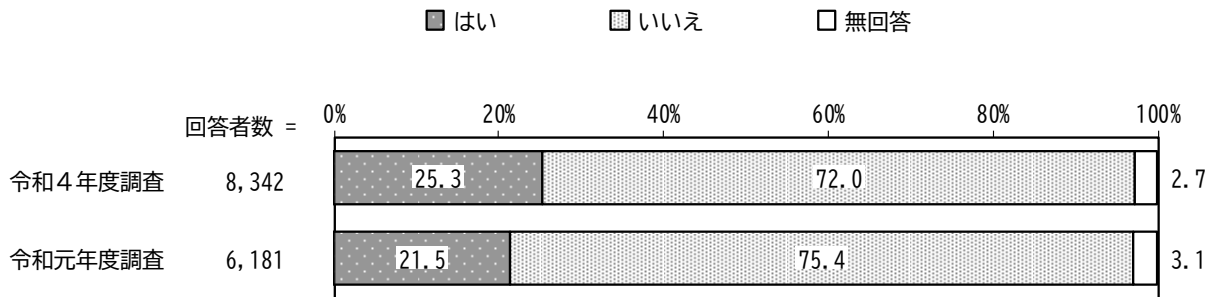
【年齢別】

年齢別にみると、「はい」では、80歳以上で年齢が上がるにつれて割合が高くなっています。



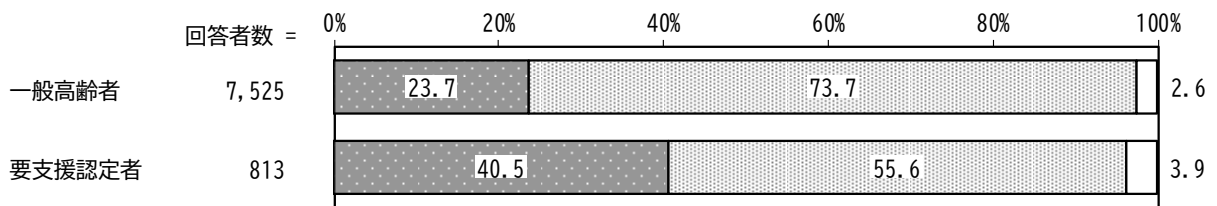
問 8 (5) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (○はひとつ)

「はい」の割合が25.3%、「いいえ」の割合が72.0%となっています。
 令和元年度調査と比較すると、「はい」の割合が3.8ポイント高くなっています。



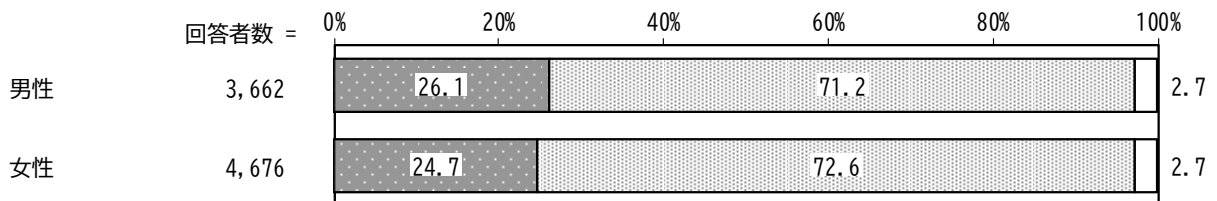
【認定状況別】

認定状況別にみると、「はい」では、要支援認定者が40.5%で、一般高齢者(23.7%)よりも16.8ポイント高くなっています。



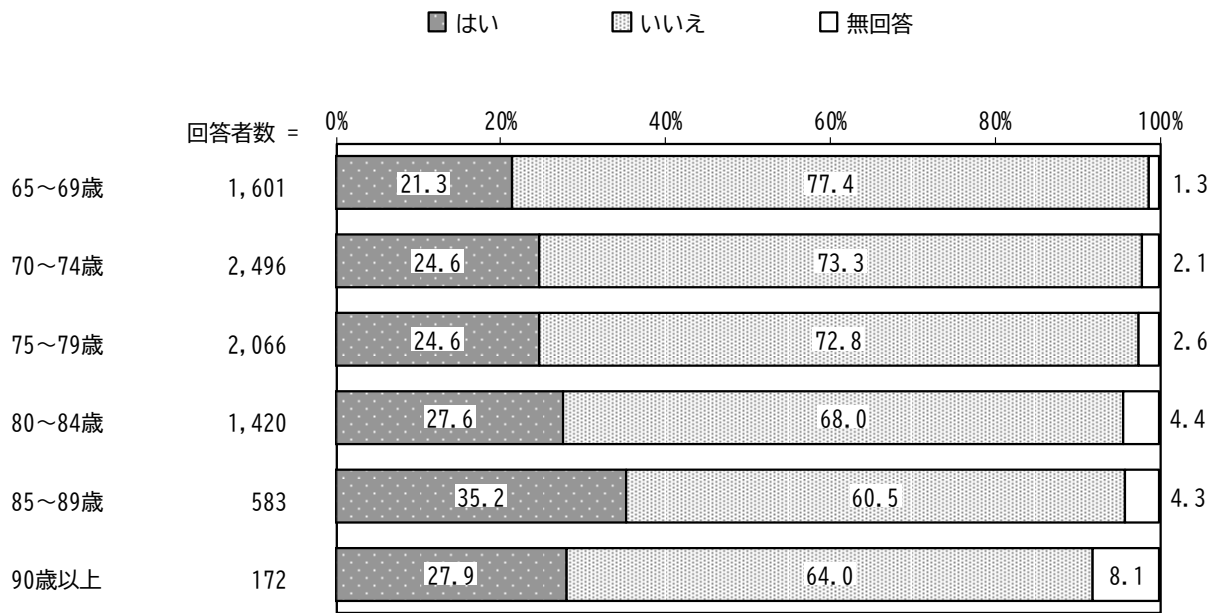
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年齢別】

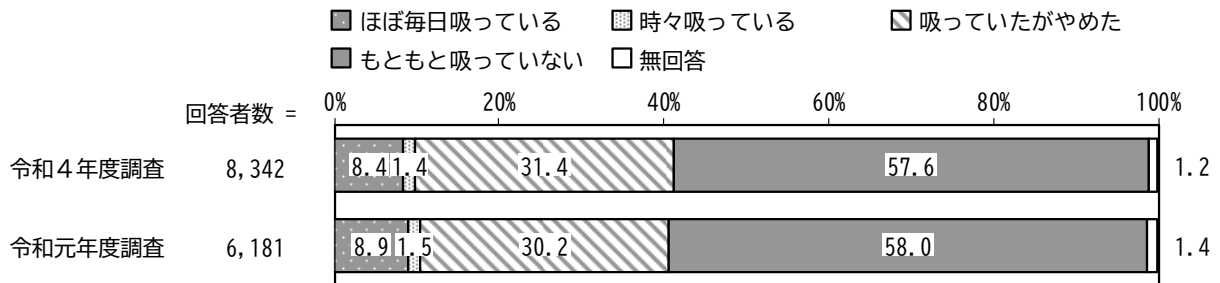
年齢別にみると、89歳までは年齢が上がるにつれて「はい」の割合が高くなっています。



問 8 (6) タバコは吸っていますか (○はひとつ)

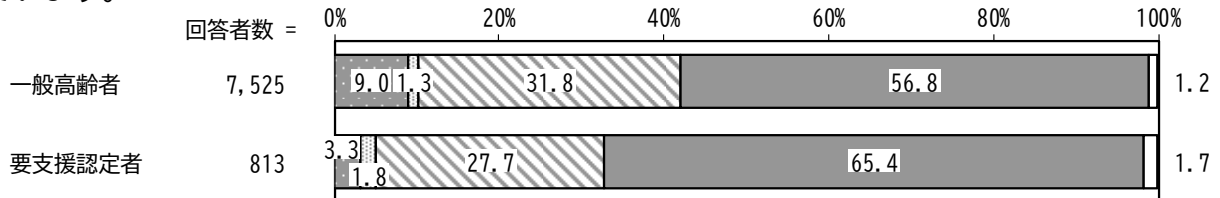
「もともと吸っていない」の割合が 57.6%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が 31.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、『吸っている（「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」の合計）』は 9.8%で、令和元年度（10.4%）よりも 0.6 ポイント低くなっています。



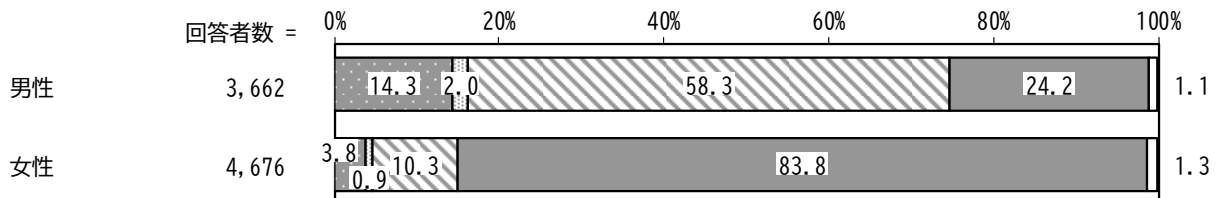
【認定状況別】

認定状況別にみると、『吸っている』では、一般高齢者が 10.3%、要支援認定者が 5.1%となっています。



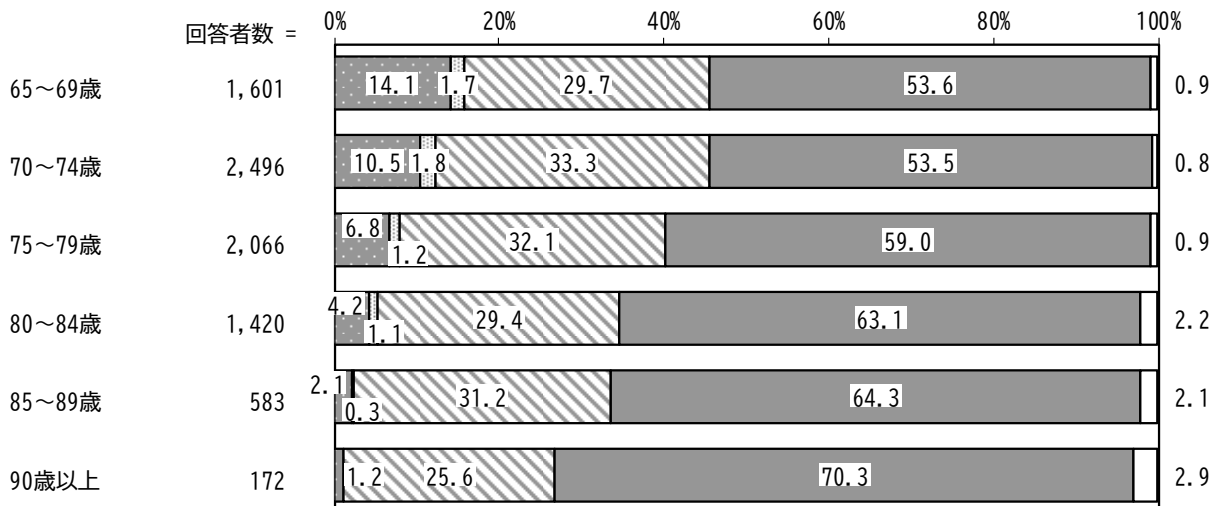
【性別】

性別にみると、『吸っている』では、男性が 16.3%、女性が 4.7%となっています。また、女性は「もともと吸っていない」の割合が 83.8%で高くなっています。



【年齢別】

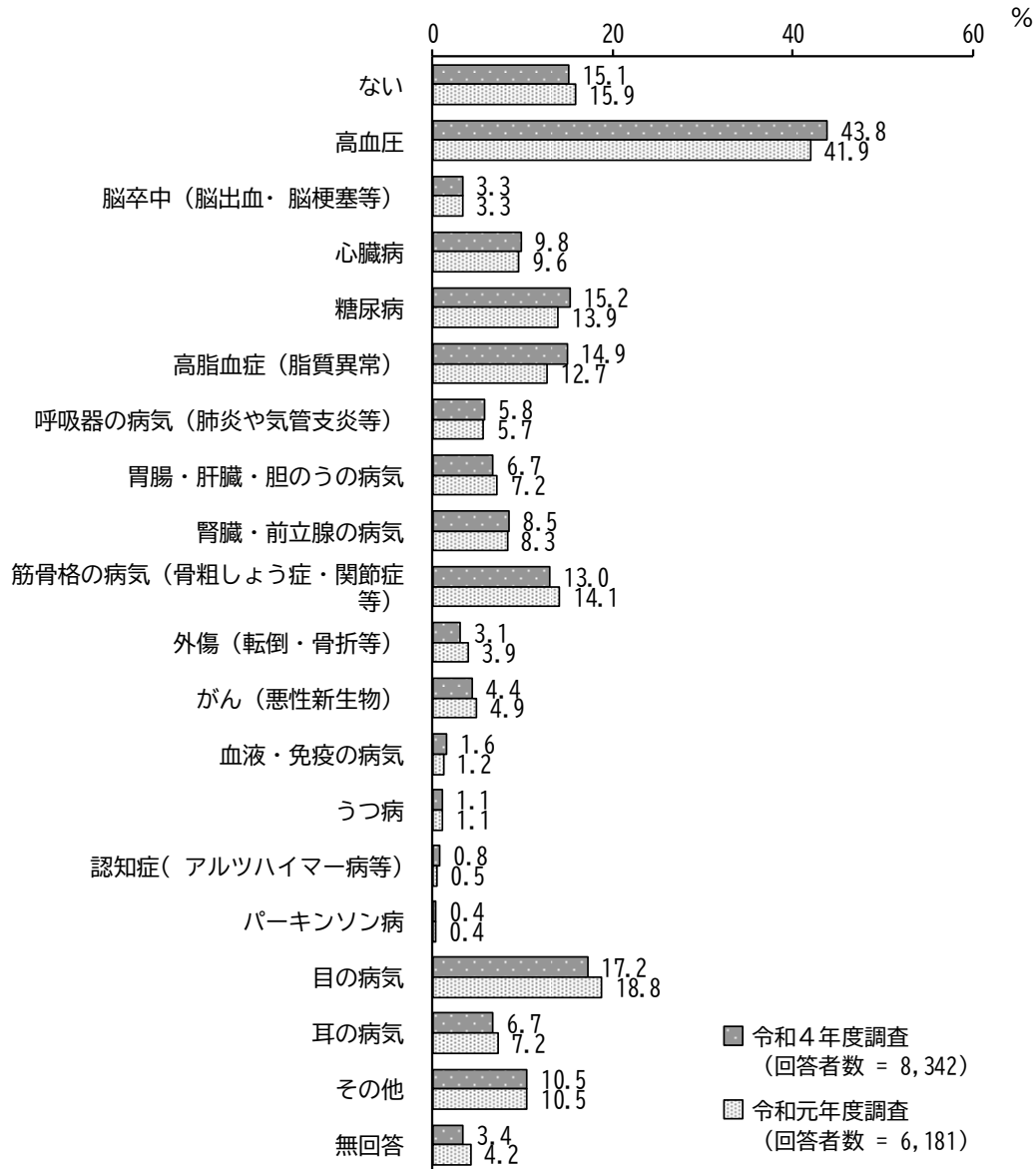
年齢別にみると、『吸っている』では、年齢が上がるにつれて割合が低くなっており、65～69歳が 15.8%で最も高くなっています。



問 8 (7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (〇はいくつでも)

「高血圧」の割合が 43.8%と最も高く、次いで「目の病気」の割合が 17.2%、「糖尿病」の割合が 15.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【認定状況別】

認定状況別にみると、「ない」と「高脂血症（脂質異常）」以外のすべての項目で、要支援認定者の割合が一般高齢者よりも高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	ない	高血圧	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)
全 体	8,342	15.1	43.8	3.3	9.8	15.2	14.9	5.8	6.7	8.5	13.0
一般高齢者	7,525	16.4	42.9	2.7	9.0	15.0	15.2	5.3	6.4	8.1	11.4
要支援認定者	813	3.2	52.4	8.1	18.1	16.4	11.9	10.0	10.3	11.8	28.4

区分	外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全 体	3.1	4.4	1.6	1.1	0.8	0.4	17.2	6.7	10.5	3.4
一般高齢者	2.4	4.0	1.4	0.9	0.6	0.3	16.1	6.1	10.3	3.4
要支援認定者	9.7	8.0	3.1	2.8	2.2	1.8	27.9	12.2	12.5	3.0

【性別】

性別にみると、女性で「筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)」の割合が高くなっています。また、男性で「糖尿病」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	ない	高血圧	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)
全 体	8,342	15.1	43.8	3.3	9.8	15.2	14.9	5.8	6.7	8.5	13.0
男性	3,662	14.4	45.5	4.7	13.4	19.6	13.0	6.6	7.6	16.5	5.5
女性	4,676	15.7	42.5	2.1	7.1	11.7	16.4	5.2	6.1	2.2	18.9

区分	外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全 体	3.1	4.4	1.6	1.1	0.8	0.4	17.2	6.7	10.5	3.4
男性	2.4	5.1	1.3	0.8	0.7	0.3	15.2	7.1	9.2	2.9
女性	3.6	3.8	1.8	1.4	0.9	0.6	18.8	6.4	11.6	3.8

【年齢別】

年齢別にみると、「高血圧」、「心臓病」、「腎臓・前立腺の病気」、「筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等）」、「認知症（アルツハイマー病等）」、「目の病気」、「耳の病気」では、年齢が上がるにつれて概ね割合が高くなっています。

単位：％

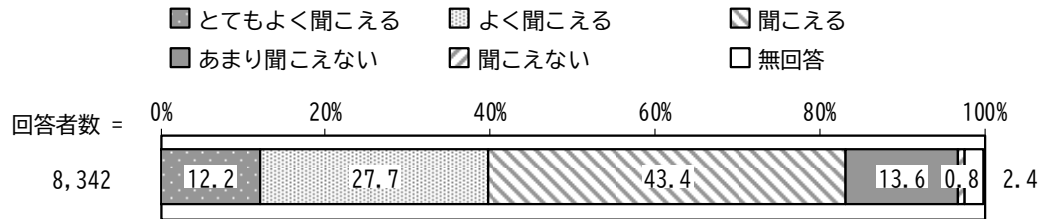
区分	回答者数 (件)	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳 梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異 常)	呼吸器の病気 (肺炎 や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆の うの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症・ 関節症等)
全 体	8,342	15.1	43.8	3.3	9.8	15.2	14.9	5.8	6.7	8.5	13.0
65～69 歳	1,601	24.7	36.0	2.4	4.9	11.9	17.2	4.6	5.4	4.2	8.1
70～74 歳	2,496	17.0	41.8	3.1	8.4	15.9	17.5	5.3	6.0	7.2	11.1
75～79 歳	2,066	12.1	46.7	3.1	10.6	17.1	14.0	5.9	7.1	9.2	14.0
80～84 歳	1,420	8.9	49.1	4.3	13.2	16.6	12.6	5.9	7.6	11.3	17.7
85～89 歳	583	9.4	49.1	4.1	17.2	12.3	8.9	10.5	9.9	14.8	18.7
90 歳以上	172	4.7	51.2	2.9	16.3	8.1	7.6	6.4	8.1	14.5	17.4

区分	外傷 (転倒・骨折等)	がん (悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイ マー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全 体	3.1	4.4	1.6	1.1	0.8	0.4	17.2	6.7	10.5	3.4
65～69 歳	2.2	3.2	1.7	1.1	0.1	0.1	12.4	3.9	11.6	2.6
70～74 歳	2.2	4.8	1.3	1.2	0.3	0.3	14.8	4.6	10.5	3.4
75～79 歳	3.3	4.9	1.9	0.9	0.8	0.5	18.9	6.2	10.9	3.1
80～84 歳	3.7	4.8	1.5	1.5	1.4	0.8	20.5	10.7	10.3	4.2
85～89 歳	6.3	3.3	1.9	0.9	2.7	0.5	24.7	13.9	7.7	3.9
90 歳以上	4.1	2.9	—	—	2.9	0.6	25.0	11.6	8.7	5.8

(10) 耳の状態について

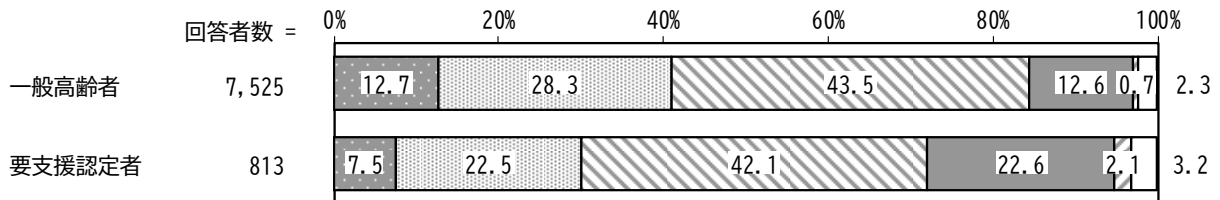
問9 (1) あなたは耳がよく聞こえますか。補聴器を使っている人は、使っている状態を教えてください (〇はひとつ)

『聞こえる (「とてもよく聞こえる」と「よく聞こえる」と「聞こえる」の合計)』は83.3%となっています。



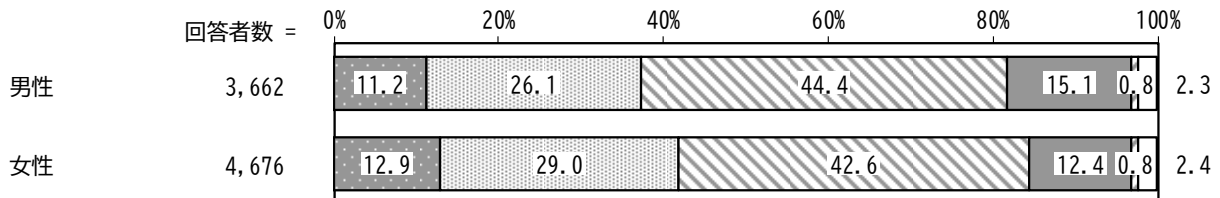
【認定状況別】

認定状況別にみると、『聞こえる』では、一般高齢者が84.5%、要支援認定者が72.1%となっています。



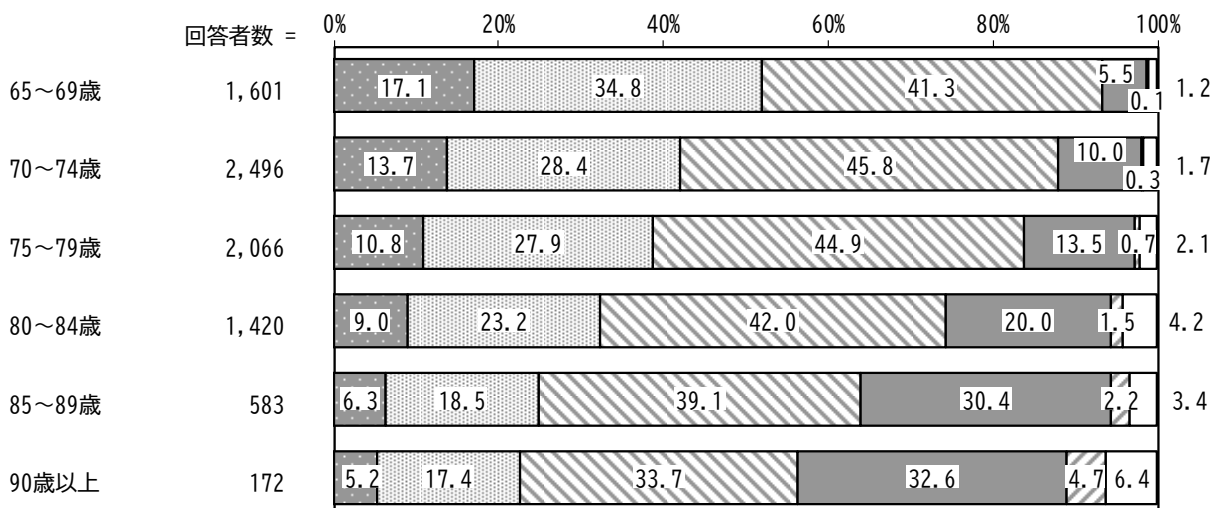
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



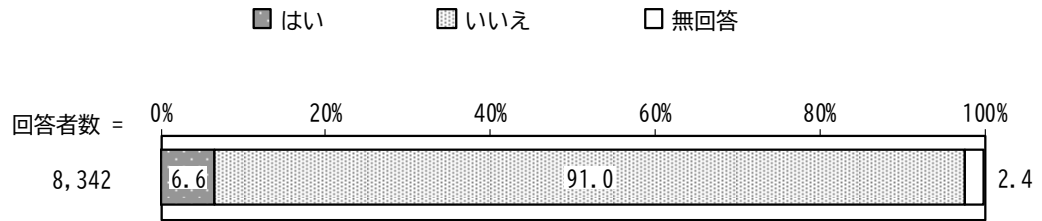
【年齢別】

年齢別にみると、『聞こえる』では、年齢が上がるにつれて、割合が低くなっています。



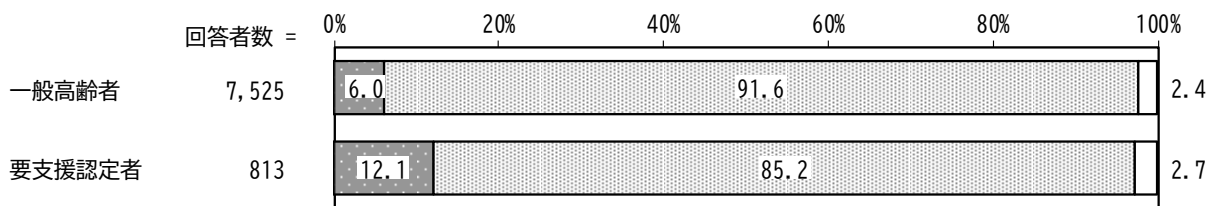
問 9 (2) あなたは補聴器を使っていますか (○はひとつ)

「はい」の割合が6.6%、「いいえ」の割合が91.0%となっています。



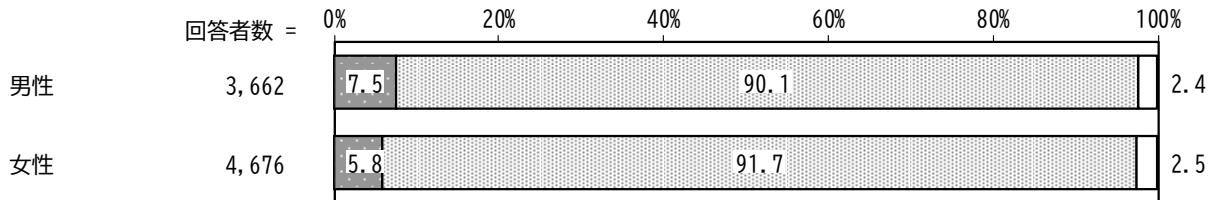
【認定状況別】

認定状況別にみると、「はい」では、要支援認定者が12.1%で、一般高齢者(6.0%)よりも6.1ポイント高くなっています。



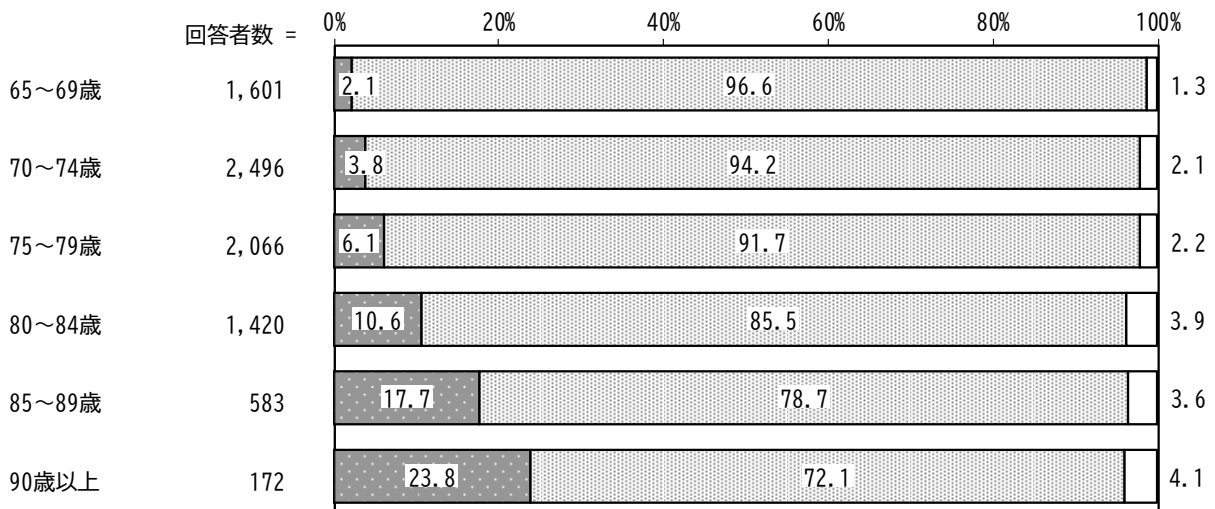
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



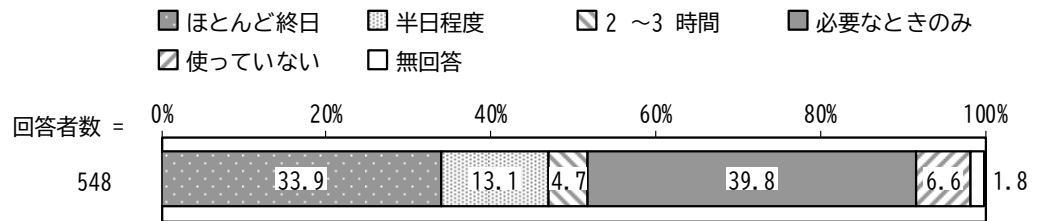
【年齢別】

年齢別にみると、「はい」では、年齢が上がるにつれて、割合が高くなっています。



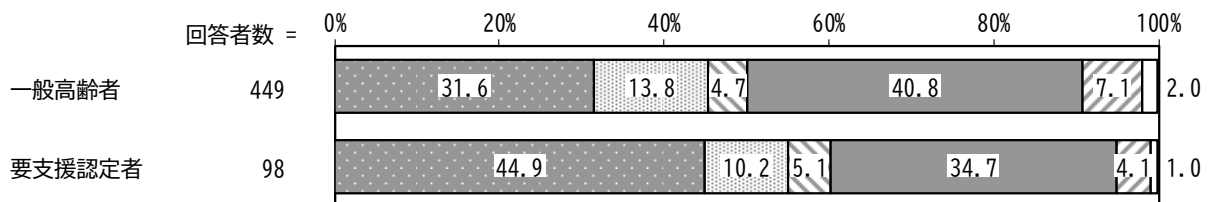
問9 (3) 補聴器を使っている人にお聞きします。使っている場合は補聴器を付けている時間はどのくらいですか (〇はひとつ)

「必要なときのみ」の割合が39.8%と最も高く、次いで「ほとんど終日」の割合が33.9%、「半日程度」の割合が13.1%となっています。



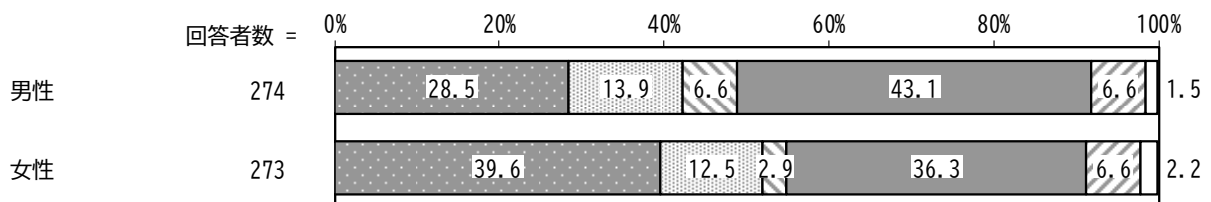
【認定状況別】

認定状況別にみると、一般高齢者は「必要なときのみ」(40.8%)、要支援認定者は「ほとんど終日」(44.9%)の割合が高くなっています。



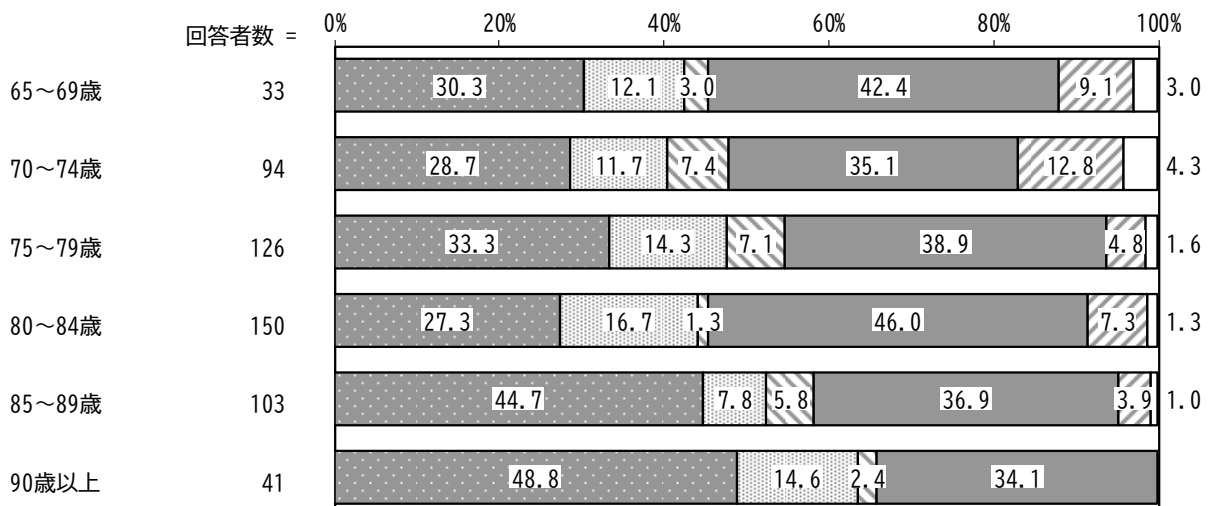
【性別】

性別にみると、男性は「必要なときのみ」(43.1%)、女性は「ほとんど終日」(39.6%)の割合が高くなっています。



【年齢別】

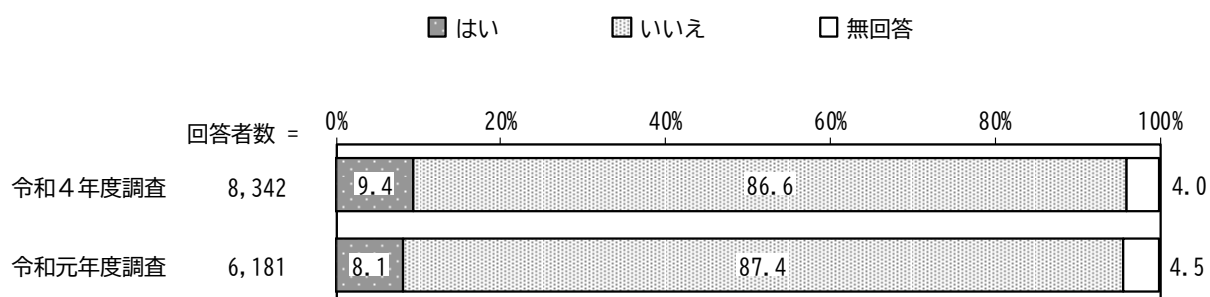
年齢別にみると、85歳以上では、「ほとんど終日」の割合が高くなっています。



(11) 認知症について

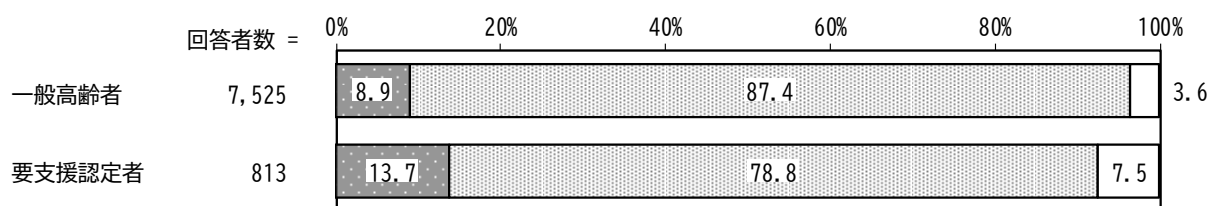
問 10 (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (〇はひとつ)

「はい」の割合が9.4%、「いいえ」の割合が86.6%となっています。
令和元年度調査と比較すると、「はい」の割合が1.3ポイント高くなっています。



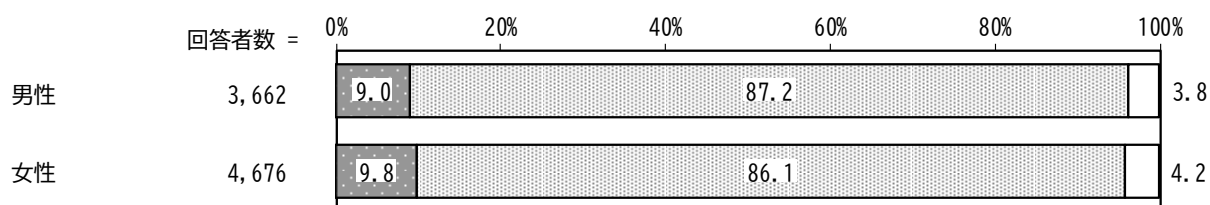
【認定状況別】

認定状況別にみると、「はい」では、一般高齢者が8.9%、要支援認定者が13.7%となっています。



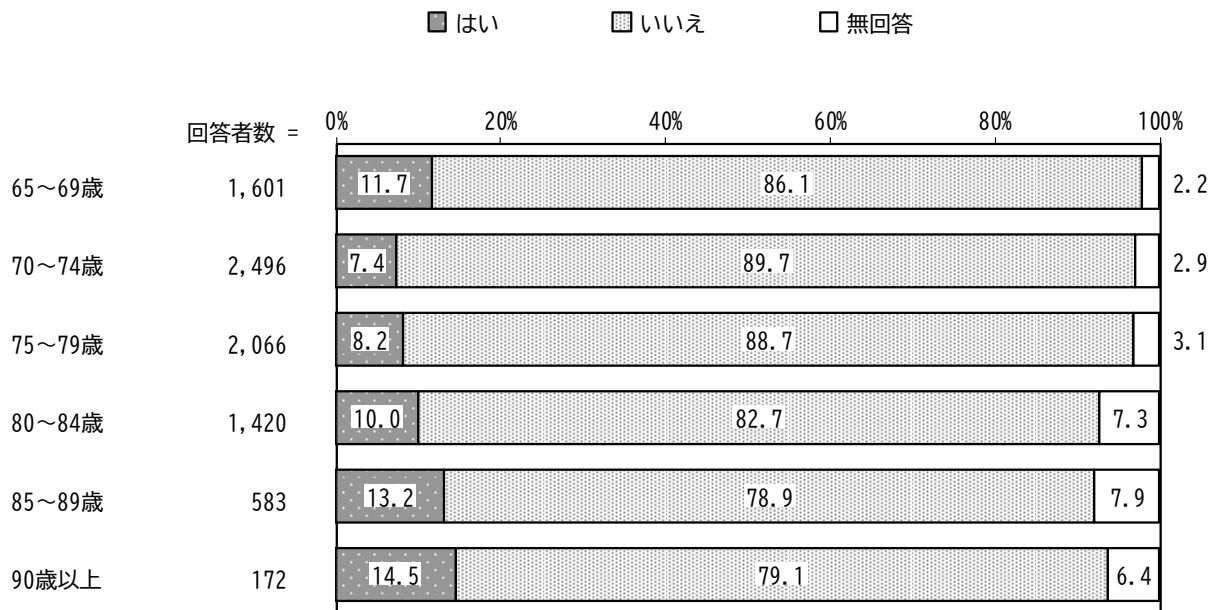
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



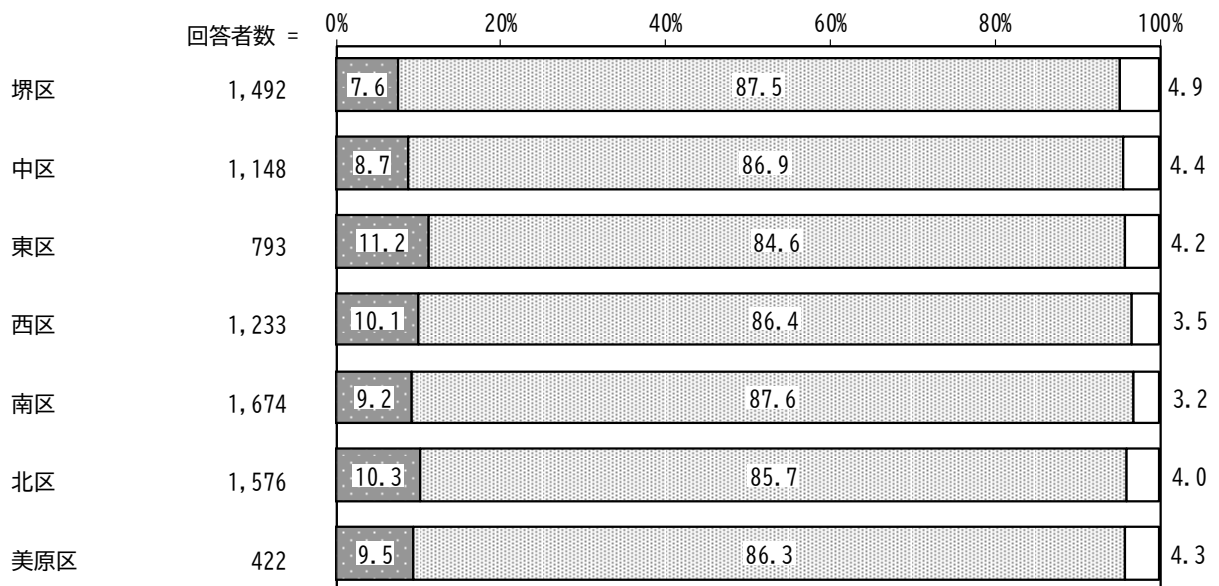
【年齢別】

年齢別にみると、70歳以上で、年齢が上がるにつれて、「はい」の割合が高くなっています。



【区域別】

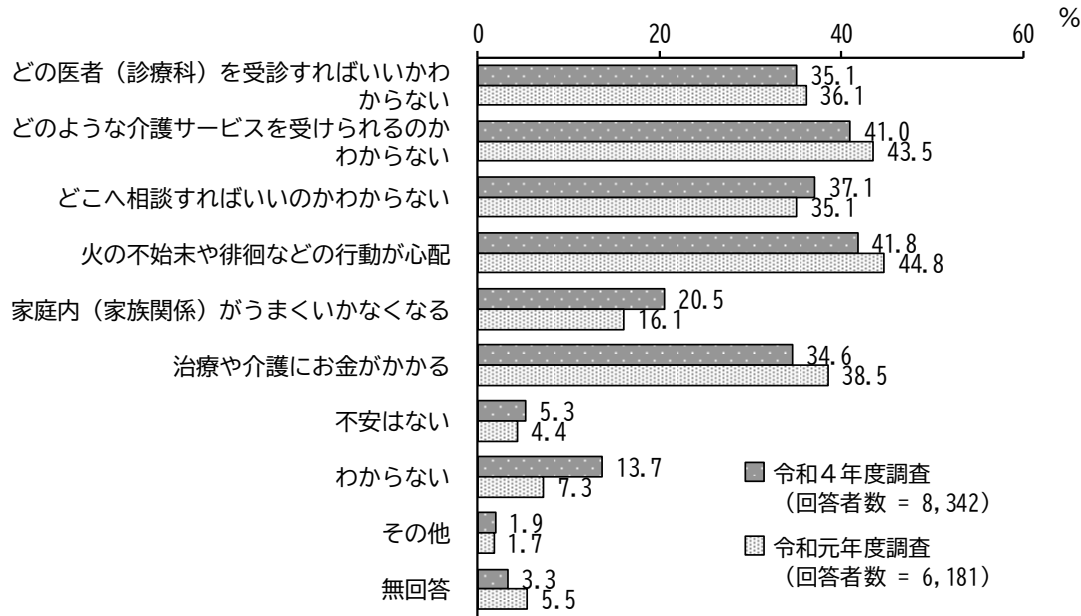
区域別にみると、大きな差はみられません。



問 10 (2) あなたが認知症になったら、不安に思うことはありますか (〇はいくつでも)

「火の不始末や徘徊などの行動が心配」の割合が 41.8%と最も高く、次いで「どのような介護サービスを受けられるのかわからない」の割合が 41.0%、「どこへ相談すればいいのかわからない」の割合が 37.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「わからない」の割合が 6.4 ポイント高くなっています。



【認定状況別】

認定状況別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	どの医者(診療科)を受診すればいいかわからない	どのような介護サービスを受けられるのかわからない	どこへ相談すればいいのかわからない	火の不始末や徘徊などの行動が心配	家庭内(家族関係)がうまくいなくなる	治療や介護にお金がかかる	不安はない	わからない	その他	無回答
全体	8,342	35.1	41.0	37.1	41.8	20.5	34.6	5.3	13.7	1.9	3.3
一般高齢者	7,525	35.2	41.1	37.5	41.7	20.8	35.0	5.3	13.8	1.9	3.0
要支援認定者	813	34.2	39.1	32.5	42.9	18.1	30.5	5.5	13.0	2.0	6.4

【性別】

性別にみると、男性では「どのような介護サービスを受けられるのかわからない」が 41.4%、女性では「火の不始末や徘徊などの行動が心配」が 45.8%で最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	どの医者(診療科)を受診すればいいかわからない	どのような介護サービスを受けられるのかわからない	どこへ相談すればいいのかわからない	火の不始末や徘徊などの行動が心配	家庭内(家族関係)がうまくいかなくなる	治療や介護にお金がかかる	不安はない	わからない	その他	無回答
全体	8,342	35.1	41.0	37.1	41.8	20.5	34.6	5.3	13.7	1.9	3.3
男性	3,662	35.3	41.4	39.7	36.8	21.2	33.9	5.7	15.5	1.5	3.1
女性	4,676	34.9	40.6	34.9	45.8	20.0	35.2	5.0	12.3	2.3	3.4

【年齢別】

年齢別にみると、75～84歳では「どのような介護サービスを受けられるのかわからない」の割合が最も高く、それ以外の年齢では「火の不始末や徘徊などの行動が心配」が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	どの医者(診療科)を受診すればいいかわからない	どのような介護サービスを受けられるのかわからない	どこへ相談すればいいのかわからない	火の不始末や徘徊などの行動が心配	家庭内(家族関係)がうまくいかなくなる	治療や介護にお金がかかる	不安はない	わからない	その他	無回答
全体	8,342	35.1	41.0	37.1	41.8	20.5	34.6	5.3	13.7	1.9	3.3
65～69歳	1,601	34.2	38.8	37.4	46.5	26.2	42.8	4.9	12.4	1.7	1.4
70～74歳	2,496	34.5	39.9	37.3	42.0	21.2	36.5	5.0	14.4	1.7	2.3
75～79歳	2,066	37.8	45.1	38.8	41.4	19.5	34.4	5.0	12.6	1.8	3.2
80～84歳	1,420	35.4	41.8	37.7	39.3	17.7	28.7	4.9	14.2	2.9	5.3
85～89歳	583	32.9	38.6	31.2	39.6	16.5	23.5	8.1	13.7	1.5	6.9
90歳以上	172	26.2	26.2	21.5	29.1	8.1	19.2	10.5	24.4	2.3	8.7

【区域別】

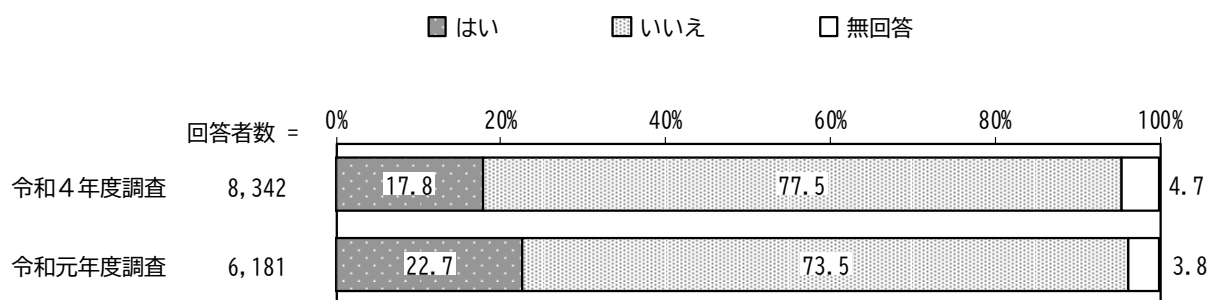
区域別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	どの医者(診療科)を受診すればいいかわからない	どのような介護サービスを受けられるのかわからない	どこへ相談すればいいのかわからない	火の不始末や徘徊などの行動が心配	家庭内(家族関係)がうまくいかなくなる	治療や介護にお金がかかる	不安はない	わからない	その他	無回答
全 体	8,342	35.1	41.0	37.1	41.8	20.5	34.6	5.3	13.7	1.9	3.3
堺区	1,492	32.4	37.8	33.4	38.6	18.2	33.5	4.4	15.3	2.1	4.0
中区	1,148	36.1	40.3	37.6	42.9	21.7	36.4	5.5	13.9	1.3	3.2
東区	793	34.8	40.7	36.6	39.3	22.2	33.8	6.4	13.2	1.9	3.2
西区	1,233	32.7	41.4	37.3	41.0	20.8	33.7	6.9	12.5	1.7	2.8
南区	1,674	37.2	42.2	37.6	43.7	20.7	33.9	4.1	13.9	2.7	3.3
北区	1,576	36.5	42.3	39.7	43.9	20.3	36.7	5.2	13.6	1.6	3.0
美原区	422	36.7	42.7	36.3	42.2	22.0	32.5	6.4	11.4	1.7	3.8

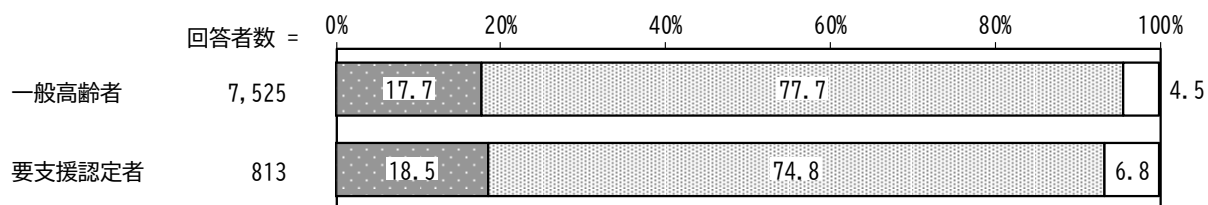
問 10 (3) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (〇はひとつ)

「はい」の割合が17.8%、「いいえ」の割合が77.5%となっています。
 令和元年度調査と比較すると、「はい」の割合が4.9ポイント低くなっています。



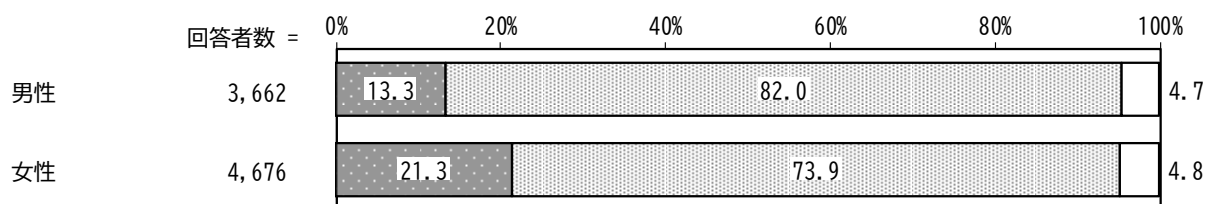
【認定状況別】

認定状況別にみると、大きな差はみられません。



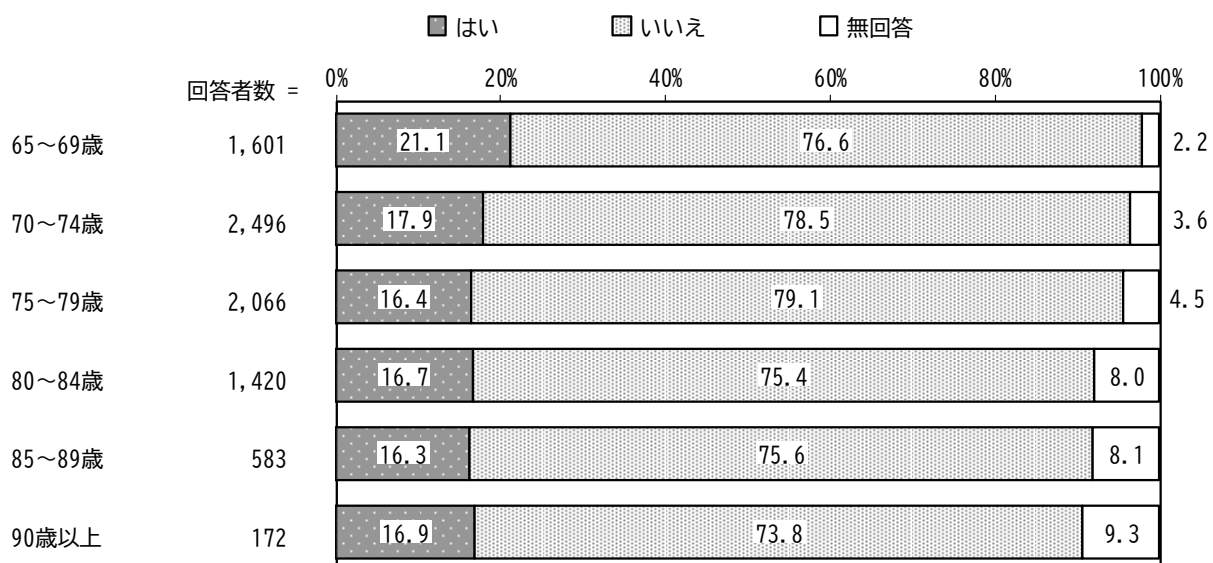
【性別】

性別にみると、「はい」では、男性が13.3%で、女性(21.3%)よりも8.0ポイント低くなっています。



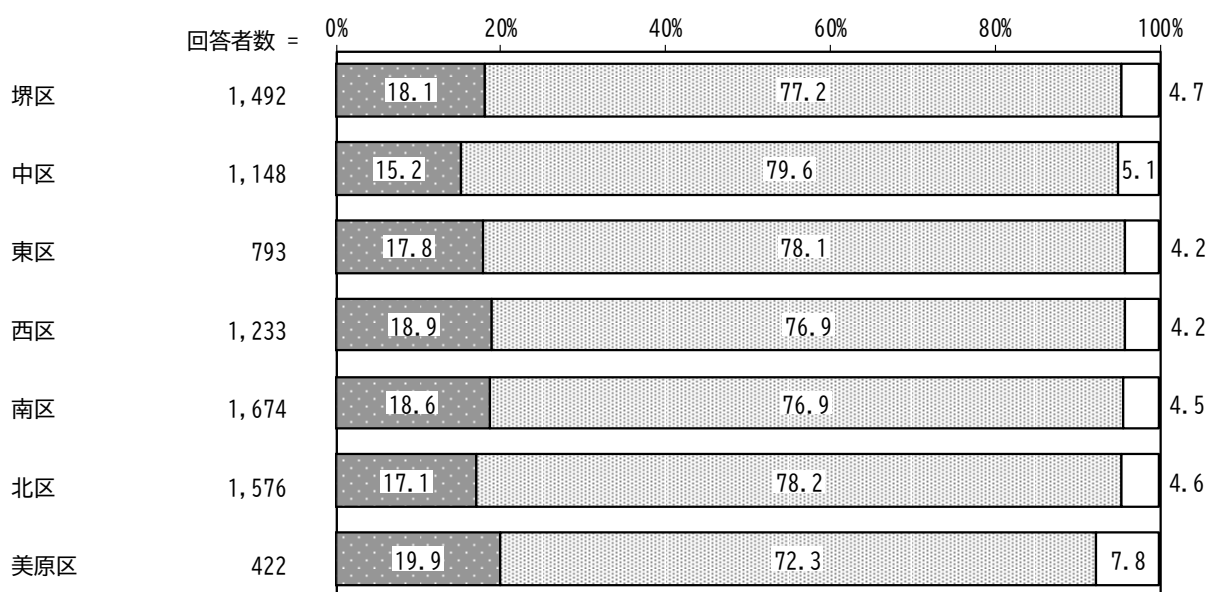
【年齢別】

年齢別にみると、大きな差はみられません。



【区域別】

区域別にみると、大きな差はみられません。

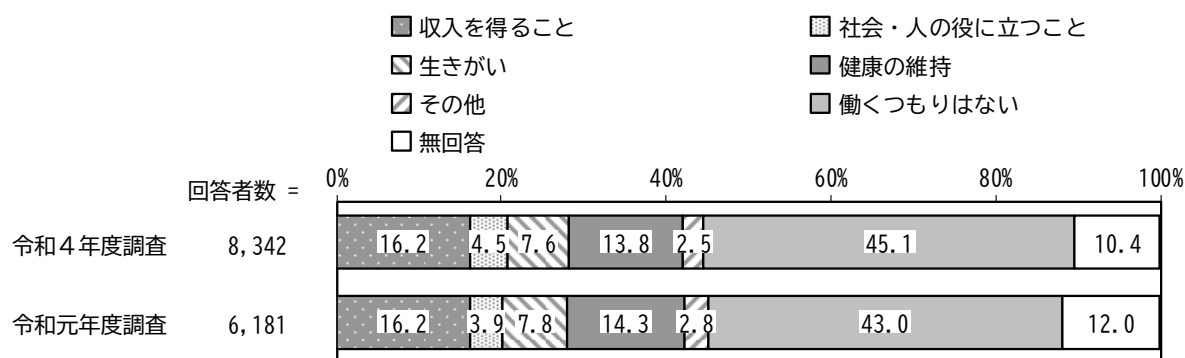


(12) 仕事について

問 11 (1) これから働き始めようとする（または引き続き働き続ける）場合に、あなたが仕事に一番求めるものは何ですか（○はひとつ）

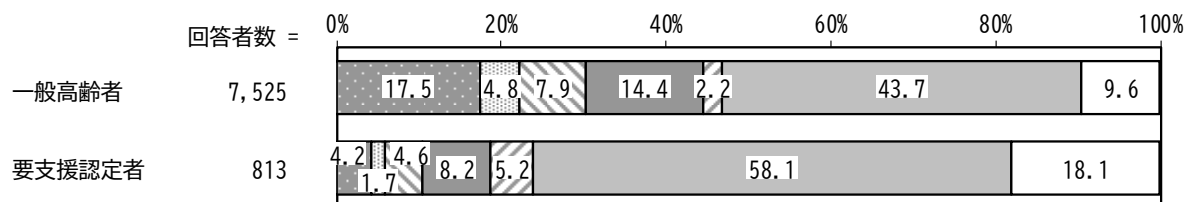
「働くつもりはない」の割合が 45.1%と最も高く、次いで「収入を得ること」の割合が 16.2%、「健康の維持」の割合が 13.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



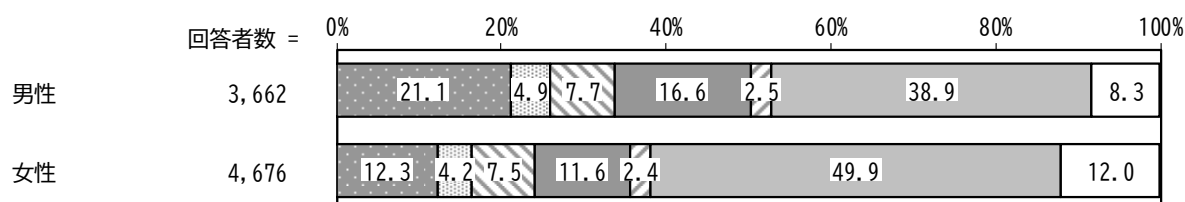
【認定状況別】

認定状況別にみると、要支援認定者で「働くつもりはない」の割合が高くなっています。



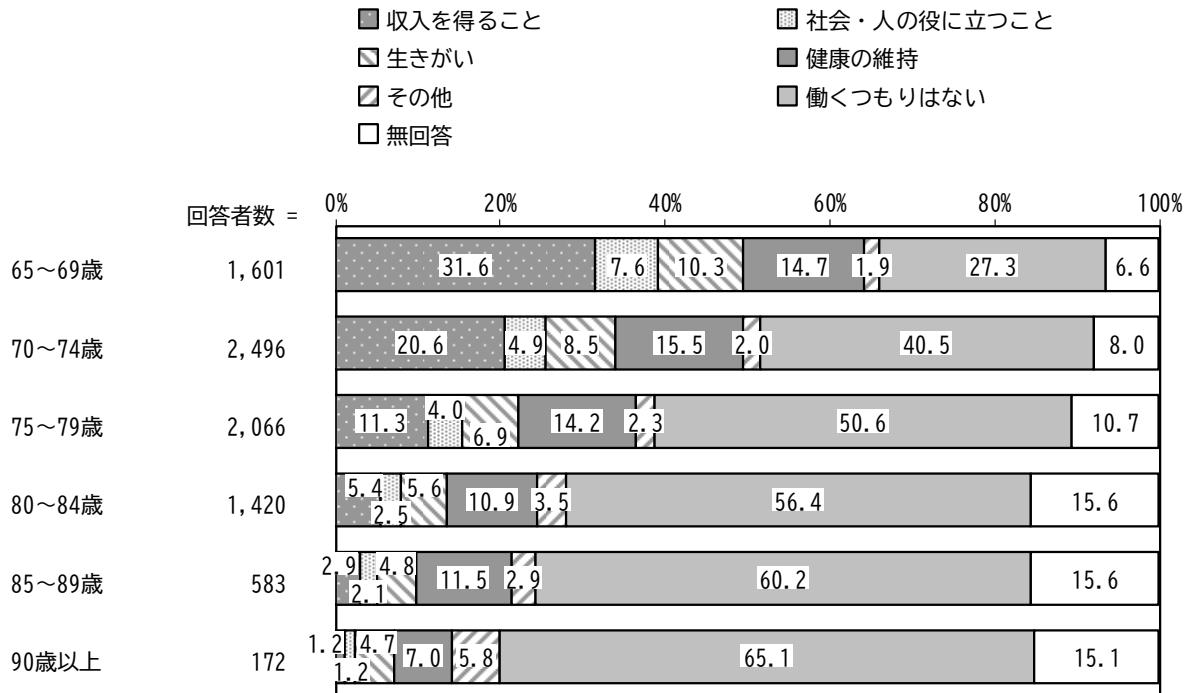
【性別】

性別にみると、「働くつもりはない」では、女性が 49.9%で、男性（38.9%）よりも 11.0ポイント高くなっています。

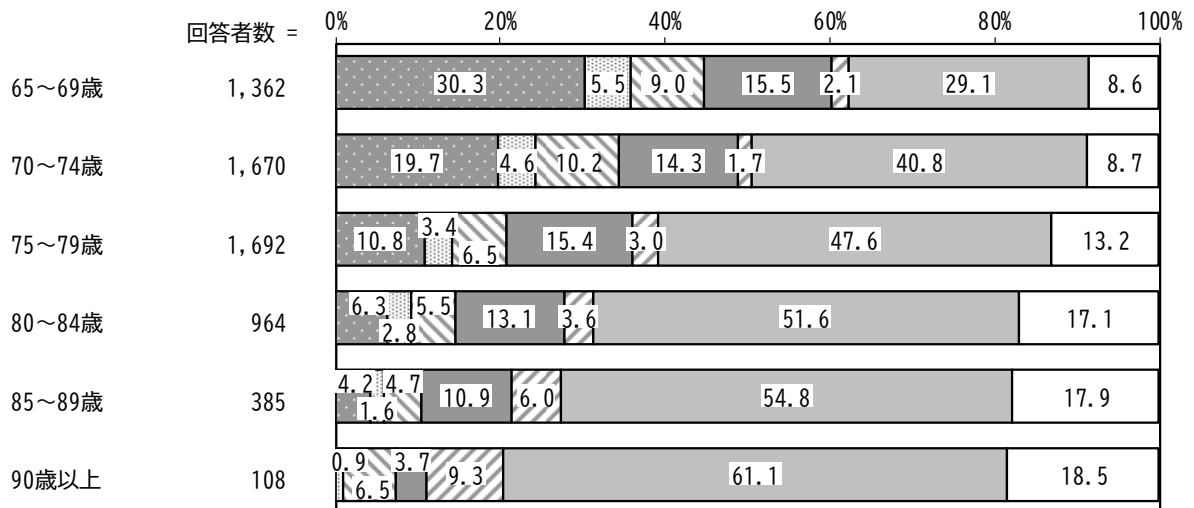


【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて、「働くつもりはない」の割合が高くなっています。令和元年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

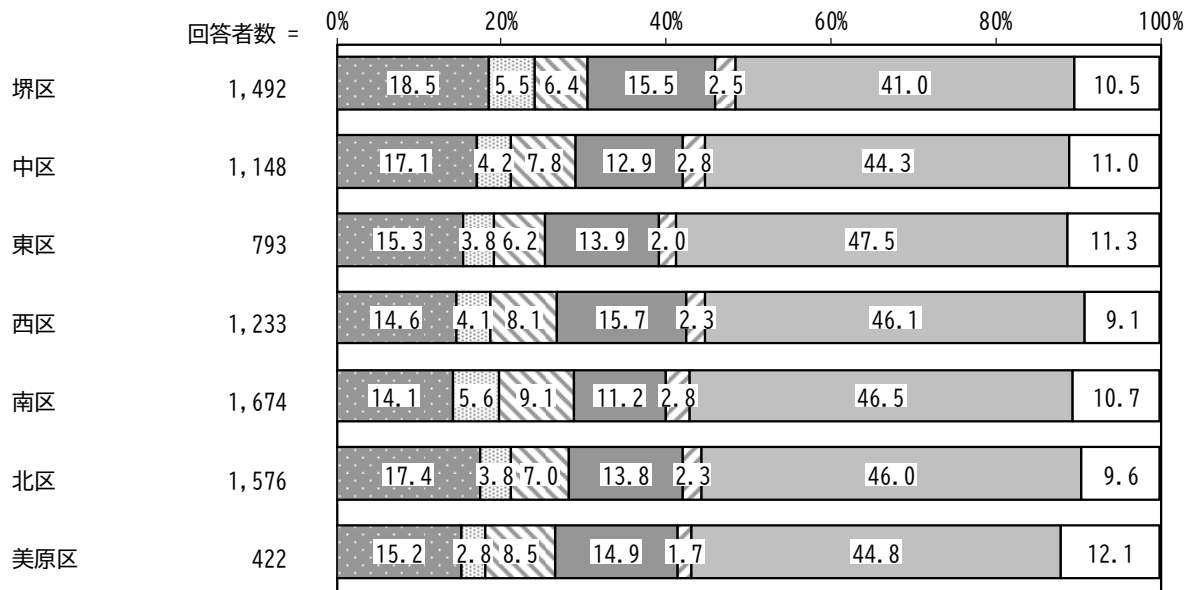


(令和元年度調査)



【区域別】

区域別にみると、大きな差はみられません。

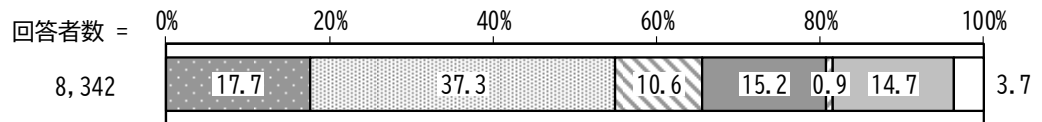


(13) 介護について

問 12 (1) 介護が必要になった場合、どのような暮らし方をしたいと思いますか
(○はひとつ)

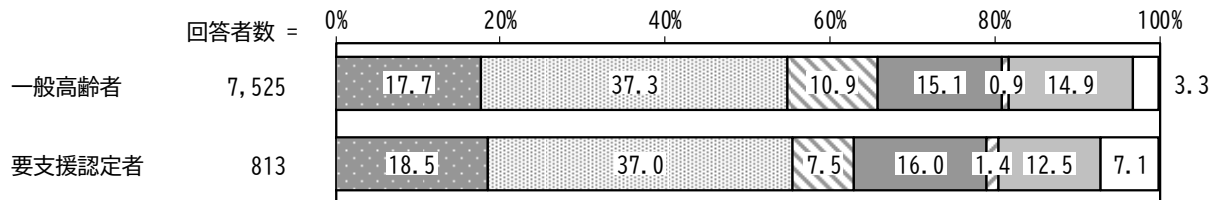
「居宅介護サービスを受けながら、現在の住宅に住み続けたい」の割合が 37.3%と最も高く、次いで「家族などの介護を受けながら、現在の住宅に住み続けたい」の割合が 17.7%、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)や介護老人保健施設などの施設に入所したい」の割合が 15.2%となっています。

- 家族などの介護を受けながら、現在の住宅に住み続けたい
- 居宅介護サービスを受けながら、現在の住宅に住み続けたい
- 高齢者向けに配慮された住宅に入居したい
- 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)や介護老人保健施設などの施設に入所したい
- その他
- わからない
- 無回答



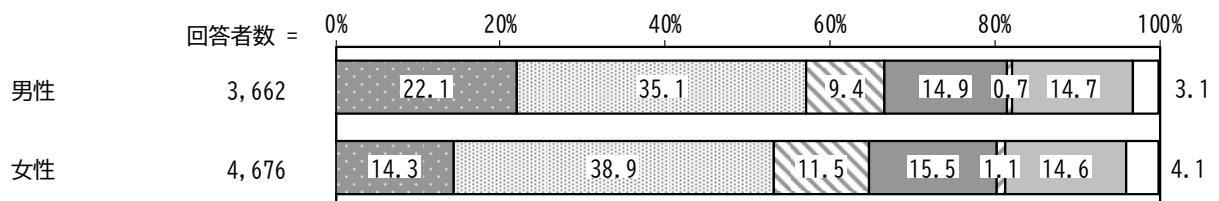
【認定状況別】

認定状況別にみると、大きな差はみられません。



【性別】

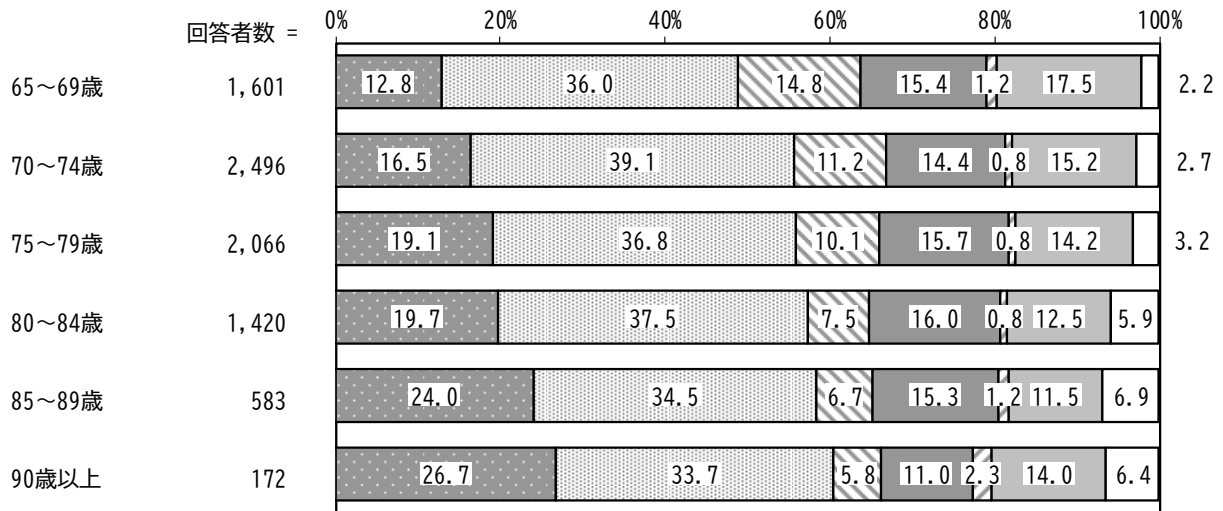
性別にみると、「家族などの介護を受けながら、現在の住宅に住み続けたい」では、男性が 22.1%で、女性(14.3%)よりも 7.8 ポイント高くなっています。



【年齢別】

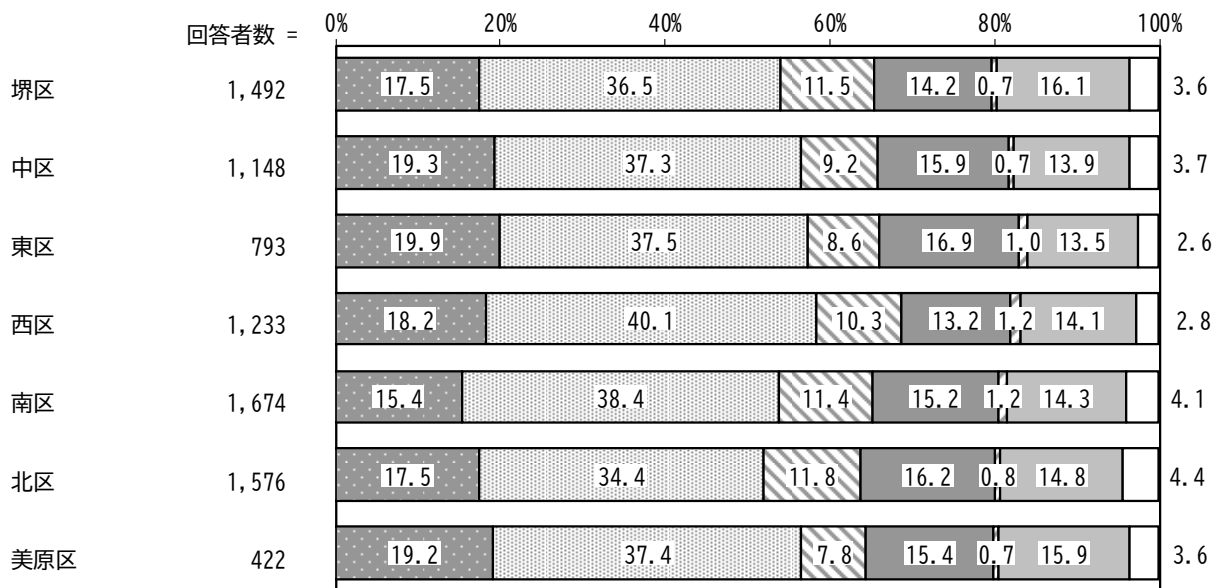
年齢別にみると、年齢が上がるにつれて、「家族などの介護を受けながら、現在の住宅に住み続けたい」の割合が高くなっています。

- 家族などの介護を受けながら、現在の住宅に住み続けたい
- ▨ 居宅介護サービスを受けながら、現在の住宅に住み続けたい
- ▩ 高齢者向けに配慮された住宅に入居したい
- 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）や介護老人保健施設などの施設に入所したい
- ▨ その他
- わからない
- 無回答



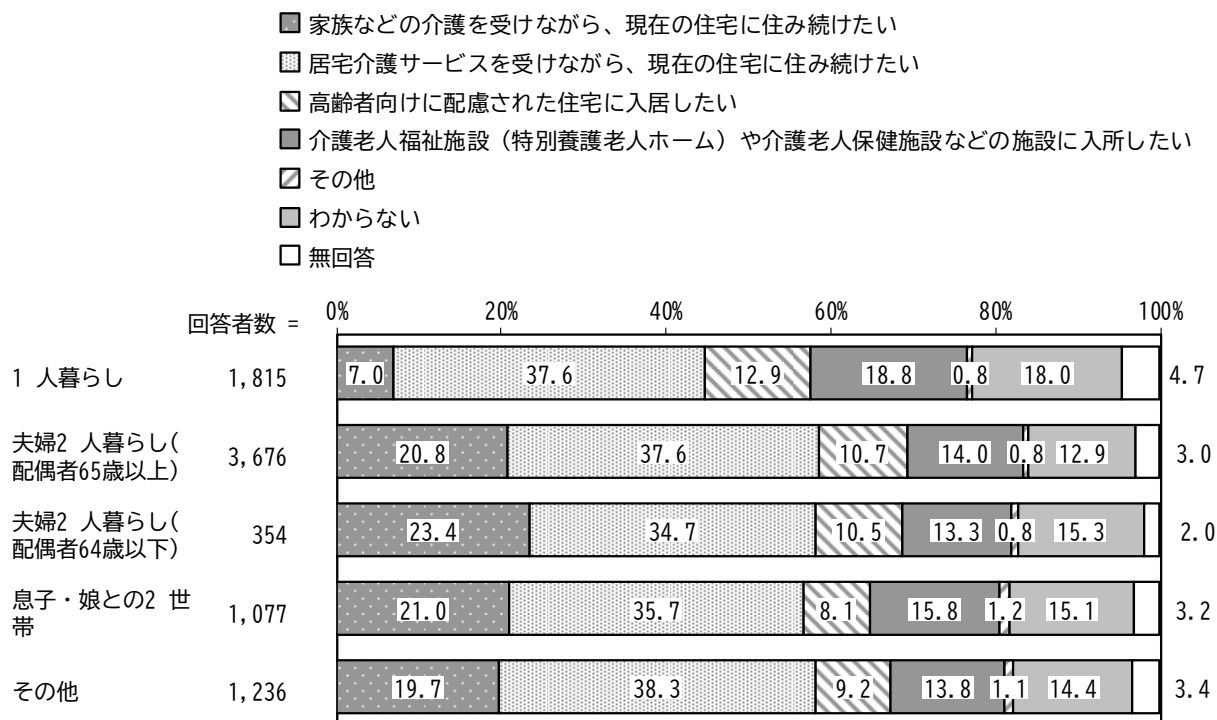
【区域別】

区域別にみると、大きな差はみられません。



【家族構成別】

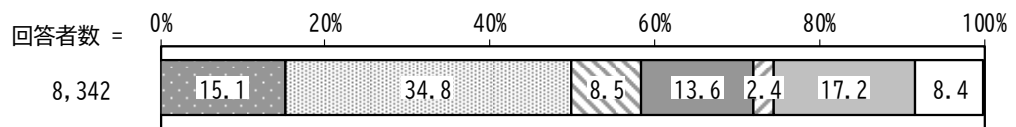
家族構成別にみると、1人暮らしでは、『現在の住宅に住み続けたい（「家族などの介護を受けながら、現在の住宅に住み続けたい」と「居宅介護サービスを受けながら、現在の住宅に住み続けたい」の合計）』は44.6%で、他の家族構成よりもやや低くなっています。



問 12 (2) 家族に介護が必要になったとしたら、どのような暮らし方をしてほしいと思いますか (○はひとつ)

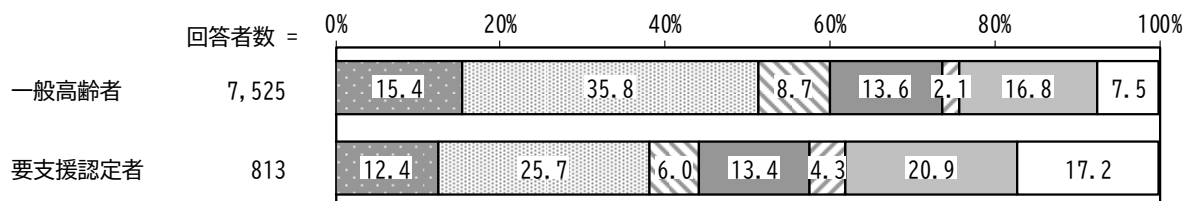
「居宅介護サービスを受けながら、現在の住宅に住み続けてほしい」の割合が 34.8%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 17.2%、「家族などの介護を受けながら、現在の住宅に住み続けてほしい」の割合が 15.1%となっています。

- 家族などの介護を受けながら、現在の住宅に住み続けてほしい
- ▨ 居宅介護サービスを受けながら、現在の住宅に住み続けてほしい
- ▩ 高齢者向けに配慮された住宅に入居してほしい
- 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）や介護老人保健施設などの施設に入所してほしい
- その他
- わからない
- 無回答



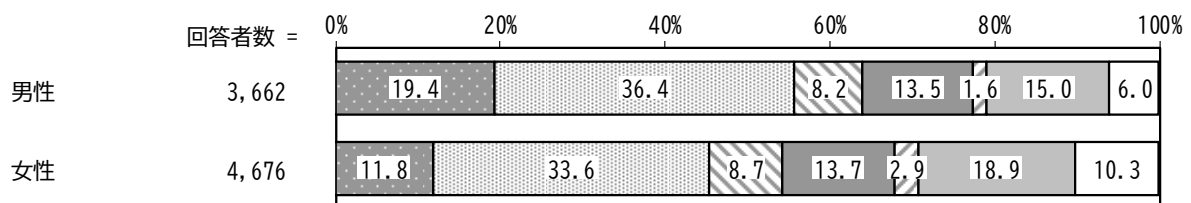
【認定状況別】

認定状況別にみると、『現在の住宅に住み続けてほしい（「家族などの介護を受けながら、現在の住宅に住み続けてほしい」と「居宅介護サービスを受けながら、現在の住宅に住み続けてほしい」の合計）』では、一般高齢者が 51.2%、要支援認定者が 38.1%となっています。



【性別】

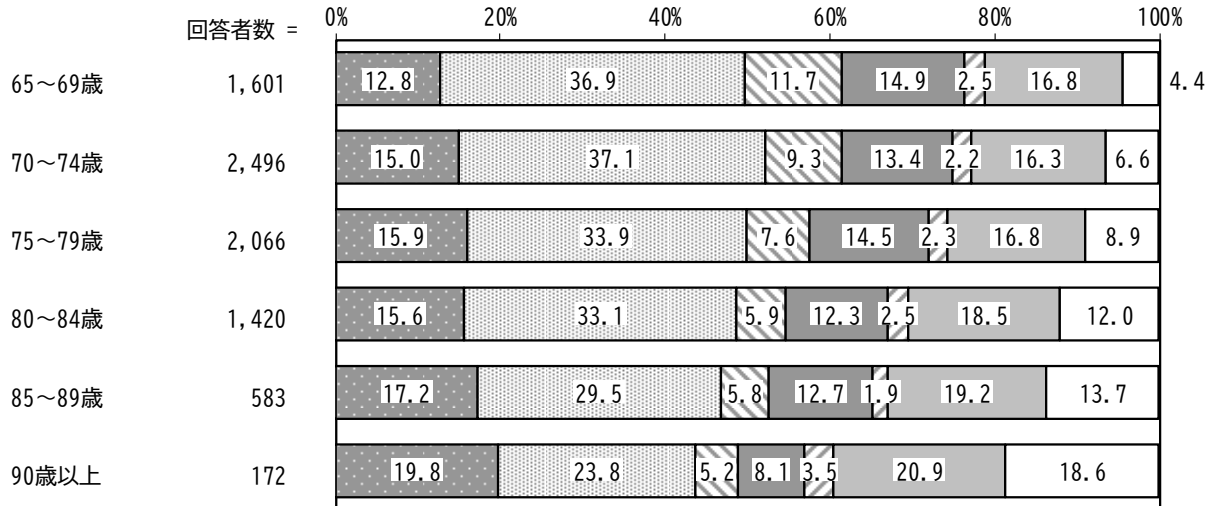
性別にみると、『現在の住宅に住み続けてほしい』では、男性が 55.8%、女性が 45.4%となっています。



【年齢別】

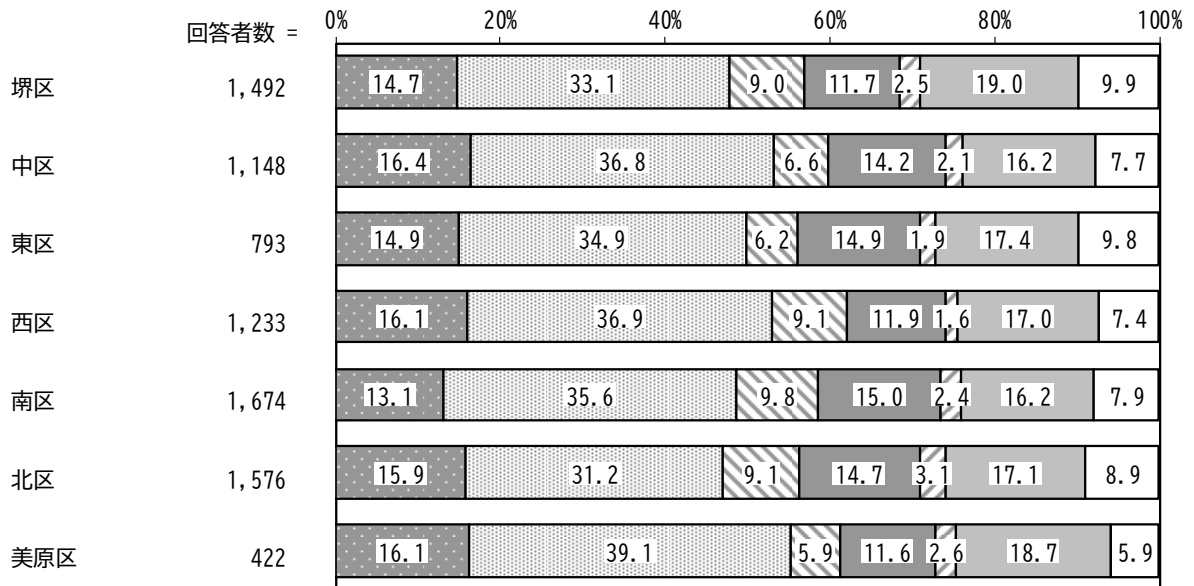
年齢別にみると、大きな差はみられません。

- 家族などの介護を受けながら、現在の住宅に住み続けてほしい
- ▨ 居宅介護サービスを受けながら、現在の住宅に住み続けてほしい
- ▩ 高齢者向けに配慮された住宅に入居してほしい
- 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）や介護老人保健施設などの施設に入所してほしい
- ▨ その他
- わからない
- 無回答



【区域別】

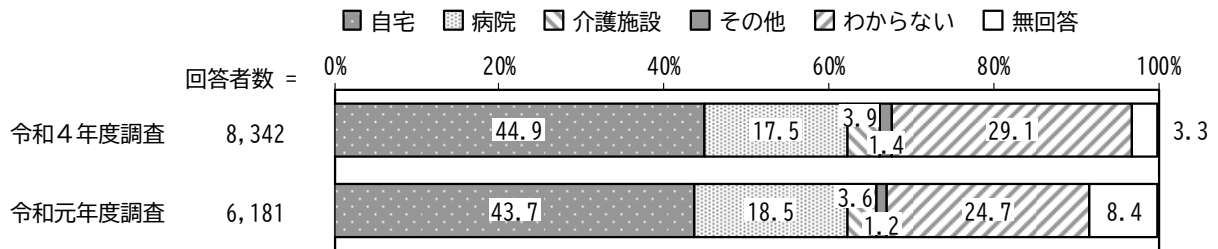
区域別にみると、大きな差はみられません。



問 12 (3) 人生の最期をどこで迎えたいと思いますか (〇はひとつ)

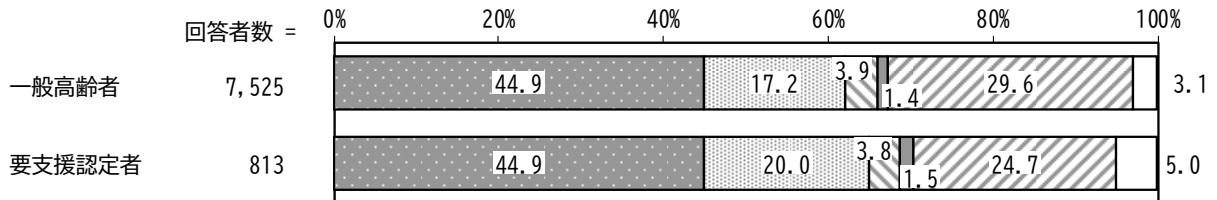
「自宅」の割合が44.9%と最も高く、次いで「わからない」の割合が29.1%、「病院」の割合が17.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



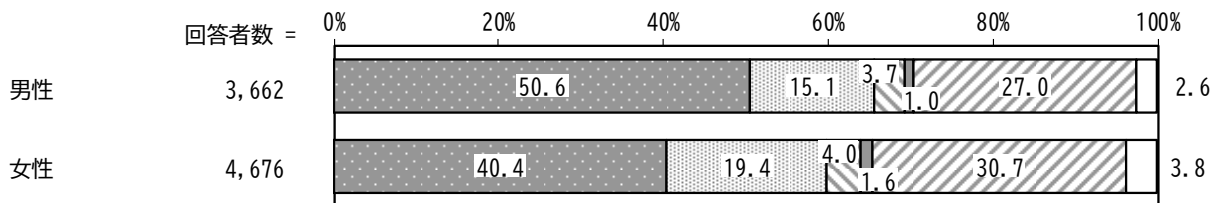
【認定状況別】

認定状況別にみると、大きな差はみられません。



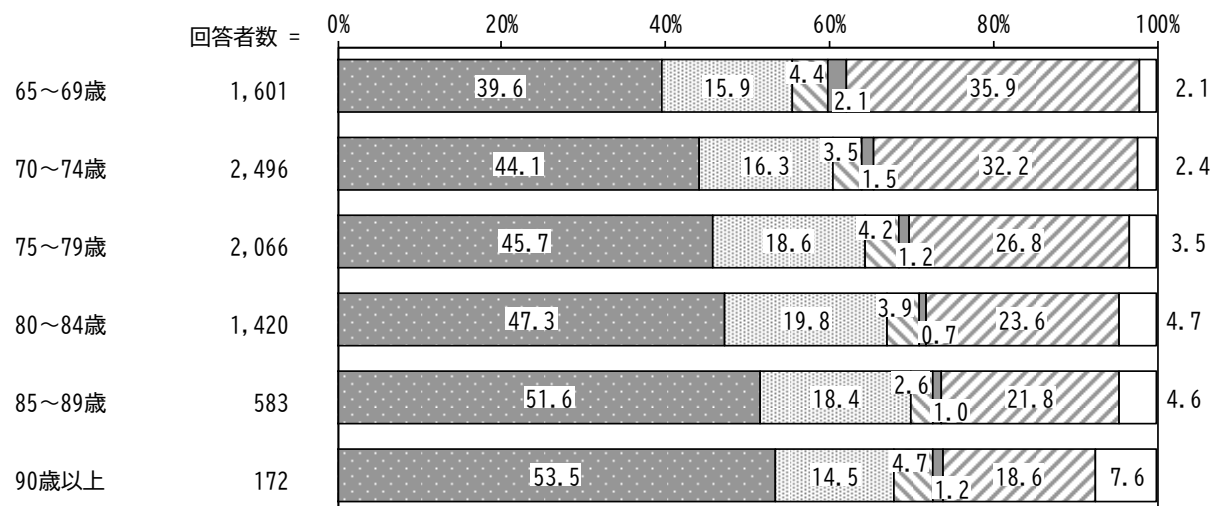
【性別】

性別にみると、「自宅」では、男性が50.6%で、女性(40.4%)よりも10.2ポイント高くなっています。



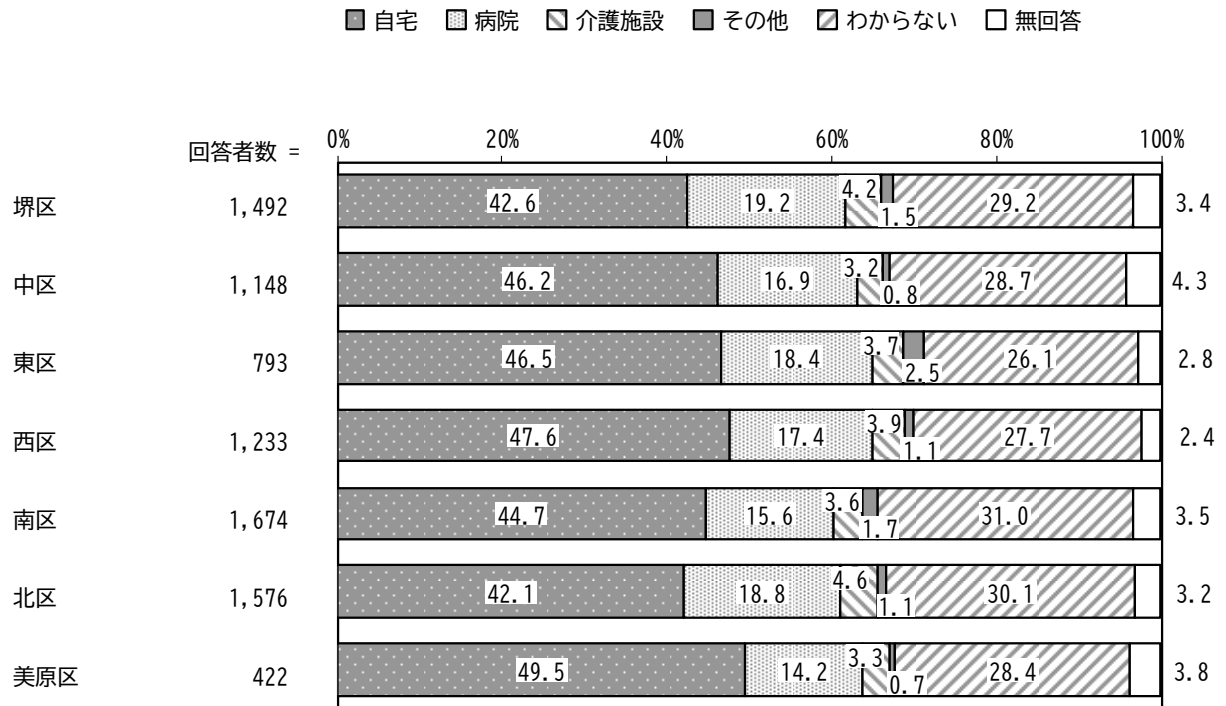
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて、「自宅」の割合が高くなっています。



【区域別】

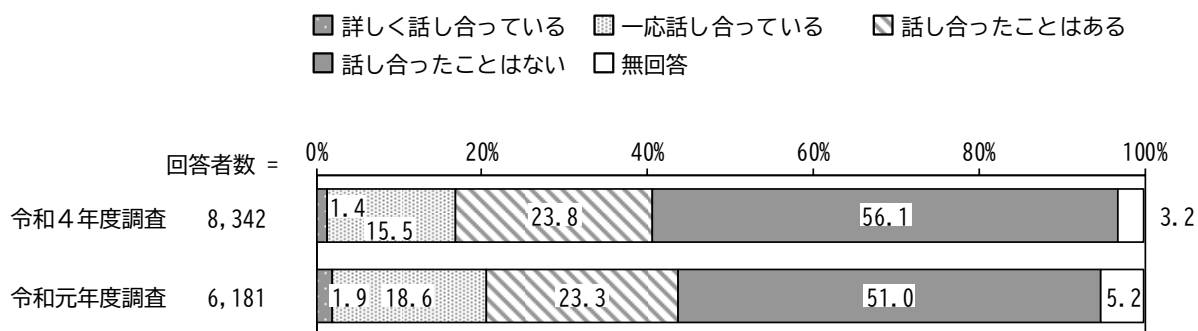
区域別にみると、大きな差はみられません。



問 12 (4) 人生の最終段階における医療・療養について、あなた自身の希望を、家族等
や医療介護関係者と話し合っていますか (〇はひとつ)

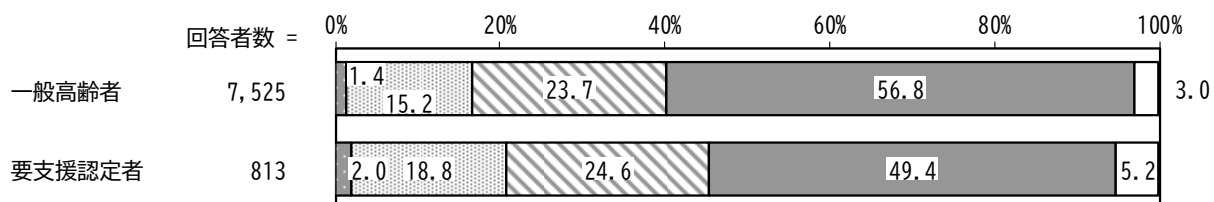
「話し合ったことはない」の割合が 56.1%と最も高く、次いで「話し合ったことはある」の割合が 23.8%、「一応話し合っている」の割合が 15.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、『話し合っている(「詳しく話し合っている」と「一応話し合っている」と「話しあったことはある」の合計)』では、令和4年度が 40.7%で、令和元年度(43.8%)よりも 3.1 ポイント低くなっています。



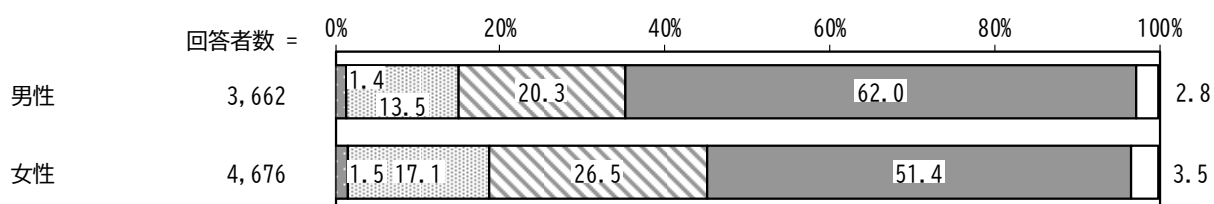
【認定状況別】

認定状況別にみると、『話し合っている』では、要支援認定者が 45.4%で、一般高齢者(40.3%)よりも 5.1 ポイント高くなっています。



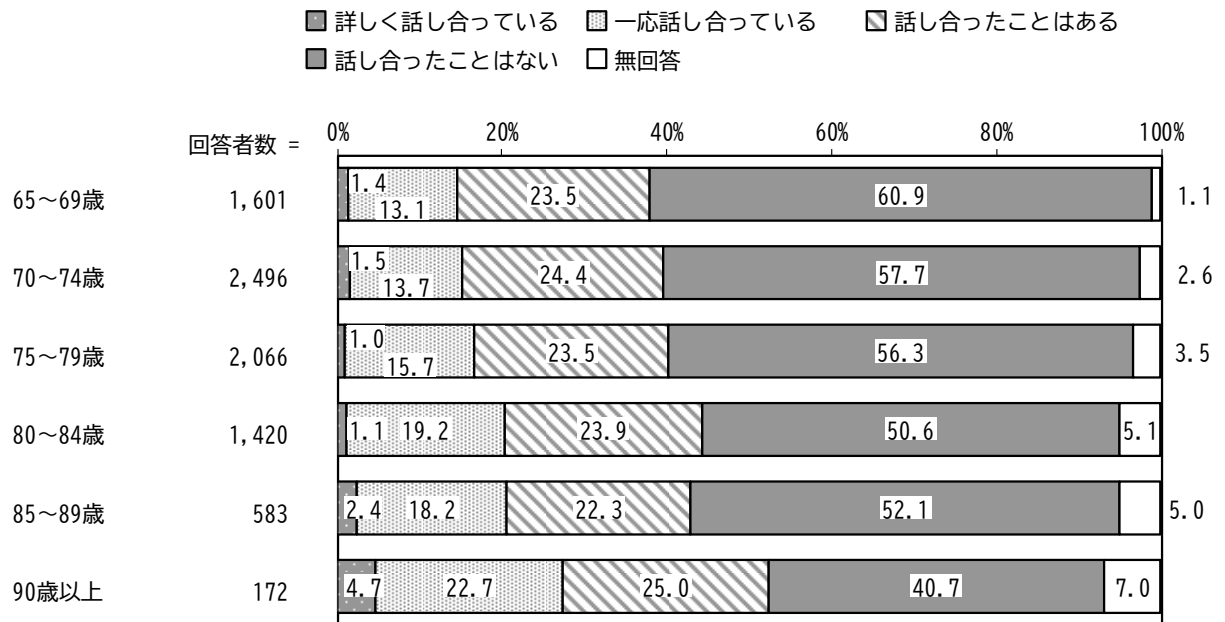
【性別】

性別にみると、『話し合っている』では、女性が 45.1%で、男性(35.2%)よりも 9.9 ポイント高くなっています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるにつれ『話し合っている』の割合がやや高くなっています。

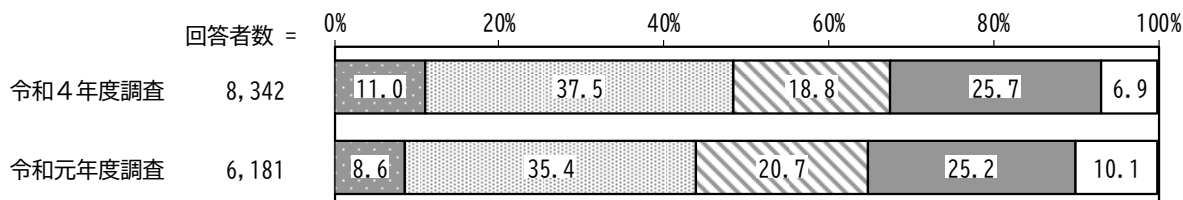


問 12 (5) 現行の介護保険制度は、サービスを利用する人が増えたり、一人ひとりの利用するサービスの量が増えることによって介護保険料が上昇する仕組みとなっています。堺市の今後の介護保険料について、あなたのお考えに近いのは次のどれですか (〇はひとつ)

「介護予防対策に力を入れ、介護保険サービスを必要とする人の増加を抑制することが重要であるが、それでも利用量等が増え、介護保険料が上昇するのならば仕方がない」の割合が 37.5% と最も高く、次いで「わからない」の割合が 25.7%、「現状以上に介護保険料が上昇するのは避けるべきであり、そのためには介護保険サービスが必要な人であっても、ある程度介護保険サービスの利用が制限されても仕方がない」の割合が 18.8% となっています。

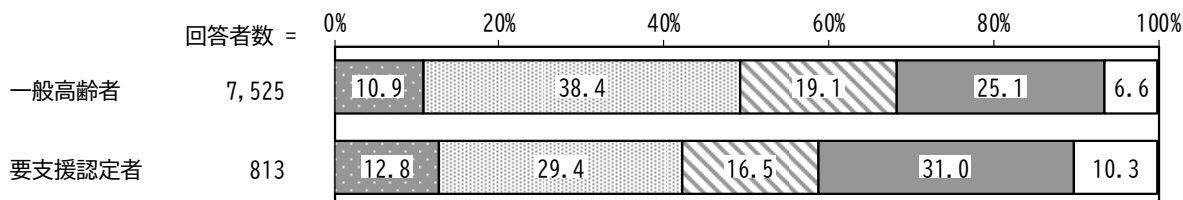
令和元年度調査と比較すると、「高齢化が進み、介護保険サービスを利用する人や利用量は増えていくだろうから、介護保険料が上昇するのは仕方がない」、「介護予防対策に力を入れ、介護保険サービスを必要とする人の増加を抑制することが重要であるが、それでも利用量等が増え、介護保険料が上昇するのならば仕方がない」の割合がやや高くなっています。

- 高齢化が進み、介護保険サービスを利用する人や利用量は増えていくだろうから、介護保険料が上昇するのは仕方がない
- 介護予防対策に力を入れ、介護保険サービスを必要とする人の増加を抑制することが重要であるが、それでも利用量等が増え、介護保険料が上昇するのならば仕方がない
- 現状以上に介護保険料が上昇するのは避けるべきであり、そのためには介護保険サービスが必要な人であっても、ある程度介護保険サービスの利用が制限されても仕方がない
- わからない
- 無回答



【認定状況別】

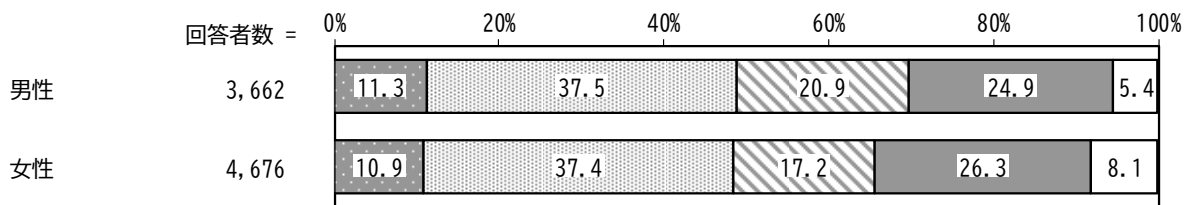
認定状況別にみると、要支援認定者で「わからない」の割合が高くなっています。



【性別】

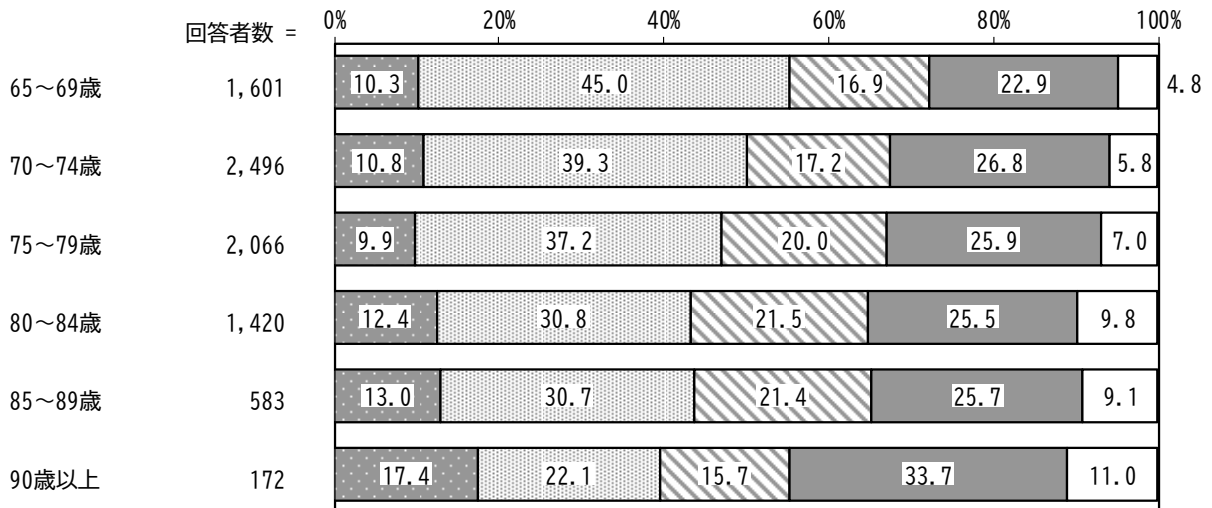
性別にみると、大きな差はみられません。

- 高齢化が進み、介護保険サービスを利用する人や利用量は増えていくだろうから、介護保険料が上昇するのは仕方がない
- ▨ 介護予防対策に力を入れ、介護保険サービスを必要とする人の増加を抑制することが重要であるが、それでも利用量等が増え、介護保険料が上昇するのならば仕方がない
- ▩ 現状以上に介護保険料が上昇するのは避けるべきであり、そのためには介護保険サービスが必要な人であっても、ある程度介護保険サービスの利用が制限されても仕方がない
- わからない
- 無回答



【年齢別】

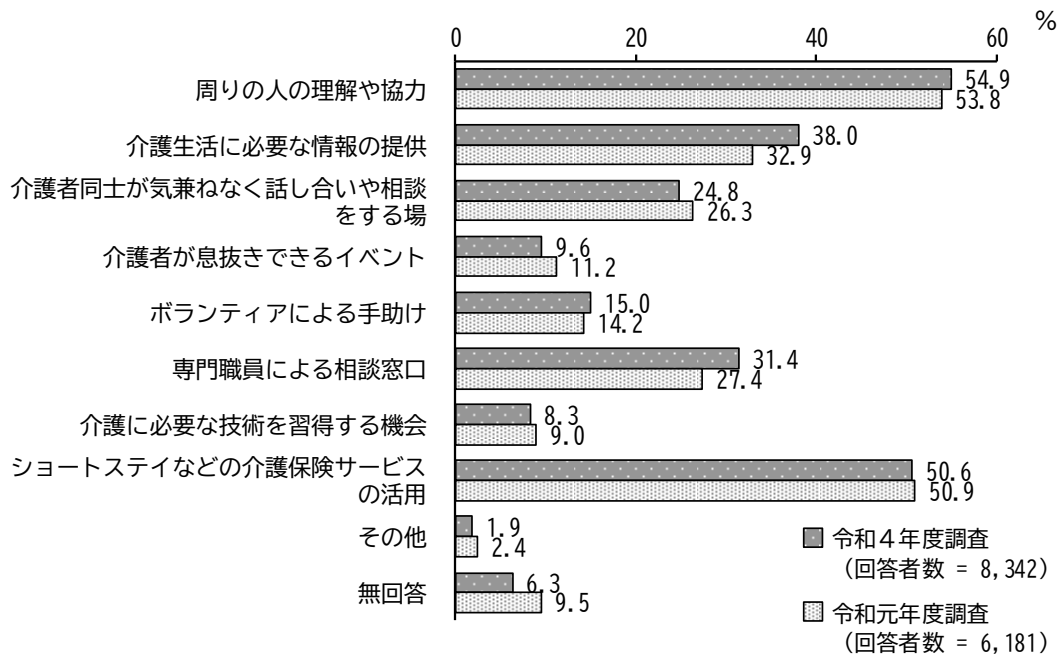
年齢別にみると、年齢が上がるにつれて、「介護予防対策に力を入れ、介護保険サービスを必要とする人の増加を抑制することが重要であるが、それでも利用量等が増え、介護保険料が上昇するのならば仕方がない」の割合が低くなっています。



問 12 (6) 家族を介護する人の介護疲れやストレスのケアをするためには、何が必要だと思いますか (〇は3つまで)

「周りの人の理解や協力」の割合が 54.9%と最も高く、次いで「ショートステイなどの介護保険サービスの活用」の割合が 50.6%、「介護生活に必要な情報の提供」の割合が 38.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「介護生活に必要な情報の提供」、「専門職員による相談窓口」の割合がやや増加しています。



【認定状況別】

認定状況別にみると、「介護生活に必要な情報の提供」、「ショートステイなどの介護保険サービスの活用」では、一般高齢者の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	周りの人の理解や協力	介護生活に必要な情報の提供	介護者同士が気兼ねなく話し合いや相談をする場	介護者が息抜きできるイベント	ボランティアによる手助け	専門職員による相談窓口	介護に必要な技術を習得する機会	ショートステイなどの介護保険サービスの活用	その他	無回答
全体	8,342	54.9	38.0	24.8	9.6	15.0	31.4	8.3	50.6	1.9	6.3
一般高齢者	7,525	55.3	39.0	24.7	9.7	15.1	31.6	8.5	51.6	1.8	5.6
要支援認定者	813	50.7	29.8	25.2	8.9	14.6	28.9	6.8	41.6	2.5	12.1

【性別】

性別にみると、男性、女性ともに「周りの人の理解や協力」の割合が高くなっています。また、女性では、「ショートステイなどの介護保険サービスの活用」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	周りの人の理解や協力	介護生活に必要な情報の提供	介護者同士が気兼ねなく話し合いや相談をする場	介護者が息抜きできるイベント	ボランティアによる手助け	専門職員による相談窓口	介護に必要な技術を習得する機会	ショートステイなどの介護保険サービスの活用	その他	無回答
全体	8,342	54.9	38.0	24.8	9.6	15.0	31.4	8.3	50.6	1.9	6.3
男性	3,662	54.9	41.5	23.4	10.0	14.5	34.4	8.5	42.0	2.1	5.7
女性	4,676	54.8	35.4	25.9	9.3	15.4	29.0	8.2	57.4	1.8	6.7

【年齢別】

年齢別にみると、「介護生活に必要な情報の提供」では、年齢が若い方の割合が概ね高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	周りの人の理解や協力	介護生活に必要な情報の提供	介護者同士が気兼ねなく話し合いや相談をする場	介護者が息抜きできるイベント	ボランティアによる手助け	専門職員による相談窓口	介護に必要な技術を習得する機会	ショートステイなどの介護保険サービスの活用	その他	無回答
全体	8,342	54.9	38.0	24.8	9.6	15.0	31.4	8.3	50.6	1.9	6.3
65～69歳	1,601	57.9	40.2	23.8	10.3	15.6	33.2	8.6	59.4	2.3	2.3
70～74歳	2,496	56.0	40.3	25.1	10.8	15.3	31.5	8.2	54.2	1.7	4.6
75～79歳	2,066	53.4	40.8	25.0	9.0	14.8	30.2	9.1	49.4	1.7	6.7
80～84歳	1,420	51.3	33.2	26.8	8.6	14.4	33.0	8.7	41.5	2.0	10.1
85～89歳	583	56.8	29.7	24.5	7.9	14.6	25.7	5.3	41.7	2.1	10.8
90歳以上	172	51.2	19.8	11.0	6.4	14.5	32.0	6.4	37.2	2.3	14.0

【区域別】

区域別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

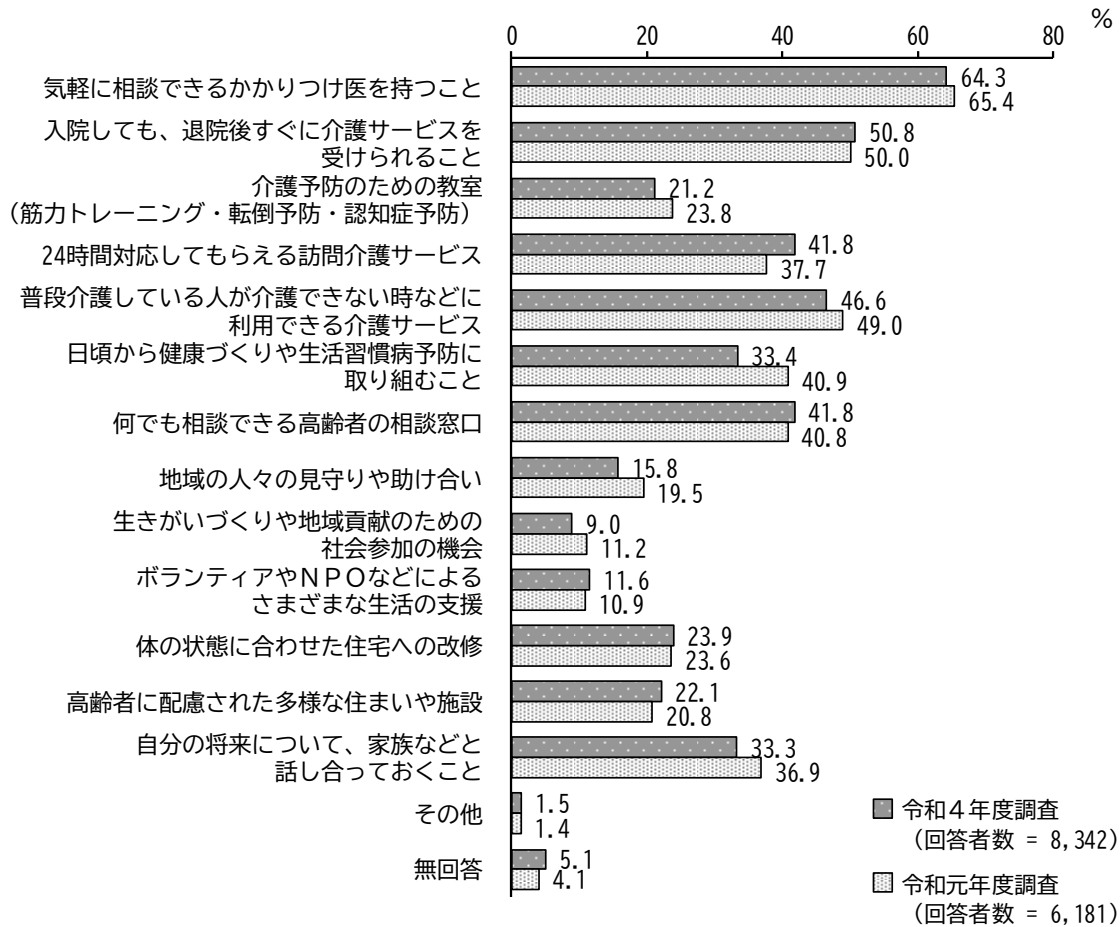
区分	回答者数(件)	周りの人の理解や協力	介護生活に必要な情報の提供	介護者同士が気兼ねなく話し合いや相談をする場	介護者が息抜きできるイベント	ボランティアによる手助け	専門職員による相談窓口	介護に必要な技術を習得する機会	ショートステイなどの介護保険サービスの活用	その他	無回答
全 体	8,342	54.9	38.0	24.8	9.6	15.0	31.4	8.3	50.6	1.9	6.3
堺区	1,492	53.2	36.5	24.3	9.8	14.3	32.6	7.8	47.8	1.5	7.5
中区	1,148	53.9	36.3	26.0	12.5	15.2	30.8	8.0	47.6	1.5	7.0
東区	793	54.1	40.4	24.2	10.0	14.8	30.3	9.5	50.8	1.5	6.2
西区	1,233	56.0	38.7	25.5	7.8	15.3	30.0	8.8	50.9	2.5	5.2
南区	1,674	54.7	39.5	24.6	8.5	15.8	32.8	8.8	53.6	2.1	5.1
北区	1,576	56.5	38.1	24.5	9.7	15.4	31.6	7.9	51.3	2.2	6.4
美原区	422	56.6	36.3	23.7	9.2	11.8	28.0	7.3	52.8	1.7	7.1

(14) 住み慣れた地域で暮らし続けることについて

問 13 (1) 高齢者ができる限り自宅や住み慣れた地域で暮らし続けるために、どのようなことが必要だと思いますか (〇はいくつでも)

「気軽に相談できるかかりつけ医を持つこと」の割合が 64.3%と最も高く、次いで「入院しても、退院後すぐに介護サービスを受けられること」の割合が 50.8%、「普段介護している人が介護できない時などに利用できる介護サービス」の割合が 46.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「日頃から健康づくりや生活習慣病予防に取り組むこと」の割合が 7.5 ポイント低くなっています。



【認定状況別】

認定状況別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	気軽に相談できるかかりつけ医を持つこと	入院しても、退院後すぐに介護サービスを受けられること	介護予防のための教室(筋力トレーニング・転倒予防・認知症予防)	24時間対応してもらええる訪問介護サービス	普段介護している人が介護できない時などに利用できる介護サービス	日頃から健康づくりや生活習慣病予防に取り組むこと	何でも相談できる高齢者の相談窓口
全 体	8,342	64.3	50.8	21.2	41.8	46.6	33.4	41.8
一般高齢者	7,525	64.2	50.3	21.0	42.0	47.6	34.3	41.9
要支援認定者	813	65.3	55.1	23.4	39.4	37.6	24.8	40.7

区分	地域の人の見守りや助け合い	生きがいづくりや地域貢献のための社会参加の機会	ボランティアやNPOなどによるさまざまな生活の支援	体の状態に合わせた住宅への改修	高齢者に配慮された多様な住まいや施設	自分の将来について、家族などと話し合っておくこと	その他	無回答
全 体	15.8	9.0	11.6	23.9	22.1	33.3	1.5	5.1
一般高齢者	15.7	9.4	11.8	24.2	22.4	33.6	1.4	4.9
要支援認定者	17.0	4.9	9.8	21.0	19.6	31.6	2.5	7.3

【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	気軽に相談できるかかりつけ医を持つこと	入院しても、退院後すぐに介護サービスを受けられること	介護予防のための教室(筋力トレーニング・転倒予防・認知症予防)	24時間対応してもらえる訪問介護サービス	普段介護している人が介護できない時などに利用できる介護サービス	日頃から健康づくりや生活習慣病予防に取り組むこと	何でも相談できる高齢者の相談窓口
全 体	8,342	64.3	50.8	21.2	41.8	46.6	33.4	41.8
男性	3,662	64.4	46.5	19.3	41.2	41.4	32.4	41.4
女性	4,676	64.2	54.1	22.7	42.2	50.8	34.2	42.1

区分	地域の人の見守りや助け合い	生きがいづくりや地域貢献のための社会参加の機会	ボランティアやNPOなどによるさまざまな生活の支援	体の状態に合わせた住宅への改修	高齢者に配慮された多様な住まいや施設	自分の将来について、家族などと話し合っておくこと	その他	無回答
全 体	15.8	9.0	11.6	23.9	22.1	33.3	1.5	5.1
男性	15.0	9.0	10.9	22.3	21.0	29.4	1.6	5.2
女性	16.5	9.0	12.1	25.1	22.9	36.5	1.4	5.0

【年齢別】

年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	気軽に相談できるかかりつけ医を持つこと	入院しても、退院後すぐに介護サービスを受けられること	介護予防のための教室(筋力トレーニング・転倒予防・認知症予防)	24時間対応してもらええる訪問介護サービス	普段介護している人が介護できない時などに利用できる介護サービス	日頃から健康づくりや生活習慣病予防に取り組むこと	何でも相談できる高齢者の相談窓口
全 体	8,342	64.3	50.8	21.2	41.8	46.6	33.4	41.8
65～69 歳	1,601	60.6	52.7	23.9	47.8	53.9	37.4	41.2
70～74 歳	2,496	62.0	50.6	21.6	43.3	48.7	34.6	42.7
75～79 歳	2,066	65.6	51.0	21.0	40.0	47.2	32.1	41.3
80～84 歳	1,420	68.7	50.0	20.8	35.8	39.8	32.0	42.5
85～89 歳	583	68.3	47.7	17.2	39.8	35.8	27.3	40.5
90 歳以上	172	66.3	48.3	11.6	40.7	36.6	26.2	38.4

区分	地域の人の見守りや助け合い	生きがいづくりや地域貢献のための社会参加の機会	ボランティアやNPOなどによるさまざまな生活の支援	体の状態に合わせた住宅への改修	高齢者に配慮された多様な住まいや施設	自分の将来について、家族などと話し合っておくこと	その他	無回答
全 体	15.8	9.0	11.6	23.9	22.1	33.3	1.5	5.1
65～69 歳	16.9	12.8	14.2	27.6	28.5	32.5	1.7	2.6
70～74 歳	16.0	10.0	12.2	26.3	23.5	33.0	1.3	4.5
75～79 歳	15.5	8.0	10.8	22.4	19.6	33.4	1.1	5.3
80～84 歳	16.2	7.0	10.2	21.0	18.3	35.3	1.9	6.8
85～89 歳	13.9	4.3	9.4	19.0	18.0	33.6	2.1	8.1
90 歳以上	12.2	2.9	5.2	12.8	16.9	28.5	1.7	10.5

【区域別】

区域別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

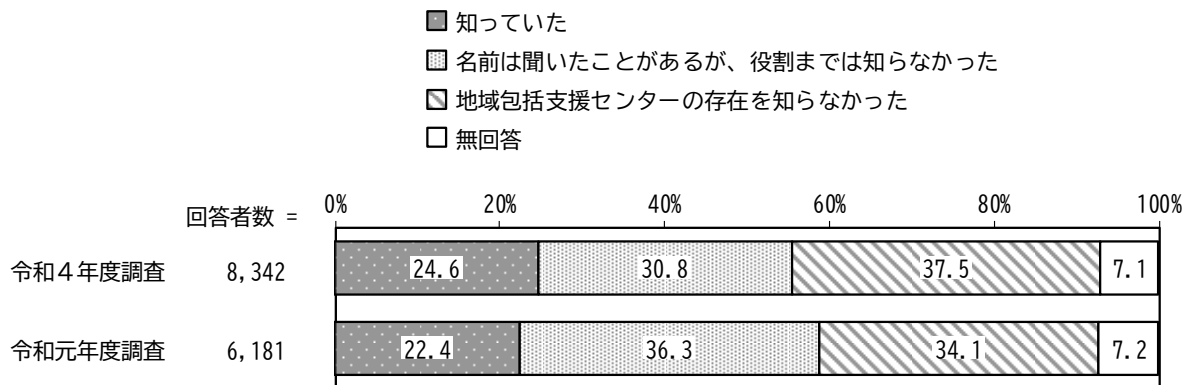
区分	回答者数(件)	気軽に相談できるかかりつけ医を持つこと	入院しても、退院後すぐに介護サービスを受けられること	介護予防のための教室(筋力トレーニング・転倒予防・認知症予防)	24時間対応してもらええる訪問介護サービス	普段介護している人が介護できない時などに利用できる介護サービス	日頃から健康づくりや生活習慣病予防に取り組むこと	何でも相談できる高齢者の相談窓口
全 体	8,342	64.3	50.8	21.2	41.8	46.6	33.4	41.8
堺区	1,492	64.5	49.9	20.5	39.7	43.1	33.7	41.2
中区	1,148	64.5	47.9	20.6	41.5	48.7	29.9	40.7
東区	793	66.0	51.2	19.8	42.5	45.5	33.9	40.9
西区	1,233	65.0	52.2	22.1	41.0	46.4	31.8	41.0
南区	1,674	61.5	52.0	21.5	44.7	48.8	37.2	42.3
北区	1,576	65.5	49.9	22.3	41.8	46.0	32.8	44.2
美原区	422	64.7	54.3	20.1	39.1	50.7	32.2	40.3

区分	地域の人の見守りや助け合い	生きがいづくりや地域貢献のための社会参加の機会	ボランティアやNPOなどによるさまざまな生活の支援	体の状態に合わせた住宅への改修	高齢者に配慮された多様な住まいや施設	自分の将来について、家族などと話し合っておくこと	その他	無回答
全 体	15.8	9.0	11.6	23.9	22.1	33.3	1.5	5.1
堺区	15.1	8.6	11.3	24.2	21.4	34.5	1.3	5.4
中区	15.2	7.5	10.3	26.8	21.7	33.7	1.7	5.2
東区	15.8	10.0	11.3	22.7	21.8	31.8	1.3	5.2
西区	16.1	10.1	11.4	24.1	20.7	32.7	1.2	4.7
南区	17.0	9.4	12.6	24.0	23.2	34.0	1.9	4.5
北区	15.9	8.9	12.2	21.5	24.2	32.6	1.6	4.9
美原区	15.2	7.8	10.9	24.9	17.5	34.1	1.2	7.3

問 13 (2) 地域包括支援センターは、高齢者の方々が住みなれた地域で安心して暮らしていけるよう、介護・福祉・健康などさまざまな面から総合的に相談や支援を行う役割を担っていますが、この役割を知っていましたか（○はひとつ）

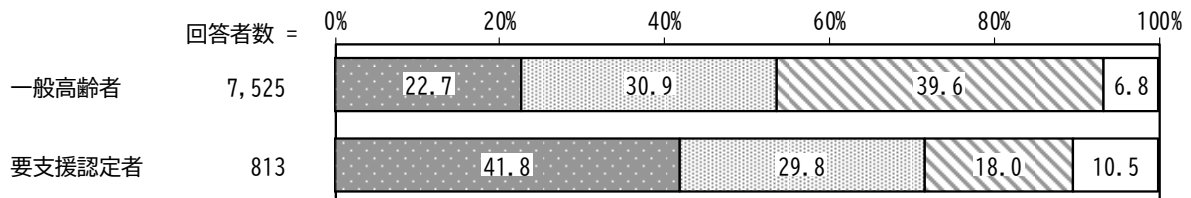
「地域包括支援センターの存在を知らなかった」の割合が 37.5%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らなかった」の割合が 30.8%、「知っていた」の割合が 24.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「知っていた」の割合が 2.2 ポイント高くなっています。



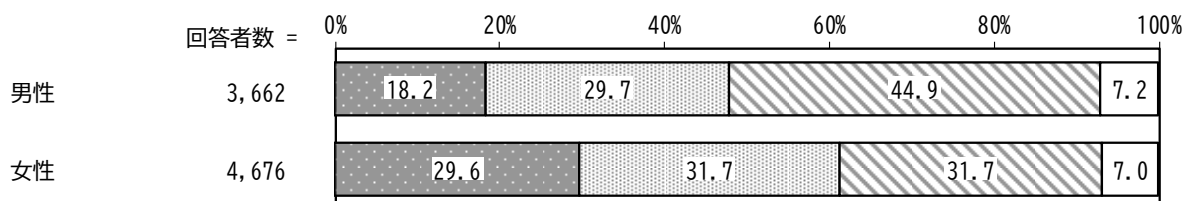
【認定状況別】

認定状況別にみると、「地域包括支援センターの存在を知らなかった」では、一般高齢者が 39.6%、要支援認定者が 18.0%となっています。



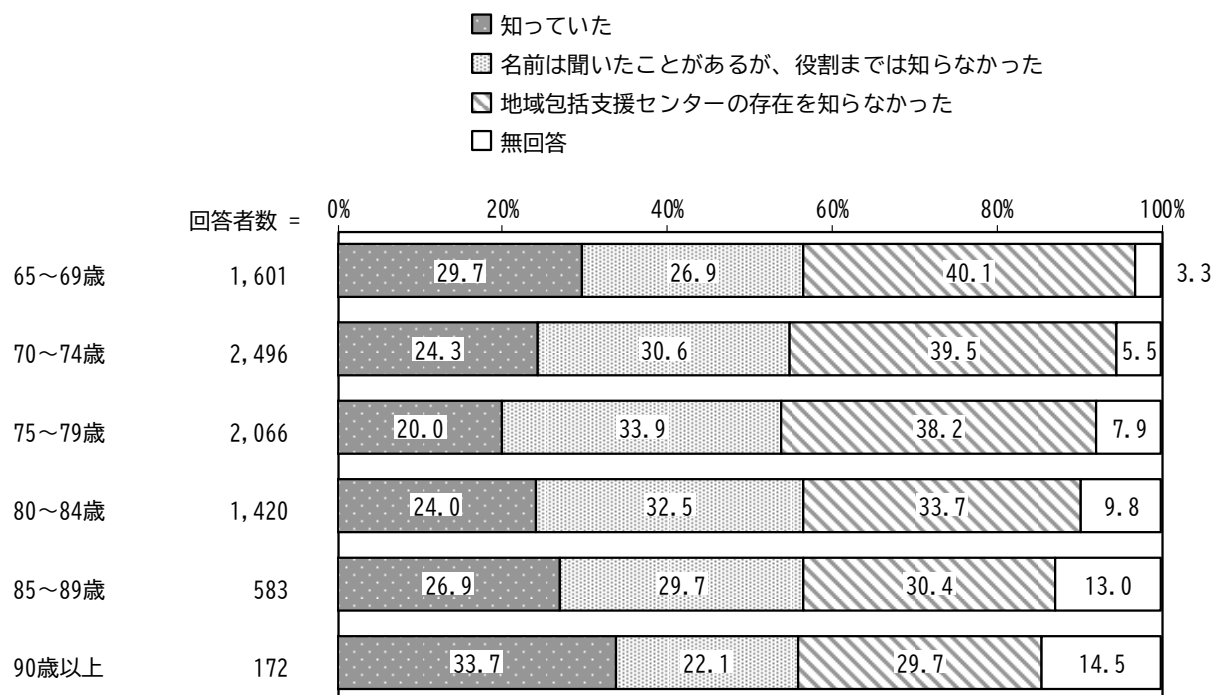
【性別】

性別にみると、「地域包括支援センターの存在を知らなかった」では、男性が 44.9%で、女性（31.7%）よりも 13.2 ポイント高くなっています。



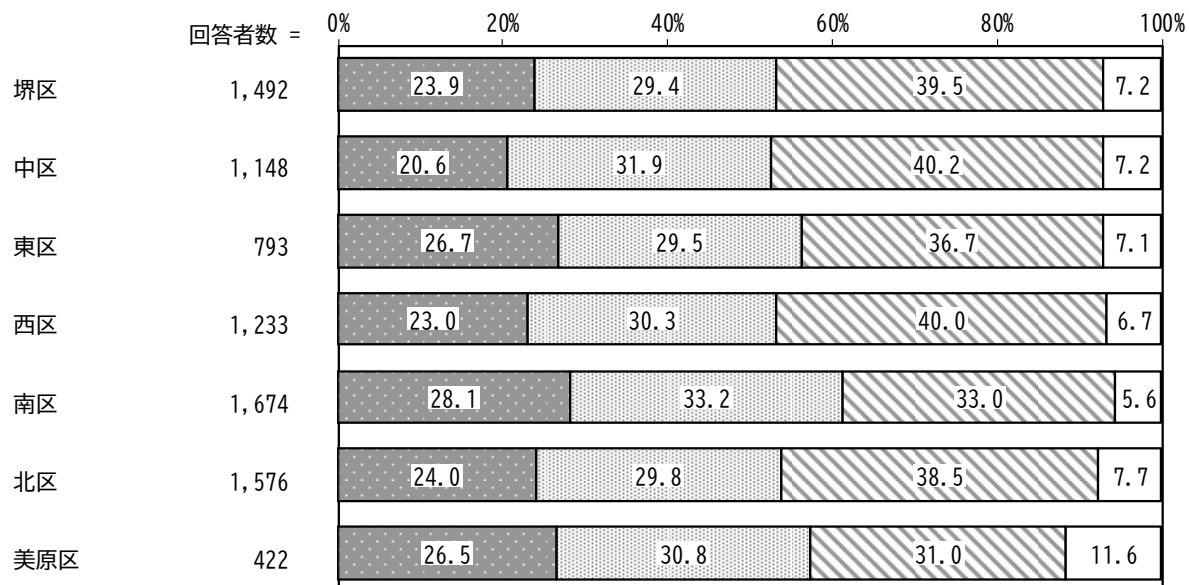
【年齢別】

年齢別にみると、「知っていた」では、75～79歳が20.0%で最も低くなっています。



【区域別】

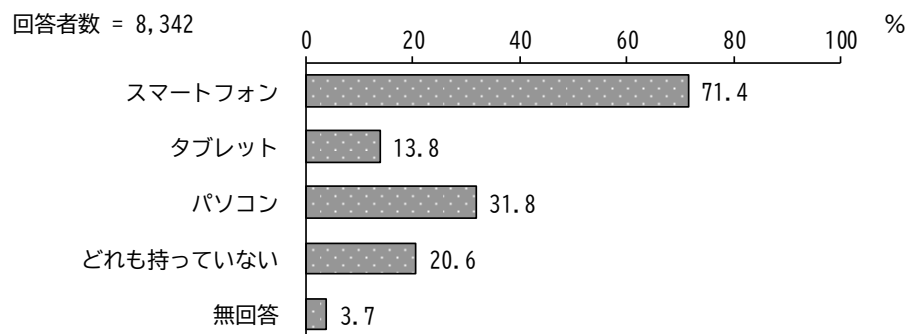
区域別にみると、大きな差はみられません。



(15) スマートフォン、タブレット、パソコンの使用状況について

問 14 (1) スマートフォン、タブレット、パソコンのうち、何をお持ちですか (〇はいくつでも)

「スマートフォン」の割合が71.4%と最も高く、次いで「パソコン」の割合が31.8%、「どれも持っていない」の割合が20.6%となっています。



【認定状況別】

認定状況別にみると、「どれも持っていない」では、一般高齢者が18.6%、要支援認定者が38.7%となっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	スマートフォン	タブレット	パソコン	いどれも持っていない	無回答
全 体	8,342	71.4	13.8	31.8	20.6	3.7
一般高齢者	7,525	73.6	14.4	33.8	18.6	3.4
要支援認定者	813	50.4	8.2	14.0	38.7	6.3

【性別】

性別にみると、「パソコン」では、男性が44.2%で、女性(22.2%)よりも22.0ポイント高く、「どれも持っていない」では、女性が22.2%で、男性(18.5%)よりも3.7ポイント高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	スマートフォン	タブレット	パソコン	い ど れ も 持 っ て い な い	無 回 答
全 体	8,342	71.4	13.8	31.8	20.6	3.7
男性	3,662	72.1	16.0	44.2	18.5	3.1
女性	4,676	70.8	12.1	22.2	22.2	4.1

【年齢別】

年齢別にみると、65～84歳では「スマートフォン」の割合が最も高く、85歳以上では「どれも持っていない」が最も高くなっています。

単位：%

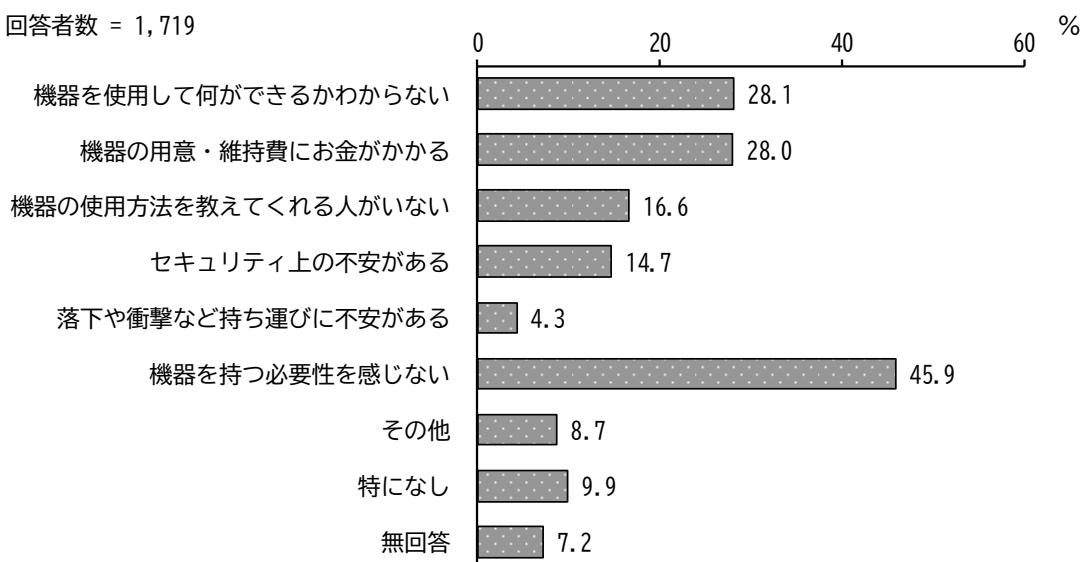
区分	回答者数 (件)	スマートフォン	タブレット	パソコン	い ど れ も 持 っ て い な い	無 回 答
全 体	8,342	71.4	13.8	31.8	20.6	3.7
65～69歳	1,601	91.9	22.5	48.0	4.6	1.4
70～74歳	2,496	81.5	16.8	36.8	12.5	2.0
75～79歳	2,066	68.5	10.8	27.3	22.7	4.2
80～84歳	1,420	54.5	7.1	20.8	33.0	6.1
85～89歳	583	37.4	6.9	16.8	49.2	7.2
90歳以上	172	22.1	2.9	7.0	62.2	11.0

問 14 (1) で「どれも持っていない」と回答した方におうかがいします。

問 14 (2) 「スマートフォン」「タブレット」「パソコン」(以下の設問で「機器」といいます。)をお持ちでない理由をお教えてください(〇はいくつでも)

「機器を持つ必要性を感じない」の割合が 45.9%と最も高く、次いで「機器を使用して何が
できるかわからない」の割合が 28.1%、「機器の用意・維持費にお金がかかる」の割合が 28.0%と
なっています。

回答者数 = 1,719



【認定状況別】

認定状況別にみると、「機器を持つ必要性を感じない」では、一般高齢者が 48.0%、要支援認定者が 36.8%と最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	機器を使用して何が できるかわからない	機器の用意・維持費 にお金がかかる	機器の使用方法を 教えてくれる人が いない	セキュリティ上の 不安がある	落下や衝撃など持 ち運びに不安があ る	機器を持つ必要 性を感じない	その他	特になし	無回答
全 体	1,719	28.1	28.0	16.6	14.7	4.3	45.9	8.7	9.9	7.2
一般高齢者	1,403	27.0	29.3	15.0	15.4	3.4	48.0	8.8	9.4	6.8
要支援認定者	315	33.0	22.2	23.5	11.4	8.3	36.8	8.3	11.7	8.9

【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	機器を使用して何ができるかわからない	機器の用意・維持費にお金がかかる	機器の使用方法を教えてくれる人がいない	セキュリティ上の不安がある	落下や衝撃など持ち運びに不安がある	機器を持つ必要性を感じない	その他	特になし	無回答
全体	1,719	28.1	28.0	16.6	14.7	4.3	45.9	8.7	9.9	7.2
男性	679	28.9	32.1	16.1	14.0	3.8	49.5	7.8	8.5	6.3
女性	1,039	27.6	25.3	16.9	15.1	4.6	43.6	9.3	10.7	7.7

【年齢別】

年齢別にみると、すべての年代で「機器を持つ必要性を感じない」の割合が最も高くなっています。次いで、65～79歳では「機器の用意・維持費にお金がかかる」の割合が、80歳以上では「機器を使用して何ができないかわからない」の割合が高くなっています。

単位：％

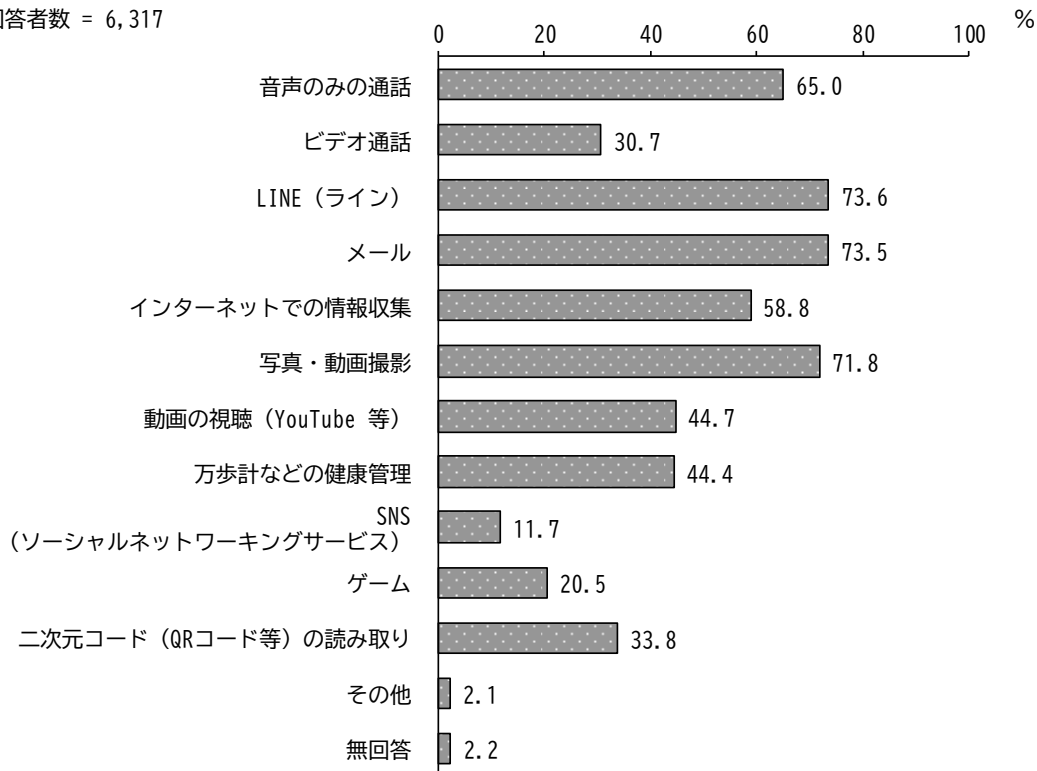
区分	回答者数(件)	機器を使用して何ができるかわからない	機器の用意・維持費にお金がかかる	機器の使用方法を教えてくれる人がいない	セキュリティ上の不安がある	落下や衝撃など持ち運びに不安がある	機器を持つ必要性を感じない	その他	特になし	無回答
全体	1,719	28.1	28.0	16.6	14.7	4.3	45.9	8.7	9.9	7.2
65～69歳	74	14.9	51.4	17.6	21.6	5.4	54.1	10.8	4.1	4.1
70～74歳	312	28.5	36.2	17.9	16.3	4.2	44.9	10.6	11.2	3.8
75～79歳	469	25.8	31.1	16.8	17.1	3.2	48.6	6.8	10.4	6.8
80～84歳	469	29.4	24.1	15.8	13.6	4.5	46.1	8.3	9.2	9.2
85～89歳	287	32.4	18.8	18.1	12.5	5.9	42.2	10.1	8.4	8.0
90歳以上	107	29.0	15.9	10.3	4.7	3.7	41.1	8.4	14.0	9.3

問 14 (1) で「スマートフォン」「タブレット」「パソコン」と回答した方におうかがいします。

問 14 (3) どのような機能を使用したことがありますか (〇はいくつでも)

「LINE (ライン)」の割合が 73.6%と最も高く、次いで「メール」の割合が 73.5%、「写真・動画撮影」の割合が 71.8%となっています。

回答者数 = 6,317



【認定状況別】

認定状況別にみると、すべての項目について、一般高齢者の割合が、要支援認定者よりも高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	音声のみの通話	ビデオ通話	LINE (ライン)	メール	インターネットでの情報収集	写真・動画撮影	動画の視聴 (YouTube 等)	万歩計などの健康管理	SNS (ソーシャルネットワーキングサービス)	ゲーム	二次元コード (QRコード等) の読み取り	その他	無回答
全体	6,317	65.0	30.7	73.6	73.5	58.8	71.8	44.7	44.4	11.7	20.5	33.8	2.1	2.2
一般高齢者	5,867	65.3	31.5	74.5	74.5	60.6	73.2	45.8	44.9	12.1	21.2	35.4	2.2	2.1
要支援認定者	447	61.7	20.8	62.4	59.7	34.7	54.6	29.5	38.0	6.0	11.6	13.4	1.3	3.1

【性別】

性別にみると、女性で「LINE（ライン）」「写真・動画撮影」の割合が、男性で「インターネットでの情報収集」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	音声のみの通話	ビデオ通話	LINE（ライン）	メール	インターネットでの情報収集	写真・動画撮影	動画の視聴（YouTube等）	万歩計などの健康管理	SNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）	ゲーム	二次元コード（QRコード等）の読み取り	その他	無回答
全体	6,317	65.0	30.7	73.6	73.5	58.8	71.8	44.7	44.4	11.7	20.5	33.8	2.1	2.2
男性	2,869	64.9	26.4	65.5	70.1	65.6	65.5	47.0	41.0	13.7	20.4	34.2	2.5	2.7
女性	3,445	65.2	34.3	80.4	76.3	53.1	77.2	42.8	47.3	10.0	20.6	33.6	1.8	1.8

【年齢別】

年齢別にみると、他と比べ、65～69歳で「二次元コード（QRコード等）の読み取り」「動画の視聴（YouTube等）」「インターネットでの情報収集」の割合が高くなっています。

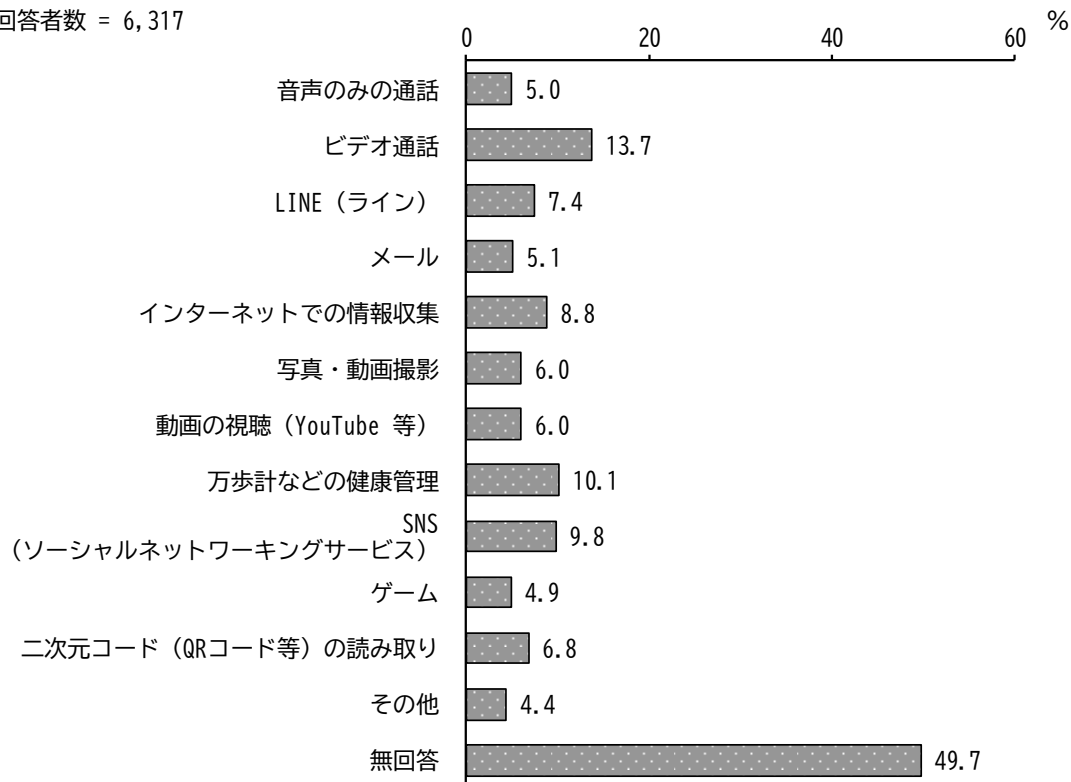
単位：％

区分	回答者数（件）	音声のみの通話	ビデオ通話	LINE（ライン）	メール	インターネットでの情報収集	写真・動画撮影	動画の視聴（YouTube等）	万歩計などの健康管理	SNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）	ゲーム	二次元コード（QRコード等）の読み取り	その他	無回答
全体	6,317	65.0	30.7	73.6	73.5	58.8	71.8	44.7	44.4	11.7	20.5	33.8	2.1	2.2
65～69歳	1,505	72.7	44.7	86.0	83.3	78.9	82.7	64.9	46.0	20.6	29.6	57.9	2.6	0.9
70～74歳	2,134	67.3	34.3	77.0	76.1	63.6	75.0	46.9	44.3	11.7	20.5	37.8	1.7	2.0
75～79歳	1,511	62.4	22.2	69.6	70.4	48.2	68.6	34.5	45.5	7.6	16.9	20.9	2.1	1.9
80～84歳	864	54.4	17.1	58.9	63.0	39.2	58.7	28.1	42.0	5.8	13.2	13.2	2.4	3.8
85～89歳	254	54.7	16.5	50.8	51.6	32.7	49.2	26.8	39.0	3.9	15.0	10.6	2.0	7.1
90歳以上	46	54.3	19.6	41.3	52.2	32.6	47.8	23.9	37.0	10.9	10.9	4.3	—	6.5

問 14 (1) で「スマートフォン」「タブレット」「パソコン」と回答した方におうかがいします。
 問 14 (4) 今は使用していないが、今後、「使用してみたい」と思うものはありますか
 (〇はいくつでも)

「ビデオ通話」の割合が 13.7%と最も高く、次いで「万歩計などの健康管理」の割合が 10.1% となっています。

回答者数 = 6,317



【認定状況別】

認定状況別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	音声のみの通話	ビデオ通話	LINE (ライン)	メール	インターネットでの情報収集	写真・動画撮影	動画の視聴 (YouTube 等)	万歩計などの健康管理	SNS (ソーシャルネットワーキングサービス)	ゲーム	二次元コード (QRコード等) の読み取り	その他	無回答
全 体	6,317	5.0	13.7	7.4	5.1	8.8	6.0	6.0	10.1	9.8	4.9	6.8	4.4	49.7
一般高齢者	5,867	4.8	13.9	7.2	5.0	8.8	5.9	6.1	10.2	10.1	4.8	6.9	4.4	49.7
要支援認定者	447	6.5	10.3	10.1	7.2	9.6	7.4	4.9	8.9	5.4	5.6	6.0	3.8	50.1

【性別】

性別にみると、「万歩計などの健康管理」、「二次元コード（QRコード等）の読み取り」以外の項目で、男性の割合が女性よりも高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	音声のみの通話	ビデオ通話	LINE(ライン)	メール	インターネットでの情報収集	写真・動画撮影	動画の視聴(YouTube等)	万歩計などの健康管理	SNS(ソーシャルネットワークワ ーキングサービス)	ゲーム	二次元コード(QRコード等) の読み取り	その他	無回答
全体	6,317	5.0	13.7	7.4	5.1	8.8	6.0	6.0	10.1	9.8	4.9	6.8	4.4	49.7
男性	2,869	5.3	15.8	9.3	5.8	10.2	7.1	6.2	8.9	12.5	5.1	6.1	4.5	46.3
女性	3,445	4.7	12.0	5.9	4.6	7.7	5.1	5.9	11.2	7.5	4.7	7.4	4.2	52.6

【年齢別】

年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

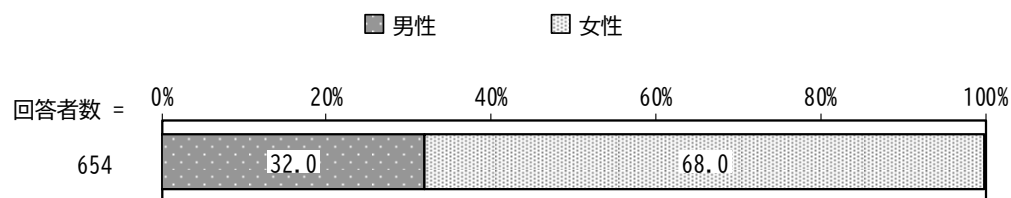
区分	回答者数(件)	音声のみの通話	ビデオ通話	LINE(ライン)	メール	インターネットでの情報収集	写真・動画撮影	動画の視聴(YouTube等)	万歩計などの健康管理	SNS(ソーシャルネットワークワ ーキングサービス)	ゲーム	二次元コード(QRコード等) の読み取り	その他	無回答
全体	6,317	5.0	13.7	7.4	5.1	8.8	6.0	6.0	10.1	9.8	4.9	6.8	4.4	49.7
65～69歳	1,505	3.5	13.3	6.0	3.1	6.6	4.1	5.6	10.8	13.1	5.3	5.6	6.6	48.7
70～74歳	2,134	3.9	14.0	6.0	3.3	8.8	4.8	6.7	8.3	10.5	4.9	7.8	3.9	51.8
75～79歳	1,511	6.4	15.1	8.6	7.1	10.0	7.5	6.0	10.7	7.7	5.2	6.8	3.8	49.4
80～84歳	864	6.6	12.0	10.2	8.3	10.9	8.1	6.0	12.2	6.8	3.4	6.9	3.1	47.0
85～89歳	254	6.7	11.0	9.8	7.9	9.1	9.1	2.4	13.0	5.9	5.5	4.7	3.5	50.8
90歳以上	46	17.4	13.0	19.6	15.2	2.2	17.4	13.0	6.5	8.7	6.5	8.7	2.2	43.5

2 在宅介護実態調査

(1) 回答者属性

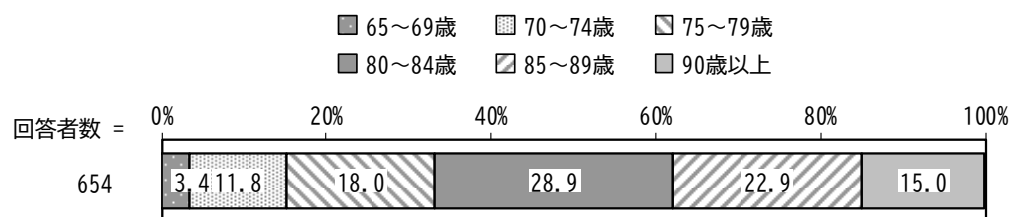
性別

「男性」の割合が32.0%、「女性」の割合が68.0%となっています。



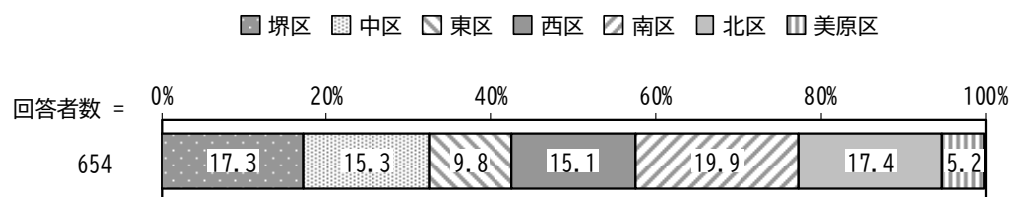
年齢

「80～84歳」の割合が28.9%と最も高く、次いで「85～89歳」の割合が22.9%、「75～79歳」の割合が18.0%となっています。



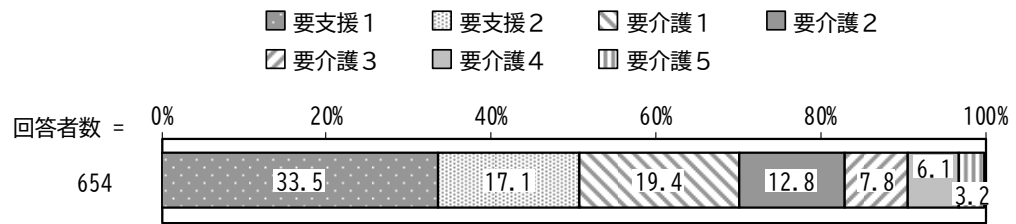
居住地

「南区」の割合が19.9%と最も高く、次いで「北区」の割合が17.4%、「堺区」の割合が17.3%となっています。



要支援・要介護認定区分

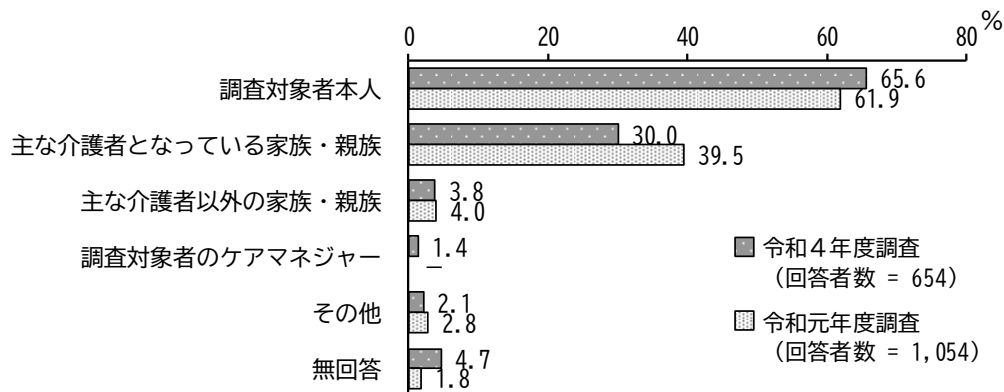
「要支援1」の割合が33.5%と最も高く、次いで「要介護1」の割合が19.4%、「要支援2」の割合が17.1%となっています。



この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(〇はいくつでも)

「調査対象者本人」の割合が65.6%と最も高く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」の割合が30.0%となっています。

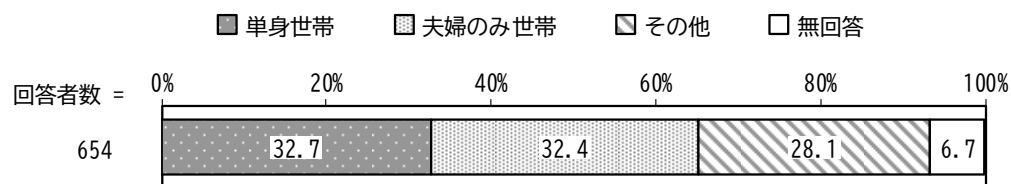
令和元年度調査と比較すると、「主な介護者となっている家族・親族」の割合が減少しています。



(2) 調査対象者について

A-問1 世帯類型について、教えてください。(〇はひとつ)

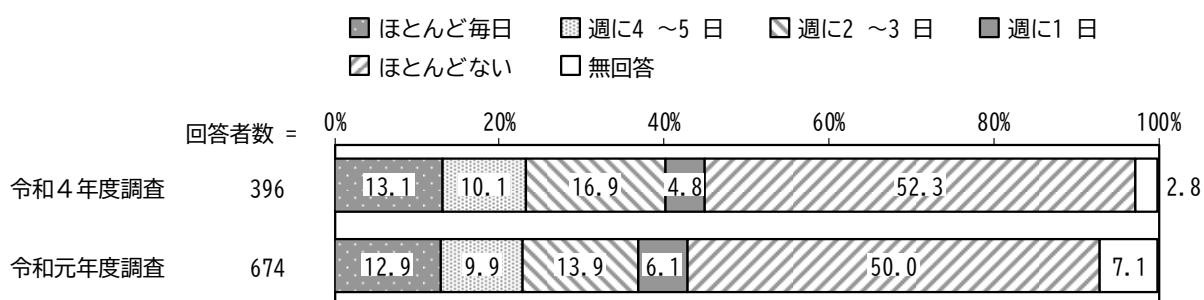
「単身世帯」の割合が32.7%、「夫婦のみ世帯」の割合が32.4%となっています。



A-問2 日中、あなた（ご本人）は一人になることがありますか。(〇はひとつ)

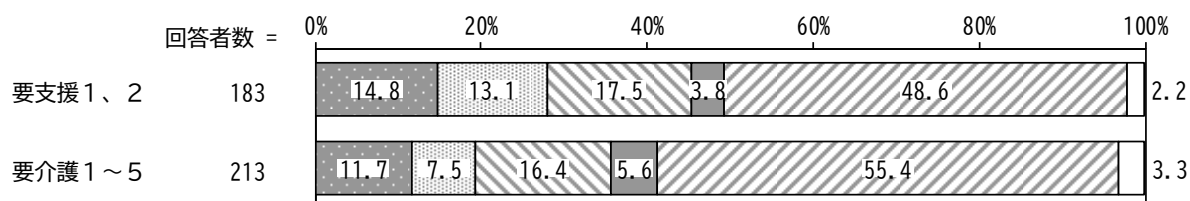
「ほとんどない」の割合が52.3%と最も高く、次いで「週に2～3日」の割合が16.9%、「ほとんど毎日」の割合が13.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



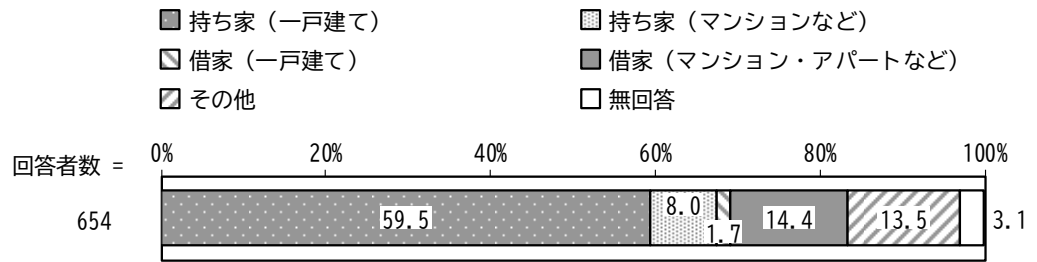
【認定状況別】

認定状況別にみると、要支援1、2に比べ要介護1～5で「ほとんどない」の割合が高くなっています。



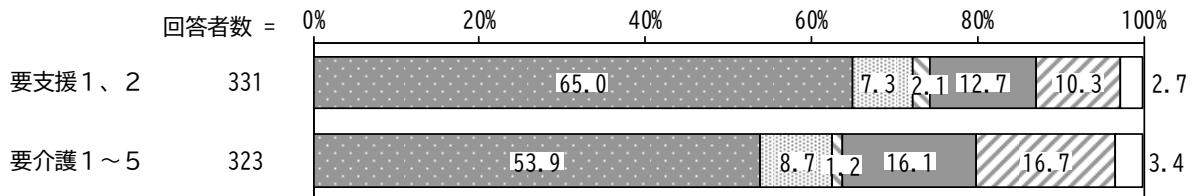
A-問3 現在のお住まいをお教えてください。(〇はひとつ)

「持ち家（一戸建て）」の割合が 59.5%と最も高く、次いで「借家（マンション・アパートなど）」の割合が 14.4%となっています。



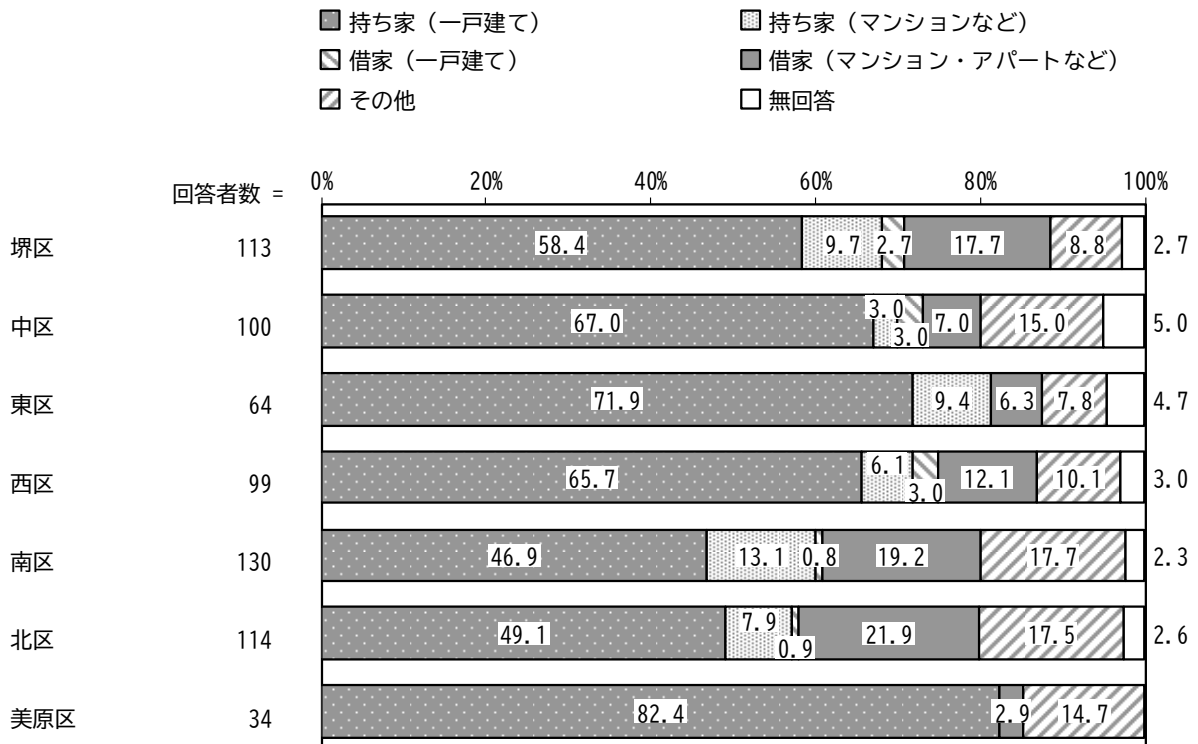
【認定状況別】

認定状況別にみると、要介護1～5に比べ要支援1、2で「持ち家（一戸建て）」の割合が高くなっています。



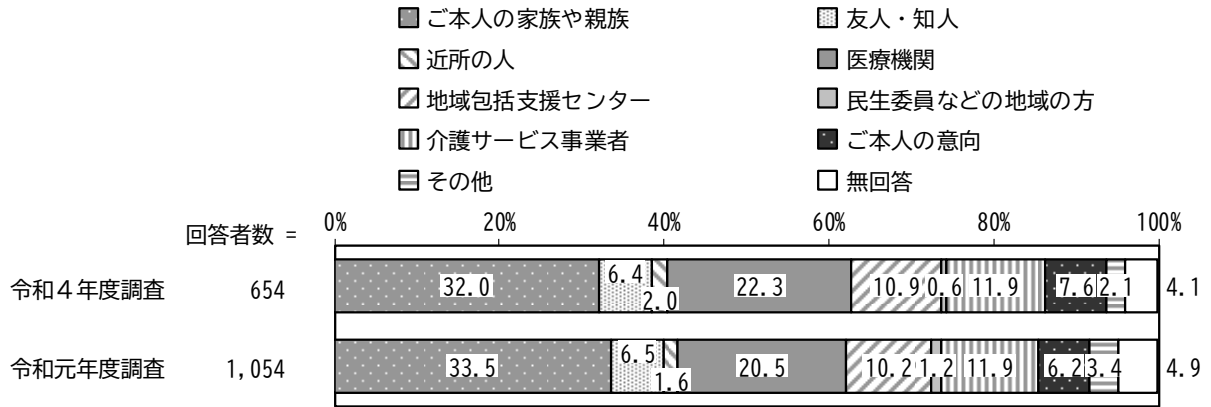
【区域別】

区域別にみると、他に比べ、美原区、東区、中区、西区で「持ち家（一戸建て）」の割合が高くなっています。



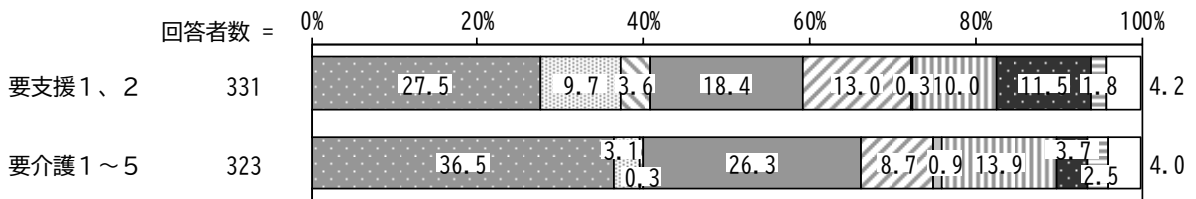
A-問4 初めて要介護認定を申請した際、どなたから申請を勧められましたか。(〇はひとつ)

「ご本人の家族や親族」の割合が32.0%と最も高く、次いで「医療機関」の割合が22.3%、「介護サービス事業者」の割合が11.9%となっています。
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



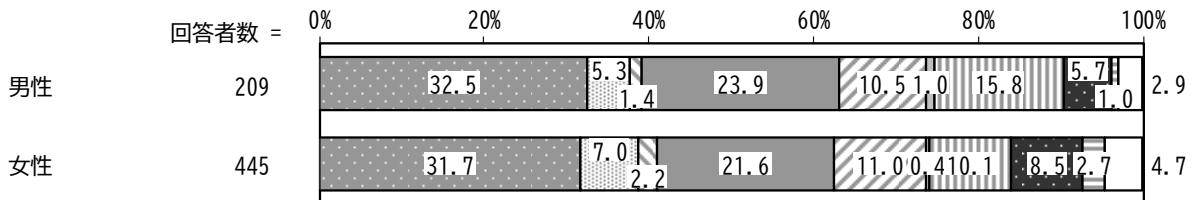
【認定状況別】

認定状況別にみると、要介護1～5に比べ、要支援1、2で「ご本人の意向」「友人・知人」の割合が高くなっています。一方、要支援1、2に比べ、要介護1～5で「ご本人の家族や親族」「医療機関」の割合が高くなっています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



A-問5 あなた（ご本人）が初めて要介護認定が必要になった主な原因は何ですか。
（○はひとつ）

「骨折・転倒」の割合が17.1%と最も高く、次いで「関節の病気(リウマチ、変形性膝関節症等)」の割合が12.2%、「高齢による衰弱」の割合が10.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「骨折・転倒」の割合が4.4ポイント高くなり、「認知症(アルツハイマー病等)」の割合は4.6ポイント、「脳卒中(脳出血・脳こうそく等)」の割合は4.0ポイント低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	脳卒中 (脳出血・脳こうそく等)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気 (肺炎腫・肺炎等)	関節の病気(リウマチ、 変形性膝関節症等)	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病	前立腺肥大症等)	泌尿器の病気(膀胱炎、 前立腺肥大症等)	視覚・聴覚障害 (白内障、難聴等)	骨折・転倒	脊髄損傷	高齢による衰弱	その他	無回答
令和4年度調査	654	8.0	5.2	3.8	2.3	12.2	6.7	2.6	1.2	1.1	1.5	17.1	3.4	10.4	12.5	11.9	
令和元年度調査	1054	12.0	5.5	3.1	2.5	10.8	11.3	1.9	1.9	1.2	0.8	12.7	2.7	10.4	12.0	11.3	

【認定状況別】

認定状況別にみると、要支援1、2では「関節の病気(リウマチ、変形性膝関節症等)」の割合が最も高くなっています。要介護1～5では「骨折・転倒」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	脳卒中 (脳出血・脳こうそく等)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気 (肺炎腫・肺炎等)	関節の病気(リウマチ、 変形性膝関節症等)	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病	前立腺肥大症等)	泌尿器の病気(膀胱炎、 前立腺肥大症等)	視覚・聴覚障害 (白内障、難聴等)	骨折・転倒	脊髄損傷	高齢による衰弱	その他	無回答
要支援1、2	331	5.4	6.9	4.2	1.5	17.8	1.5	1.5	1.5	0.6	1.5	16.0	3.6	10.9	13.6	13.3	
要介護1～5	323	10.5	3.4	3.4	3.1	6.5	12.1	3.7	0.9	1.5	1.5	18.3	3.1	9.9	11.5	10.5	

【性別】

性別にみると、女性に比べ、男性で「脳卒中(脳出血・脳こうそく等)」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「関節の病気(リウマチ、変形性膝関節症等)」「骨折・転倒」の割合が高くなっています。

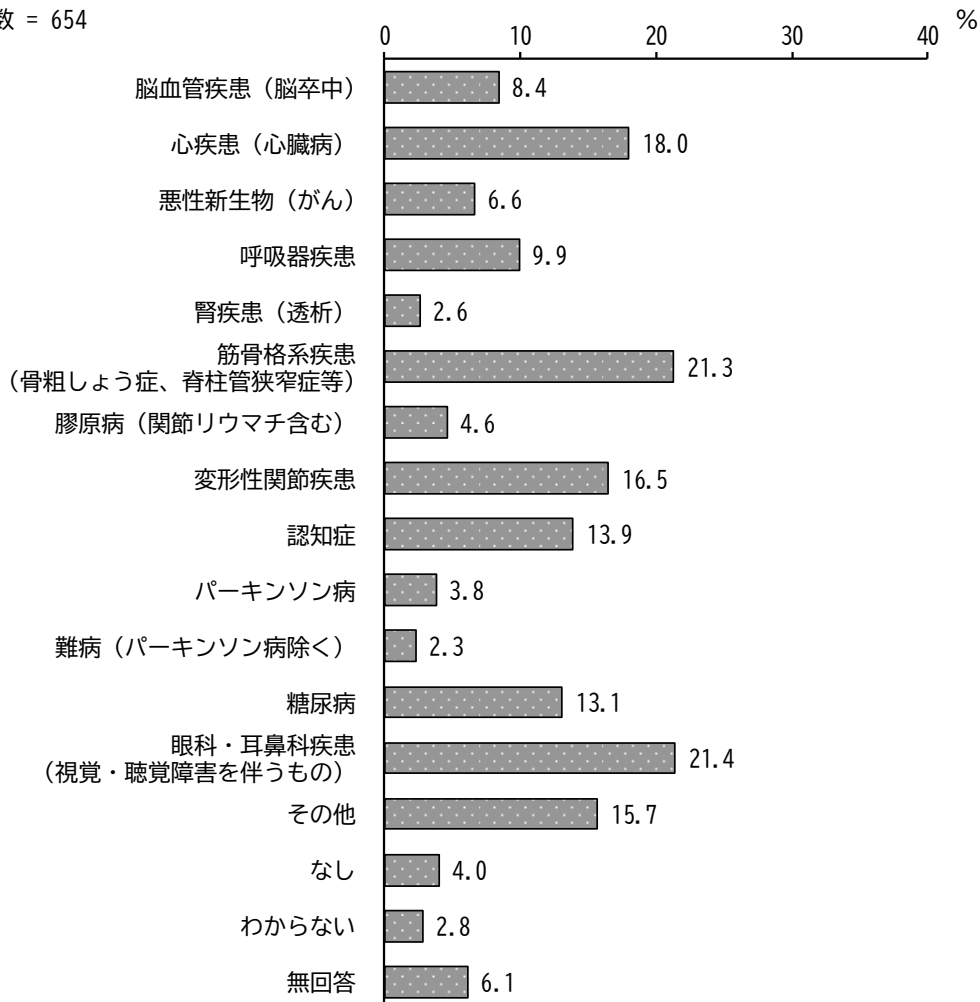
単位：％

区分	回答者数(件)	脳卒中 (脳出血・脳こうそく等)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気 (肺炎腫・肺炎等)	関節の病気(リウマチ、 変形性膝関節症等)	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病	前立腺肥大症等)	泌尿器の病気(膀胱炎、 前立腺肥大症等)	視覚・聴覚障害 (白内障、難聴等)	骨折・転倒	脊髄損傷	高齢による衰弱	その他	無回答
男性	209	15.8	7.7	5.3	4.3	6.2	8.6	1.9	2.4	1.0	1.4	8.6	4.8	10.5	9.6	12.0	
女性	445	4.3	4.0	3.1	1.3	15.1	5.8	2.9	0.7	1.1	1.6	21.1	2.7	10.3	13.9	11.9	

A-問6 あなた（ご本人）が、現在抱えている傷病についてお教えてください。（〇はいくつでも）

「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の割合が21.4%と最も高く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合が21.3%、「心疾患（心臓病）」の割合が18.0%となっています。

回答者数 = 654



【認定状況別】

認定状況別にみると、要支援 1、2 で「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の割合が最も高く、要介護 1～5 で「認知症」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	脳血管疾患(脳卒中)	心疾患(心臓病)	悪性新生物(がん)	呼吸器疾患	腎疾患(透析)	筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)	膠原病(関節リウマチ含む)	変形性関節疾患	認知症	パーキンソン病	難病(パーキンソン病除く)	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)	その他	なし	わからない	無回答
全体	654	8.4	18.0	6.6	9.9	2.6	21.3	4.6	16.5	13.9	3.8	2.3	13.1	21.4	15.7	4.0	2.8	6.1
要支援 1、2	331	5.4	19.6	5.7	7.9	1.8	23.0	6.0	19.0	2.4	2.1	1.2	13.9	23.0	17.8	4.5	2.4	6.0
要介護 1～5	323	11.5	16.4	7.4	12.1	3.4	19.5	3.1	13.9	25.7	5.6	3.4	12.4	19.8	13.6	3.4	3.1	6.2

【性別】

性別にみると、男性では、「心疾患（心臓病）」、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合が高く、女性では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」、「変形性関節疾患」の割合が高くなっています。

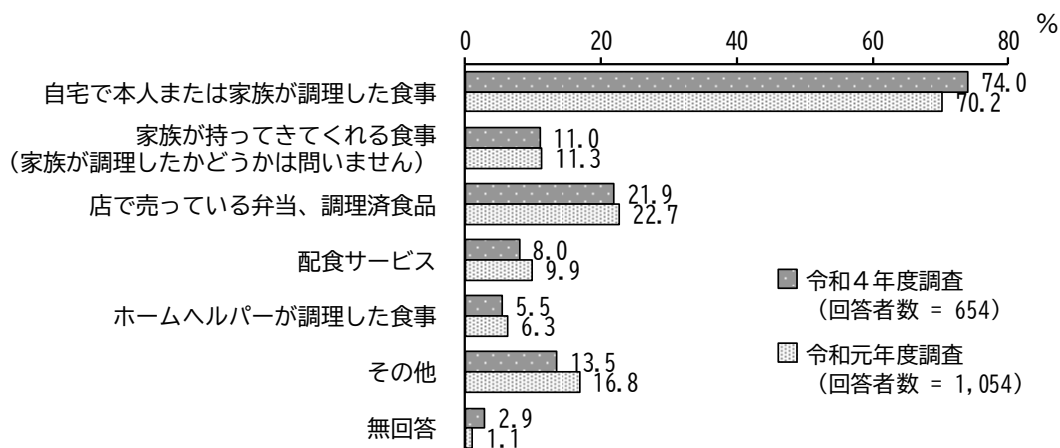
単位：％

区分	回答者数(件)	脳血管疾患(脳卒中)	心疾患(心臓病)	悪性新生物(がん)	呼吸器疾患	腎疾患(透析)	筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)	膠原病(関節リウマチ含む)	変形性関節疾患	認知症	パーキンソン病	難病(パーキンソン病除く)	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)	その他	なし	わからない	無回答
全体	654	8.4	18.0	6.6	9.9	2.6	21.3	4.6	16.5	13.9	3.8	2.3	13.1	21.4	15.7	4.0	2.8	6.1
男性	209	15.8	21.5	12.0	14.4	4.8	15.3	1.4	7.7	12.0	2.9	1.9	14.8	20.6	13.9	3.8	2.9	5.7
女性	445	4.9	16.4	4.0	7.9	1.6	24.0	6.1	20.7	14.8	4.3	2.5	12.4	21.8	16.6	4.0	2.7	6.3

A-問7 あなた（ご本人）は普段どのような食事をとっていますか。（〇はいくつでも）

「自宅で本人または家族が調理した食事」の割合が74.0%と最も高く、次いで「店で売っている弁当、調理済食品」の割合が21.9%、「家族が持ってきてくれる食事（家族が調理したかどうかは問いません）」の割合が11.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【認定状況別】

認定状況別にみると、ともに「自宅で本人または家族が調理した食事」「店で売っている弁当、調理済食品」の割合が高くなっていますが、要支援1、2に比べ、要介護1～5で「ホームヘルパーが調理した食事」「配食サービス」の割合がやや高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	自宅で本人または家族が調理した食事	家族が持ってきてくれる食事(家族が調理したかどうかは問いません)	店で売っている弁当、調理済食品	配食サービス	ホームヘルパーが調理した食事	その他	無回答
全体	654	74.0	11.0	21.9	8.0	5.5	13.5	2.9
要支援1、2	331	83.4	10.0	28.4	5.7	2.1	9.1	1.2
要介護1～5	323	64.4	12.1	15.2	10.2	9.0	18.0	4.6

【世帯類型別】

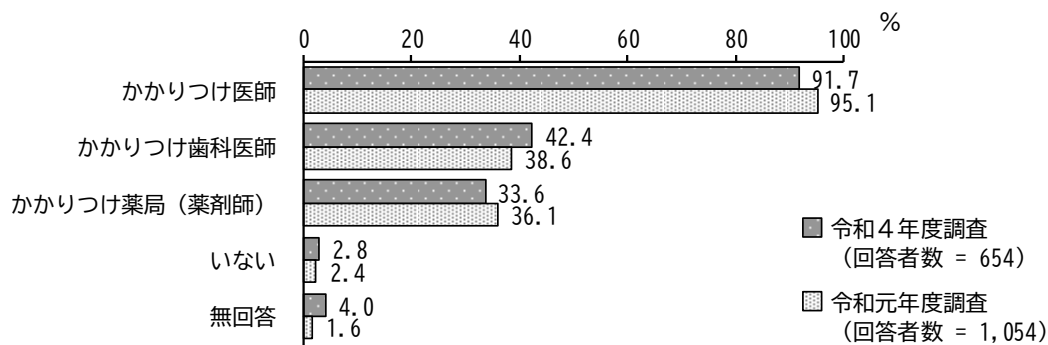
世帯類型別にみると、すべての区分で「自宅で本人または家族が調理した食事」の割合が最も高くなっています。他の項目では、夫婦のみ世帯に比べ、単身世帯の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	自宅で本人または家族が調理した食事	家族が持ってきてくれる食事(家族が調理したかどうかは問いません)	店で売っている弁当、調理済食品	配食サービス	ホームヘルパーが調理した食事	その他	無回答
全体	654	74.0	11.0	21.9	8.0	5.5	13.5	2.9
単身世帯	214	59.8	12.1	31.3	12.6	10.7	20.6	0.9
夫婦のみ世帯	212	85.8	8.5	20.8	3.8	2.8	9.0	1.9
その他	184	78.8	13.0	13.6	6.5	3.3	10.9	1.6

A-問8 医療や介護、健康について相談でき、必要なときには専門機関などを紹介してくれる「かかりつけ」があると安心です。定期的に通っていたり、必要な時に診療や相談しようと思う、かかりつけの医師・歯科医師・薬剤師はいますか。(〇はいくつでも)

「かかりつけ医師」の割合が91.7%と最も高く、次いで「かかりつけ歯科医師」の割合が42.4%、「かかりつけ薬局(薬剤師)」の割合が33.6%となっています。令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【認定状況別】

認定状況別にみると、要介護1～5に比べ要支援1、2で「かかりつけ歯科医師」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	かかりつけ医師	かかりつけ歯科医師	かかりつけ薬局(薬剤師)	いない	無回答
全 体	654	91.7	42.4	33.6	2.8	4.0
要支援1、2	331	91.5	47.7	34.7	3.0	2.7
要介護1～5	323	92.0	36.8	32.5	2.5	5.3

【区域別】

区域別にみると、大きな差はみられません。

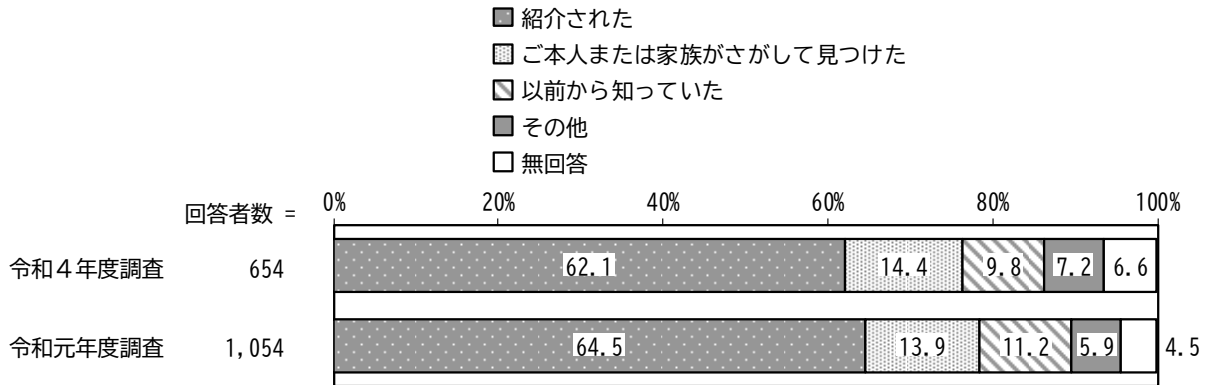
単位：％

区分	回答者数(件)	かかりつけ医師	かかりつけ歯科医師	かかりつけ薬局(薬剤師)	いない	無回答
全 体	654	91.7	42.4	33.6	2.8	4.0
堺区	113	89.4	45.1	41.6	4.4	4.4
中区	100	91.0	43.0	37.0	4.0	4.0
東区	64	87.5	42.2	18.8	—	9.4
西区	99	91.9	49.5	38.4	4.0	4.0
南区	130	93.8	36.9	24.6	2.3	3.1
北区	114	93.0	43.0	36.0	1.8	1.8
美原区	34	97.1	29.4	38.2	—	2.9

A-問9 (1) 担当のケアマネジャーの事業所を知ったきっかけは何ですか。
(〇はひとつ)

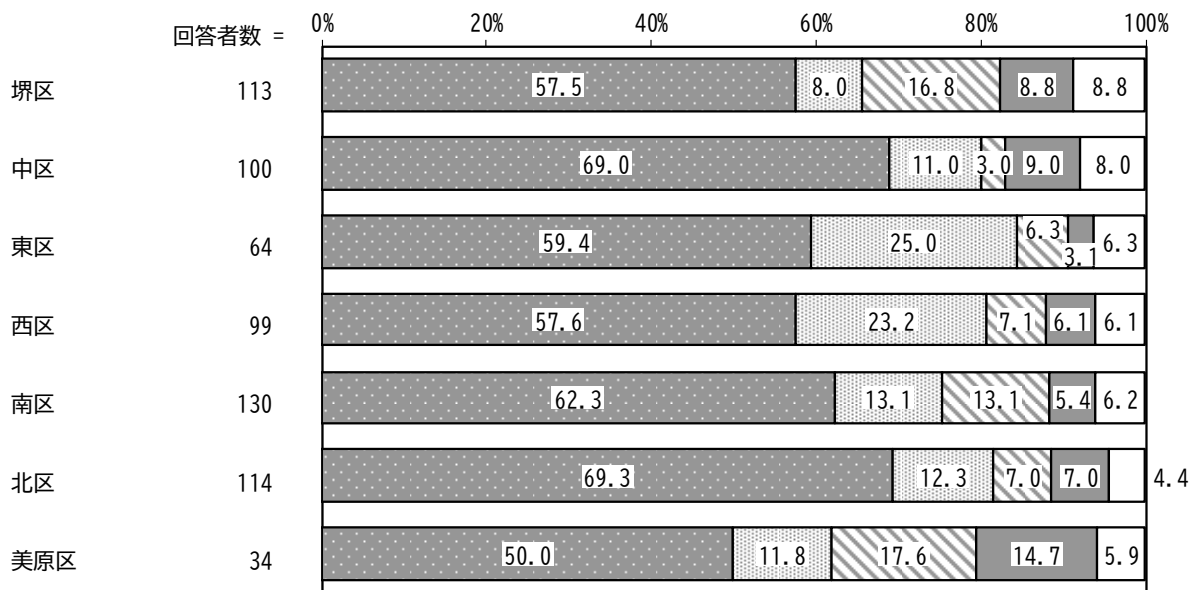
「紹介された」の割合が62.1%と最も高く、次いで「ご本人または家族がさがして見つけた」の割合が14.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【区域別】

区域別にみると、他に比べ、東区、西区で「ご本人または家族がさがして見つけた」の割合が、北区、中区で「紹介された」の割合が高くなっています。

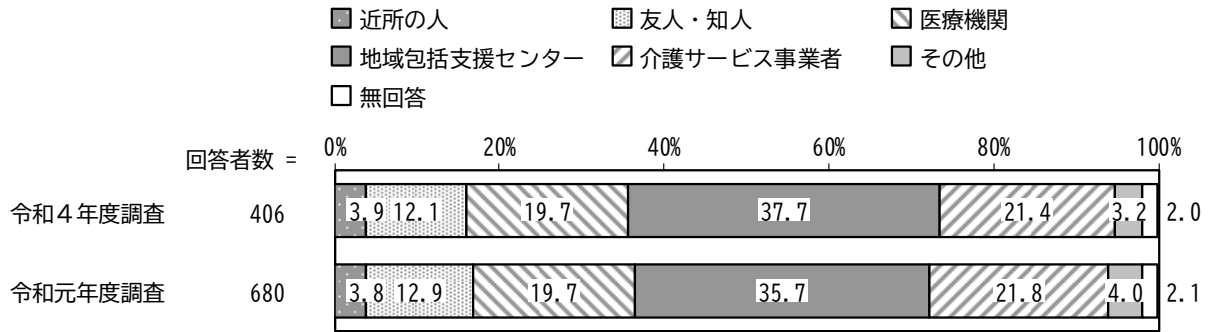


A-問9(1)で「紹介された」と回答した方におうかがいします。

A-問9(2) だれに紹介されましたか。(〇はひとつ)

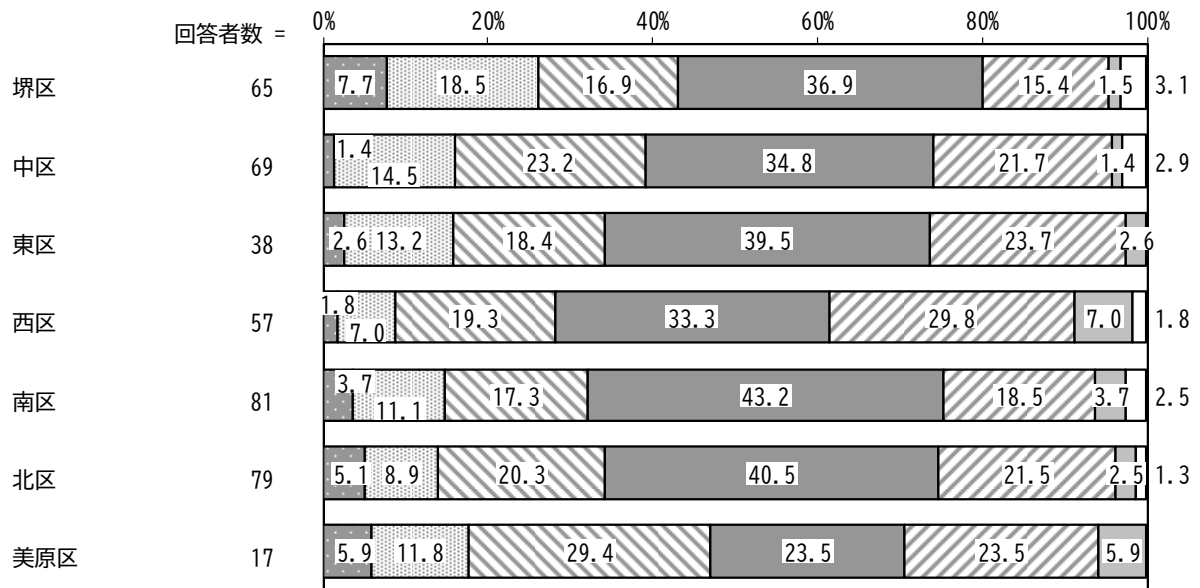
「地域包括支援センター」の割合が37.7%と最も高く、次いで「介護サービス事業者」の割合が21.4%、「医療機関」の割合が19.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【区域別】

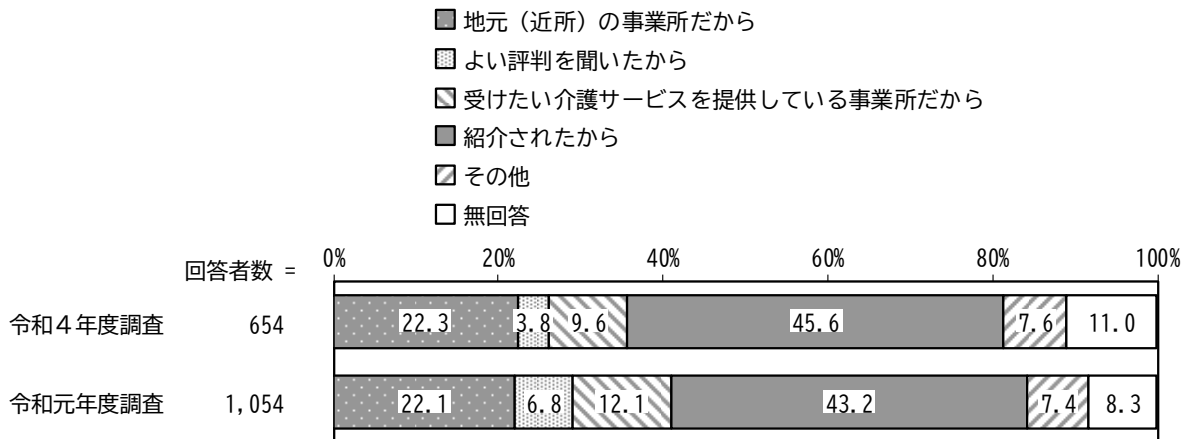
区域別にみると、他に比べ、美原区で「医療機関」の割合が、西区で「介護サービス事業者」の割合が、堺区で「友人・知人」の割合が高くなっています。



A-問 10 担当のケアマネジャーの事業所を選んだ理由は何ですか。(○はひとつ)

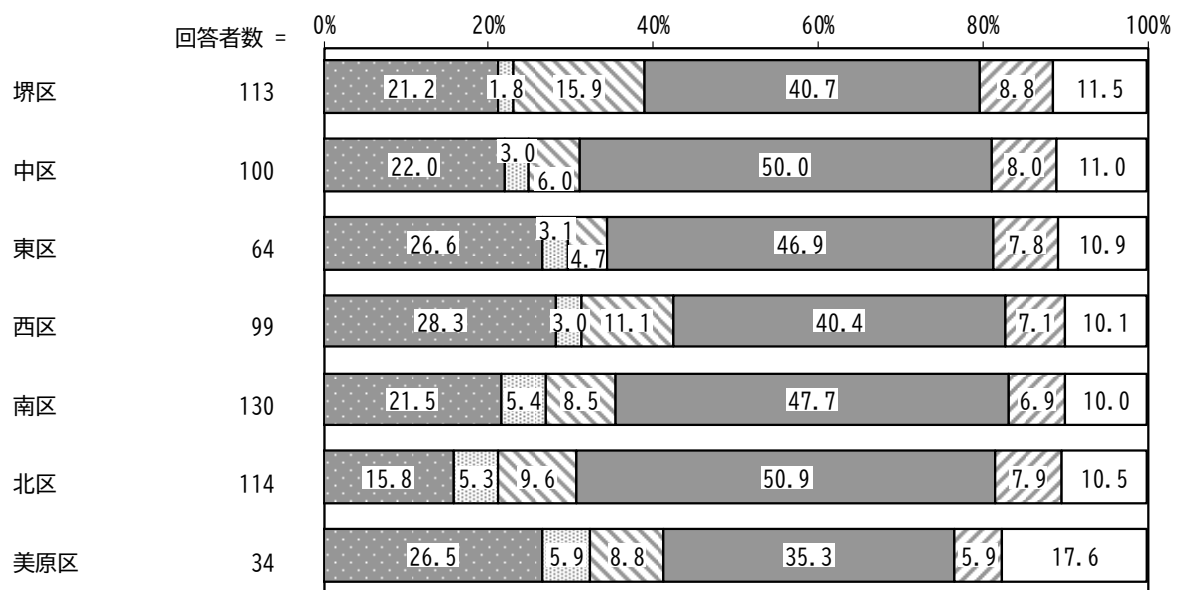
「紹介されたから」の割合が45.6%と最も高く、次いで「地元（近所）の事業所だから」の割合が22.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【区域別】

区域別にみると、他に比べ、西区、東区、美原区で「地元（近所）の事業所だから」の割合が、北区、中区で「紹介されたから」の割合が高くなっています。

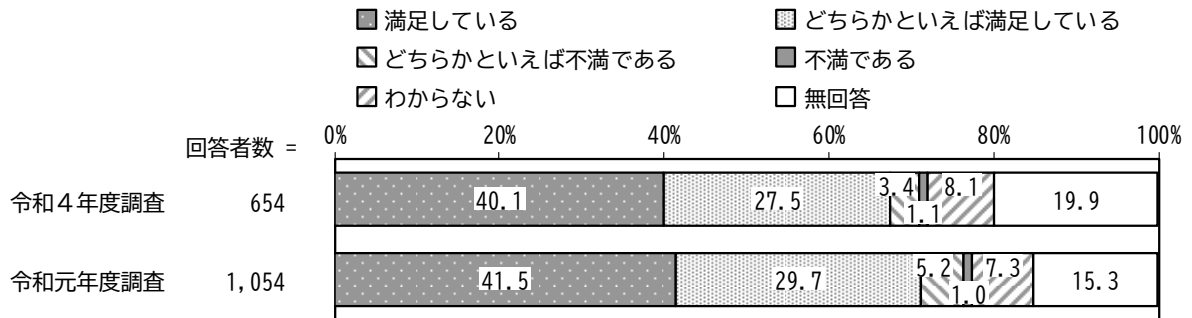


A-問 11 担当のケアマネジャーにどのくらい満足していますか。
 (①～⑥の項目について、それぞれ○はひとつ)

① 介護や医療などの幅広い知識があり、ケアプラン作成のときに、専門的なアドバイスをしてくれるか

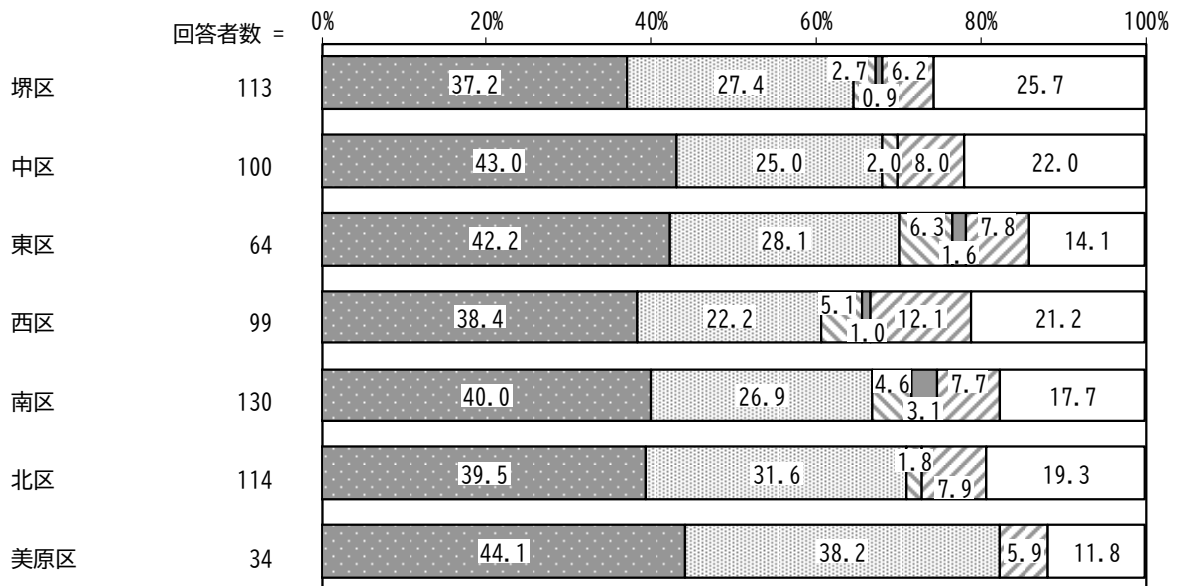
「満足している」の割合が40.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば満足している」の割合が27.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、『満足している（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）』が67.6%で、令和元年度（71.2%）と比べて3.6ポイント低くなっています。



【区域別】

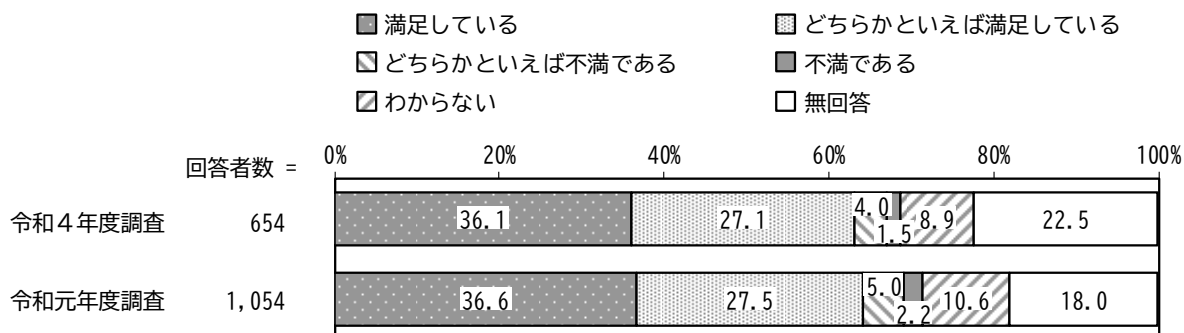
区域別にみると、美原区で『満足しているの合計』の割合が82.3%で、最も高くなっています。



② いろいろなサービスや事業所の情報を提供してくれるか

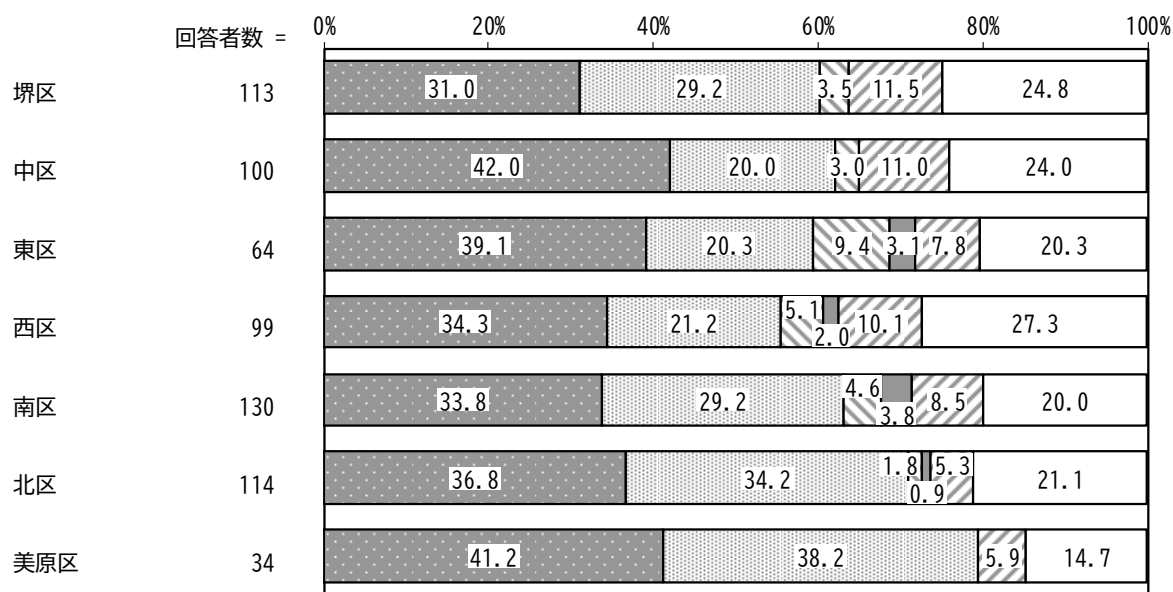
「満足している」の割合が36.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば満足している」の割合が27.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【区域別】

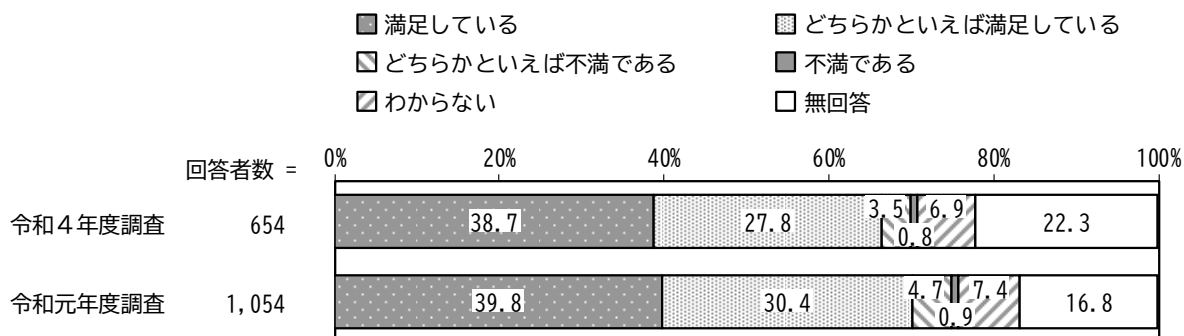
区域別にみると、美原区で『満足しているの合計』の割合が79.4%で、最も高くなっています。



③ ケアプランの説明のわかりやすさ

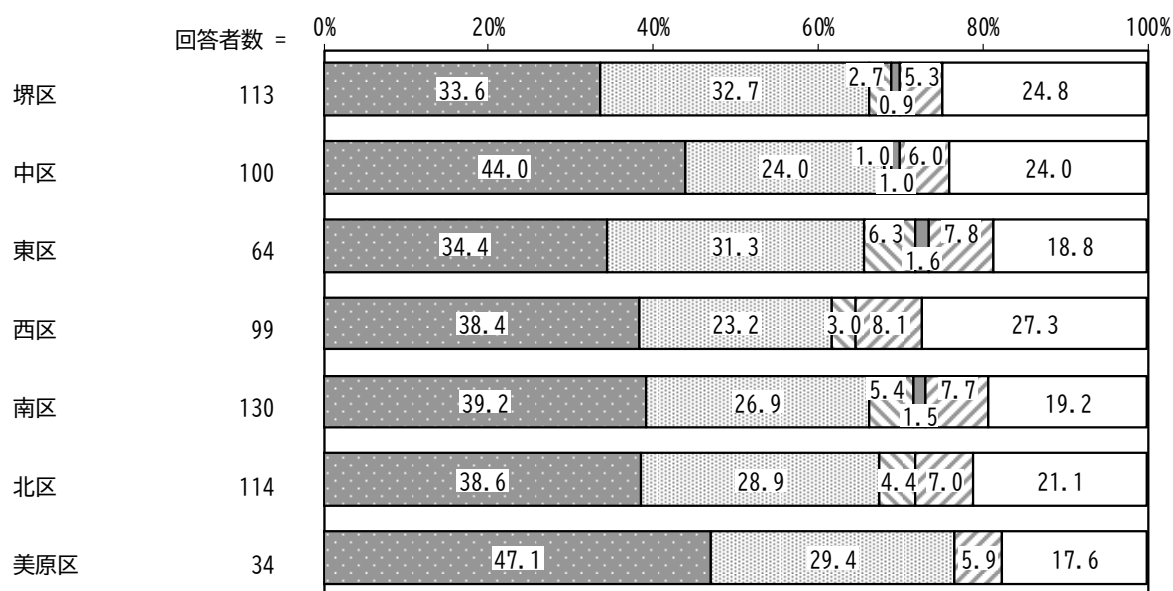
「満足している」の割合が38.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば満足している」の割合が27.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【区域別】

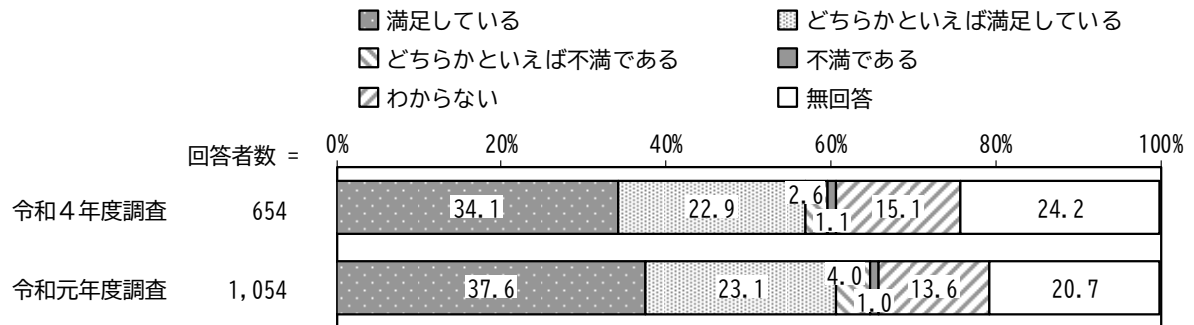
区域別にみると、美原区で『満足しているの合計』の割合が76.5%で、最も高くなっています。



④ 事業所に直接言いにくいことを聞いてくれ、かけあってくれるか

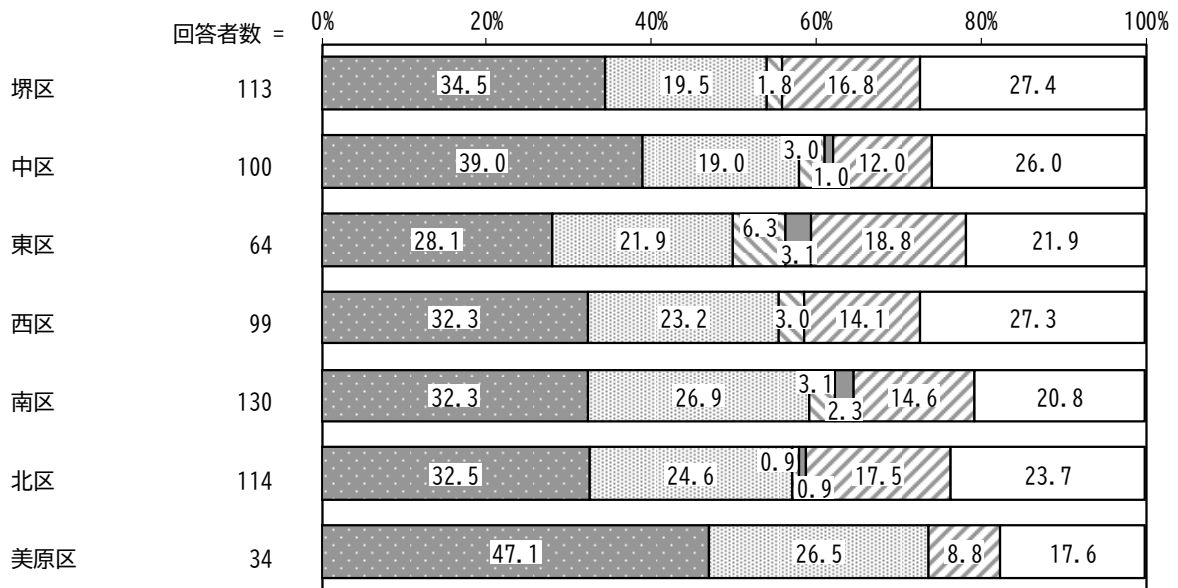
「満足している」の割合が34.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば満足している」の割合が22.9%、「わからない」の割合が15.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【区域別】

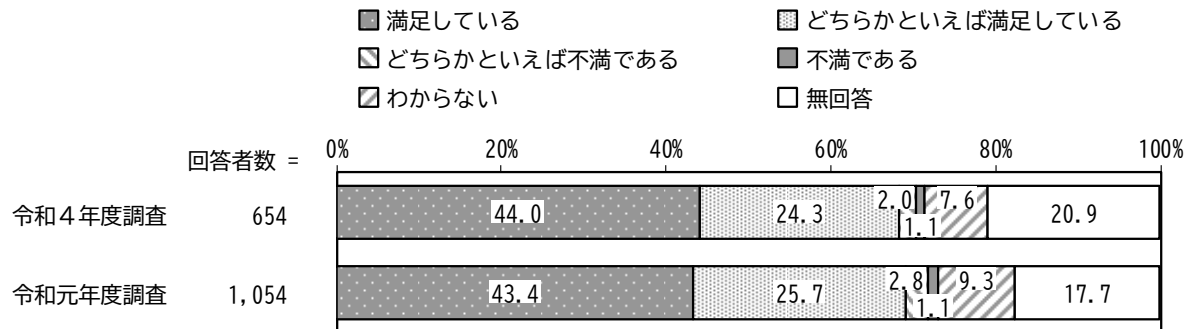
区域別にみると、美原区で『満足しているの合計』の割合が73.6%で、最も高くなっています。



⑤ 相談したいときや急な対応が必要なときに応じてくれるか

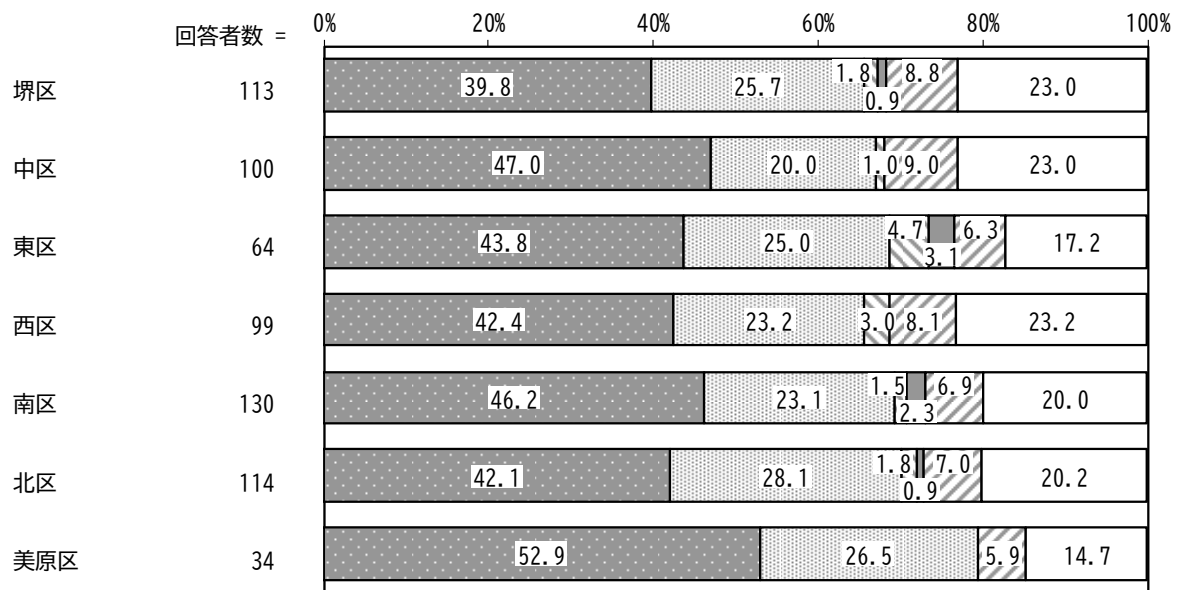
「満足している」の割合が44.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば満足している」の割合が24.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【区域別】

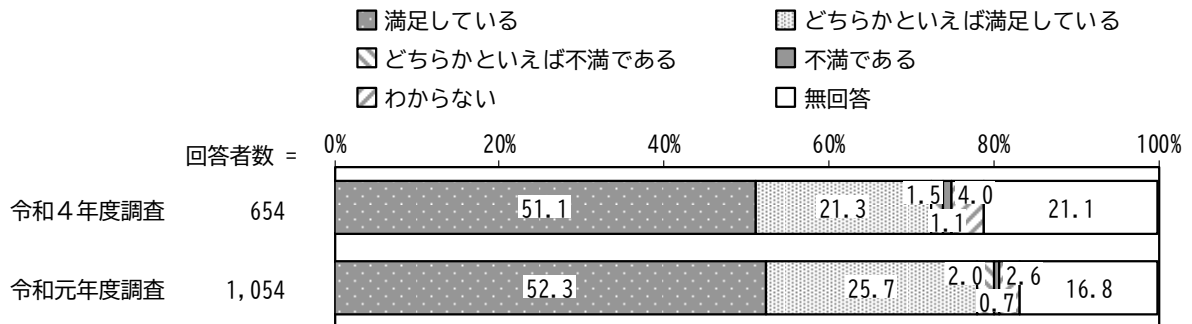
区域別にみると、美原区で『満足しているの合計』の割合が79.4%で、最も高くなっています。



⑥ 態度やマナー（時間を守るなど）

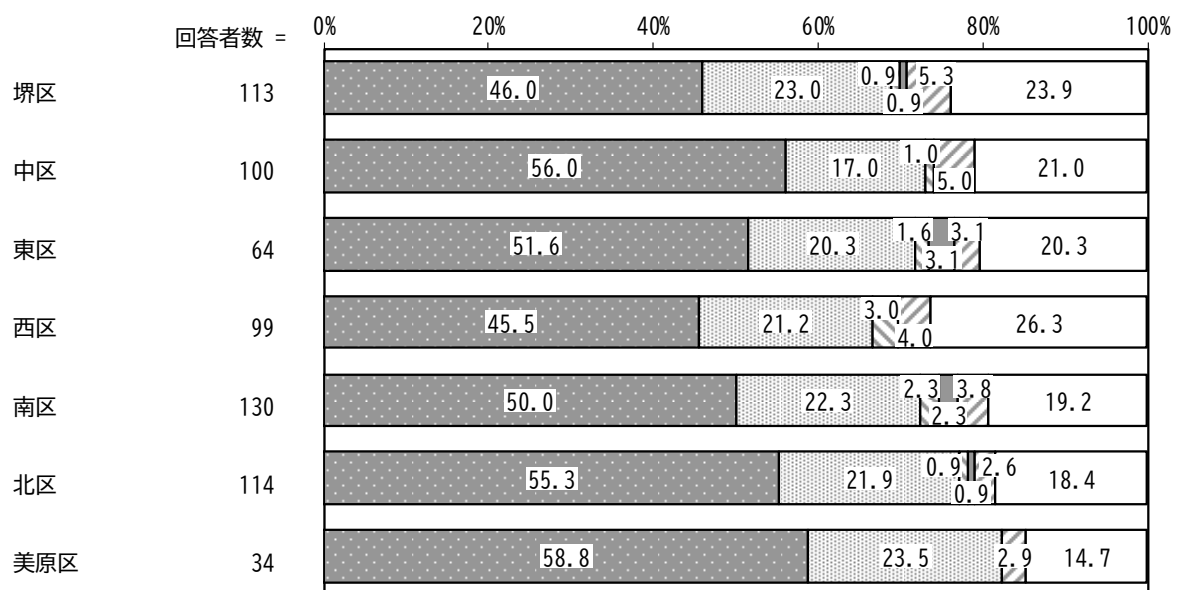
「満足している」の割合が51.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば満足している」の割合が21.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、『満足しているの合計』の割合が5.6ポイント低くなっています。



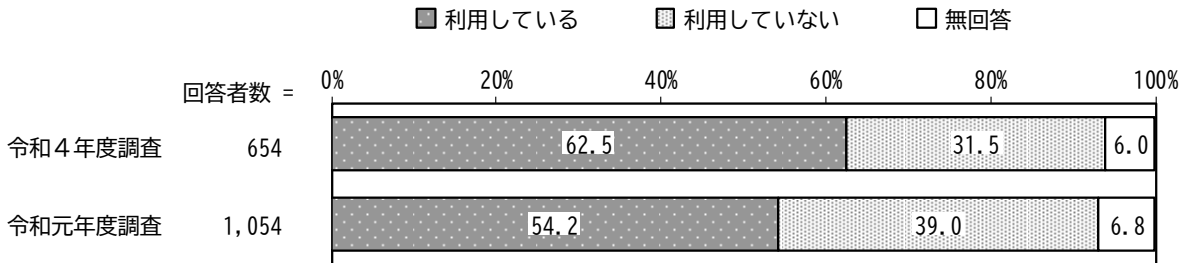
【区域別】

区域別にみると、美原区で『満足しているの合計』の割合が82.3%で、最も高くなっています。



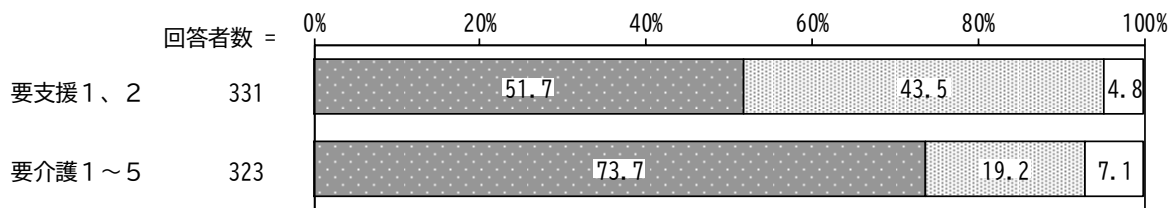
A-問 12 令和4年12月1日現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか。(○はひとつ)

「利用している」の割合が62.5%、「利用していない」の割合が31.5%となっています。令和元年度調査と比較すると、「利用している」の割合が8.3ポイント増加しています。



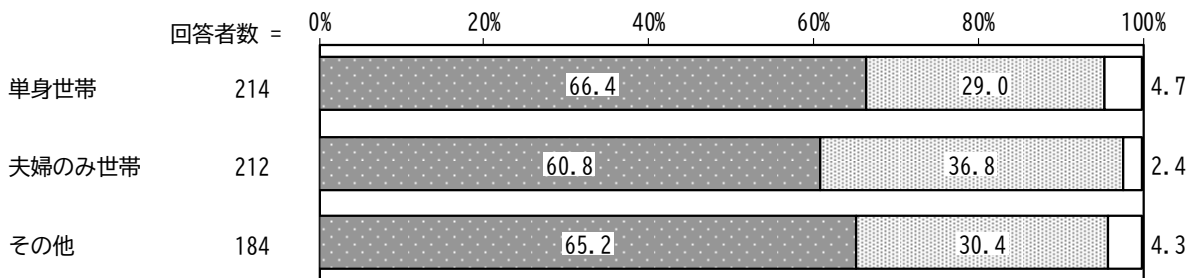
【認定状況別】

認定状況別にみると、要支援1、2に比べ、要介護1～5で「利用している」の割合が高くなっています。



【世帯類型別】

世帯類型別にみると、他に比べ、単身世帯で「利用している」の割合がやや高くなっています。

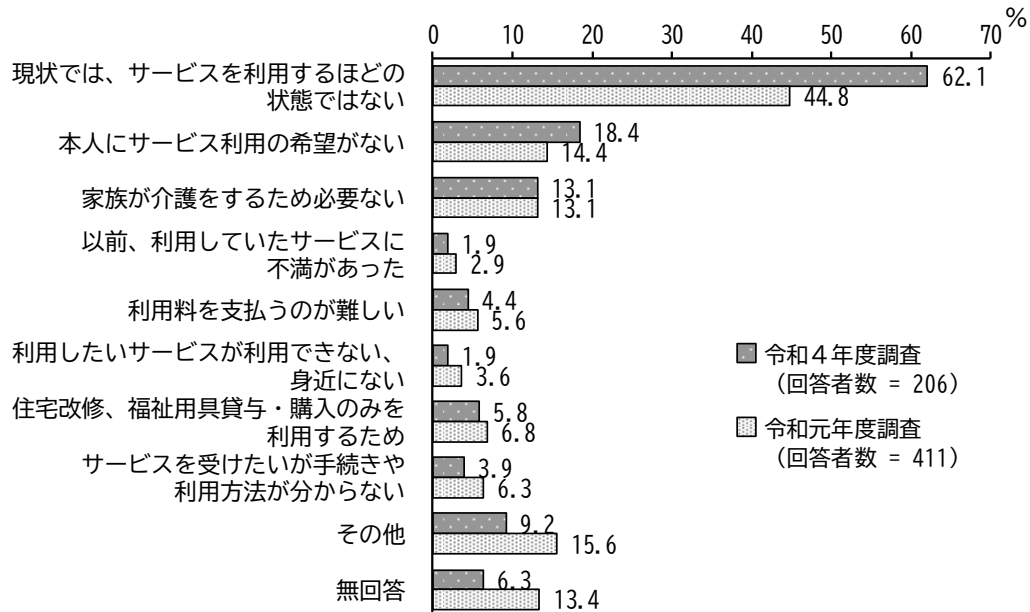


A-問 12 で「利用していない」と回答した方におうかがいします。

A-問 13 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が 62.1%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」の割合が 18.4%、「家族が介護をするため必要ない」の割合が 13.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が 17.3 ポイント増加しています。



【認定状況別】

認定状況別にみると、要介護 1～5 に比べ、要支援 1、2 で「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が高くなっています。一方、要支援 1、2 に比べ、要介護 1～5 で「本人にサービス利用の希望がない」「家族が介護をするため必要ない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他	無回答
全体	206	62.1	18.4	13.1	1.9	4.4	1.9	5.8	3.9	9.2	6.3
要支援 1、2	144	70.1	12.5	9.0	2.1	4.2	2.8	6.3	3.5	3.5	7.6
要介護 1～5	62	43.5	32.3	22.6	1.6	4.8	—	4.8	4.8	22.6	3.2

【世帯類型況別】

世帯類型別にみると、すべての区分で「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が最も高くなっています。

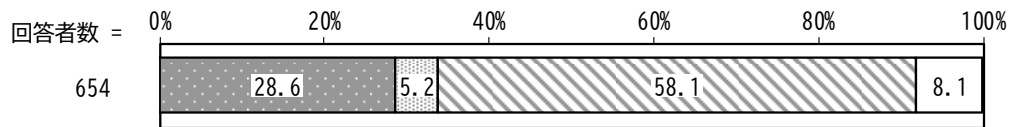
単位：％

区分	回答者数(件)	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他	無回答
全 体	206	62.1	18.4	13.1	1.9	4.4	1.9	5.8	3.9	9.2	6.3
単身世帯	62	67.7	8.1	3.2	1.6	8.1	1.6	3.2	4.8	8.1	11.3
夫婦のみ世帯	78	64.1	15.4	19.2	1.3	1.3	2.6	7.7	6.4	10.3	2.6
その他	56	55.4	30.4	16.1	1.8	5.4	1.8	7.1	—	7.1	7.1

A-問 14 (1) あなた（ご本人）が現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスとは別に、1年以内に利用したい介護保険サービス及び介護予防サービスはありますか。（○はひとつ）

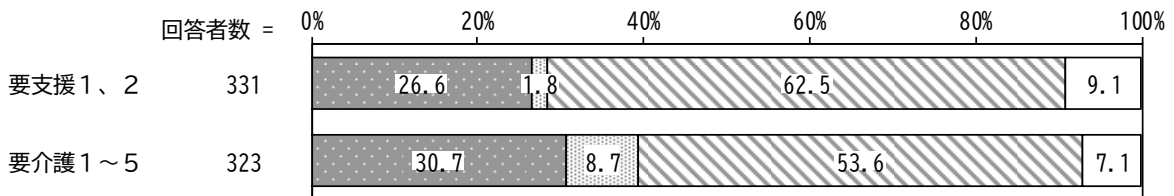
「特にない（現在利用しているサービスのみで良い。もしくはサービスを利用していない。）」の割合が58.1%と最も高く、次いで「自宅で生活しながらサービスを受けたい」の割合が28.6%となっています。

- 自宅で生活しながらサービスを受けたい
- ▨ 施設等に入所（入居）したい
- ▩ 特にない（現在利用しているサービスのみで良い。もしくはサービスを利用していない。）
- 無回答



【認定状況別】

認定状況別にみると、要介護1～5に比べ、要支援1、2で「特にない（現在利用しているサービスのみで良い。もしくはサービスを利用していない。）」の割合が高くなっています。一方、要支援1、2に比べ、要介護1～5で「施設等に入所（入居）したい」の割合が高くなっています。

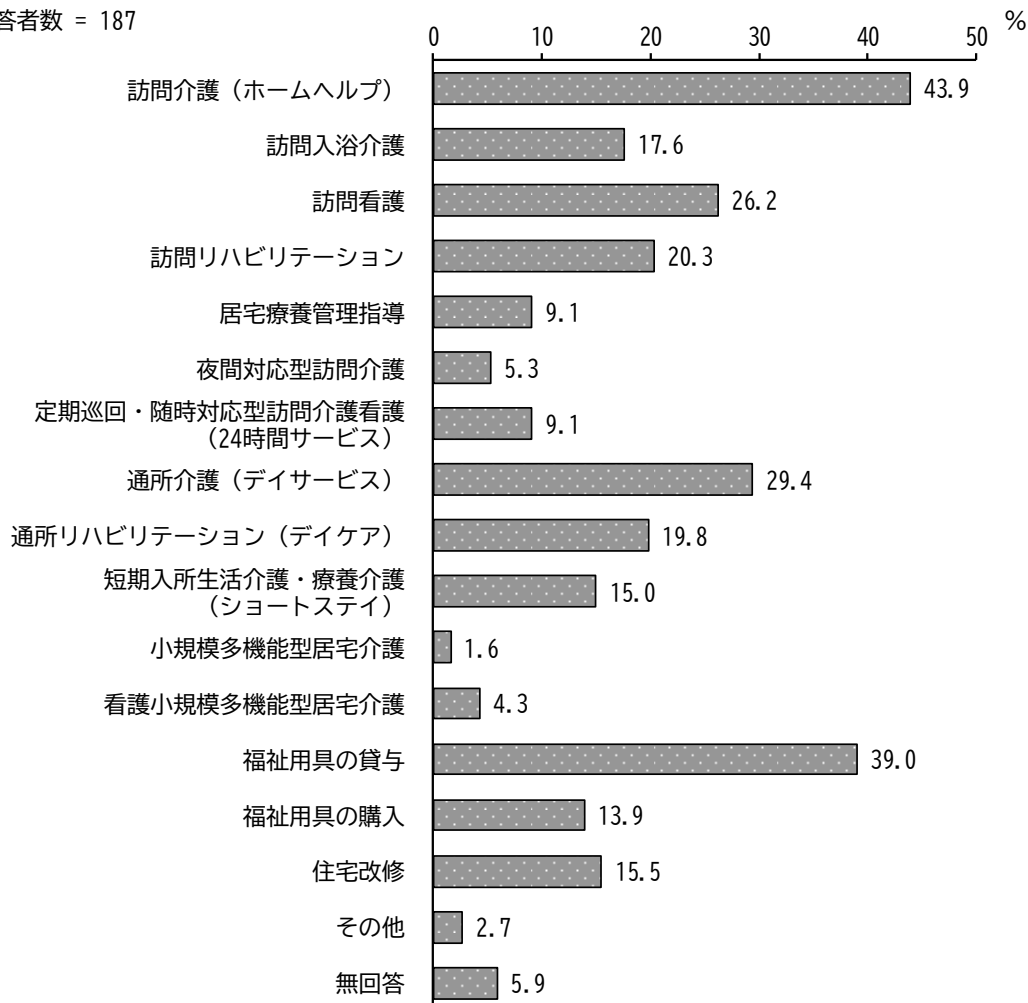


A問 14 (1) で「自宅で生活しながらサービスを受けたい」と回答した方におうかがいします。

A-問 14 (2) あなた（ご本人）が利用したいと思う居宅サービスについて教えてください。（〇はいくつでも）

「訪問介護（ホームヘルプ）」の割合が 43.9%と最も高く、次いで「福祉用具の貸与」の割合が 39.0%、「通所介護（デイサービス）」の割合が 29.4%となっています。

回答者数 = 187



【認定状況別】

認定状況別にみると、要支援 1、2 で「問介護（ホームヘルプ）」の割合が最も高く、要介護 1～5 で「福祉用具の貸与」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	訪問介護(ホームヘルプ)	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	夜間対応型訪問介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護(24時間サービス)	通所介護(デイサービス)
全体	187	43.9	17.6	26.2	20.3	9.1	5.3	9.1	29.4
要支援 1、2	88	40.9	11.4	22.7	14.8	4.5	5.7	5.7	27.3
要介護 1～5	99	46.5	23.2	29.3	25.3	13.1	5.1	12.1	31.3

区分	通所リハビリテーション(デイケア)	短期入所生活介護・療養介護(ショートステイ)	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	福祉用具の貸与	福祉用具の購入	住宅改修	その他	無回答
全体	19.8	15.0	1.6	4.3	39.0	13.9	15.5	2.7	5.9
要支援 1、2	17.0	13.6	—	2.3	22.7	9.1	17.0	4.5	10.2
要介護 1～5	22.2	16.2	3.0	6.1	53.5	18.2	14.1	1.0	2.0

【区域別】

区域別にみると、他に比べ、美原区で「訪問介護（ホームヘルプ）」「訪問入浴介護」「訪問看護」の割合が高くなっています。また、中区で「通所介護（デイサービス）」の割合が、堺区、北区で「福祉用具の貸与」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	訪問介護（ホームヘルプ）	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	夜間対応型訪問介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護（24時間サービス）	通所介護（デイサービス）
全体	187	43.9	17.6	26.2	20.3	9.1	5.3	9.1	29.4
堺区	31	48.4	16.1	9.7	22.6	3.2	3.2	—	12.9
中区	24	33.3	12.5	25.0	20.8	4.2	—	12.5	37.5
東区	22	50.0	4.5	31.8	22.7	9.1	4.5	22.7	36.4
西区	27	40.7	25.9	25.9	22.2	11.1	14.8	14.8	25.9
南区	43	48.8	16.3	27.9	11.6	14.0	7.0	7.0	34.9
北区	29	27.6	17.2	31.0	20.7	6.9	3.4	3.4	31.0
美原区	11	72.7	45.5	45.5	36.4	18.2	—	9.1	27.3

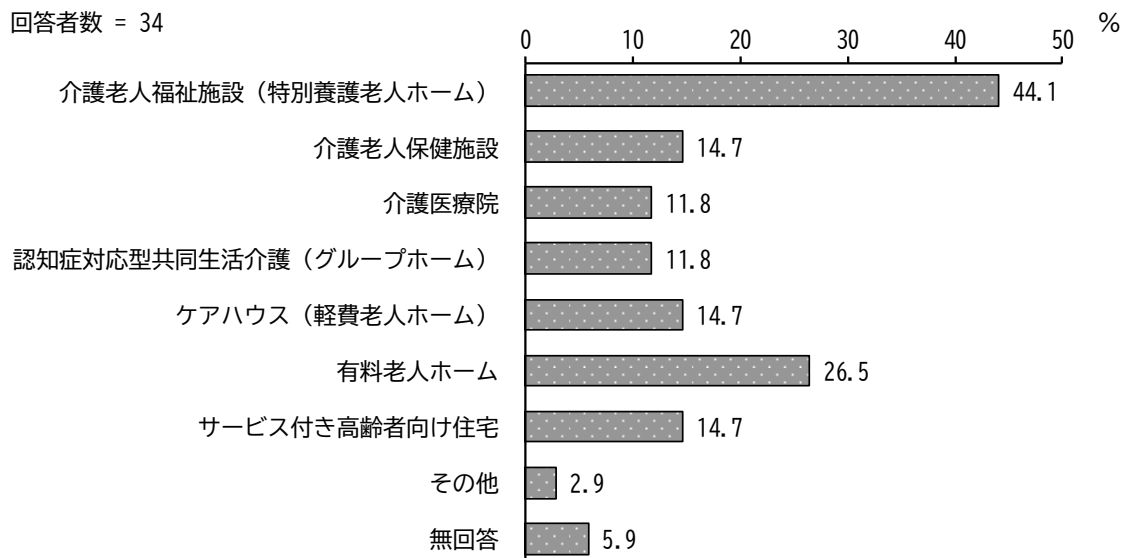
区分	通所リハビリテーション（デイケア）	短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	福祉用具の貸与	福祉用具の購入	住宅改修	その他	無回答
全体	19.8	15.0	1.6	4.3	39.0	13.9	15.5	2.7	5.9
堺区	19.4	9.7	—	12.9	48.4	16.1	19.4	3.2	6.5
中区	16.7	12.5	—	—	29.2	12.5	20.8	—	8.3
東区	18.2	27.3	4.5	4.5	27.3	9.1	18.2	9.1	—
西区	22.2	14.8	3.7	3.7	33.3	11.1	18.5	3.7	7.4
南区	20.9	9.3	2.3	2.3	41.9	20.9	9.3	2.3	7.0
北区	24.1	17.2	—	3.4	41.4	6.9	6.9	—	6.9
美原区	9.1	27.3	—	—	54.5	18.2	27.3	—	—

A-問 14 (1) で「施設等に入所（入居）したい」と回答した方におうかがいします。

A-問 14 (3) あなた（ご本人）が現在利用している介護保険サービスとは別に、1年以内に利用したいものについて、あてはまる番号に○をつけてください。（○はいくつでも）

「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」の割合が 44.1%と最も高く、次いで「有料老人ホーム」の割合が 26.5%と続いています。

回答者数 = 34



【認定状況別】

有効回答数が少ないため、参考として掲載します。

単位：%

区分	回答者数（件）	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	介護老人保健施設	介護医療院	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	ケアハウス（軽費老人ホーム）	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	その他	無回答
全体	34	44.1	14.7	11.8	11.8	14.7	26.5	14.7	2.9	5.9
要支援 1、2	6	50.0	16.7	—	16.7	16.7	16.7	—	—	—
要介護 1～5	28	42.9	14.3	14.3	10.7	14.3	28.6	17.9	3.6	7.1

【区域別】

有効回答数が少ないため、参考として掲載します。

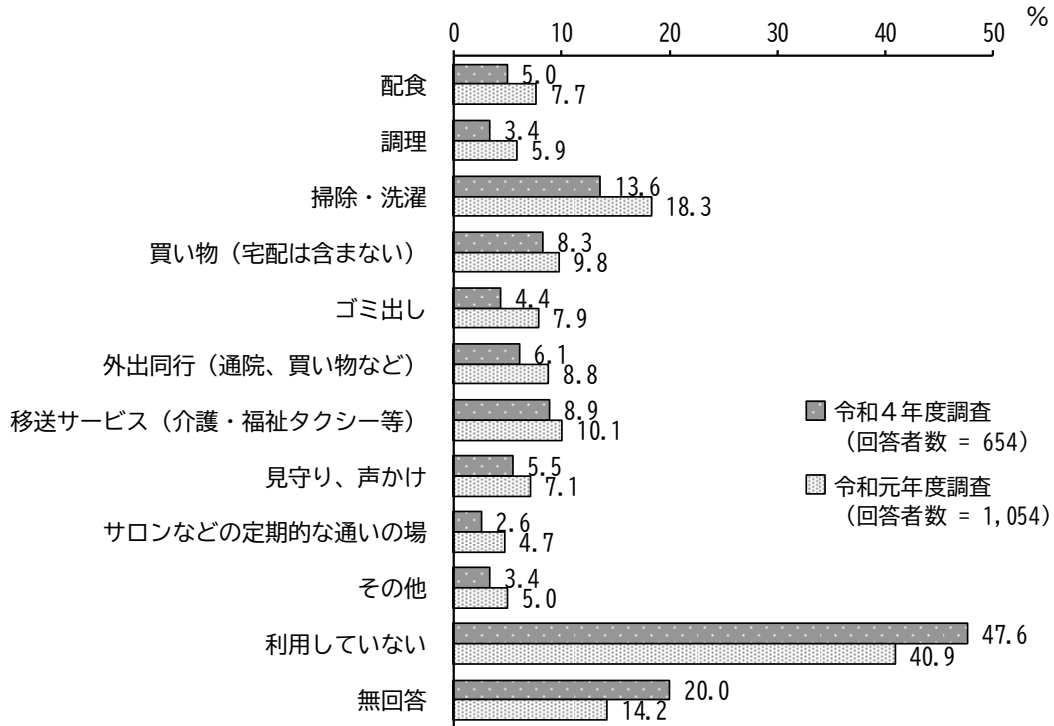
単位：％

区分	回答者数(件)	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	介護老人保健施設	介護医療院	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	ケアハウス(軽費老人ホーム)	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	その他	無回答
全 体	34	44.1	14.7	11.8	11.8	14.7	26.5	14.7	2.9	5.9
堺区	7	42.9	—	14.3	14.3	14.3	14.3	—	—	—
中区	5	20.0	20.0	—	—	—	60.0	20.0	—	—
東区	2	100.0	100.0	50.0	—	100.0	50.0	—	—	—
西区	3	66.7	—	—	33.3	33.3	33.3	—	—	33.3
南区	8	37.5	—	25.0	12.5	12.5	12.5	25.0	12.5	—
北区	6	50.0	33.3	—	16.7	—	16.7	16.7	—	16.7
美原区	3	33.3	—	—	—	—	33.3	33.3	—	—

A-問 15 現在、あなた（ご本人）が利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、お教えてください。（〇はいくつでも）

「利用していない」の割合が47.6%と最も高く、次いで「掃除・洗濯」の割合が13.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が増加しています。



【認定状況別】

認定状況別にみると、要介護1～5に比べ、要支援1、2で「利用していない」の割合が高くなっています。一方、要支援1、2に比べ、要介護1～5で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「外出同行（通院、買い物など）」「見守り、声かけ」などの割合がやや高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答
全体	654	5.0	3.4	13.6	8.3	4.4	6.1	8.9	5.5	2.6	3.4	47.6	20.0
要支援1、2	331	4.5	1.5	11.5	6.0	2.4	3.6	6.0	3.0	2.4	3.9	50.8	20.5
要介護1～5	323	5.6	5.3	15.8	10.5	6.5	8.7	11.8	8.0	2.8	2.8	44.3	19.5

【区域別】

区域別にみると、他に比べ、堺区、東区では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が、中区では「利用していない」の割合が、西区では「買い物（宅配は含まない）」の割合が、南区、北区では「掃除・洗濯」の割合が、美原区では「配食」「見守り、声かけ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答
全体	654	5.0	3.4	13.6	8.3	4.4	6.1	8.9	5.5	2.6	3.4	47.6	20.0
堺区	113	5.3	4.4	13.3	7.1	4.4	7.1	12.4	5.3	4.4	5.3	45.1	20.4
中区	100	2.0	—	5.0	4.0	2.0	4.0	6.0	4.0	2.0	6.0	53.0	22.0
東区	64	6.3	4.7	15.6	6.3	6.3	9.4	12.5	3.1	3.1	4.7	37.5	23.4
西区	99	6.1	5.1	10.1	14.1	4.0	8.1	10.1	4.0	3.0	1.0	49.5	20.2
南区	130	4.6	5.4	20.8	7.7	6.2	4.6	7.7	6.2	1.5	0.8	50.0	18.5
北区	114	4.4	1.8	15.8	9.6	4.4	4.4	6.1	5.3	1.8	2.6	46.5	19.3
美原区	34	11.8	—	11.8	8.8	2.9	8.8	8.8	17.6	2.9	5.9	47.1	14.7

【世帯類型別】

世帯類型別にみると、単身世帯の方が「利用していない」「無回答」以外のすべての支援・サービスの割合が高くなっています。

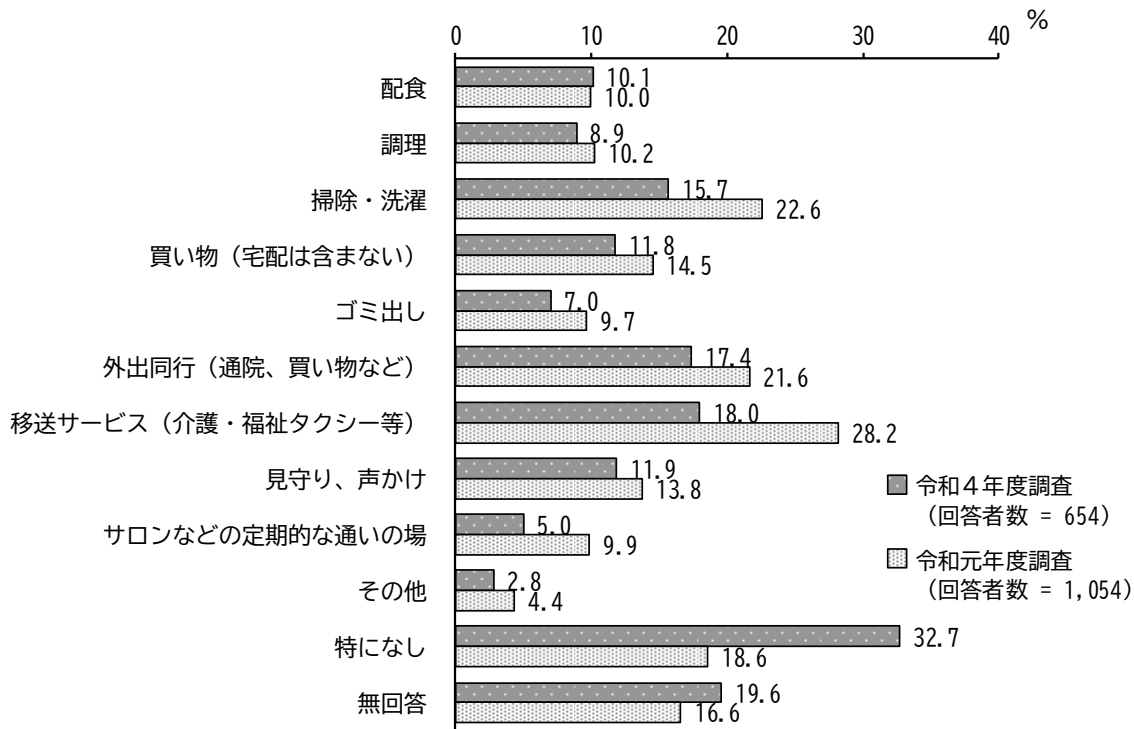
単位：％

区分	回答者数 (件)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答
全体	654	5.0	3.4	13.6	8.3	4.4	6.1	8.9	5.5	2.6	3.4	47.6	20.0
単身世帯	214	7.9	6.5	23.4	16.4	8.4	10.7	10.7	10.3	2.3	4.2	36.0	16.4
夫婦のみ世帯	212	1.4	1.9	11.8	3.8	3.8	3.3	9.9	2.8	1.9	2.4	49.5	22.6
その他	184	4.3	1.1	5.4	4.3	1.6	4.3	7.1	3.3	2.7	3.3	63.6	15.8

A-問 16 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、お教えてください。（〇はいくつでも）

「特になし」の割合が 32.7%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が 18.0%、「外出同行（通院、買い物など）」の割合が 17.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「特になし」の割合が増加しています。一方、「掃除・洗濯」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が減少しています。



【認定状況別】

認定状況別にみると、要支援1、2に比べ、要介護1～5で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
全体	654	10.1	8.9	15.7	11.8	7.0	17.4	18.0	11.9	5.0	2.8	32.7	19.6
要支援1、2	331	9.1	8.5	16.6	12.1	4.8	15.1	12.4	11.2	6.0	2.1	33.2	20.2
要介護1～5	323	11.1	9.3	14.9	11.5	9.3	19.8	23.8	12.7	4.0	3.4	32.2	18.9

【区域別】

区域別にみると、他に比べ、美原区で「配食」の割合が、西区で「外出同行（通院、買い物など）」の割合が、中区で「特になし」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
全体	654	10.1	8.9	15.7	11.8	7.0	17.4	18.0	11.9	5.0	2.8	32.7	19.6
堺区	113	8.8	10.6	14.2	14.2	8.0	19.5	23.0	8.8	4.4	2.7	32.7	20.4
中区	100	11.0	7.0	16.0	11.0	6.0	17.0	14.0	16.0	9.0	2.0	38.0	17.0
東区	64	9.4	12.5	15.6	12.5	7.8	12.5	17.2	9.4	6.3	4.7	31.3	15.6
西区	99	12.1	9.1	16.2	13.1	5.1	26.3	21.2	10.1	6.1	3.0	34.3	16.2
南区	130	9.2	8.5	19.2	10.0	10.0	15.4	20.0	13.1	1.5	2.3	30.0	23.8
北区	114	7.0	7.9	16.7	11.4	6.1	16.7	12.3	13.2	5.3	1.8	29.8	21.1
美原区	34	20.6	5.9	2.9	8.8	2.9	5.9	17.6	11.8	2.9	5.9	35.3	20.6

【世帯類型況別】

世帯類型別にみると、夫婦のみ世帯に比べ、単身世帯で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」以外の支援・サービスの割合が高くなっています。

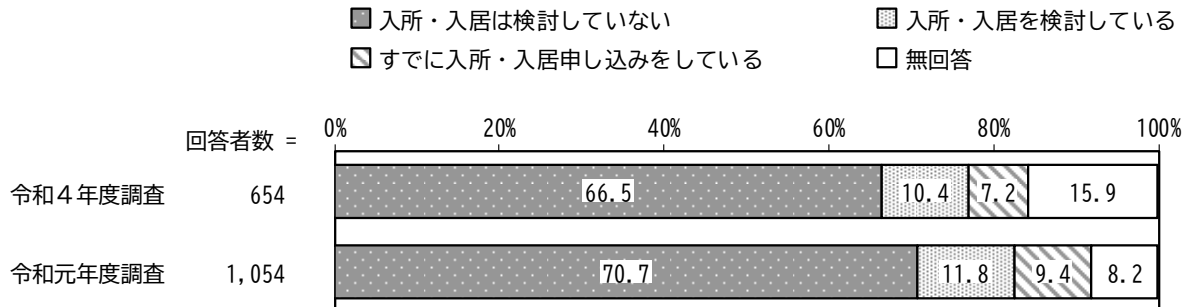
単位：％

区分	回答者数（件）	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
全 体	654	10.1	8.9	15.7	11.8	7.0	17.4	18.0	11.9	5.0	2.8	32.7	19.6
単身世帯	214	11.2	13.6	23.4	16.4	10.7	23.8	14.0	18.2	5.6	4.2	25.7	17.3
夫婦のみ世帯	212	7.5	6.6	15.6	8.5	6.6	13.7	17.5	8.0	2.8	1.4	38.2	20.3
その他	184	12.0	6.0	8.7	11.4	3.8	15.2	25.0	11.4	6.5	3.3	36.4	16.3

A-問 17 現時点での、あなた（ご本人）の施設等への入所・入居の検討状況について、お教えてください（〇はひとつ）

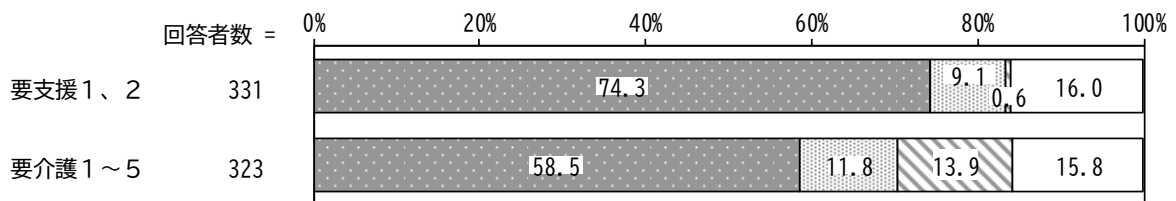
「入所・入居は検討していない」の割合が 66.5%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」の割合が 10.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



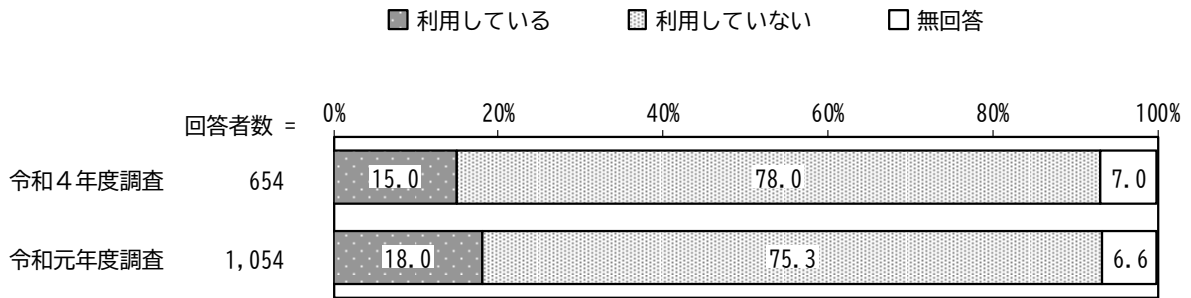
【認定状況別】

認定状況別にみると、要介護1～5に比べ、要支援1、2で「入所・入居は検討していない」の割合が高くなっています。一方、要支援1、2に比べ、要介護1～5で「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が高くなっています。



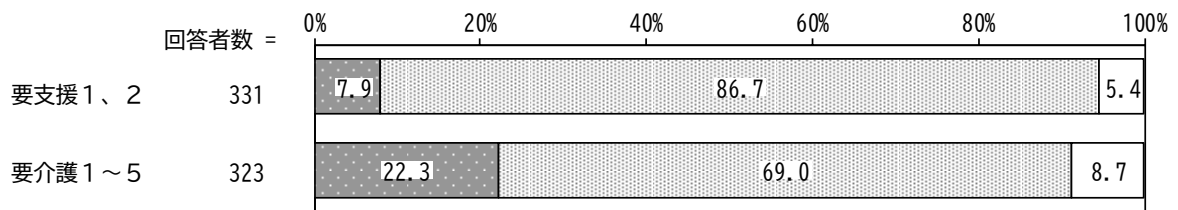
A-問 18 あなた（ご本人）は、現在、訪問診療を利用していますか。（○はひとつ）

「利用している」の割合が 15.0%、「利用していない」の割合が 78.0%となっています。
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



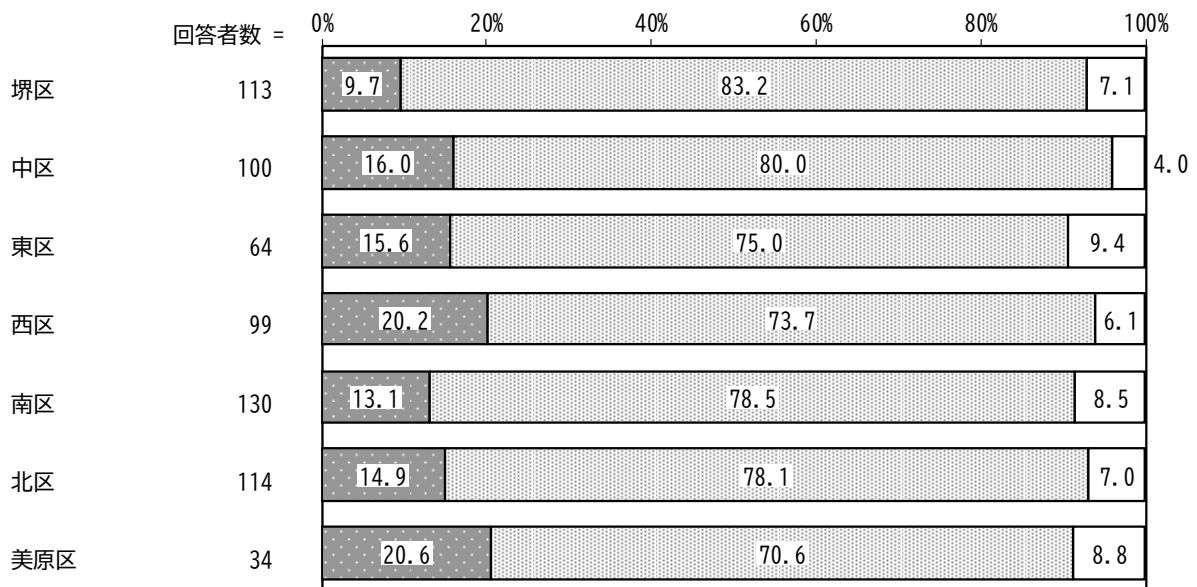
【認定状況別】

認定状況別にみると、「利用している」の割合は、要支援 1、2 で 7.9%、要介護 1～5 で 22.3%となっています。



【区域別】

区域別にみると、他に比べ、西区、美原区で「利用している」の割合がやや高くなっています。



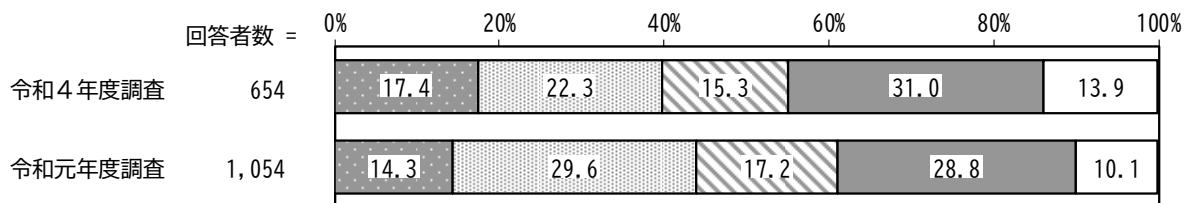
A-問 19 現行の介護保険制度は、サービスを利用する人が増えたり、一人ひとりの利用するサービスの量が増えることによって介護保険料が上昇する仕組みとなっています。堺市の今後の介護保険料について、あなた（ご本人）のお考えに近いのは次のどれですか。（○はひとつ）

「わからない」の割合が31.0%と最も高く、次いで「介護予防対策に力を入れ、介護保険サービスを必要とする人の増加を抑制することが重要であるが、それでも利用量等が増え、介護保険料が上昇するのならば仕方がない」の割合が22.3%、「高齢化が進み、介護保険サービスを利用する人や利用量は増えていくだろうから、介護保険料が上昇するのは仕方がない」の割合が17.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「介護予防対策に力を入れ、介護保険サービスを必要とする人の増加を抑制することが重要であるが、それでも利用量等が増え、介護保険料が上昇するのならば仕方がない」の割合が減少しています。

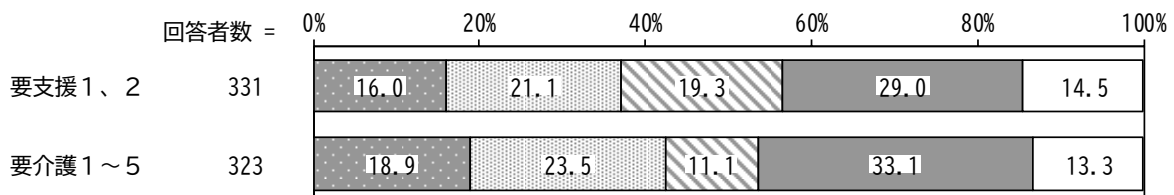
- 高齢化が進み、介護保険サービスを利用する人や利用量は増えていくだろうから、介護保険料が上昇するのは仕方がない
- ▨ 介護予防対策に力を入れ、介護保険サービスを必要とする人の増加を抑制することが重要であるが、それでも利用量等が増え、介護保険料が上昇するのならば仕方がない
- ▧ 現状以上に介護保険料が上昇するのは避けるべきであり、そのためには介護保険サービスが必要な人であっても、ある程度、介護保険サービスの利用が制限されても仕方がない
- わからない

□ 無回答



【認定状況別】

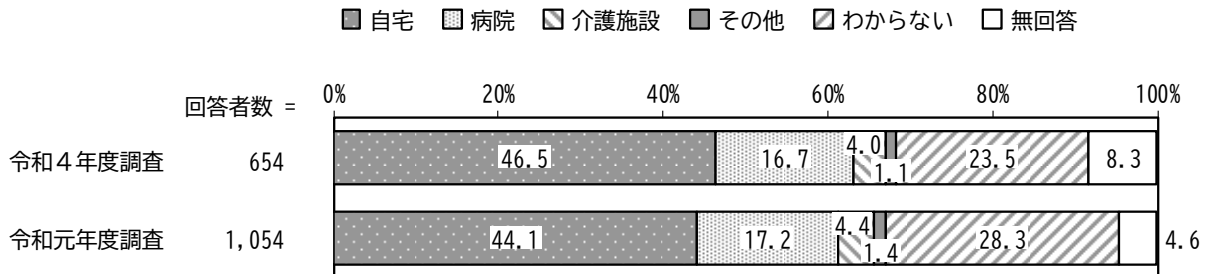
認定状況別にみると、要介護1～5に比べ、要支援1、2で「現状以上に介護保険料が上昇するのは避けるべきであり、そのためには介護保険サービスが必要な人であっても、ある程度、介護保険サービスの利用が制限されても仕方がない」の割合がやや高くなっています。



A-問 20 あなた（ご本人）は人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。（〇はひとつ）

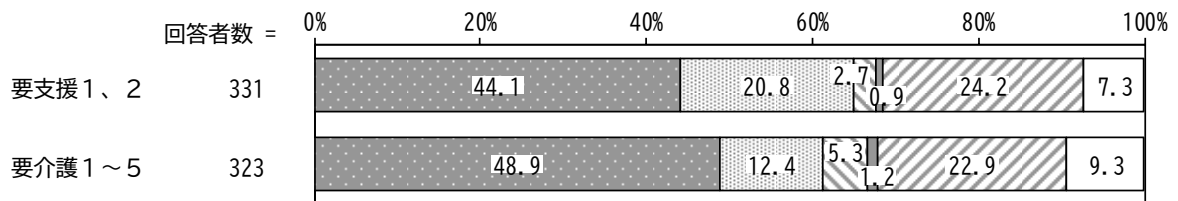
「自宅」の割合が46.5%と最も高く、次いで「わからない」の割合が23.5%、「病院」の割合が16.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



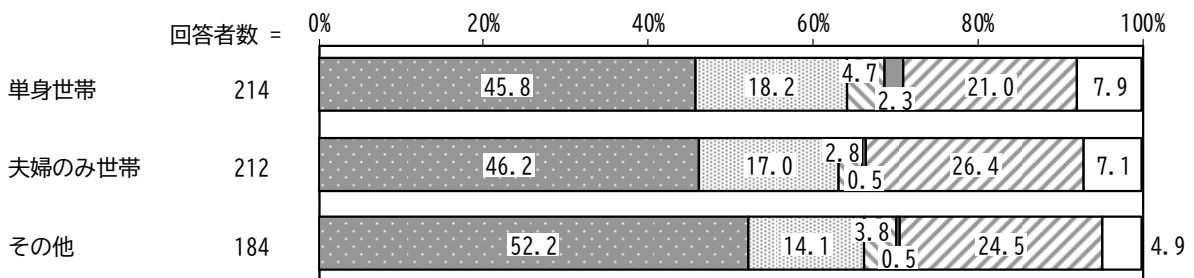
【認定状況別】

認定状況別にみると、要介護1～5に比べ、要支援1、2で「病院」の割合が高くなっています。



【世帯類型別】

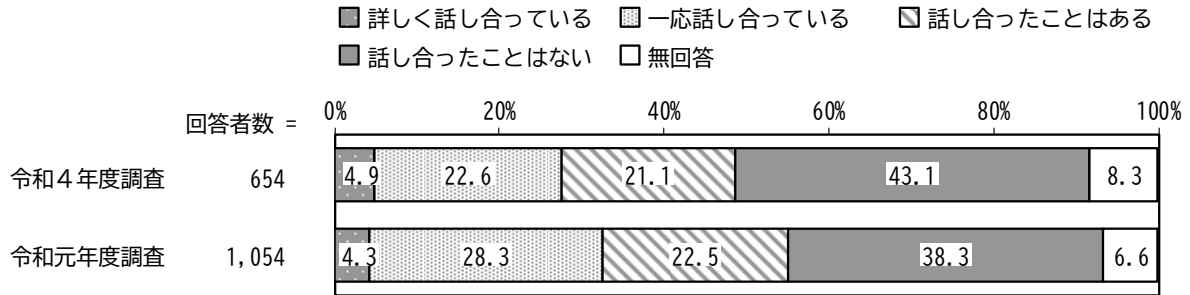
世帯類型別にみると、大きな差はみられません。



A-問 21 人生の最終段階における医療・療養について、あなた（ご本人）自身の希望を、家族等や医療介護関係者と話し合っていますか。（○はひとつ）

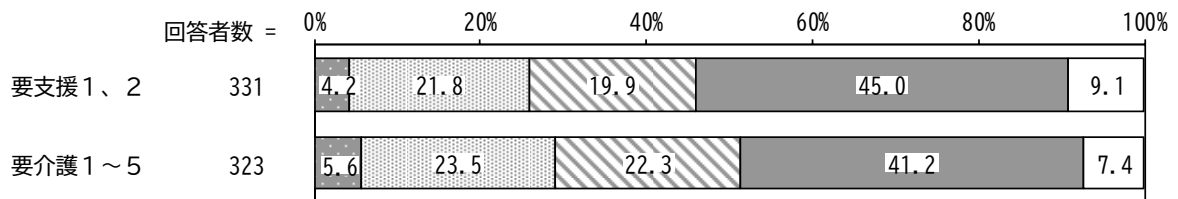
「話し合ったことはない」の割合が43.1%と最も高く、次いで「一応話し合っている」の割合が22.6%、「話し合ったことはある」の割合が21.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「話し合ったことはない」の割合が4.8ポイント高くなっています。



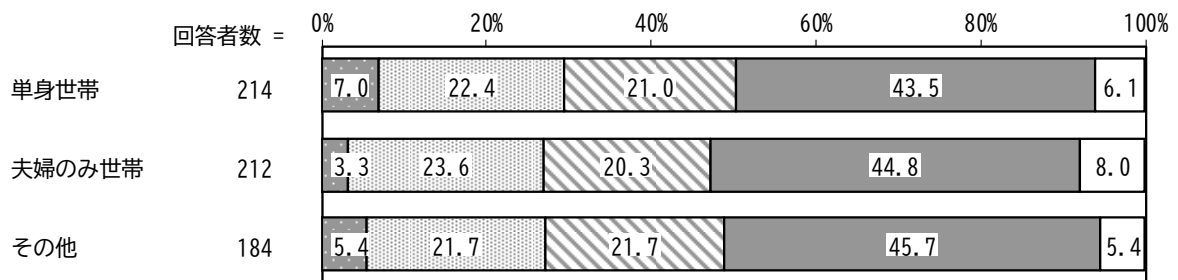
【認定状況別】

認定状況別にみると、大きな差はみられません。



【世帯類型別】

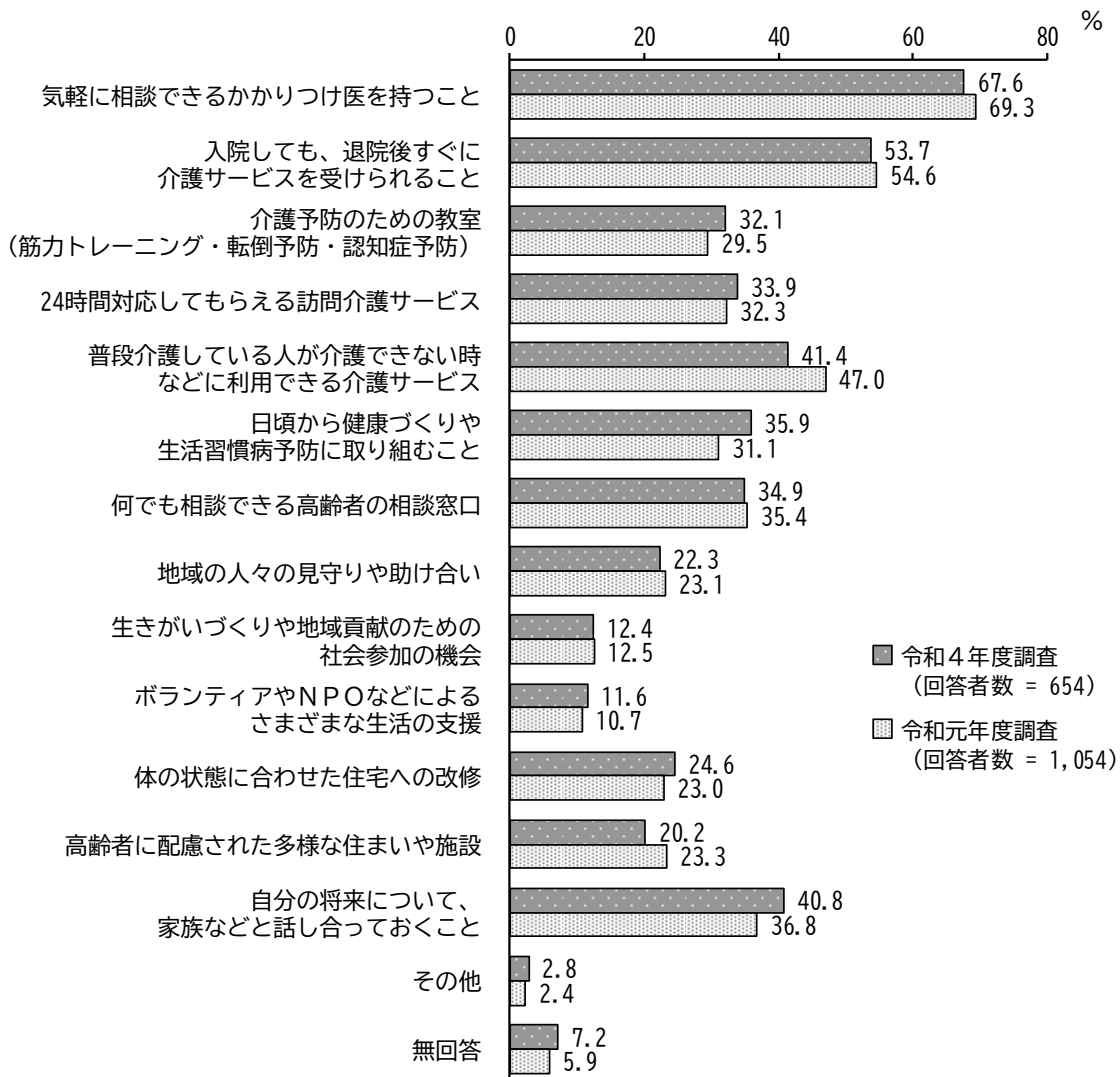
世帯類型別にみると、大きな差はみられません。



A-問 22 高齢者ができる限り自宅や住み慣れた地域で暮らし続けるために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「気軽に相談できるかかりつけ医を持つこと」の割合が67.6%と最も高く、次いで「入院しても、退院後すぐに介護サービスを受けられること」の割合が53.7%、「普段介護している人が介護できない時などに利用できる介護サービス」の割合が41.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「普段介護している人が介護できない時などに利用できる介護サービス」の割合が5.6ポイント減少しています。



【認定状況別】

認定状況別にみると、要介護1～5に比べ、要支援1、2で「日頃から健康づくりや生活習慣病予防に取り組むこと」の割合が高くなっています。一方、要支援1、2に比べ、要介護1～5で「普段介護している人が介護できない時などに利用できる介護サービス」「24時間対応してもらえる訪問介護サービス」「体の状態に合わせた住宅への改修」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	気軽に相談できるかかりつけ医を持つこと	入院しても、退院後すぐに介護サービスを受けられること	介護予防のための教室(筋力トレーニング・転倒予防・認知症予防)	24時間対応してもらえる訪問介護サービス	普段介護している人が介護できない時などに利用できる介護サービス	日頃から健康づくりや生活習慣病予防に取り組むこと	何でも相談できる高齢者の相談窓口
全体	654	67.6	53.7	32.1	33.9	41.4	35.9	34.9
要支援1、2	331	67.4	52.0	32.6	28.4	32.9	40.2	35.6
要介護1～5	323	67.8	55.4	31.6	39.6	50.2	31.6	34.1

区分	地域の人の見守りや助け合い	生きがいづくりや地域貢献のための社会参加の機会	ボランティアやNPOなどによるさまざまな生活の支援	体の状態に合わせた住宅への改修	高齢者に配慮された多様な住まいや施設	自分の将来について、家族などと話し合っておくこと	その他	無回答
全体	22.3	12.4	11.6	24.6	20.2	40.8	2.8	7.2
要支援1、2	23.3	13.3	10.6	20.8	17.8	42.0	3.0	6.3
要介護1～5	21.4	11.5	12.7	28.5	22.6	39.6	2.5	8.0

【区域別】

区域別にみると、すべての区において「気軽に相談できるかかりつけ医を持つこと」、「入院しても、退院後すぐに介護サービスを受けられること」の割合が高くなっています。また、他に比べ、堺区では「普段介護している人が介護できない時などに利用できる介護サービス」の割合が低く、東区、美原区では「24時間対応してもらえる訪問介護サービス」の割合が高く、西区では「日頃から健康づくりや生活習慣病予防に取り組むこと」の割合が低く、南区では「何でも相談できる高齢者の相談窓口」の割合が高くなっています。

単位：%

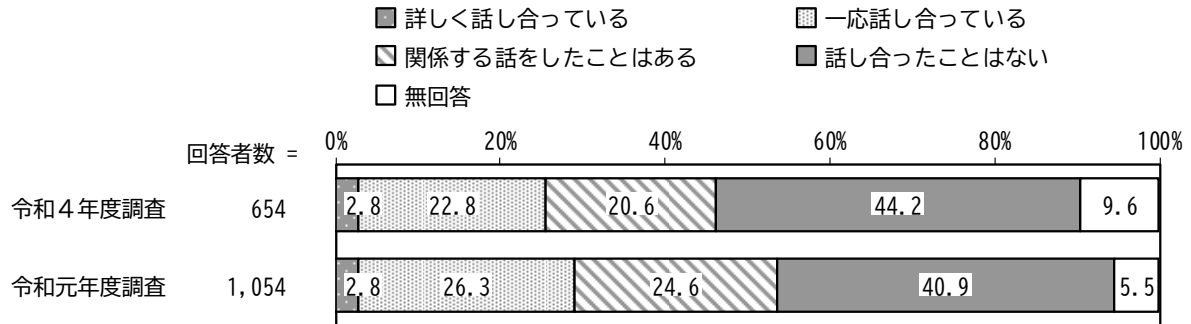
区分	回答者数(件)	気軽に相談できるかかりつけ医を持つこと	入院しても、退院後すぐに介護サービスを受けられること	介護予防のための教室(筋力トレーニング・転倒予防・認知症予防)	24時間対応してもらえる訪問介護サービス	普段介護している人が介護できない時などに利用できる介護サービス	日頃から健康づくりや生活習慣病予防に取り組むこと	何でも相談できる高齢者の相談窓口
全体	654	67.6	53.7	32.1	33.9	41.4	35.9	34.9
堺区	113	65.5	50.4	38.1	37.2	34.5	44.2	34.5
中区	100	67.0	52.0	36.0	28.0	42.0	39.0	37.0
東区	64	71.9	57.8	28.1	42.2	43.8	32.8	29.7
西区	99	68.7	50.5	23.2	33.3	48.5	22.2	32.3
南区	130	64.6	53.8	30.0	35.4	40.0	35.4	42.3
北区	114	71.9	59.6	36.8	28.9	43.9	39.5	29.8
美原区	34	61.8	50.0	26.5	38.2	35.3	35.3	35.3

区分	地域の人の見守りや助け合い	生きがいづくりや地域貢献のための社会参加の機会	ボランティアやNPOなどによるさまざまな生活の支援	体の状態に合わせた住宅への改修	高齢者に配慮された多様な住まいや施設	自分の将来について、家族などと話し合っておくこと	その他	無回答
全体	22.3	12.4	11.6	24.6	20.2	40.8	2.8	7.2
堺区	24.8	10.6	15.9	28.3	20.4	45.1	3.5	7.1
中区	25.0	17.0	13.0	30.0	22.0	43.0	4.0	6.0
東区	21.9	12.5	9.4	17.2	15.6	42.2	1.6	6.3
西区	19.2	7.1	9.1	19.2	22.2	41.4	2.0	5.1
南区	21.5	12.3	12.3	26.2	20.0	37.7	3.8	9.2
北区	21.9	14.9	10.5	21.1	18.4	38.6	1.8	7.0
美原区	20.6	11.8	5.9	32.4	23.5	35.3	-	11.8

A-問 23 災害発生時に、誰かの助けを借りたりしながら避難できるよう、普段から話し合っていますか。(〇はひとつ)

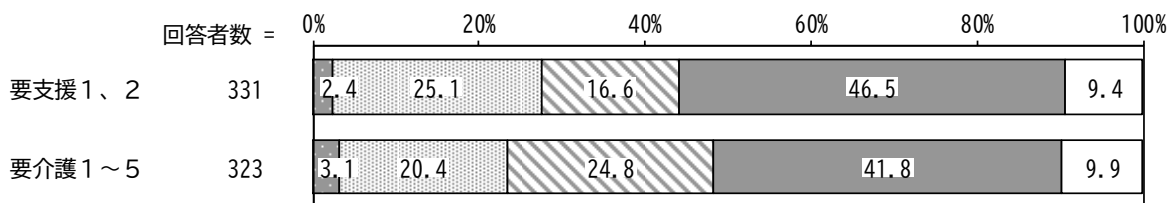
「話し合ったことはない」の割合が44.2%と最も高く、次いで「一応話し合っている」の割合が22.8%、「関係する話をしたことはある」の割合が20.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「話し合ったことはない」の割合が3.3ポイント高くなっています。



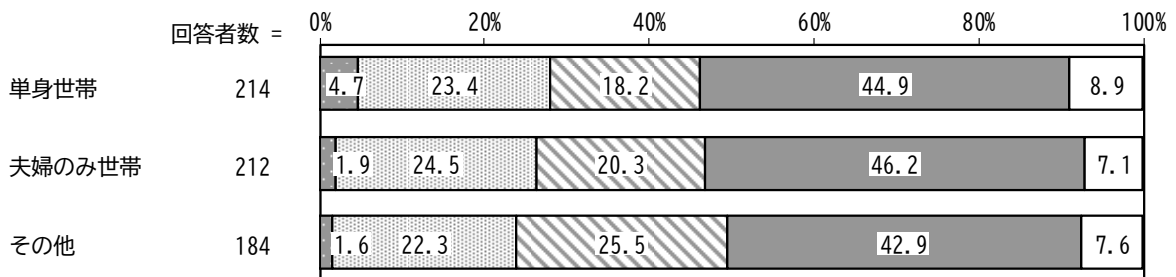
【認定状況別】

認定状況別にみると、「話し合ったことはない」では、要支援1、2が46.5%で、要介護1～5(41.8%)よりも4.7ポイント高くなっています。



【世帯類型別】

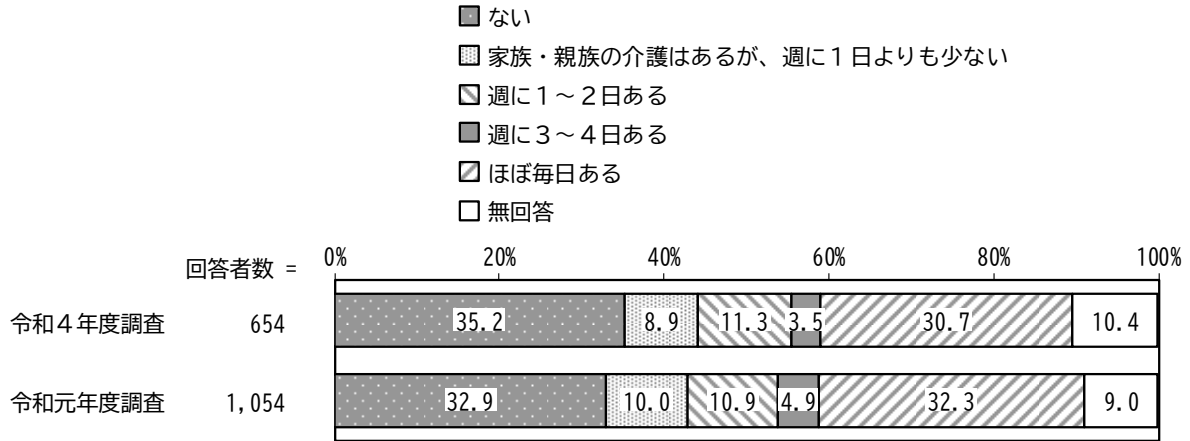
世帯類型別にみると、大きな差はみられません。



A-問 24 ご家族やご親族の方からあなた（ご本人）への介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（○はひとつ）

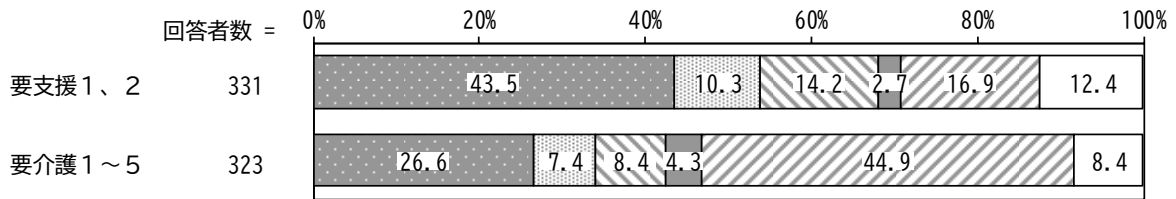
「ない」の割合が 35.2%と最も高く、次いで「ほぼ毎日ある」の割合が 30.7%、「週に1～2日ある」の割合が 11.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

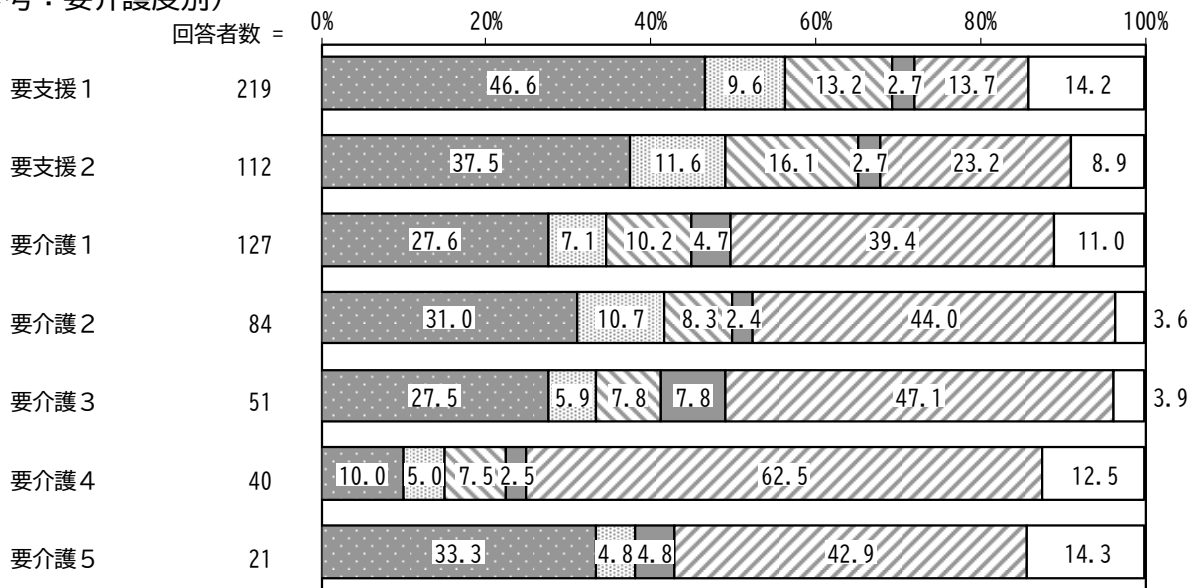


【認定状況別】

認定状況別にみると、要支援1、2で「ない」の割合が最も高く、要介護1～5で「ほぼ毎日ある」の割合が最も高くなっています。

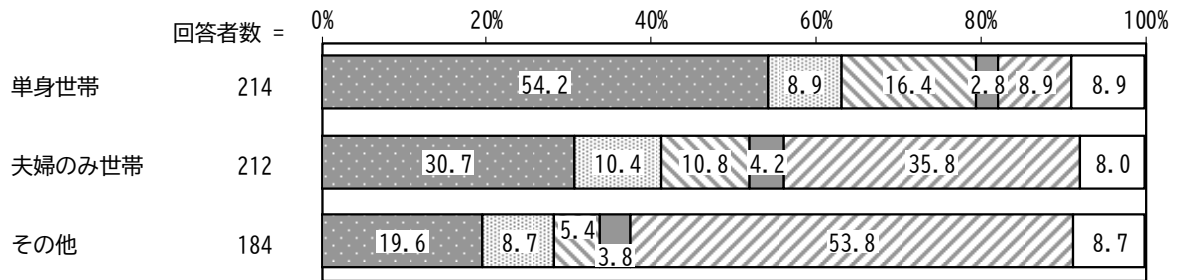


(参考：要介護度別)



【世帯類型況別】

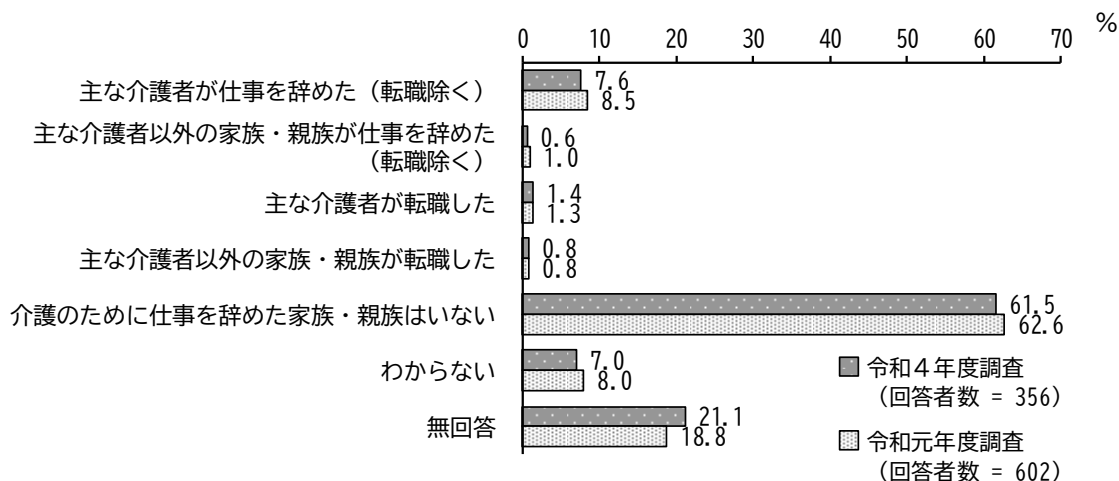
世帯類型別にみると、他に比べ、単身世帯で「ない」「週に1~2日ある」の割合が、夫婦のみ世帯で「ほぼ毎日ある」の割合が高くなっています。



(3) 主な介護者の方について

B-問1 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。（〇はいくつでも）

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が61.5%と最も高くなっています。令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【認定状況別】

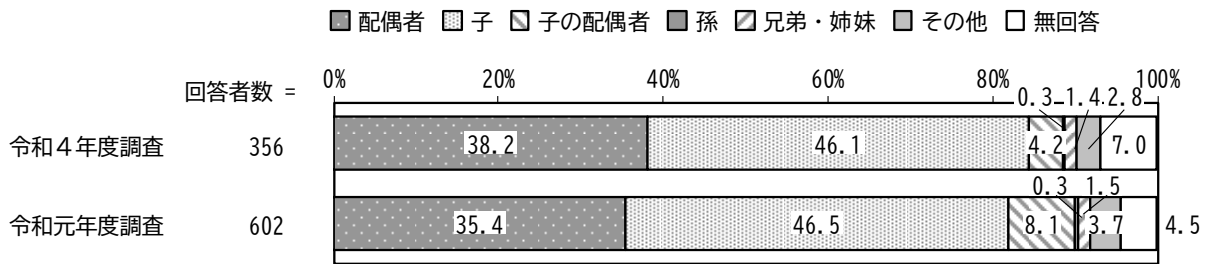
認定状況別にみると、要支援1、2に比べ要介護1～5で「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
全体	356	7.6	0.6	1.4	0.8	61.5	7.0	21.1
要支援1、2	146	6.2	0.7	0.7	0.7	54.8	6.2	30.8
要介護1～5	210	8.6	0.5	1.9	1.0	66.2	7.6	14.3

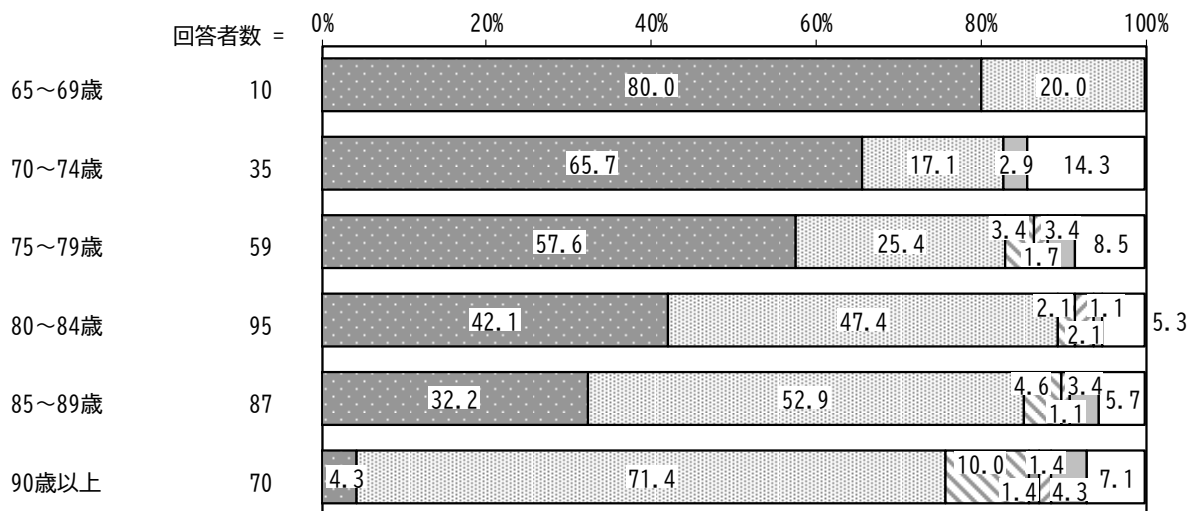
B-問2 主な介護者の方は、どなたですか。(○はひとつ)

「子」の割合が46.1%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が38.2%となっています。令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



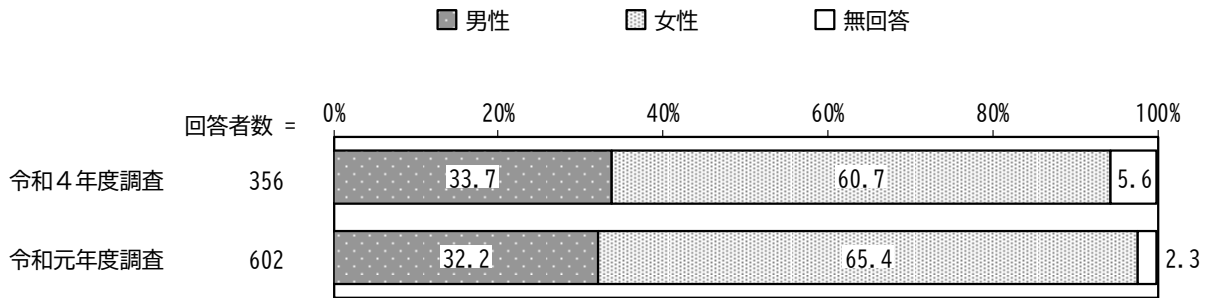
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるにつれ「配偶者」の割合が低くなり、「子」の割合が高くなっていきます。



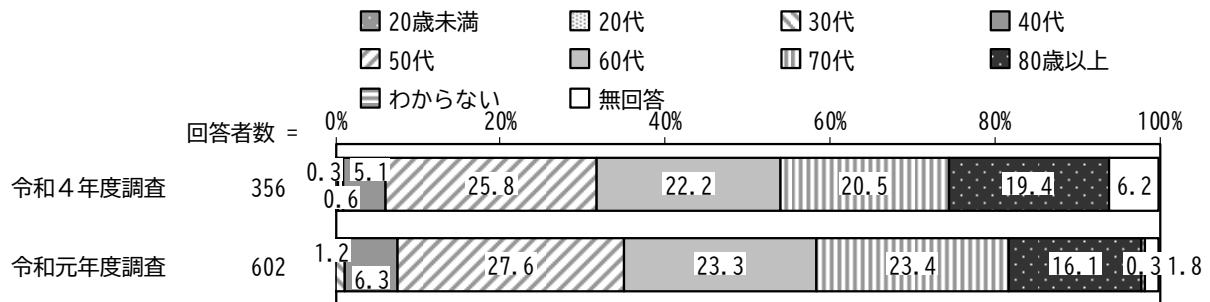
B-問3 主な介護者の方の性別について、お教えてください。(○はひとつ)

「男性」の割合が33.7%、「女性」の割合が60.7%となっています。
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



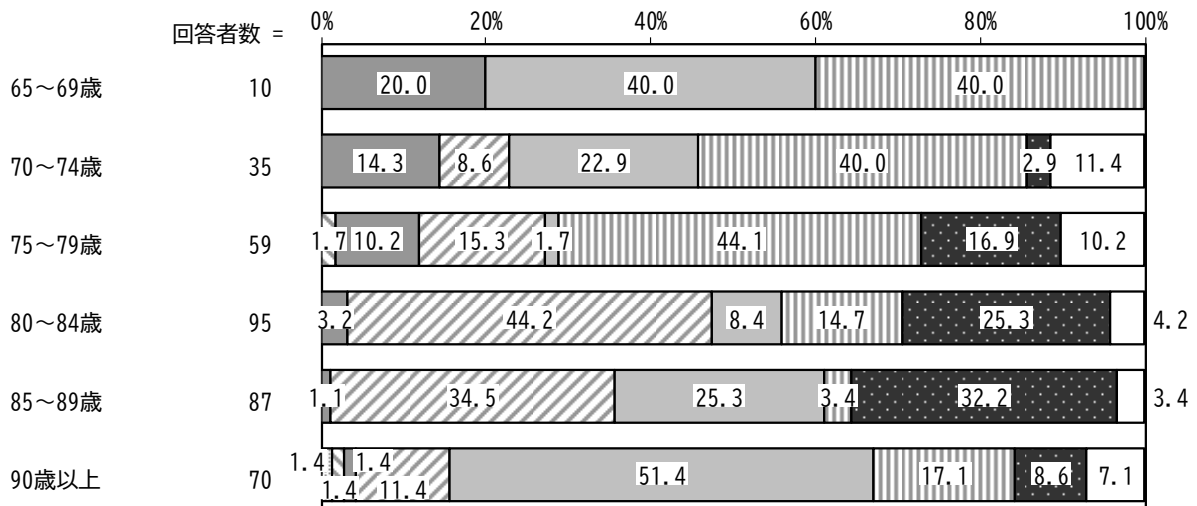
B-問4 主な介護者の方の年齢について、お教えてください。(○はひとつ)

「50代」の割合が25.8%と最も高く、次いで「60代」の割合が22.2%、「70代」の割合が20.5%となっています。
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

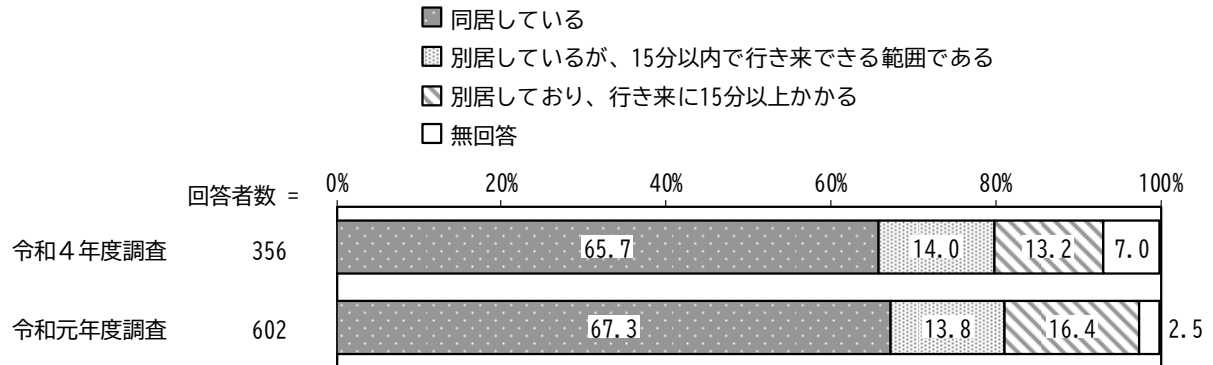
年齢別にみると、要介護者65～79歳で「70代」の割合が、要介護者80～89歳で「50代」と「80歳以上」の割合が、要介護者90歳以上で「60代」の割合が高くなっています。



B-問5 主な介護者の方と要介護者との同居状況について、お教えてください。(〇はひとつ)

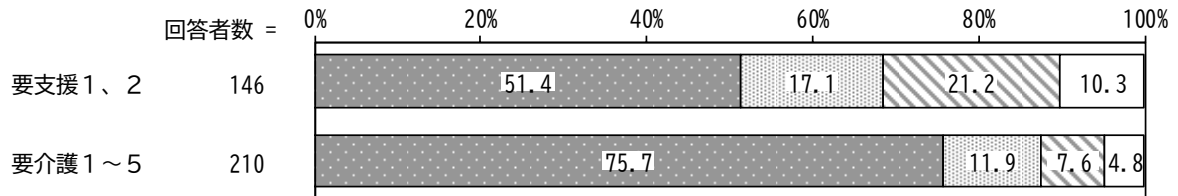
「同居している」の割合が65.7%と最も高く、次いで「別居しているが、15分以内で行き来できる範囲である」の割合が14.0%、「別居しており、行き来に15分以上かかる」の割合が13.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【認定状況別】

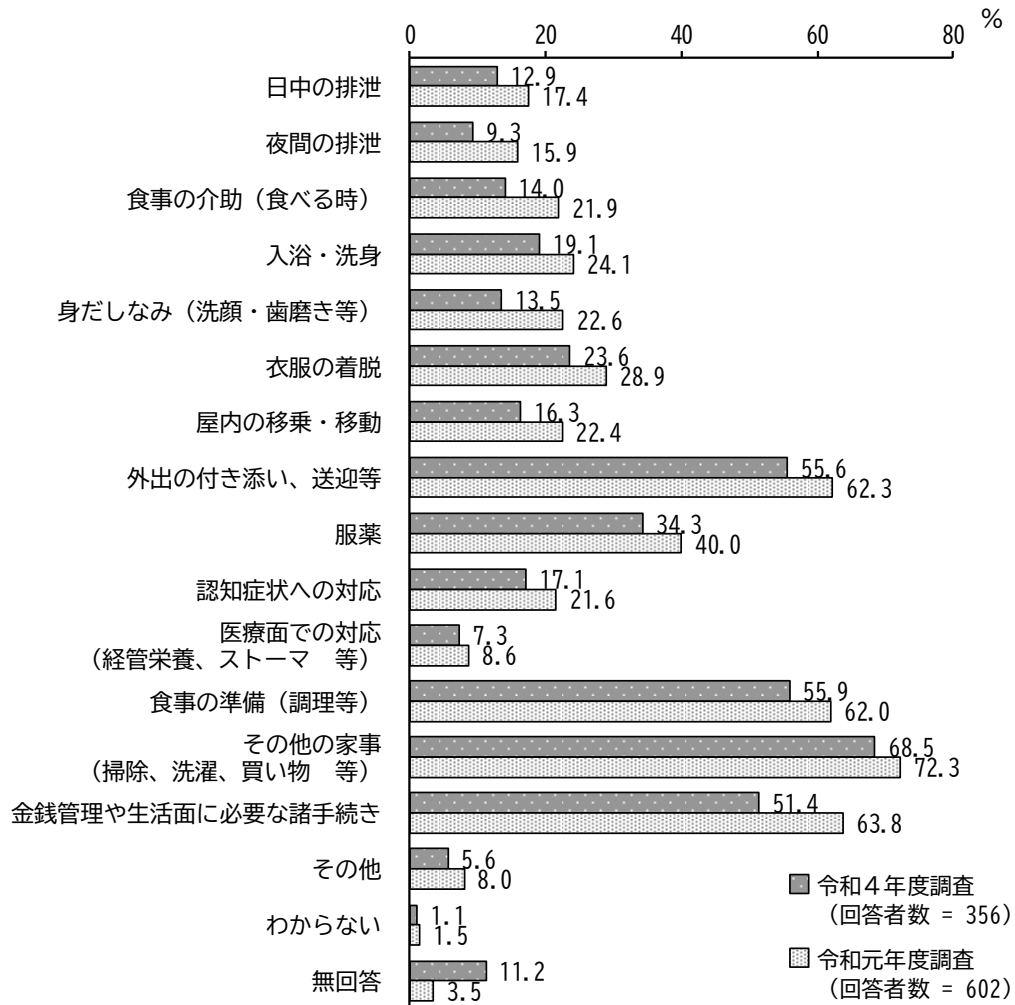
認定状況別にみると、要介護1～5に比べ、要支援1、2で「別居しており、行き来に15分以上かかる」「別居しているが、15分以内で行き来できる範囲である」の割合が高くなっています。一方、要支援1、2に比べ、要介護1～5で「同居している」の割合が高くなっています。



B-問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、お教えてください。(〇は
いくつでも)

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」の割合が68.5%と最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」の割合が55.9%、「外出の付き添い、送迎等」の割合が55.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はありませんが、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「食事の介助（食べる時）」の割合がやや減少しています。



【認定状況別】

認定状況別にみると、「その他」「わからない」以外のすべての項目で要支援1、2に比べ、要介護1～5で割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、 送迎等
全 体	356	12.9	9.3	14.0	19.1	13.5	23.6	16.3	55.6
要支援1、2	146	3.4	2.7	5.5	6.8	4.8	10.3	4.8	43.2
要介護1～5	210	19.5	13.8	20.0	27.6	19.5	32.9	24.3	64.3

区分	服薬	認知症状への対応	医療面での対応 (経管栄養、ストーマ 等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、 洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に 必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
全 体	34.3	17.1	7.3	55.9	68.5	51.4	5.6	1.1	11.2
要支援1、2	11.6	4.1	4.1	39.7	59.6	32.9	6.2	1.4	15.1
要介護1～5	50.0	26.2	9.5	67.1	74.8	64.3	5.2	1.0	8.6

【就労状況別】※

介護者の就労状況別にみると、働いていない方は、「外出の付き添い、送迎等」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」以外の項目について、働いている方よりも介護を行っている割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、 送迎等
全 体	356	12.9	9.3	14.0	19.1	13.5	23.6	16.3	55.6
フルタイムで働いている	66	10.6	7.6	12.1	18.2	12.1	19.7	16.7	62.1
パートタイムで働いている	53	7.5	5.7	11.3	20.8	9.4	22.6	9.4	66.0
働いていない	178	19.1	13.5	19.1	21.9	18.5	30.9	21.9	60.7

区分	服薬	認知症状への対応	医療面での対応 (経管栄養、ストーマ 等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、 洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に 必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
全 体	34.3	17.1	7.3	55.9	68.5	51.4	5.6	1.1	11.2
フルタイムで働いている	34.8	15.2	3.0	48.5	75.8	56.1	7.6	—	1.5
パートタイムで働いている	35.8	20.8	5.7	56.6	79.2	54.7	9.4	—	3.8
働いていない	42.1	20.8	11.2	71.9	77.0	62.4	3.9	1.7	1.7

※就労状況とは、B-問10の回答を基にクロス集計した。(以下同じ)

【就労継続見込み別】※

介護者の就労継続見込み別にみると、他に比べ、『就労を続けていくのは難しい』と答えた方は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」「食事の準備（調理等）」「服薬」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等
全体	119	9.2	6.7	11.8	19.3	10.9	21.0	13.4	63.9
就労を続けていける	87	9.2	8.0	12.6	23.0	11.5	19.5	13.8	66.7
就労を続けていくのは難しい	18	16.7	5.6	16.7	16.7	16.7	38.9	16.7	77.8

区分	服薬	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	洗濯、買い物等	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
全体	35.3	17.6	4.2	52.1	77.3	55.5	8.4	—	2.5	
就労を続けていける	34.5	16.1	4.6	54.0	79.3	55.2	8.0	—	1.1	
就労を続けていくのは難しい	66.7	38.9	5.6	77.8	100.0	83.3	—	—	—	

※就労継続見込みとは、B-問13の回答を基にクロス集計した。(以下同じ)

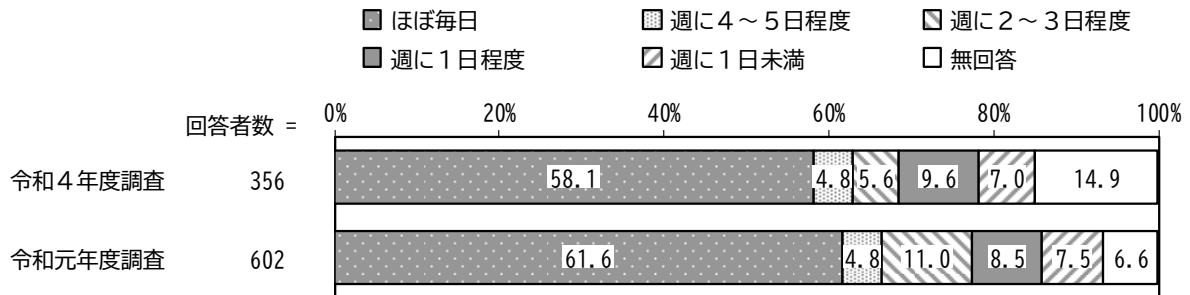
『就労を続けていける』は「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」の合計

『就労を続けていくのは難しい』は「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」の合計

B-問 7 (1) 介護の日数について、お教えてください。(○はひとつ)

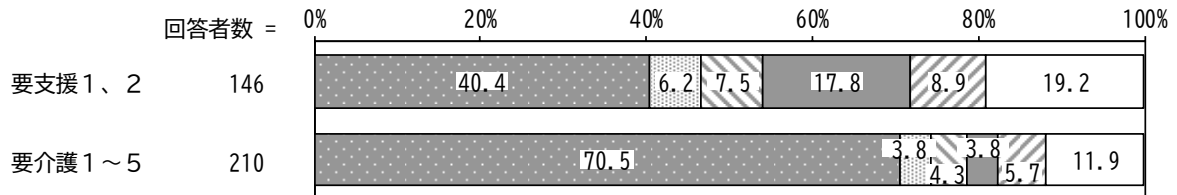
「ほぼ毎日」の割合が 58.1%と最も高くなっています。

令和元年度調査と比較すると、「週に 2~3 日程度」の割合が 5.4 ポイント減少しています。



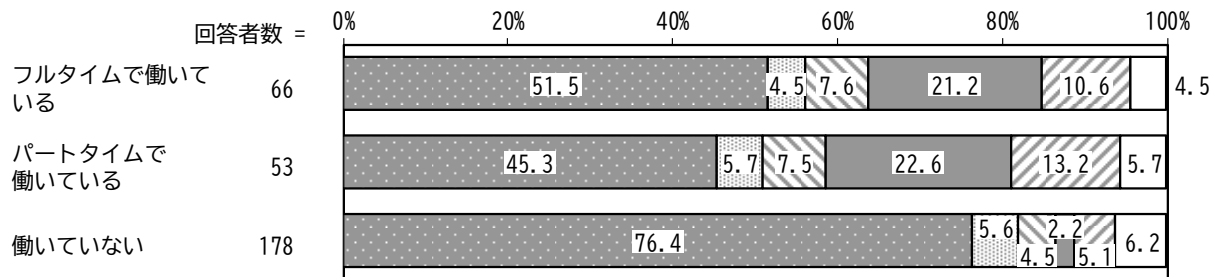
【認定状況別】

認定状況別にみると、要介護 1~5 に比べ、要支援 1、2 で「週に 1 日程度」の割合が高くなっています。一方、要支援 1、2 に比べ、要介護 1~5 で「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。



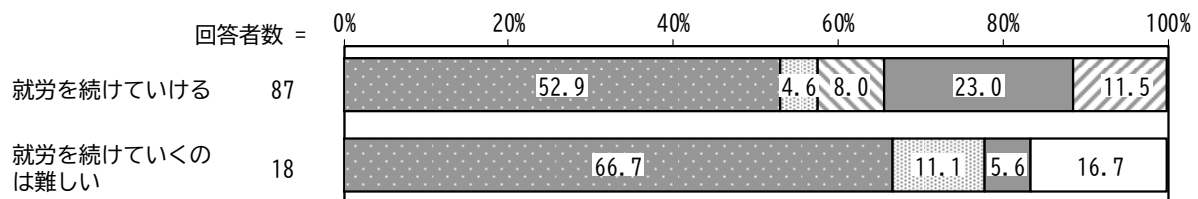
【就労状況別】

介護者の就労状況別にみると、働いていない方は「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。



【就労継続見込み別】

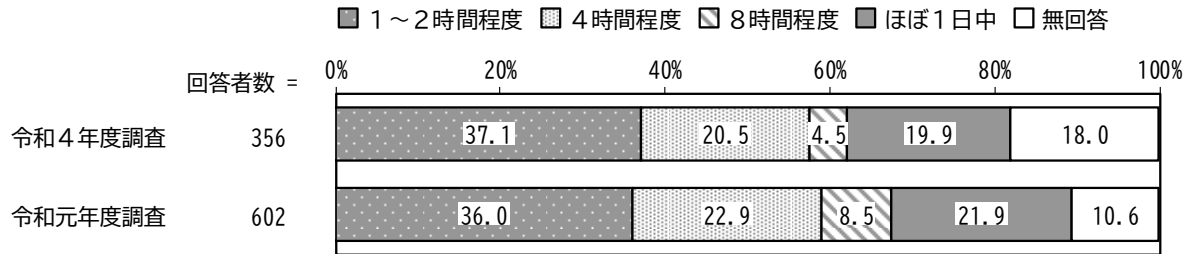
介護者の就労継続見込み別にみると、『就労を続けていける』に比べ、『就労を続けていくのは難しい』で「ほぼ毎日」の割合が高く、「週に 1 日程度」の割合が低くなっています。



B-問 7 (2) 1日あたりの介護の時間について、お教えてください。(○はひとつ)

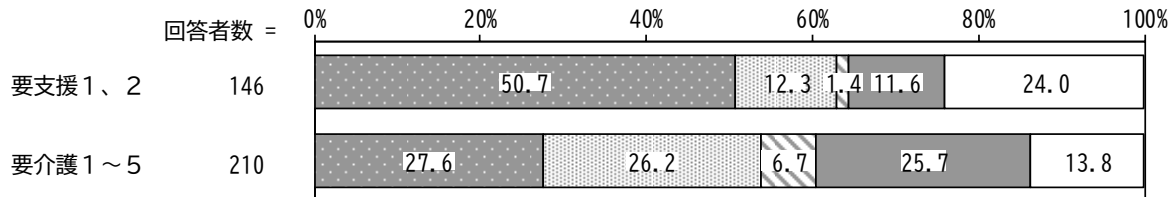
「1～2 時間程度」の割合が 37.1%と最も高く、次いで「4 時間程度」の割合が 20.5%、「ほぼ 1 日中」の割合が 19.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



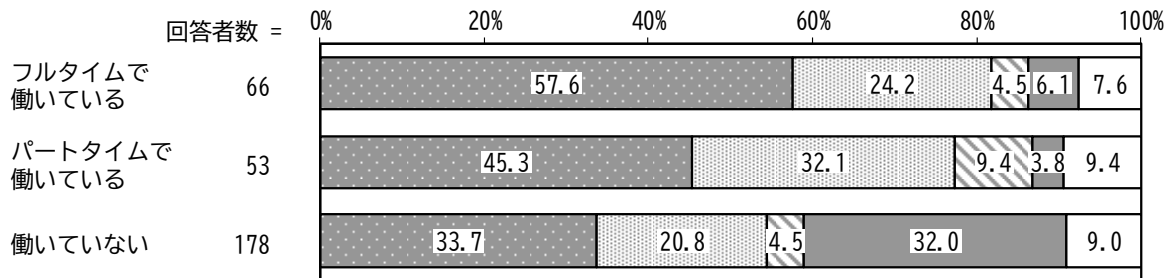
【認定状況別】

認定状況別にみると、要介護 1～5 に比べ、要支援 1、2 で「1～2 時間程度」の割合が高くなっています。一方、要支援 1、2 に比べ、要介護 1～5 で「ほぼ 1 日中」「4 時間程度」「8 時間程度」の割合が高くなっています。



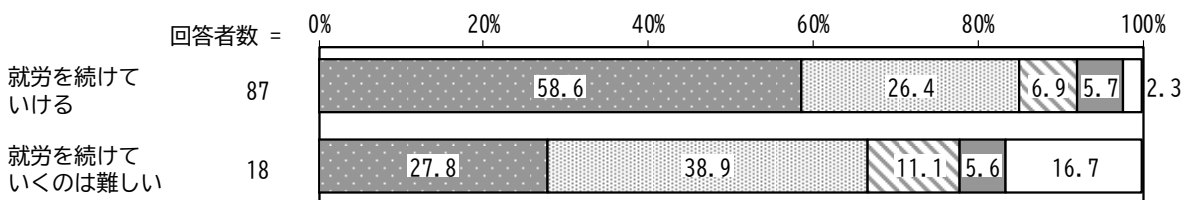
【就労状況別】

介護者の就労状況別にみると、働いていない方は「ほぼ 1 日中」の割合が高くなっています。



【就労継続見込み別】

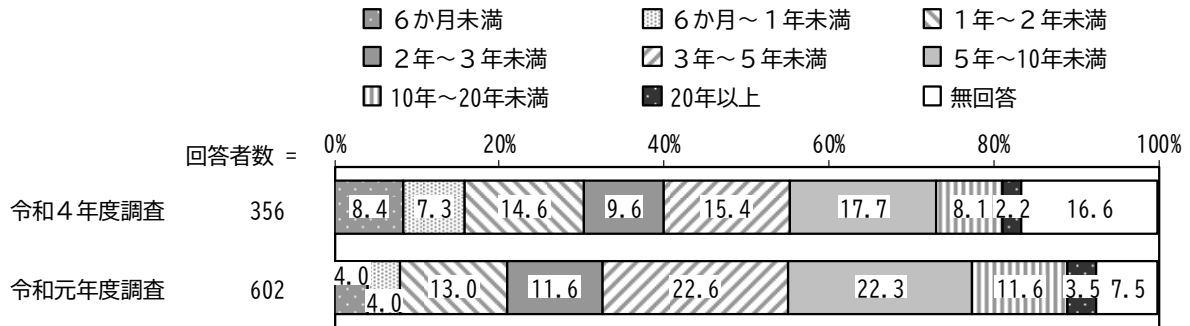
介護者の就労継続見込み別にみると、『就労を続けていける』方に比べ、『就労を続けていくのは難しい』方は「1～2 時間程度」の割合が低く、「4 時間程度」「8 時間程度」の割合が高くなっています。



B-問 8 主な介護者の方の介護期間について、お教えてください。(〇はひとつ)

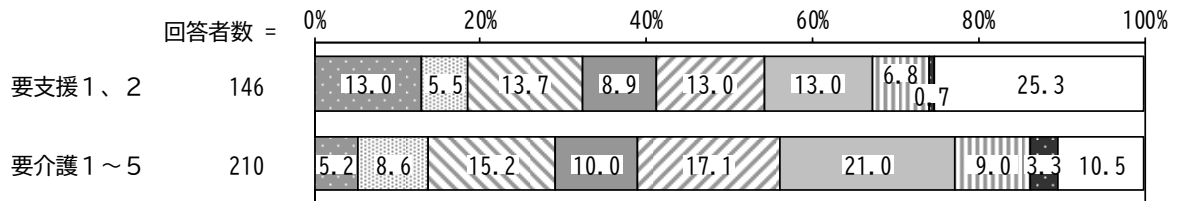
「5年～10年未満」の割合が17.7%と最も高く、次いで「3年～5年未満」の割合が15.4%、「1年～2年未満」の割合が14.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、2年未満の割合の合計が9.4ポイント高くなっています。



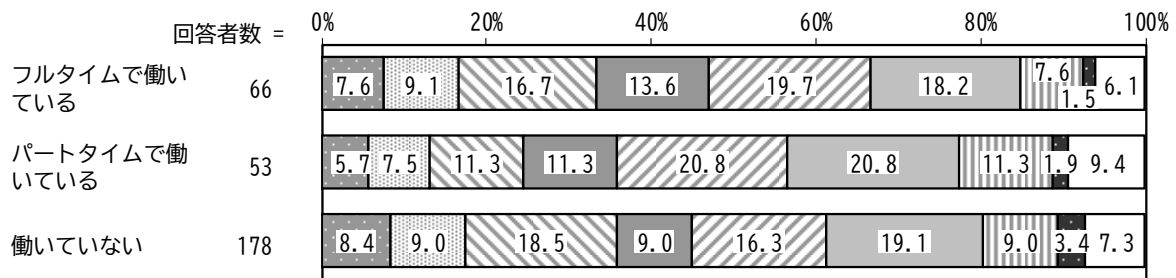
【認定状況別】

認定状況別にみると、要支援1、2で「1年～2年未満」の割合が13.7%で最も高く、要介護1～5で「5年～10年未満」の割合が21.0%で最も高くなっています。



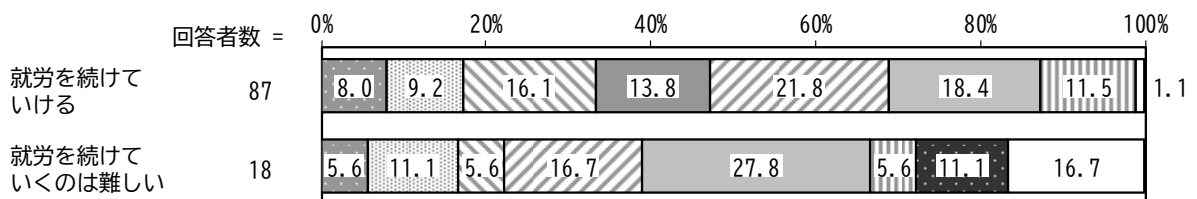
【就労状況別】

介護者の就労状況別にみると、大きな差はみられません。



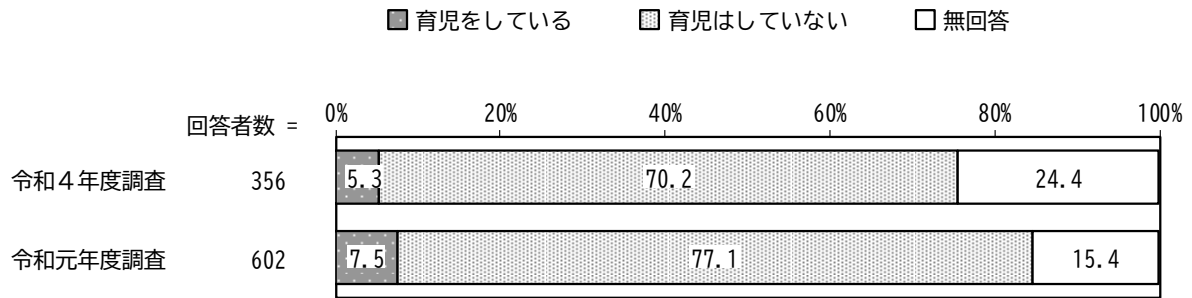
【就労継続見込み別】

介護者の就労継続見込み別にみると、『就労を続けていける』方に比べ、『就労を続けていくのは難しい』方で「5年～10年未満」「20年以上」の割合が高くなっています。



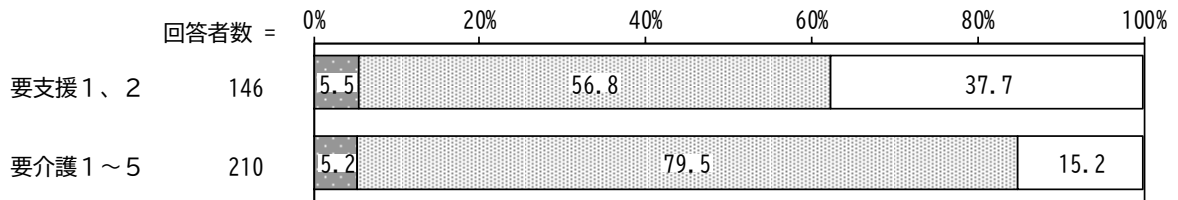
B-問9 主な介護者の方の育児状況について、お教えてください。(○はひとつ)

「育児をしている」の割合が5.3%、「育児はしていない」の割合が70.2%となっています。令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



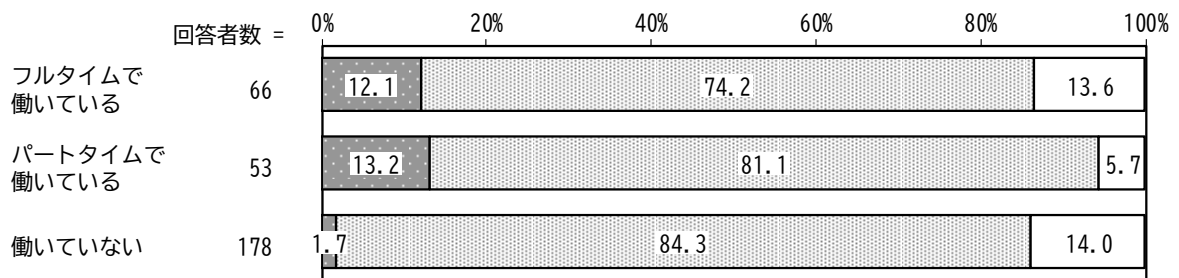
【認定状況別】

認定状況別にみると、要支援1、2に比べ、要介護1～5で「育児はしていない」の割合が高くなっています。



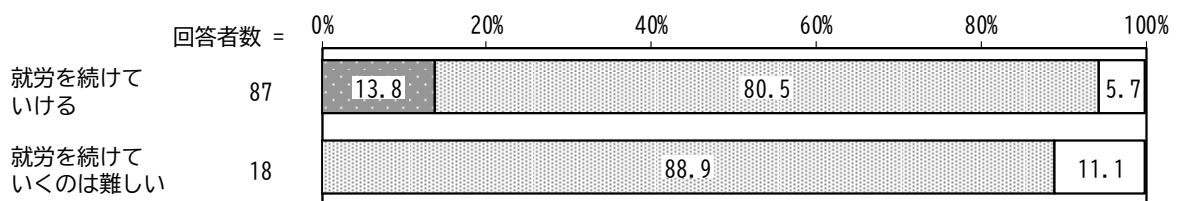
【就労状況別】

介護者の就労状況別にみると、働いていない方は「育児をしている」の割合が低くなっています。



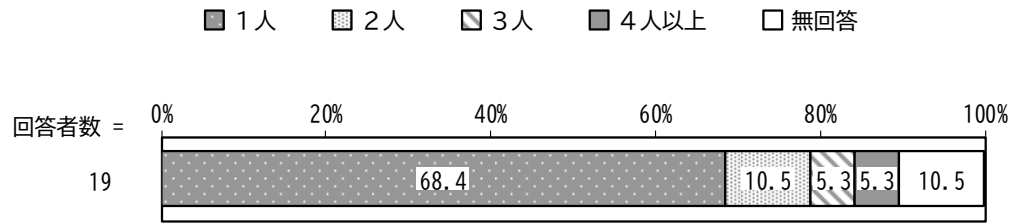
【就労継続見込み別】

介護者の就労継続見込み別にみると、『就労を続けていける』方に比べ、『就労を続けていくのは難しい』方で「育児はしていない」の割合が高くなっています。



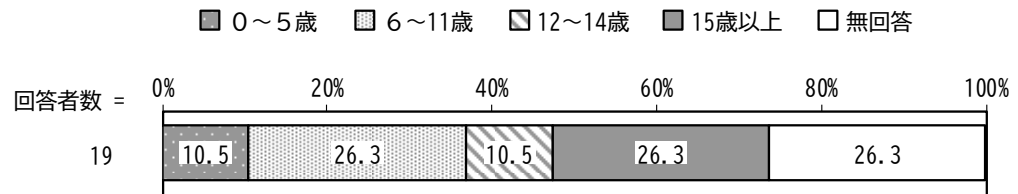
(子どもの人数)

「1人」の割合が68.4%と最も高く、次いで「2人」の割合が10.5%となっています。



(末子の年齢)

「6～11歳」、「15歳以上」の割合が26.3%と最も高く、次いで「0～5歳」、「12～14歳」の割合が10.5%となっています。

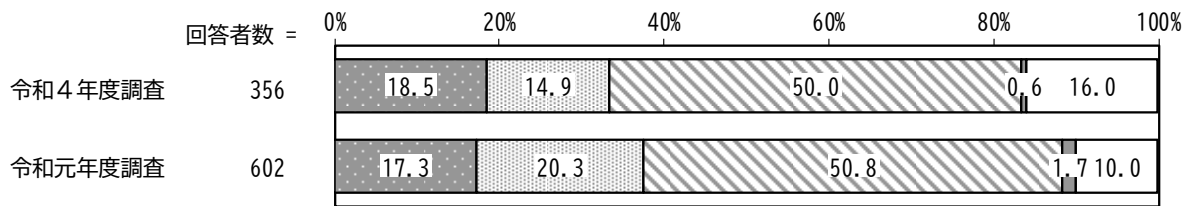


B-問 10 主な介護者の方の現在の勤務形態について、お教えてください。(○はひとつ)

「働いていない」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」の割合が 18.5%、「パートタイムで働いている」の割合が 14.9%となっています。

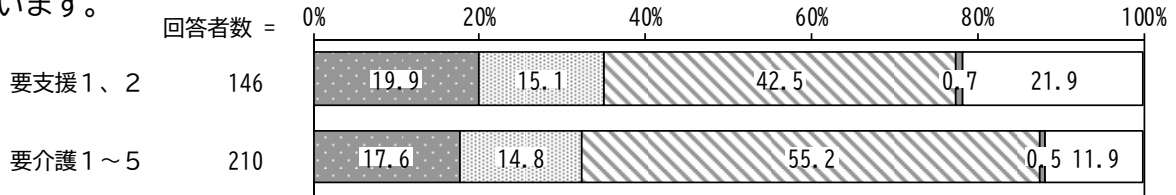
令和元年度調査と比較すると、「パートタイムで働いている」の割合が 5.4 ポイント減少しています。

- フルタイムで働いている
- ▨ パートタイムで働いている
- ▧ 働いていない
- 主な介護者に確認しないと、わからない
- 無回答



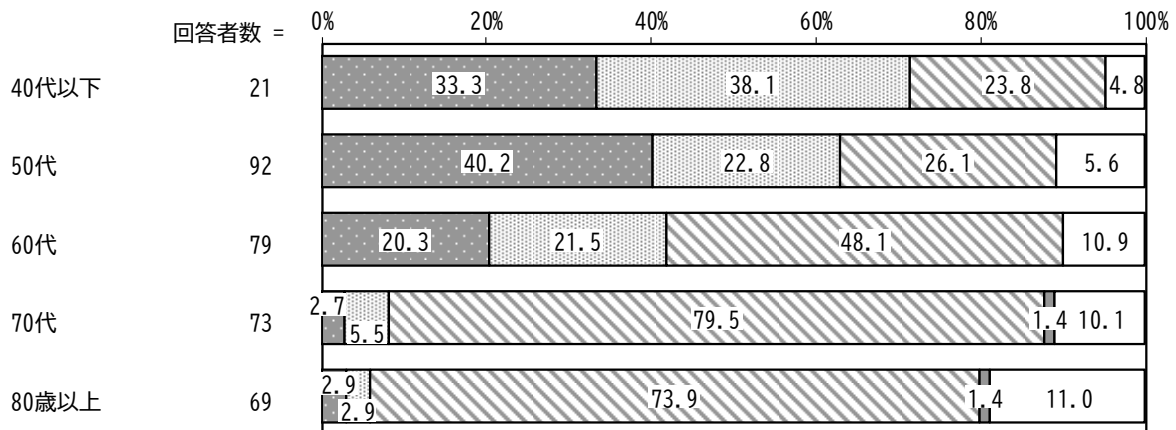
【認定状況別】

認定状況別にみると、要支援 1、2 に比べ、要介護 1～5 で「働いていない」の割合が高くなっています。



【介護者の年齢別】

介護者の年齢別にみると、年齢が上がるにつれ「働いていない」の割合が高くなっています。また、60代では「フルタイムで働いている」と「パートタイムで働いている」の合計が 41.8%となっています。

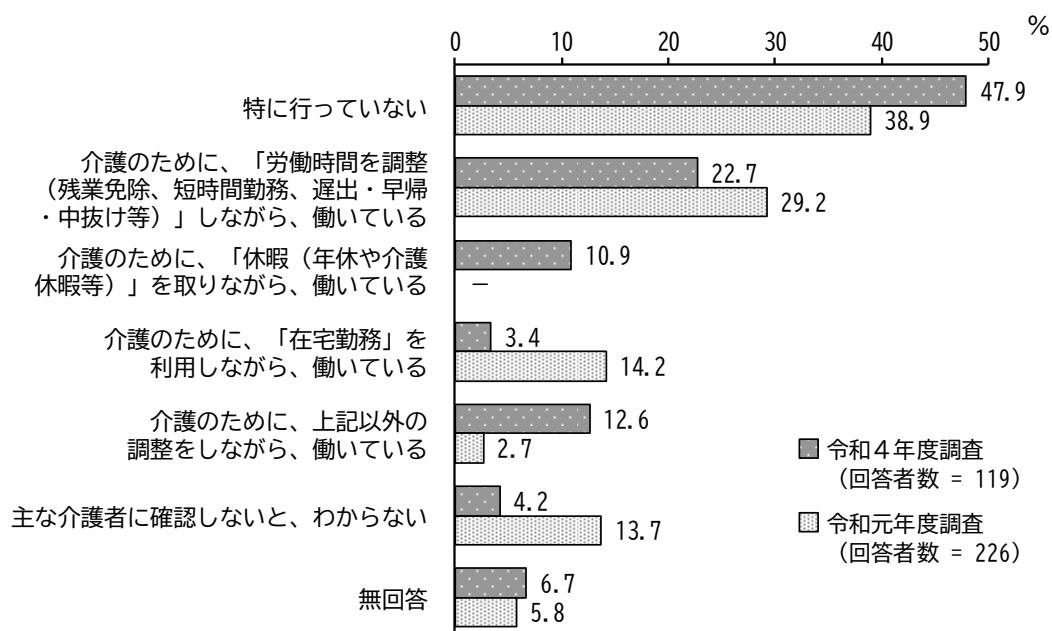


B-問 10 で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方におうかがいします。

B-問 11 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。(○はい/×いいえ)

「特に行っていない」の割合が 47.9%と最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が 22.7%と続いています。

令和元年度調査と比較すると、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 6.5 ポイント減少し、「特に行っていない」が 9.0 ポイント増加しています。



【認定状況別】

認定状況別にみると、要介護1、2に比べ、要介護1～5で「特に行っていない」の割合が低く、また、その他の項目では「主な介護者に確認しないと、わからない」以外の項目を除きすべての割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている	介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、左記以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	119	47.9	22.7	10.9	3.4	12.6	4.2	6.7
要支援1、2	51	58.8	13.7	9.8	2.0	3.9	5.9	9.8
要介護1～5	68	39.7	29.4	11.8	4.4	19.1	2.9	4.4

【就労状況別】

介護者の就労状況別にみると、他に比べ、パートタイムで働いている方は「介護のために、左記以外の調整をしながら、働いている」の割合がやや高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている	介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、左記以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	119	47.9	22.7	10.9	3.4	12.6	4.2	6.7
フルタイムで働いている	66	51.5	22.7	13.6	4.5	7.6	6.1	4.5
パートタイムで働いている	53	43.4	22.6	7.5	1.9	18.9	1.9	9.4

【就労継続見込み別】

介護者の就労継続見込み別にみると、『就労を続けていける』方に比べ、『就労を続けていくのは難しい』方は、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」と「介護のために、左記以外の調整をしながら、働いている」の割合が高くなっています。

単位：％

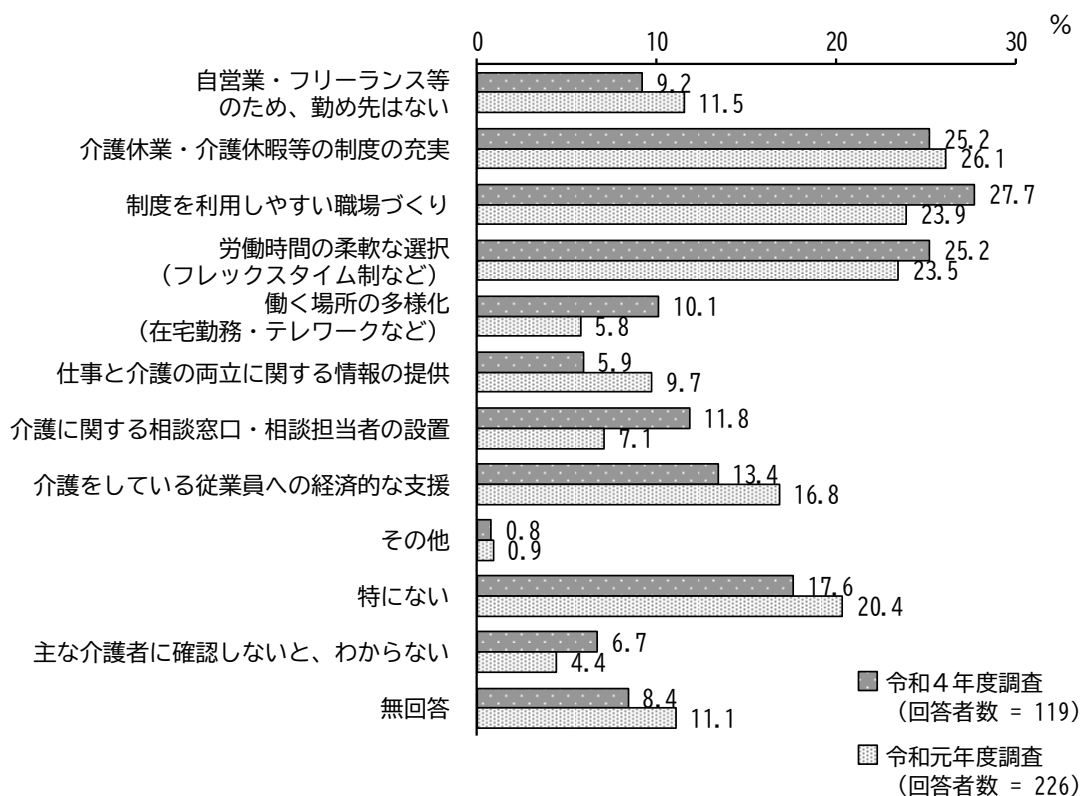
区分	回答者数(件)	特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、左記以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全 体	119	47.9	22.7	10.9	3.4	12.6	4.2	6.7
就労を続けていける	87	51.7	24.1	11.5	4.6	10.3	2.3	3.4
就労を続けていくのは難しい	18	33.3	33.3	16.7	—	27.8	5.6	—

B-問 10で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方におうかがいします。

B-問 12 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(○は3つまで)

「制度を利用しやすい職場づくり」の割合が27.7%と最も高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」の割合が25.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【認定状況別】

認定状況別にみると、要支援 1、2 では「制度を利用しやすい職場づくり」「特にない」の割合が高くなっています。要介護 1～5 では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「制度を利用しやすい職場づくり」「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	119	9.2	25.2	27.7	25.2	10.1	5.9	11.8	13.4	0.8	17.6	6.7	8.4
要支援 1、2	51	3.9	13.7	23.5	21.6	5.9	5.9	13.7	9.8	—	23.5	13.7	11.8
要介護 1～5	68	13.2	33.8	30.9	27.9	13.2	5.9	10.3	16.2	1.5	13.2	1.5	5.9

【就労状況別】

介護者の就労状況別にみると、フルタイムで働いている方は「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	119	9.2	25.2	27.7	25.2	10.1	5.9	11.8	13.4	0.8	17.6	6.7	8.4
フルタイムで働いている	66	10.6	33.3	31.8	28.8	9.1	4.5	15.2	16.7	—	13.6	6.1	6.1
パートタイムで働いている	53	7.5	15.1	22.6	20.8	11.3	7.5	7.5	9.4	1.9	22.6	7.5	11.3

【就労継続見込み別】

介護者の就労継続見込み別にみると、『就労を続けていける』方では、「制度を利用しやすい職場づくり」の割合が高くなっています。『就労を続けていくのは難しい』方では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が高くなっています。

単位：%

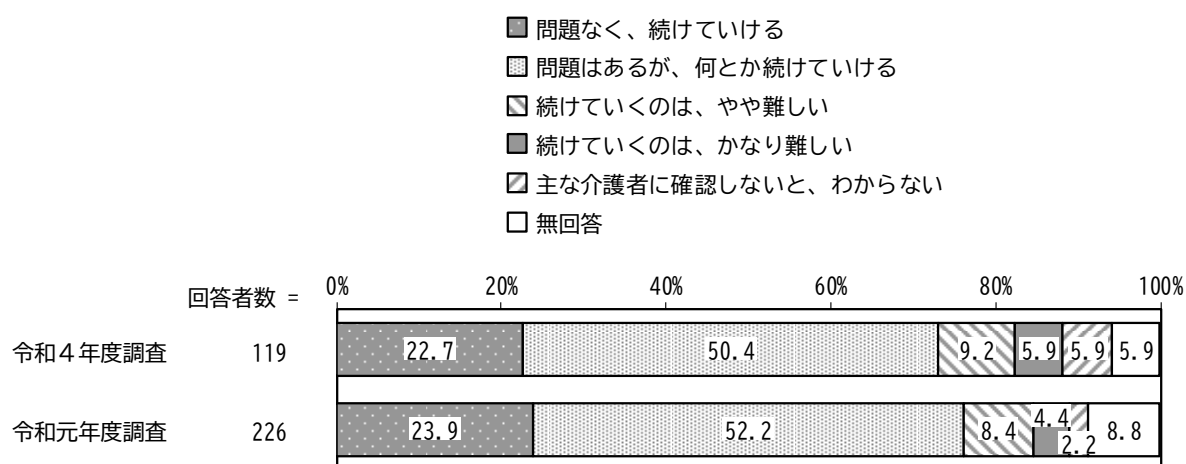
区分	回答者数(件)	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)	働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	119	9.2	25.2	27.7	25.2	10.1	5.9	11.8	13.4	0.8	17.6	6.7	8.4
就労を続けていける	87	11.5	24.1	32.2	27.6	12.6	8.0	11.5	14.9	-	18.4	4.6	2.3
就労を続けていくのは難しい	18	5.6	38.9	22.2	27.8	5.6	-	16.7	16.7	5.6	16.7	5.6	11.1

B-問 10 で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方におうかがいします。

B-問 13 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。
(○はひとつ)

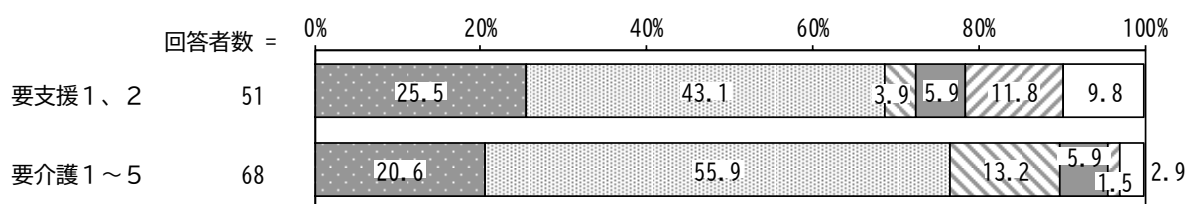
「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が 50.4%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」の割合が 22.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



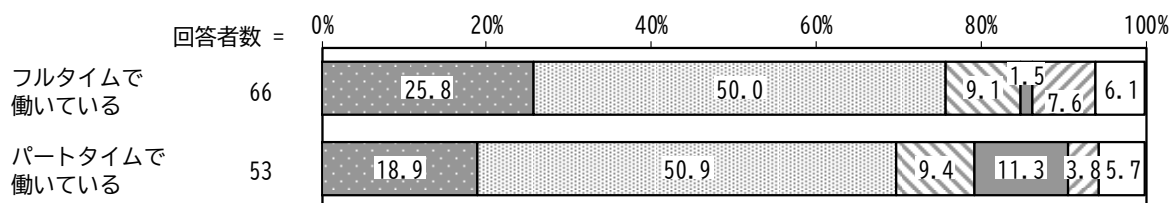
【認定状況別】

認定状況別にみると要支援 1、2 に比べ、要介護 1～5 で「問題はあるが、何とか続けていける」「続けていくのは、やや難しい」の割合が高くなっています。



【就労状況別】

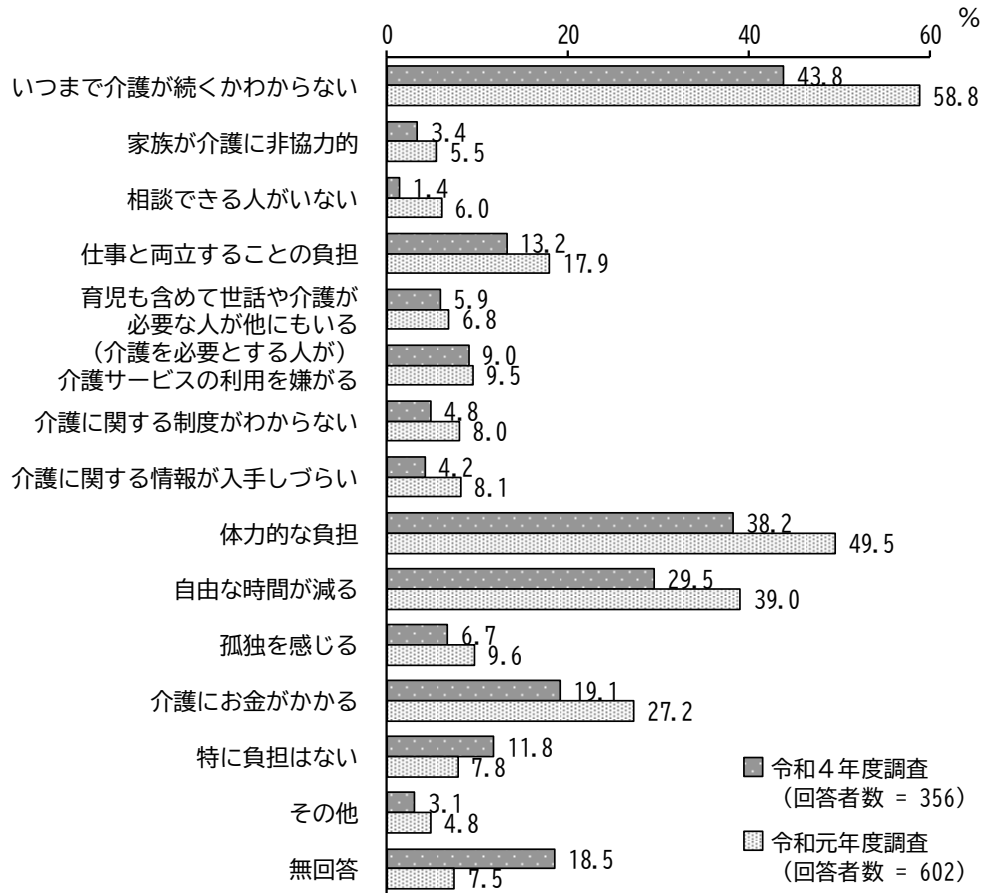
介護者の就労状況別にみると、パートタイムで働いている方で「続けていくのは、かなり難しい」の割合が高くなっています。



B-問 14 介護に対して負担に感じることは何ですか。(〇はいくつでも)

「いつまで介護が続くかわからない」の割合が43.8%と最も高く、次いで「体力的な負担」の割合が38.2%、「自由な時間が減る」の割合が29.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「特に負担はない」以外の項目の割合が減少しています。特に「いつまで介護が続くかわからない」では、令和元年度調査(58.8%)よりも15.0ポイント減少しています。



【認定状況別】

認定状況別にみると、どちらの区分でも「いつまで介護が続くかわからない」「体力的な負担」「自由な時間が減る」の順に割合が高くなっており、要介護1~5の方がより高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	いつまで介護が続くかわからない	家族が介護に非協力的	相談できる人がいない	仕事と両立することの負担	育児も含めて世話や介護が必要な人が他にもいる	サービスを利用を嫌がる (介護を必要とする人が)	介護に関する制度がわからない	介護に関する情報が入手しづらい	体力的な負担	自由な時間が減る	孤独を感じる	介護にお金がかかる	特に負担はない	その他	無回答
全体	356	43.8	3.4	1.4	13.2	5.9	9.0	4.8	4.2	38.2	29.5	6.7	19.1	11.8	3.1	18.5
要支援1、2	146	26.7	1.4	2.1	9.6	2.1	3.4	4.8	2.7	26.0	20.5	5.5	13.0	17.1	1.4	30.1

要介護 1~5	210	55.7	4.8	1.0	15.7	8.6	12.9	4.8	5.2	46.7	35.7	7.6	23.3	8.1	4.3	10.5
------------	-----	------	-----	-----	------	-----	------	-----	-----	------	------	-----	------	-----	-----	------

【就労状況別】

介護者の就労状況別にみると、パートタイムで働いている方は「自由な時間が減る」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	いつまで介護が続くかわからない	家族が介護に非協力的	相談できる人がいない	仕事と両立することの負担	育児も含めて世話や介護が必要な人が他にもいる	(介護を必要とする人が)介護サービスの利用を嫌がる	介護に関する制度がわからない
全 体	356	43.8	3.4	1.4	13.2	5.9	9.0	4.8
フルタイムで働いている	66	39.4	3.0	3.0	36.4	13.6	10.6	9.1
パートタイムで働いている	53	45.3	—	—	30.2	5.7	15.1	9.4
働いていない	178	56.2	5.6	1.7	2.8	5.1	9.6	3.4

区分	介護に関する情報が入手しづらい	体力的な負担	自由な時間が減る	孤独を感じる	介護にお金がかかる	特に負担はない	その他	無回答
全 体	4.2	38.2	29.5	6.7	19.1	11.8	3.1	18.5
フルタイムで働いている	4.5	33.3	31.8	—	22.7	12.1	1.5	7.6
パートタイムで働いている	3.8	35.8	49.1	7.5	17.0	7.5	7.5	11.3
働いていない	5.6	47.2	30.3	10.1	21.9	14.0	3.4	9.0

【就労継続見込み別】

介護者の就労継続見込み別にみると、『就労を続けていくのは難しい』では「いつまで介護が続くかわからない」「仕事と両立することの負担」「自由な時間が減る」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	いつまで介護が続くかわからない	家族が介護に非協力的	相談できる人がいない	仕事と両立することの負担	育児も含めて世話や介護が必要な人が他にもいる	(介護を必要とする人が)介護サービスの利用を嫌がる	介護に関する制度がわからない
全 体	119	42.0	1.7	1.7	33.6	10.1	12.6	9.2
就労を続けていける	87	42.5	2.3	2.3	33.3	11.5	13.8	10.3
就労を続けていくのは難しい	18	55.6	—	—	55.6	11.1	16.7	11.1

区分	介護に関する情報が入手しづらい	体力的な負担	自由な時間が減る	孤独を感じる	介護にお金がかかる	特に負担はない	その他	無回答
全 体	4.2	34.5	39.5	3.4	20.2	10.1	4.2	9.2
就労を続けていける	4.6	33.3	41.4	3.4	20.7	11.5	4.6	4.6
就労を続けていくのは難しい	5.6	50.0	55.6	—	33.3	—	5.6	5.6

【介護者の年齢別】

介護者の年齢別にみると、40代以下と70代で「体力的な負担」の割合が高くなっています。

単位：%

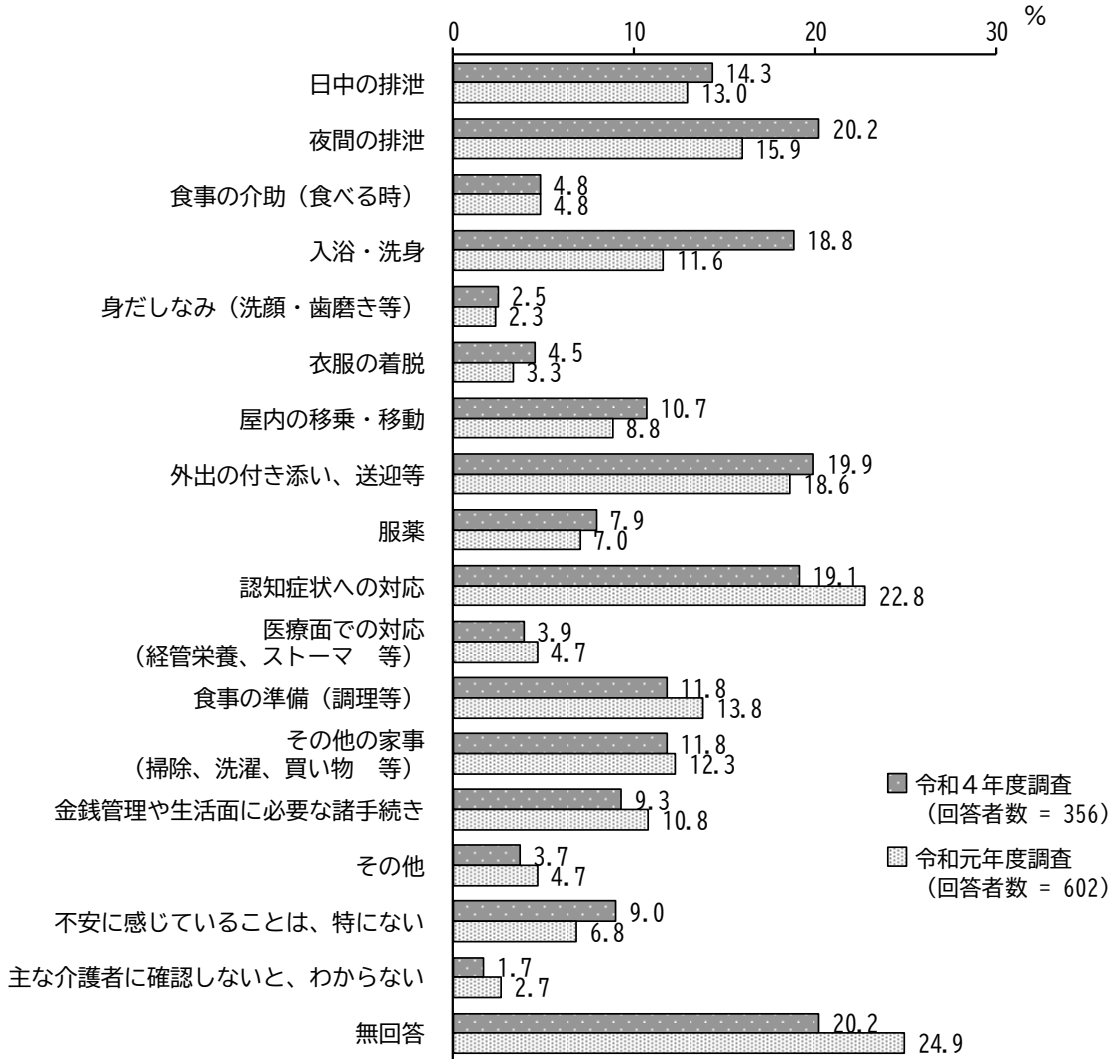
区分	回答者数(件)	いつまで介護が続くかわからない	家族が介護に非協力的	相談できる人がいない	仕事と両立することの負担	育児も含めて世話や介護が必要な人が他にもいる	(介護を必要とする人が)介護サービスの利用を嫌がる	介護に関する制度がわからない
全 体	356	43.8	3.4	1.4	13.2	5.9	9.0	4.8
40代以下	21	38.1	4.8	—	38.1	19.0	9.5	9.5
50代	92	42.4	4.3	3.3	25.0	12.0	14.1	5.4
60代	79	41.8	3.8	—	13.9	3.8	10.1	2.5
70代	73	47.9	1.4	1.4	5.5	2.7	5.5	5.5
80歳以上	69	56.5	4.3	1.4	1.4	1.4	5.8	4.3

区分	介護に関する情報が入手しづらい	体力的な負担	自由な時間が減る	孤独を感じる	介護にお金がかかる	特に負担はない	その他	無回答
全 体	4.2	38.2	29.5	6.7	19.1	11.8	3.1	18.5
40代以下	4.8	42.9	33.3	—	23.8	4.8	4.8	14.3
50代	3.3	31.5	37.0	6.5	17.4	9.8	4.3	16.3
60代	2.5	26.6	38.0	6.3	21.5	21.5	1.3	15.2
70代	2.7	50.7	23.3	8.2	12.3	13.7	2.7	12.3
80歳以上	8.7	55.1	21.7	7.2	27.5	4.3	4.3	17.4

B-問 15 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、教えてください（現状で行っているか否かは問いません）。（〇は3つまで）

「夜間の排泄」の割合が20.2%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」の割合が19.9%、「認知症状への対応」の割合が19.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「入浴・洗身」の割合が7.2ポイント増加しています。



【認定状況別】

認定状況別にみると、要支援1、2で「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」の割合が最も高く、要介護1～5で「夜間の排泄」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、 送迎等	服薬
全 体	356	14.3	20.2	4.8	18.8	2.5	4.5	10.7	19.9	7.9
要支援1、2	146	8.9	11.6	3.4	14.4	2.7	2.1	4.8	13.7	5.5
要介護1～5	210	18.1	26.2	5.7	21.9	2.4	6.2	14.8	24.3	9.5

区分	認知症状への対応	医療面での対応(経管 栄養、ストーマ 等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、 洗濯、買い物 等)	金銭管理や生活面に 必要な諸手続き	その他	不安に感じている ことは、特 にない	主な介護者に確認 しないと、わ からない	無回答
全 体	19.1	3.9	11.8	11.8	9.3	3.7	9.0	1.7	20.2
要支援1、2	11.6	5.5	11.6	15.1	10.3	4.1	11.6	2.1	28.1
要介護1～5	24.3	2.9	11.9	9.5	8.6	3.3	7.1	1.4	14.8

【就労状況別】

介護者の就労状況別にみると、他に比べ、パートタイムで働いている方は「認知症状への対応」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
全体	356	14.3	20.2	4.8	18.8	2.5	4.5	10.7	19.9	7.9
フルタイムで働いている	66	15.2	25.8	7.6	24.2	1.5	1.5	13.6	24.2	6.1
パートタイムで働いている	53	18.9	20.8	3.8	18.9	1.9	7.5	9.4	20.8	5.7
働いていない	178	15.7	22.5	5.1	19.1	2.8	5.6	11.2	22.5	10.1

区分	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	19.1	3.9	11.8	11.8	9.3	3.7	9.0	1.7	20.2
フルタイムで働いている	19.7	4.5	7.6	9.1	10.6	4.5	12.1	3.0	10.6
パートタイムで働いている	26.4	7.5	11.3	9.4	7.5	5.7	11.3	1.9	11.3
働いていない	20.8	3.9	16.9	15.2	11.8	3.9	8.4	1.7	10.7

【就労継続見込み別】

介護者の就労継続見込み別にみると、『就労を続けていける』方では、「夜間の排泄」「入浴・洗身」「日中の排泄」「認知症状への対応」の割合が高くなっています。『就労を続けていくのは難しい』方では、「認知症状への対応」「外出の付き添い、送迎等」「入浴・洗身」の割合が高くなっています。

単位：％

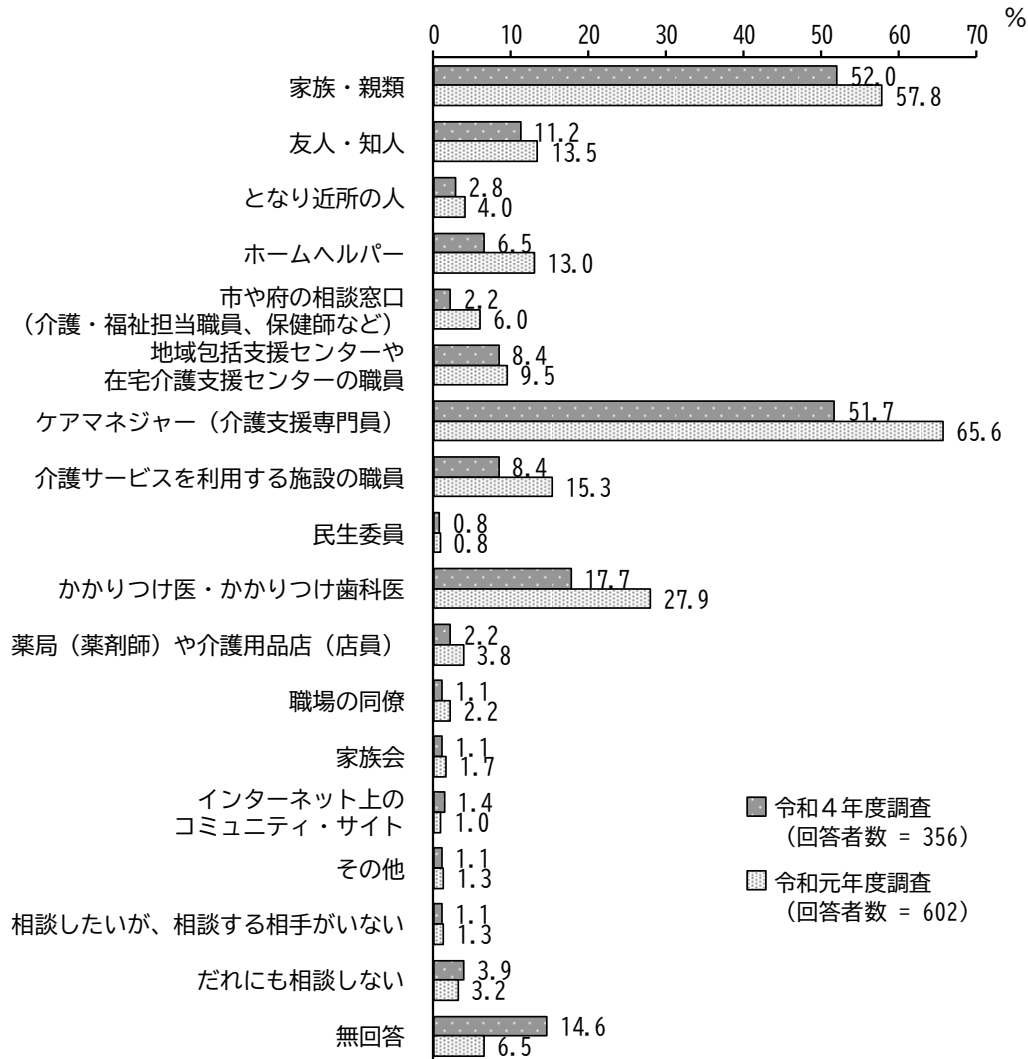
区分	回答者数(件)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
全 体	119	16.8	23.5	5.9	21.8	1.7	4.2	11.8	22.7	5.9
就労を続けていける	87	20.7	28.7	6.9	25.3	2.3	3.4	14.9	19.5	4.6
就労を続けていくのは難しい	18	11.1	16.7	5.6	22.2	—	11.1	5.6	44.4	16.7

区分	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全 体	22.7	5.9	9.2	9.2	9.2	5.0	11.8	2.5	10.9
就労を続けていける	20.7	5.7	9.2	8.0	10.3	4.6	14.9	—	5.7
就労を続けていくのは難しい	50.0	11.1	16.7	16.7	11.1	11.1	—	5.6	—

B-問 16 介護に困ったときだれに相談していますか。(○はいくつでも)

「家族・親類」の割合が 52.0%と最も高く、次いで「ケアマネジャー（介護支援専門員）」の割合が 51.7%、「かかりつけ医・かかりつけ歯科医」の割合が 17.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「ケアマネジャー（介護支援専門員）」の割合が 13.9 ポイント減少し、「かかりつけ医・かかりつけ歯科医」の割合が 10.2 ポイント減少しています。



【認定状況別】

認定状況別にみると、要支援1、2で「家族・親類」の割合が最も高く、要介護1～5で「ケアマネジャー（介護支援専門員）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	家族・親類	友人・知人	となり近所の人	ホームヘルパー	市や府の相談窓口(介護・福祉担当職員、保健師など)	地域包括支援センターや在宅介護支援センターの職員	ケアマネジャー(介護支援専門員)	介護サービスを利用する施設の職員	民生委員
全体	356	52.0	11.2	2.8	6.5	2.2	8.4	51.7	8.4	0.8
要支援1、2	146	49.3	11.0	4.1	2.7	0.7	9.6	39.7	6.2	1.4
要介護1～5	210	53.8	11.4	1.9	9.0	3.3	7.6	60.0	10.0	0.5

区分	かかりつけ医・かかりつけ歯科医	薬局(薬剤師)や介護用品店(店員)	職場の同僚	家族会	インターネット上のコミュニティ・サイト	その他	相談したいが、相談する相手がいない	だれにも相談しない	無回答
全体	17.7	2.2	1.1	1.1	1.4	1.1	1.1	3.9	14.6
要支援1、2	11.0	1.4	—	1.4	1.4	—	1.4	2.7	23.3
要介護1～5	22.4	2.9	1.9	1.0	1.4	1.9	1.0	4.8	8.6

【就労状況別】

介護者の就労状況別にみると、他に比べ、フルタイムで働いている方とパートタイムで働いている方は「家族・親類」の割合が、働いていない方は「ケアマネジャー（介護支援専門員）」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家族・親類	友人・知人	となり近所の人	ホームヘルパー	市や府の相談窓口(介護・福祉担当職員、保健師など)	地域包括支援センターや在宅介護支援センターの職員	ケアマネジャー(介護支援専門員)	介護サービスを利用する施設の職員	民生委員
全体	356	52.0	11.2	2.8	6.5	2.2	8.4	51.7	8.4	0.8
フルタイムで働いている	66	54.5	18.2	3.0	6.1	1.5	9.1	51.5	3.0	—
パートタイムで働いている	53	64.2	11.3	1.9	5.7	1.9	5.7	50.9	5.7	1.9
働いていない	178	57.9	11.2	3.4	7.9	3.4	10.7	58.4	11.8	1.1

区分	かかりつけ医・かかりつけ歯科医	薬局(薬剤師)や介護用品店(店員)	職場の同僚	家族会	インターネット上のコミュニティ・サイト	その他	相談したいが、相談する相手がいない	だれにも相談しない	無回答
全体	17.7	2.2	1.1	1.1	1.4	1.1	1.1	3.9	14.6
フルタイムで働いている	18.2	4.5	3.0	1.5	3.0	—	3.0	—	10.6
パートタイムで働いている	11.3	3.8	1.9	—	—	—	1.9	3.8	11.3
働いていない	22.5	1.7	0.6	1.7	1.7	2.2	0.6	5.6	5.6

【就労継続見込み別】

介護者の就労継続見込み別にみると、『就労を続けていける』方では「家族・親類」「ケアマネジャー（介護支援専門員）」「かかりつけ医・かかりつけ歯科医」の割合が高くなっています。『就労を続けていくのは難しい』方では「家族・親類」「ケアマネジャー（介護支援専門員）」「友人・知人」の割合が高くなっています。

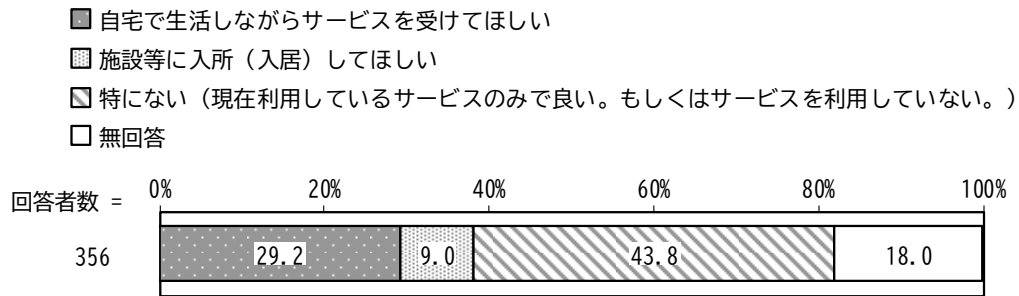
単位：％

区分	回答者数（件）	家族・親類	友人・知人	となり近所の人	ホームヘルパー	市や府の相談窓口（介護・福祉担当職員、保健師など）	地域包括支援センターや在宅介護支援センターの職員	ケアマネジャー（介護支援専門員）	介護サービスを利用する施設の職員	民生委員
全 体	119	58.8	15.1	2.5	5.9	1.7	7.6	51.3	4.2	0.8
就労を続けていける	87	60.9	16.1	3.4	8.0	1.1	5.7	54.0	5.7	—
就労を続けていくのは難しい	18	72.2	22.2	—	—	5.6	5.6	66.7	—	—

区分	かかりつけ医・かかりつけ歯科医	薬局（薬剤師）や介護用品店（店員）	職場の同僚	家族会	インターネット上のコミュニティ・サイト	その他	相談したいが、相談する相手がいない	だれにも相談しない	無回答
全 体	15.1	4.2	2.5	0.8	1.7	—	2.5	1.7	10.9
就労を続けていける	17.2	5.7	2.3	1.1	2.3	—	3.4	2.3	5.7
就労を続けていくのは難しい	11.1	—	5.6	—	—	—	—	—	—

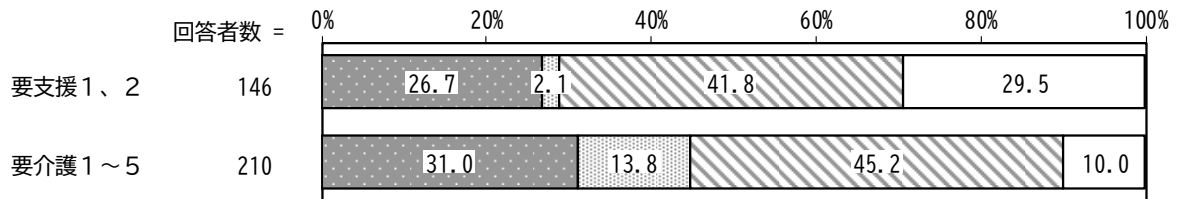
B-問 17 (1) ご本人が現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスとは別に、ご本人に1年以内に利用してほしい介護保険サービス及び介護予防サービスはありますか。(〇はひとつ)

「特にない（現在利用しているサービスのみで良い。もしくはサービスを利用していない。）」の割合が 43.8%と最も高く、次いで「自宅で生活しながらサービスを受けてほしい」の割合が 29.2%となっています。



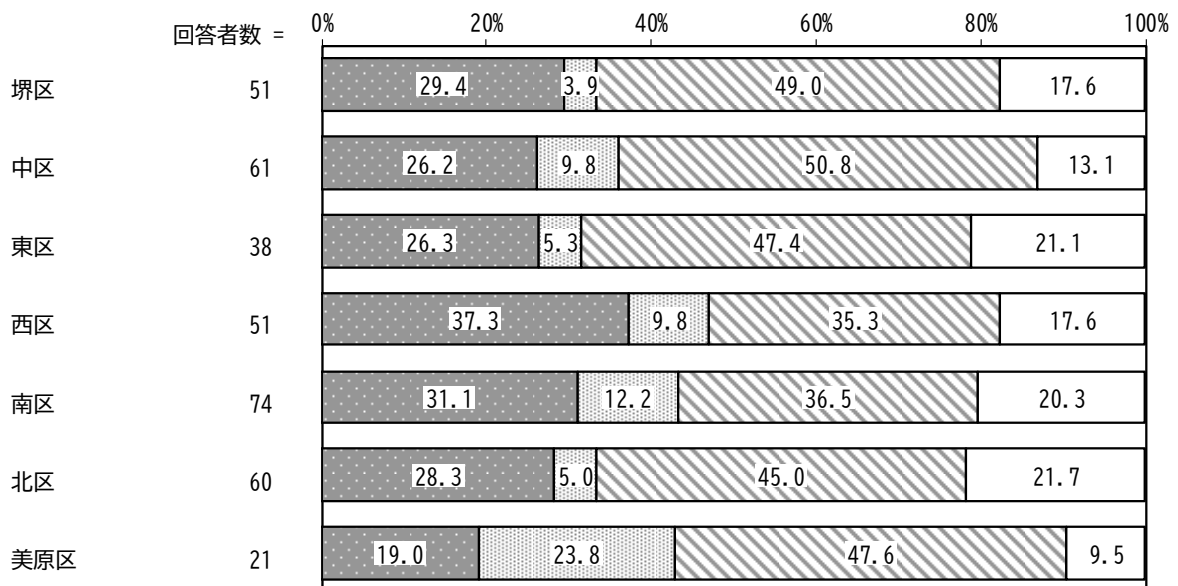
【認定状況別】

認定状況別にみると、要支援 1、2 に比べ、要介護 1～5 で「施設等に入所（入居）してほしい」の割合が高くなっています。



【区域別】

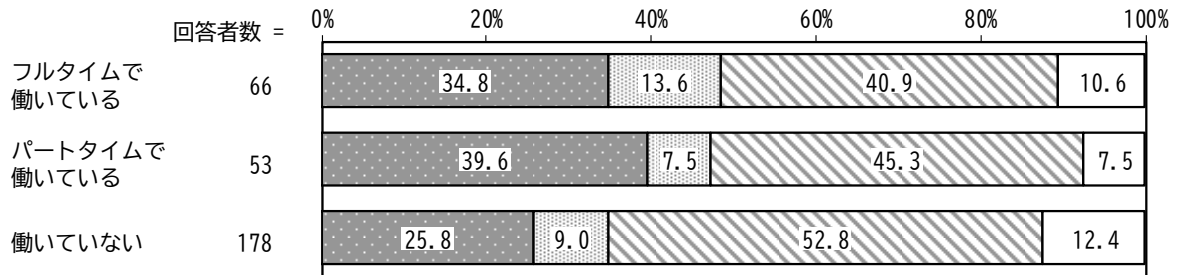
区域別にみると、他に比べ、西区で「自宅で生活しながらサービスを受けてほしい」の割合が、美原区で「施設等に入所（入居）してほしい」の割合が高くなっています。



【就労状況別】

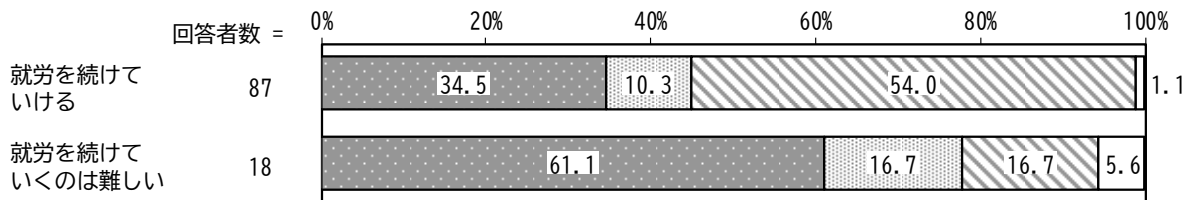
介護者の就労状況別にみると、他に比べ、働いていないで「特にない（現在利用しているサービスのみで良い。もしくはサービスを利用していない。）」の割合が高くなっています。

- 自宅で生活しながらサービスを受けてほしい
- ▨ 施設等に入所（入居）してほしい
- ▩ 特にない（現在利用しているサービスのみで良い。もしくはサービスを利用していない。）
- 無回答



【就労継続見込み別】

介護者の就労継続見込み別にみると、『就労を続けていける』方に比べ、『就労を続けていくのは難しい』方では、「特にない（現在利用しているサービスのみで良い。もしくはサービスを利用していない。）」の割合が低く、「自宅で生活しながらサービスを受けてほしい」の割合が高くなっています。

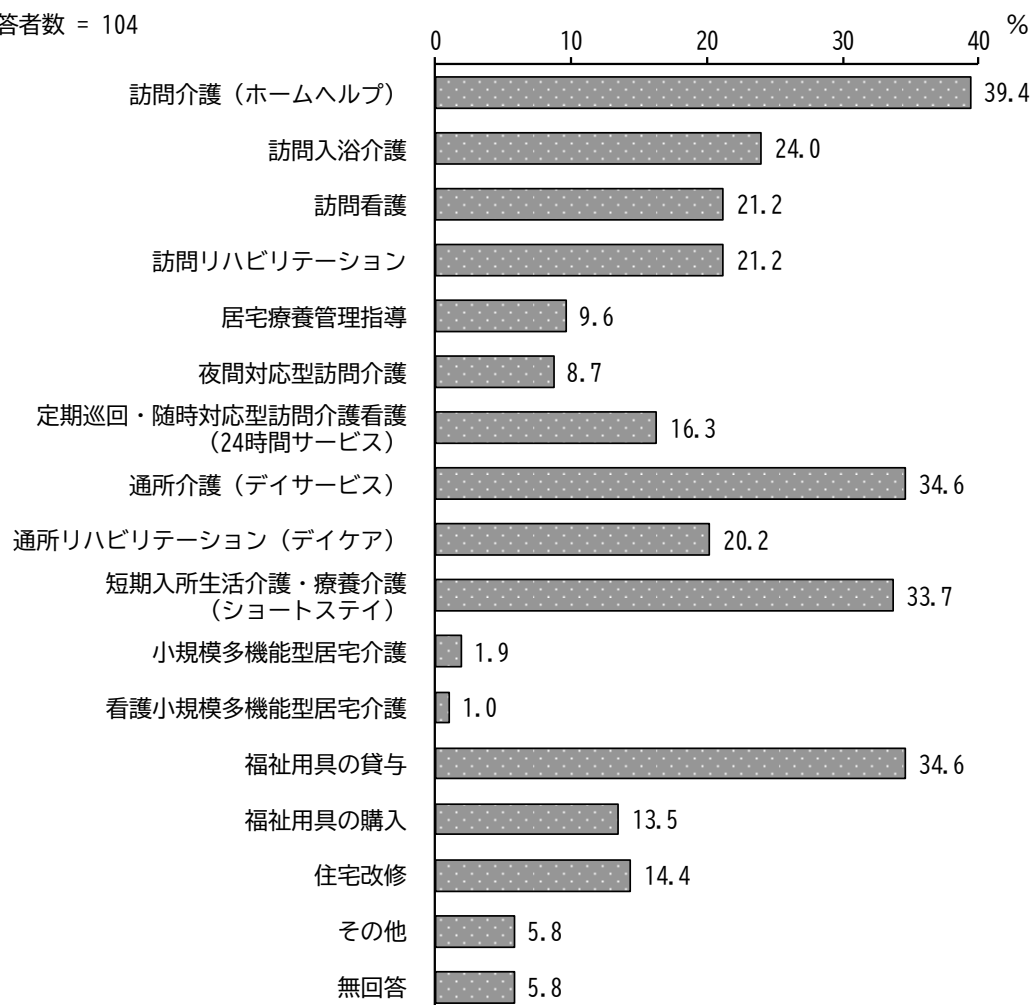


B-問 17 (1) で「自宅で生活しながらサービスを受けてほしい」と回答した方におうかがいします。

B-問 17 (2) ご本人に利用してほしいと思う居宅サービスについて教えてください。
(〇はいくつでも)

「訪問介護(ホームヘルプ)」の割合が 39.4%と最も高く、次いで「通所介護(デイサービス)」、
「福祉用具の貸与」の割合が 34.6%となっています。

回答者数 = 104



【認定状況別】

認定状況別にみると、要支援1、2で「訪問介護（ホームヘルプ）」の割合が最も高く、要介護1～5で「短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	訪問介護(ホームヘルプ)	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	夜間対応型訪問介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護(24時間サービス)	通所介護(デイサービス)
全体	104	39.4	24.0	21.2	21.2	9.6	8.7	16.3	34.6
要支援1、2	39	38.5	20.5	20.5	15.4	7.7	5.1	15.4	23.1
要介護1～5	65	40.0	26.2	21.5	24.6	10.8	10.8	16.9	41.5

区分	通所リハビリテーション(デイケア)	短期入所生活介護・療養介護(ショートステイ)	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	福祉用具の貸与	福祉用具の購入	住宅改修	その他	無回答
全体	20.2	33.7	1.9	1.0	34.6	13.5	14.4	5.8	5.8
要支援1、2	17.9	12.8	—	—	23.1	10.3	17.9	5.1	7.7
要介護1～5	21.5	46.2	3.1	1.5	41.5	15.4	12.3	6.2	4.6

【区域別】

区域別にみると、他に比べ、堺区、中区、東区で「通所介護（デイサービス）」の割合が、北区で「短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）」の割合が、美原区で「福祉用具の貸与」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	訪問介護（ホームヘルプ）	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	夜間対応型訪問介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護（24時間サービス）	通所介護（デイサービス）
全体	104	39.4	24.0	21.2	21.2	9.6	8.7	16.3	34.6
堺区	15	20.0	13.3	6.7	6.7	—	—	13.3	40.0
中区	16	43.8	18.8	25.0	25.0	—	18.8	25.0	43.8
東区	10	30.0	10.0	30.0	10.0	10.0	—	—	40.0
西区	19	47.4	26.3	26.3	31.6	15.8	10.5	21.1	21.1
南区	23	47.8	30.4	21.7	26.1	17.4	13.0	13.0	30.4
北区	17	29.4	29.4	11.8	11.8	5.9	5.9	11.8	41.2
美原区	4	75.0	50.0	50.0	50.0	25.0	—	50.0	25.0

区分	通所リハビリテーション（デイケア）	短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	福祉用具の貸与	福祉用具の購入	住宅改修	その他	無回答
全体	20.2	33.7	1.9	1.0	34.6	13.5	14.4	5.8	5.8
堺区	20.0	33.3	—	—	13.3	26.7	13.3	—	6.7
中区	25.0	37.5	—	—	31.3	6.3	6.3	6.3	—
東区	20.0	30.0	—	—	20.0	—	10.0	10.0	10.0
西区	15.8	36.8	—	—	36.8	5.3	15.8	10.5	10.5
南区	17.4	17.4	4.3	—	43.5	26.1	17.4	4.3	8.7
北区	29.4	47.1	5.9	5.9	41.2	—	11.8	—	—
美原区	—	50.0	—	—	75.0	50.0	50.0	25.0	—

【就労状況別】

介護者の就労状況別にみると、他に比べ、パートタイムで働いているで「通所介護（デイサービス）」「福祉用具の貸与」の割合が、働いていないで「通所介護（デイサービス）」の割合が高くなっています

単位：％

区分	回答者数（件）	訪問介護（ホームヘルプ）	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	夜間対応型訪問介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護（24時間サービス）	通所介護（デイサービス）
全 体	104	39.4	24.0	21.2	21.2	9.6	8.7	16.3	34.6
フルタイムで働いている	23	39.1	34.8	17.4	21.7	4.3	8.7	13.0	21.7
パートタイムで働いている	21	47.6	19.0	19.0	23.8	4.8	—	23.8	47.6
働いていない	46	41.3	23.9	23.9	19.6	15.2	13.0	15.2	41.3

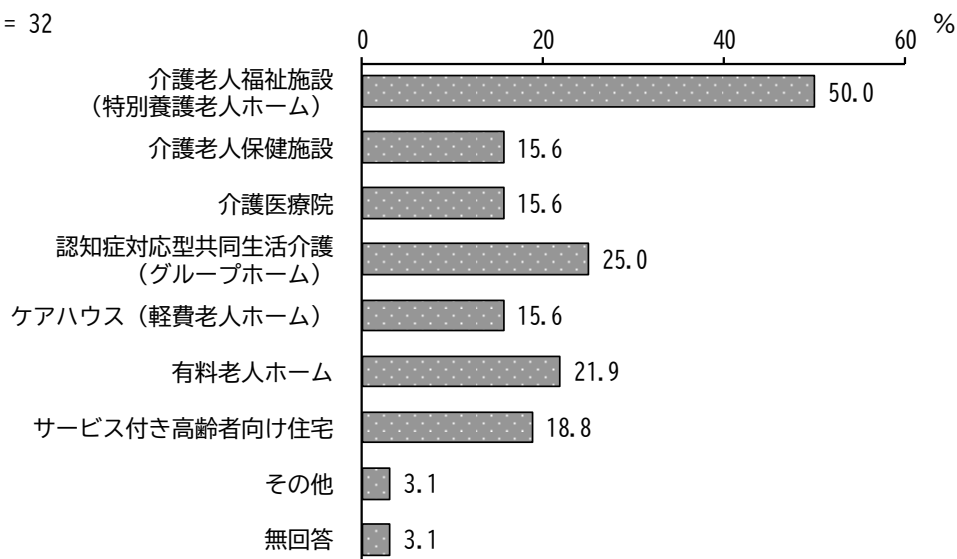
区分	通所リハビリテーション（デイケア）	短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	福祉用具の貸与	福祉用具の購入	住宅改修	その他	無回答
全 体	20.2	33.7	1.9	1.0	34.6	13.5	14.4	5.8	5.8
フルタイムで働いている	8.7	34.8	—	—	34.8	30.4	26.1	—	8.7
パートタイムで働いている	14.3	33.3	9.5	—	47.6	9.5	14.3	19.0	—
働いていない	28.3	39.1	—	2.2	34.8	6.5	13.0	2.2	4.3

B-問 17 (1) で「施設等に入所（入居）してほしい」と回答した方におうかがいします。

B-問 17 (3) ご本人が現在利用している介護保険サービスとは別に、1年以内に利用してほしいものについて、あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」の割合が 25.0%、「有料老人ホーム」の割合が 21.9%となっています。

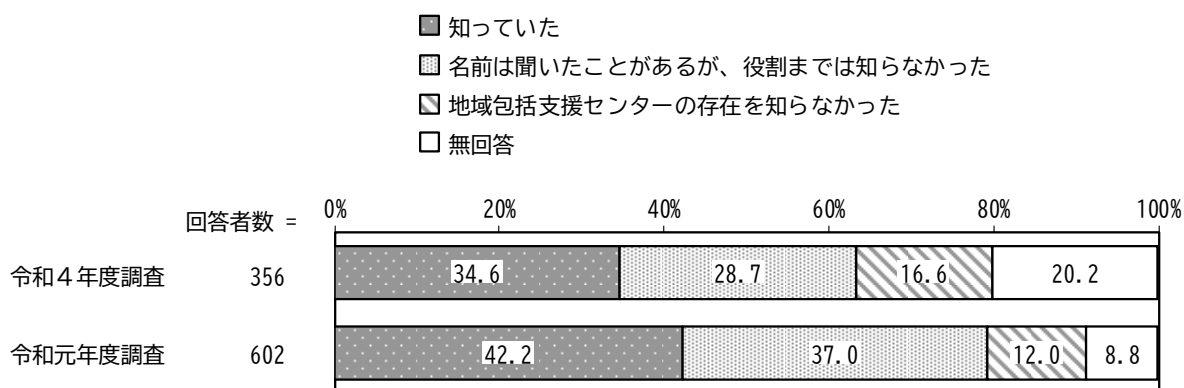
回答者数 = 32



B-問 18 地域包括支援センターは、高齢者の方々が住みなれた地域で安心して暮らしていけるよう、介護・福祉・健康など、さまざまな面から総合的に相談や支援を行う役割を担っていますが、この役割を知っていましたか。(○はひとつ)

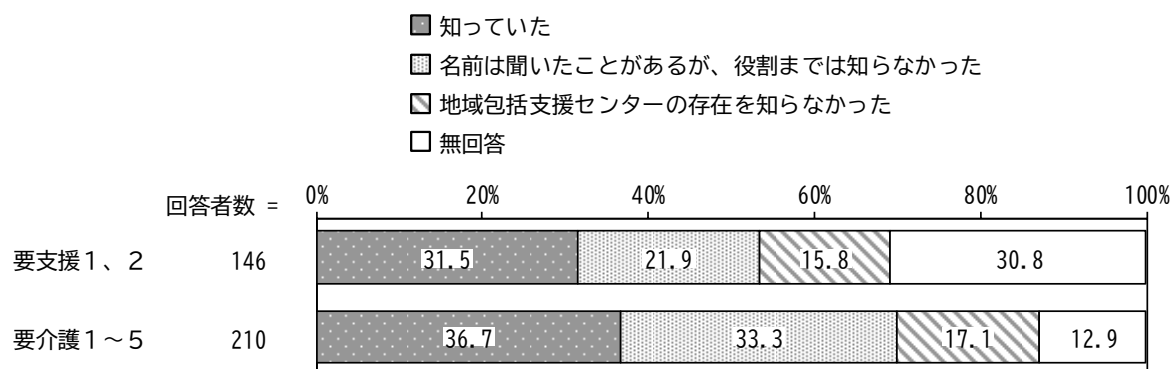
「知っていた」の割合が 34.6%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らなかった」の割合が 28.7%、「地域包括支援センターの存在を知らなかった」の割合が 16.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「知っていた」の割合が 7.6 ポイント減少しています。



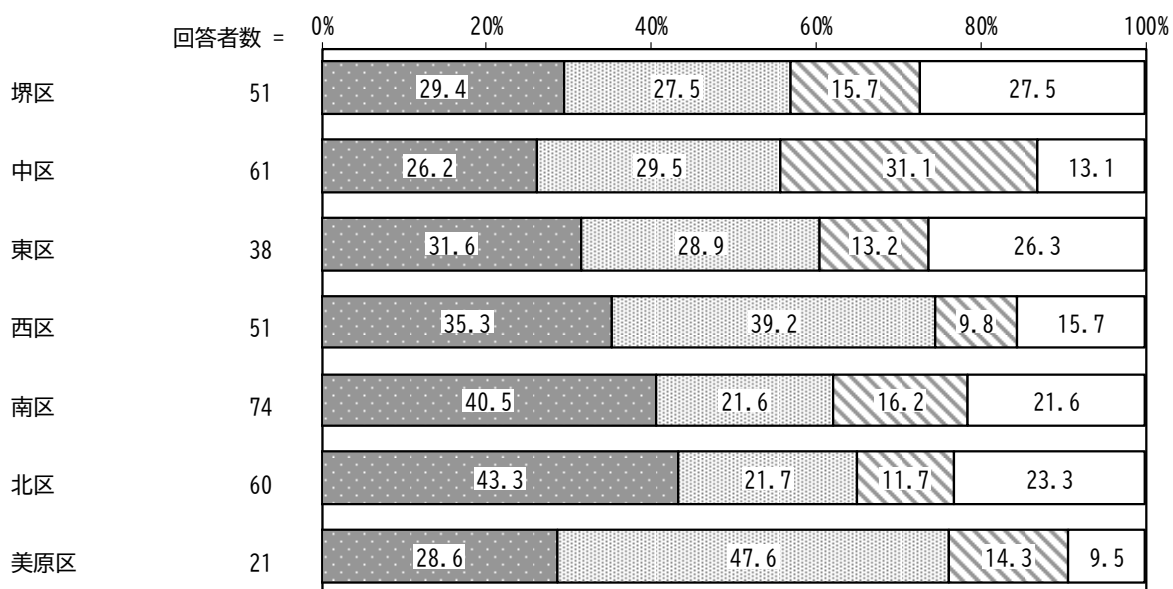
【認定状況別】

認定状況別にみると、要支援1、2に比べ、要介護1～5で「知っていた」「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らなかった」の割合が高くなっています。



【区域別】

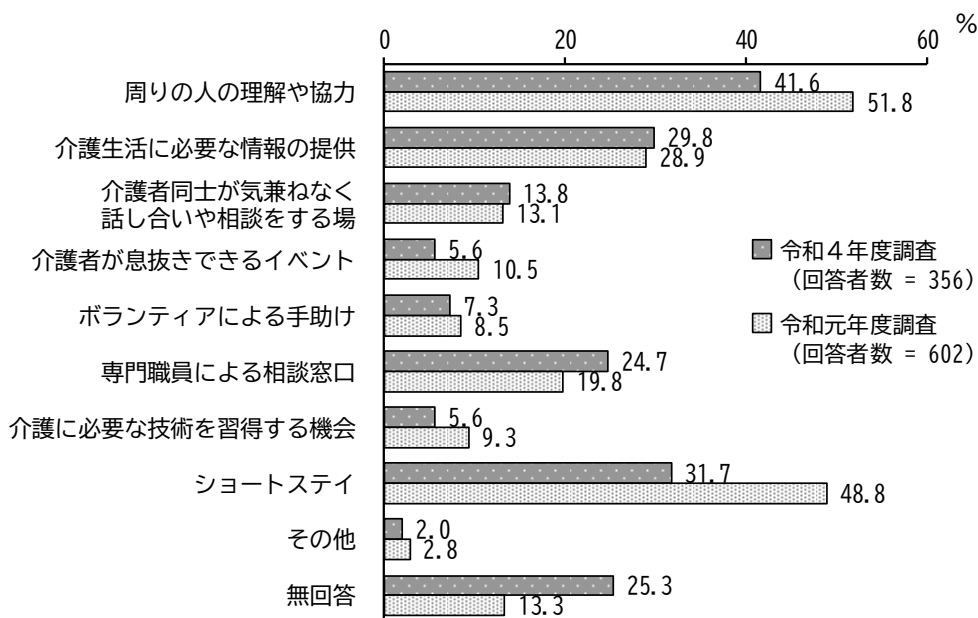
区域別にみると、他に比べ、中区で「地域包括支援センターの存在を知らなかった」の割合が高くなっています。



B-問 19 家族を介護する人の介護疲れやストレスのケアをするためには、何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「周りの人の理解や協力」の割合が 41.6%と最も高く、次いで「ショートステイ」の割合が 31.7%、「介護生活に必要な情報の提供」の割合が 29.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「周りの人の理解や協力」「ショートステイ」の割合が減少し、「専門職員による相談窓口」の割合がやや増加しています。



【認定状況別】

認定状況別にみると、要支援 1、2 に比べ、要介護 1～5 で「ショートステイ」「周りの人の理解や協力」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	周りの人の理解や協力	介護生活に必要な情報の提供	介護者同士が気兼ねなく話し合いや相談をする場	介護者が息抜きできるイベント	ボランティアによる手助け	専門職員による相談窓口	介護に必要な技術を習得する機会	ショートステイ	その他	無回答
全体	356	41.6	29.8	13.8	5.6	7.3	24.7	5.6	31.7	2.0	25.3
要支援 1、2	146	32.9	28.1	15.8	2.7	7.5	21.9	4.8	20.5	2.7	34.2
要介護 1～5	210	47.6	31.0	12.4	7.6	7.1	26.7	6.2	39.5	1.4	19.0

【区域別】

区域別にみると、他に比べ、堺区で「介護生活に必要な情報の提供」の割合が、北区で「ショートステイ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	周りの人の理解や協力	介護生活に必要な情報の提供	介護者同士が気兼ねなく話し合いや相談をする場	介護者が息抜きできるイベント	ボランティアによる手助け	専門職員による相談窓口	介護に必要な技術を習得する機会	ショートステイ	その他	無回答
全体	356	41.6	29.8	13.8	5.6	7.3	24.7	5.6	31.7	2.0	25.3
堺区	51	33.3	35.3	5.9	2.0	5.9	21.6	7.8	33.3	3.9	33.3
中区	61	47.5	32.8	13.1	6.6	6.6	36.1	3.3	32.8	—	23.0
東区	38	42.1	26.3	21.1	2.6	5.3	13.2	7.9	28.9	—	34.2
西区	51	51.0	25.5	13.7	11.8	7.8	17.6	3.9	27.5	2.0	23.5
南区	74	43.2	28.4	13.5	1.4	5.4	25.7	5.4	29.7	2.7	25.7
北区	60	28.3	23.3	16.7	8.3	10.0	28.3	6.7	35.0	3.3	21.7
美原区	21	52.4	47.6	14.3	9.5	14.3	23.8	4.8	38.1	—	9.5

【就労状況別】

介護者の就労状況別にみると、他に比べ、『パートタイムで働いている』では「ショートステイ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	周りの人の理解や協力	介護生活に必要な情報の提供	介護者同士が気兼ねなく話し合いや相談をする場	介護者が息抜きできるイベント	ボランティアによる手助け	専門職員による相談窓口	介護に必要な技術を習得する機会	ショートステイ	その他	無回答
全体	356	41.6	29.8	13.8	5.6	7.3	24.7	5.6	31.7	2.0	25.3
フルタイムで働いている	66	53.0	24.2	13.6	4.5	6.1	31.8	4.5	33.3	6.1	18.2
パートタイムで働いている	53	47.2	34.0	11.3	1.9	11.3	20.8	7.5	47.2	1.9	17.0
働いていない	178	43.8	36.5	15.2	7.9	7.9	28.7	6.7	36.5	1.1	14.0

【就労継続見込み別】

介護者の就労継続見込み別にみると、『就労を続けていける』方では「周りの人の理解や協力」「ショートステイ」「専門職員による相談窓口」の割合が高くなっています。『就労を続けていくのは難しい』方では「周りの人の理解や協力」「ショートステイ」「介護生活に必要な情報の提供」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	周りの人の理解や協力	介護生活に必要な情報の提供	介護者同士が気兼ねなく話し合いや相談をする場	介護者が息抜きできるイベント	手助け	ボランティアによる	専門職員による相談窓口	介護に必要な技術を習得する機会	ショートステイ	その他	無回答
全 体	119	50.4	28.6	12.6	3.4	8.4	26.9	5.9	39.5	4.2	17.6	
就労を続けていける	87	50.6	28.7	11.5	2.3	8.0	33.3	5.7	37.9	4.6	12.6	
就労を続けていくのは難しい	18	55.6	44.4	22.2	11.1	5.6	11.1	11.1	55.6	5.6	11.1	

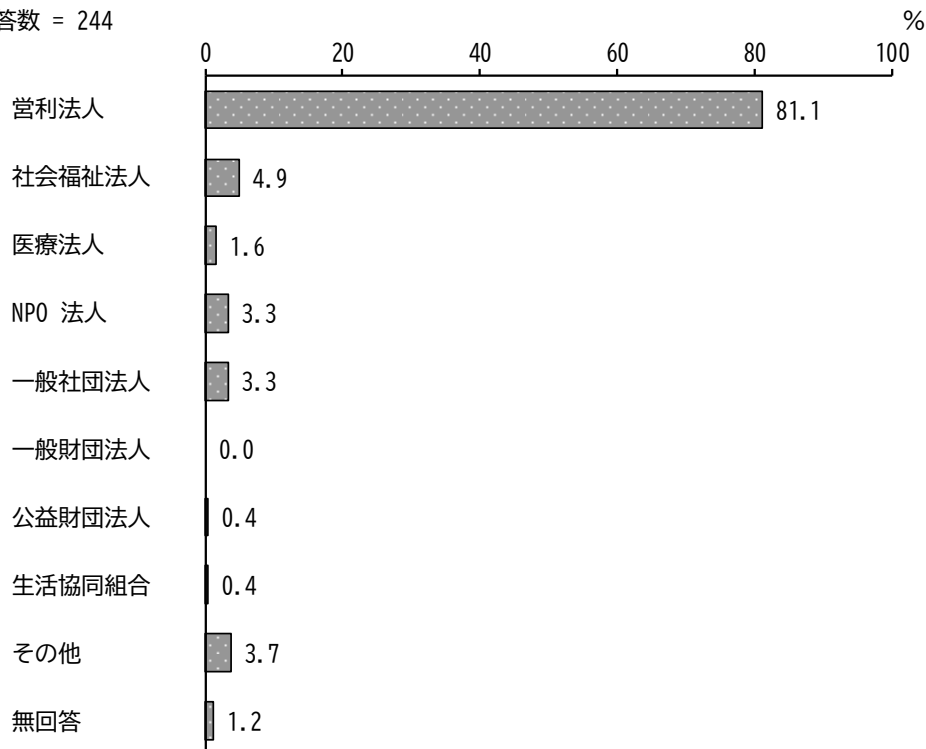
3 介護事業者調査

(1) 回答者属性

問1 法人の種類をお教えてください。(選択はひとつ)

「営利法人」の割合が81.1%と最も高くなっています。

回答数 = 244



問2 今後、堺市内で事業運営を行いたいサービスはありますか。

今後堺市で事業運営を行いたいサービスについては、「居住サービス」が91法人で最も多くなっています。

また、理由については「居宅介護支援」では「土地・建物の確保ができた（できる）ため」「利用者確保の見込みがあった（ある）ため」がいずれも26.9%で最も高く、「居住サービス」では「利用者確保の見込みがあった（ある）ため」が26.4%で最も高く、「地域密着型サービス」では「土地・建物の確保ができた（できる）ため」「利用者から他の介護サービスの要望があったため」がいずれも25.9%で最も高く、「施設サービス」では「土地・建物の確保ができた（できる）ため」「特になし」が50.0%で最も高くなっています。

単位：％

区分	回答数（件）	土地・建物の確保ができた（できる）ため	建築等の整備にあたり資金の確保ができた（できる）ため	利用者確保の見込みがあった（ある）ため	事業運営に見合った介護報酬が得られるため	市で既に他の介護サービスを行っているため	職員確保の見込みがあった（ある）ため	事業運営が安定しており余力があるため	利用者から他の介護サービスの要望があったため	特になし	その他	無回答
居宅介護支援	26	26.9	7.7	26.9	3.8	23.1	3.8	—	11.5	19.2	11.5	7.7
居住サービス	91	25.3	9.9	26.4	11.0	20.9	3.3	5.5	17.6	16.5	11.0	5.5
地域密着型サービス	27	25.9	14.8	33.3	11.1	18.5	7.4	7.4	25.9	—	14.8	7.4
施設サービス	4	50.0	—	25.0	—	25.0	—	—	—	50.0	—	—

〈予定地域〉

居宅介護支援で「中1区」、居住サービスで「中1区」、地域密着型サービスで「中1区」及び「中3区」、施設サービスで「中3区」が最も多くなっています。

単位：件

区分	回答数（件）	堺1区	堺2区	堺3区	堺4区	中1区	中2区	中3区	東1区	東2区	西1区	西2区
居宅介護支援	26	3	3	4	3	11	8	8	3	4	5	6
居住サービス	91	18	19	18	23	33	30	27	24	18	28	28
地域密着型サービス	27	0	2	0	1	11	9	11	2	2	4	7
施設サービス	4	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0

区分	西3区	南1区	南2区	南3区	南4区	北1区	北2区	北3区	北4区	美原1区	無回答
居宅介護支援	5	4	5	6	5	3	4	5	6	3	5
居住サービス	28	31	29	27	28	19	22	25	23	13	11
地域密着型サービス	6	4	4	4	5	2	4	5	6	4	2
施設サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

(2) 職員状況について

問3 貴法人の職員状況について、それぞれ該当する職員数を入力してください。
A 勤続年数別職員数、B 年齢別職員数を入力してください。

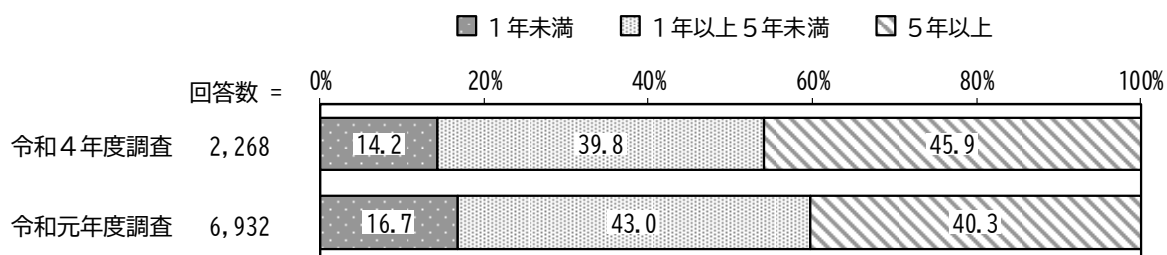
A 勤続年数別職員数

A 勤続年数別職員数				
	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上	合計
正規職員	323人	903人	1,042人	2,268人
非正規職員	514人	1,207人	1,036人	2,757人
合計	837人	2,110人	2,078人	5,025人

1. 正規職員

「5年以上」の割合が45.9%と最も高く、次いで「1年以上5年未満」の割合が39.8%、「1年未満」の割合が14.2%となっています。

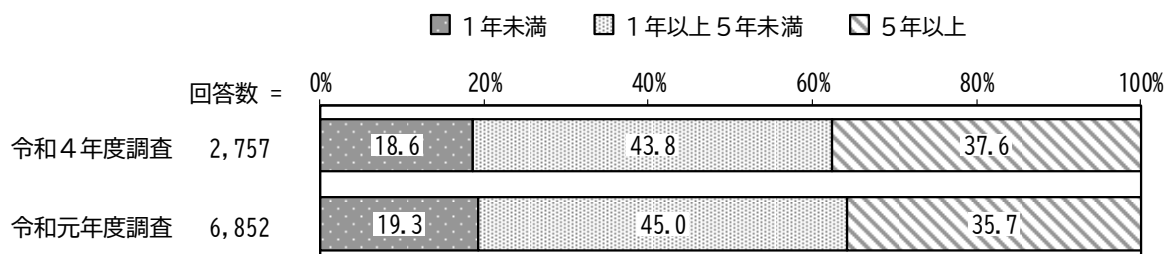
令和元年度調査と比較すると、「5年以上」の割合が5.6ポイント増加しています。



2. 非正規職員

「1年以上5年未満」の割合が43.8%と最も高く、次いで「5年以上」の割合が37.6%、「1年未満」の割合が18.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



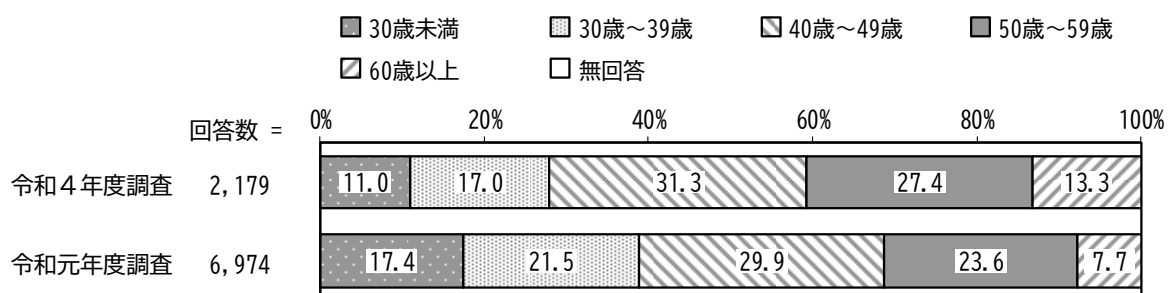
B 年齢別職員数

B 年齢別職員数						
	30歳未満	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳以上	合計
正規職員	239人	370人	683人	598人	289人	2,179人
非正規職員	152人	322人	589人	662人	903人	2,628人
合計	391人	692人	1,272人	1,260人	1,192人	4,807人

1. 正規職員

「40歳～49歳」の割合が31.3%と最も高く、次いで「50歳～59歳」の割合が27.4%、「30歳～39歳」の割合が17.0%となっています。

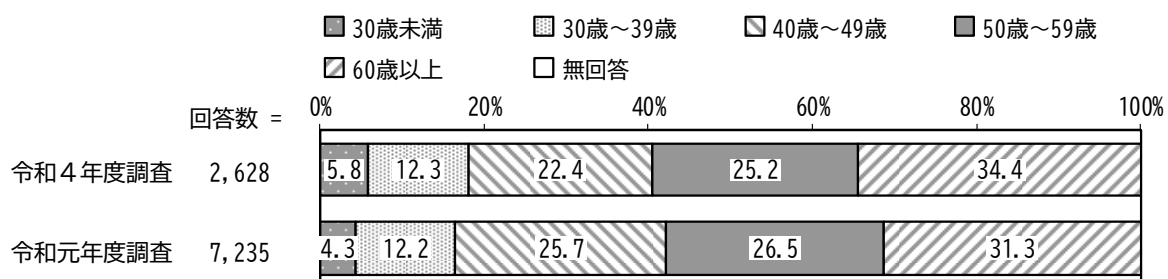
令和元年度調査と比較すると、「30歳未満」の割合が6.4ポイント減少し、「60歳以上」の割合が5.6ポイント増加しています。



2. 非正規職員

「60歳以上」の割合が34.4%と最も高く、次いで「50歳～59歳」の割合が25.2%、「40歳～49歳」の割合が22.4%となっています。

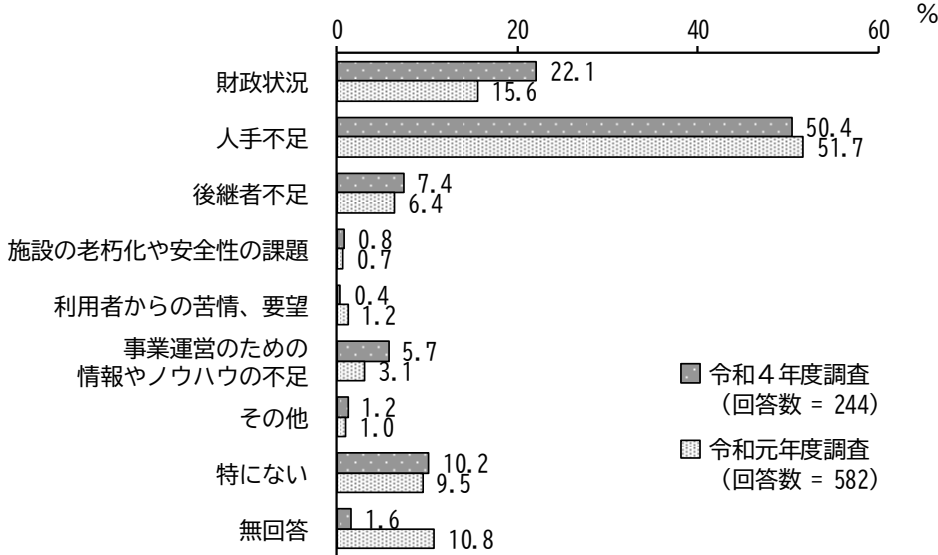
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問4 現在、事業運営している中で、最も不安に感じていることは何ですか。(選択はひとつ)

「人手不足」の割合が50.4%と最も高く、次いで「財政状況」の割合が22.1%、「特にない」の割合が10.2%となっています。

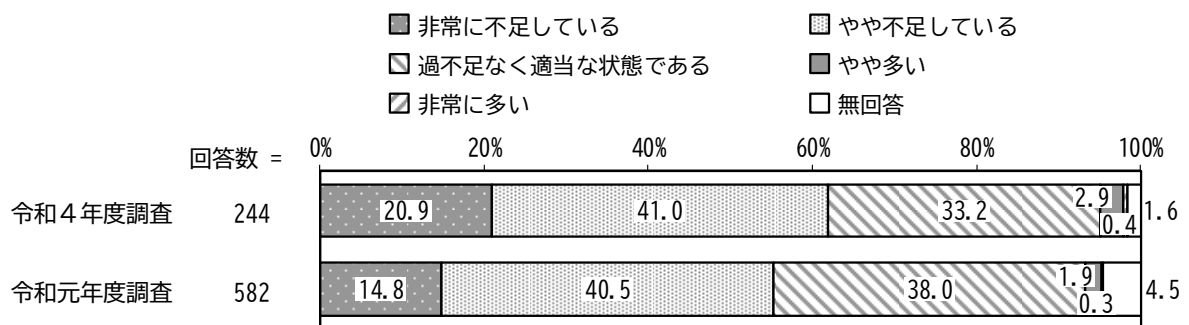
令和元年度調査と比較すると、「財政状況」の割合が6.5ポイント増加しています。



問5 現在のサービス提供状況からみて、職員数の過不足はありますか。(選択はひとつ)

「やや不足している」の割合が41.0%と最も高く、次いで「過不足なく適当な状態である」の割合が33.2%、「非常に不足している」の割合が20.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、『不足している（「非常に不足している」と「やや不足している」の合計）』が6.6ポイント増加しています。

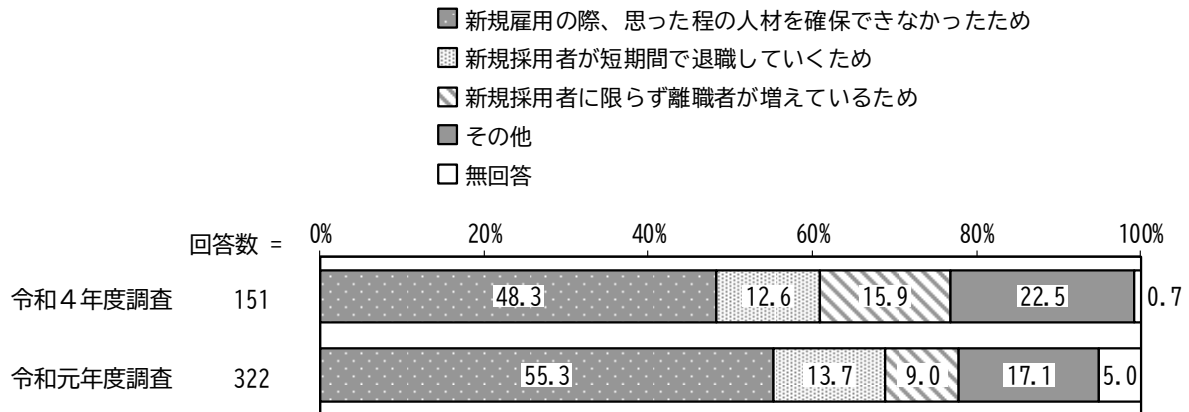


問5で「非常に不足している」「やや不足している」と回答した法人にお伺いします。

問5-1 職員数が不足している主な理由は何ですか。(選択はひとつ)

「新規雇用の際、思った程の人材を確保できなかったため」の割合が48.3%と最も高く、次いで「新規採用者に限らず離職者が増えているため」の割合が15.9%、「新規採用者が短期間で退職していくため」の割合が12.6%となっています。

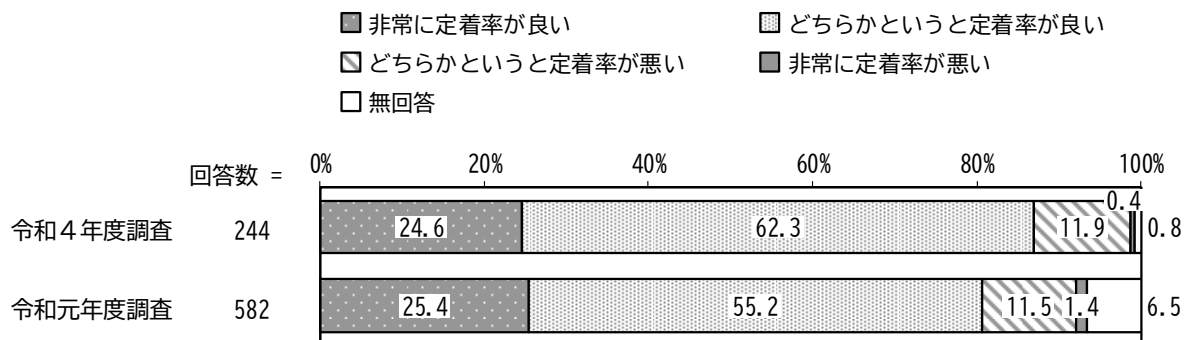
令和元年度調査と比較すると、「新規雇用の際、思った程の人材を確保できなかったため」が7.0ポイント減少し、「新規採用者に限らず離職者が増えているため」が6.9ポイント増加しています。



問6 貴法人の職員の定着率をどう感じていますか。(選択はひとつ)

「どちらかという而定着率が良い」の割合が62.3%と最も高く、次いで「非常に定着率が良い」の割合が24.6%、「どちらかという而定着率が悪い」の割合が11.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、『定着率が良い（「非常に定着率が良い」と「どちらかという而定着率が良い」の合計）』が6.3ポイント増加しています。

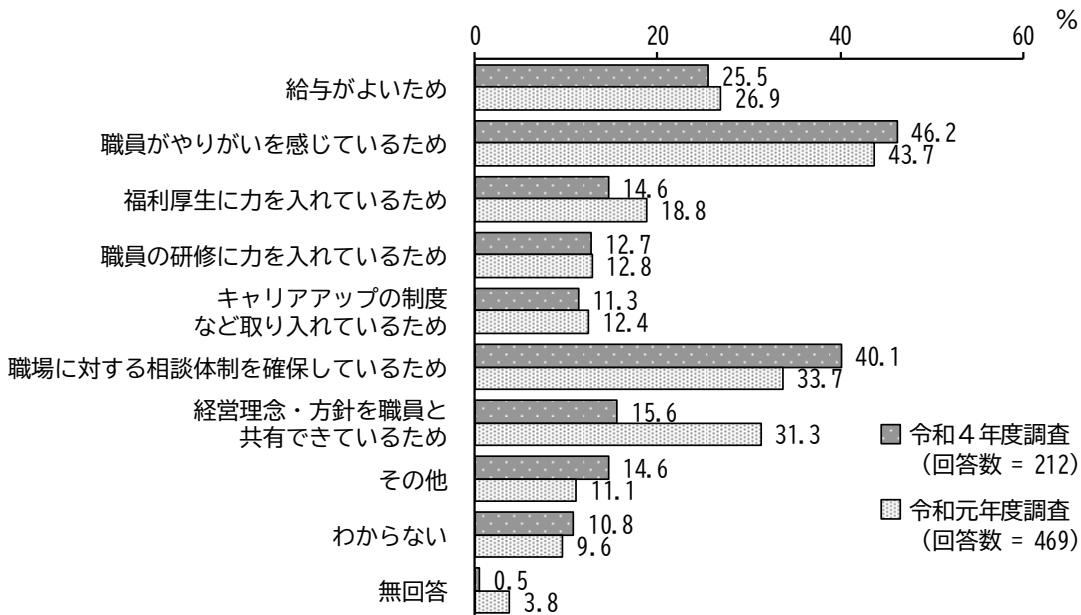


問6で「非常に定着率が良い」「どちらかという而定着率が良い」と回答した法人にお伺いします。

問6-1 職員の定着率が良い主な理由は何だと思えますか。(選択は3つまで)

「職員がやりがいを感じているため」の割合が46.2%と最も高く、次いで「職場に対する相談体制を確保しているため」の割合が40.1%、「給与がよいため」の割合が25.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「経営理念・方針を職員と共有できているため」が15.7ポイント減少し、「職場に対する相談体制を確保しているため」が6.4ポイント増加しています。

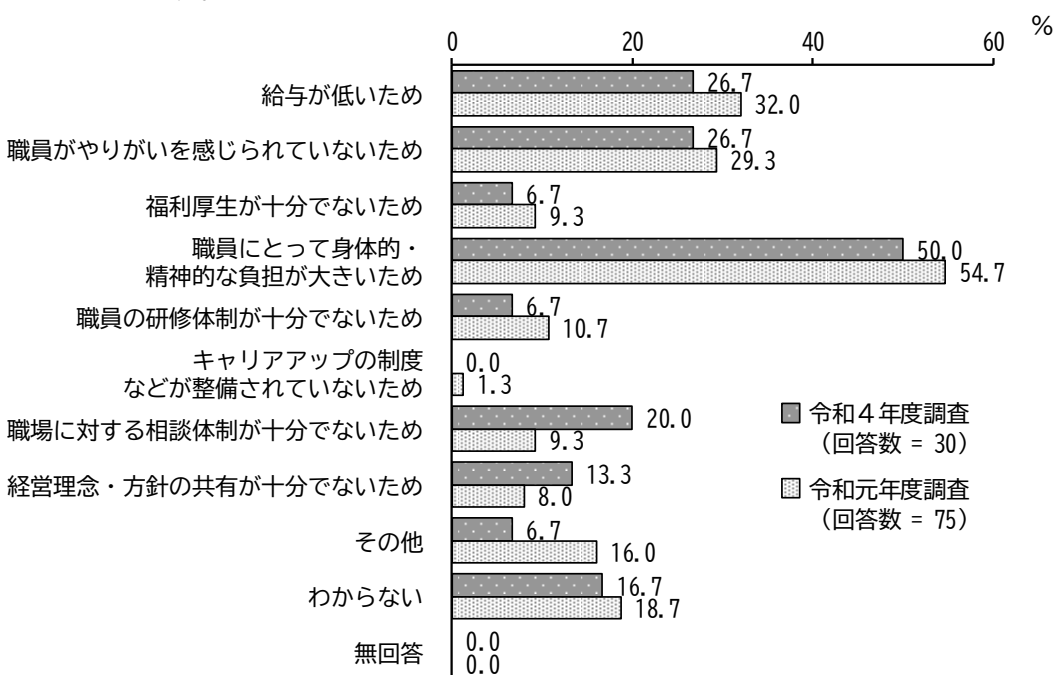


問6で「どちらかという而定着率が悪い」「非常に定着率が悪い」と回答した法人にお伺いします。

問6-2 職員の定着率が悪い主な理由は何だと思いますか。(選択は3つまで)

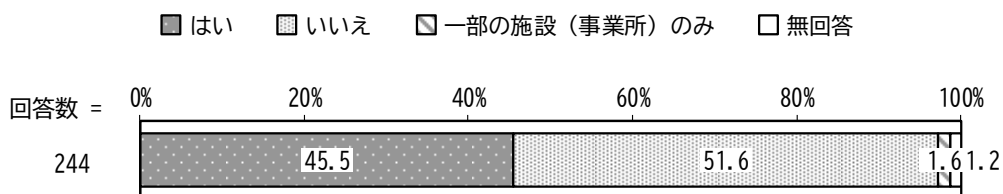
「職員にとって身体的・精神的な負担が大きいため」の割合が50.0%と最も高く、次いで「給与が低いため」、「職員がやりがいを感じられていないため」の割合が26.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「職場に対する相談体制が十分でないため」が10.7ポイント増加しています。



問7 介護職員等特定処遇改善加算を取得していますか。(選択はひとつ)

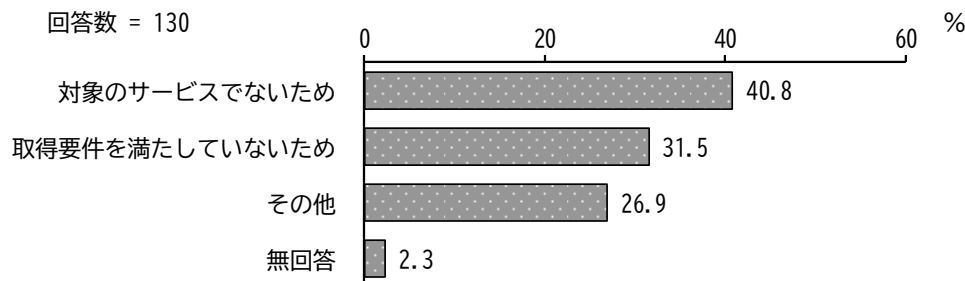
「はい」の割合が45.5%、「いいえ」の割合が51.6%、「一部の施設(事業所)のみ」の割合が1.6%となっています。



問7で「いいえ」「一部の施設（事業所）のみ」と回答した法人にお伺いします。

問7-1 取得しない主な理由は何ですか。（選択はいくつでも）

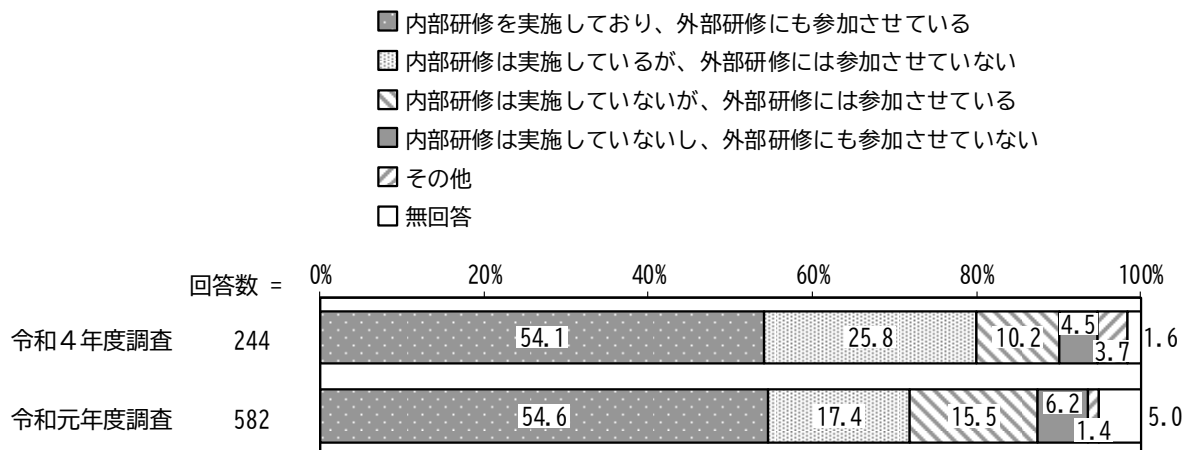
「対象のサービスでないため」の割合が40.8%、「取得要件を満たしていないため」の割合が31.5%となっています。



問8 職員に対する社内・社外研修について、あてはまるものを選択してください。（選択はひとつ）

「内部研修を実施しており、外部研修にも参加させている」の割合が54.1%と最も高く、次いで「内部研修は実施しているが、外部研修には参加させていない」の割合が25.8%、「内部研修は実施していないが、外部研修には参加させている」の割合が10.2%と続いています。

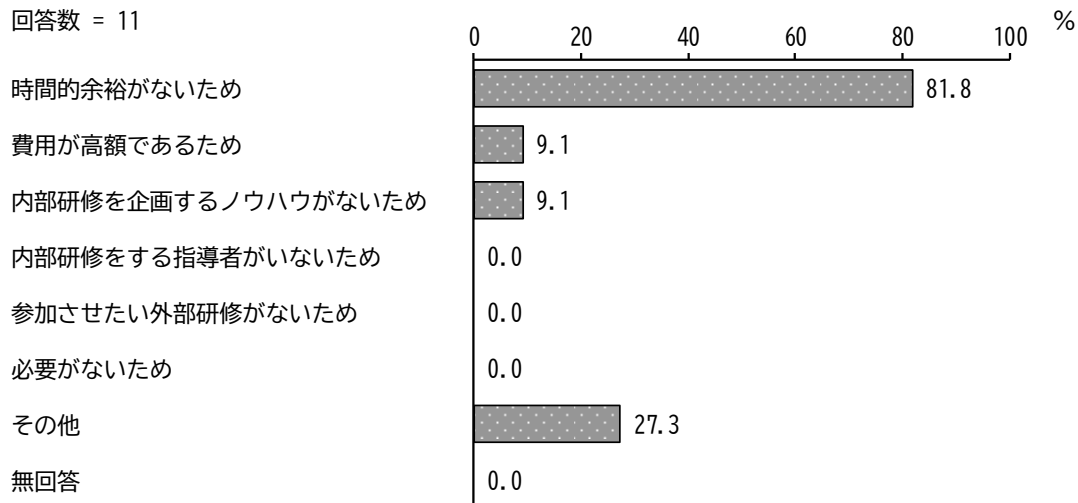
令和元年度調査と比較すると、「内部研修は実施していないが、外部研修には参加させている」が5.3ポイント減少し、「内部研修は実施しているが、外部研修には参加させていない」が8.4ポイント増加しています。



問 8 で「内部研修は実施していないし、外部研修にも参加させていない」と回答した法人にお伺いします。

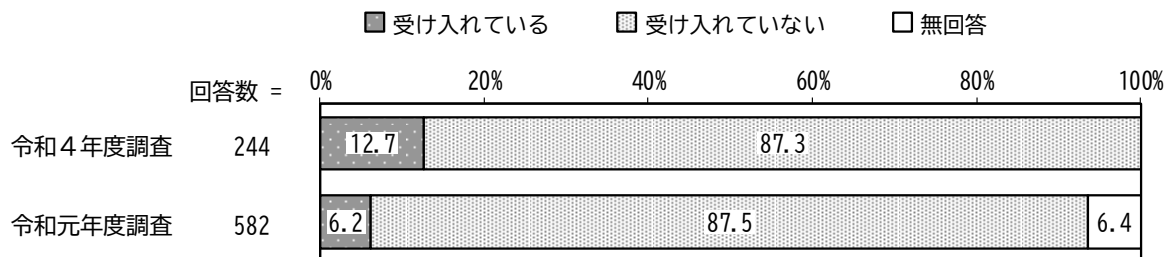
問 8-2 研修等を実施していない理由は何ですか。(選択は3つまで)

「時間的余裕がないため」の割合が 81.8%と最も高くなっています。



問 9 介護の仕事に携わる外国人労働者を受け入れていますか。(選択はひとつ)

「受け入れている」の割合が 12.7%、「受け入っていない」の割合が 87.3%となっています。令和元年度調査と比較すると、「受け入れている」が 6.5 ポイント増加しています。



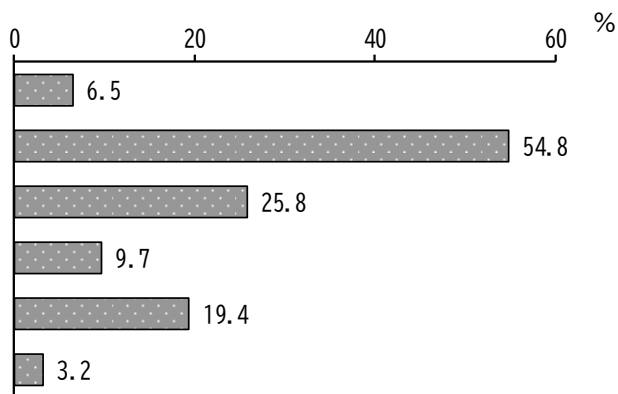
問 9 で「受け入れている」と回答した法人にお伺いします。

問 9-1 どの制度に基づいて外国人労働者を受け入れたのか教えてください。
(選択はいくつでも)

「在留資格「介護」をもつ外国人の受け入れ」の割合が 54.8%と最も高く、次いで「技能実習制度を活用した外国人の受け入れ」の割合が 25.8%となっています。

回答数 = 31

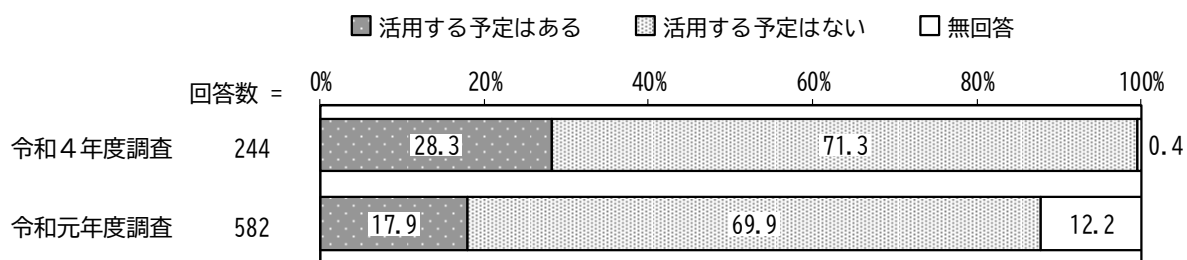
EPA（経済連携協定）に基づく
外国人介護福祉士候補者の受け入れ
在留資格「介護」をもつ外国人の受け入れ
技能実習制度を活用した外国人の受け入れ
在留資格「特定技能1号」
をもつ外国人の受け入れ
その他
無回答



問 10 今後（または引き続き）、外国人労働者を活用する予定はありますか。（選択はひとつ）

「活用する予定はある」の割合が 28.3%、「活用する予定はない」の割合が 71.3%となっています。

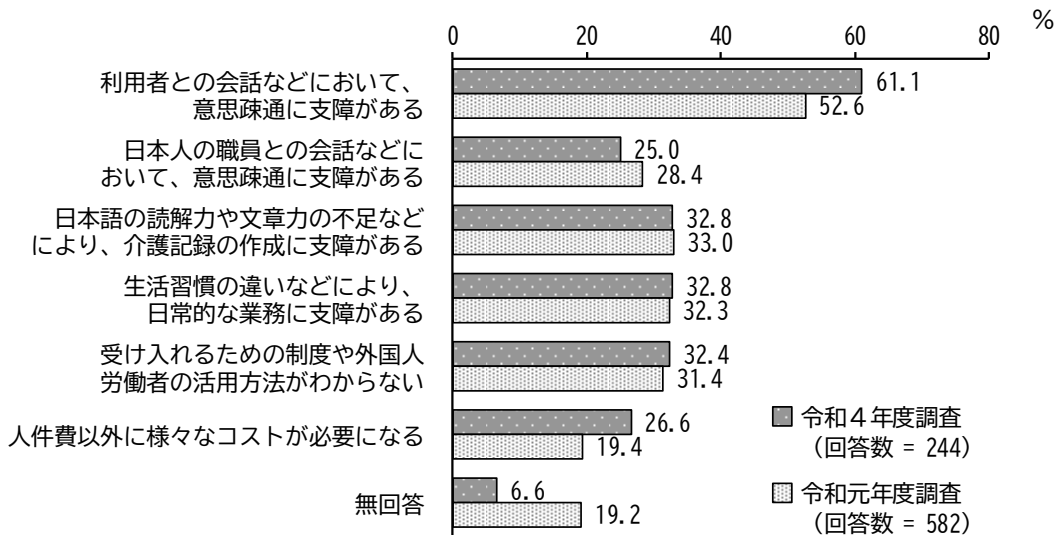
令和元年度調査と比較すると、「活用する予定はある」が 10.4 ポイント増加しています。



問11 今後（または引き続き）、外国人労働者を活用するうえでの課題は何ですか。（選択はいくつでも）

「利用者との会話などにおいて、意思疎通に支障がある」の割合が61.1%と最も高く、次いで「日本語の読解力や文章力の不足などにより、介護記録の作成に支障がある」、「生活習慣の違いなどにより、日常的な業務に支障がある」の割合が32.8%となっています。

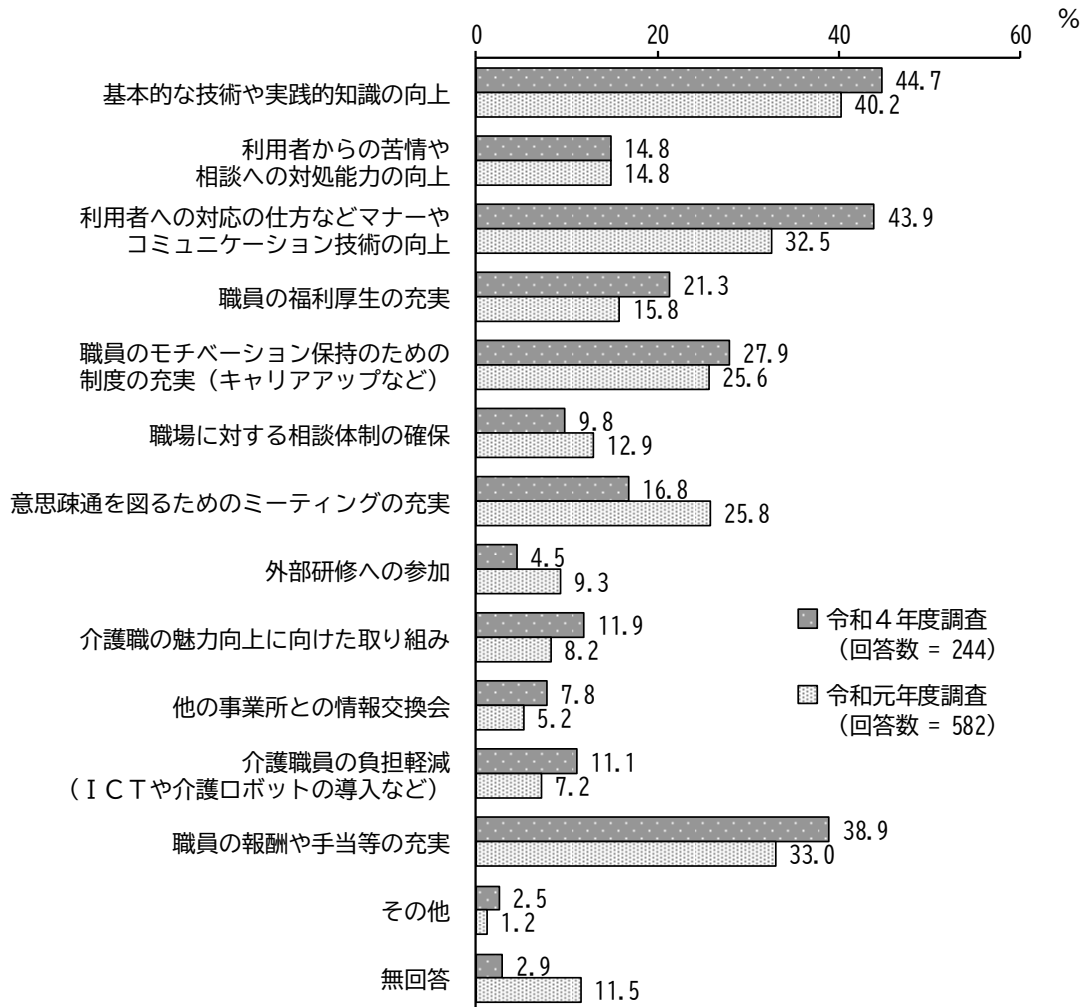
令和元年度調査と比較すると、「利用者との会話などにおいて、意思疎通に支障がある」が8.5ポイント、「人件費以外に様々なコストが必要になる」が7.2ポイント増加しています。



問12 職員の確保や質の向上を図るために、今後どのような視点を重視した取り組みが必要だと思いますか。(選択は3つまで)

「基本的な技術や実践的知識の向上」の割合が44.7%と最も高く、次いで「利用者への対応の仕方などマナーやコミュニケーション技術の向上」の割合が43.9%、「職員の報酬や手当等の充実」の割合が38.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「意思疎通を図るためのミーティングの充実」が9.0ポイント減少し、「利用者への対応の仕方などマナーやコミュニケーション技術の向上」が11.4ポイント増加しています。

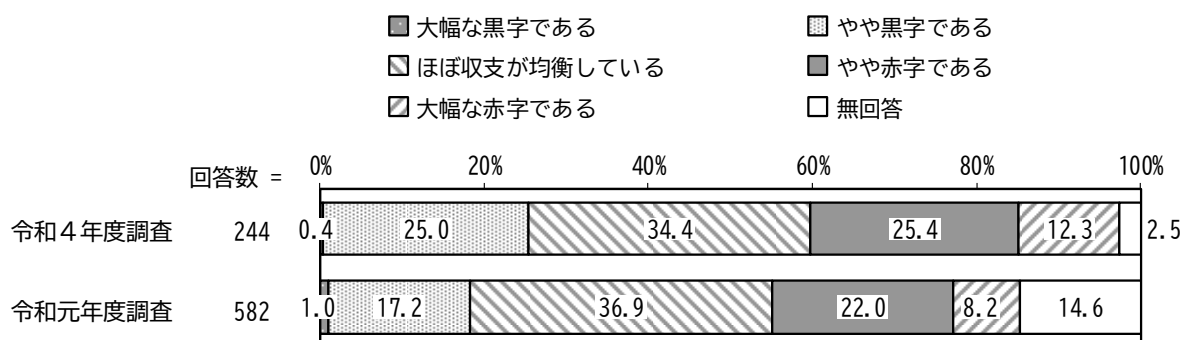


(3) 介護事業収支の状況

問 13 令和3年度の貴法人の介護事業会計についてお伺いします。介護事業収支は、どのような状況ですか。(選択はひとつ)

「ほぼ収支が均衡している」の割合が34.4%と最も高く、次いで「やや赤字である」の割合が25.4%、「やや黒字である」の割合が25.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、『黒字である（「大幅な黒字である」と「やや黒字である」の合計）』が7.2ポイント増加しています。

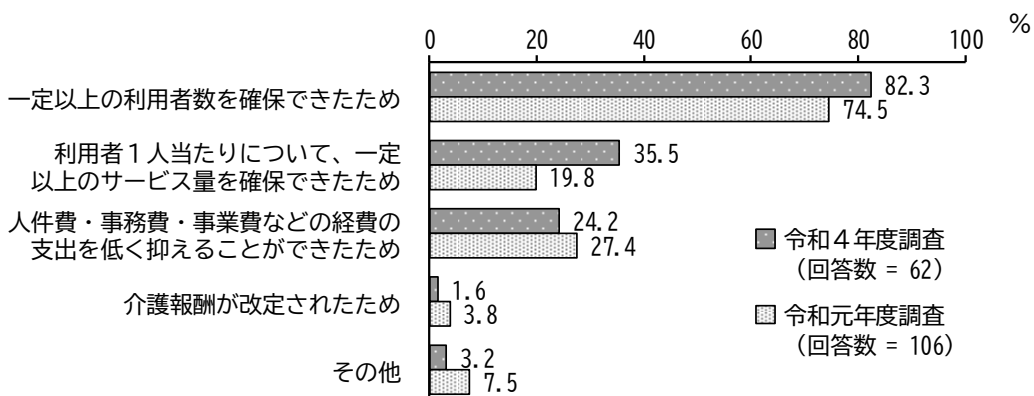


問 13 で「大幅な黒字である」「やや黒字である」を選んだ法人にお伺いします。

問 13-1 その主な理由は何だと思えますか。(選択は2つまで)

「一定以上の利用者数を確保できたため」の割合が82.3%と最も高く、次いで「利用者1人当たりについて、一定以上のサービス量を確保できたため」の割合が35.5%、「人件費・事務費・事業費などの経費の支出を低く抑えることができたため」の割合が24.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「一定以上の利用者数を確保できたため」が7.8ポイント、「利用者1人当たりについて、一定以上のサービス量を確保できたため」が15.7ポイント増加しています。

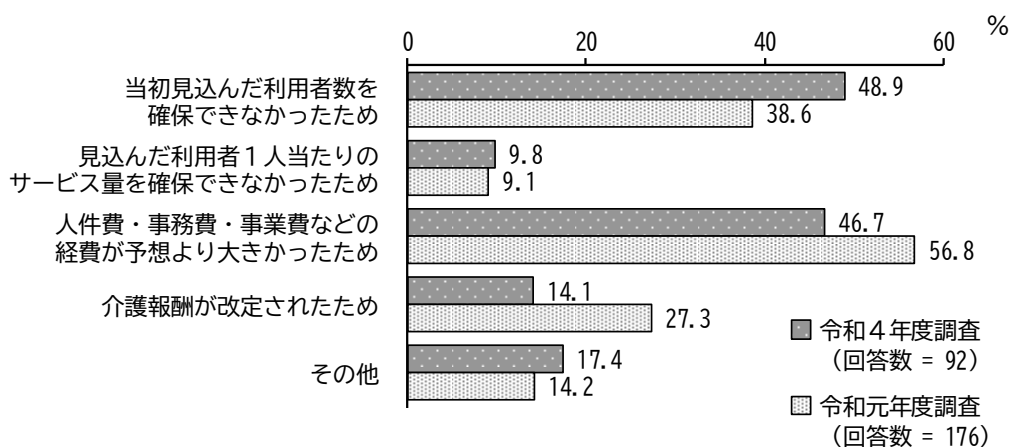


問 13 で「やや赤字である」「大幅な赤字である」を選んだ法人にお伺いします。

問 13-2 その主な理由は何だと思えますか。(選択は 2 つまで)

「当初見込んだ利用者数を確保できなかったため」の割合が 48.9%と最も高く、次いで「人件費・事務費・事業費などの経費が予想より大きかったため」の割合が 46.7%、「介護報酬が改定されたため」の割合が 14.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「人件費・事務費・事業費などの経費が予想より大きかったため」が 10.1 ポイント、「介護報酬が改定されたため」が 13.2 ポイント減少し、「当初見込んだ利用者数を確保できなかったため」が 10.3 ポイント増加しています。



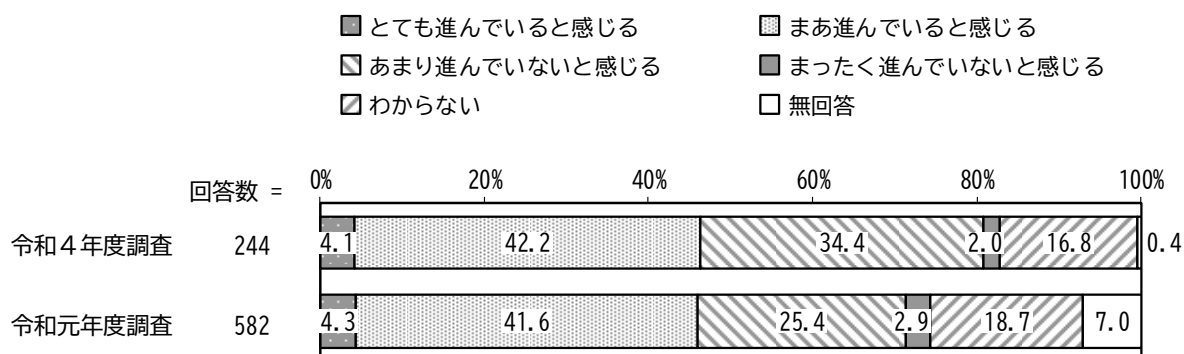
(4) 多職種での連携について

問 14 貴法人から見て、堺市では以前と比べて、多職種での連携※が進んでいると感じますか。(選択はひとつ)

※連携：日頃から情報共有をしており、連絡や相談などの業務がスムーズに行えている状態

「まあ進んでいると感じる」の割合が 42.2%と最も高く、次いで「あまり進んでいないと感じる」の割合が 34.4%、「わからない」の割合が 16.8%となっています。

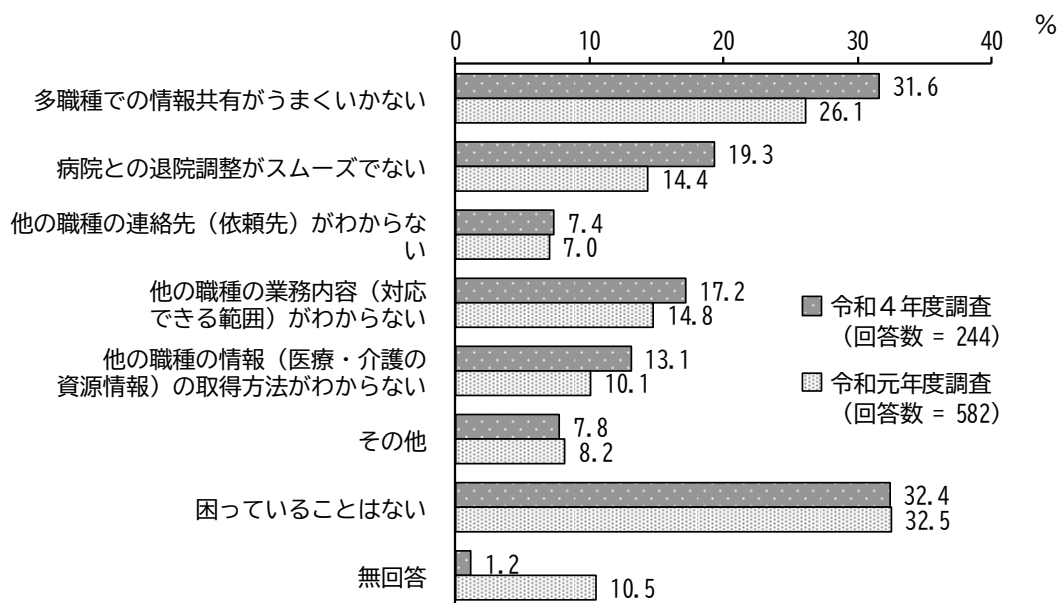
令和元年度調査と比較すると、「あまり進んでいないと感じる」の割合が 9 ポイント増加しています。



問 15 多職種での連携において、業務上困っていることは何ですか。(選択はいくつでも)

「困っていることはない」の割合が 32.4%と最も高く、次いで「多職種での情報共有がうまくいかない」の割合が 31.6%、「病院との退院調整がスムーズでない」の割合が 19.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「多職種での情報共有がうまくいかない」が 5.5 ポイント増加しています。



(5) 災害時の対策について

問 16 貴法人の災害に対する対策の実施状況について、それぞれサービス種別ごとに該当するものをすべて選択してください。

(1) 地震・津波対策

サービス種別	回答者数 (件)	実施済み	検討中	実施・検討の どちらも していない
居宅サービス	48 件	18 件	28 件	2 件
地域密着型サービス	55 件	19 件	35 件	1 件
施設サービス	14 件	5 件	8 件	1 件

(2) 風水害対策（土砂災害は除く）

サービス種別	回答者数 (件)	実施済み	検討中	実施・検討の どちらも していない
居宅サービス	57 件	15 件	41 件	1 件
地域密着型サービス	17 件	7 件	10 件	0 件
施設サービス	21 件	8 件	12 件	1 件

(3) 火災対策

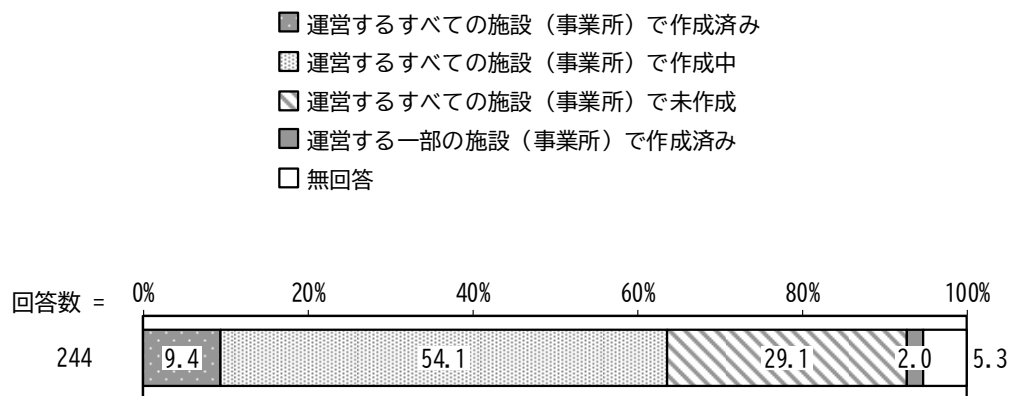
サービス種別	回答者数 (件)	実施済み	検討中	実施・検討の どちらも していない
居宅サービス	19 件	13 件	6 件	0 件
地域密着型サービス	18 件	12 件	6 件	0 件
施設サービス	65 件	40 件	25 件	0 件

(4) 土砂災害対策

サービス種別	回答者数 (件)	実施済み	検討中	実施・検討の どちらも していない
居宅サービス	48 件	12 件	24 件	12 件
地域密着型サービス	54 件	7 件	34 件	13 件
施設サービス	14 件	4 件	9 件	1 件

問 17 自然災害発生時の業務継続計画（BCP）の作成状況は、どのような状況ですか。
（選択はひとつ）

「運営するすべての施設（事業所）で作成中」の割合が 54.1%と最も高く、次いで「運営するすべての施設（事業所）で未作成」の割合が 29.1%となっています。

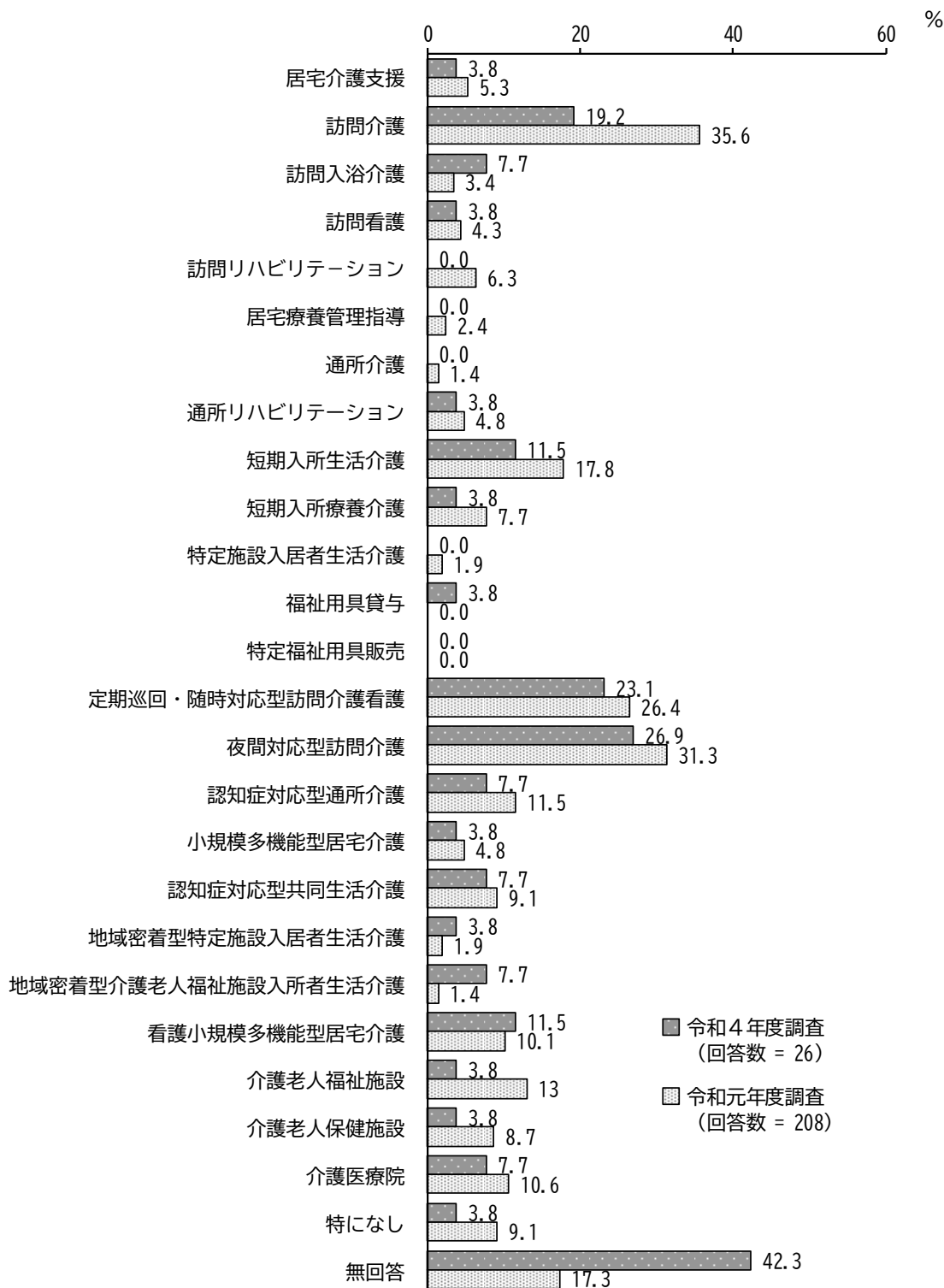


(6) サービス提供について（居宅介護支援事業所を運営している法人のみ）

問 18 貴法人から見て、堺市の要介護者（要介護1～5）にとって不足していると感じるサービスは何ですか。（選択はいくつでも）

「夜間対応型訪問介護」の割合が26.9%と最も高く、次いで「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の割合が23.1%、「訪問介護」の割合が19.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「訪問介護」が16.4ポイント減少しています。

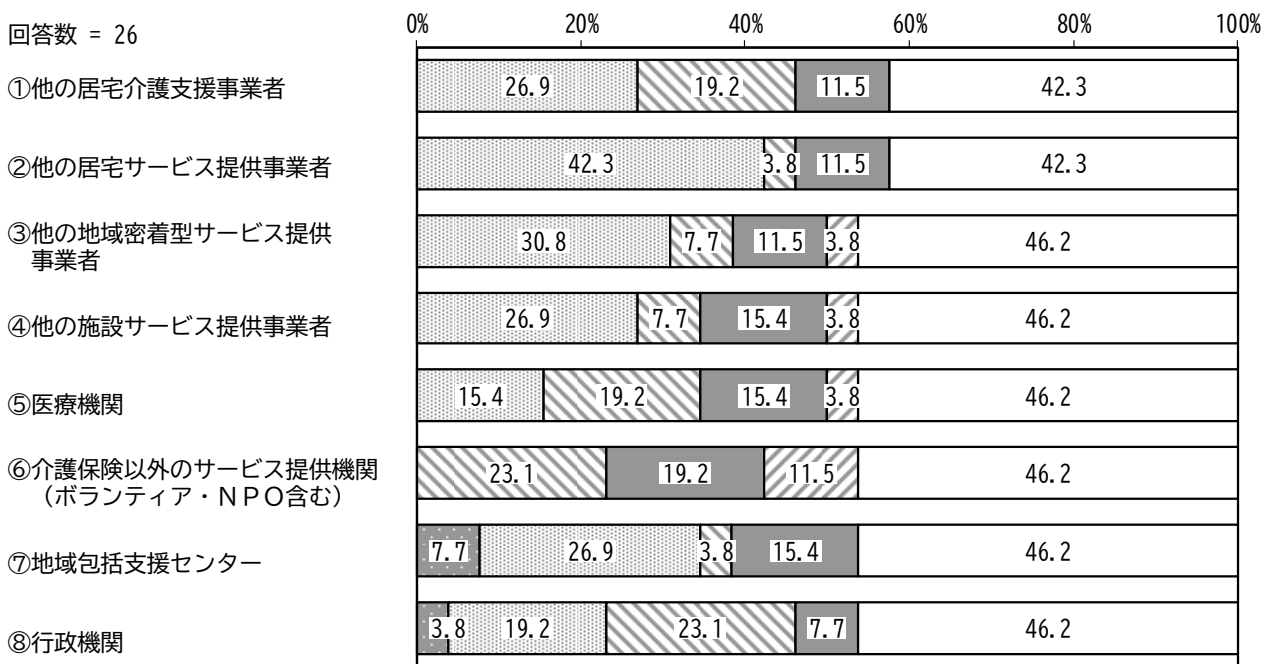


問 19 サービスを実施するにあたって、外部の諸機関との連携はどの程度とれていますか。下記の①～⑧の項目ごとに、あてはまるものを選択してください。（それぞれ選択はひとつ）

『②他の居宅サービス提供事業者』で「大変うまく連携がとれている」と「おおむね連携はとれている」を合わせた“連携はとれている”の割合が高くなっています。また、『⑥介護保険以外のサービス提供機関（ボランティア・NPO含む）』で「あまり連携はとれていない」と「まったく連携がとれていない」を合わせた“連携はとれていない”の割合が高くなっています。

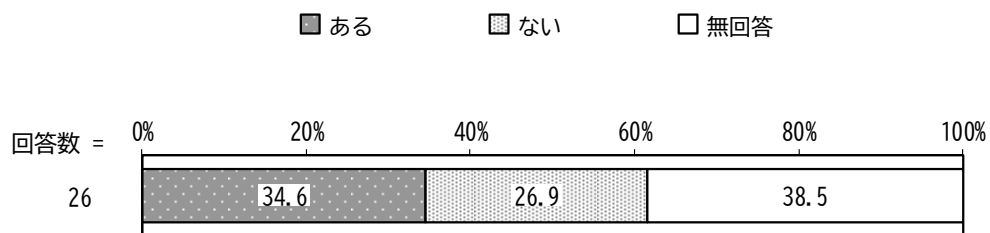
- 大変うまく連携がとれている
- おおむね連携はとれている
- どちらともいえない
- あまり連携はとれていない
- まったく連携がとれていない
- 無回答

回答数 = 26



問 20 困難ケースなどについて地域包括支援センターへ相談したことはありますか。
(選択はひとつ)

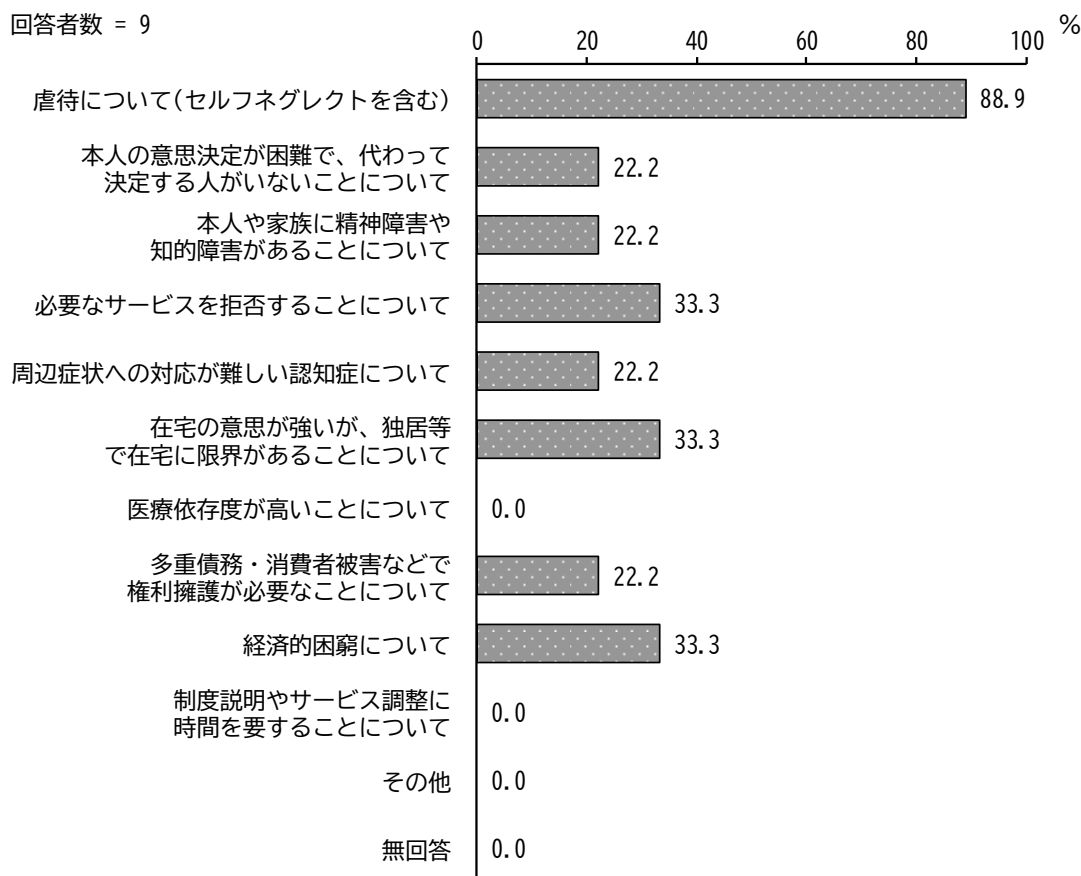
「ある」の割合が 34.6%、「ない」の割合が 26.9%となっています。



問 20 で「ある」と回答した法人にお伺いします。

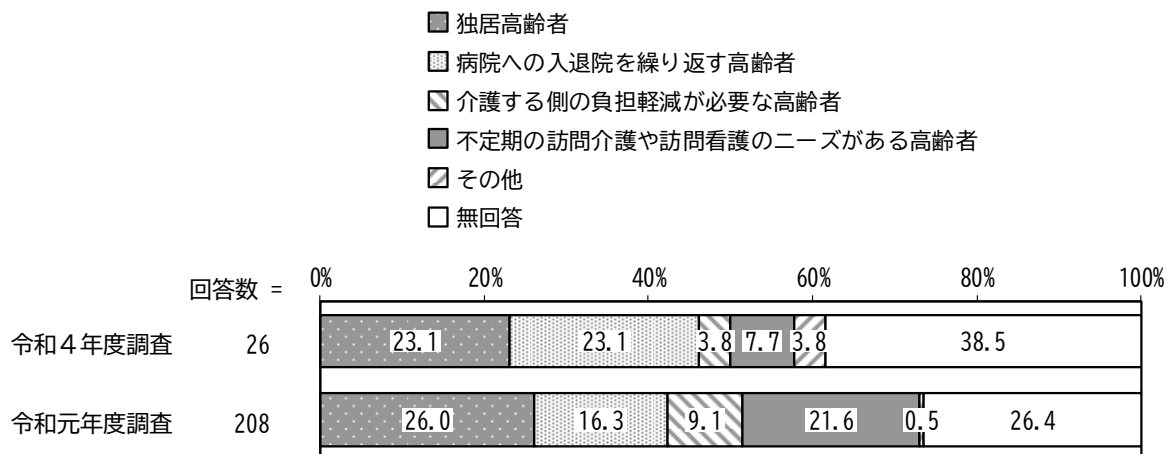
問 20-1 地域包括支援センターに相談した内容について、あてはまるものを選択してください。(選択はいくつでも)

「虐待について(セルフネグレクトを含む)」が 8 件となっています。「必要なサービスを拒否することについて」、「在宅の意思が強いが、独居等で在宅に限界があることについて」、「経済的困窮について」が 3 件となっています。



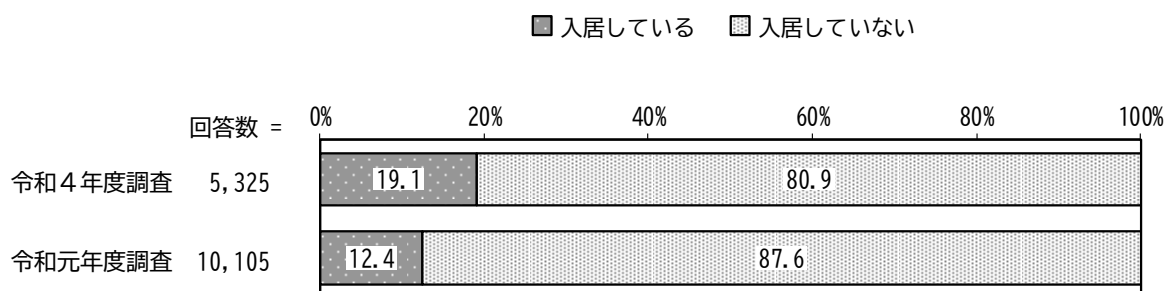
問 21 定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスが最も有効な方はどのような方だと思いますか。(選択はひとつ)

「独居高齢者」、「病院への入退院を繰り返す高齢者」の割合が 23.1%と最も高くなっています。令和元年度調査と比較すると、「不特定の訪問介護や訪問看護のニーズがある高齢者」が 13.9 ポイント減少し、「病院への入退院を繰り返す高齢者」が 6.8 ポイント増加しています。



問 22 現在（令和5年2月1日）の居宅介護支援事業所の担当件数を入力してください。そのうち、有料老人ホーム又はサービス付き高齢者向け住宅に入居されている方の件数を入力してください。

居宅介護支援事業所の担当件数（5,325 件）のうち、有料老人ホーム又はサービス付き高齢者向け住宅に入居されている方の割合は 19.1%となっています。令和元年度調査と比較すると、入居されている方の割合は 6.7 ポイント増加しています。



(7) 施設の入所待機者について

(施設サービス(特養・老健・介護医療院)を運営している法人のみ)

問 23 施設に入所待機者はいますか。(選択はひとつ)

「入所待機者がいる」が2件、「入所待機者がいない」が2件となっています。

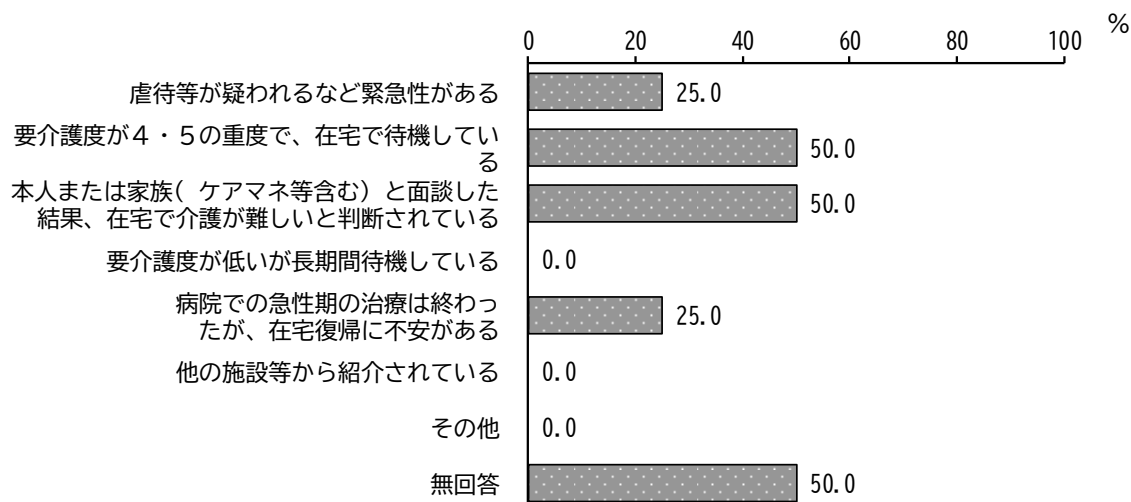
問 23で「入所待機者がいる」と回答した法人にお伺いします。

問 23-1 施設に入所待機者がいる状況について、考えられる主な要因は何だと思えますか。(選択はひとつ)

「在宅介護より施設介護を望む人が増えたため」が2件となっています。

問 24 施設への入所を決定するにあたり、特に入所判定委員会等で重点をおいていることは何ですか。(選択は3つまで)

「要介護度が4・5の重度で、在宅で待機している」、「本人または家族(ケアマネ等含む)と面談した結果、在宅で介護が難しいと判断されている」が2件となっています。「虐待等が疑われるなど緊急性がある」、「病院での急性期の治療は終わったが、在宅復帰に不安がある」が1件となっています。



Ⅲ 生活機能評価等に関する分析

一般高齢者・要支援認定者調査では、地域の課題や必要なサービス等を把握するため、調査項目を使用し、各リスクの判定をしています。

1 運動器機能の低下

下記の5問について、3項目以上に該当する人を運動器機能の低下している高齢者として判定しました。

【判定設問】

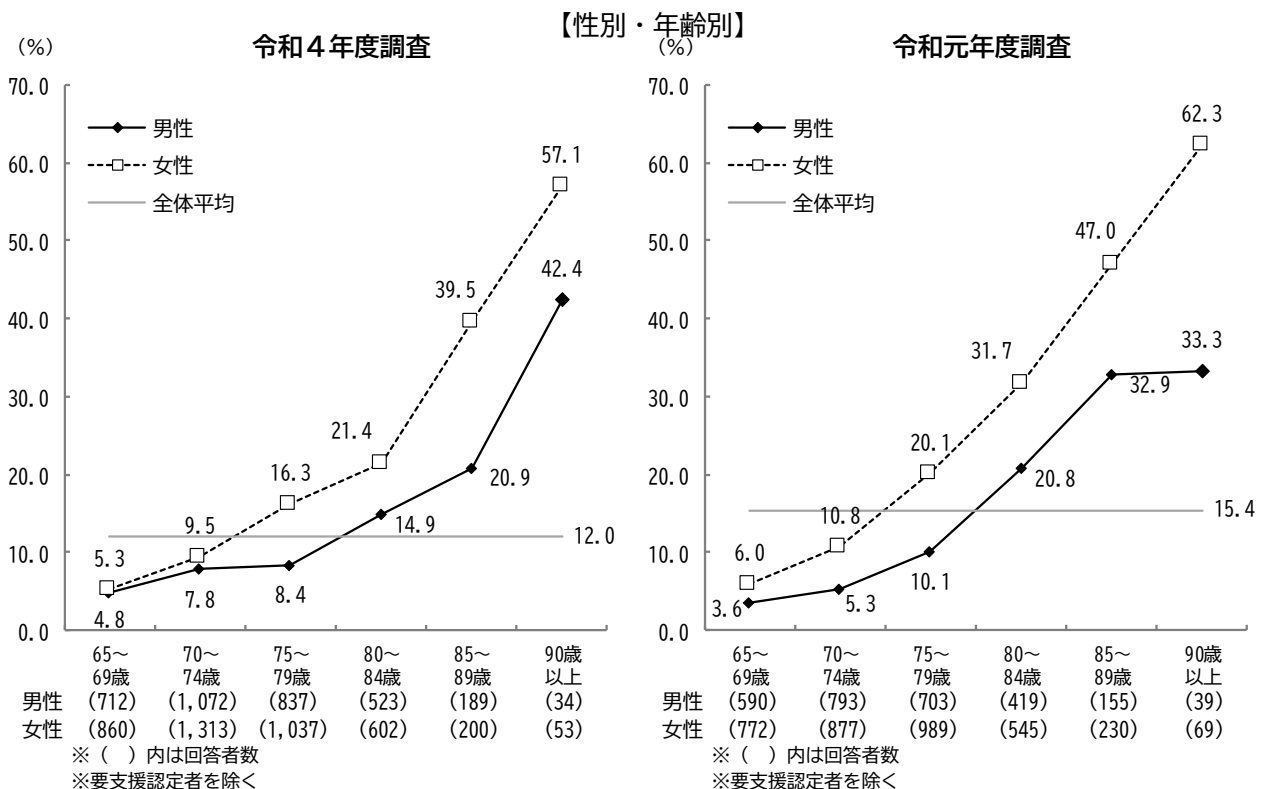
問番号	設問	該当する選択肢
問3(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問3(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問3(3)	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
問3(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
問3(5)	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

【リスク該当状況】

一般高齢者では、運動器機能の低下している高齢者の割合は、全体平均で12.0%となっています。

性別・年齢別にみると、すべての年代で女性の割合が男性より高くなっています。女性では、90歳以上で57.1%と85～89歳に比べ17.6ポイント上昇しています。一方、男性では、90歳以上では42.4%と85～89歳に比べ21.5ポイント上昇しています。

令和元年度調査と比較すると、全体平均(12.0%)は、令和元年度調査(15.4%)よりも3.4ポイント減少しています。また、女性では75歳以上で令和元年よりも割合が高くなっています。

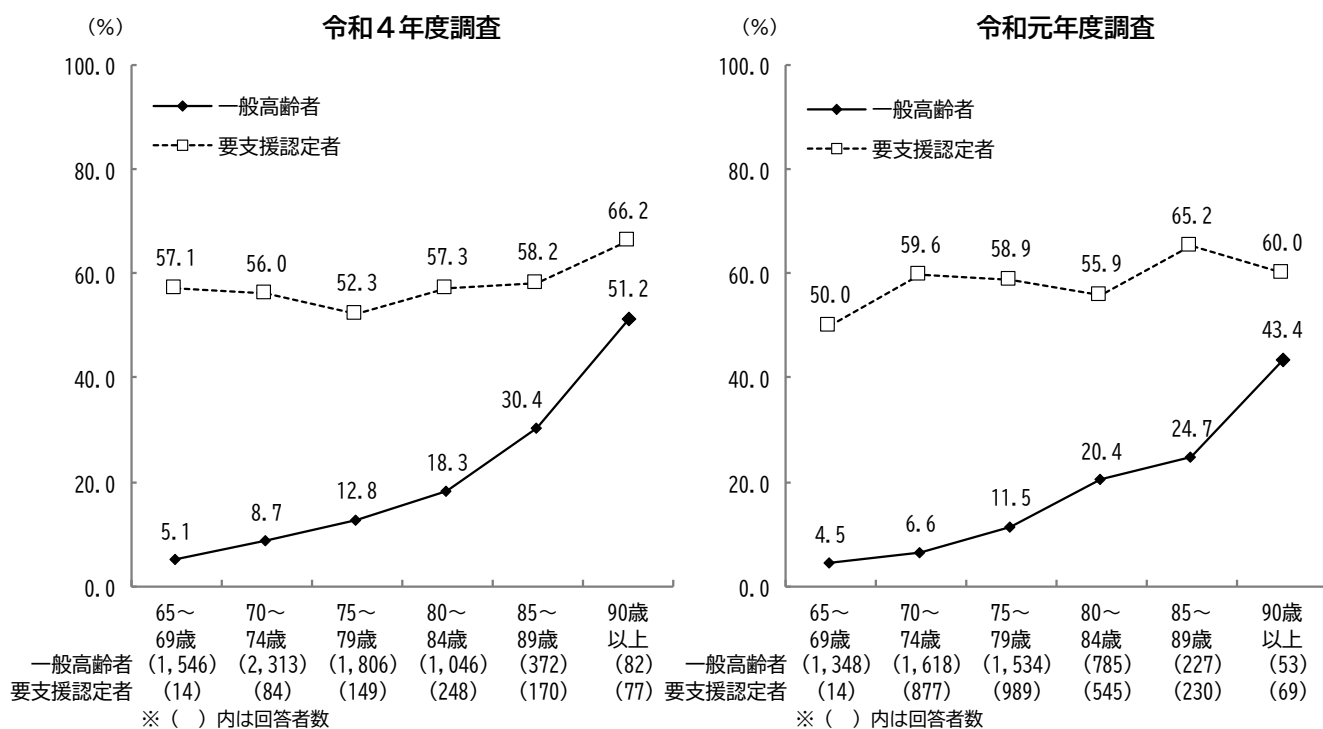


認定状況別・年齢別にみると、一般高齢者では年齢階級が上がるにつれて、割合が高くなっており、90歳以上では51.2%となっています。

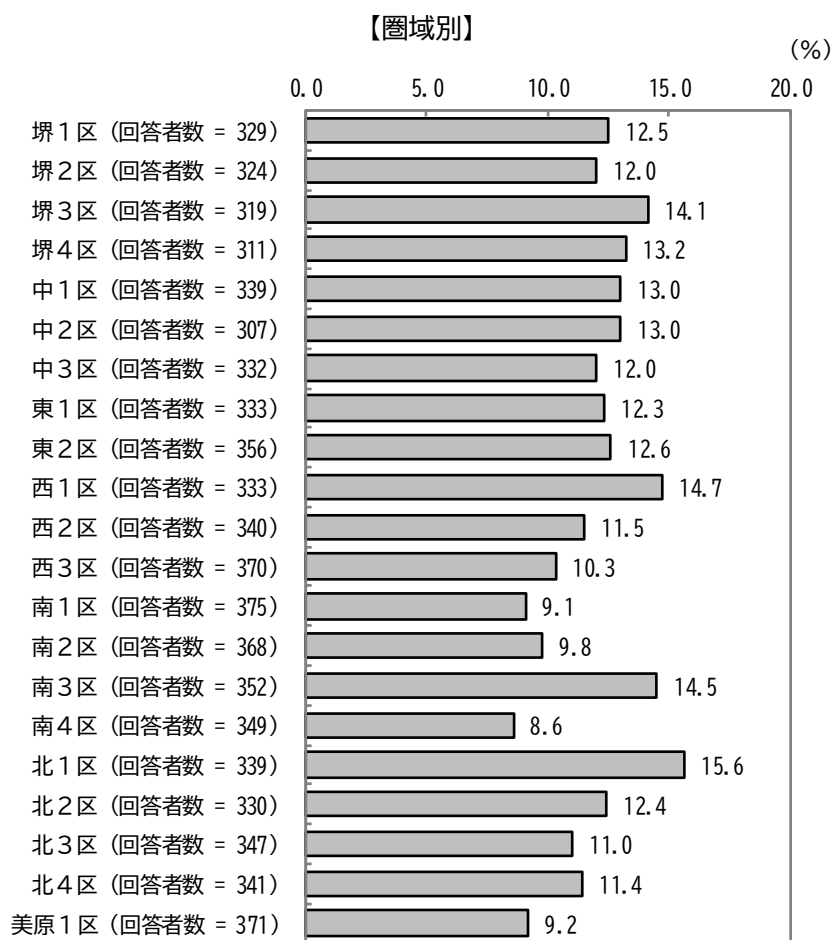
要支援者では、すべての年齢で5割以上となっており、90歳以上が66.2%で最も高くなっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者、要支援認定者ともに90歳以上での割合が高くなっています。

【認定別・年齢別】

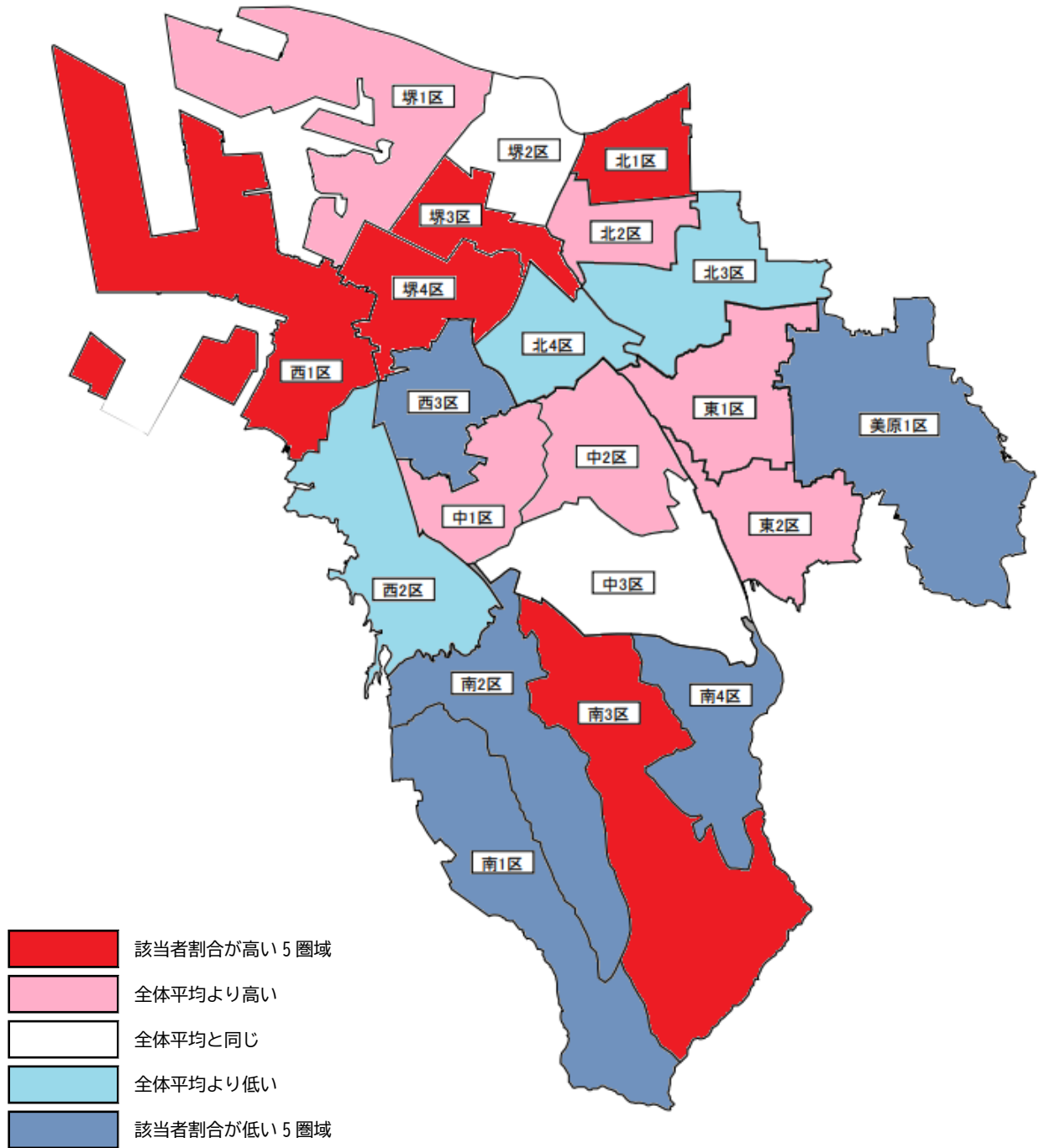


圏域別にみると、「北1区」が15.6%で最も高く、次いで「西1区」が14.7%、「南3区」が14.5%と続いています。



※要支援認定者を除く

【圏域別 運動器機能の低下リスク該当者の状況】



2 転倒リスク

下記の設問について、該当する選択肢が回答された場合、転倒リスクのある高齢者として判定しました。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問3(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある

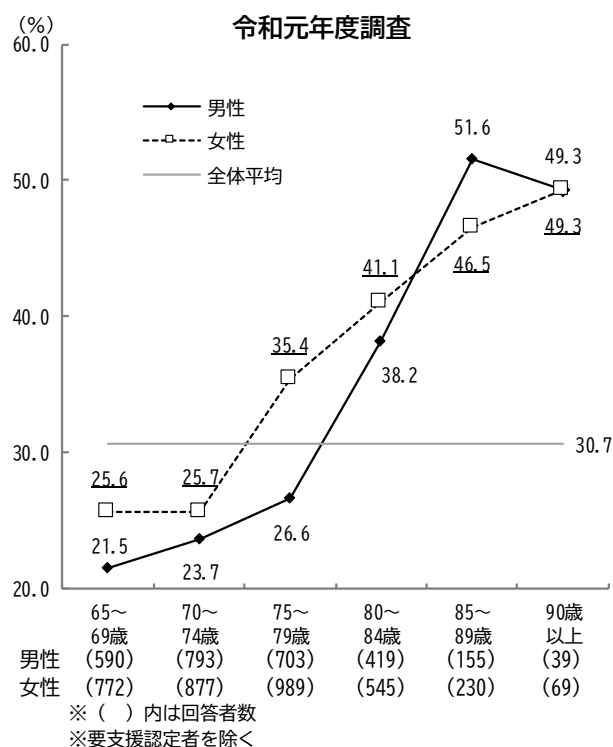
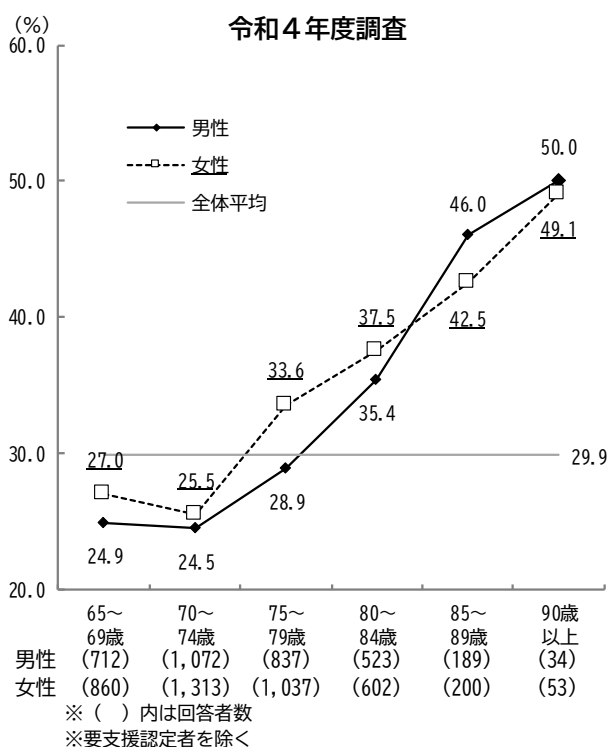
【リスク該当状況】

一般高齢者では、転倒リスクのある高齢者の割合は、全体平均で29.9%となっています。

性別・年齢別にみると、男性、女性いずれも年齢が上がるにつれ割合が高くなる傾向がみられ、いずれの年代でも性別による大きな差はみられません。

令和元年度調査と比較すると、全体平均(29.9%)は、令和元年度調査(30.7%)よりも0.8ポイント減少しています。また、80~89歳では令和元年度よりも割合が低くなっており、85~89歳(46.0%)では5.6ポイント低くなっています。

【性別・年齢別】

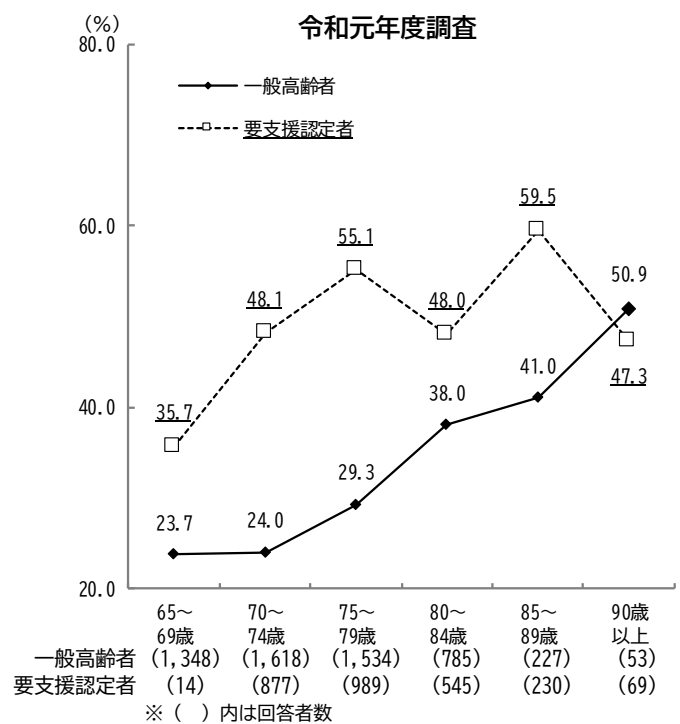
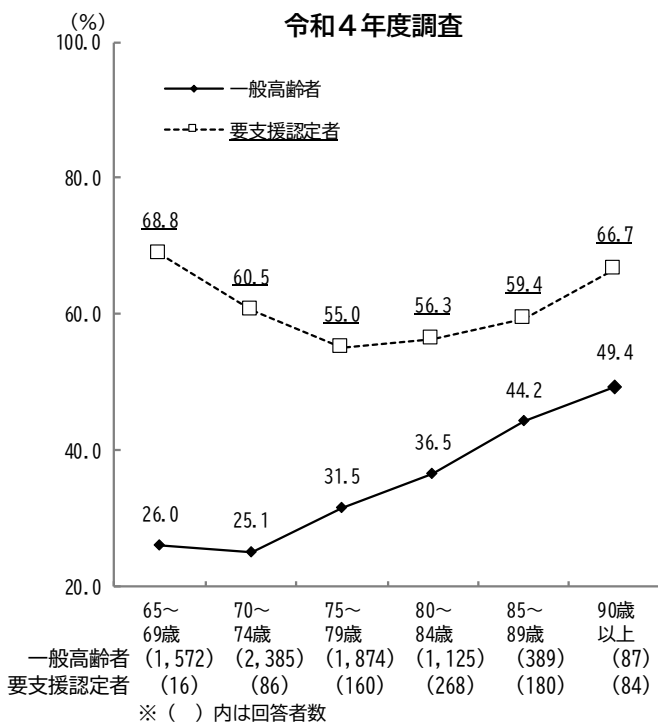


認定状況別・年齢別にみると、一般高齢者では、75歳以上で年齢が上がるにつれて割合が高くなっており、特に80～84歳（36.5%）から85～89歳（44.2%）で7.7ポイント高くなっています。

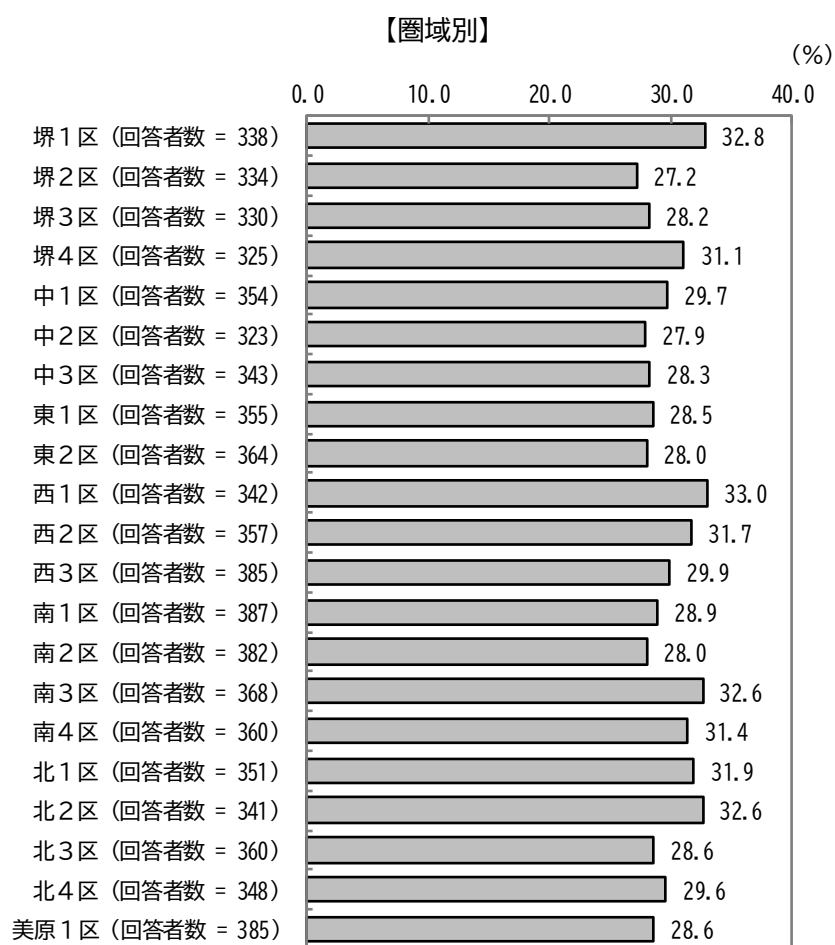
要支援認定者では、75歳以上で年齢が上がるにつれて割合が高くなっており、90歳以上が66.7%で最も高くなっています。

令和元年度調査と比較すると、要支援者では74歳以下、90歳以上で令和元年度調査より割合が高く、90歳以上（66.7%）では令和元年度より19.4ポイント高くなっています。

【認定状況別・年齢別】

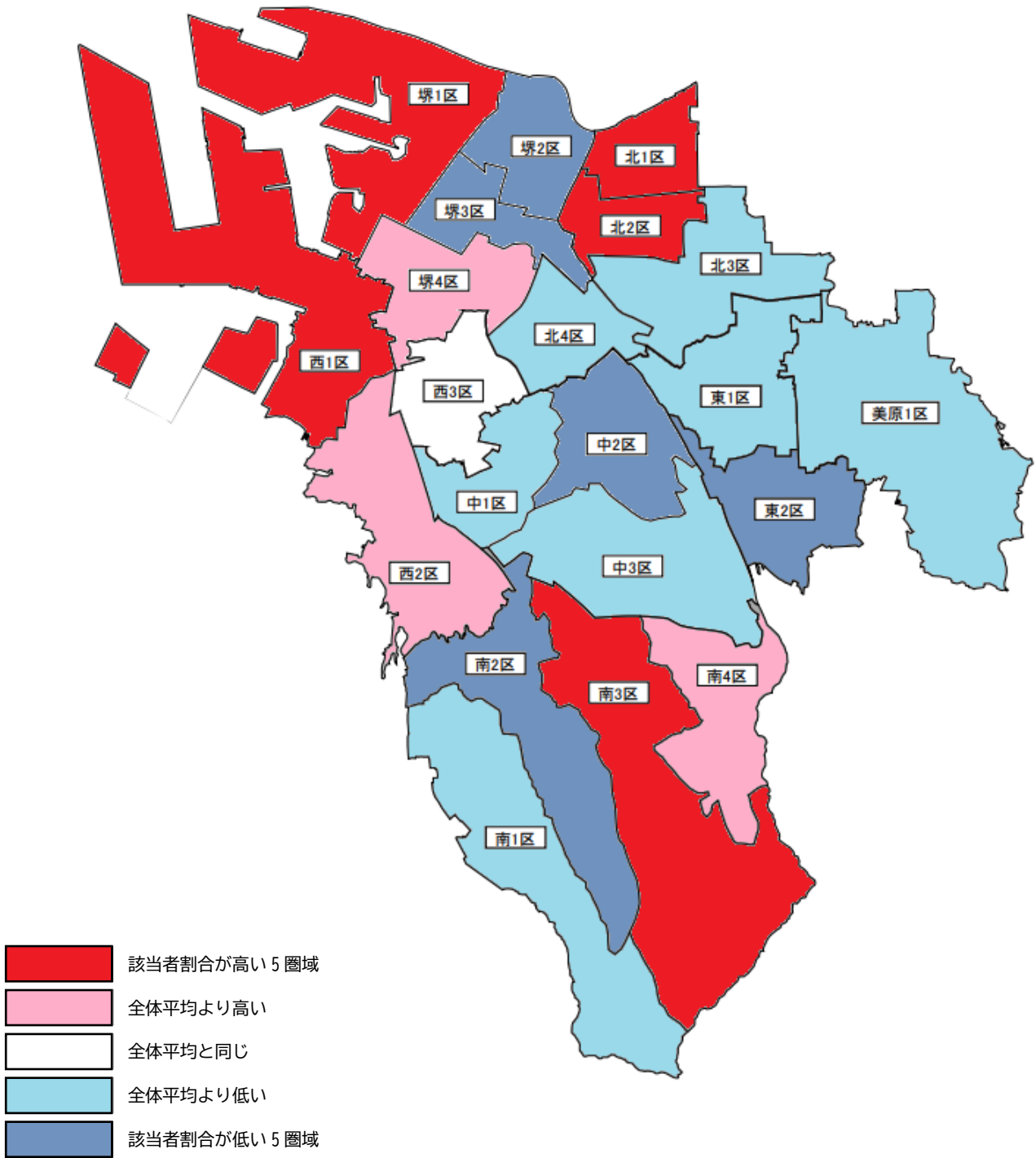


圏域別にみると、「西1区」が33.0%で最も高く、次いで「堺1区」が32.8%、「南3区」「北2区」が32.6%と続いています。



※要支援認定者を除く

【圏域別 転倒リスク該当者の状況】



3 閉じこもり傾向

下記の設問について、該当する選択肢が回答された場合、閉じこもり傾向の高齢者として判定しました。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問3(6)	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

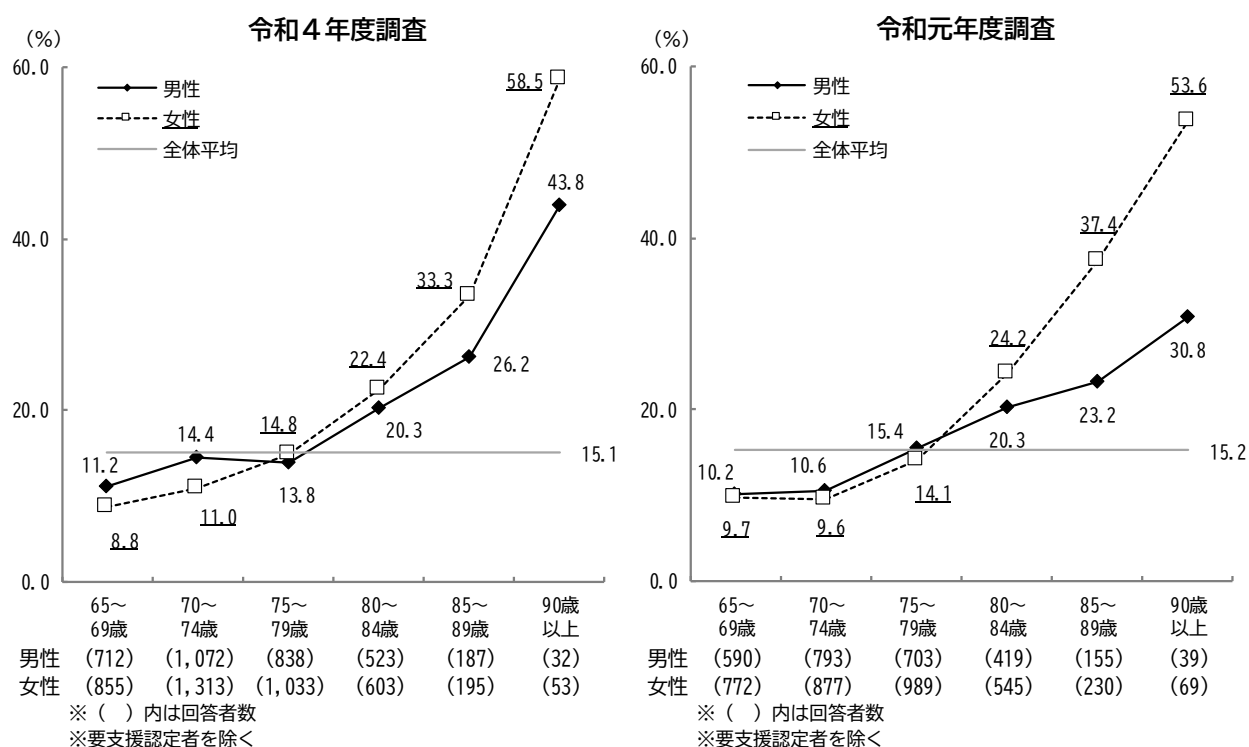
【リスク該当状況】

一般高齢者では、閉じこもり傾向の高齢者の割合は、全体平均で15.1%となっています。

性別・年齢別にみると、79歳以下では男性の割合が女性より高く、80歳以上では女性の割合が男性よりも高くなっています。また、90歳以上では、女性が58.5%で、男性43.8%よりも14.7ポイント高く、最も差が大きい年齢となっています。

令和元年度調査と比較すると、全体平均(15.1%)は、令和元年度調査(15.2%)と同程度なっています。また、男女とも90歳以上で割合が高くなっており、特に男性の90歳以上では令和元年度よりも13.0ポイント高くなっています。

【性別・年齢別】

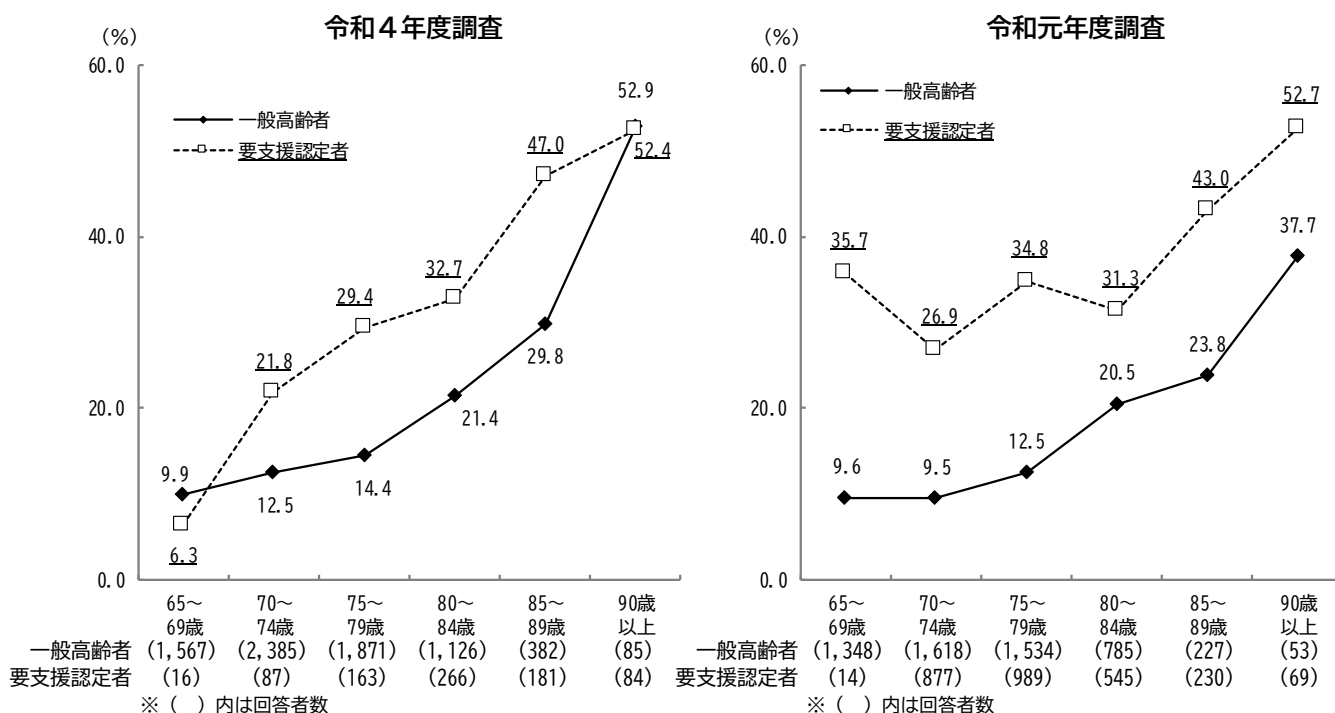


認定状況別・年齢別にみると、一般高齢者では、概ね年齢が上がるにつれて割合が高くなっており、特に85～89歳（29.8%）から90歳以上（52.9%）で23.1ポイント高くなっています。

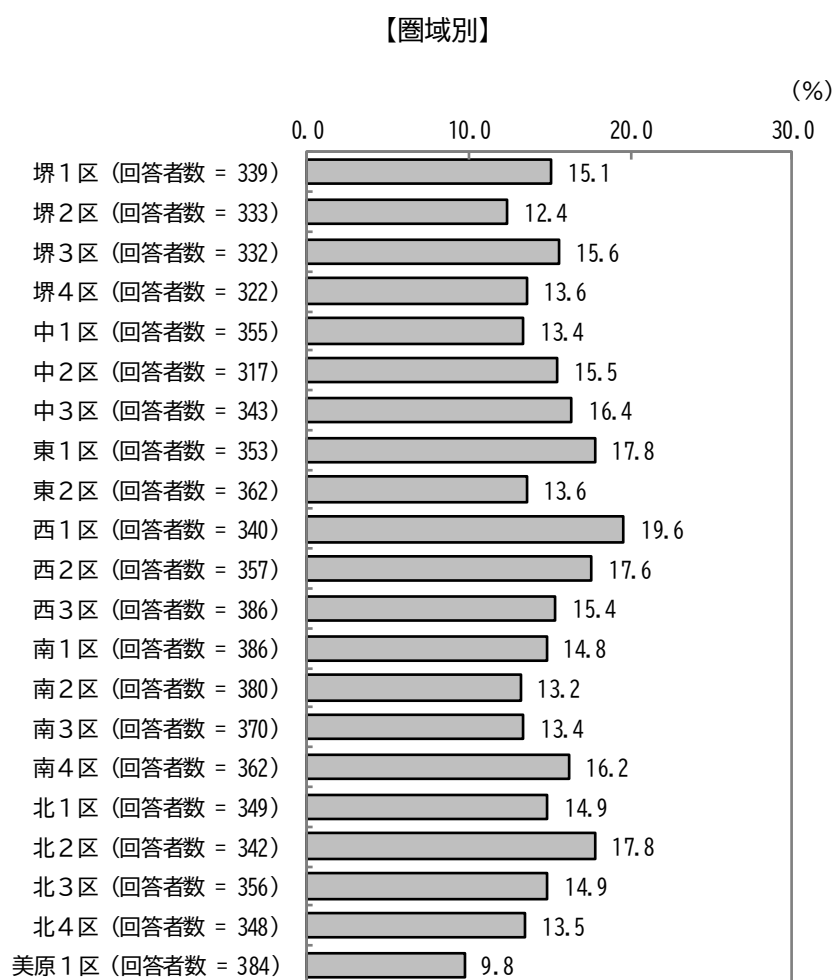
要支援認定者では、80歳以上で年齢が上がるにつれて割合が高くなっており、90歳以上が52.4%で最も高くなっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者の90歳以上では、令和元年度よりも15.2ポイント高くなっています。

【認定状況別・年齢別】

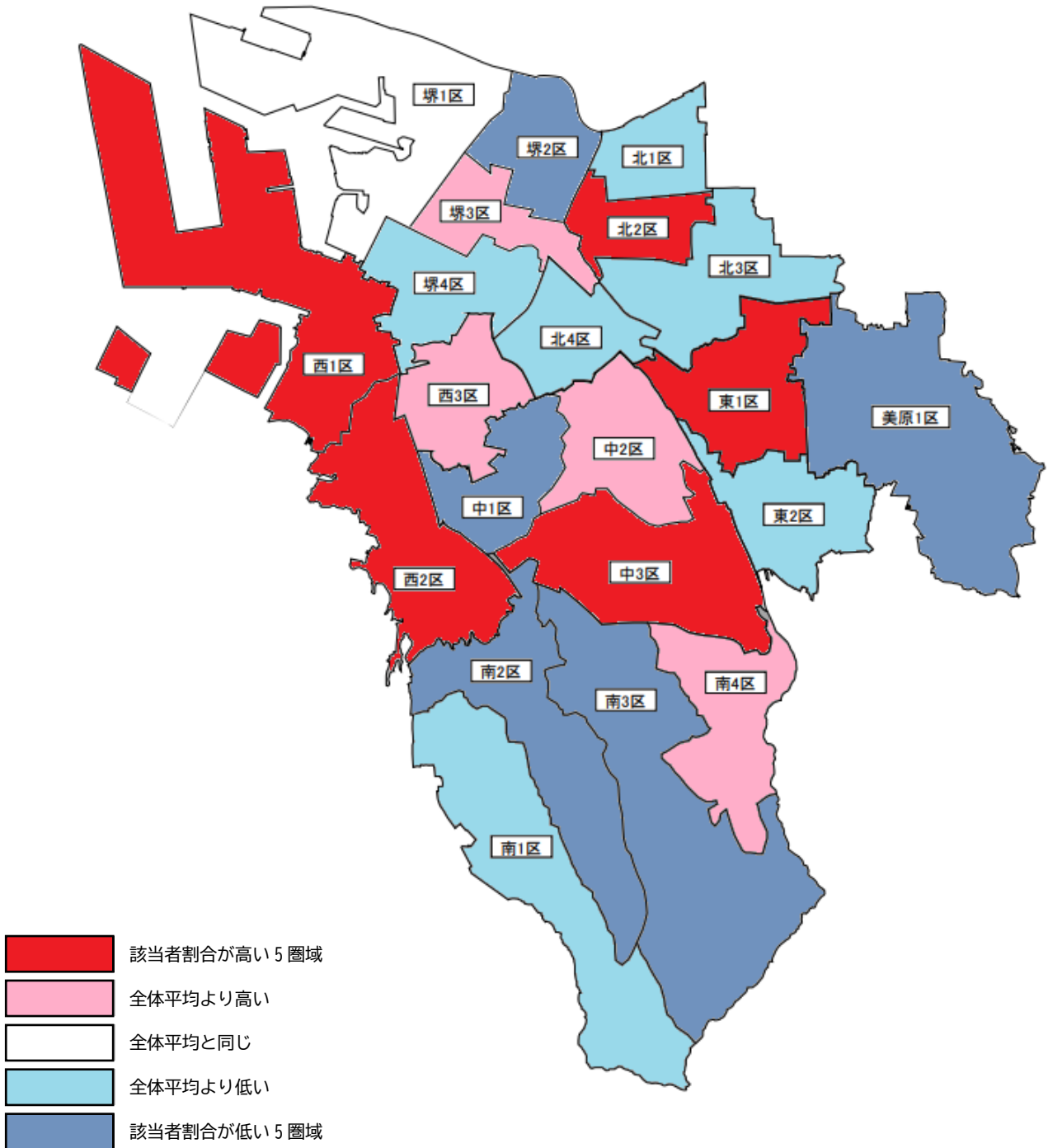


圏域別にみると、「西1区」が19.6%で最も高く、次いで「東1区」「北2区」が17.8%、と続いています。



※要支援認定者を除く

【圏域別 閉じこもり傾向該当者の状況】



4 低栄養の傾向

下記の設問について、該当する場合、低栄養が疑われる高齢者として判定しました。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問4(1)	身長・体重	身長・体重から算出されるBMI(体重(kg)÷{身長(m)×身長(m)})が18.5以下

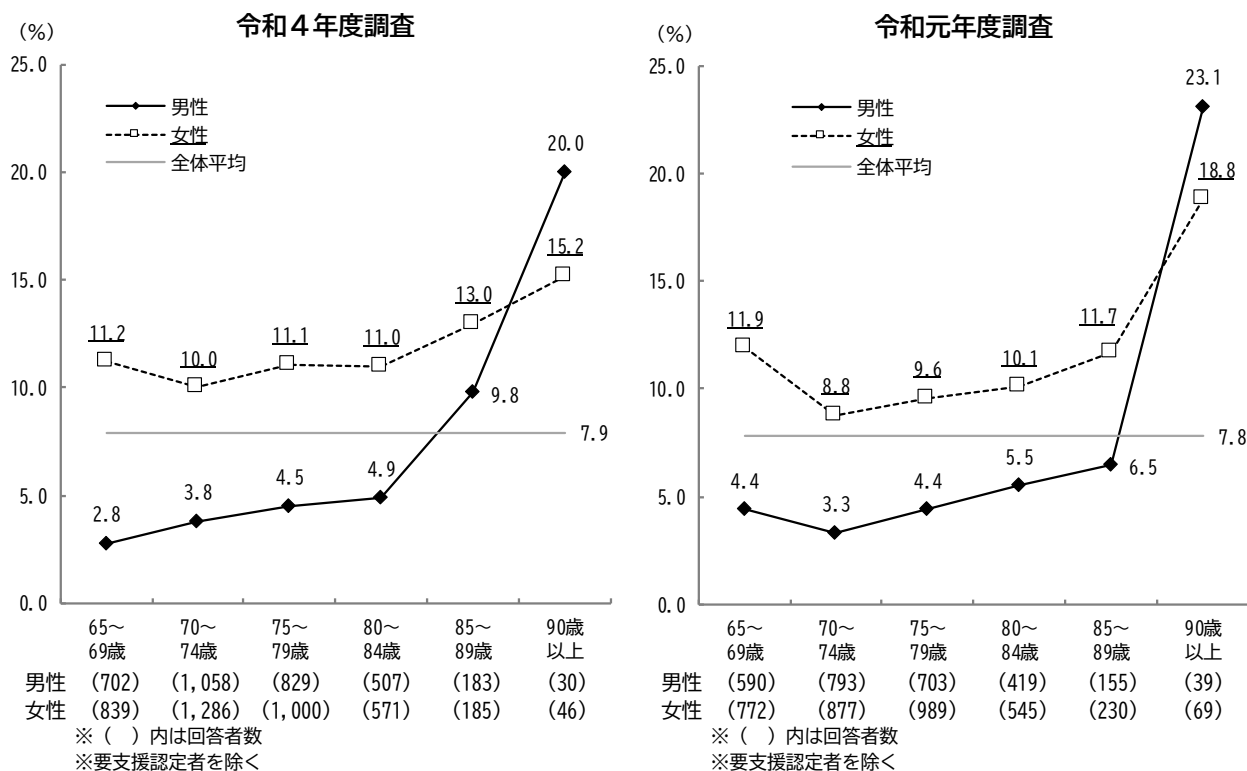
【リスク該当状況】

一般高齢者では、低栄養が疑われる高齢者の割合は、全体平均で7.9%となっています。

性別・年齢別にみると、男性では65歳から、女性は80歳以上で年齢が上がるにつれて割合が高くなっています。また、89歳以下では女性よりも男性で割合が高いのに対し、90歳以上では男性よりも女性で割合が高くなっています。

令和元年度調査と比較すると、全体平均(7.9%)は、令和元年度調査(7.8%)と同程度となっていますが、70~79歳、85~89歳では男女とも令和元年度よりも割合が高くなっています。

【性別・年齢別】

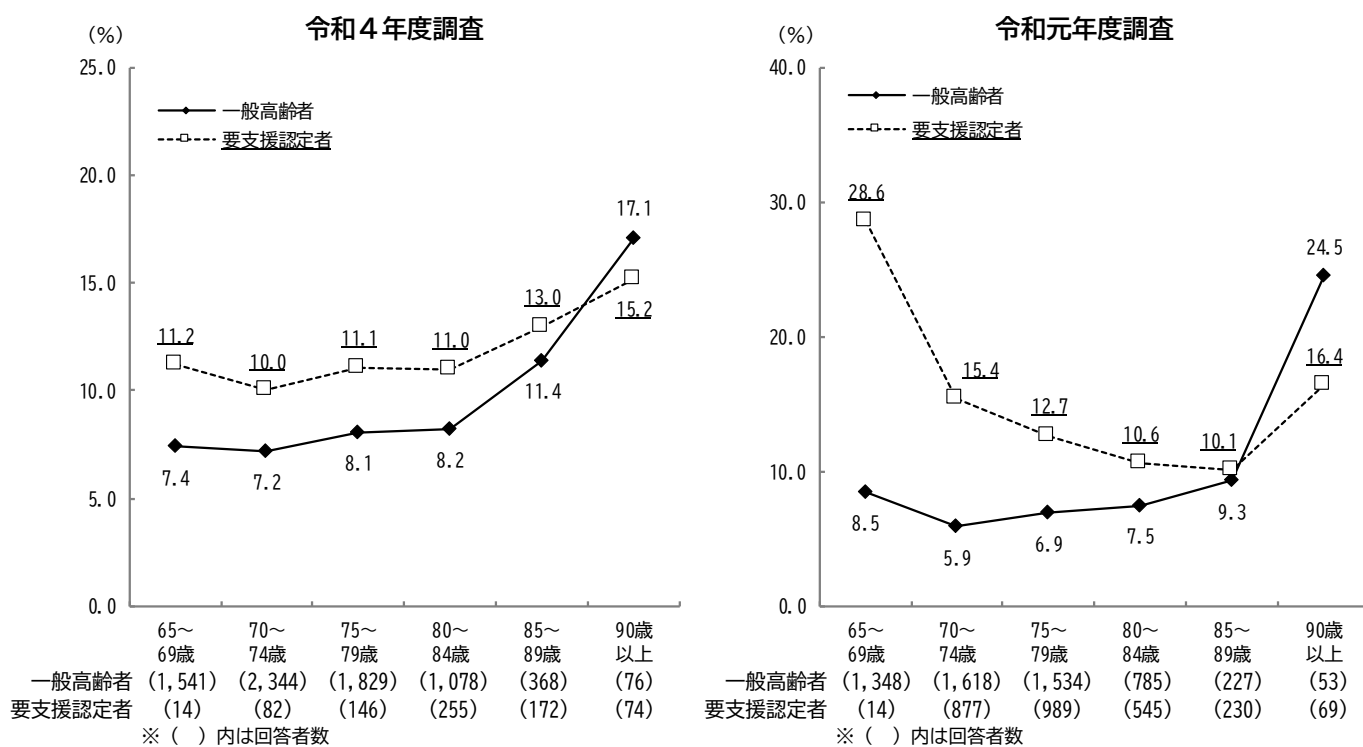


認定状況別・年齢別にみると、一般高齢者では75歳以上で年齢が上がるにつれて割合が高くなっており、特に85～89歳（11.4%）から90歳以上（17.1%）で5.7ポイント高くなっています。

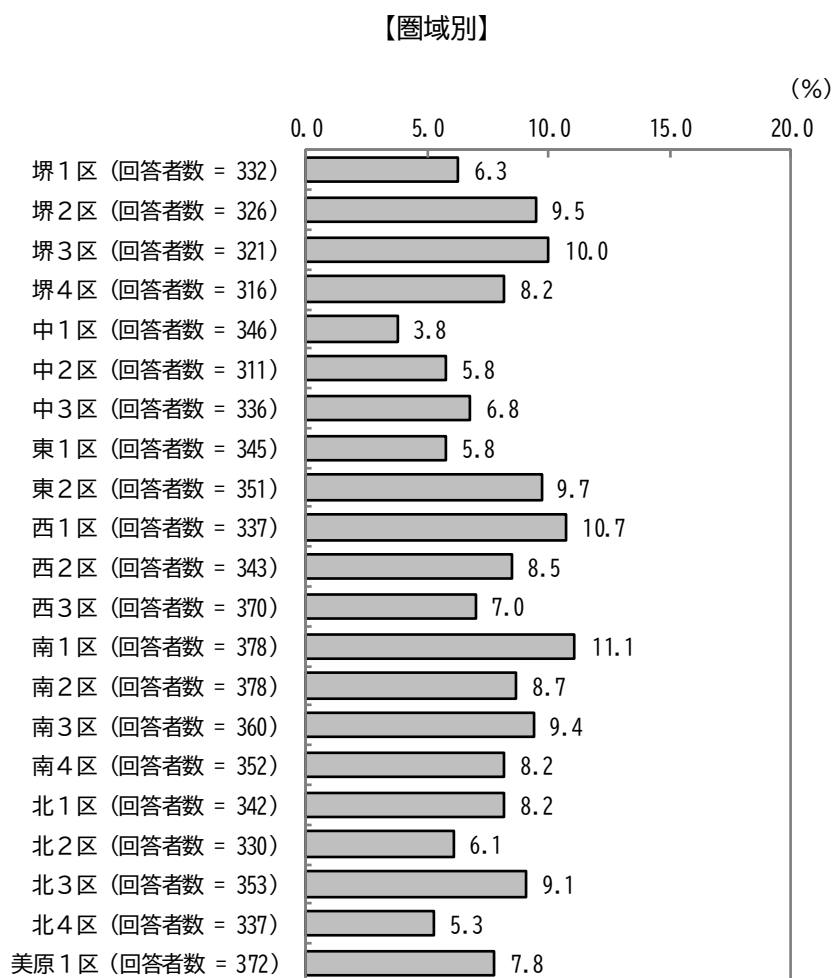
要支援認定者では、89歳以下では1割台で推移しているものの、90歳以上では約2割と高くなっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者の90歳以上では令和元年度よりも7.4ポイント低くなっている一方、要支援認定者では85～89歳で6.8ポイント、90歳以上で5.2ポイント高くなっています。

【認定状況別・年齢別】

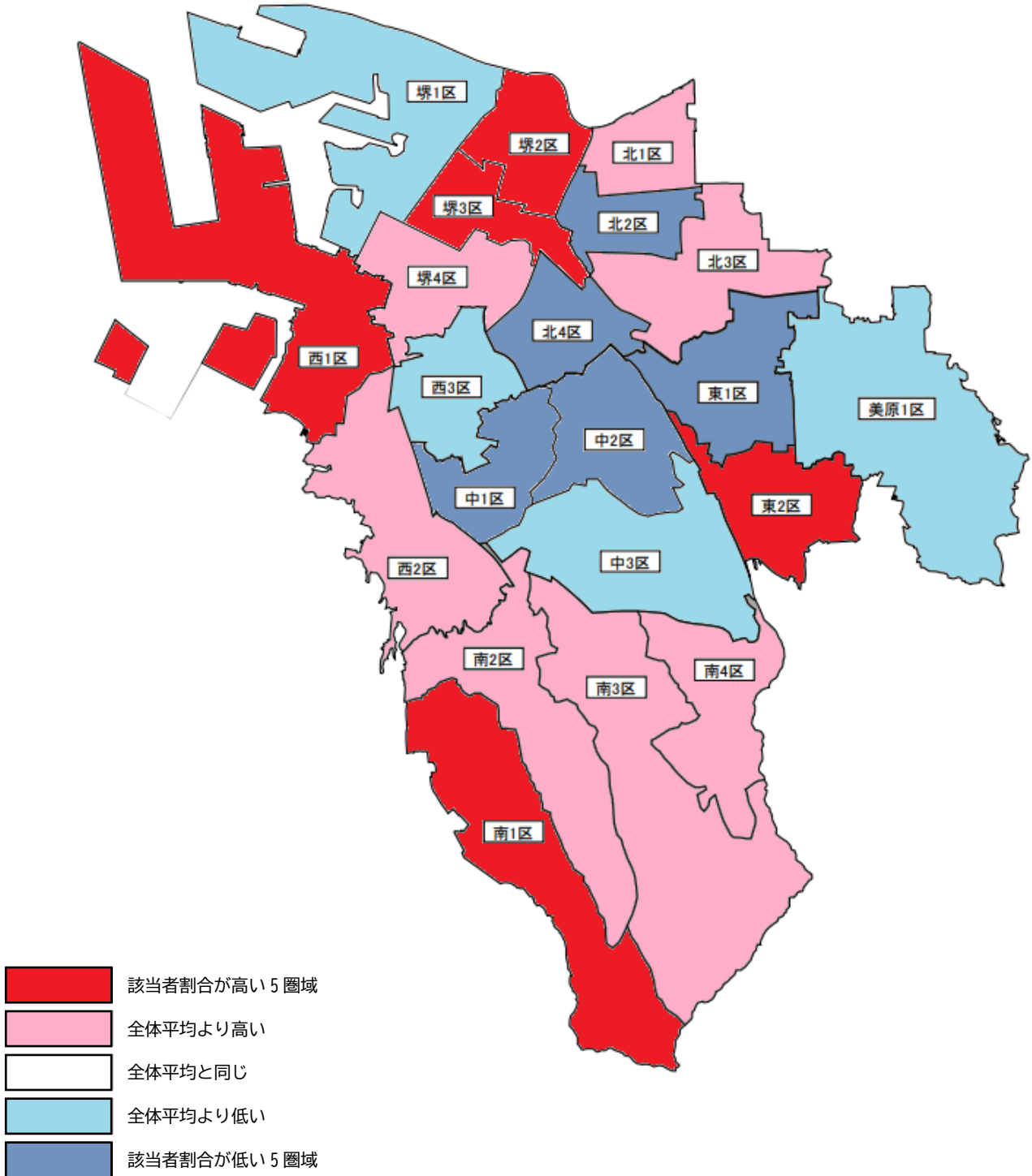


圏域別にみると、「南1区」が11.1%で最も高く、次いで「西1区」が10.7%、「堺3区」が10.0%と続いています。



※要支援認定者を除く

【圏域別 低栄養の傾向該当者の状況】



5 咀嚼機能の低下

下記の設問について、該当する選択肢が回答された場合、咀嚼機能の低下が疑われる高齢者として判定しました。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問4(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい

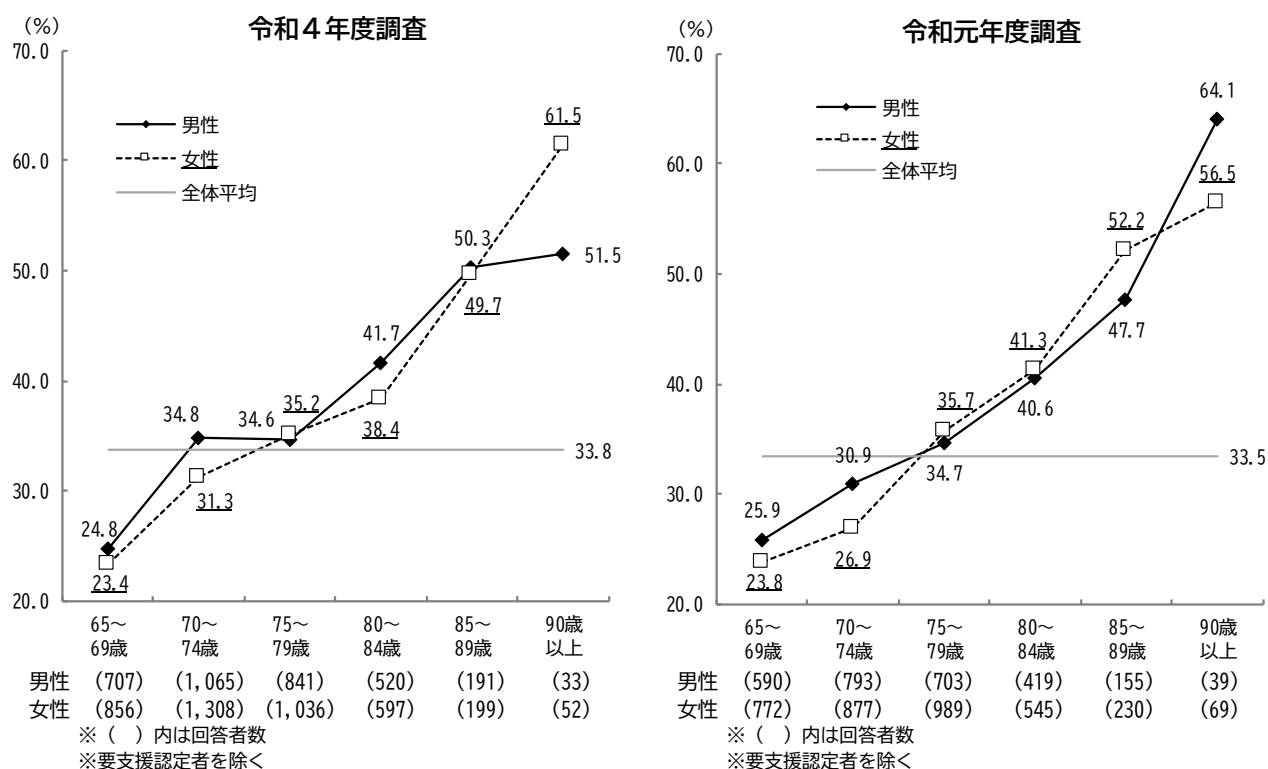
【リスク該当状況】

一般高齢者では、咀嚼機能の低下が疑われる高齢者の割合は、全体平均で33.8%となっています。

性別・年齢別にみると、男性・女性いずれも年齢が高くなるにつれて割合が高くなっており、90歳以上（男性51.5%、女性61.5%）の割合が最も高くなっています。

令和元年度調査と比較すると、全体平均（33.8%）は、令和元年度調査（33.5%）と同程度となっています。また、男性の90歳以上では令和元年度よりも12.6ポイント低くなっています。

【性別・年齢別】

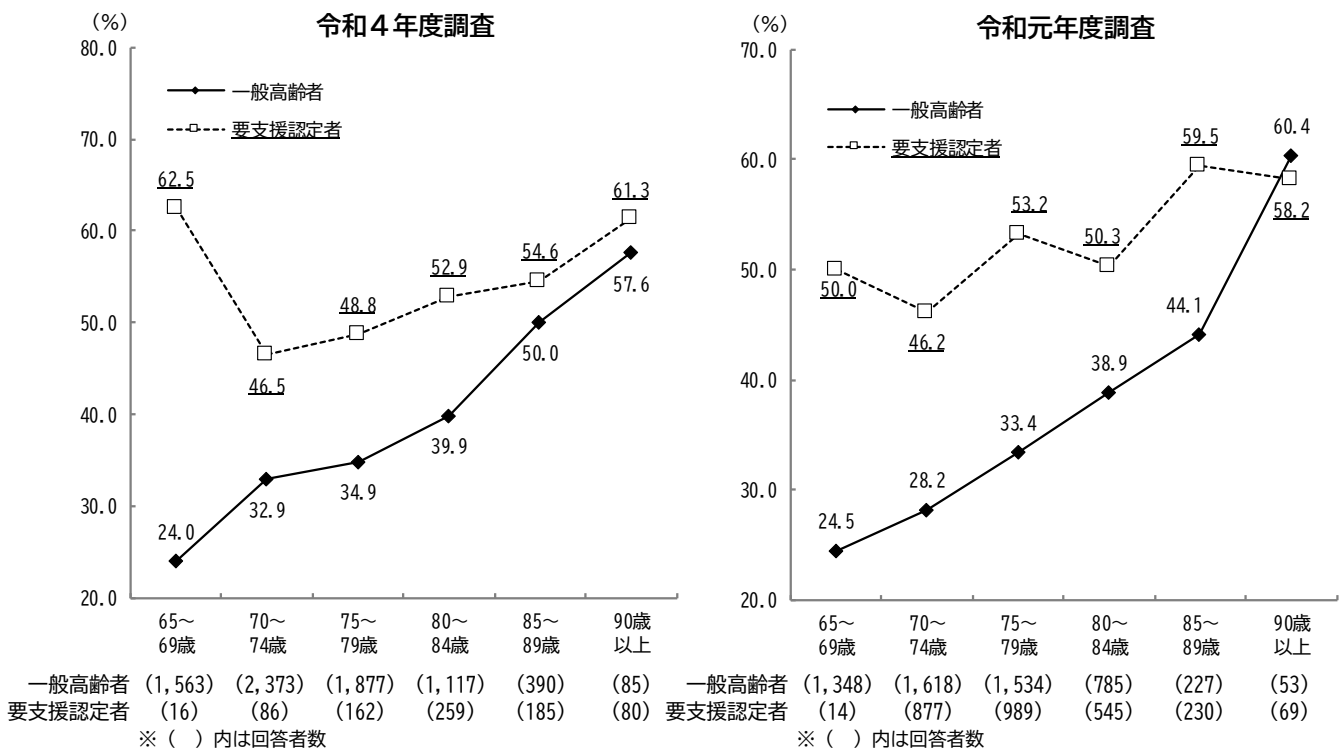


認定状況別・年齢別にみると、一般高齢者では年齢が上がるにつれて割合が高くなっており、90歳以上が57.6%で最も高く、特に80～84歳（39.9%）から85～89歳（50.0%）で10.1ポイント高くなっています。

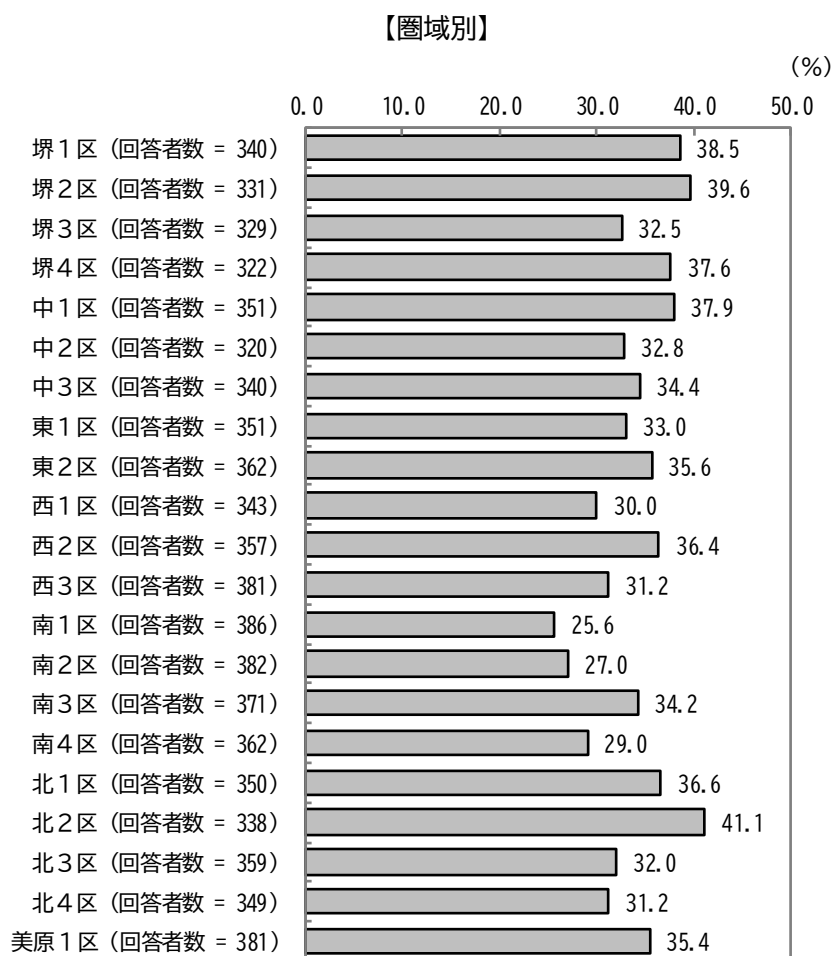
要支援認定者では、70歳以上で年齢が上がるにつれて割合が高くなっており、90歳以上で61.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者の70～89歳では令和元年度よりも割合が高くなっています。

【認定状況別・年齢別】

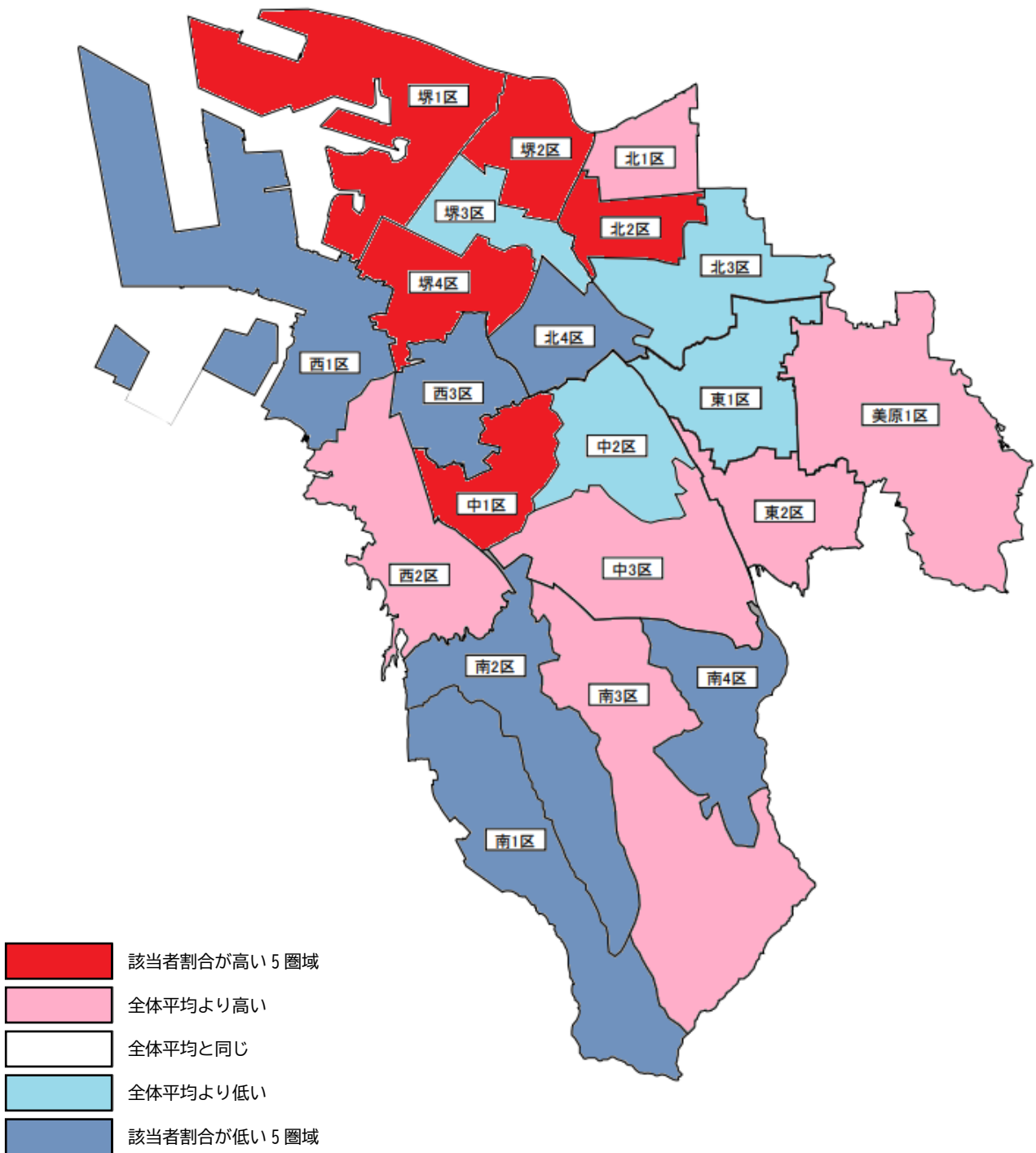


圏域別にみると、「北2区」が41.1%で最も高く、次いで「堺2区」が39.6%、「堺1区」が38.5%と続いています。



※要支援認定者を除く

【圏域別 咀嚼機能の低下該当者の状況】



6 認知機能の低下

下記の設問について、該当する選択肢が回答された場合、認知機能の低下が見られる高齢者として判定しました。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問5(1)	物忘れが多いと感じますか。	1. はい

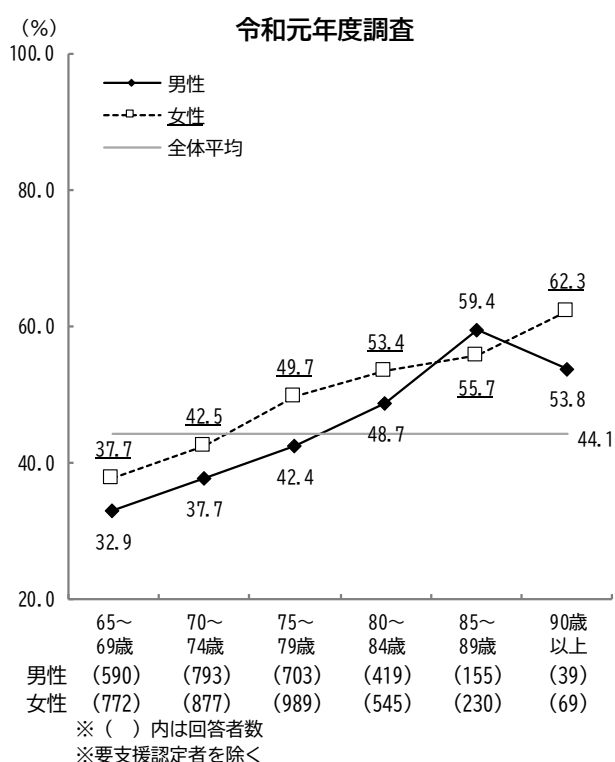
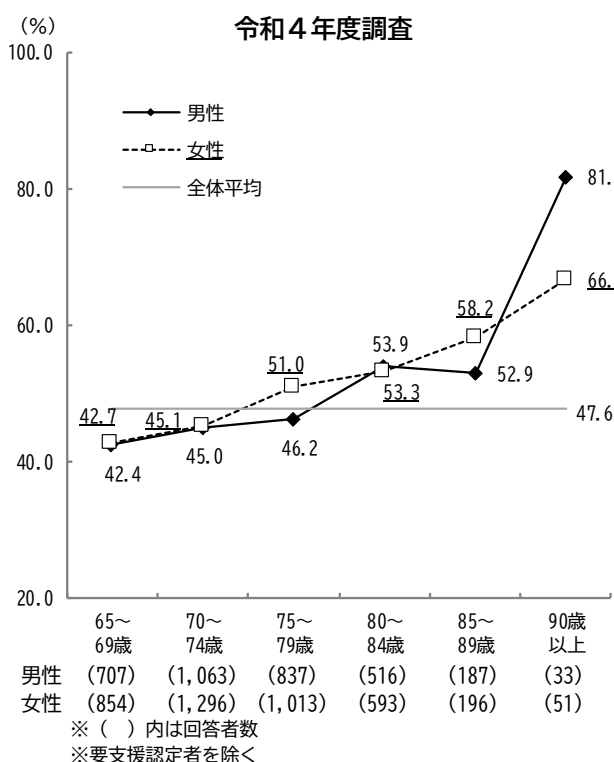
【リスク該当状況】

一般高齢者では、認知機能の低下が見られる高齢者の割合は、全体平均で47.6%となっています。

性別・年齢別にみると、89歳以下では男性、女性での割合に大きな差はみられないものの、90歳以上(男性81.8%、女性66.7%)では、男性の方が女性より15.1ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比較すると、全体平均(47.6%)は、令和元年度調査(44.1%)よりも3.5ポイント増加しています。また、85~89歳以外の全年齢で令和元年度よりも割合が高く、特に男性の90歳以上では令和元年度よりも28.0ポイント高くなっています。

【性別・年齢別】

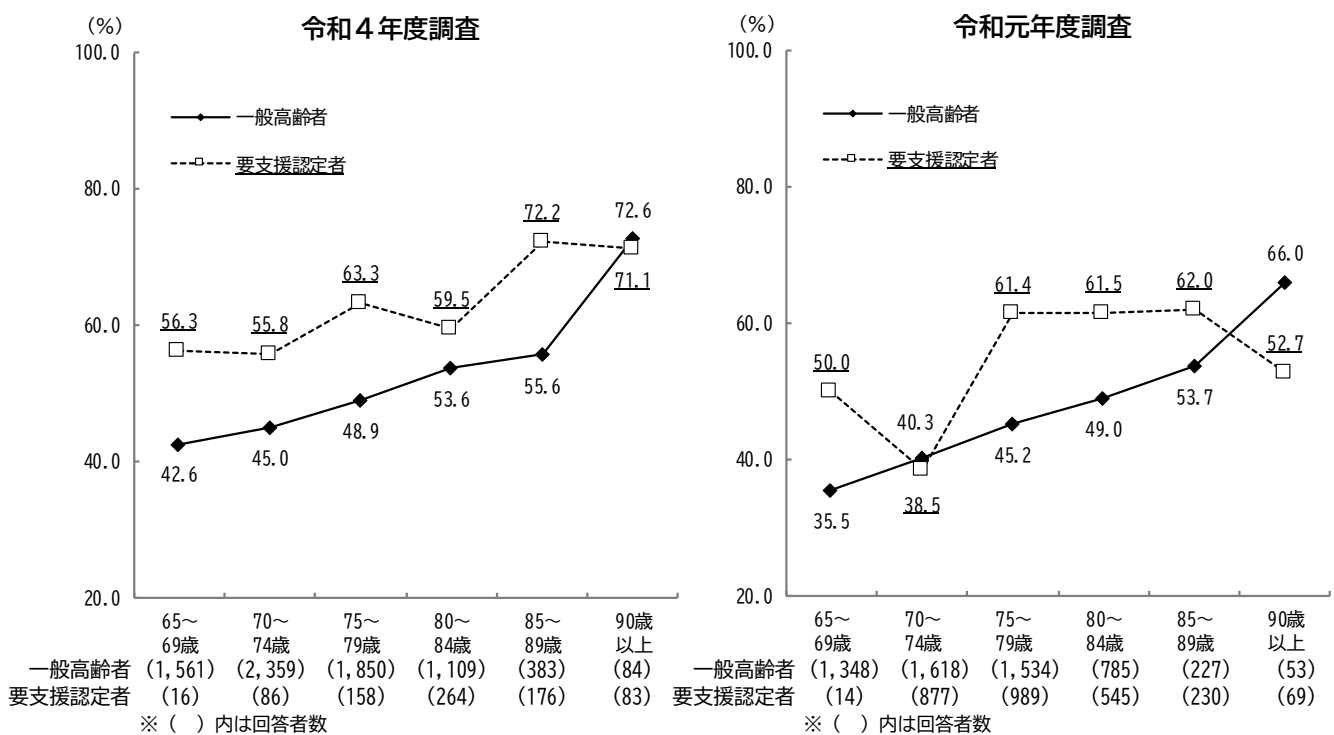


認定状況別・年齢別にみると、一般高齢者では年齢が上がるにつれて割合が高くなっており、90歳以上が72.6%で最も高く、特に85～89歳（55.6%）から90歳以上（72.6%）で17.0ポイント高くなっています。

要支援認定者では、84歳以下では6割前後で推移しているものの、85歳以上では7割台を超えています。

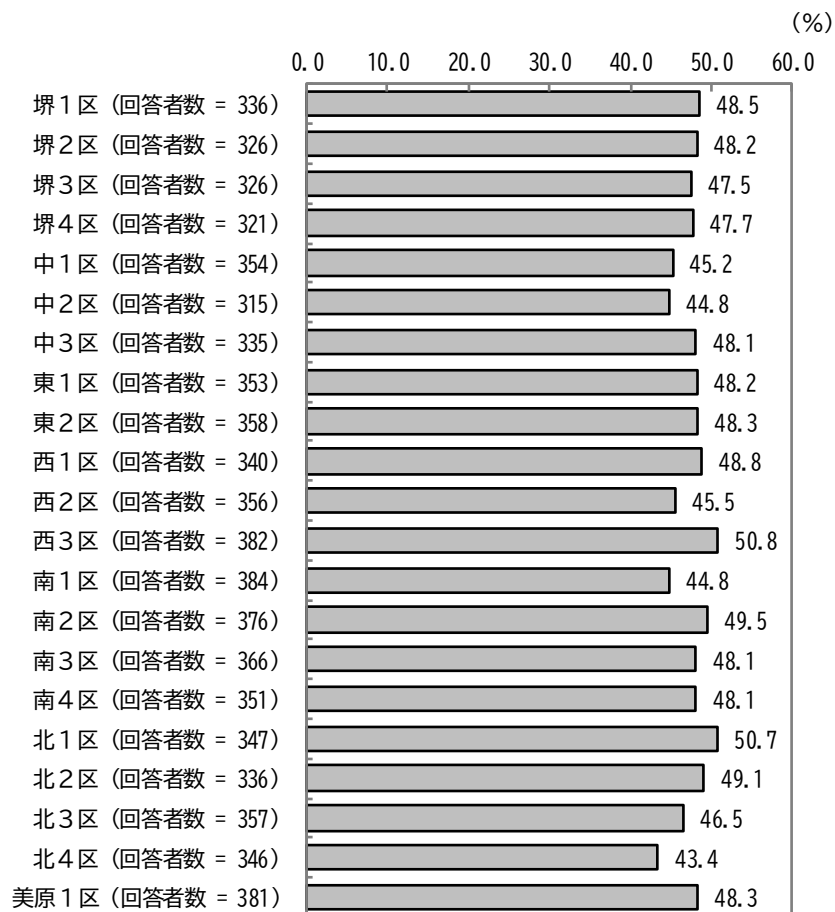
令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では全年齢で令和元年度よりも割合が高くなっています。また、要支援認定者では、80～84歳を除く全年齢で令和元年度よりも割合が高く、特に90歳以上では18.4ポイント高くなっています。

【認定状況別・年齢別】



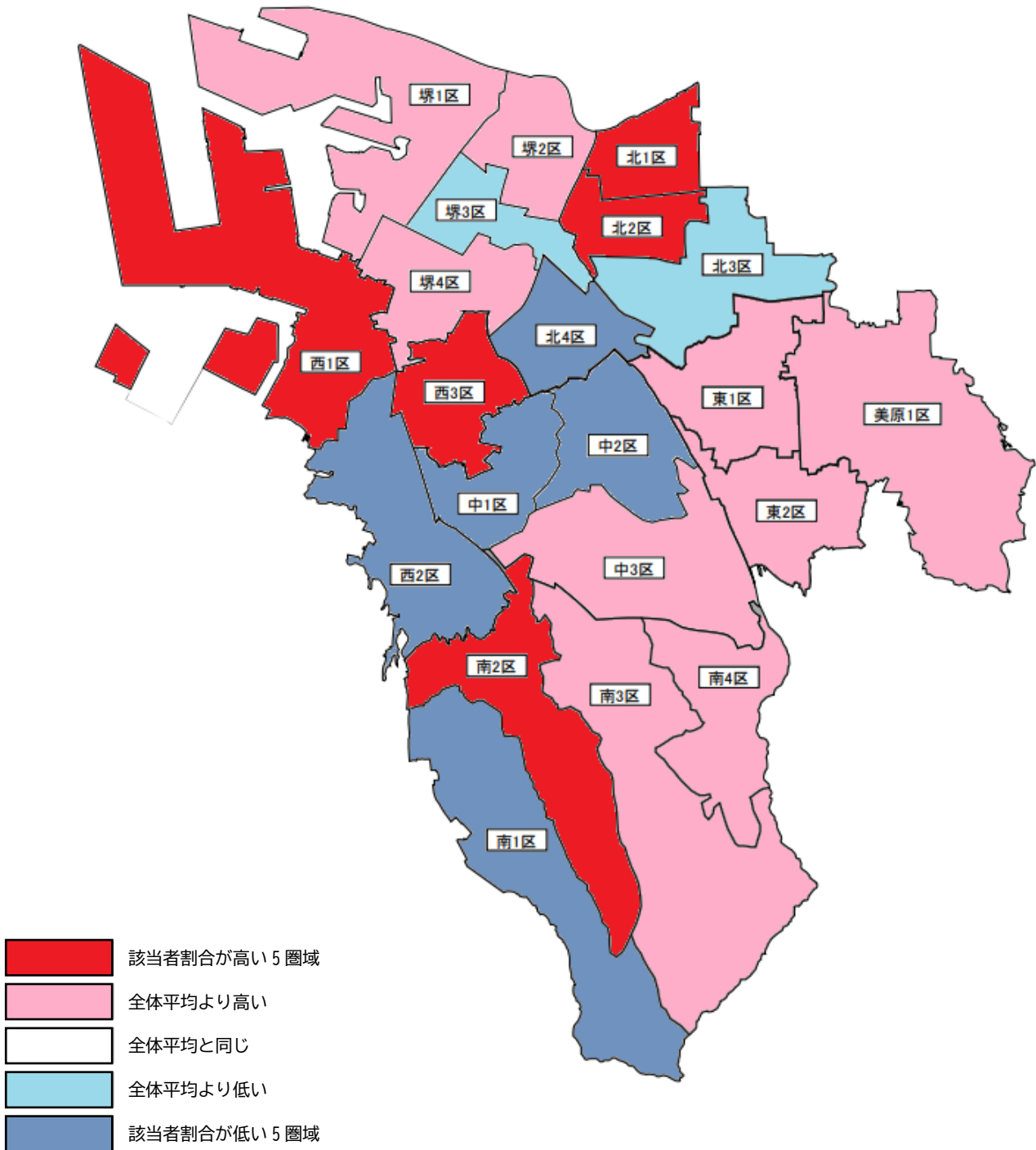
圏域別にみると、「西3区」が50.8%で最も高く、次いで「北1区」が50.7%、「南2区」が49.5%と続いています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

【圏域別 認知機能の低下該当者の状況】



7 手段的自立度（IADL）

老研式活動能力指標に基づき、下記の5設問について、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、4点以下の場合、IADLが低下している高齢者として判定しました。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問5(2)	バスや電車を使って1人で外出していますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問5(3)	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問5(4)	自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問5(5)	自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問5(6)	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点

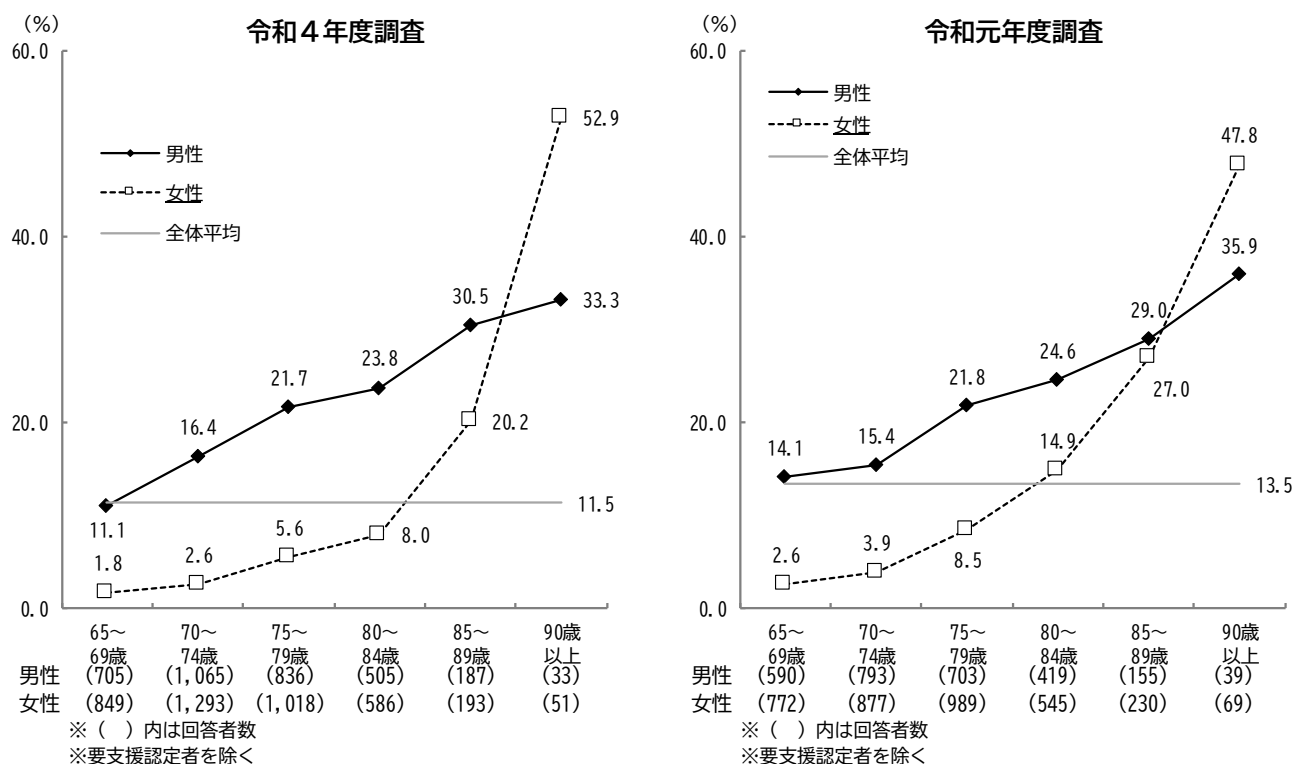
【該当状況】

一般高齢者では、IADLが低下している高齢者の割合は、全体平均で11.5%となっています。

性別・年齢別でみると、男性・女性いずれも年齢が上がるにつれて割合が高くなっており、90歳以上（男性33.3%、女性52.9%）の割合が最も高くなっています。また、89歳以下では男性の割合が女性よりも高くなっています。

令和元年度調査と比較すると、全体平均（11.5%）は、令和元年度調査（13.5%）よりも2.0ポイント減少しています。また、女性の90歳以上で令和元年度調査より5.1ポイント高くなっています。

【性別・年齢別】

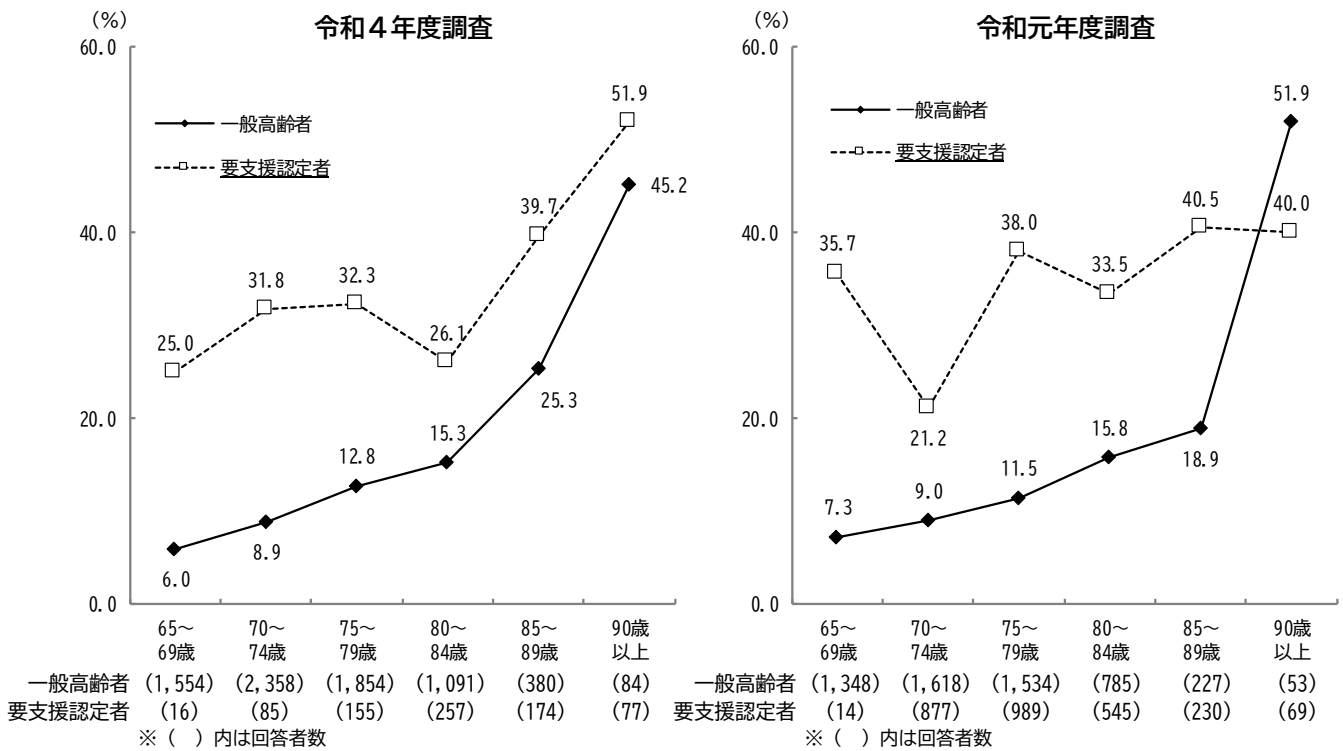


認定状況別・年齢別で見ると、一般高齢者では年齢が上がるにつれて割合が高くなっており、特に85～89歳（25.3%）から90歳以上（45.2%）で19.9ポイント高くなっています。

要支援認定者では、89歳以下では2～3割台で推移しているものの、90歳以上では51.9%と高くなっています。

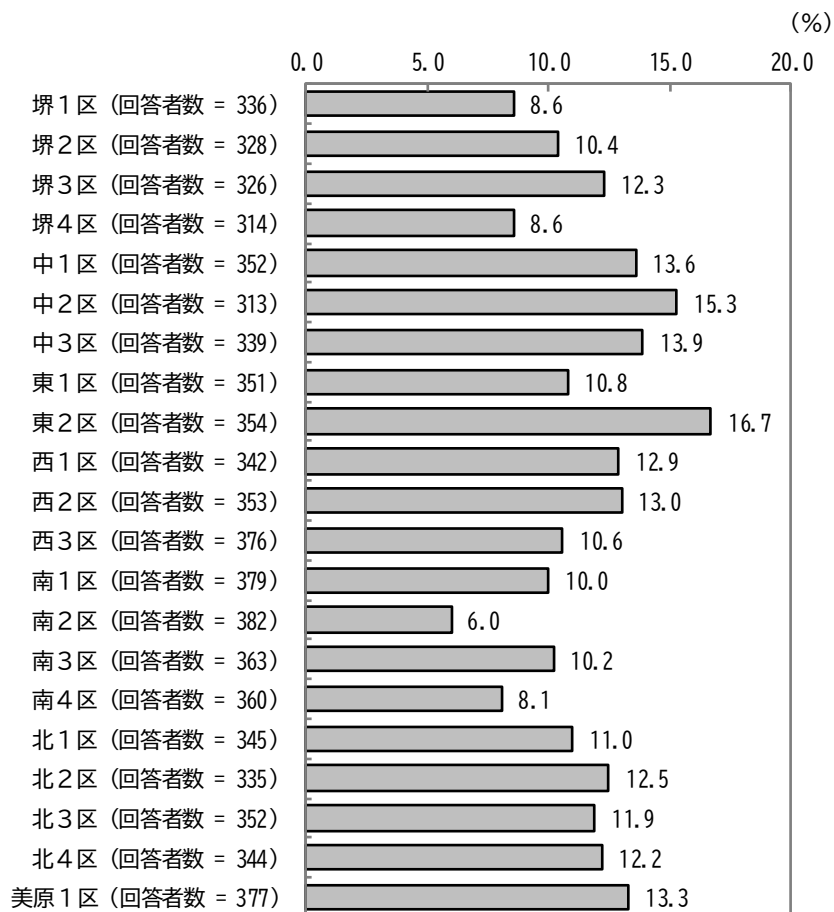
令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では85～89歳で6.4ポイント、要支援者では70～74歳で10.6ポイント、90歳以上で11.9ポイント高くなっています。

【認定状況別・年齢別】



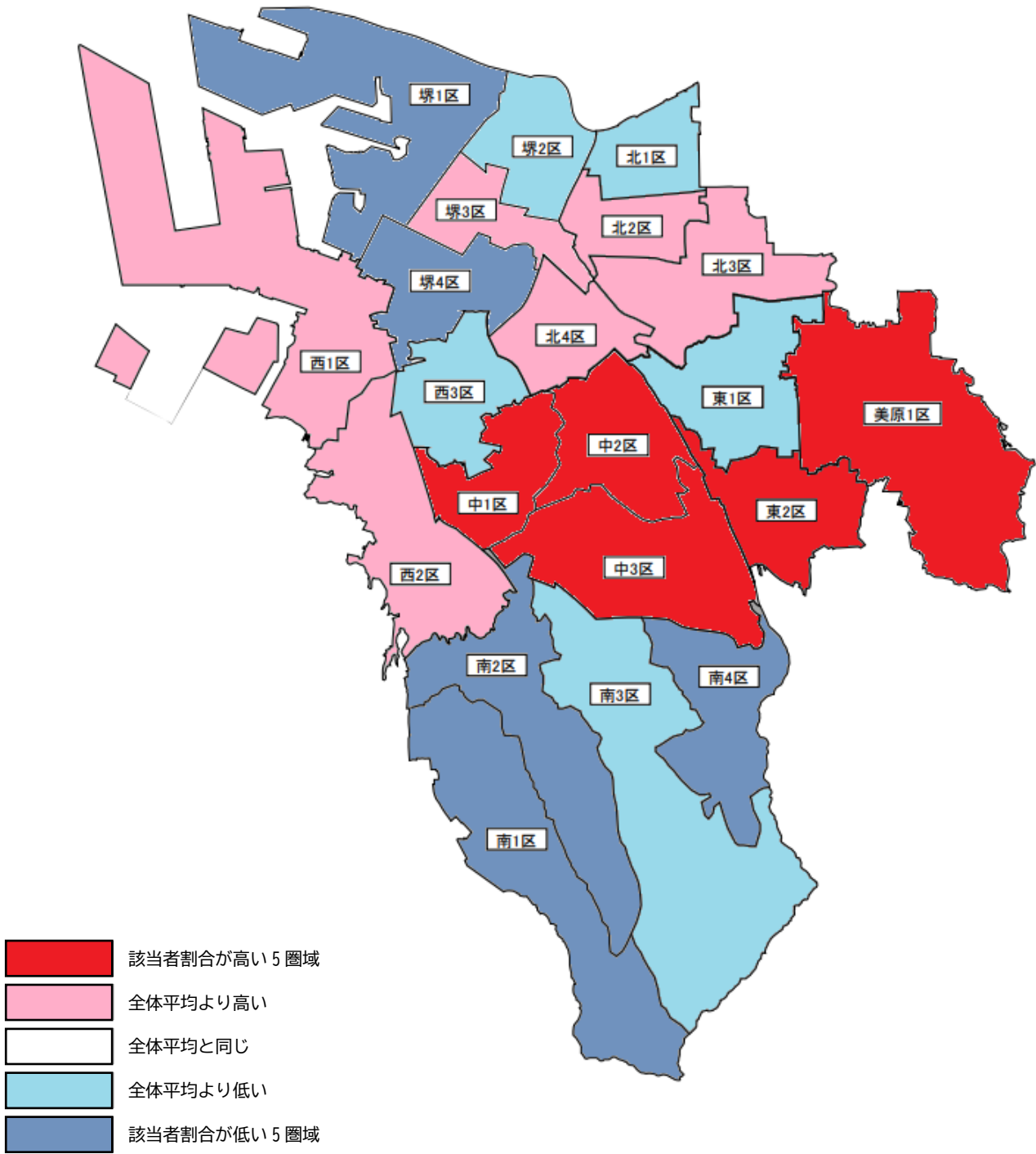
圏域別にみると、「東2区」が16.7%で最も高く、次いで「中2区」が15.3%、「中3区」が13.9%と続いています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

【圏域別 手段的自立度（IADL）低下該当者の状況】



8 うつ傾向

下記の2設問について、いずれか1つでも該当する選択肢が回答された場合、うつ傾向の高齢者として判定しました。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問8(4)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
問8(5)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

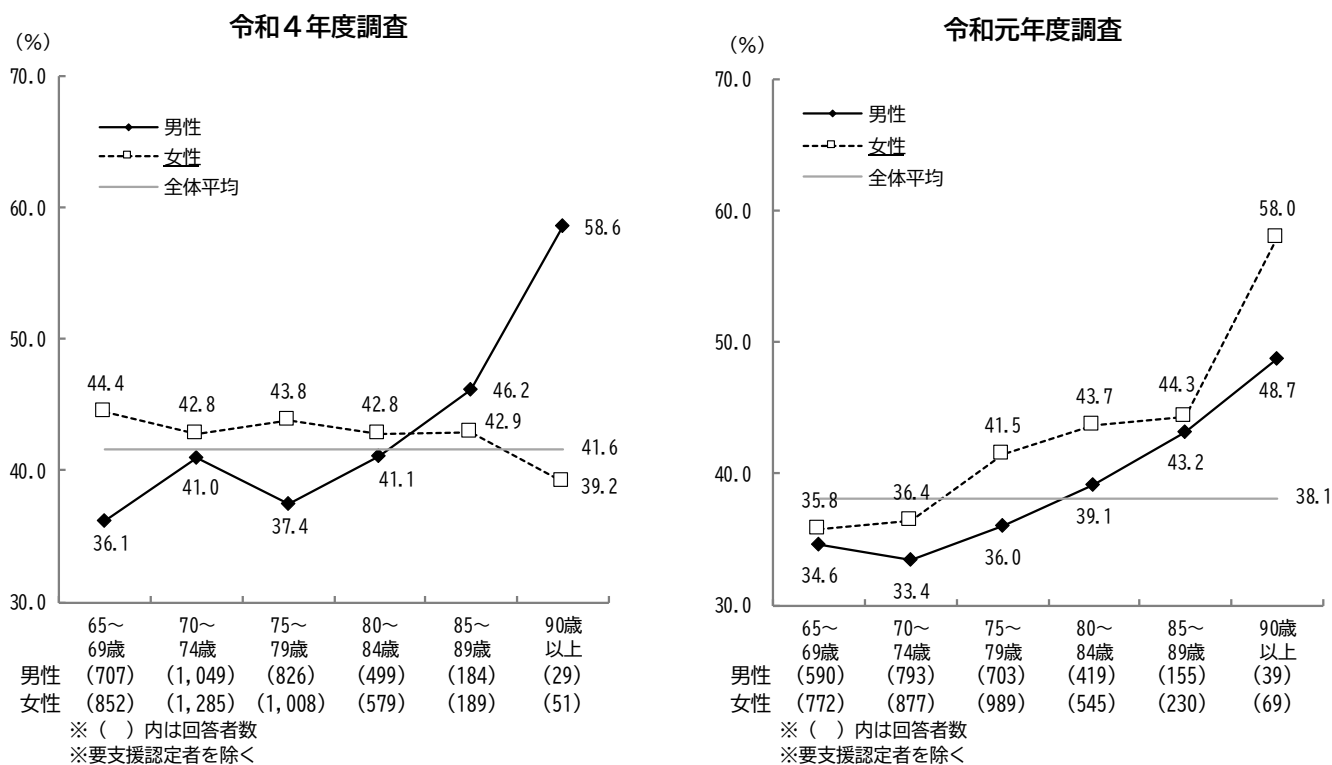
【リスク該当状況】

一般高齢者では、うつ傾向の高齢者の割合は、全体平均で41.6%となっています。

性別・年齢別にみると、84歳以下では男性より女性で割合が高く、85歳以上では男性よりも女性で割合が高くなっており、90歳以上（男性58.6%、女性39.2%）では男性の方が女性より19.4ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比較すると、全体平均（41.6%）は、令和元年度調査（38.1%）よりも3.5ポイント増加しています。また、男性では全年齢で、女性では79歳以下で、令和元年度より割合が高くなっています。

【性別・年齢別】

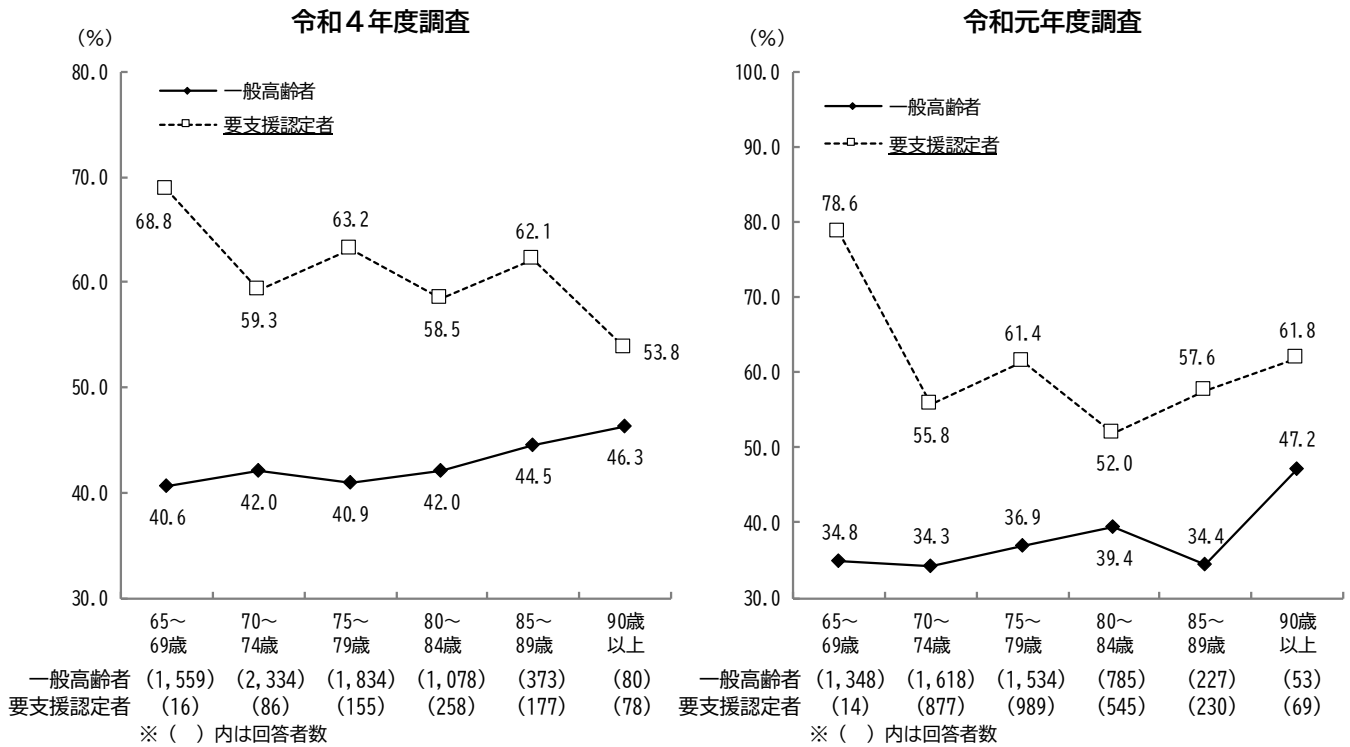


認定状況別・年齢別にみると、一般高齢者では、75歳以上で年齢が上がるにつれて割合が高くなっており、90歳以上が46.3%となっています。

要支援認定者では、5～6割台で推移しており、65～69歳が68.8%で最も高くなっています。

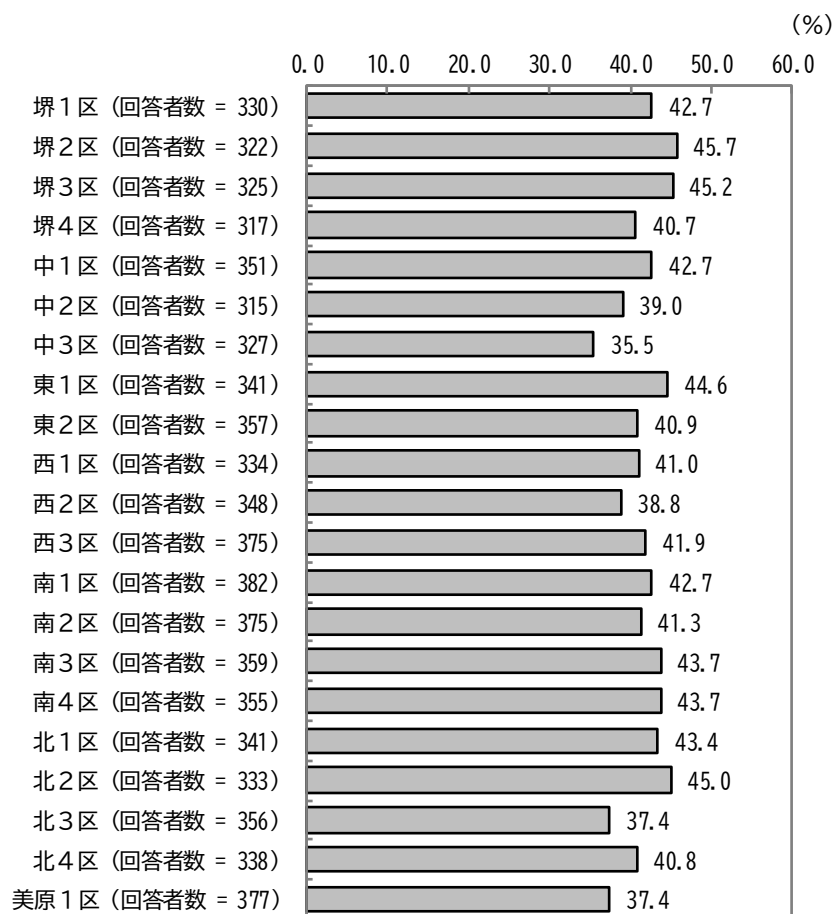
令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では89歳以下で令和元年度調査より割合が高くなっています、また、要支援認定者でも70～89歳で割合が高くなっています。

【認定状況別・年齢別】



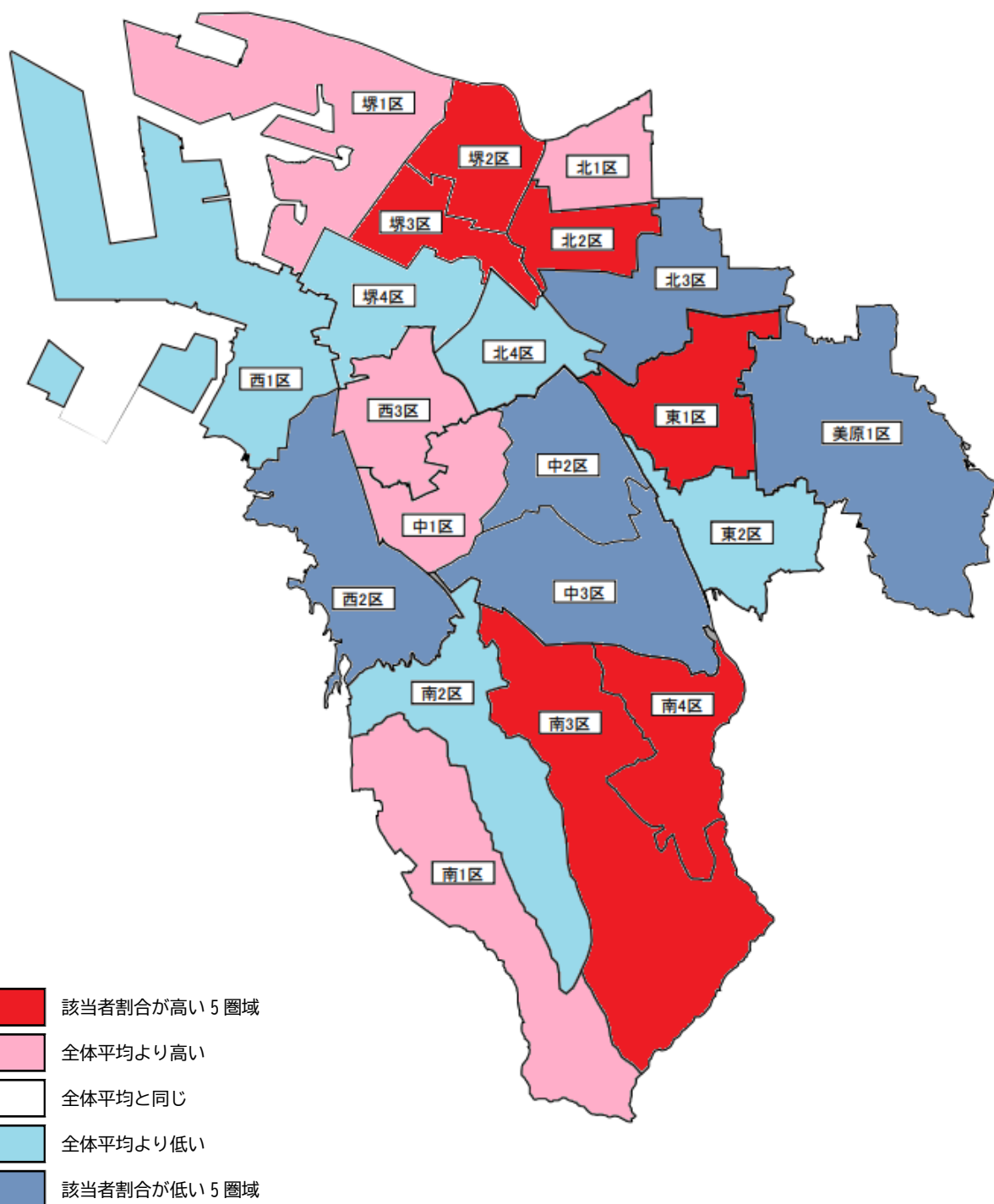
圏域別にみると、「堺2区」が45.7%で最も高く、次いで「堺3区」が45.2%、「北2区」が45%と続いています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

【圏域別 うつ傾向該当者の状況】



IV 調査票

1 一般高齢者・要支援認定者調査

●●●●●●
(調査①一般高齢者・要支援者調査)

令和4年度堺市高齢者等実態調査ご協力のお願い

日頃から、堺市の福祉施策の推進にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
このたび、市内在住の介護保険の認定を受けていない65歳以上の方及び要支援1、要支援2の認定を受けている65歳以上の方13,200名を無作為に抽出し、「アンケート調査」を実施することになりました。

この調査は、今後の高齢者保健福祉行政の計画的かつ効果的な推進と次期の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のために役立たせていただくものです。

ご多忙の折、誠に恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただきまして、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

回答に当たってのお願い

- 1 このアンケートは、ご本人が記入してください。ご本人が記入できない場合は、ご家族等がご本人の立場に立って記入していただいて結構です。
- 2 アンケートの記入はお答えいただける範囲で結構です。途中まででも結構ですので、ご返送くださいますようお願い申し上げます。
- 3 アンケートは、**令和5年1月12日(木)**までにご回答ください。
- 4 次のいずれかの方法で、回答をお願いします。
(1)紙での回答:この調査票に記入し、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに無記名でご投函ください。封筒のあて先へ直接お持ちいただいても結構です。
(2)インターネットでの回答:パソコン、スマートフォン等を使って、インターネット上で入力してください。

https://www15.webcas.net/form/pub/websurvey/sakaishi_kaigo_needs

回答ID:●●●●●●●●

回答パスワード:○○○○○○○

※インターネット接続に係る通信料が発生する場合は、
ご負担をお願いします。

アンケートは
こちらから



【アンケートについてのお問い合わせ先】

堺市 健康福祉局 長寿社会部 長寿支援課

電話072-228-8347、FAX 072-228-8918

※お問い合わせ時間:平日の午前9時から午後5時30分まで

※ アンケートに記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。設問によって、「○はひとつ」「○は3つまで」「○はいくつでも」など、○をつける数が異なりますので、ご注意ください。なお、「その他」を選択された場合は、()内に具体的な内容を記入してください。

※ ご回答は、令和4年12月1日現在の状況を記入してください。

■まずはじめに、記入日などについてお教えてください。

記 入 日	令 和 年 月 日
調査対象となる方（あて名に記載されている方）の氏名をご記入ください。	
対 象 者 氏 名	
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。	
1. ご本人が記入 2. ご家族が記入（ご本人からみた続柄) 3. その他（)	

個人情報の取り扱いについて

【個人情報の保護および活用目的について】

○この調査は、今後の高齢者保健福祉行政の計画的かつ効果的な推進と次期の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のために行うものです。この調査で得られた個人情報については、堺市個人情報保護条例に基づき適切に管理し、これらの目的以外には利用いたしません。

○この調査で得られたデータについては、個人が識別されないよう加工した上で、大学等の研究機関や厚生労働省等に提供することがあります。

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください (〇はひとつ)

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)
4. 息子・娘との2世帯
5. その他 ()

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (〇はひとつ)

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

(3) 医療や介護、健康について相談でき、必要なときには専門機関などを紹介してくれる「かかりつけ」があると安心です。 定期的に通っていたり、必要な時に診療や相談しようと思う、かかりつけの医師・ 歯科医師・薬剤師はいますか (〇はいくつでも)

1. かかりつけ医師
2. かかりつけ歯科医師
3. かかりつけ薬局(薬剤師)
4. いない

(4) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (〇はひとつ)

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ふつう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

問2 住まいについて

(1) 現在のお住まいをお教えてください (〇はひとつ)

1. 持ち家(一戸建て)
2. 持ち家(マンションなど)
3. 借家(一戸建て)
4. 借家(マンション・アパートなど)
5. その他 ()

(2) 高齢者向けの住宅などに住み替えたり、介護保険施設に入所することになったら、希望する場所はどこですか (○はひとつ)

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. できるだけ自宅の近くがよい | 2. だいたい小学校区の範囲がよい |
| 3. だいたい中学校区の範囲がよい | 4. お住まいの区内 (堺区など) がよい |
| 5. 市内であれば場所は問わない | 6. 他の市町村がよい |
| 7. 場所は問わない | |

問3 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○はひとつ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○はひとつ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(3) 15分位続けて歩いていますか (○はひとつ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○はひとつ)

1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか (○はひとつ)

1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか (○はひとつ)

1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (○はひとつ)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. とても減っている | 2. 減っている |
| 3. あまり減っていない | 4. 減っていない |

問4 食べることについて

(1) 身長・体重 (数字を記入) ※おおよその数値で結構です。

身長 cm

体重 kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (○はひとつ)

1. はい

2. いいえ

(3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (○はひとつ)

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)

1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用

2. 自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし

3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用

4. 自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし

(4) どなたかと食事をとる機会がありますか (○はひとつ)

1. 毎日ある

2. 週に何度かある

3. 月に何度かある

4. 年に何度かある

5. ほとんどない

(5) 主食・主菜・副菜をそろえた食事を毎日していますか (○はひとつ)

1. ほぼ毎日 3 食そろえている

2. ほぼ毎日 2 食はそろえている

3. ほぼ毎日 1 食はそろえている

4. 週の半分ぐらいはそろえている

5. ほとんどできていない

(6) 口や顔の体操に毎日取り組んでいますか (○はひとつ)

1. ほぼ毎日 3 回以上取り組んでいる

2. ほぼ毎日 2 回は取り組んでいる

3. ほぼ毎日 1 回は取り組んでいる

4. 週の半分ぐらいは取り組んでいる

5. ほとんど取り組んでいない

問5 毎日の生活について		
(1) 物忘れが多いと感じますか (○はひとつ)		
1. はい	2. いいえ	
(2) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (○はひとつ)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (○はひとつ)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(4) 自分で食事の用意をしていますか (○はひとつ)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(5) 自分で請求書の支払いをしていますか (○はひとつ)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (○はひとつ)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(7) 年金などの書類 (役所や病院などに出す書類) が書けますか (○はひとつ)		
1. はい	2. いいえ	

(8) 日常生活に関する情報をどこから得ていますか (○はいくつでも)

- | | | |
|-----------------|---------------------|----------|
| 1. インターネット・携帯電話 | 2. 家族 | 3. 雑誌 |
| 4. 新聞 (タウン紙を含む) | 5. チラシ・折込・ダイレクトメール等 | |
| 6. テレビ | 7. 友人・隣人 | 8. ラジオ |
| 9. 市の広報 | 10. その他の広報や回覧板 | |
| 11. その他 () | | 12. 特にない |

(9) 今後、参加 (活動) したいと思うものはどれですか。 (○は3つまで)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 健康増進のための体操教室 | 2. 認知症予防のための脳トレ教室 |
| 3. 教養講座や英会話などの生涯学習 | 4. 料理教室 |
| 5. 文化系のサークル活動 | 6. 運動系のサークル活動 |
| 7. 自治会や老人クラブなどの地域活動 | 8. ボランティア活動 |
| 9. その他 () | 10. 特にない |

問6 地域での活動について						
(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか ※① - ⑧それぞれに回答してください (○はそれぞれひとつずつ)						
	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ (いきいきサロンや体操など) 介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>参加者として</u> 参加してみたいと思いますか (○はひとつ)						
1. 是非参加したい						
2. 参加してもよい						
3. 参加したくない						
4. 既に参加している						
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>企画・運営 (お世話役)</u> として参加してみたいと思いますか (○はひとつ)						
1. 是非参加したい						
2. 参加してもよい						
3. 参加したくない						
4. 既に参加している						

問7**たすけあいについて**

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(○はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他() | 8. そのような人はいない | |

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(○はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他() | 8. そのような人はいない | |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(○はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他() | 8. そのような人はいない | |

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人(○はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他() | 8. そのような人はいない | |

(5) ふだん、近所の人とどの程度のつきあいをしていますか (○はひとつ)

1. 親しくつきあっている
2. あいさつ以外にも多少のつきあいがある
(相手の名前や家族構成を知っていたり、物の貸し借りや趣味を共有しているなど)
3. あいさつをする程度
4. つきあいはほとんどない

(6) 災害発生時に、近所の人と声をかけ合って避難することができますか (○はひとつ)

1. できる
2. 普段から近所づきあいがあまりないため、できない
3. 近所の人を全く知らないため、できない
4. その他 () 5. わからない

(7) 災害発生時に、自ら避難することが困難と思われる近所の方を支援することができますか (○はひとつ)

1. 安否確認や声かけならできる
2. 近所の人などと協力して避難所に行くまでの手助けができる
3. 自分や家族の避難で精いっぱいのため、できない
4. 近所づきあいがないため、できない
5. その他 () 6. わからない

問8 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○はひとつ)

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

(2) ふだんから介護予防のために、自分の健康の維持・増進を意識していますか (○はひとつ)

1. 強く意識している 2. 意識している
3. あまり意識していない 4. ほとんど意識していない

(3) あなたは、現在どの程度幸せですか
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

とても不幸										とても幸せ
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点

(4) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

(5) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

(6) タバコは吸っていますか (○はひとつ)

1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた
4. もともと吸っていない

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (〇はいくつでも)

- | | | |
|---|---|---|
| 1. ない | 2. 高血圧 | 3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
<small>のうそっちゅう のうしゅけつ・のうこうそくなど</small> |
| 4. 心臓病 | 5. 糖尿病
<small>とうにょうびょう</small> | 6. 高脂血症 (脂質異常)
<small>こうしけっしょう ししつじょう</small> |
| 7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) | 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 | |
| 9. 腎臓・前立腺の病気
<small>じんぞう ぜんりつせん</small> | 10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症・関節症等)
<small>きんこつかく こつそ しょう</small> | |
| 11. 外傷 (転倒・骨折等)
<small>がいしょう てんとう こっせつなど</small> | 12. がん (悪性新生物) | 13. 血液・免疫の病気
<small>めんえき</small> |
| 14. うつ病 | 15. 認知症 (アルツハイマー病等)
<small>にんちしょう</small> | 16. パーキンソン病 |
| 17. 目の病気 | 18. 耳の病気 | 19. その他 () |

問9 耳の状態について

(1) あなたは耳がよく聞こえますか。補聴器を使っている人は、使っている状態を教えてください (〇はひとつ)

- | | | |
|--------------|-----------|---------|
| 1. とてもよく聞こえる | 2. よく聞こえる | 3. 聞こえる |
| 4. あまり聞こえない | 5. 聞こえない | |

(2) あなたは補聴器を使っていますか (〇はひとつ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(3) 補聴器を使っている人にお聞きします。使っている場合は補聴器を付けている時間はどのくらいですか (〇はひとつ)

- | | | | |
|-----------|---------|----------|------------|
| 1. ほとんど終日 | 2. 半日程度 | 3. 2~3時間 | 4. 必要なときのみ |
| 5. 使っていない | | | |

問10 認知症について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (〇はひとつ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(2) あなたが認知症になったら、不安に思うことはありますか
(○はいくつでも)

1. どの医者（診療科）を受診すればいいかわからない
2. どのような介護サービスを受けられるのかわからない
3. どこへ相談すればいいのかわからない
4. 火の不始末や徘徊（はいかい）などの行動が心配
5. 家庭内（家族関係）がうまくいなくなる
6. 治療や介護にお金がかかる
7. 不安はない
8. わからない
9. その他（ ）

(3) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (○はひとつ)

1. はい
2. いいえ

問 11 仕事について

(1) これから働き始めようとする（または引き続き働き続ける）場合に、あなたが仕事に一番求めるものは何ですか (○はひとつ)

1. 収入を得ること
2. 社会・人の役に立つこと
3. 生きがい
4. 健康の維持
5. その他（ ）
6. 働くつもりはない

(5) 現行の介護保険制度は、サービスを利用する人が増えたり、一人ひとりの利用するサービスの量が増えることによって介護保険料が上昇する仕組みとなっています。堺市の今後の介護保険料について、あなたのお考えに近いのは次のどれですか
(○はひとつ)

1. 高齢化が進み、介護保険サービスを利用する人や利用量は増えていくだろうから、介護保険料が上昇するのは仕方がない
2. 介護予防対策に力を入れ、介護保険サービスを必要とする人の増加を抑制することが重要であるが、それでも利用量等が増え、介護保険料が上昇するのならば仕方がない
3. 現状以上に介護保険料が上昇するのは避けるべきであり、そのためには介護保険サービスが必要な人であっても、ある程度介護保険サービスの利用が制限されても仕方がない
4. わからない

(6) 家族を介護する人の介護疲れやストレスのケアをするためには、何が必要だと思いますか (○は3つまで)

1. 周りの人の理解や協力
2. 介護生活に必要な情報の提供
3. 介護者同士が気兼ねなく話し合いや相談をする場
4. 介護者が息抜きできるイベント
5. ボランティアによる手助け
6. 専門職員による相談窓口
7. 介護に必要な技術を習得する機会
8. ショートステイ※などの介護保険サービスの活用
9. その他 ()

※ ショートステイ：介護を必要とする方が介護老人福祉施設などに短期間入所して、日常生活上の世話や機能訓練を受けるサービス

問 13 住み慣れた地域で暮らし続けることについて

(1) 高齢者ができる限り自宅や住み慣れた地域で暮らし続けるために、どのようなことが必要だと思いますか (〇はいくつでも)

1. 気軽に相談できるかかりつけ医を持つこと
2. 入院しても、退院後すぐに介護サービスを受けられること
3. 介護予防のための教室 (筋力トレーニング・転倒予防・認知症予防)
4. 24 時間対応してもらえる訪問介護サービス
5. 普段介護している人が介護できない時などに利用できる介護サービス
6. 日頃から健康づくりや生活習慣病予防に取り組むこと
7. 何でも相談できる高齢者の相談窓口
8. 地域の人々の見守りや助け合い
9. 生きがいづくりや地域貢献のための社会参加の機会
10. ボランティアやNPOなどによるさまざまな生活の支援
11. 体の状態に合わせた住宅への改修
12. 高齢者に配慮された多様な住まいや施設
13. 自分の将来について、家族などと話し合っておくこと
14. その他 ()

(2) 地域包括支援センターは、高齢者の方々が住みなれた地域で安心して暮らしているよう、介護・福祉・健康などさまざまな面から総合的に相談や支援を行う役割を担っていますが、この役割を知っていましたか (〇はひとつ)

1. 知っていた
2. 名前は聞いたことがあるが、役割までは知らなかった
3. 地域包括支援センターの存在を知らなかった

問14 スマートフォン、タブレット、パソコンの使用状況について

(1) スマートフォン、タブレット、パソコンのうち、何をお持ちですか
(○はいくつでも)

1. スマートフォン 2. タブレット 3. パソコン ⇒ 1~3の方は(3)と(4)へ

4. どれも持っていない ⇒ 4の方は(2)へ

問14 (1) で「4. どれも持っていない」と回答した方におうかがいします。

(2) 「1.スマートフォン」「2.タブレット」「3.パソコン」(以下の設問で「機器」といいます。)をお持ちでない理由をお教えてください(○はいくつでも)

1. 機器を使用して何ができるかわからない
2. 機器の用意・維持費にお金がかかる
3. 機器の使用方法を教えてくれる人がいない
4. セキュリティ上の不安がある
5. 落下や衝撃など持ち運びに不安がある
6. 機器を持つ必要性を感じない
7. その他 ()
8. 特になし

問14 (1) で「1. スマートフォン」「2. タブレット」「3. パソコン」と回答した方におうかがいします。

(3) どのような機能を使用したことがありますか(○はいくつでも)

1. 音声のみの通話 2. ビデオ通話 3. LINE (ライン) 4. メール
5. インターネットでの情報収集 6. 写真・動画撮影 7. 動画の視聴 (YouTube 等)
8. 万歩計などの健康管理 9. SNS (ソーシャルネットワーキングサービス) ※1
10. ゲーム 11. 二次元コード (QR コード等) の読み取り※2 12. その他 ()

※1 Facebook (フェイスブック)、Twitter (ツイッター)、Instagram (インスタグラム) など、インターネット上の会員制サービスの一種。友人・知人間のコミュニケーションを円滑にする手段や、新たな人間関係を構築するための場を提供するサービス

※2 二次元コードの読み取りとは、スマホ等のカメラで読み取ることで、文字入力などの手間を省くことができるの便利な機能のことです。QR コードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。



←二次元コードの例：堺市ホームページ「<https://www.city.sakai.lg.jp/>」

問14 (1) で「1. スマートフォン」「2. タブレット」「3. パソコン」と回答した方におうかがいします。

(4) 今は使用していないが、今後、「使用してみたい」と思うものはありますか
(○はいいくつでも)

- 1. 音声のみの通話
- 2. ビデオ通話
- 3. LINE (ライン)
- 4. メール
- 5. インターネットでの情報収集
- 6. 写真・動画撮影
- 7. 動画の視聴 (YouTube 等)
- 8. 万歩計などの健康管理
- 9. SNS (ソーシャルネットワーキングサービス)
- 10. ゲーム
- 11. 二次元コード (QR コード等) の読み取り
- 12. その他 ()

※最後に、全員の方におうかがいします。

最後に、本市における高齢者の保健福祉サービス、介護保険サービス等についてご意見等がありましたらお聴かせください。

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

記入済みの調査票を同封の返信用封筒に入れて、令和5年1月12日 (木) までに
郵便ポストに投函してください。



毎月 **¥3,000** 相当の
電子マネー等が当たるチャンス!

おおさか健活マイレージ

アスマイル



アスマイルは、日々の健康活動で〈抽選ポイント〉が貯まります!
貯まったポイントを使って、毎週・毎月の抽選でプレゼントが当たる!
毎日が楽しくなるアプリです。

詳しくはこちら▶



さらに! 40歳以上の
市町村国民健康保険に加入の方限定

特定健診・
人間ドックの **¥3,000**
相当の電子マネー等を必ずプレゼント!

「健康予測AI」で、
将来の
生活習慣病の
発症確率を
予測できます!

※初回のみ¥3,000相当、2回目以降は¥1,000相当の電子マネー等のプレゼントとなります。

さらにさらに! 60歳以上の堺市民限定

令和4年7月1日~令和5年3月10日の期間中、
新規登録された方を対象に抽選で1,300名に、
¥2,000 dポイント・
相当のQUOカードPayが当たる!

お問い合わせ

おおさか健活マイレージ アスマイル事務局

Tel. 06-6131-5804 Fax. 06-6452-5266

受付時間
9:00~17:00(土・日・祝日・12/29~1/3を除く)

詳しくは▶ おおさかアスマイル 🔍

<https://www.asmile.pref.osaka.jp/>

2 在宅介護実態調査

(調査②在宅介護実態調査)

令和4年度堺市高齢者等実態調査ご協力のお願い

日頃から、堺市の福祉施策の推進にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。このたび、市内在住の要支援1～要介護5の認定を受けている在宅の65歳以上の方1,300名を無作為に抽出し、「アンケート調査」を実施することになりました。

この調査は、今後の高齢者保健福祉行政の計画的かつ効果的な推進と次期の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のために役立たせていただくものです

ご多忙の折、誠に恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただきまして、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

回答に当たってのお願い

- 1 このアンケートは、**【A票】のA-問1～24**まではご本人が、**【B票】のB-問1～19**までは**主な介護者の方が**記入してください。ご本人が記入できない場合は、ご家族等がご本人の立場に立って記入していただいて結構です。
- 2 アンケートの記入はお答えいただける範囲で結構です。途中まででも結構ですので、ご返送くださいますようお願い申し上げます。
- 3 アンケートは、**令和5年1月12日(木)**までにご回答ください。
- 4 次のいずれかの方法で、回答をお願いします。
(1)紙での回答:この調査票に記入し、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに無記名でご投函ください。封筒のあて先へ直接お持ちいただいても結構です。
(2)インターネットでの回答:パソコン、スマートフォン等を使って、インターネット上で入力してください。

https://www15.webcas.net/form/pub/websurvey/sakaishi_kaigo_zai

回答ID:

回答パスワード:

※インターネット接続に係る通信料が発生する場合は、
ご負担をお願いします。

アンケートは
こちらから



【アンケートについてのお問い合わせ先】

堺市 健康福祉局 長寿社会部 長寿支援課

電話072-228-8347、FAX 072-228-8918

※お問い合わせ時間：平日の午前9時から午後5時30分まで

※ アンケートに記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。設問によって、「○はひとつ」「○は3つまで」「○はいくつでも」など、○をつける数が異なりますので、ご注意ください。なお、「その他」を選択された場合は、()内に具体的な内容を記入してください。

※ ご回答は、令和4年12月1日現在の状況を記入してください。

■まずはじめに、記入日などについてお教えてください。

記 入 日	令和 年 月 日
調査対象となる方（あて名に記載されている方）の氏名をご記入ください。	
対 象 者 氏 名	

※【A票】のA-問1～24まではご本人が、【B票】のB-問1～19までは主な介護者の方が記入してください。ご本人が記入できない場合は、ご家族等がご本人の立場に立って記入していただいで結構です。

個人情報の取り扱いについて

【個人情報の保護および活用目的について】

○この調査は、今後の高齢者保健福祉行政の計画的かつ効果的な推進と次期の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のために行うものです。この調査で得られた個人情報については、堺市個人情報保護条例に基づき適切に管理し、これらの目的以外には利用いたしません。

○この調査で得られたデータについては、個人が識別されないよう加工した上で、大学等の研究機関や厚生労働省等に提供することがあります。

A票 調査対象者様ご本人について、おうかがいします。

※「ご本人」が記入してください。「ご本人」のご回答・ご記入が難しい場合は、ご家族等がご本人の立場に立って記入していただいても結構です。

この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 調査対象者本人 | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. 調査対象者のケアマネジャー |
| 5. その他 () | |

A-問1 世帯類型について、お教えてください。(〇はひとつ)

- | | | |
|-----------|---|-----------------|
| 1. 単身世帯 | } | ⇒ 1の方は【A-問3】へ |
| 2. 夫婦のみ世帯 | | |
| 3. その他 | } | ⇒ 2、3の方は【A-問2】へ |

問1で「2.夫婦のみ世帯」「3.その他」と回答した方(ご家族など同居されている方)におうかがいします。

A-問2 日中、あなた(ご本人)は一人になることがありますか。(〇はひとつ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週に4~5日 | 3. 週に2~3日 |
| 4. 週に1日 | 5. ほとんどない | |

※ここから再び、全員におうかがいします。

A-問3 現在のお住まいをお教えてください。(〇はひとつ)

- | |
|---------------------|
| 1. 持ち家(一戸建て) |
| 2. 持ち家(マンションなど) |
| 3. 借家(一戸建て) |
| 4. 借家(マンション・アパートなど) |
| 5. その他 () |

A-問4 初めて要介護認定を申請した際、どなたから申請を勧められましたか。(〇はひとつ)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. ご本人の家族や親族 | 2. 友人・知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 医療機関 |
| 5. 地域包括支援センター | 6. 民生委員などの地域の方 |
| 7. 介護サービス事業者 | 8. ご本人の意向 |
| 9. その他 () | |

A-問5 あなた（ご本人）が初めて要介護認定が必要になった主な原因は何ですか。
（○はひとつ）

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 脳卒中(脳出血・脳こうそく等) | 2. 心臓病 |
| 3. がん(悪性新生物) | 4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等) |
| 5. 関節の病気(リウマチ、変形性膝関節症等) | 6. 認知症(アルツハイマー病等) |
| 7. パーキンソン病 | 8. 糖尿病 |
| 9. 泌尿器の病気(膀胱炎、前立腺肥大症等) | 10. 視覚・聴覚障害(白内障、難聴等) |
| 11. 骨折・転倒 | 12. 脊髄(せきずい)損傷 |
| 13. 高齢による衰弱 | 14. その他() |

A-問6 あなた（ご本人）が、現在抱えている傷病についてお教えてください。
（○はいくつでも）

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. 脳血管疾患(脳卒中) | 2. 心疾患(心臓病) |
| 3. 悪性新生物(がん) | 4. 呼吸器疾患 |
| 5. 腎疾患(透析) | 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) |
| 7. 膠原病(関節リウマチ含む) | 8. 変形性関節疾患 |
| 9. 認知症 | 10. パーキンソン病 |
| 11. 難病(パーキンソン病除く) | 12. 糖尿病 |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの) | |
| 14. その他 | 15. なし |
| 16. わからない | |

あなた（ご本人）の生活状況や健康についておうかがいします。

A-問7 あなた（ご本人）は普段どのような食事をとっていますか。（○はいくつでも）

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 自宅で本人または家族が調理した食事 |
| 2. 家族が持ってきてくれる食事(家族が調理したかどうかは問いません) |
| 3. 店で売っている弁当、調理済食品 |
| 4. 配食サービス |
| 5. ホームヘルパーが調理した食事 |
| 6. その他() |

A-問8 医療や介護、健康について相談でき、必要なときには専門機関などを紹介してくれる「かかりつけ」があると安心です。
定期的に通っていたり、必要な時に診療や相談しようと思う、かかりつけの医師・歯科医師・薬剤師はいますか。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. かかりつけ医師 | 2. かかりつけ歯科医師 |
| 3. かかりつけ薬局(薬剤師) | 4. いない |

ケアマネジャーについておうかがいします。

A-問9 (1) 担当のケアマネジャーの事業所を知ったきっかけは何ですか。(○はひとつ)

1. 紹介された	}	⇒ 1の方は【A-問9 (2)】へ
2. ご本人または家族がさがして見つけた		
3. 以前から知っていた	}	⇒ 2~4の方は【A-問10】へ
4. その他 ()		

A-問9 (1) で「1. 紹介された」と回答した方におうかがいします。

A-問9 (2) だれに紹介されましたか。(○はひとつ)

1. 近所の人	2. 友人・知人	3. 医療機関
4. 地域包括支援センター	5. 介護サービス事業者	
6. その他 ()		

※ここから再び、全員におうかがいします。

A-問10 担当のケアマネジャーの事業所を選んだ理由は何ですか。(○はひとつ)

1. 地元(近所)の事業所だから
2. よい評判を聞いたから
3. 受たい介護サービスを提供している事業所だから
4. 紹介されたから
5. その他 ()

A-問11 担当のケアマネジャーにどのくらい満足していますか。
(①~⑥の項目について、それぞれ○はひとつ)

	1 満足して いる	2 どちらか といえば 満足して いる	3 どちらか といえば 不満で ある	4 不満で ある	5 わから ない
① 介護や医療などの幅広い知識があり、ケアプラン作成のときに、専門的なアドバイスをしてくれるか →	1	2	3	4	5
② いろいろなサービスや事業所の情報を提供してくれるか →	1	2	3	4	5
③ ケアプランの説明のわかりやすさ →	1	2	3	4	5
④ 事業所に直接言いにくいことを聞いてくれ、かけあってくれるか →	1	2	3	4	5
⑤ 相談したいときや急な対応が必要なときに応じてくれるか →	1	2	3	4	5
⑥ 態度やマナー(時間を守るなど) →	1	2	3	4	5
その他ケアマネジャーへの要望はありますか。 ()					

サービスの利用状況についておうかがいします。

A-問 12 令和4年12月1日現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか。(○はひとつ)

- | | | | |
|-----------|---------------|------------|-----------|
| 1. 利用している | ⇒A-問 14 (1) へ | 2. 利用していない | ⇒A-問 13 へ |
|-----------|---------------|------------|-----------|

A-問 12 で「2. 利用していない」と回答した方におうかがいします。

A-問 13 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない2. 本人にサービス利用の希望がない3. 家族が介護をするため必要ない4. 以前、利用していたサービスに不満があった5. 利用料を支払うのが難しい6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない9. その他 () |
|---|

※ここから再び、全員におうかがいします。

A-問 14 (1) あなた(ご本人)が現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスとは別に、1年以内に利用したい介護保険サービス及び介護予防サービスはありますか。(○はひとつ)

- | | |
|--|--|
| 1. 自宅で生活しながらサービスを受けたい | ⇒1の方は【A-問 14 (2)】へ
⇒2の方は【A-問 14 (3)】へ
⇒3の方は【A-問 15】へ |
| 2. 施設等に入所(入居)したい | |
| 3. 特にない(現在利用しているサービスのみで良い。もしくはサービスを利用していない。) | |

A問 14 (1) で「1. 自宅で生活しながらサービスを受けたい」と回答した方におうかがいします。

A-問 14 (2) あなた（ご本人）が利用したいと思う居宅サービスについて教えてください。（○はいくつでも）

【自宅を中心に利用するサービス】	
1. 訪問介護（ホームヘルプ）	2. 訪問入浴介護
3. 訪問看護	4. 訪問リハビリテーション
5. 居宅療養管理指導	6. 夜間対応型訪問介護
7. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護（24時間サービス）	
【施設に通って利用するサービス】	
8. 通所介護（デイサービス）	9. 通所リハビリテーション（デイケア）
【短期間施設に泊まるサービス】	
10. 短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）	
11. 小規模多機能型居宅介護 ^{※1}	12. 看護小規模多機能型居宅介護 ^{※2}
【生活する環境を整えるサービス】	
13. 福祉用具の貸与	14. 福祉用具の購入
15. 住宅改修	
【その他】 16. その他（ ）	

※1 小規模多機能型居宅介護：小規模な住居型の施設への「通い」を中心に、自宅にきてもらう「訪問」、施設に「泊まる」サービスが柔軟に受けられます。

※2 看護小規模多機能型居宅介護：利用者の状況に応じて、小規模な住居型の施設への「通い」、自宅に来てもらう「訪問」（介護と看護）、施設に「泊まる」サービスが柔軟に受けられます。

A-問 14 (1) で「2. 施設等に入所（入居）したい」と回答した方におうかがいします。

A-問 14 (3) あなた（ご本人）が現在利用している介護保険サービスとは別に、1年以内に利用したいものについて、あてはまる番号に○をつけてください。（○はいくつでも）

1. 介護老人福祉施設 （特別養護老人ホーム）	要介護者のための生活施設
2. 介護老人保健施設	在宅復帰をめざす要介護者に対し、リハビリ等を提供する施設
3. 介護医療院	長期療養が必要な要介護者のための施設
4. 認知症対応型共同生活 介護（グループホーム）	認知症の利用者を対象にした専門的なケアを提供するサービス施設
5. ケアハウス （軽費老人ホーム）	家庭環境、住宅事情などの理由で、自宅における生活が困難であったり、身体機能の低下等により自立して生活するのに不安がある方が、所得に応じた負担（概ね月9～15万円程度）で入居する高齢者向けの住居
6. 有料老人ホーム	「①食事の提供、②介護の提供、③家事の供与、④健康管理の供与」のいずれかのサービス（複数も可）を提供している高齢者向けの住居
7. サービス付き高齢者 向け住宅	見守りサービス（安否確認や生活相談など）があり、バリアフリーなどの設備等を備えた高齢者向けの住居
8. その他（ ）	

※ここから再び、全員におうかがいします。

A-問 15 現在、あなた（ご本人）が利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、お教えてください。（〇はいくつでも）

- | | |
|-----------------------|---------------------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物（宅配は含まない） |
| 5. ゴミ出し | 6. 外出同行（通院、買い物など） |
| 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） | 8. 見守り、声かけ |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他（ ） |
| 11. 利用していない | |

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

A-問 16 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、お教えてください。（〇はいくつでも）

- | | |
|-----------------------|---------------------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物（宅配は含まない） |
| 5. ゴミ出し | 6. 外出同行（通院、買い物など） |
| 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） | 8. 見守り、声かけ |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他（ ） |
| 11. 特になし | |

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

A-問 17 現時点での、あなた（ご本人）の施設等への入所・入居の検討状況について、お教えてください（〇はひとつ）

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 入所・入居は検討していない | 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている | |

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

A-問 18 あなた（ご本人）は、現在、訪問診療を利用していますか。（〇はひとつ）

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

※ 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

A-問 19 現行の介護保険制度は、サービスを利用する人が増えたり、一人ひとりの利用するサービスの量が増えることによって介護保険料が上昇する仕組みとなっています。堺市の今後の介護保険料について、あなた（ご本人）のお考えに近いのは次のどれですか。（○はひとつ）

1. 高齢化が進み、介護保険サービスを利用する人や利用量は増えていくだろうから、介護保険料が上昇するのは仕方がない
2. 介護予防対策に力を入れ、介護保険サービスを必要とする人の増加を抑制することが重要であるが、それでも利用量等が増え、介護保険料が上昇するのならば仕方がない
3. 現状以上に介護保険料が上昇するのは避けるべきであり、そのためには介護保険サービスが必要な人であっても、ある程度、介護保険サービスの利用が制限されても仕方がない
4. わからない

A-問 20 あなた（ご本人）は人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。（○はひとつ）

- | | | |
|---------|-------|----------|
| 1. 自宅 | 2. 病院 | 3. 介護施設 |
| 4. その他（ | ） | 5. わからない |

A-問 21 人生の最終段階における医療・療養について、あなた（ご本人）自身の希望を、家族等や医療介護関係者と話し合っていますか。（○はひとつ）

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 詳しく話し合っている | 2. 一応話し合っている |
| 3. 話し合ったことはある | 4. 話し合ったことはない |

住み慣れた地域で暮らし続けることについておうかがいします。

A-問 22 高齢者ができる限り自宅や住み慣れた地域で暮らし続けるために、どのようなことが必要だと思いますか。（○はいくつでも）

1. 気軽に相談できるかかりつけ医を持つこと
2. 入院しても、退院後すぐに介護サービスを受けられること
3. 介護予防のための教室（筋力トレーニング・転倒予防・認知症予防）
4. 24時間対応してもらえる訪問介護サービス
5. 普段介護している人が介護できない時などに利用できる介護サービス
6. 日頃から健康づくりや生活習慣病予防に取り組むこと
7. 何でも相談できる高齢者の相談窓口
8. 地域の人々の見守りや助け合い
9. 生きがいづくりや地域貢献のための社会参加の機会
10. ボランティアやNPOなどによるさまざまな生活の支援
11. 体の状態に合わせた住宅への改修
12. 高齢者に配慮された多様な住まいや施設
13. 自分の将来について、家族などと話し合っておくこと
14. その他（

A-問 23 災害発生時に、誰かの助けを借りたりしながら避難できるよう、普段から話し合っていますか。(○はひとつ)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 詳しく話し合っている | 2. 一応話し合っている |
| 3. 関係する話をしたことはある | 4. 話し合ったことはない |

A-問 24 ご家族やご親族の方からあなた（ご本人）への介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。(○はひとつ)

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 1. ない | ⇒ 1の方は最終ページ「自由記入欄」へ |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない | ⇒ 2~5の方は【B票】へ |
| 3. 週に1~2日ある | |
| 4. 週に3~4日ある | |
| 5. ほぼ毎日ある | |

【B票】 主な介護者の方について、おうかがいします。

※「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人がご回答・ご記入をお願いします（ご本人のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です）。

B-問1 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。
（○はいくつでも）

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

B-問2 主な介護者の方は、どなたですか。（○はひとつ）

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1. 配偶者 | 2. 子 | 3. 子の配偶者 |
| 4. 孫 | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他 |

B-問3 主な介護者の方の性別について、お教えてください。（○はひとつ）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

B-問4 主な介護者の方の年齢について、お教えてください。（○はひとつ）

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代 | 3. 30代 |
| 4. 40代 | 5. 50代 | 6. 60代 |
| 7. 70代 | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

B-問5 主な介護者の方と要介護者との同居状況について、お教えてください。（○はひとつ）

- | |
|------------------------------|
| 1. 同居している |
| 2. 別居しているが、15分以内で行き来できる範囲である |
| 3. 別居しており、行き来に15分以上かかる |

B-問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、お教えてください。
(○はいくつでも)

【身体介護】

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助（食べる時） | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等） | |

【生活援助】

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 12. 食事の準備（調理等） | 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

【その他】

- | | |
|------------|-----------|
| 15. その他() | 16. わからない |
|------------|-----------|

主な介護者の方の介護に要する時間についておうかがいします。

B-問7 (1) 介護の日数について、お教えてください。(○はひとつ)

- | | | |
|-----------|-------------|-------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に4～5日程度 | 3. 週に2～3日程度 |
| 4. 週に1日程度 | 5. 週に1日未満 | |

B-問7 (2) 1日あたりの介護の時間について、お教えてください。(○はひとつ)

- | | |
|------------|----------|
| 1. 1～2時間程度 | 2. 4時間程度 |
| 3. 8時間程度 | 4. ほぼ1日中 |

B-問8 主な介護者の方の介護期間について、お教えてください。(○はひとつ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 6か月未満 | 2. 6か月～1年未満 |
| 3. 1年～2年未満 | 4. 2年～3年未満 |
| 5. 3年～5年未満 | 6. 5年～10年未満 |
| 7. 10年～20年未満 | 8. 20年以上 |

B-問9 主な介護者の方の育児状況について、お教えてください。(○はひとつ)

※「1. 育児をしている」を選んだ方は子どもの人数・末子の年齢を()内に数字で記入してください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 育児をしている …子どもの人数()人 末子年齢()歳 |
| 2. 育児はしていない |

※ 18歳以下の自分の子ども（養子等を含む）および孫を対象とします。なお、育児には見守り、認定こども園・幼稚園等・学校・塾・習い事等の送迎、付き添い、保護者会等への出席なども含みます。また、同居の有無は問いません。

B-問 10 主な介護者の方の現在の勤務形態について、お教えてください。(○はひとつ)

- | | |
|------------------------------------|-----------------------|
| 1. フルタイムで働いている
2. パートタイムで働いている | } ⇒1、2の方は【B-問 11～13】へ |
| 3. 働いていない
4. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

※ 「パートタイム」とは、「1 週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

B-問 10 で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方におうかがいします。

B-問 11 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない |
|--|

B-問 10 で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方におうかがいします。

B-問 12 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(○は3つまで)

- | |
|--|
| 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他()
10. 特にな
11. 主な介護者に確認しないと、わからない |
|--|

B-問 10で「1.フルタイムで働いている」「2.パートタイムで働いている」と回答した方におうかがいします。

B-問 13 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○はひとつ)

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

※ここから再び、介護者の方全員におうかがいします。

B-問 14 介護に対して負担に感じることは何ですか。(○はいくつでも)

1. いつまで介護が続くかわからない
2. 家族が介護に非協力的
3. 相談できる人がいない
4. 仕事と両立することの負担
5. 育児も含めて世話や介護が必要な人が他にもいる
6. (介護を必要とする人が) 介護サービスの利用を嫌がる
7. 介護に関する制度がわからない
8. 介護に関する情報が入手しづらい
9. 体力的な負担
10. 自由な時間が減る
11. 孤独を感じる
12. 介護にお金がかかる
13. 特に負担はない
14. その他 ()

B-問 15 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、お教えてください(現状で行っているか否かは問いません)。(○は3つまで)

【身体介護】

1. 日中の排泄
2. 夜間の排泄
3. 食事の介助(食べる時)
4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)
6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動
8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬
10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)

【生活援助】

12. 食事の準備(調理等)
13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き

【その他】

15. その他()
16. 不安を感じていることは、特にない
17. 主な介護者に確認しないと、わからない

B-問 16 介護に困ったときだれに相談していますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 1. 家族・親類 | 2. 友人・知人 |
| 3. となり近所の人 | 4. ホームヘルパー |
| 5. 市や府の相談窓口(介護・福祉担当職員、保健師など) | |
| 6. 地域包括支援センターや在宅介護支援センターの職員 | |
| 7. ケアマネジャー(介護支援専門員) | 8. 介護サービスを利用する施設の職員 |
| 9. 民生委員 | 10. かかりつけ医・かかりつけ歯科医 |
| 11. 薬局(薬剤師)や介護用品店(店員) | 12. 職場の同僚 |
| 13. 家族会 | 14. インターネット上のコミュニティ・サイト |
| 15. その他() | |
| 16. 相談したいが、相談する相手がない | |
| 17. だれにも相談しない | |

B-問 17(1) ご本人が現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスとは別に、ご本人に1年以内に利用してほしい介護保険サービス及び介護予防サービスはありますか。(〇はひとつ)

- | | |
|--|--|
| 1. 自宅で生活しながらサービスを受けてほしい | ⇒1の方は【B-問 17 (2)】へ
⇒2の方は【B-問 17 (3)】へ
⇒3の方は【B-問 18】へ |
| 2. 施設等に入所(入居)してほしい | |
| 3. 特にない(現在利用しているサービスのみで良い。もしくはサービスを利用していない。) | |

B-問 17 (1) で「1. 自宅で生活しながらサービスを受けてほしい」と回答した方におうかがいします。

B-問 17(2) ご本人に利用してほしいと思う居宅サービスについて教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------|
| 【自宅を中心に利用するサービス】 | |
| 1. 訪問介護(ホームヘルプ) | 2. 訪問入浴介護 |
| 3. 訪問看護 | 4. 訪問リハビリテーション |
| 5. 居宅療養管理指導 | 6. 夜間対応型訪問介護 |
| 7. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護(24時間サービス) | |
| 【施設に通って利用するサービス】 | |
| 8. 通所介護(デイサービス) | 9. 通所リハビリテーション(デイケア) |
| 【短期間施設に泊まるサービス】 | |
| 10. 短期入所生活介護・療養介護(ショートステイ) | |
| 11. 小規模多機能型居宅介護 ^{※1} | 12. 看護小規模多機能型居宅介護 ^{※2} |
| 【生活する環境を整えるサービス】 | |
| 13. 福祉用具の貸与 | 14. 福祉用具の購入 |
| 15. 住宅改修 | |
| 【その他】 16. その他() | |

※1 小規模多機能型居宅介護：小規模な住居型の施設への「通い」を中心に、自宅にきてもらう「訪問」、施設に「泊まる」サービスが柔軟に受けられます。

※2 看護小規模多機能型居宅介護：利用者の状況に応じて、小規模な住居型の施設への「通い」、自宅に来てもらう「訪問」(介護と看護)、施設に「泊まる」サービスが柔軟に受けられます。

B-問 17 (1) で「2. 施設等に入所（入居）してほしい」と回答した方におうかがいします。

B-問 17(3) ご本人が現在利用している介護保険サービスとは別に、1年以内に利用してほしいものについて、あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	要介護者のための生活施設
2. 介護老人保健施設	在宅復帰をめざす要介護者に対し、リハビリ等を提供する施設
3. 介護医療院	長期療養が必要な要介護者のための施設
4. 認知症対応型共同生活 介護 (グループホーム)	認知症の利用者を対象にした専門的なケアを提供するサービス施設
5. ケアハウス (軽費老人ホーム)	家庭環境、住宅事情などの理由で、自宅における生活が困難であったり、身体機能の低下等により自立して生活するのに不安がある方が、所得に応じた負担(概ね月9～15万円程度)で入居する高齢者向けの住居
6. 有料老人ホーム	「①食事の提供、②介護の提供、③家事の供与、④健康管理の供与」のいずれかのサービス(複数も可)を提供している高齢者向けの住居
7. サービス付き高齢者 向け住宅	見守りサービス(安否確認や生活相談など)があり、バリアフリーなどの設備等を備えた高齢者向けの住居
8. その他 ()	

※ここから再び、介護者の方全員におうかがいします。

B-問 18 地域包括支援センターは、高齢者の方々が住みなれた地域で安心して暮らしていけるよう、介護・福祉・健康など、さまざまな面から総合的に相談や支援を行う役割を担っていますが、この役割を知っていましたか。(○はひとつ)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 知っていた 2. 名前は聞いたことがあるが、役割までは知らなかった 3. 地域包括支援センターの存在を知らなかった |
|--|

B-問 19 家族を介護する人の介護疲れやストレスのケアをするためには、何が必要だと思いますか。(○は3つまで)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 周りの人の理解や協力 2. 介護生活に必要な情報の提供 3. 介護者同士が気兼ねなく話し合いや相談をする場 4. 介護者が息抜きできるイベント 5. ボランティアによる手助け 6. 専門職員による相談窓口 7. 介護に必要な技術を習得する機会 8. ショートステイ※などの介護保険サービスの活用 9. その他 () |
|---|

※ ショートステイ：介護を必要とする方が介護老人福祉施設などに短期間入所して、日常生活上の世話や機能訓練を受けるサービス



毎月 **¥3,000** 相当の
電子マネー等が当たるチャンス!

おおさか健活マイレージ

アスマイル

STEP 1 アプリをダウンロード!

- 歩く 300 pt
- 体重を記録 50 pt
- App Store からダウンロード
- Google Play で手に入れよう
- 朝食をとる 50 pt
- 健康コラムを読む 50 pt
- 歯を磨く 50 pt

STEP 2 毎日の健康活動を記録!

- 人間ドックや健康診断を受ける 1,000 pt
- アンケートに答える 200 pt

STEP 3

- 毎週の抽選 **コーヒー** など
- 毎週・毎月の抽選で当たる!
- 毎月の抽選 **¥3,000** 相当の電子マネー等

アスマイルは、日々の健康活動で〈抽選ポイント〉が貯まります!

貯まったポイントを使って、毎週・毎月の抽選でプレゼントが当たる!
毎日が楽しくなるアプリです。

詳しくはこちら▶



さらに! **40歳以上の市町村国民健康保険に加入の方限定**

特定健診・人間ドックの受診で **¥3,000** 相当の電子マネー等を必ずプレゼント!

【健康予測AI】で、将来の生活習慣病の発症確率を予測できます!

※初回のみ¥3,000相当、2回目以降は¥1,000相当の電子マネー等のプレゼントとなります。

さらにさらに! **60歳以上の堺市民限定**

令和4年7月1日~令和5年3月10日の期間中、新規登録された方を対象に抽選で1,300名に、**¥2,000** 相当のQUOカードPayが当たる!

お問い合わせ

おおさか健活マイレージ アスマイル事務局

Tel. 06-6131-5804 Fax. 06-6452-5266 受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日・12/29~1/3を除く)

詳しくは▶ [おおさかアスマイル](https://www.asmile.pref.osaka.jp/)

令和4年度堺市高齢者等実態調査（介護事業者調査） ご協力のお願い

日頃から、堺市の福祉施策の推進にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
 このたび、堺市内をサービス提供区域とする事業所を営む法人を対象に「実態調査」を実施することになりました。
 この調査は、事業の運営体制や新たなサービスへの参入意向などについてお伺いして、今後の高齢者保健福祉行政の計画的かつ効果的な
 推進と、次期の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のために役立たせていただくものです。

なお、ご回答いただきました内容は、すべて統計的に処理し、この調査の目的以外には利用しません。
 ご多忙の折、誠に恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただきまして、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

回答に当たってのお願い

- 1 法人単位で作成してください。
- 2 設問をお読みいただき、あてはまる回答を選択または数字を入力してください。設問によって、「選択はひとつ」、「選択はいくつでも」
 「選択は3つまで」など、選択できる数が異なりますので、ご注意ください。なお、「その他」を選択された場合は、具体的な内容を入力
 してください。
- 3 ご回答は、令和5年2月1日現在の状況を入力いただくことを基本とし、設問によって基準日の指定がある場合は、それに従ってくださ
 い。

<アンケートについてのお問い合わせ先>
 堺市 健康福祉局 長寿社会部 長寿支援課
 電話 072-228-8347 FAX 072-228-8918
 メールアドレス choshi@city.sakai.lg.jp
 ※お問い合わせ時間：平日の午前9時から午後5時30分まで

法人や実施事業についてお伺いします。

法人名称をお教えてください。

問1 法人の種類をお教えてください。（選択はひとつ）

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 営利法人 | 2. 社会福祉法人 | 3. 医療法人 | 4. NPO法人 |
| 5. 一般社団法人 | 6. 一般財団法人 | 7. 公益財団法人 | |
| 8. 生活協同組合 | 9. その他（ | | |

問2 今後、堺市内で事業運営を行いたいサービスはありますか。
 ある場合はその理由について、それぞれサービス種別ごとに該当する理由を選択してください（理由は各サービス種別につき3つまで）。
 また、それぞれ予定する地域があれば該当する地域を選択してください。

サービス種別 (介護予防サービス含む)	今後堺市で事業運営を行いたいサービス	
	理由	予定地域
○居宅介護支援		
①訪問介護		
②訪問入浴介護		
③訪問看護		
④訪問リハビリテーション		
⑤居宅療養管理指導		
⑥通所介護		
⑦通所リハビリテーション		
⑧短期入所生活介護		
⑨短期入所療養介護		
⑩特定施設入居者生活介護		
⑪福祉用具貸与		
⑫特定福祉用具販売		
⑬定期巡回・随時対応型訪問介護看護		
⑭夜間対応型訪問介護		
⑮認知症対応型通所介護		

サービス種別 (介護予防サービス含む)	今後堺市で事業運営を行いたいサービス		
	理由	予定地域	
地域密着型サービス	④小規模多機能型居宅介護		
	⑤地域密着型通所介護		
	⑥認知症対応型共同生活介護		
	⑦地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護		
	⑧看護小規模多機能型居宅介護		
	施設サービス	①介護老人福祉施設	
		②介護老人保健施設	
		③介護医療院	

(1) 今後事業運営を行いたい理由

(各サービスにつき3つまで)

1. 土地・建物の確保ができた(できる)ため
2. 建築等の整備にあたり資金の確保ができた(できる)ため
3. 利用者確保の見込みがあった(ある)ため
4. 事業経営に見合った介護報酬が得られるため
5. 市で既に他の介護サービスを行っているため
6. 職員確保の見込みがあった(ある)ため
7. 事業経営が安定しており余力があるため
8. 利用者から他の介護サービスの要望があったため
9. 特になし
10. その他

(2) 今後事業運営を行いたい予定地域
(選択はいくつでも)

選択番号	圏域	圏域を構成する小学校区	選択番号	圏域	圏域を構成する小学校区	選択番号	圏域	圏域を構成する小学校区
1	堺1区	三宝・錦西・市・英彰	8	東1区	南八下・八下西・日置荘・日置荘西・白鷺	15	南3区	上神谷・宮山台・竹城台・竹城台東・若松台・茶山台
2	堺2区	錦・錦陵・浅香山・三国丘	9	東2区	登美丘西・登美丘東・登美丘南・野田	16	南4区	三原台・泉北高倉・はるみ・榎塚台
3	堺3区	熊野・少林寺・安井・榎	10	西1区	浜寺・浜寺東・浜寺石津・浜寺昭和	17	北1区	東浅香山・新浅香山・五箇荘・五箇荘東
4	堺4区	神石・新湊・大仙・大仙西	11	西2区	鳳・鳳南・福泉・福泉上・福泉東	18	北2区	東三国丘・光童子寺・新金岡・新金岡東
5	中1区	八山荘・八山荘西・深井・深井西	12	西3区	津久野・向丘・平岡・家原寺・上野芝	19	北3区	大泉・金岡・金岡南・北八下
6	中2区	東百舌鳥・宮園・東深井・土師	13	南1区	美木多・赤坂台・新榎尾台・城山台	20	北4区	中百舌鳥・百舌鳥・西百舌鳥
7	中3区	久世・東陶器・西陶器・福山・深阪	14	南2区	福泉中央・桃山台・原山ひかり・庭代台・御池台	21	美原1区	黒山・平尾・美原北・八上・美原西・さつき野

問3 貴法人の職員状況について、それぞれ該当する職員数を入力してください。

A 勤続年数別職員数、B 年齢別職員数を入力してください。

※職員数については、令和4年4月1日現在の人数を入力してください。

		勤続年数別職員数(人)						年齢別職員数(人)							
		正規職員			非正規職員			正規職員			非正規職員				
1年未満	1年以上5年未満	5年未満	1年未満	1年以上5年未満	5年未満	30歳未満	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳以上	30歳未満	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳以上

問4 現在、事業運営している中で、最も不安に感じていることは何ですか。
(選択はひとつ)

1. 財政状況
2. 人手不足
3. 後継者不足
4. 施設の老朽化や安全性の課題
5. 利用者からの苦情、要望
6. 事業運営のための情報やノウハウの不足
7. その他 ()
8. 特にない

問5 現在のサービスの提供状況からみて、職員数の過不足はありますか。
(選択はひとつ)

1. 非常に不足している
2. やや不足している
3. 過不足なく適当な状態である
4. やや多い
5. 非常に多い

問5で「1.」「2.」と回答した法人にお伺いします。

問5-1 職員数が不足している主な理由は何ですか。(選択はひとつ)

1. 新規雇用の際、思った程の人材を確保できなかったため
2. 新規採用者が短期間で退職していくため
3. 新規採用者に限らず離職者が増えているため
4. その他 ()

問6 貴法人の職員の定着率をどう感じていますか。(選択はひとつ)

1. 非常に定着率が良い
 2. どちらかというと定着率が良い
 3. どちらかというと定着率が悪い
 4. 非常に定着率が悪い
- ↑ 【問6-1へ】
- ↑ 【問6-2へ】

問6で「1.」「2.」と回答した法人にお伺いします。

問6-1 職員の定着率が良い主な理由は何だと思いますか。
(選択は3つまで)

1. 給与がよいため
2. 職員がやりがいを感じているため
3. 福利厚生に力を入れているため
4. 職員の研修に力を入れているため
5. キャリアアップの制度など取り入れているため
6. 職場に対する相談体制を確保しているため
7. 経営理念・方針を職員と共有できているため
8. その他 ()
9. わからない

問6で「3.」「4.」と回答した法人にお伺いします。

問6-2 職員の定着率が悪い主な理由は何だと思いますか。
(選択は3つまで)

1. 給与が低いため
2. 職員がやりがいを感じられていないため
3. 福利厚生が十分でないため
4. 職員にとって身体的・精神的な負担が大きいため
5. 職員の研修体制が十分でないため
6. キャリアアップの制度などが整備されていないため
7. 職場に対する相談体制が十分でないため
8. 経営理念・方針の共有が十分でないため
9. その他 ()
10. わからない

問7 介護職員等特定処遇改善加算を取得していますか。(選択はひとつ)

1. はい
2. いいえ
3. 一部の施設(事業所)のみ

問7で「2.」「3.」と回答した法人にお伺いします。

問7-1 取得しない主な理由は何ですか。(選択はいくつでも)

1. 対象のサービスでないため
2. 取得要件を満たしていないため
3. その他 ()

問8 職員に対する社内・社外研修について、あてはまるものを選択してください。(選択はひとつ)

1. 内部研修を実施しており、外部研修にも参加させている
2. 内部研修は実施しているが、外部研修には参加させていない →【問8-1へ】
3. 内部研修は実施していないが、外部研修には参加させている
4. 内部研修は実施していないし、外部研修にも参加させていない →【問8-2へ】
5. その他 ()

問8で「1.」「2.」と回答した法人にお伺いします。

問8-1 内部研修の具体的な内容について入力してください。

問8で「4.」と回答した法人にお伺いします。

問8-2 研修等を実施していない理由は何ですか。(選択は3つまで)

1. 時間的余裕がないため
2. 費用が高額であるため
3. 内部研修を企画するノウハウがないため
4. 内部研修をする指導者がいないため
5. 参加させたい外部研修がないため
6. 必要がないため
7. その他 ()

問9 介護の仕事に携わる外国人労働者を受け入れていますか。(選択はひとつ)

1. 受け入れている
2. 受け入れていない

問9で「1.」と回答した法人にお伺いします。

問9-1 どの制度に基づいて外国人労働者を受け入れたのかお教えください。(選択はひとつ)

1. E P A (経済連携協定) に基づく外国人介護福祉士候補者の受け入れ
2. 在留資格「介護」をもつ外国人の受け入れ
3. 技能実習制度を活用した外国人の受け入れ
4. 在留資格「特定技能1号」をもつ外国人の受け入れ
5. その他 ()

問10 今後(または引き続き)、外国人労働者を活用する予定はありますか。(選択はひとつ)

1. 活用する予定はある
2. 活用する予定はない

問 11 今後（または引き続き）、外国人労働者を活用するうえでの課題は何ですか。（選択はいくつでも）

1. 利用者との会話などにおいて、意思疎通に支障がある
2. 日本人の職員との会話などにおいて、意思疎通に支障がある
3. 日本語の読解力や文章力の不足などにより、介護記録の作成に支障がある
4. 生活習慣の違いなどにより、日常的な業務に支障がある
5. 受け入れられるための制度や外国人労働者の活用方法がわからな
- い
6. 人件費以外に様々なコストが必要になる

問 12 職員の確保や質の向上を図るために、今後どのような視点を重視した取り組みが必要だと思いますか。（選択は3つまで）

1. 基本的な技術や実践的知識の向上
2. 利用者からの苦情や相談への対処能力の向上
3. 利用者への対応の仕方などマナーやコミュニケーション技術の向上
4. 職員の福利厚生の充実
5. 職員のモチベーション保持のための制度の充実（キャリアアップなど）
6. 職場に対する相談体制の確保
7. 意思疎通を図るためのミーティングの充実
8. 外部研修への参加
9. 介護職の魅力向上に向けた取り組み
10. 他の事業所との情報交換会
11. 介護職員の負担軽減（ICTや介護ロボットの導入など）
12. 職員の報酬や手当等の充実
13. その他（ ）

問 13 令和3年度の貴法人の介護事業会計についてお伺いします。介護事業収支は、どのような状況ですか。（選択はひとつ）

1. 大幅な赤字である
2. やや赤字である
3. ほぼ収支が均衡している
4. やや赤字である
5. 大幅な赤字である

問 13 で「1.」「2.」を選んだ法人にお伺いします。

問 13-1 その主な理由は何だと思いますか。（選択は2つまで）

1. 一定以上の利用者数を確保できたため
2. 利用者1人当たりについて、一定以上のサービスを確保できたため
3. 人件費・事務費・事業費などの経費の支出を低く抑えることができたため
4. 介護報酬が改定されたため
5. その他（ ）

問 13 で「4.」「5.」を選んだ法人にお伺いします。

問 13-2 その主な理由は何だと思いますか。（選択は2つまで）

1. 当初見込んだ利用者数を確保できなかったため
2. 見込んだ利用者1人当たりのサービスを確保できなかったため
3. 人件費・事務費・事業費などの経費が予想より大きかったため
4. 介護報酬が改定されたため
5. その他（ ）

問 14 貴法人から見て、堺市では以前と比べて、多職種での連携※が進んでいると感じますか。（選択はひとつ）

1. とても進んでいると感じる
2. まあ進んでいると感じる
3. あまり進んでいないと感じる
4. まったく進んでいないと感じる
5. わからない

※連携：日頃から情報共有をしており、連絡や相談などの業務がスムーズに行えている状態

問 15 多職種での連携において、業務上困っていることは何ですか。
(選択はいくつでも)

1. 多職種での情報共有がうまくいかない
2. 病院との退院調整がスムーズでない
3. 他の職種の連絡先(依頼先)がわからない
4. 他の職種の業務内容(対応できる範囲)がわからない
5. 他の職種の情報(医療・介護の資源情報)の取得方法がわからない
6. その他()
7. 困っていることはない

災害時の対策についてお伺いします。

問 16 貴法人の災害に対する対策の実施状況について、それぞれサービス種別ごとに該当するものをすべて選択してください。

サービス種別 (介護予防サービス含む)	(1) 地震・津波対策		(2) 風水害対策 (土砂災害は除く)		(3) 火災対策		(4) 土砂災害対策	
	実施済み	検討中	実施済み	検討中	実施済み	検討中	実施済み	検討中
居宅サービス	①通所介護							
	②通所リハビリテーション							
	③短期入所生活介護							
	④短期入所療養介護							
	⑤特定施設入居者生活介護							
	①認知症対応型通所介護							
地域密着型サービス	②小規模多機能型居宅介護							
	③地域密着型通所介護							
	④認知症対応型共同生活介護							
	⑤地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護							
	⑥看護小規模多機能型居宅介護							

サービス種別 (介護予防サービス含む)	(1) 地震・津波対策		(2) 風水害対策 (土砂災害は除く)		(3) 火災対策		(4) 土砂災害対策	
	実施済み	検討中	実施済み	検討中	実施済み	検討中	実施済み	検討中
①介護老人福祉施設								
②介護老人保健施設								
③介護医療院								

問 17 自然災害発生時の業務継続計画 (BCP) の作成状況は、どのような状況ですか。(選択はひとつ)

1. 運営するすべての施設 (事業所) で作成済み
2. 運営するすべての施設 (事業所) で作成中
3. 運営するすべての施設 (事業所) で未作成
4. 運営する一部の施設 (事業所) で作成済み

問 18 から問 22 は、居宅介護支援事業所を運営している法人にお伺いします。施設サービス (特養・老健・介護医療院) を運営している法人は、問 23 へお進みください。
それ以外の法人は、以上で質問は終了です。最後にご意見等の入力欄へお進みください。

問 18 貴法人から見て、堺市の要介護者（要介護1～5）にとって不足していると感じるサービスは何ですか。（選択はいくつでも）

1. 居宅介護支援
2. 訪問介護
3. 訪問入浴介護
4. 訪問看護
5. 訪問リハビリテーション
6. 居宅療養管理指導
7. 通所介護
8. 通所リハビリテーション
9. 短期入所生活介護
10. 短期入所療養介護
11. 特定施設入居者生活介護
12. 福祉用具貸与
13. 特定福祉用具販売
14. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
15. 夜間対応型訪問介護
16. 認知症対応型通所介護
17. 小規模多機能型居宅介護
18. 認知症対応型共同生活介護
19. 地域密着型特定施設入居者生活介護
20. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
21. 看護小規模多機能型居宅介護
22. 介護老人福祉施設
23. 介護老人保健施設
24. 介護医療院
25. 特になし

問 19 サービスを実施するにあたって、外部の諸機関との連携はどの程度とれていますか。下記の①～⑧の項目ごとに、あてはまるものを選択してください。（それぞれ選択はひとつ）

連携の相手	連携の程度	大変うまく連携がとれている	おおむねとれている	どちらともいえない	あまり連携はない	まったく連携がない
①他の居宅介護支援事業者		1	2	3	4	5
②他の居宅サービス提供事業者		1	2	3	4	5
③他の地域密着型サービス提供事業者		1	2	3	4	5
④他の施設サービス提供事業者		1	2	3	4	5
⑤医療機関		1	2	3	4	5
⑥介護保険以外のサービス提供機関 (ボランティア・NPO含む)		1	2	3	4	5
⑦地域包括支援センター		1	2	3	4	5
⑧行政機関		1	2	3	4	5

問 20 困難ケースなどについて地域包括支援センターへ相談したことはありますか。(選択はひとつ)

- 1. ある
- 2. ない

問 20 で「1.」と回答した法人にお伺いします。

問 20-1 地域包括支援センターに相談した内容について、あてはまるものを選択してください。(選択はいくつでも)

- 1. 虐待について(セルフネグレクトを含む)
- 2. 本人の意思決定が困難で、代わって決定する人がいないことについて
- 3. 本人や家族に精神障害や知的障害があることについて
- 4. 必要なサービスを拒否することについて
- 5. 周辺症状への対応が難しい認知症について
- 6. 在宅の意思が強いが、独居等で在宅に限界があることについて
- 7. 医療依存度が高いことについて
- 8. 多重債務・消費者被害などで権利擁護が必要なことについて
- 9. 経済的困窮について
- 10. 制度説明やサービス調整に時間を要することについて
- 11. その他 ()

問 21 定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスが最も有効な方はどのような方だと思いますか。(選択はひとつ)

- 1. 独居高齢者
- 2. 病院への入退院を繰り返す高齢者
- 3. 介護する側の負担軽減が必要な高齢者
- 4. 不定期の訪問介護や訪問看護のニーズがある高齢者
- 5. その他 ()

問 22 現在(令和5年2月1日)の居宅介護支援事業所の担当件数を入力してください。そのうち、有料老人ホーム又はサービス付き高齢者向け住宅に入居されている方の件数を入力してください。

- ①担当件数 () 件
- ②うち、有料老人ホーム又はサービス付き高齢者向け住宅に入居中 () 件

問 23 から問 24 は、施設サービス(特養・老健・介護医療院)を運営している法人にお伺いします。
それ以外の法人は、最後にあるご意見等の入力欄へお進みください。

問 23 施設に入所待機者はいいますか。(選択はひとつ)

- 1. 入所待機者がある
- 2. 入所待機者はない

問 23 で「1.」と回答した法人にお伺いします。

問 23-1 施設に入所待機者がある状況について、考えられる主な要因は何だと思いますか。(選択はひとつ)

- 1. 全体的に施設数が足りないため
- 2. 入所手続きに手間がかかるため
- 3. 在宅介護より施設介護を望む人が増えたため
- 4. 現在のところ入所の必要はないが、将来を見込んで事前に申し込む人が多いため

問 24 施設への入所を決定するにあたり、特に入所判定委員会等で重点をおいていることは何ですか。(選択は3つまで)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 虐待等が疑われるなど緊急性がある2. 要介護度が4・5の重度で、在宅で待機している3. 本人または家族(ケアマネ等含む)と面談した結果、在宅で介護が難しいと判断されている4. 要介護度が低いが長期間待機している5. 病院での急性期の治療は終わったが、在宅復帰に不安がある6. 他の施設等から紹介されている7. その他 () |
|---|

最後に、本市における高齢者の保健福祉サービス、介護保険サービス等について、ご意見やご要望等がありましたらお聴かせください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

質問は以上でおわりです。
ご協力ありがとうございました。

V 母集団に関する推定

1 母集団に関する推定について

今回実施した一般高齢者・要支援認定者調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）では、各区の地域特性を統計的に分析するために区別で層化無作為抽出で調査対象者を抽出していますが、各層で母集団の規模が異なるため、各層での抽出率（有効回収数÷対象者数）の逆数で加重平均することで、回答から母集団の平均値を偏りなく適切に推定することができるようになります。

区別	対象者数		配布数		有効回収数	
	実数（人）	構成比（％）	実数（人）	構成比（％）	実数（人）	構成比（％）
堺1区	9,804	5.0	633	4.8	392	4.7
堺2区	7,731	4.0	615	4.7	368	4.4
堺3区	7,560	3.9	614	4.7	370	4.4
堺4区	7,604	3.9	613	4.6	362	4.3
中1区	8,597	4.4	622	4.7	396	4.7
中2区	7,892	4.0	616	4.7	359	4.3
中3区	10,626	5.4	640	4.8	393	4.7
東1区	11,057	5.7	644	4.9	395	4.7
東2区	10,732	5.5	641	4.9	398	4.8
西1区	9,067	4.6	627	4.8	401	4.8
西2区	11,637	6.0	648	4.9	414	5.0
西3区	9,082	4.7	627	4.8	418	5.0
南1区	10,316	5.3	638	4.8	430	5.2
南2区	12,116	6.2	653	4.9	428	5.1
南3区	8,862	4.5	626	4.7	412	4.9
南4区	9,640	4.9	632	4.8	404	4.8
北1区	7,587	3.9	613	4.6	402	4.8
北2区	7,820	4.0	616	4.7	382	4.6
北3区	8,643	4.4	622	4.7	400	4.8
北4区	9,043	4.6	627	4.8	392	4.7
美原1区	9,848	5.0	633	4.8	422	5.1
合計	195,264	100.0	13,200	100.0	8,338	100.0

2 母集団の推定方法

層化無作為抽出の場合、母集団の推定方法を一般的な数式で表現すると、以下のようになります。

$$\text{母集団の推計値} = \frac{1}{N} \sum_{h=1}^L \frac{N_h}{n_h} \sum_{i=1}^{n_h} X_{hi}$$

N：母集団の大きさ

L：設定した層の数

N_h：h番目の層における母集団の大きさ

n_h：h番目の層における標本の大きさ

X_{hi}：h番目の層におけるi番目の標本の値

3 一般高齢者・要支援認定者調査 母集団に関する推定値

一般高齢者・要支援認定者調査における母集団に関する推定値は以下の通りです。

なお、回答者数は小数第1位を四捨五入しているため、単一回答の設問であっても回答者数の合計は全体と合わない場合があります。

(1) 回答者属性

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	ご本人が記入	175,651	90.0
2	ご家族が記入	13,827	7.1
3	その他	309	0.2
	無回答	5,477	2.8
	全体	195,264	100.0

(2) 家族や生活状況について

問1 (1) 家族構成をお教えてください (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	1人暮らし	41,913	21.5
2	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	86,642	44.4
3	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	8,261	4.2
4	息子・娘との2世帯	25,272	12.9
5	その他	28,840	14.8
	無回答	4,336	2.2
	全体	195,264	100.0

問1 (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	介護・介助は必要ない	160,980	82.4
2	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	18,677	9.6
3	現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)	11,507	5.9
	無回答	4,100	2.1
	全体	195,264	100.0

問1 (3) 医療や介護、健康について相談でき、必要なときには専門機関などを紹介してくれる「かかりつけ」があると安心です。定期的に通っていたり、必要な時に診療や相談しようと思う、かかりつけの医師・歯科医師・薬剤師はいますか（○はいくつでも）

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	かかりつけ医師	162,001	83.0
2	かかりつけ歯科医師	105,820	54.2
3	かかりつけ薬局（薬剤師）	55,712	28.5
4	いない	16,980	8.7
	無回答	3,507	1.8
	全体	195,264	100.0

問1 (4) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（○はひとつ）

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	大変苦しい	17,566	9.0
2	やや苦しい	51,794	26.5
3	ふつう	106,844	54.7
4	ややゆとりがある	14,654	7.5
5	大変ゆとりがある	2,221	1.1
	無回答	2,184	1.1
	全体	195,264	100.0

(3) 住まいについて

問2 (1) 現在のお住まいをお教えてください（○はひとつ）

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	持ち家（一戸建て）	118,894	60.9
2	持ち家（マンションなど）	29,023	14.9
3	借家（一戸建て）	3,513	1.8
4	借家（マンション・アパートなど）	27,798	14.2
5	その他	13,479	6.9
	無回答	2,557	1.3
	全体	195,264	100.0

問 2 (2) 高齢者向けの住宅などに住み替えたり、介護保険施設に入所することになったら、希望する場所はどこですか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	できるだけ自宅の近くがよい	102,644	52.6
2	だいたい小学校区の範囲がよい	6,367	3.3
3	だいたい中学校区の範囲がよい	3,249	1.7
4	お住まいの区内(堺区など)がよい	29,433	15.1
5	市内であれば場所は問わない	12,513	6.4
6	他の市町村がよい	3,849	2.0
7	場所は問わない	23,561	12.1
	無回答	13,649	7.0
	全体	195,264	100.0

(4) からだを動かすことについて

問 3 (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	できるし、している	116,171	59.5
2	できるけどしていない	38,218	19.6
3	できない	36,994	18.9
	無回答	3,881	2.0
	全体	195,264	100.0

問 3 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	できるし、している	140,685	72.0
2	できるけどしていない	23,928	12.3
3	できない	26,013	13.3
	無回答	4,638	2.4
	全体	195,264	100.0

問 3 (3) 15 分位続けて歩いていますか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	できるし、している	149,650	76.6
2	できるけどしていない	27,175	13.9
3	できない	14,653	7.5
	無回答	3,786	1.9
	全体	195,264	100.0

問3 (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	何度もある	17,408	8.9
2	1度ある	45,426	23.3
3	ない	129,832	66.5
	無回答	2,598	1.3
	全体	195,264	100.0

問3 (5) 転倒に対する不安は大きいですか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	とても不安である	29,088	14.9
2	やや不安である	77,629	39.8
3	あまり不安でない	54,124	27.7
4	不安でない	31,010	15.9
	無回答	3,413	1.7
	全体	195,264	100.0

問3 (6) 週に1回以上は外出していますか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	ほとんど外出しない	10,250	5.2
2	週1回	22,666	11.6
3	週2～4回	85,024	43.5
4	週5回以上	74,398	38.1
	無回答	2,925	1.5
	全体	195,264	100.0

問3 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	とても減っている	10,536	5.4
2	減っている	61,012	31.2
3	あまり減っていない	58,643	30.0
4	減っていない	62,777	32.1
	無回答	2,296	1.2
	全体	195,264	100.0

(5) 食べることについて

問 4 (1) 身長・体重 (数字を記入) ※おおよその数値で結構です。

BMI (身長・体重より算出)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	低体重 (やせ) (18.5 未満)	15,680	8.0
2	普通体重 (18.5 以上 25.0 未満)	127,714	65.4
3	肥満 (25.0 以上)	43,297	22.2
	無回答	8,573	4.4
	全体	195,264	100.0

問 4 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	はい	68,154	34.9
2	いいえ	123,727	63.4
	無回答	3,383	1.7
	全体	195,264	100.0

問 4 (3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (○はひとつ) (成人の歯の総本数は、
親知らずを含めて 32 本です)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用	30,683	15.7
2	自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし	64,093	32.8
3	自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用	71,421	36.6
4	自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし	21,233	10.9
	無回答	7,833	4.0
	全体	195,264	100.0

問 4 (4) どなたかと食事をとる機会がありますか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	毎日ある	106,739	54.7
2	週に何度かある	16,180	8.3
3	月に何度かある	27,178	13.9
4	年に何度かある	21,608	11.1
5	ほとんどない	20,129	10.3
	無回答	3,430	1.8
	全体	195,264	100.0

問4 (5) 主食・主菜・副菜をそろえた食事を毎日していますか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	ほぼ毎日3食そろえている	70,094	35.9
2	ほぼ毎日2食はそろえている	67,415	34.5
3	ほぼ毎日1食はそろえている	36,421	18.7
4	週の半分ぐらいはそろえている	9,600	4.9
5	ほとんどできていない	8,973	4.6
	無回答	2,761	1.4
	全体	195,264	100.0

問4 (6) 口や顔の体操に毎日取り組んでいますか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	ほぼ毎日3回以上取り組んでいる	5,209	2.7
2	ほぼ毎日2回は取り組んでいる	5,658	2.9
3	ほぼ毎日1回は取り組んでいる	23,911	12.2
4	週の半分ぐらいは取り組んでいる	13,119	6.7
5	ほとんど取り組んでいない	142,735	73.1
	無回答	4,632	2.4
	全体	195,264	100.0

(6) 毎日の生活について

問5 (1) 物忘れが多いと感じますか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	はい	93,659	48.0
2	いいえ	96,720	49.5
	無回答	4,885	2.5
	全体	195,264	100.0

問5 (2) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	できるし、している	146,307	74.9
2	できるけどしていない	34,336	17.6
3	できない	12,291	6.3
	無回答	2,329	1.2
	全体	195,264	100.0

問 5 (3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	できるし、している	160,574	82.2
2	できるけどしていない	24,631	12.6
3	できない	7,710	3.9
	無回答	2,349	1.2
	全体	195,264	100.0

問 5 (4) 自分で食事の用意をしていますか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	できるし、している	139,322	71.4
2	できるけどしていない	38,700	19.8
3	できない	14,926	7.6
	無回答	2,316	1.2
	全体	195,264	100.0

問 5 (5) 自分で請求書の支払いをしていますか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	できるし、している	156,899	80.4
2	できるけどしていない	28,325	14.5
3	できない	7,285	3.7
	無回答	2,756	1.4
	全体	195,264	100.0

問 5 (6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	できるし、している	159,371	81.6
2	できるけどしていない	25,014	12.8
3	できない	8,583	4.4
	無回答	2,296	1.2
	全体	195,264	100.0

問5 (7) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（○はひとつ）

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	はい	172,610	88.4
2	いいえ	19,624	10.1
	無回答	3,030	1.6
	全体	195,264	100.0

問5 (8) 日常生活に関する情報をどこから得ていますか（○はいくつでも）

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	インターネット・携帯電話	101,546	52.0
2	家族	97,785	50.1
3	雑誌	21,301	10.9
4	新聞（タウン紙を含む）	124,903	64.0
5	チラシ・折込・ダイレクトメール等	64,321	32.9
6	テレビ	173,162	88.7
7	友人・隣人	71,456	36.6
8	ラジオ	36,261	18.6
9	市の広報	84,364	43.2
10	その他の広報や回覧板	38,430	19.7
11	その他	1,728	0.9
12	特にない	1,084	0.6
	無回答	1,800	0.9
	全体	195,264	100.0

問5 (9) 今後、参加（活動）したいと思うものはどれですか。（○は3つまで）

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	健康増進のための体操教室	61,812	31.7
2	認知症予防のための脳トレ教室	45,459	23.3
3	教養講座や英会話などの生涯学習	17,820	9.1
4	料理教室	13,697	7.0
5	文化系のサークル活動	16,654	8.5
6	運動系のサークル活動	23,383	12.0
7	自治会や老人クラブなどの地域活動	18,680	9.6
8	ボランティア活動	15,339	7.9
9	その他	5,113	2.6
10	特にない	78,922	40.4
	無回答	5,773	3.0
	全体	195,264	100.0

(7) 地域での活動について

問 6 (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※① - ⑧それぞれに回答してください (○はそれぞれひとつずつ)

① ボランティアのグループ

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	週 4 回以上	1,331	0.7
2	週 2~3 回	2,140	1.1
3	週 1 回	2,612	1.3
4	月 1~3 回	6,566	3.4
5	年に数回	5,984	3.1
6	参加していない	134,963	69.1
	無回答	41,668	21.3
	全体	195,264	100.0

② スポーツ関係のグループやクラブ

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	週 4 回以上	8,241	4.2
2	週 2~3 回	13,985	7.2
3	週 1 回	7,983	4.1
4	月 1~3 回	6,142	3.1
5	年に数回	3,205	1.6
6	参加していない	117,635	60.2
	無回答	38,073	19.5
	全体	195,264	100.0

③ 趣味関係のグループ

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	週 4 回以上	2,186	1.1
2	週 2~3 回	5,815	3.0
3	週 1 回	7,837	4.0
4	月 1~3 回	16,916	8.7
5	年に数回	7,309	3.7
6	参加していない	115,918	59.4
	無回答	39,281	20.1
	全体	195,264	100.0

④ 学習・教養サークル

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	週4回以上	414	0.2
2	週2～3回	1,155	0.6
3	週1回	2,480	1.3
4	月1～3回	5,189	2.7
5	年に数回	3,681	1.9
6	参加していない	137,022	70.2
	無回答	45,323	23.2
	全体	195,264	100.0

⑤ (いきいきサロンや体操など) 介護予防のための通いの場

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	週4回以上	997	0.5
2	週2～3回	2,475	1.3
3	週1回	3,203	1.6
4	月1～3回	3,718	1.9
5	年に数回	2,575	1.3
6	参加していない	139,185	71.3
	無回答	43,111	22.1
	全体	195,264	100.0

⑥ 老人クラブ

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	週4回以上	795	0.4
2	週2～3回	1,071	0.5
3	週1回	1,287	0.7
4	月1～3回	3,443	1.8
5	年に数回	6,098	3.1
6	参加していない	138,588	71.0
	無回答	43,982	22.5
	全体	195,264	100.0

⑦ 町内会・自治会

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	週4回以上	855	0.4
2	週2~3回	690	0.4
3	週1回	1,304	0.7
4	月1~3回	8,942	4.6
5	年に数回	28,839	14.8
6	参加していない	112,672	57.7
	無回答	41,962	21.5
	全体	195,264	100.0

⑧ 収入のある仕事

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	週4回以上	23,251	11.9
2	週2~3回	12,405	6.4
3	週1回	2,251	1.2
4	月1~3回	2,910	1.5
5	年に数回	1,798	0.9
6	参加していない	112,132	57.4
	無回答	40,517	20.7
	全体	195,264	100.0

問6(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	是非参加したい	9,929	5.1
2	参加してもよい	93,361	47.8
3	参加したくない	72,306	37.0
4	既に参加している	7,530	3.9
	無回答	12,138	6.2
	全体	195,264	100.0

問 6 (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（○はひとつ）

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	是非参加したい	3,557	1.8
2	参加してもよい	57,959	29.7
3	参加したくない	113,389	58.1
4	既に参加している	5,536	2.8
	無回答	14,823	7.6
	全体	195,264	100.0

(8) たすけあいについて

問 7 (1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（○はいくつでも）

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	配偶者	105,615	54.1
2	同居の子ども	36,091	18.5
3	別居の子ども	78,288	40.1
4	兄弟姉妹・親戚・親・孫	59,673	30.6
5	近隣	22,394	11.5
6	友人	90,452	46.3
7	その他	3,829	2.0
8	そのような人はいない	8,632	4.4
	無回答	5,070	2.6
	全体	195,264	100.0

問 7 (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（○はいくつでも）

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	配偶者	100,312	51.4
2	同居の子ども	30,555	15.6
3	別居の子ども	67,388	34.5
4	兄弟姉妹・親戚・親・孫	60,025	30.7
5	近隣	26,019	13.3
6	友人	88,328	45.2
7	その他	2,691	1.4
8	そのような人はいない	13,976	7.2
	無回答	7,679	3.9
	全体	195,264	100.0

問 7 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (〇はいくつでも)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	配偶者	113,705	58.2
2	同居の子ども	42,319	21.7
3	別居の子ども	69,497	35.6
4	兄弟姉妹・親戚・親・孫	22,795	11.7
5	近隣	5,329	2.7
6	友人	10,840	5.6
7	その他	2,136	1.1
8	そのような人はいない	17,540	9.0
	無回答	5,955	3.0
	全体	195,264	100.0

問 7 (4) 反対に、看病や世話をしてあげる人 (〇はいくつでも)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	配偶者	117,836	60.3
2	同居の子ども	38,145	19.5
3	別居の子ども	53,826	27.6
4	兄弟姉妹・親戚・親・孫	38,328	19.6
5	近隣	7,814	4.0
6	友人	15,694	8.0
7	その他	2,474	1.3
8	そのような人はいない	25,793	13.2
	無回答	9,446	4.8
	全体	195,264	100.0

問 7 (5) ふだん、近所の人とどの程度のつきあいをしていますか (〇はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	親しくつきあっている	27,394	14.0
2	あいさつ以外にも多少のつきあいがある (相手の名前や家族構成を知っていたり、物の貸し借りや趣味を共有しているなど)	58,297	29.9
3	あいさつをする程度	93,192	47.7
4	つきあいはほとんどない	11,981	6.1
	無回答	4,400	2.3
	全体	195,264	100.0

問 7 (6) 災害発生時に、近所の人と声をかけ合って避難することができますか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	できる	129,787	66.5
2	普段から近所づきあいがないため、できない	26,675	13.7
3	近所の人を全く知らないため、できない	6,375	3.3
4	その他	1,543	0.8
5	わからない	26,473	13.6
	無回答	4,411	2.3
	全体	195,264	100.0

問 7 (7) 災害発生時に、自ら避難することが困難と思われる近所の方を支援することができますか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	安否確認や声かけならできる	76,882	39.4
2	近所の人などと協力して避難所に行くまでの手助けができる	50,336	25.8
3	自分や家族の避難で精いっぱいのため、できない	28,141	14.4
4	近所づきあいがないため、できない	11,741	6.0
5	その他	1,284	0.7
6	わからない	20,382	10.4
	無回答	6,498	3.3
	全体	195,264	100.0

(9) 健康について

問 8 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	とてもよい	17,811	9.1
2	まあよい	132,422	67.8
3	あまりよくない	35,799	18.3
4	よくない	6,033	3.1
	無回答	3,199	1.6
	全体	195,264	100.0

問 8 (2) ふだんから介護予防のために、自分の健康の維持・増進を意識していますか (〇はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	強く意識している	35,918	18.4
2	意識している	127,275	65.2
3	あまり意識していない	22,761	11.7
4	ほとんど意識していない	6,132	3.1
	無回答	3,178	1.6
	全体	195,264	100.0

問 8 (3) あなたは、現在どの程度幸せですか (「とても不幸」を 0 点、「とても幸せ」を 10 点として、ご記入ください)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	0 点	823	0.4
2	1 点	793	0.4
3	2 点	1,813	0.9
4	3 点	5,092	2.6
5	4 点	5,364	2.7
6	5 点	34,232	17.5
7	6 点	17,825	9.1
8	7 点	31,975	16.4
9	8 点	46,008	23.6
10	9 点	17,916	9.2
11	10 点	26,104	13.4
	無回答	7,318	3.7
	全体	195,264	100.0

問 8 (4) この 1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (〇はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	はい	75,812	38.8
2	いいえ	114,622	58.7
	無回答	4,831	2.5
	全体	195,264	100.0

問 8 (5) この 1 か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	はい	49,321	25.3
2	いいえ	140,633	72.0
	無回答	5,310	2.7
	全体	195,264	100.0

問 8 (6) タバコは吸っていますか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	ほぼ毎日吸っている	16,328	8.4
2	時々吸っている	2,667	1.4
3	吸っていたがやめた	61,146	31.3
4	もともと吸っていない	112,750	57.7
	無回答	2,373	1.2
	全体	195,264	100.0

問 8 (7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (○はいくつでも)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	ない	29,591	15.2
2	高血圧	85,449	43.8
3	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	6,372	3.3
4	心臓病	19,026	9.7
5	糖尿病	29,565	15.1
6	高脂血症 (脂質異常)	29,079	14.9
7	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	11,173	5.7
8	胃腸・肝臓・胆のうの病気	13,185	6.8
9	腎臓・前立腺の病気	16,769	8.6
10	筋骨格の病気 (骨粗しょう症・関節症等)	25,523	13.1
11	外傷 (転倒・骨折等)	5,945	3.0
12	がん (悪性新生物)	8,542	4.4
13	血液・免疫の病気	3,087	1.6
14	うつ病	2,191	1.1
15	認知症 (アルツハイマー病等)	1,501	0.8
16	パーキンソン病	864	0.4
17	目の病気	33,298	17.1
18	耳の病気	13,091	6.7
19	その他	20,647	10.6
	無回答	6,589	3.4
	全体	195,264	100.0

(10) 耳の状態について

問 9 (1) あなたは耳がよく聞こえますか。補聴器を使っている人は、使っている状態を教えてください (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	とてもよく聞こえる	23,741	12.2
2	よく聞こえる	54,108	27.7
3	聞こえる	84,631	43.3
4	あまり聞こえない	26,677	13.7
5	聞こえない	1,542	0.8
	無回答	4,565	2.3
	全体	195,264	100.0

問 9 (2) あなたは補聴器を使っていますか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	はい	12,827	6.6
2	いいえ	177,682	91.0
	無回答	4,755	2.4
	全体	195,264	100.0

問 9 (3) 補聴器を使っている人にお聞きします。使っている場合は補聴器を付けている時間はどのくらいですか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	ほとんど終日	4,354	33.9
2	半日程度	1,681	13.1
3	2～3 時間	629	4.9
4	必要なときのみ	5,101	39.8
5	使っていない	831	6.5
	無回答	231	1.8
	全体	12,827	100.0

(11) 認知症について

問 10 (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	はい	18,374	9.4
2	いいえ	169,133	86.6
	無回答	7,756	4.0
	全体	195,264	100.0

問 10 (2) あなたが認知症になったら、不安に思うことはありますか (○はいくつでも)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	どの医者 (診療科) を受診すればいいかわからない	68,759	35.2
2	どのような介護サービスを受けられるのかわからない	80,113	41.0
3	どこへ相談すればいいのかわからない	72,261	37.0
4	火の不始末や徘徊などの行動が心配	81,679	41.8
5	家庭内 (家族関係) がうまくいなくなる	40,264	20.6
6	治療や介護にお金がかかる	67,399	34.5
7	不安はない	10,408	5.3
8	わからない	26,680	13.7
9	その他	3,784	1.9
	無回答	6,384	3.3
	全体	195,264	100.0

問 10 (3) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	はい	34,949	17.9
2	いいえ	151,068	77.4
	無回答	9,247	4.7
	全体	195,264	100.0

(12) 仕事について

問 11 (1) これから働き始めようとする (または引き続き働き続ける) 場合に、あなたが仕事に一番求めるものは何ですか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	収入を得ること	31,332	16.0
2	社会・人の役に立つこと	8,863	4.5
3	生きがい	14,805	7.6
4	健康の維持	26,895	13.8
5	その他	4,839	2.5
6	働くつもりはない	88,117	45.1
	無回答	20,413	10.5
	全体	195,264	100.0

(13) 介護について

問 12 (1) 介護が必要になった場合、どのような暮らし方をしたいと思いますか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	家族などの介護を受けながら、現在の住宅に住み続けたい	34,620	17.7
2	居宅介護サービスを受けながら、現在の住宅に住み続けたい	73,099	37.4
3	高齢者向けに配慮された住宅に入居したい	20,513	10.5
4	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)や介護老人保健施設などの施設に入所したい	29,683	15.2
5	その他	1,826	0.9
6	わからない	28,449	14.6
	無回答	7,074	3.6
	全体	195,264	100.0

問 12 (2) 家族に介護が必要になったとしたら、どのような暮らし方をしてほしいと思いますか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	家族などの介護を受けながら、現在の住宅に住み続けてほしい	29,453	15.1
2	居宅介護サービスを受けながら、現在の住宅に住み続けてほしい	68,355	35.0
3	高齢者向けに配慮された住宅に入居してほしい	16,343	8.4
4	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)や介護老人保健施設などの施設に入所してほしい	26,650	13.6
5	その他	4,585	2.3
6	わからない	33,460	17.1
	無回答	16,417	8.4
	全体	195,264	100.0

問 12 (3) 人生の最期をどこで迎えたいと思いますか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	自宅	88,025	45.1
2	病院	33,983	17.4
3	介護施設	7,508	3.8
4	その他	2,705	1.4
5	わからない	56,581	29.0
	無回答	6,462	3.3
	全体	195,264	100.0

問 12 (4) 人生の最終段階における医療・療養について、あなた自身の希望を、家族等や医療介護関係者と話し合っていますか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	詳しく話し合っている	2,815	1.4
2	一応話し合っている	30,401	15.6
3	話し合ったことはある	46,540	23.8
4	話し合ったことはない	109,224	55.9
	無回答	6,284	3.2
	全体	195,264	100.0

問 12 (5) 現行の介護保険制度は、サービスを利用する人が増えたり、一人ひとりの利用するサービスの量が増えることによって介護保険料が上昇する仕組みとなっています。堺市の今後の介護保険料について、あなたのお考えに近いのは次のどれですか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	高齢化が進み、介護保険サービスを利用する人や利用量は増えていくだろうから、介護保険料が上昇するのは仕方がない	21,579	11.1
2	介護予防対策に力を入れ、介護保険サービスを必要とする人の増加を抑制することが重要であるが、それでも利用量等が増え、介護保険料が上昇するのならば仕方がない	73,398	37.6
3	現状以上に介護保険料が上昇するのは避けるべきであり、そのためには介護保険サービスが必要な人であっても、ある程度介護保険サービスの利用が制限されても仕方がない	36,880	18.9
4	わからない	49,810	25.5
	無回答	13,598	7.0
	全体	195,264	100.0

問 12 (6) 家族を介護する人の介護疲れやストレスのケアをするためには、何が必要だと思いますか (○は3つまで)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	周りの人の理解や協力	107,006	54.8
2	介護生活に必要な情報の提供	74,467	38.1
3	介護者同士が気兼ねなく話し合いや相談をする場	48,462	24.8
4	介護者が息抜きできるイベント	18,657	9.6
5	ボランティアによる手助け	29,286	15.0
6	専門職員による相談窓口	61,250	31.4
7	介護に必要な技術を習得する機会	16,286	8.3
8	ショートステイなどの介護保険サービスの活用	99,048	50.7
9	その他	3,703	1.9
	無回答	12,135	6.2
	全体	195,264	100.0

(14) 住み慣れた地域で暮らし続けることについて

問 13 (1) 高齢者ができる限り自宅や住み慣れた地域で暮らし続けるために、どのようなことが必要だと思いますか (○はいくつでも)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	気軽に相談できるかかりつけ医を持つこと	125,647	64.3
2	入院しても、退院後すぐに介護サービスを受けられること	99,268	50.8
3	介護予防のための教室 (筋力トレーニング・転倒予防・認知症予防)	41,551	21.3
4	24時間対応してもらえる訪問介護サービス	81,690	41.8
5	普段介護している人が介護できない時などに利用できる介護サービス	91,462	46.8
6	日頃から健康づくりや生活習慣病予防に取り組むこと	65,324	33.5
7	何でも相談できる高齢者の相談窓口	81,446	41.7
8	地域の人々の見守りや助け合い	31,046	15.9
9	生きがいづくりや地域貢献のための社会参加の機会	17,663	9.0
10	ボランティアやNPOなどによるさまざまな生活の支援	22,635	11.6
11	体の状態に合わせた住宅への改修	46,629	23.9
12	高齢者に配慮された多様な住まいや施設	43,056	22.1
13	自分の将来について、家族などと話し合っておくこと	65,214	33.4
14	その他	2,920	1.5
	無回答	9,873	5.1
	全体	195,264	100.0

問 13 (2) 地域包括支援センターは、高齢者の方々が住みなれた地域で安心して暮らしていけるよう、介護・福祉・健康などさまざまな面から総合的に相談や支援を行う役割を担っていますが、この役割を知っていましたか (○はひとつ)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	知っていた	48,256	24.7
2	名前は聞いたことがあるが、役割までは知らなかった	60,342	30.9
3	地域包括支援センターの存在を知らなかった	72,777	37.3
	無回答	13,889	7.1
	全体	195,264	100.0

(15) スマートフォン、タブレット、パソコンの使用状況について

問 14 (1) スマートフォン、タブレット、パソコンのうち、何をお持ちですか (○はいくつでも)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	スマートフォン	139,555	71.5
2	タブレット	27,135	13.9
3	パソコン	62,534	32.0
4	どれも持っていない	40,022	20.5
	無回答	7,170	3.7
	全体	195,264	100.0

問 14 (2) 「1.スマートフォン」「2.タブレット」「3.パソコン」(以下の設問で「機器」といいます。)をお持ちでない理由をお教えてください (○はいくつでも)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	機器を使用して何ができるかわからない	11,219	28.0
2	機器の用意・維持費にお金がかかる	11,248	28.1
3	機器の使用方法を教えてくれる人がいない	6,667	16.7
4	セキュリティ上の不安がある	5,885	14.7
5	落下や衝撃など持ち運びに不安がある	1,705	4.3
6	機器を持つ必要性を感じない	18,348	45.8
7	その他	3,478	8.7
8	特になし	3,981	9.9
	無回答	2,845	7.1
	全体	40,022	100.0

問 14 (3) どのような機能を使用したことがありますか (○はいくつでも)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	音声のみの通話	96,429	65.1
2	ビデオ通話	45,690	30.9
3	LINE (ライン)	109,031	73.6
4	メール	108,785	73.5
5	インターネットでの情報収集	87,181	58.9
6	写真・動画撮影	106,529	71.9
7	動画の視聴 (YouTube 等)	66,354	44.8
8	万歩計などの健康管理	65,961	44.5
9	SNS (ソーシャルネットワーキングサービス)	17,396	11.7
10	ゲーム	30,271	20.4
11	二次元コード (QR コード等) の読み取り	50,294	34.0
12	その他	3,141	2.1
	無回答	3,216	2.2
	全体	148,073	100.0

問 14 (4) 今は使用していないが、今後、「使用してみたい」と思うものはありますか (○はいくつでも)

No.	選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	音声のみの通話	7,312	4.9
2	ビデオ通話	20,178	13.6
3	LINE (ライン)	11,127	7.5
4	メール	7,546	5.1
5	インターネットでの情報収集	12,997	8.8
6	写真・動画撮影	8,886	6.0
7	動画の視聴 (YouTube 等)	8,909	6.0
8	万歩計などの健康管理	15,015	10.1
9	SNS (ソーシャルネットワーキングサービス)	14,458	9.8
10	ゲーム	7,223	4.9
11	二次元コード (QR コード等) の読み取り	10,171	6.9
12	その他	6,438	4.3
	無回答	73,867	49.9
	全体	148,073	100.0

堺市 高齢者等実態調査報告書

令和5年3月

発行：堺市 健康福祉局 長寿社会部 長寿支援課

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号 堺市役所本館7階

電話 072-228-8347 FAX 072-228-8918

堺市行政資料番号 1-F4-23-0029